



ネットワークビデオレコーダー

形名

NR-5000/5041/5080/5100/8200

NR-5200/5280/5000C/5512

周辺機器接続マニュアル

コミュニケーション・ネットワーク製作所

内容

| | |
|--|------------|
| 1. 他社装置との接続 | 5 |
| 1.1. 増設 HDD ユニット | 5 |
| 1.1.1. BIOS(MR206B3/MR206B3S/ER206B32) | 5 |
| 1.1.1.1. 増設 HDD ユニットの追加 | 5 |
| 1.1.1.2. 増設 HDD ユニットの設定 | 5 |
| 1.1.1.3. 増設 HDD ユニットの設置と接続 | 5 |
| 1.1.1.4. レコーダーの設定 | 6 |
| 1.1.1.5. 増設 HDD ユニットの登録解除および取外し | 6 |
| 1.1.1.6. 増設 HDD ユニットの運用モード | 7 |
| 1.1.1.7. 増設 HDD ユニットの運用モード変更 | 7 |
| 1.1.1.8. NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5200/5280 と増設 HDD ユニットを接続した場合 | 8 |
| 1.1.1.9. HDD の削除、追加による記録動作 | 8 |
| 1.1.1.9.1. シングルモード運用中の HDD の交換 | 8 |
| 1.1.1.10. 増設 HDD ユニット運用時のレコーダー本体交換処置について | 8 |
| 1.1.1.11. 記録開始動作の注意事項 | 9 |
| 1.1.1.12. 増設 HDD ユニット RAID 状態の監視方法 | 10 |
| 1.1.1.13. 増設 HDD ユニットのサービスパーティと定期交換部品 | 11 |
| 1.1.1.14. 増設 HDD ユニットのゴム足×4(付属品)取付けについて | 12 |
| 1.2. UPS(無停電電源装置) | 13 |
| 1.2.1. オムロン(BN75R) | 13 |
| 1.2.1.1. 設置 | 13 |
| 1.2.1.2. 電源系統 | 14 |
| 1.2.1.3. レコーダーの設定 | 15 |
| 1.2.1.4. オムロン(BN75R)の設定 | 15 |
| 1.2.1.5. 動作確認 | 15 |
| 1.2.2. 三菱電機(FW-J10-0.5K) | 16 |
| 1.2.2.1. 設置 | 16 |
| 1.2.3. 三菱電機(FW-A シリーズ) | 16 |
| 1.2.3.1. 設置 | 16 |
| 1.2.3.2. FW-A シリーズの設定 | 16 |
| 1.2.3.3. 電源系統 | 18 |
| 1.2.3.4. レコーダーの設定 | 18 |
| 1.2.3.5. 電源投入/遮断時の動作 | 18 |
| 1.2.3.6. 動作確認 | 18 |
| 1.3. 他社カメラ | 19 |
| 1.3.1. AXIS カメラ | 19 |
| 1.3.1.1. 固定ボックス型カメラ(P1365、P1365-E、P1365 Mk II、P1365-E Mk II) | 23 |
| 1.3.1.2. 固定ボックス型カメラ(M1124、M1124-E) | 51 |
| 1.3.1.3. 固定ドーム型カメラ(P3225-LV、P3225-LVE、P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II) カメラファームウェアバージョン;6.55.2】 | 64 |
| 1.3.1.4. 固定ドーム型カメラ(P3224-V Mk II) | 91 |
| 1.3.1.5. 固定バレット型カメラ(P1435-LE) | 104 |
| 1.3.1.6. PTZ 型カメラ(P5515、P5515-E) | 130 |
| 1.3.1.7. 全方位カメラ(M3007-P、M3007-PV、M3027-PVE) | 153 |
| 1.3.1.8. PTZ 型カメラ(P5635-E Mk II) | 183 |
| 1.3.1.9. PTZ 型カメラ(M5525-E) | 196 |

| | | |
|-----------|--|-----|
| 1.3.1.10. | 全方位カメラ(M3047-P、M3048-P) | 227 |
| 1.3.1.11. | 全方位カメラ(M3057-PLVE) | 239 |
| 1.3.1.12. | PTZ型カメラ(P5655-E)..... | 255 |
| 1.3.1.13. | 固定ドーム型カメラ(P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE) | 271 |
| 1.3.1.14. | 固定ボックス型カメラ(M1135、M1135-E)..... | 287 |
| 1.3.1.15. | 固定ドーム型カメラ(P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)【カメラファームウェアバージョン;8.40.3】..... | 302 |
| 1.3.1.16. | 全方位カメラ(M3067-P、M3068-P) | 318 |
| 1.3.2. | <i>AXIS</i> ビデオエンコーダ..... | 339 |
| 1.3.2.1. | 初期設定..... | 340 |
| 1.3.2.2. | 設定変更..... | 347 |
| 1.3.2.3. | MELOOK3 レコーダーへの接続 | 352 |
| 1.3.2.4. | カメラ映像が横揺れする/歪みが生じる場合 | 353 |
| 1.3.3. | <i>WV</i> シリーズ カメラ..... | 354 |
| 1.3.3.1. | 屋内固定ボックス型カメラ(WV-S1110VZUX、WV-S1130VZUX)..... | 356 |
| 1.3.3.2. | 屋内固定ドーム型カメラ(WV-S3110ZUX、WV-S3510ZUX、WV-S2130ZUX) | 360 |
| 1.3.3.3. | 屋外固定バレット型カメラ (WV-S1531LZUX) | 360 |
| 1.3.3.4. | MELOOK3 レコーダーへの接続 | 360 |
| 1.3.3.5. | 管理者情報を忘れてしまったら | 361 |
| 1.3.4. | <i>VIVOTEK</i> ビデオエンコーダ..... | 362 |
| 1.3.4.1. | 初期設定..... | 364 |
| 1.3.4.2. | 設定変更..... | 369 |
| 1.3.4.3. | MELOOK3 レコーダーへの接続 | 371 |
| 1.3.4.4. | カメラ映像の上段に下段の映像が表示される場合 | 373 |
| 1.3.4.5. | カメラ映像の画質調整..... | 374 |
| 1.3.5. | 接続台数..... | 375 |
| 1.4. | MELOOK4 カメラ | 377 |
| 1.4.1. | <i>MELOOK4</i> カメラ..... | 377 |
| 1.4.1.1. | 固定ボックス型カメラ(NC-9000/9020) | 378 |
| 1.4.1.2. | 固定ドーム型カメラ(NC-9600/9620/9600S/9620S) | 383 |
| 1.4.1.3. | 固定バレット型カメラ(NC-9820/9820S) | 383 |
| 1.4.1.4. | 固定ボックス型カメラ(NC-A100) ※NR-5200/5280 のみサポート | 383 |
| 1.4.1.5. | PTZ型カメラ(NC-9500/9520) ※NR-5200/5280 のみサポート | 383 |
| 1.4.1.6. | 全方位カメラ(NC-9700) ※NR-5200/5280 のみサポート | 383 |
| 1.4.1.7. | 固定ボックス型カメラ(NC-9001/9021) | 383 |
| 1.4.1.8. | 固定ドーム型カメラ(NC-9601/9621) | 385 |
| 1.4.1.9. | MELOOK3 レコーダーへの接続 | 385 |
| 1.5. | POE 給電スイッチング HUB(L2SW) | 386 |
| 1.5.1. | <i>Panasonic</i> (Switch-M16PWR / Switch-M16eGLPWR+) | 386 |
| 1.5.1.1. | WV シリーズカメラを接続する場合 | 397 |
| 1.5.2. | <i>Hitachi</i> (Apresia LightFM116GT-PoE) | 398 |
| 1.5.2.1. | WV シリーズカメラを接続する場合 | 400 |
| 1.5.3. | <i>Panasonic</i> (FA-ML16TCPoE+ / GA-ML16TPoE+) | 401 |
| 1.5.3.1. | WV シリーズカメラを接続する場合 | 402 |
| 1.5.4. | NR-5000/5041/5080/5100/5512 に接続する PoE 給電スイッチング HUB の設定 | 403 |
| 1.6. | 接点装置 | 404 |
| 1.6.1. | 設定手順(レコーダー) | 404 |
| 1.6.1.1. | 設定ファイル編集ツールでの手順(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C) | 405 |
| 1.6.1.2. | 設定手順(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C) | 407 |
| 1.6.1.3. | 設定手順(NR-5200/5280) | 408 |
| 1.6.2. | 設定手順(外部接点装置) | 410 |

| | |
|------------------------------------|------------|
| 1.6.2.1. 設定手順(NJ-2000-1) | 410 |
| 1.6.2.2. 設定手順(CommAssist-io) | 410 |
| ■改定履歴 | 412 |

1. 他社装置との接続

1.1. 増設 HDD ユニット

増設 HDD ユニットを RAID モードで使用する場合は、レコーダーへ接続すると機器単体として 1 台の HDD ドライブとして認識されます。

増設 HDD ユニットをシングルモードで使用する場合は、搭載された HDD モジュール単位で HDD ドライブとして認識されます。例えば、増設 HDD ユニットに 6 つの HDD モジュールが搭載されている場合、HDD ドライブは 6 つ存在することになります。

なお、レコーダーによってサポートされる増設 HDD ユニットが異なります。下表に従い、動作モードを設定してください。

| レコーダー種別 | MR206B3 | MR206B3S / ER206B32 | |
|----------|-------------|---------------------|------------------------|
| | RAID モード | RAID モード | シングルモード (ポートマルチモード) |
| NR-5000 | ○ | ○ | × |
| NR-5041 | ○ | ○ | × |
| NR-5080 | ○ | ○ | × |
| NR-5100 | ○ | ○ | × |
| NR-5512 | ○ | ○ | × |
| NR-8200 | ○ | ○ | × |
| NR-5200 | ○ | ○ | ○ |
| NR-5280 | ○ | ○ | ○ |
| NR-5000C | 増設 HDD 接続なし | | |

○: サポート × : 未サポート

1.1.1. BIOS(MR206B3 / MR206B3S / ER206B32)

1.1.1.1. 増設 HDD ユニットの追加

新規に増設 HDD を追加する場合や、既に増設 HDD を設置しており更に増設 HDD を追加するような場合、NR-5000/5041/5080/5100/5512/5200/5280 は増設 HDD 最大 4 台まで、NR-8200 は最大 2 台まで接続可能です。取扱説明書「13.6 拡張機器を接続する」の「増設 HDD ユニットを接続する」を参照ください。

※NR-5200/5280 の取扱説明書では、「8.3 増設 HDD ユニットの接続(オプション)」を参照ください。

1.1.1.2. 増設 HDD ユニットの設定

増設 HDD ユニット(MR206B3 / MR206B3S / ER206B32)の設定確認および変更方法については、増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照ください。

1.1.1.3. 増設 HDD ユニットの設置と接続

増設 HDD ユニットの設置については、増設 HDD ユニット(MR206B3 / MR206B3S / ER206B32)の取扱説明書を参照してください。増設 HDD ユニットとレコーダーは USB3.0(*1)対応ケーブルで接続します。増設 HDD ユニットの接続については、取扱説明書「13.6 拡張用機器を接続する」の「増設 HDD を接続する」を参照ください。増設 HDD の初期化を行った場合は、約 15 分掛かります。※NR-5200/5280 の取扱説明書では、「8.3 増設 HDD ユニットの接続(オプション)」を参照ください。(*1)増設 HDD ユニット ER206B32 を使用する場合は、USB3.2 となります。



周りと 15cm 以上の隙間(特に後面)を開けてください。
段積みは故障の原因になるのでやめてください。
必ず FG を接地してください。接地しない場合、誤作動の原因になる場合があります。

⚠ 注意

増設 HDD ユニットにおける HDD モジュールの挿入が不完全な場合、レコーダーから増設 HDD が認識できなくなる可能性があります。工場出荷時、HDD モジュールはロックされた状態になっていますので、付属のセキュリティキーを使用して意図せずロック解除しないよう、注意してください。

⚠ 注意

増設 HDD ユニット設置の際は、振動の影響を受けないように注意してください。段積みをしない、不安定な場所に置かない、安定したラックに組込む等、振動対策がなされているか確認してください。振動の影響を受ける設置は故障の原因になります。

⚠ 注意

- ・増設 HDD ユニットを接続する USB ケーブルは増設 HDD ユニット付属の USB ケーブルを使用してください。付属品より長い USB ケーブルを使用すると正常に動作ません。
- ・増設 HDD ユニットを接続する USB ケーブルは、USB3.0(*1)専用のケーブルを使用してください。USB3.0 専用以外のケーブルを使用すると正常に動作しません。
(*1)増設 HDD ユニット ER206B32 を使用する場合は、USB3.2 となります。
- ・嵌合部分にストレスがかからないように余裕をもって設置してください。
- ・USB ケーブルはクランプしないでください。
- ・設置後に移動した場合は、必ず、USB ケーブルがしっかりと接続されていることを再

⚠ 注意

増設 HDD ユニット及び USB メモリ(USB-HDD 含む)をレコーダーに接続する場合は、増設 HDD ユニット電源投入後 30 秒以上間隔を空けて 1 台ずつ接続してください。間隔を空けずに接続すると正常に認識されないことがあります。
万が一、接続した増設 HDD ユニットがレコーダーで認識されなかった場合は、一旦、レコーダーを再起動してください。

1.1.1.4. レコーダーの設定

増設 HDD ユニットへ記録・再生が行えるよう、レコーダーの設定を行います。レコーダーの設定については、取扱説明書「10.3 デバイス設定をする」を参照ください。

※NR-5200/5280 の取扱説明書では、11.5 章を参照ください。

1.1.1.5. 増設 HDD ユニットの登録解除および取外し

マスター記録のデバイスとして登録されている増設 HDD ユニットの登録解除、取外しの手順については、「13.6 拡張用機器を接続する」の「増設 HDD ユニットを取り外す」を参照ください。

※NR-5200/5280 の取扱説明書では、8.3 章および 11.5 章を参照ください。

① デバイス設定画面にて増設 HDD ユニットを登録解除後、再度、登録し記録を再開する場合、登録した順番で、増設 HDD ユニットの先頭データから記録データが上書きされますのでご注意ください。

また、デバイス設定画面にて増設 HDD ユニットの取外し処理を行い USB ケーブルをレコーダーから取外した後、再度、USB ケーブルを接続し記録を再開する場合も同様に、登録した順番で、増設 HDD ユニットの先頭データから記録データが上書きされますのでご注意ください。詳細は 1.1.1.11 項を参照してください。

1.1.1.6. 増設 HDD ユニットの運用モード

増設 HDD ユニット(MR206B3 / MR206B3S / ER206B32)は、HDD を 6 台搭載している 24TB 版(4TB × 6)と 12TB 版(2TB × 6)、HDD を 3 台搭載している 6TB 版(2TB × 3)があります(6TB は MR206B3/MR206B3S のみで出荷未定)。24TB 版と 12TB 版は RAID 6、RAID 5、RAID 0、シングルモードでの運用が可能であり、6TB 版は RAID 5、RAID 0、シングルモードでの運用が可能です。

但し、6TB 版(2TB × 3)については、RAID 0 から RAID 5 への運用変更はできません。

各モードの設定詳細は、増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照ください。



シングルモードで運用可能な増設 HDD ユニットは形名が MR206B3S / ER206B32 になります。必ず装置背面の銘板にて形名を確認してください。シングルモードをサポートしていない増設 HDD ユニットをシングルモードに設定すると正常に動作しません。
また、ER206B32 のシングルモードをご使用の場合は、NR-5200/5280(SYS.Nx.56.12 以降のバージョン)をご使用ください。

1.1.1.7. 増設 HDD ユニットの運用モード変更

運用に合わせて、増設 HDD ユニット(MR206B3 / MR206B3S / ER206B32)の運用モードを変更します。運用モードの変更については、増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照ください。レコーダーの設定については、取扱説明書「10.3 デバイス設定をする」を参照ください。

※NR-5200/5280 の取扱説明書では、11.5 章を参照ください。

① 増設 HDD ユニットのシングルモードに対応しているレコーダーは NR-5200/5280 のみになります。

基本的な手順は以下のとおりです。

(1) RAID モードからシングルモードに変更する場合

- ① 増設 HDD ユニットを登録解除し、レコーダーから取外す。
- ② 増設 HDD ユニットの運用モードをシングルモードに変更する。
- ③ 増設 HDD ユニットをレコーダーに接続する。
- ④ レコーダーのデバイス設定画面より当該増設 HDD ユニットに搭載された全ての HDD モジュールを初期化する。
- ⑤ 全ての HDD モジュールを初期化後、当該増設 HDD ユニットを再起動する。
- ⑥ レコーダーのデバイス設定画面にて[更新]ボタンクリックし、④で初期化した HDD モジュールがデバイス一覧リストに表示されることを確認する。
- ⑦ 当該増設 HDD ユニットに搭載された全ての HDD モジュールをレコーダーに登録する。

(2) シングルモードから RAID モードに変更する場合

- ① 増設 HDD ユニットを登録解除し、レコーダーから取外す。
- ② 増設 HDD ユニットの運用モードを RAID モードに変更する。
- ③ 増設 HDD ユニットをレコーダーに接続する。
- ④ レコーダーのデバイス設定画面より当該増設 HDD ユニットを初期化する。
- ⑤ 初期化後、当該増設 HDD ユニットを再起動する。
- ⑥ レコーダーのデバイス設定画面にて[更新]ボタンクリックし、④で初期化した増設 HDD ユニットがデバイス一覧リストに表示されることを確認する。
- ⑦ 当該増設 HDD ユニットをレコーダーに登録する。

(3) 増設 HDD ユニットの RAID モードを変更する場合

- ① 増設 HDD ユニットを登録解除し、レコーダーから取外す。
- ② 増設 HDD ユニットの RAID モードを変更する。
- ③ 増設 HDD ユニットをレコーダーに接続し、初期化後、登録する。

④ 増設 HDD ユニットの運用モード又は RAID モードを変更すると、記録データが全て消去されますのでご注意ください。

1.1.1.8. NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5200/5280 と増設 HDD ユニットを接続した場合

NR-5000/5041/5080/8200/5512/5280 単体での記録時間および、NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5200/5280 に増設 HDD ユニットを接続した場合の記録時間については、取扱説明書「15.3 記録時間表」を参照ください。

※NR-5200/5280 の取扱説明書では、16 章を参照ください。

1.1.1.9. HDD の削除、追加による記録動作



NR-5000/5041/5080/5100/5000C/5512/8200/5200/5280 で使用した内蔵 HDD および増設 HDD を他の NR-5000/5041/5080/5100/5000C/5512/8200/5200/5280 へ移設した場合、セキュリティの観点から、移設先での登録、記録、再生は出来ません。記録用 HDD として使用する場合は、初期化を行った上で使用してください。

1.1.1.9.1. シングルモード運用中の HDD の交換

シングルモードでご使用中の増設 HDD ユニットにて HDD モジュールを交換する場合は、以下の手順で行ってください。
増設 HDD ユニットの取扱いについては、増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照ください。

- (1)交換対象の HDD モジュールを増設 HDD ユニットから取り外す。
- (2)レコーダーのデバイス設定画面のデバイス一覧リストに交換対象の HDD モジュールが表示されていないことを確認する。
- (3)新しい HDD モジュールを増設 HDD ユニットに取り付ける。
- (4)レコーダーのデバイス設定画面で[更新]ボタンをクリックし、新しく取り付けた HDD モジュールがデバイス一覧リストに表示されることを確認する。
- (5)レコーダーのデバイス設定画面で当該 HDD モジュールを選択し、初期化後、登録する。

(!)誤って HDD モジュールを抜いてしまった場合は、一度、レコーダーの電源を落とし、HDD モジュールを接続後(元に戻した後)にレコーダーの電源を入れてください。

(!)HDD モジュールの容量を変更(例えば、2TB から 4TB に変更)する場合は、一度、レコーダーの電源を落とし、HDD モジュールを接続後にレコーダーの電源を入れてください。

(!)同一レコーダーに接続された増設 HDD ユニット間で HDD モジュールを入れ替える場合、一度、交換先の増設 HDD ユニットの電源を落とし、HDD モジュールを入替後に交換先の増設 HDD ユニットの電源を入れてレコーダーと接続してください。



増設 HDD ユニットには異なる容量の HDD モジュールを実装しないでください。HDD モジュールの容量を変更する場合は、全ての HDD モジュールの容量を変更してください。

1.1.1.10. 増設 HDD ユニット運用時のレコーダー本体交換処置について

故障等でレコーダーを交換した場合、増設 HDD ユニットに記録されたデータを扱うためには、保守アプリが必要です。
販売店へご相談ください。

1.1.1.11. 記録開始動作の注意事項

増設 HDD ユニットの取外し処理後の再接続、増設 HDD ユニット運用時のレコーダー本体交換後における記録動作については以下となりますのでご注意ください。

(記録動作例)

変更前：増設 HDD ユニットの取外し処理前、増設 HDD ユニット運用時のレコーダー本体交換前

変更後: 増設 HDD ユニットの取外し処理後の再接続、増設 HDD ユニット運用時のレコーダー本体交換後

■:記録あり

□:記録なし

【変更前の登録順】

増設 HDD ユニット HDD1: []

増設 HDD ユニット HDD2: ■ ■ ■ ■ ■ □ □ □ □ □ □ □

増設 HDD ユニット HDD3: □□□□□□□□□□□□

【変更後の登録順序を HDD1,HDD2,HDD3 とした場合】

増設 HDD ユニット HDD1: [■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■]

↑次の書き込み位置(登録した順番で、先頭データから記録データが上書きされる)

増設 HDD ユニット HDD2: ■■■■□□□□□□□□

増設 HDD ユニット HDD3: □□□□□□□□□□□□

【変更後の登録順序を HDD3,HDD2,HDD1 とした場合】

増設 HDD ユニット HDD3: □□□□□□□□□□□□

↑次の書き込み位置(登録した順番で、先頭データから記録データが上書きされる)

増設 HDD ユニット HDD2: ■ ■ ■ ■ ■ □ □ □ □ □ □

増設 HDD ユニット HDD1: []

【変更後の登録順序を HDD2,HDD1,HDD3 とした場合】

増設 HDD ユニット HDD2: ■ ■ ■ ■ ■ □ □ □ □ □ □ □

↑次の書き込み位置(登録した順番で、先頭データから記録データが上書きされる)

増設 HDD ユニット HDD3:□□□□□□□□□□□□

1.1.1.12. 増設 HDD ユニット RAID 状態の監視方法

- (1)レコーダーS/W バージョン SYS.N1.06.19 以降では、増設 HDD の HDD モジュール故障が発生した場合、レコーダーの機器故障に「RAID 異常(増設 HDD)」発生の通知が表示されます。このとき、レコーダー後面部 I/O 端子のうち、「12:HDD エラー出力端子」からエラー信号を出力します。
※NR-5200/5280 は、全ての S/W バージョンで本機能は動作します。

増設 HDD の故障 HDD モジュールを交換後、増設 HDD のリカバリー動作が開始すると、レコーダーに「RAID 異常(増設 HDD)」復旧の通知が表示されます。

「発生場所」に記載される増設 HDD 名称末尾の数字は、増設 HDD を接続している、レコーダー後面部「EXT STORAGE」端子の番号に対応します。

増設 HDD の HDD モジュール故障検出時のレコーダー機器故障表示について

| RAID 設定 | 増設 HDD の故障 HDD モジュール台数 | | |
|---------|------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| | 1 台目 | 2 台目 | 3 台目 |
| RAID 0 | RAID 異常(増設 HDD) *5 | 通知無し | 通知無し |
| RAID 5 | RAID 異常(増設 HDD) | 通知無し *1 RAID 異常(増設 HDD) *2 *5 | 通知無し |
| RAID 6 | RAID 異常(増設 HDD) | 通知無し *1 *4 RAID 異常(増設 HDD) *3 | 通知無し *1 RAID 異常(増設 HDD) *2 *5 |

*1 HDD モジュールが故障した状態で、他の HDD モジュールが故障した場合、新たな故障発生の通知はありません。但し増設 HDD の警報音は、1 台目の HDD モジュール故障時と同様、2 台目以降の HDD モジュール故障時にも鳴動します。

*2 故障 HDD モジュールのリカバリー中に、縮退運転可能な故障台数(RAID 5:1 台、RAID 6:2 台)を超えて HDD モジュールが故障した場合、新たに故障発生が通知されます。

*3 1 台目の故障 HDD モジュールを交換しリカバリー中に、2 台目の HDD モジュールが故障した場合、1 台目 HDD モジュールのリカバリー終了後に故障発生が通知されます。但し増設 HDD の警報音は、1 台目の HDD モジュール故障時と同様、2 台目の HDD モジュール故障時にも鳴動します。

*4 1 台目の故障 HDD モジュールを交換しリカバリー中に、2 台目の HDD モジュールが故障し 2 台目の HDD モジュールを交換した場合、2 台目の故障発生及び復旧通知はありません。但し増設 HDD の警報音は、1 台目の HDD モジュール故障時と同様、2 台目の HDD モジュール故障時にも鳴動します。

*5 書込み中である増設 HDD の HDD モジュールが故障し、記録を継続できない場合は、「HDD 異常(1001)」も通知されます。

- (2)レコーダーS/W バージョンが SYS.N1.06.19 より前の場合、増設 HDD ユニット側の RAID 設定によっては、HDD 障害については増設 HDD ユニット側で縮退運転することで動作継続を可能とするため、レコーダーで HDD 障害発生を検知することができません。増設 HDD 側では、FAIL-LED が点灯し、警告ブザーが鳴動します。
増設 HDD ユニットで発生した障害については、以下の方法で、レコーダー以外から確認することができます。

- ①WEB サーバ機能を使った監視
- ②メール送信機能を使った確認
- ③SNMP の MIB による確認

詳細については、MR206B3 / MR206B3S / ER206B32 シリーズ 取扱説明書 2.7 イーサネット接続によるモニタとセットアップ を参照してください。

1.1.1.13. 増設 HDD ユニットのサービスパーツと定期交換部品

増設 HDD ユニット(BIOS 社製 MR206B3 / MR206B3S / ER206B32)のサービスパーツを用意しています。詳細は販売店までお問い合わせください。

HDD は消耗劣化する部品のため、使用時間が 20,000 時間(*1)を超えると読み出し/書き込みエラーなどが発生し始め、30,000 時間(*1)を超えると可動部品の劣化の影響などで故障が発生しやすくなります。故障の早期発見のため、1 年ごとに点検、3 年を目安に交換依頼されることをお勧めします(但し、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません)。

(*1)周辺温度を+25°C以下で使用した場合

1.1.1.14. 増設 HDD ユニットのゴム足×4(付属品)取付けについて

増設 HDD ユニット(BIOS 社製 MR206B3 / MR206B3S / ER206B32)のゴム足×4(付属品)取付けについては、下図を目安としてください(角から各辺約 30mm の直角に隣接するようにゴム足を装着)。

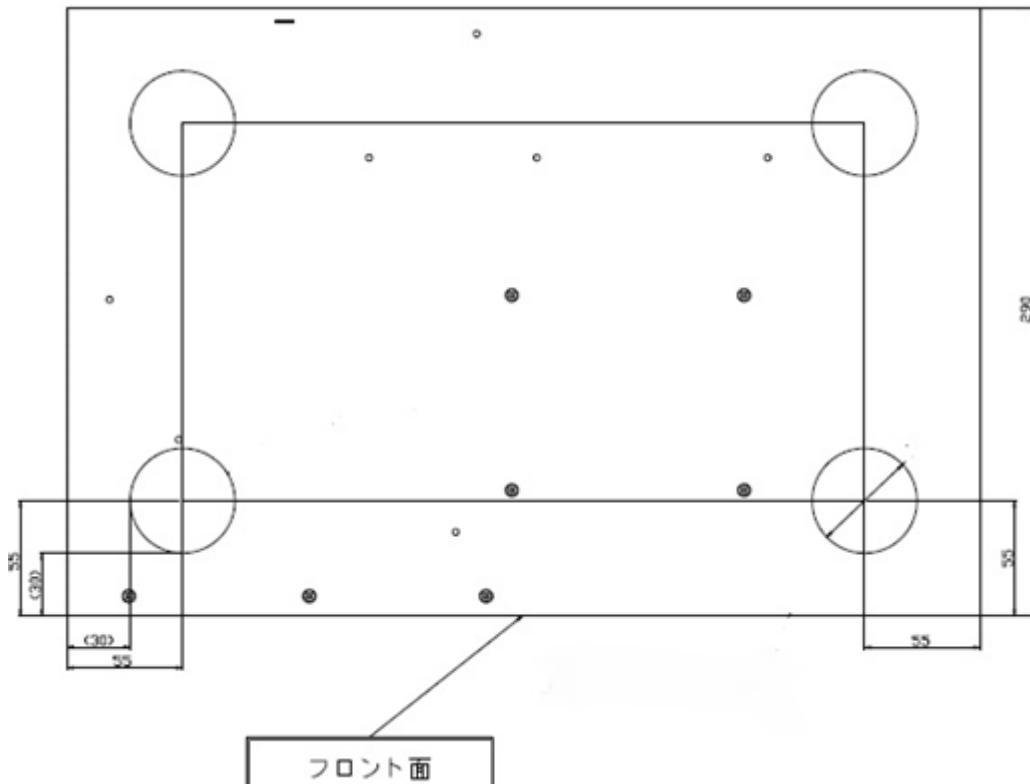


図 製品を底面から見た図(例:増設 HDD ユニット(MR206B3))

1.2. UPS(無停電電源装置)

ネットワークビデオレコーダーを UPS から給電すると、次の様なメリットがあります。

- ① 停電が発生した場合にレコーダーを安全に停止させ、記録済みの画像を保全することができます(UPS 連動機能)。UPS を使用していない場合、停電によって記録済み画像に欠落が生じ、レコーダーのシステムに不整合が生じ起動できなくなる場合があります。
- ② 停電が発生している間(数分間)も録画を続け、監視漏れを防止することができます。停電中に録画を継続するには、周辺機器も UPS から給電されている必要があります。その場合、消費電力に応じて UPS は大容量のものを選定する必要があります。
- ③ 電源電圧の変動やノイズが多い環境において、電源を安定化することができます。常時商用給電方式の UPS では、入力が正常範囲にある限り、商用電源の変動がそのまま出力されます。更に、電源の安定化を目的とする場合は、常時インバータ給電方式や階調制御インバータ方式の UPS をお薦めします。
 - ① ネットワークビデオレコーダーは、PFC(力率改善)回路を搭載しています。矩形波出力の UPS を使用すると、故障する恐れがあります。必ず、正弦波出力の UPS をお使いください。
 - ① 嵌合部分にストレスがかかるないように余裕をもって設置してください。
 - ① 設置後に移動した場合は、必ず、USB ケーブルがしっかりと接続されていることを再度、確認してください。
 - ① NR-5000C は UPS を使用できません。
 - ① WV シリーズのカメラを複数台接続したシステムの場合、MELOOK3 レコーダーの終了に 90 秒以上かかることがあります。停電時の UPS 出力停止までの時間は、120 秒以上に設定してください。

1.2.1. オムロン(BN75R)

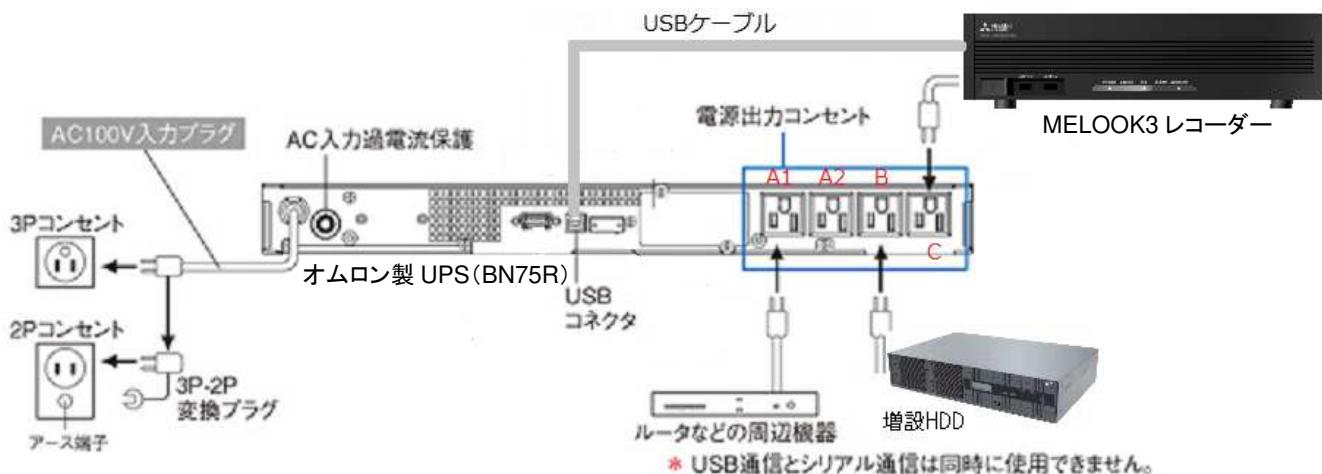
ネットワークビデオレコーダーでは、AC 電源異常と連動して自動シャットダウンを行う UPS 連動機能として、オムロン(BN75R)との連動をサポートしています。

1.2.1.1. 設置

オムロン(BN75R)の取扱説明書を参照してください。

1.2.1.2. 電源系統

オムロン(BN75R)を使った接続例について、以下に示します。



| コンセント# | 接続機器 |
|--------------|-----------------------|
| コンセント A1, A2 | 周辺機器(モニタ、増設 HDD、ルータ等) |
| コンセント B | |
| コンセント C | レコーダー |

⚠ 注意

- ・接続機器の定格の総和が、UPS の出力定格容量を超えないようにしてください。
- ・コンセントが不足する場合、電源タップ等を利用ください。
- ・必ず FG を接地してください。接地しない場合、誤作動の原因になる場合があります。

1.2.1.3. レコーダーの設定

ドライバ等のインストール作業は不要です。

停電が発生して、UPSからの給電に切り替わり、レコーダーがシャットダウンするまでの時間は、初期値：300秒に設定しています。変更が必要な場合は、販売店までご連絡ください。

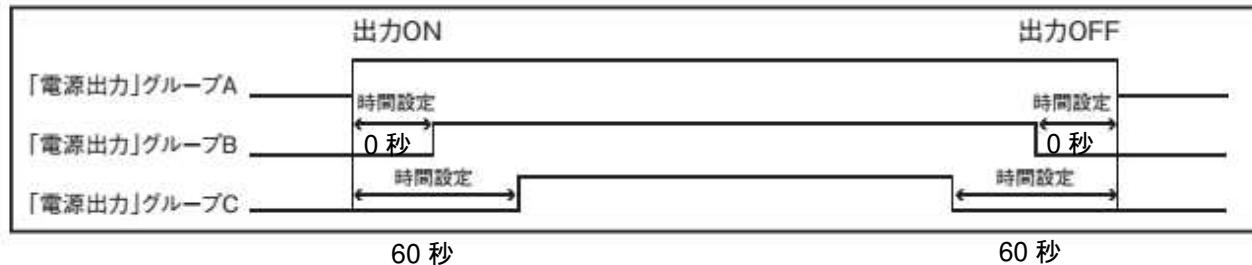
設定した時間以内に停電が復旧した場合、レコーダーはシャットダウンせず、運用を継続します。

1.2.1.4. オムロン(BN75R)の設定

オムロン(BN75R)のLCDメニューから以下を設定します。

- ① セッティ…ローカルセッティ…メニュータイプ…アドバンス
- ② セッティ…キドウセッティ…コンセントチエンジカン

| menu | 時間設定(秒) | 備考 |
|------------|---------|-------|
| コンセントB ON | 0 | 周辺機器 |
| コンセントC ON | 60 | レコーダー |
| コンセントB OFF | 0 | 周辺機器 |
| コンセントC OFF | 60 | レコーダー |



1.2.1.5. 動作確認

UPSを接続する場合は、運用を始める前に必ず動作確認を行ってください。正しく動作しない場合は、販売店までご相談ください。

1.2.2. 三菱電機(FW-J10-0.5K)

ネットワークビデオレコーダーS/W バージョン:SYS.05.36 以降では、三菱電機製 FW-J10-0.5K との接続で、レコーダーのシャットダウンに関する電源運動が可能です。

- ① 増設 HDD 登録外れを防止するため、増設 HDD はレコーダーよりも後に電源 OFF し、レコーダーよりも先に電源 ON する必要があります。そのため増設 HDD を使用するシステム構成では、1.2.1.項のようにコンセント運動可能であるオムロン製 UPS(BN75R)をご使用下さい。
- ② 三菱電機製UPSで電源運動機能を使用する場合は、レコーダーS/W バージョンを SYS.05.32 以上にしてください。

1.2.2.1. 設置

三菱電機製 UPS(FW-J10-0.5K) の取扱説明書を参照してください。

1.2.3. 三菱電機(FW-A シリーズ)

ネットワークビデオレコーダーS/W バージョン:SYS.05.36 以降では、三菱電機製 FW-A シリーズ(FW-A10H-0.7K/1.0K/1.4K)との接続で、レコーダーのシャットダウンに関する電源運動が可能、かつ、増設 HDD を使用する場合のコンセント運動動作が可能です。

1.2.3.1. 設置

三菱電機製 FW-A シリーズの取扱説明書を参照してください。

1.2.3.2. FW-A シリーズの設定

FW-A シリーズのうち、FW-A10H-0.7K の設定を例として以下に示します。

FW-A10H-0.7K の設定には、設定用 S/W「UPSSET」、USB ポートを備えた Windows PC、USB2.0 ケーブル(1 本)が必要です。「UPSSET」の入手については FW-A10H-0.7K 取扱説明書の記事を参照してください。

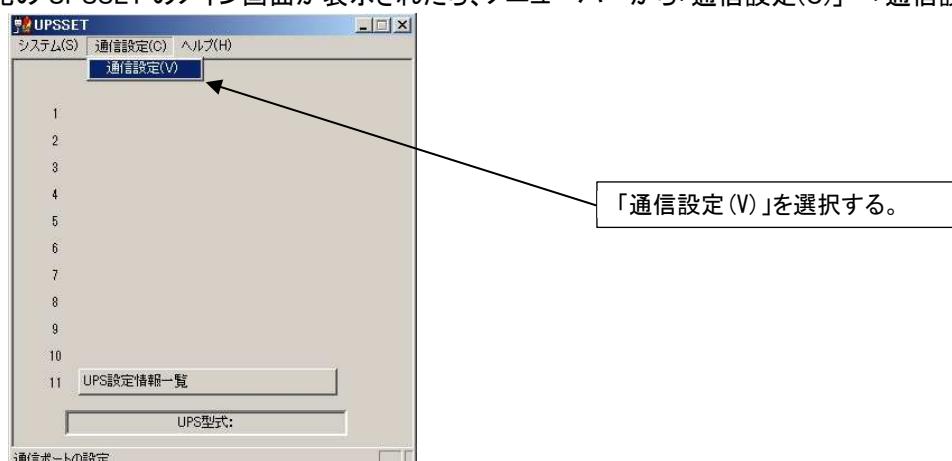
「UPSSET」のバージョンは、2017 年 10 月時点で「5.00」(upsset_ver500)が最新です。

<設定手順>

- ① FW-A10H-0.7K の電源投入前に、背面にあるディップスイッチの SW1 と SW6 を共に「ON」側に設定し、SW2 から SW5 は「OFF」状態のままでします。
- ② Windows PC の USB 端子と FW-A10H-0.7K 背面にある USB コネクタ間を、USB2.0 ケーブルで接続します。
- ③ FW-A10H-0.7K の電源を投入し、事前に入手済みの「UPSSET」を PC 側で解凍してできたフォルダ内にある「upsset.exe」をダブルクリックして起動します。
- ④ 「ユーザー アカウント制御」のメッセージが表示された場合は「OK」ボタンを押します。
- ⑤ 下記の「通信エラーです。…」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンを押します。



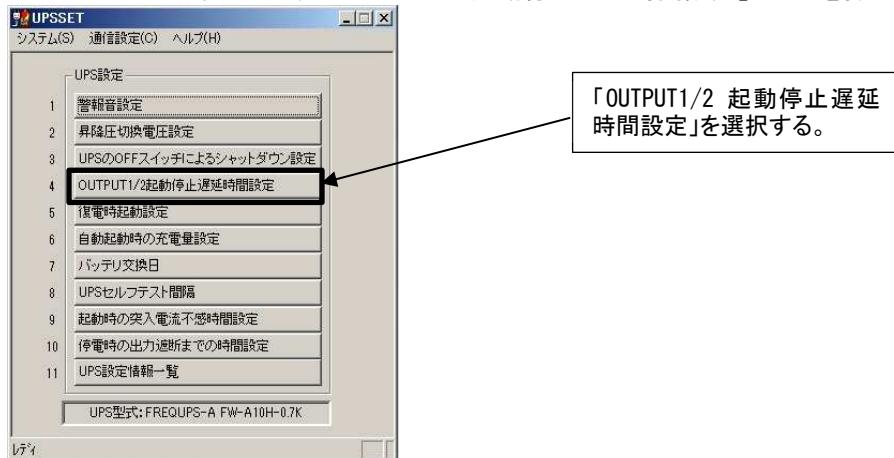
- ⑥ 下記の UPSSET のメイン画面が表示されたら、メニュー バーから「通信設定(C)」→「通信設定(V)」を選択します。



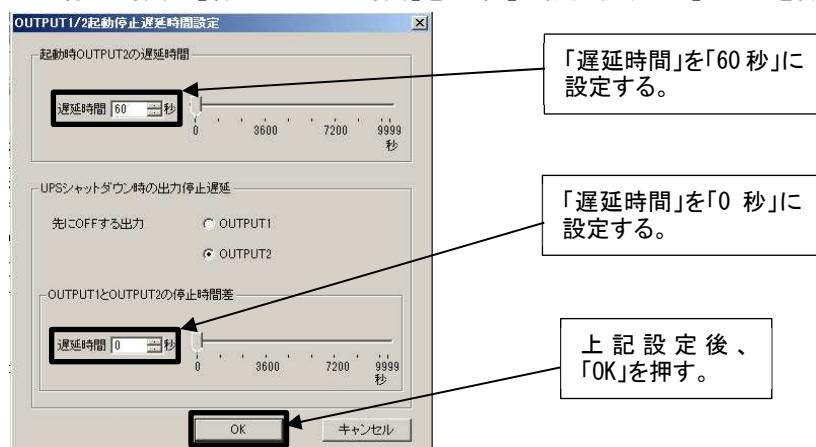
⑦下記の通信設定ウインドウが表示されたら、「USB 通信」を選択してから「OK」ボタンを押します。



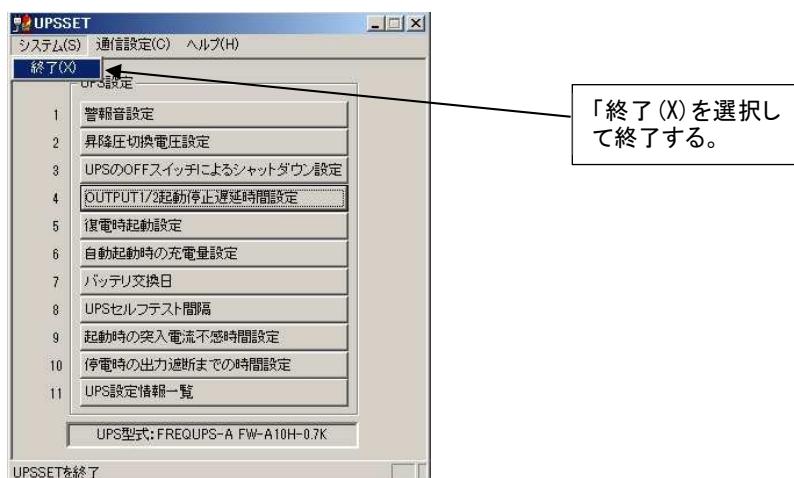
⑧UPSSET のメイン画面に戻ったら、「OUTPUT1/2 起動停止遅延時間設定」ボタンを押します。



⑨OUTPUT1/2 起動停止遅延時間設定ウインドウが開くので、「起動時 OUTPUT2 の遅延時間」枠内の「遅延時間」を「60 秒」に、「UPS シャットダウン時の出力停止遅延」枠名の「先に OFF する出力」を「OUTPUT2」に、「OUTPUT1 と OUTPUT2 の停止時間差」枠内の「遅延時間」を「0 秒」に設定後、「OK」ボタンを押します。

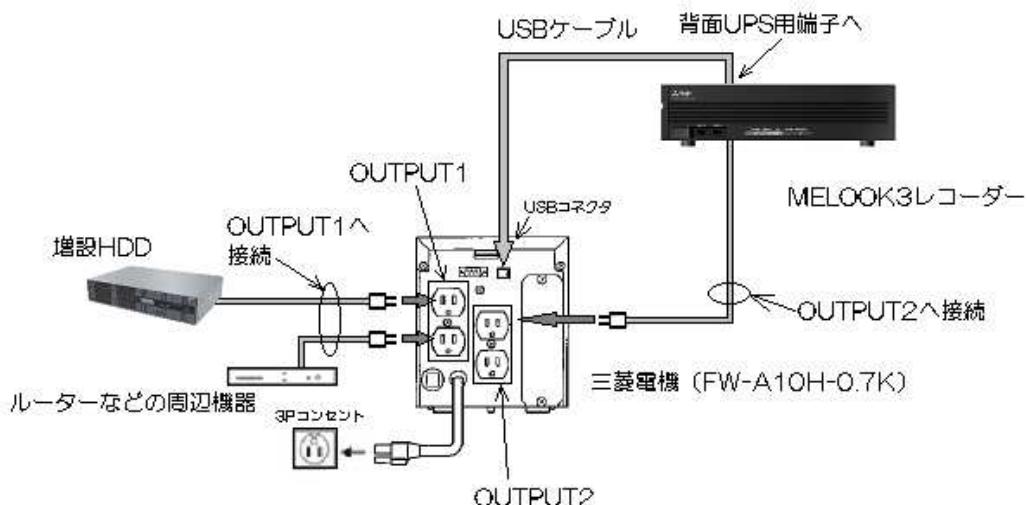


⑩UPSSET のメイン画面に戻ったら、メニューバーから「システム(S)」→「終了(X)」を選択して設定を終了します。



1.2.3.3. 電源系統

三菱電機製 FW-A10H-0.7K を使った接続例について、以下に示します。



| コンセント種別 | 接続機器 |
|---------|----------------------|
| OUTPUT1 | 周辺機器機器（増設 HDD、ルーター等） |
| OUTPUT2 | レコーダー |

！注意

- 接続機器の定格の総和が、UPS の出力定格容量を超えないようにしてください。
- コンセントが不足する場合、電源タップ等を利用ください。
- 必ず FG を接地してください。接地しない場合、誤作動の原因になる場合があります。

1.2.3.4. レコーダーの設定

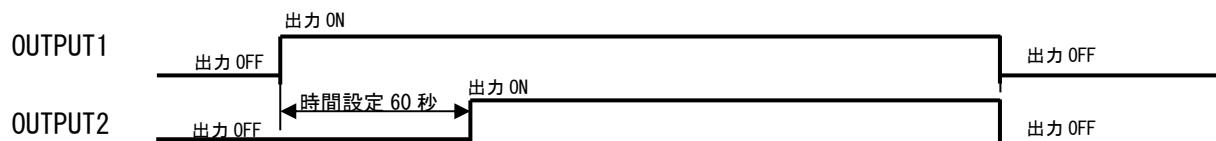
ドライバ等のインストール作業は不要です。

停電が発生して、UPS からの給電に切り替わり、レコーダーがシャットダウンするまでの時間は、初期値：300 秒に設定しています。変更が必要な場合は販売店までご連絡ください。

設定した時間以内に停電が復旧した場合、レコーダーはシャットダウンせず、運用を継続します。

1.2.3.5. 電源投入/遮断時の動作

「1.2.3.2. FW-A10H-0.7K の設定」に従って設定を行った場合、FW-A10H-0.7K の 2 種類のコンセント「OUTPUT1」「OUTPUT2」は、以下のとおり時間差をもった出力制御が行われます。



1.2.3.6. 動作確認

UPS を接続する場合は、運用を始める前に必ず動作確認を行ってください。正しく動作しない場合は、販売店までご相談ください。

1.3. 他社カメラ

1.3.1. AXIS カメラ

MELOOK3 レコーダーに AXIS カメラを収容する場合、予めブラウザ経由で AXIS カメラへの個別設定が必要です。接続できるカメラは下記表の通りです。接続可能なカメラ機種と MELOOK3 レコーダーの対応バージョン詳細は、当社のホームページも併せてご参照ください。

http://www.mitsubishielectric.co.jp/nwcamera/melook3/pdf/melook3_camera.pdf

| カメラ種別 | 接続可能な AXIS カメララインナップ | カメラ F/W バージョン |
|------------|---|---------------------------|
| 固定ボックス型カメラ | P1365、P1365-E | 6.30.1 |
| | P1365 Mk II、P1365-E Mk II | 6.40.1.1 |
| | M1124、M1124-E | 8.15.1 |
| | M1135、M1135-E | 9.60.1 |
| 固定ドーム型カメラ | P3225-LV、P3225-LVE | 6.30.1 |
| | P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II | 6.55.2/8.40.3 |
| | P3224-V Mk II | 8.20.1 |
| | P3245-V | 9.60.1 |
| | P3245-LV、P3245-LVE | 9.60.1/9.80.3.9/9.80.3.14 |
| 固定バレット型カメラ | P1435-LE | 6.30.1 |
| PTZ 型カメラ | P5515、P5515-E | 6.20.1.2 |
| | P5635-E Mk II | 6.50.1.1 |
| | M5525-E | 7.25.1/8.20.1 |
| | P5655-E | 9.60.1.2 |
| 全方位カメラ | M3007-P、M3007-PV、M3027-PVE ※NR-52XX は、Ver.SYS.Nx.55.03 以降のバージョンでは非対応となります。 | 6.30.1 |
| | M3047-P、M3048-P | 7.15.2.3 |
| | M3057-PLVE | 8.50.1 |
| | M3067-P、M3068-P | 9.80.2.4 |

- ① カメラの動作状態によっては、カメラ接続中にも関わらず、カメラ設定によって全カメラの接続状態が「未接続」と表示される場合があります。この場合、レコーダーを再起動し、再度、カメラ設定を行ってください。
なお、レコーダーの再起動後も同様の症状が継続する場合は、販売店までご連絡ください。

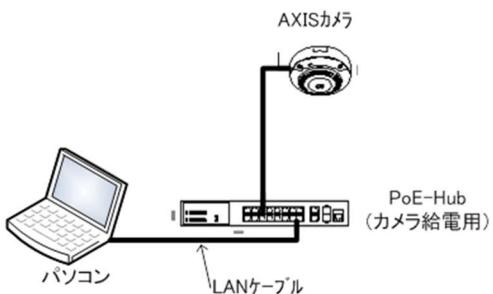


図 AXIS カメラ設定時の接続構成(※)

※AXIS カメラに図 AXIS カメラ設定時の接続構成でアクセスする際の PC スペックやブラウザに関しては、以下の表を参考にしてください。また、AXIS カメラをブラウザ経由で設定するには AXIS Media Control と H.264 Decoder のインストールが必要です。インストール手順は【AXIS Media Control インストール方法】及び【H.264 Decoder インストール方法】を参照してください。

AXIS カメラをブラウザ経由で操作する為に必要な PC スペック

| | |
|-----------|---|
| ブラウザ | Internet Explorer 6.0 以上 |
| OS | Microsoft Windows 2000 Microsoft Windows 2003 Server Microsoft Windows XP Professional Microsoft Windows Vista Microsoft Windows 2008 Server Microsoft Windows 7 |
| CPU | Intel Pentium III 1 GHz 以上, または同スペック以上の AMD processor |
| メモリ | 128 MB RAM |
| グラフィックカード | 64 MB video memory |
| S/W | DirectX 9.0 以上 |

① 表以外の PC スペックに関しては随時更新されておりますので、AXIS 社ホームページをご確認ください。

【AXIS Media Control インストール方法】

AXIS Media Control は、PC に管理者権限でログインし、Axis カメラまたはビデオエンコーダに初めてアクセスした際にインストールできます。手順は以下の通りです。

- ①Web ブラウザを起動し、アクセスするカメラまたはビデオエンコーダの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ブラウザの上部にあるダイアログバーに、「この Web サイトは、Axis Communications AB からのアドオンをインストールしようとしています。…」と表示された場合は、バーをクリックしてください。クリック後、出現するポップアップでインストールを選択します。

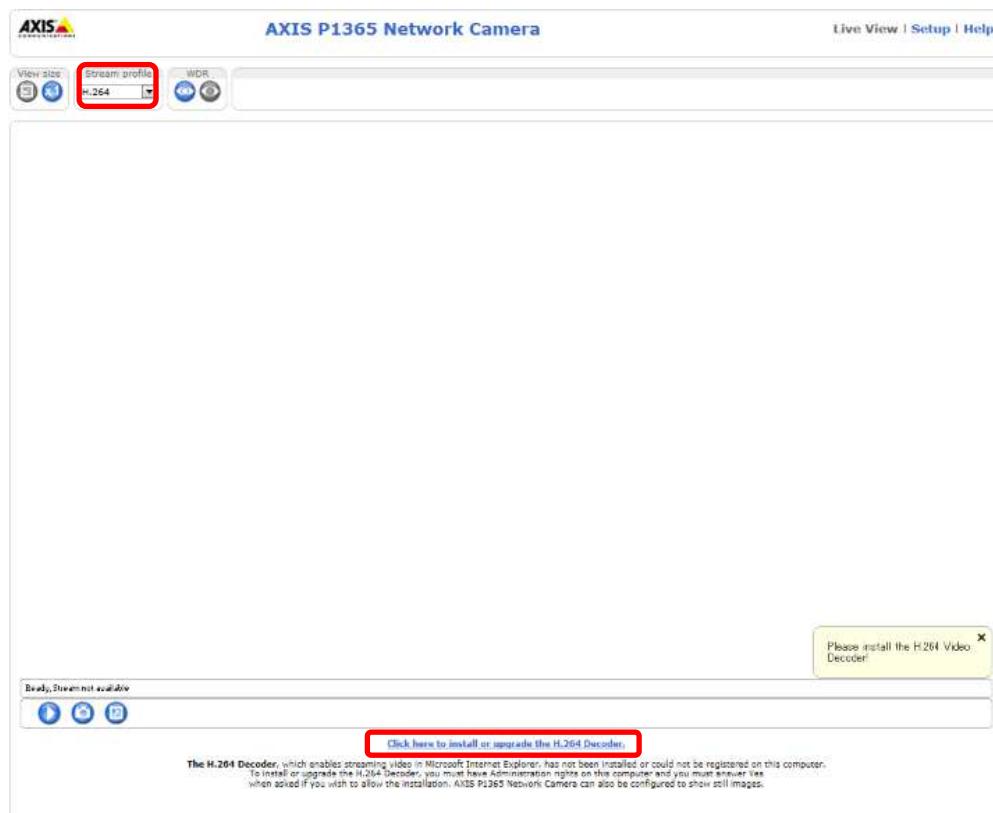


- ③Windows Vista、Windows 2008 Server の場合 AXIS Media Control をインストールするかどうかを確認するユーザー アカウント ポップアップが表示されます。[インストール]をクリックします。
- ④セキュリティ警告ダイアログが表示されます。「インストール」をクリックして、インストールを続行します。

【H.264 Decoder インストール方法】

H.264 Decoder は AXIS Media Control インストール後以下の手順で入手できます。

- ①Web ブラウザを起動し、アクセスするカメラまたはビデオエンコーダの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ブラウザの上部にある[Stream profile]を「Motion Jpeg」から「H.264」に変更してください。
- ③変更後、ブラウザ下部に表示される「Click here to install or upgrade the h.264Decoder」をクリックしてください。



- ④クリック後、表示されるポップアップ画面を下にスクロールして表示される選択肢で、「I accept Lisence agreement」を選択し、「OK」をクリックしてください。



- ⑤以下の表示に変わった後、「Close」をクリックしてください。



- (!) Internet Explorer でインストールを実行する場合は、ポップアップブロックを無効にしてください。
- (!) 詳細なインストール方法は、以下 URL(AXIS 社ホームページ AXIS Media Control ユーザマニュアル)にて記載しています。

URL: https://www.axis.com/files/manuals/AMC_UM_43756_en_1107.pdf

1.3.1.1. 固定ボックス型カメラ(P1365、P1365-E、P1365 Mk II、P1365-E Mk II)

固定ボックス型カメラ(P1365、P1365-E、P1365 Mk II、P1365-E Mk II)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた固定ボックス型カメラ(P1365、P1365-E、P1365 Mk II、P1365-E Mk II)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能のように、事前設定がされています。

NR-5200/5280に接続する場合は、1.3.1.1.1(9)の設定を必ず実施ください。

初期化する場合や接続CHを変更する場合は、予めブラウザ経由で1.3.1.1.1に示す初期設定が必要です(PoE-HUBやインジェクタ等でのPoE給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で1.3.1.1.2に示す設定変更が可能です。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.1.3に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.1.1. 初期設定

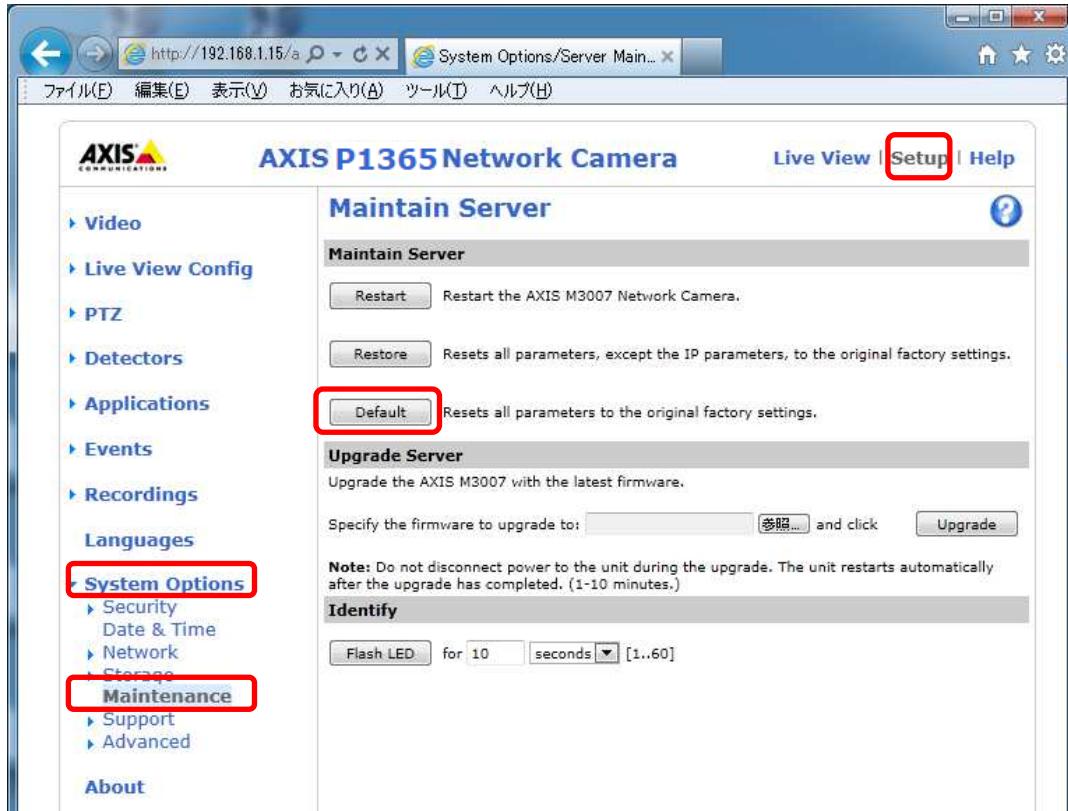
初期化する場合は[(1)初期化]～[(8)Zipstream 設定を変更する]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1) 初期化

【IP アドレスがわかる場合】

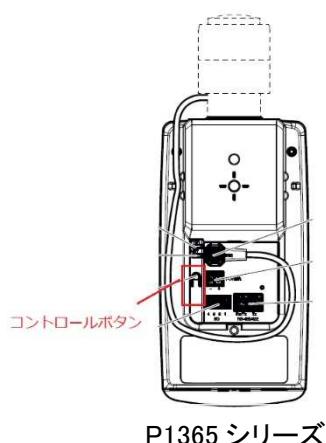
- ① ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ② Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③ [Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で「Default」を押下します。
- ④ AXIS 全方位カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ① ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ② コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③ コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④ コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定します(2か所入力)。「OK」ボタンを押下します。



- ③「英語を使用します」を選択します。



- ④ PTZ mode で「Digital PTZ」に設定します。



⑤Configure capture mode で「1080p 1920×1080(16:9)@25/30fps (WDR)」に設定します。



⑥「Power line frequency」で「50Hz」か「60Hz」を選択します(フリッカ設定)。「OK」ボタンを押下します。
フリッカ設定後、ブラウザ上に映像が表示されます。



!
フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

(3)セキュリティ設定1

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

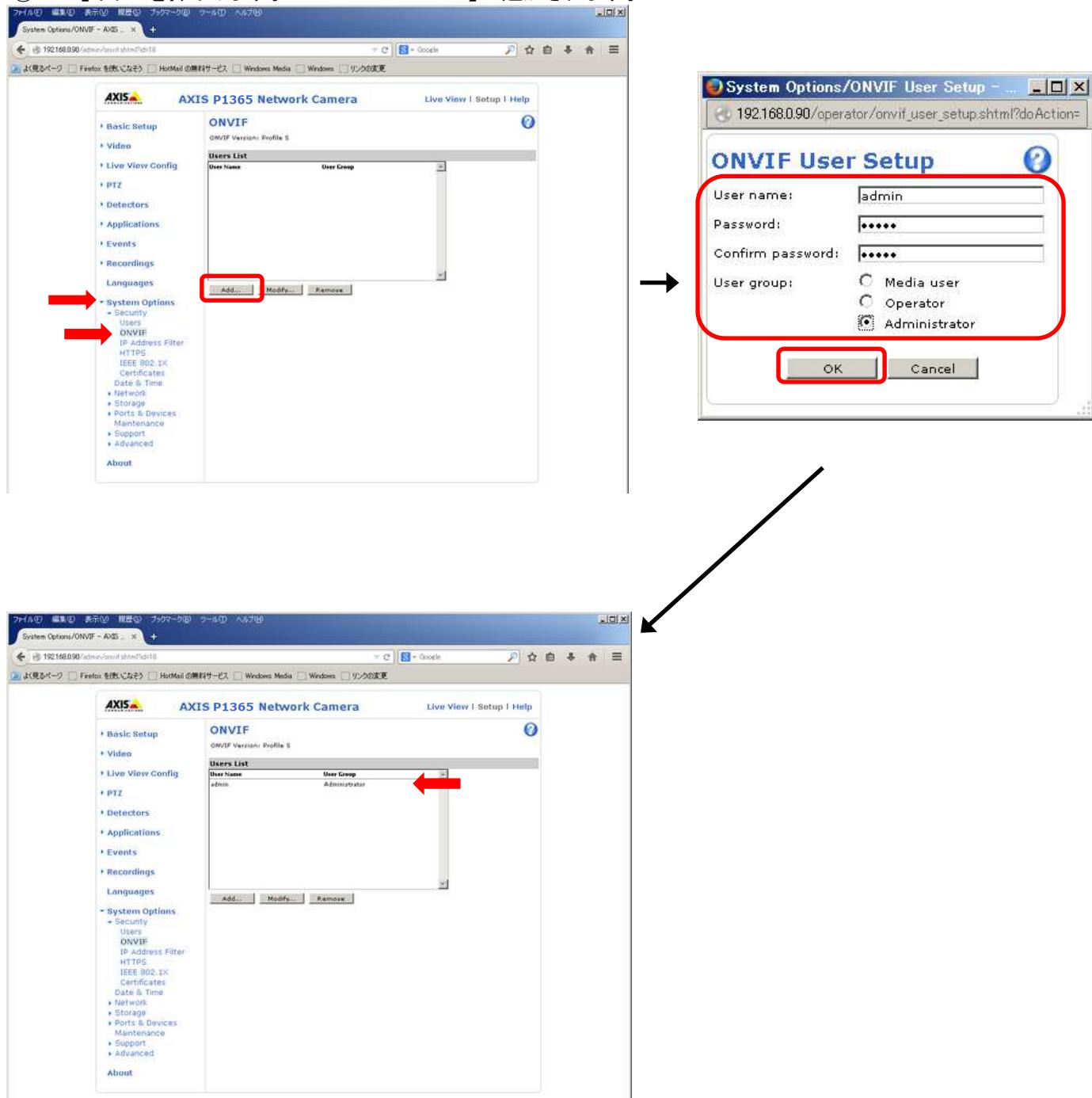
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [ONVIF] を選択します。「ADD...」ボタンを押下します。

ONVIF User Setup 画面が表示されます。

- 「User name」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Confirm Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「User group」 ⇒ 「Administrator」を選択します。

④「OK」ボタンを押下します。User Listに「admin」が追加されます。



(4)セキュリティ設定2

(セキュリティ設定1から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

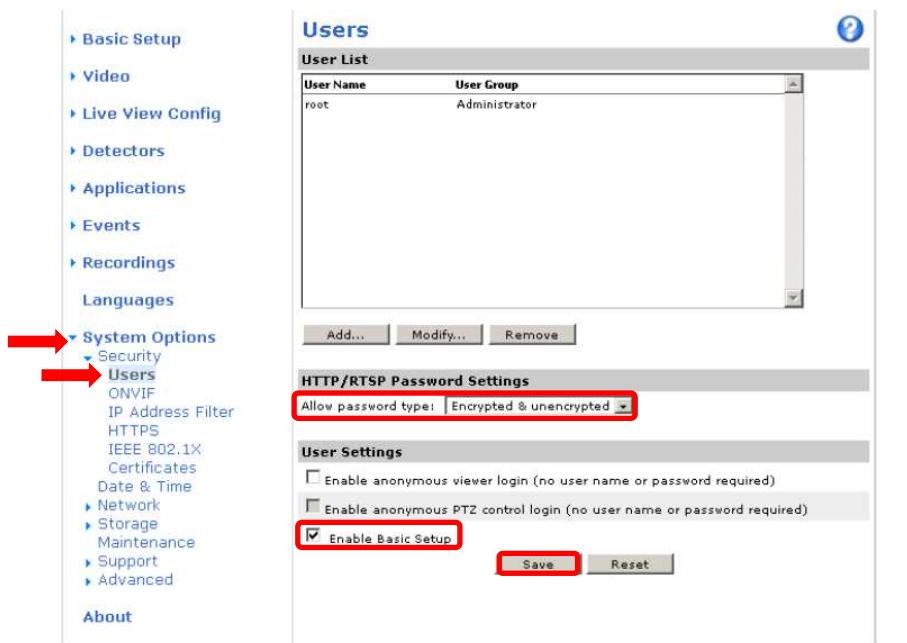
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users] を選択します。

④「HTTP/RTSP Password Setting」にて、プルダウンから「Encrypted & Unencrypted only」を選択します。

⑤「User Settings」にて、「Enable Basic Setup」をチェックします。

⑥「Save」を押下します。



⑦セキュリティ設定を行った後、「Save」を押すとユーザ名、パスワードの入力を求めるポップアップが表示されますので、ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。



(5) ネットワーク設定

(セキュリティ設定2から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ [Setup](画面右上) → [System Options] → [Network] → 「Basic」を選択します。

④ 「IPaddress」を「192.168.1.1」にします。

(*) カメラを接続するレコーダーのCH番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512に接続するPoE給電スイッチングHUBの設定」に記載のIPアドレスを参照してください。

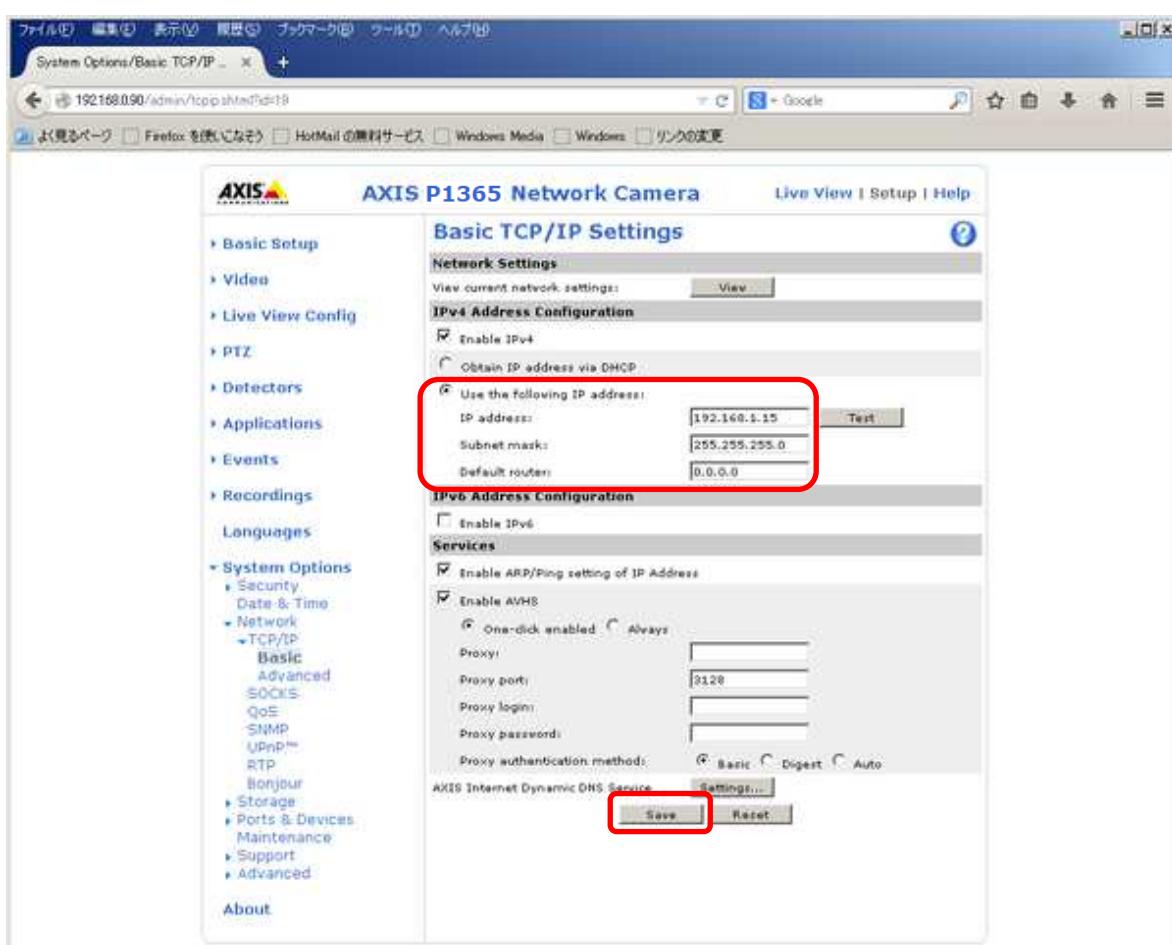
⑤ 「Subnet mask」を「255.255.255.0」にします。

⑥ 「Default router」を「0.0.0.0」にします(空欄は不可)。※購入時は空欄となっていますのでお気をつけ下さい。

⑦ 「Save」を押下します。

SAVEボタン押下後、カメラからの確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下してください。

!! NR-5200/5280に接続する際は、「IPaddress」「Subnet mask」「Default router」の値はネットワーク設計にあわせて設定して下さい。



(6) ビットレートを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

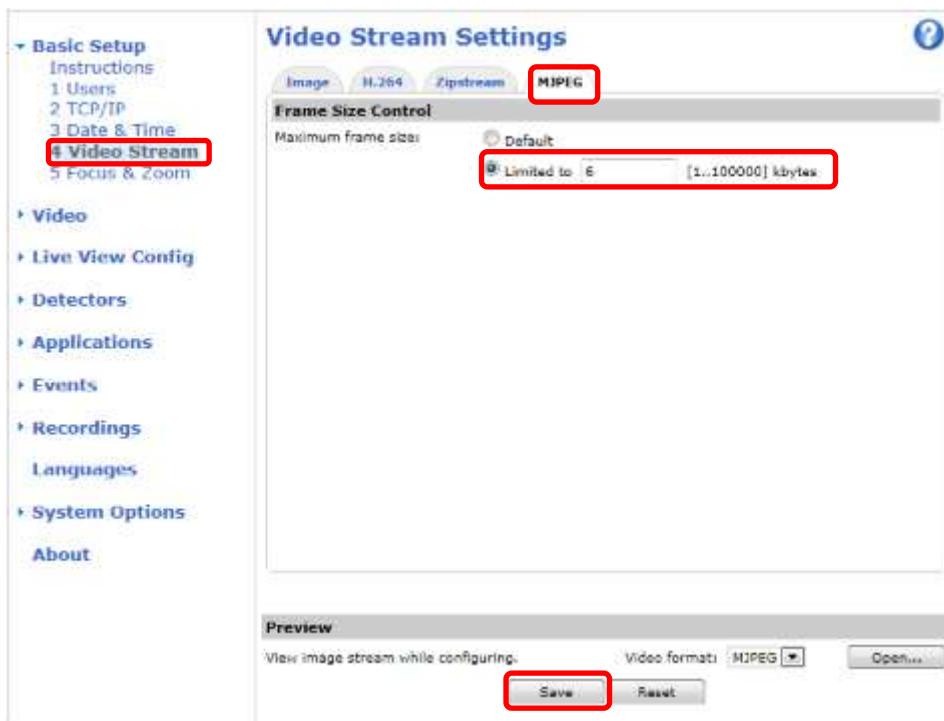
② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ [Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。

④ [Maximum frame size]で、[Limited to]を選択します。

⑤ [Limited to]のテキストボックスに、[6]を入力します。

⑥ 「Save」を押下します。



(7) ビットレートコントロールを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

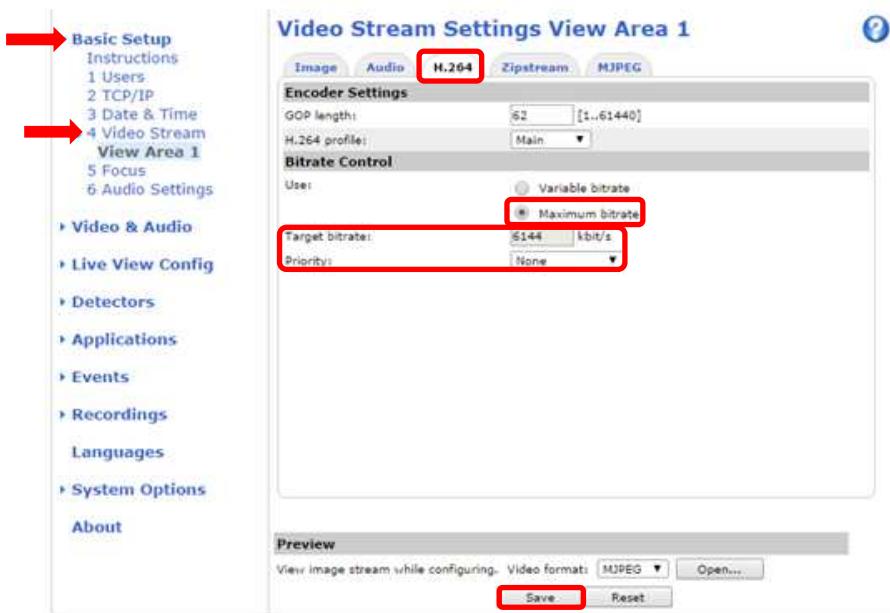
① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[H.264]タブを選択します。

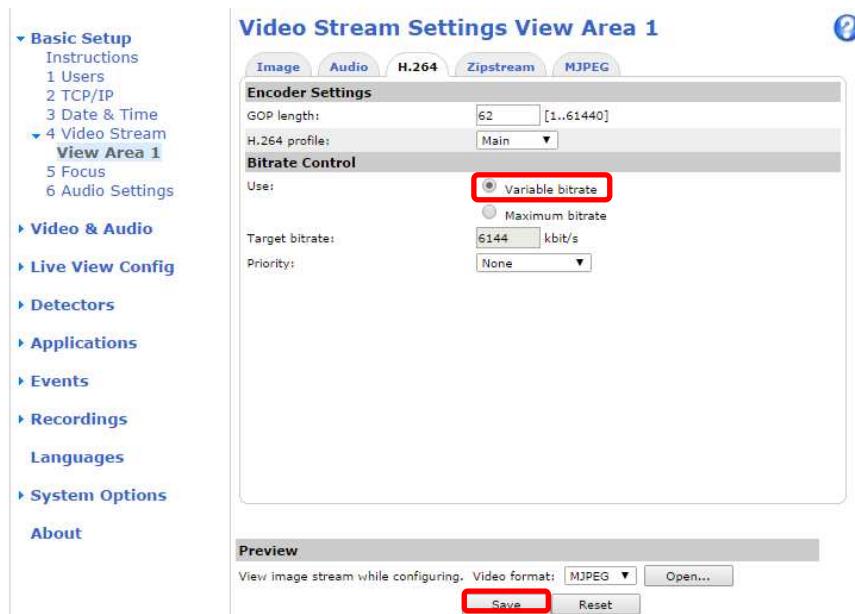
④ Bitrate Control にて Use「Maximum bitrate」を選択します。

⑤ Target bitrate のテキストボックスに「6144」を入力して、Priority が「None」に設定されているのを確認した上で、SAVE を押し、設定が保存されていることを確認します。



⑥ 設定が保存されていることが確認できたら、Use「Variable bitrate」を選択します。

再度 SAVE を押し、設定が保存されていることを確認します。



(8)Zipstream 設定を変更する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

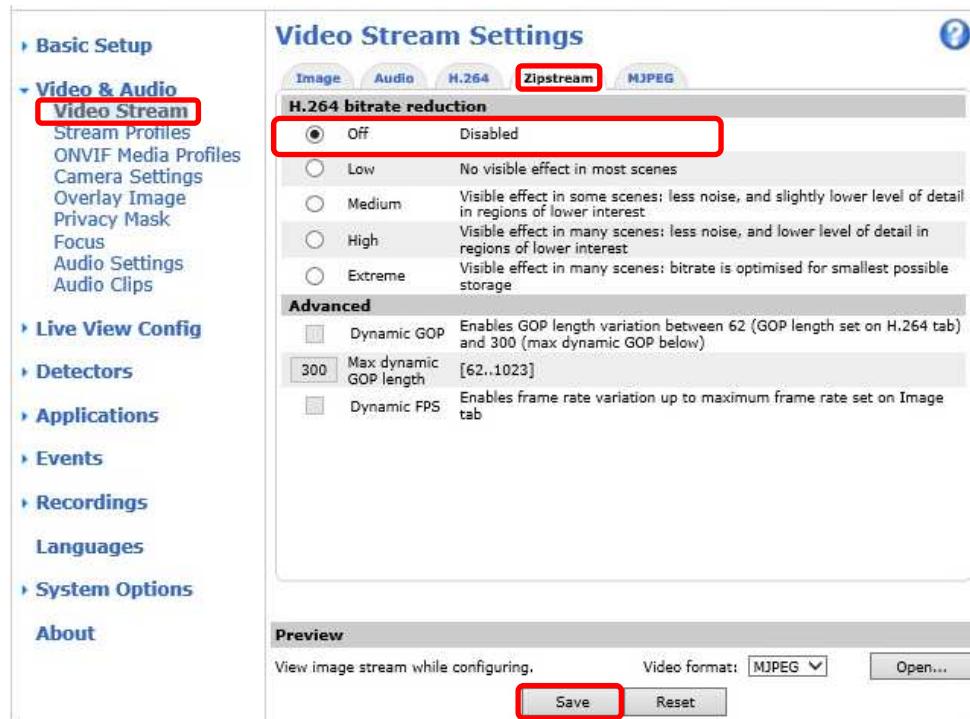
①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Video & Audio] → [Video Stream]を選択し、[Zipstream]タブを選択します。

④「H.264 bitrate reduction」にて、「Off」をチェックします。

⑤「Save」を押下します。



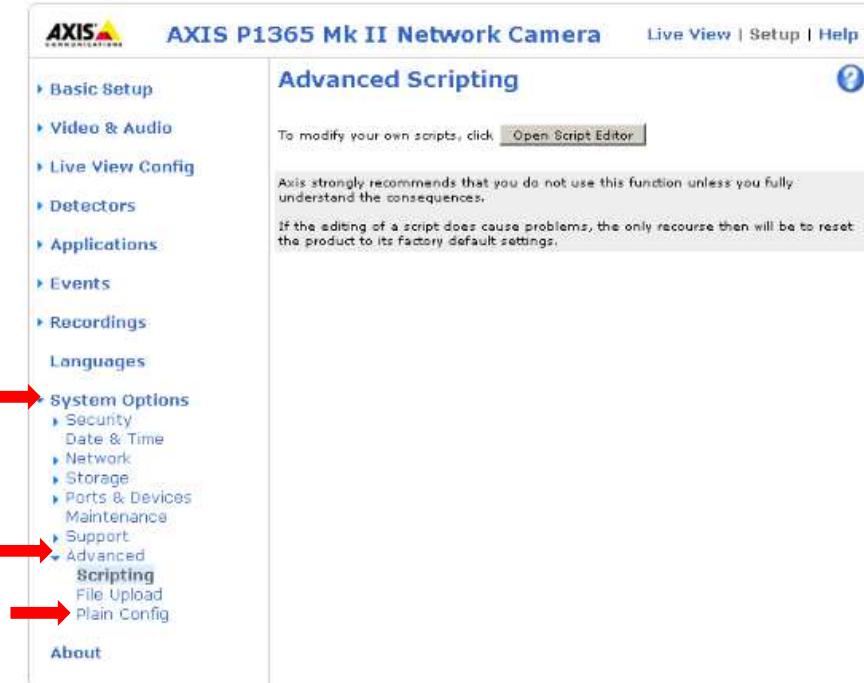
(9)SPS/PPS 設定をする

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[System Options] → [Advanced]を選択し、[Plain Config]を押下します。



④プルダウンで「Image」を選択し、「Select group」を押下します。



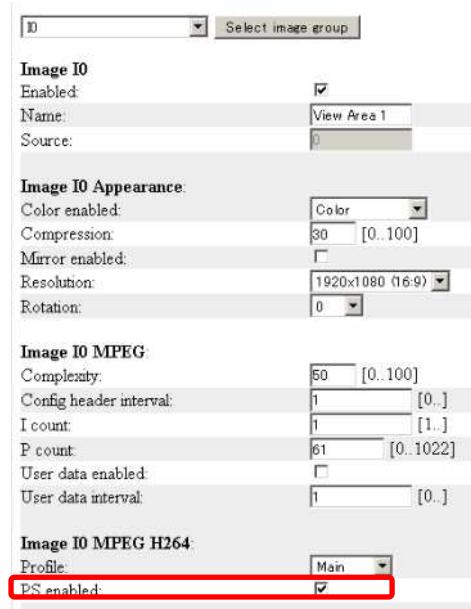
⑤2番目のプルダウンがある場合、「I0」を選択し、「Select image group」を押下します。

⑥ プルダウンで「I1～I7」を選択しないよう注意してください。



⑥[Image IO MPEG H264]の、[PS enabled]にチェックを入れます。

※チェックあり：映像に SPS/PPS 含む、チェックなし：映像に SPS/PPS 含まない。



⑦ページ下にある「Save」を押下する。



1.3.1.1.2.設定変更/画角調整/フォーカス調整

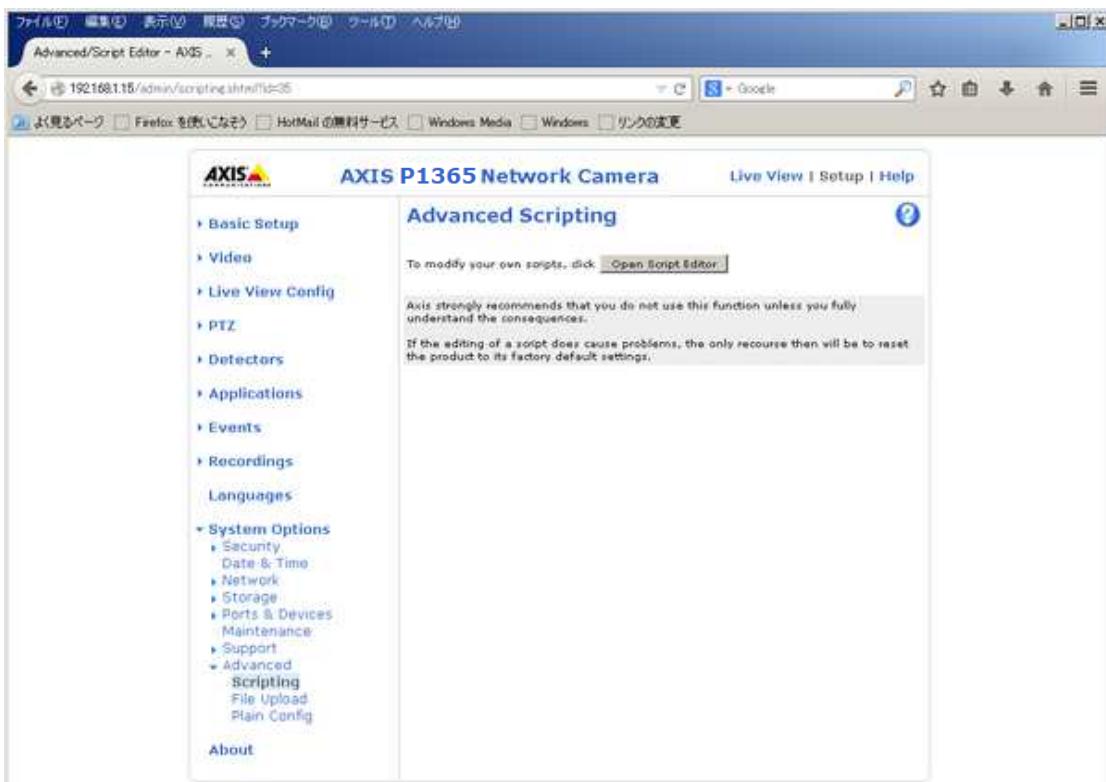
以下の設定変更の方法について示します。尚、弊社からご購入頂いた AXIS カメラでは、「50Hz」、「192.168.1.1」、WDR(ワイドダイナミックレンジ):「OFF」、Daynight:「Automatic」が事前設定されています。

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

接続 CH の変更については、1.3.1.1.(5)を参照してください。

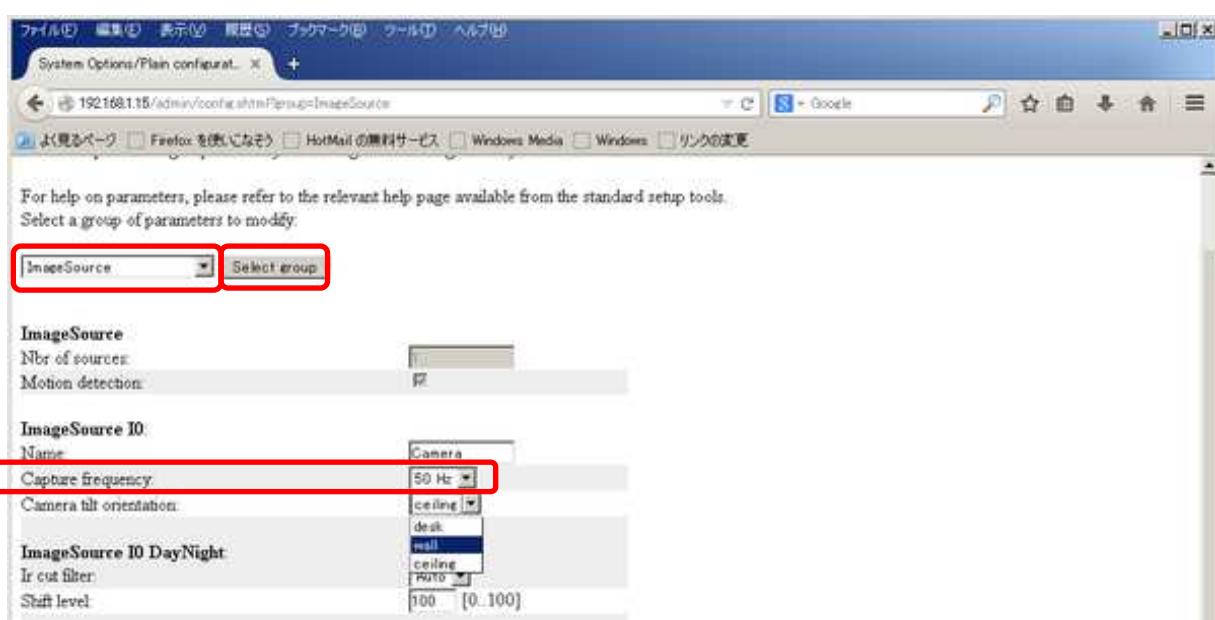
(1) Flicker[50Hz/60Hz]の変更

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config]を選択します。



④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。

⑤「Capture Frequency」のプルダウンで変更します。



⑥設定反映のため、「Save」を押します。



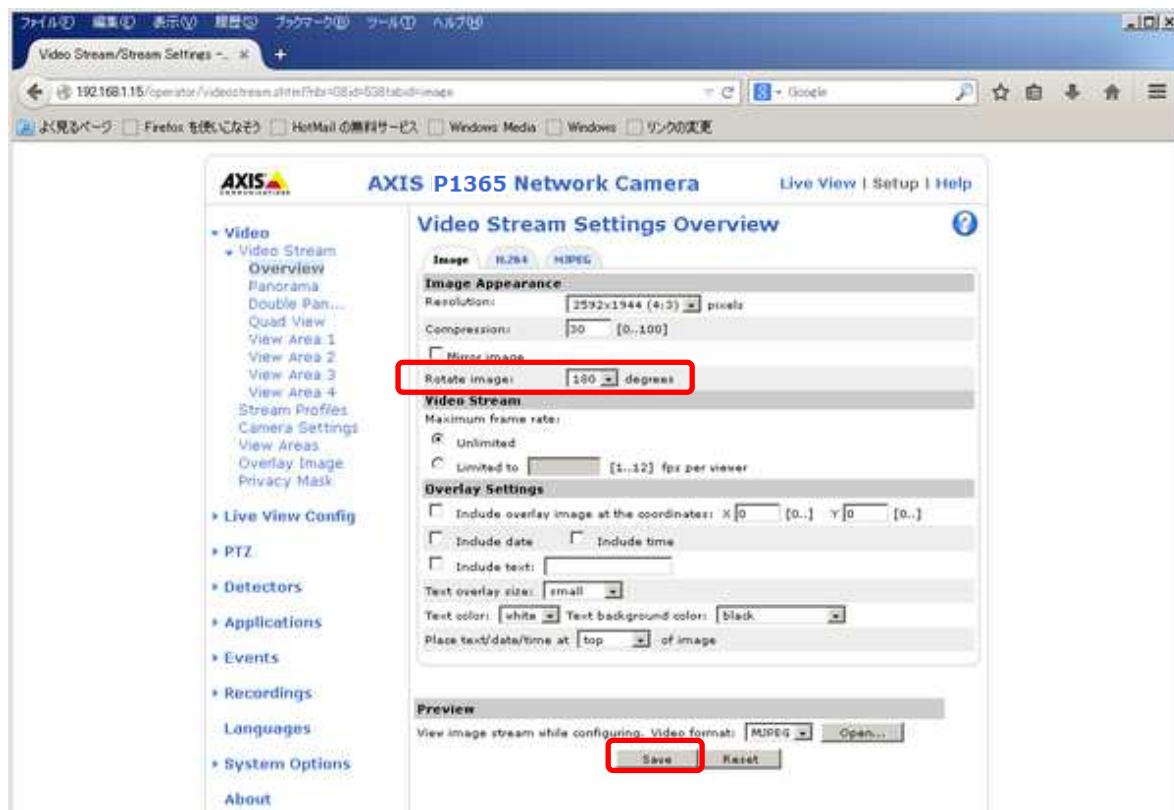
⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

① フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

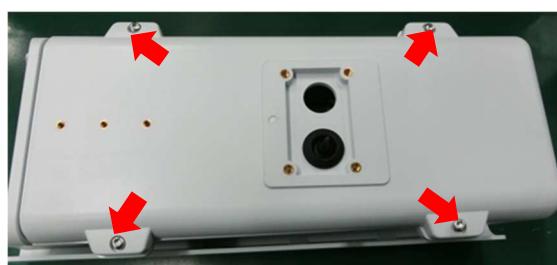
(2)上下反転

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[Image]タブを選択します。
- ④ [Image]タブにて、「Rotate image」を「0」から「180」に変更します。
- ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



(3)画角/フォーカスを調整する

- P1365 シリーズの場合、カメラ設置時の画角やフォーカス調整は下記の手順で実施して下さい。
- ①P1365-E、P1365-E Mk II の場合のみハウジングのカバーを外します(AXIS カメラに付属の工具を使用してハウジング裏面の特殊ネジ 4 か所を緩める)。

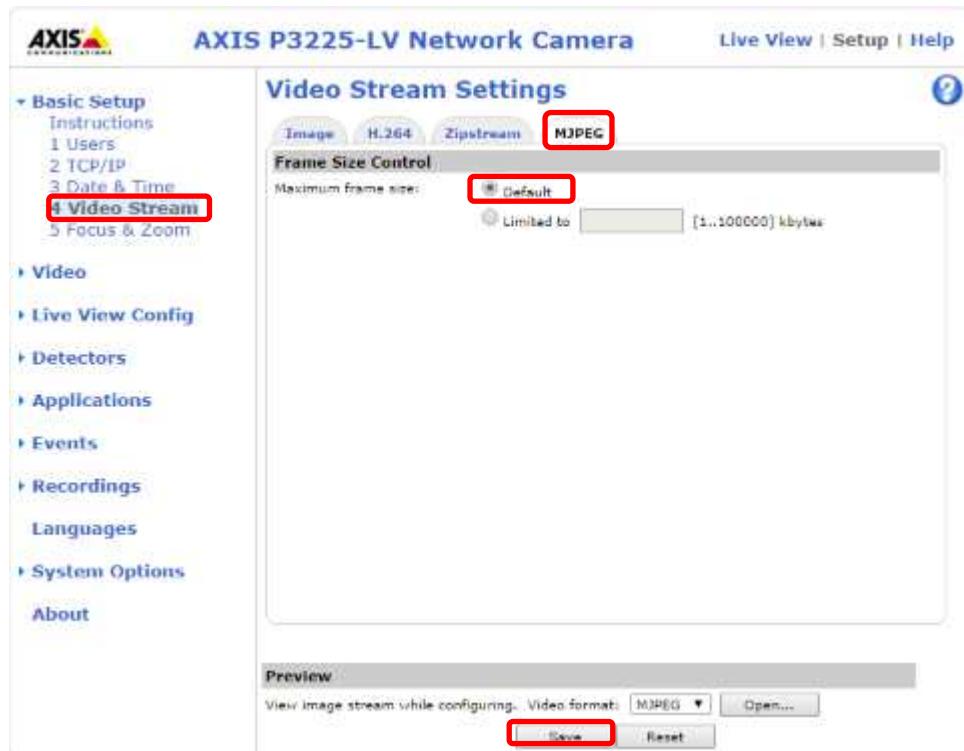


AXISカメラ(P1365-E)



工具(AXISカメラ付属品)

- ②カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
- ③ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ④[Setup](画面右上) をクリックして設定画面を開きます。
- ⑤[Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。
- ⑥[Maximum frame size]で、[Default]を選択します。
- ⑦「Save」を押下し、ビットレート設定を一時解除します。



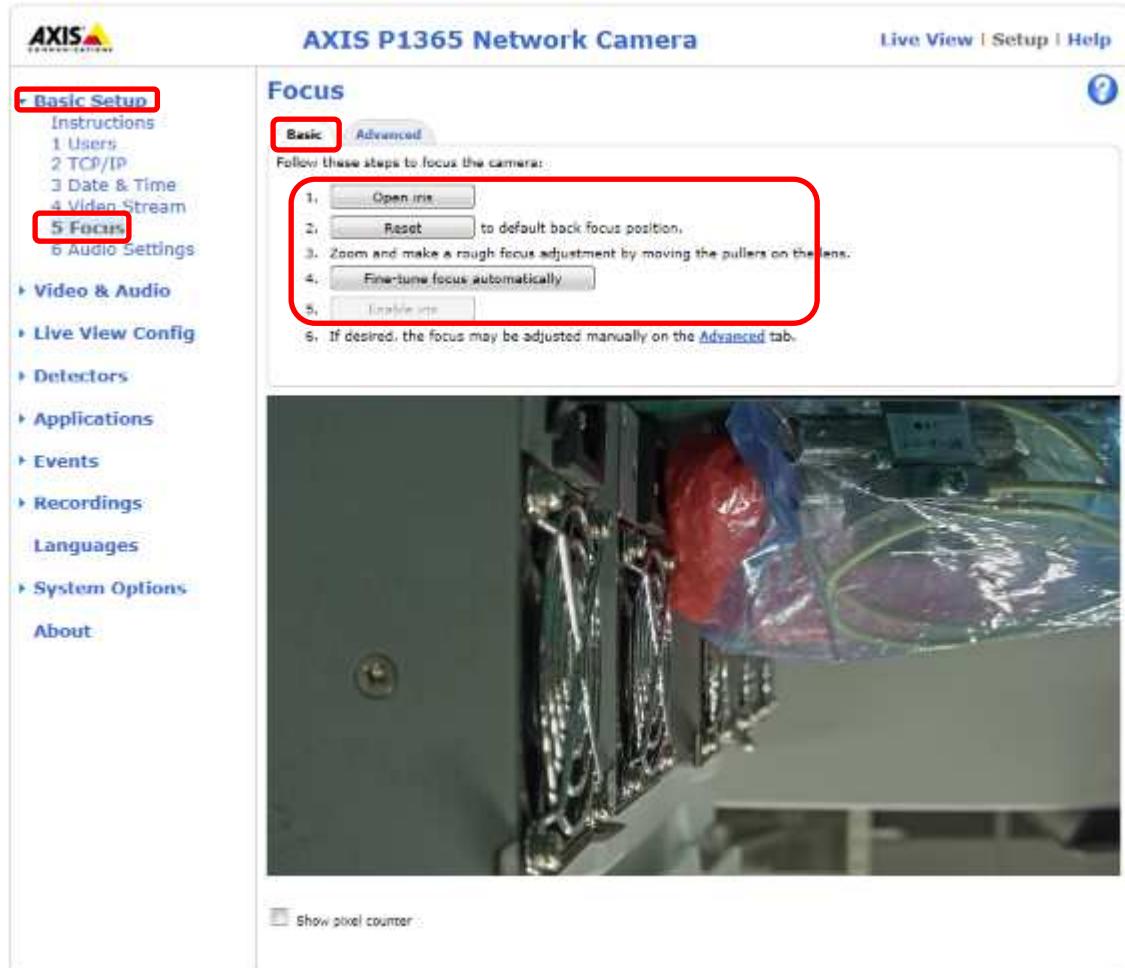
The screenshot shows the configuration interface for an AXIS P3225-LV Network Camera. The left sidebar has a tree view with 'Basic Setup' expanded, showing options like 'Instructions', 'Users', 'TCP/IP', 'Date & Time', 'Video Stream' (which is selected and highlighted with a red box), and others. The main content area is titled 'Video Stream Settings' and shows the 'MJPEG' tab is selected. Under 'Frame Size Control', there are two radio buttons: 'Default' (selected) and 'Limited to'. A slider is set to 100000 kbytes. At the bottom of the configuration window, there is a 'Preview' section with a preview image and buttons for 'Save' (highlighted with a red box) and 'Reset'.

⑧[Setup](画面右上) をクリックして設定画面を開きます。

⑨[Basic Setup] → [Focus]を選択し画面を開きます。

⑩[Basic]タブで、[Open iris] をクリックします。

※以前にフォーカスを設定している場合は、[Open iris]クリック後、「Reset」をクリックしてください。



⑪レンズのズーム調節レバーとフォーカスリングの固定ねじを反時計回りに回して緩めます。

⑫ズーム調節レバーとフォーカスリングを動かしてズームとフォーカスを調整します。調整はブラウザで画質を確認しながら実施してください。

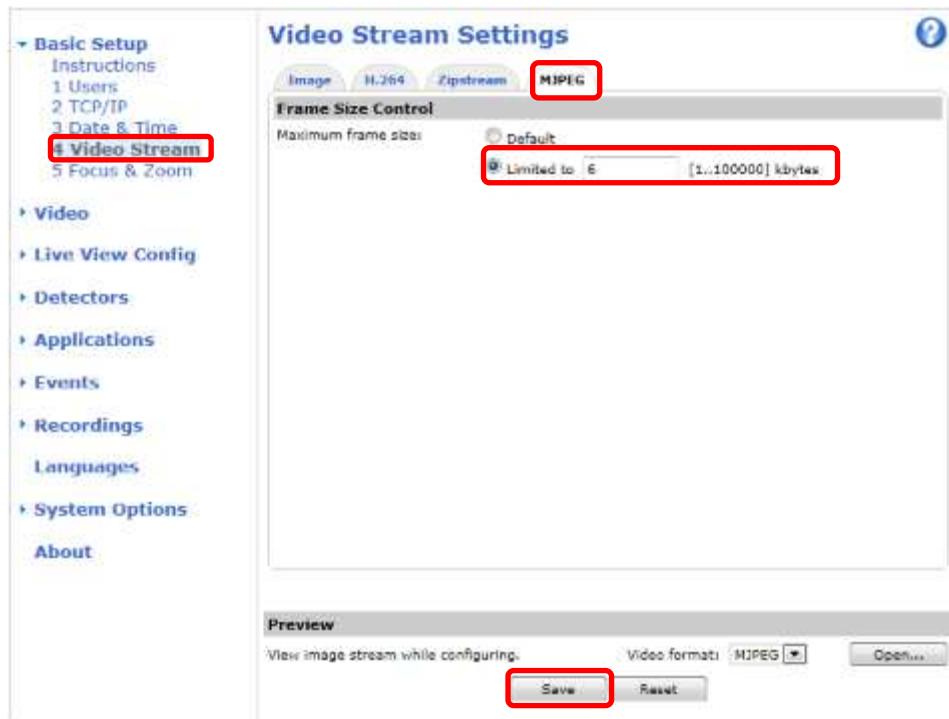


⑬レンズのズーム調節レバーとフォーカスリングの固定ねじを時計回りに回して締め直します。

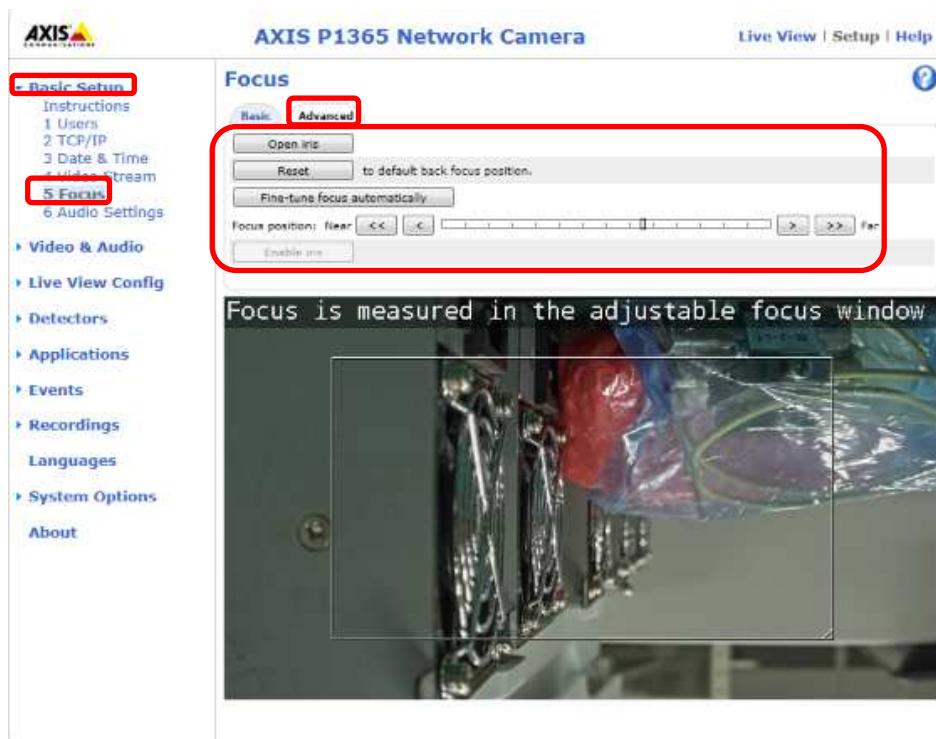
⑭「Fine-tune focus automatically」をクリックしてフォーカスを自動で微調整します。

⑮[Enable iris]をクリックします。

- ⑯再度[Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。
- ⑰[Maximum frame size]で、[Limited to]を選択します。
- ⑱[Limited to]のテキストボックスに、[6]を入力します。
- ⑲「Save」を押下し、ビットレート設定再設定します。



- (!) 上手く対象にフォーカスが合わない等があれば必要に応じて、⑧～⑮の手順を[Advanced]タブで実施してください。⑧～⑮の手順の[Advanced]タブでの設定方法は以下です。
- ⑧[Setup](画面右上) をクリックして設定画面を開きます。
 - ⑨[Basic Setup] → [Focus]を選択し画面を開きます。
 - ⑩[Advanced]タブで、[Open iris] をクリックします。
- ※以前にフォーカスを設定している場合は、[Open iris]クリック後、「Reset」をクリックしてください。



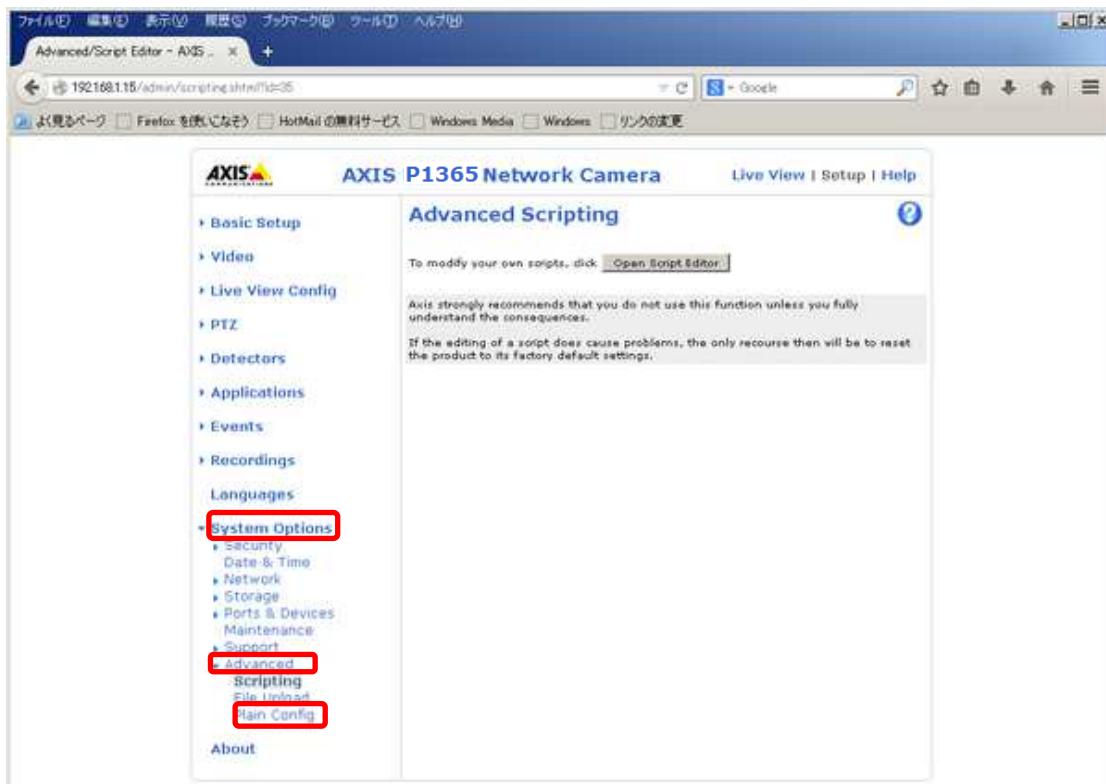
- ⑪レンズのズーム調節レバーとフォーカスリングの固定ねじを反時計回りに回して緩めます。
⑫ズーム調節レバーとフォーカスリングを動かしてズームとフォーカスを調整します。調整はブラウザで画質を確認しながら実施してください。



- ⑬レンズのズーム調節レバーとフォーカスリングの固定ねじを時計回りに回して締め直します。
⑭「Fine-tune focus automatically」をクリックしてフォーカスを自動で微調整します。
または手動で「」を操作し、フォーカスを手動で微調整します。
⑮[Enable iris]をクリックします。

(4) WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config]を選択します。



- ④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS P3225-LV Mk II Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.
Select a group of parameters to modify:

ImageSource

ImageSource
Motion detection:
Nbr of sources:

ImageSource I0:
Camera tilt orientation:
Capture frequency:
Name:

ImageSource I0 DayNight:
Ir cut filter:
Shift level: [0..100]

⑤画面を下にスクロールして表示される「WDR」のプルダウンで、「On」か「Off」を選択します。

⑥設定反映のため、「Save」を押します。

| | |
|--|--|
| Manual gain control: | <input type="checkbox"/> |
| Manual shutter: | 33333 [-60..2000000] |
| Manual shutter control: | <input type="checkbox"/> |
| Max auto gain control lowlight: | 100 [0..100] |
| Max auto gain control normal: | 50 [0..100] |
| Max exposure time: | 166667 [-60..2000000] |
| Max fast shutter: | 1000 [1..33333] |
| Max gain: | 100 [0..100] |
| Max slow shutter: | 33333 [16666..2000000] |
| Min exposure time: | 0 [-60..2000000] |
| Min gain: | 0 [0..100] |
| Sharpness: | 50 [0..100] |
| WDR: | On <input type="button" value="▼"/> |
| White balance: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance window: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance xstart: | 0 [0..9999] |
| White balance xstop: | 9999 [0..9999] |
| White balance ystart: | 0 [0..9999] |
| White balance ystop: | 9999 [0..9999] |
| ImageSource I0 Sensor CustomExposureWindow: | |
| Nbr of configs: | 0 |
| Weight: | 100 [0..100] |
| Save page changes: | <input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Reset"/> |

⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

!
⑧詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

(5) Day/Night 設定を変更する

Day/Night 機能とは、AXIS カメラの映像を白黒映像に切り替える機能で、白黒映像下では低照度環境でも映像を撮影することができます。

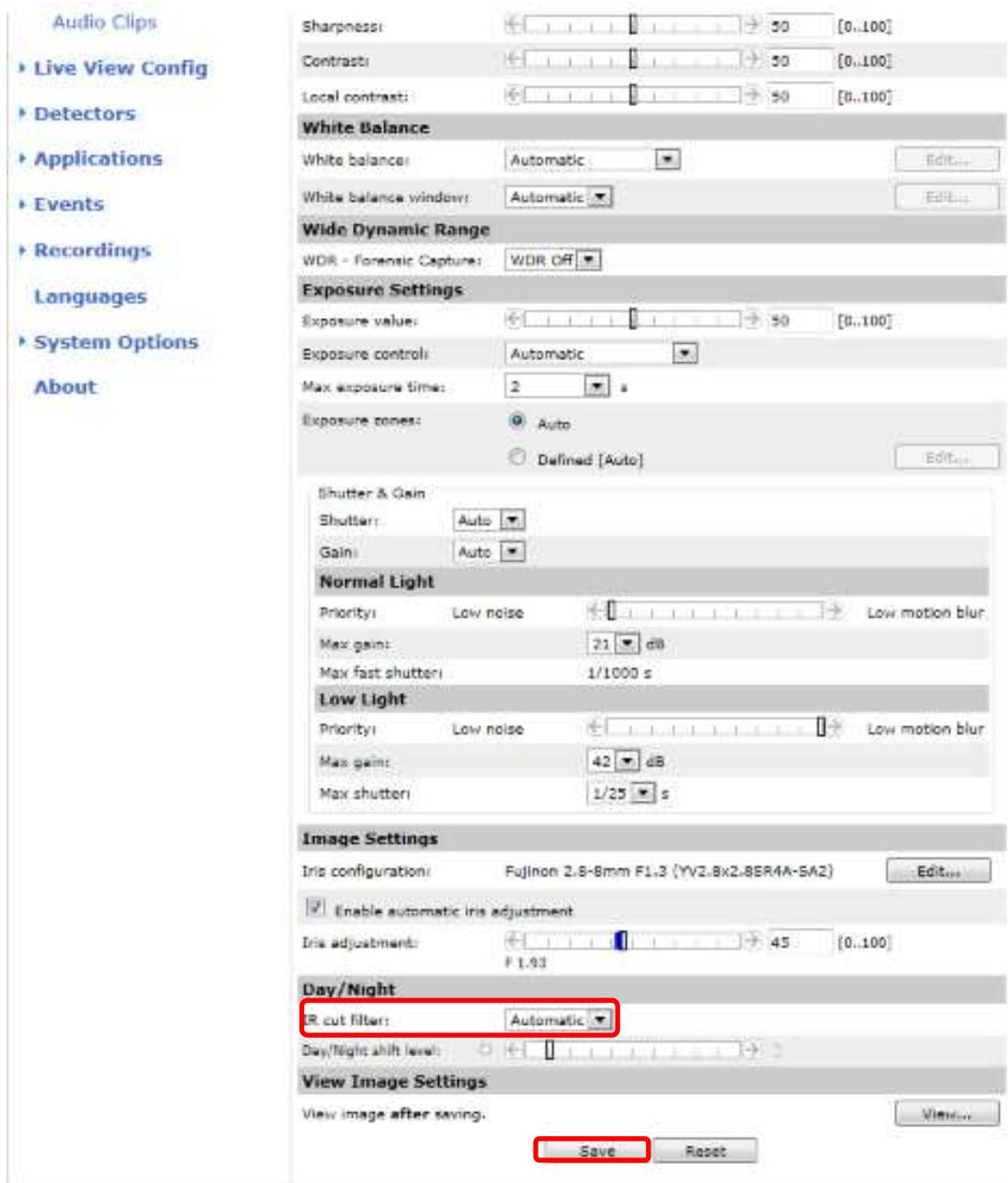
- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [Video & Audio] → [Camera Settings] を選択します。

The screenshot shows the 'Camera Settings' page of the AXIS P1365 Network Camera configuration interface. The left sidebar lists various setup categories: Basic Setup, Video & Audio (which is selected and highlighted with a red box), Stream Profiles, ONVIF Media Profiles, Camera Settings (also highlighted with a red box), Overlay Image, Privacy Mask, Focus, Audio Settings, Audio Clips, Live View Config, Detectors, Applications, Events, Recordings, Languages, System Options, and About.

The main content area is titled 'Camera Settings' and contains several sections:

- Capture mode:** Set to "1080p 1920x1080 (16:9) @ 25/30 fps (WDR)".
- View Areas:** Includes an option to "Enable View Areas".
- Image Appearance:** Includes sliders for Color level, Brightness, Sharpness, Contrast, and Local contrast, all set to 50.
- White Balance:** Includes "White balance" and "White balance window" dropdown menus, both set to "Automatic".
- Wide Dynamic Range:** Includes a "WDR - Forensic Capture" dropdown menu set to "WDR Off".
- Exposure Settings:** Includes "Exposure value" (50), "Exposure control" (Automatic), "Max exposure time" (2 seconds), and "Exposure zones" (Auto or Defined [Auto]).
- Shutter & Gain:** Includes "Shutter" (Auto) and "Gain" (Auto) dropdown menus.
- Normal Light:** Includes "Priority" (Low noise), "Max gain" (21 dB), and "Max fast shutter" (1/1000 s).
- Low Light:** Includes "Priority" (Low noise), "Max gain" (42 dB), and "Max shutter" (1/25 s).

- ④画面を下にスクロールして表示される「IR cut filter」のプルダウンで、「Automatic」、「On」、「Off」を選択します。（「Automatic」⇒自動切替、「On」⇒常時白黒、「Off」⇒常時カラー）
 ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



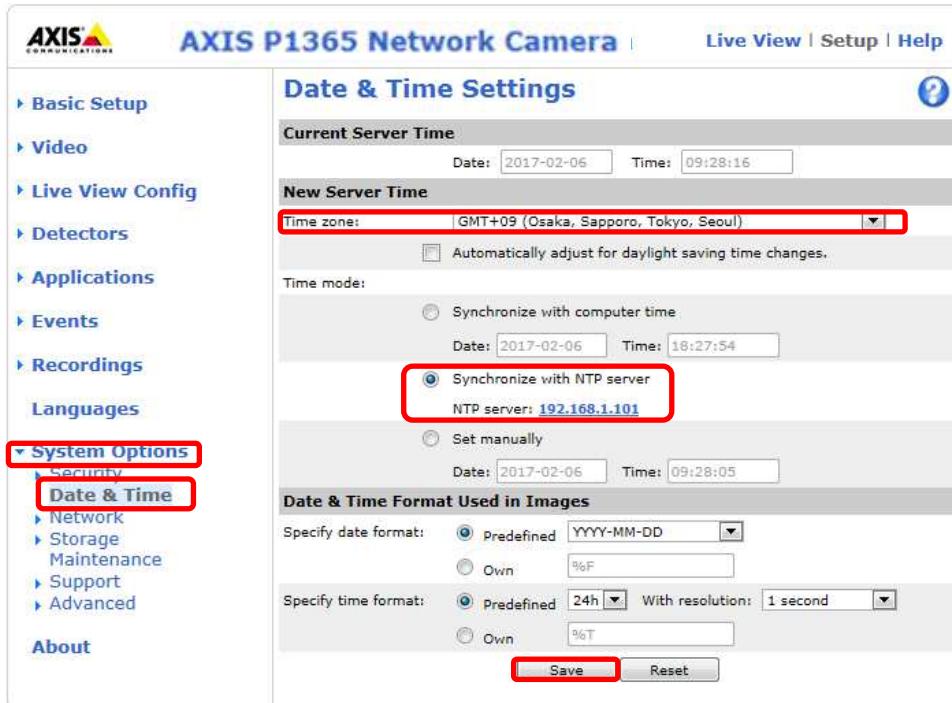
- ⑥設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
 ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
 「Restart」ボタン押下にて実行できます。

!
① 詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

(6) カメラ映像に日時時刻を表示する

レコーダーと時刻同期を取り、カメラ映像に現在時刻を表示することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Date & Time] を選択します。
- ④「Time zone:」のプルダウンで、「GMT+09(Osaka,Sapporo,Tokyo,Seoul)」を選択します。
- ⑤「Time mode:」が、「Synchronize with NTP server」が選択されていることを確認します。
- ⑥設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑦[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] を選択します。
 ⑧「NTP configuration」が、「Use the following NTP server address」を選択します。
 ⑨「Network address:」の欄に接続する MELOOK3 レコーダーの IP を入力選択します。
 ⑩設定反映のため、「Save」を押します。

AXIS P1365 Network Camera

Advanced TCP/IP Settings

DNS Configuration

Obtain DNS server address via DHCP

Use the following DNS server address:

Domain name:

Primary DNS server:

Secondary DNS server:

NTP Configuration

Obtain NTP server address via DHCP

Use the following NTP server address: (host name or IP address)

Host Name Configuration

Use the host name:

Enable dynamic DNS updates (Axisproduct.example.com)

TTL:

Link-Local IPv4 Address

Auto-Configure Link-Local Address

HTTP

HTTP port:

HTTPS

HTTPS port:

NAT traversal (port mapping) for IPv4

NAT traversal is disabled.

Use manually selected NAT routers: (LAN IP address)

Alternative HTTP port:

* If set to blank or 0, a port number will be set automatically upon enable.

FTP

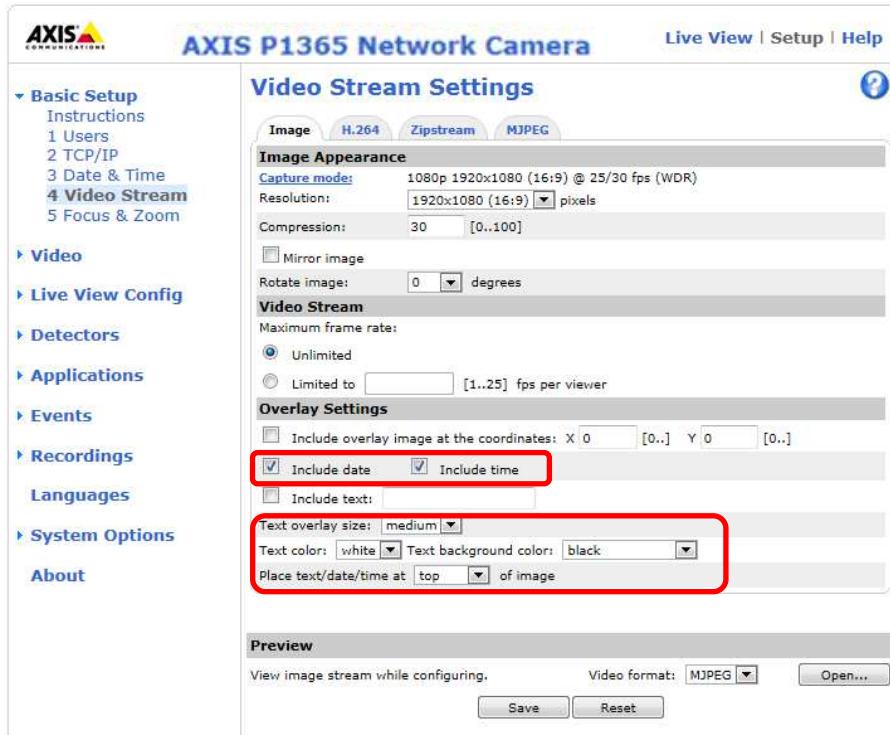
Enable FTP server

RTSP

Enable RTSP server

RTSP port:

- ⑪[Setup](画面右上) → [Basic Setup] → [Video Stream] を選択します。
- ⑫「Overlay Setting」の「Include date」と「Include time」をチェックします。
- ※表示時刻の文字サイズを変更したい場合は、「Text overlay size:」を変更してください。(初期値「medium」)
- 表示時刻の文字色を変更したい場合は、「Text color:」を変更してください。(初期値「white」)
- 表示時刻の背景色を変更したい場合は、「Text background color」を変更してください。(初期値「black」)
- 時刻の表示位置を変更したい場合は、「Place text/date/time at」を変更してください。(初期値「top」)
- ⑬設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑭設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
- ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

1.3.1.1.3.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- (!) カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- (!) カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- (!) フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.1.2. 固定ボックス型カメラ(M1124、M1124-E)

固定ボックス型カメラ(M1124、M1124-E)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた固定ドーム型カメラ(M1124、M1124-E)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)の CH1 に接続可能なように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.2.1. に示す初期設定が必要です(PoE-HUB やインジェクタ等での PoE 給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS 社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.2.2 に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Ceiling と Wall の変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角／フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.2.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(5)プレイン設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(2)(4)]を参照し、設定を実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

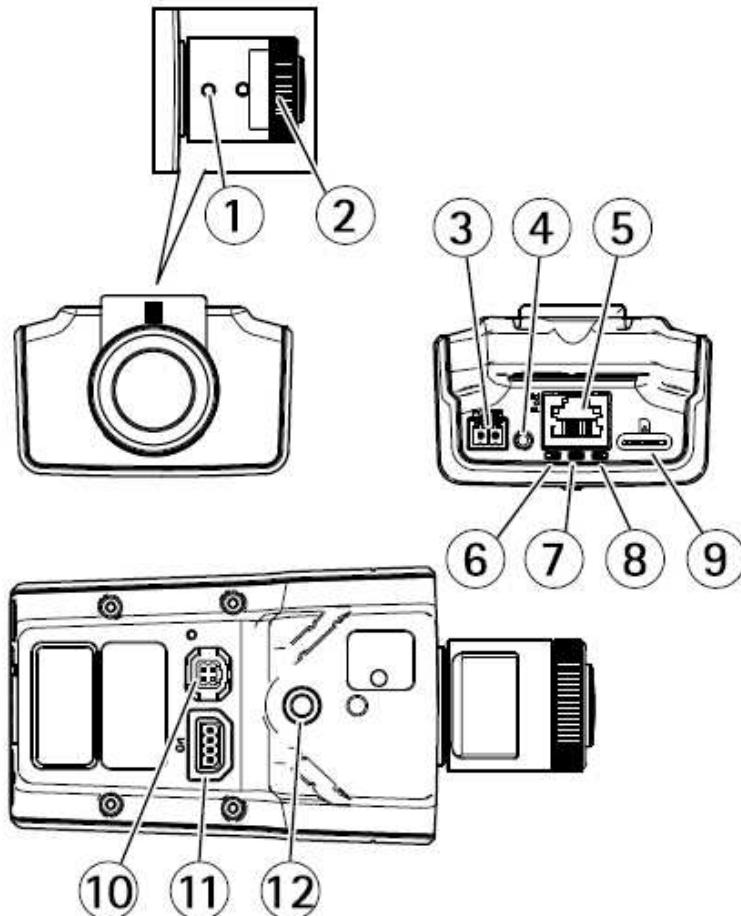
④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変ります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後起動完了します。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 ズーム調節レバー
- 2 フォーカスリング
- 3 電源コネクタ
- 4 コントロールボタン
- 5 ネットワークコネクタ
- 6 電源LED
- 7 ステータスLED
- 8 ネットワークLED
- 9 microSDカードスロット
- 10 アイリスコネクタ
- 11 I/Oコネクタ
- 12 1/4" ネジ穴

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

| |
|--------------------------------|
| root |
| パスワード |
| パスワードの再入力 |
| パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。 |
| 日本語 |

ログインの作成

- ③電源周波数を設定する。

開始

電源周波数を選択してください

50 Hz ▾

これは何ですか? ▾

次へ

- ④IP アドレスを設定します。

[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」

に設定します。

開始

IPv4

手動IP および 手動DNS

IPアドレス サブネットマスク
192.168.1.1 255.255.255.0

デフォルトルーター
0.0.0.0

ドメイン名
ドメイン名
+ プライマリDNSサーバー セカンダリDNSサーバー
0.0.0.0 0.0.0.0

日付と時刻

日付と時刻の自動設定

年 月 日
2017 05 10

時 間 分
22 45

NTPサーバーに接続する

自動 (DHCP)

手動

タイムゾーン
GMT (ダブリン、リスボン、ロンドン、レイキャビク ▾)

夏/冬時間調整

次へ

①各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



⑤日付と時刻(NTP サーバーとタイムゾーン)を設定します。

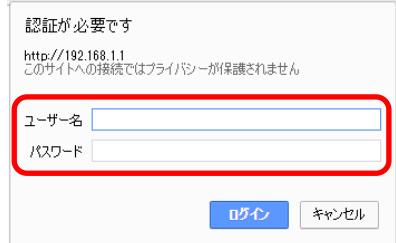
[NTP サーバーに接続する]で「手動」を選択し、[NTP サーバー]に「192.168.2.100」を入力します。
[タイムゾーン]は「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択します。



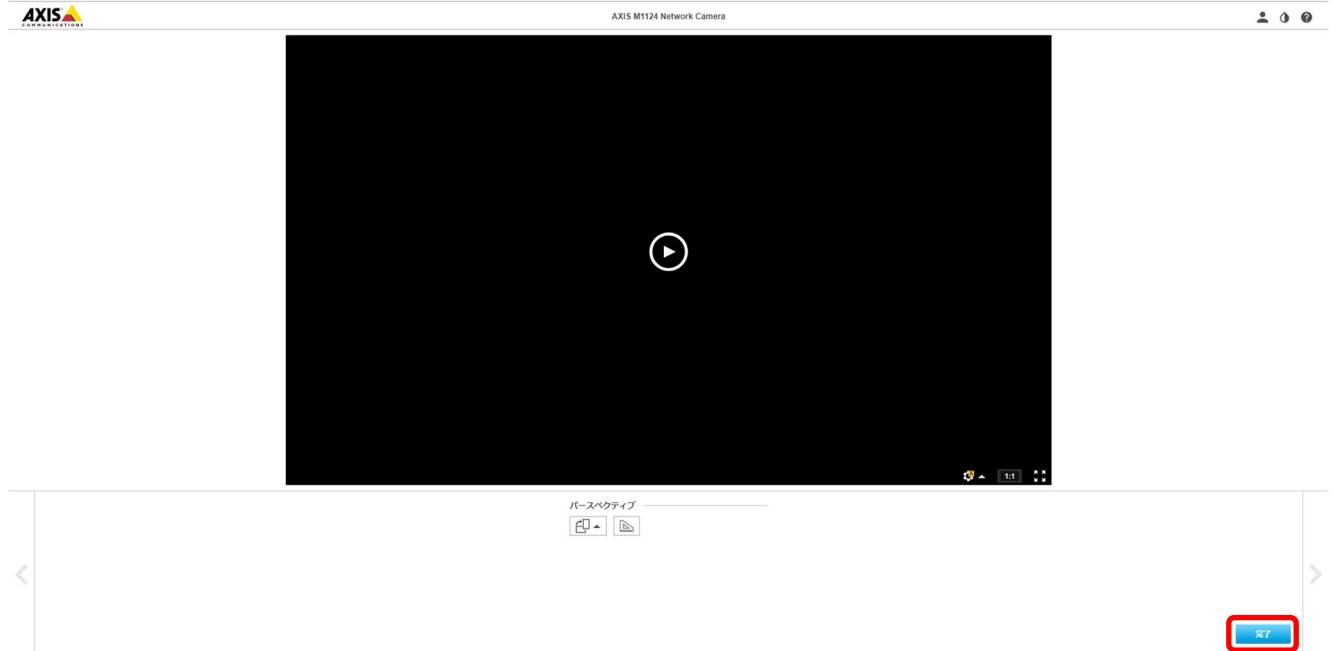
⑥各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合や、接続レコーダーの IP アドレスが変更になった場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら、②で設定したとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3) ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



④表示される[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF]を選択し、[Users List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

⑤[ONVIF User Setup]ブラウザにて、[User name:]に「admin」、[Password:]に「admin」を入力し、
[User group:]で「Administrator」を選択します。

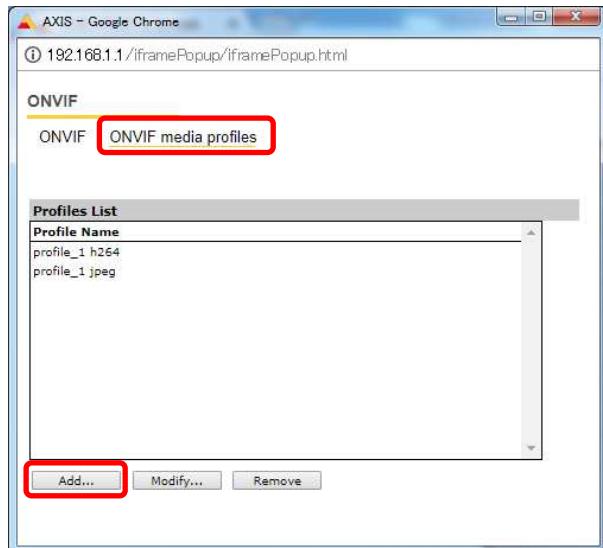
⑥その後「OK」を押し、[Users List]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

The figure consists of three screenshots illustrating the user account creation process:

- Screenshot 1:** A screenshot of a web browser window titled "AXIS - Google Chrome". It shows the "ONVIF" configuration page. In the "Users List" section, there is a table with columns "User Name" and "User Group". At the bottom of the table, there are three buttons: "Add...", "Modify...", and "Remove". The "Add..." button is highlighted with a red box.
- Screenshot 2:** A screenshot of a separate window titled "System Options/ONVIF User Setup - A...". It is titled "ONVIF User Setup". It contains fields for "User name:" (set to "admin"), "Password:" (set to "*****"), "Confirm password:" (set to "*****"), and "User group:" (with a radio button selected for "Administrator"). The entire "ONVIF User Setup" dialog is highlighted with a red box. At the bottom right, there are "OK" and "Cancel" buttons, with "OK" being highlighted with a red box.
- Screenshot 3:** A screenshot of the same web browser window as in Screenshot 1. It shows the "ONVIF" configuration page with the "Users List" table. The newly created user "admin" is now listed in the table under the "User Name" column. The entire "Users List" table is highlighted with a red box.

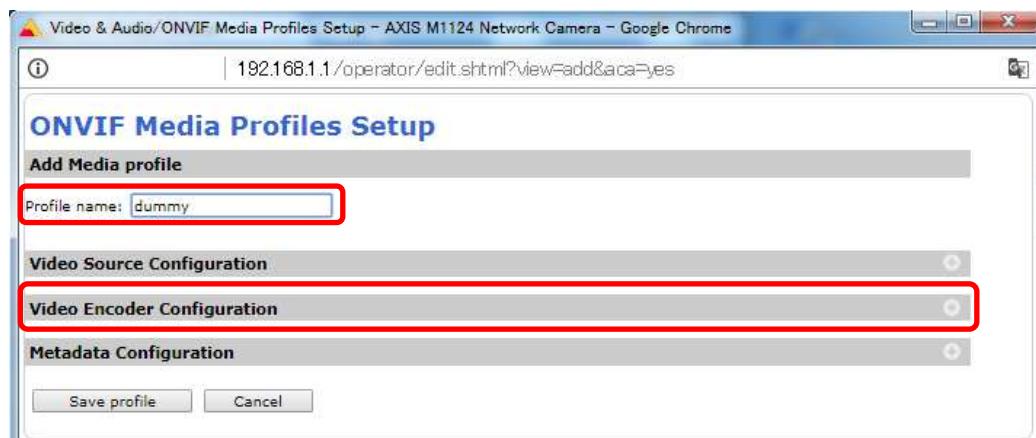
⑦ONVIF media profiles の設定をします。

[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF media profiles]を選択し、[Profile List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

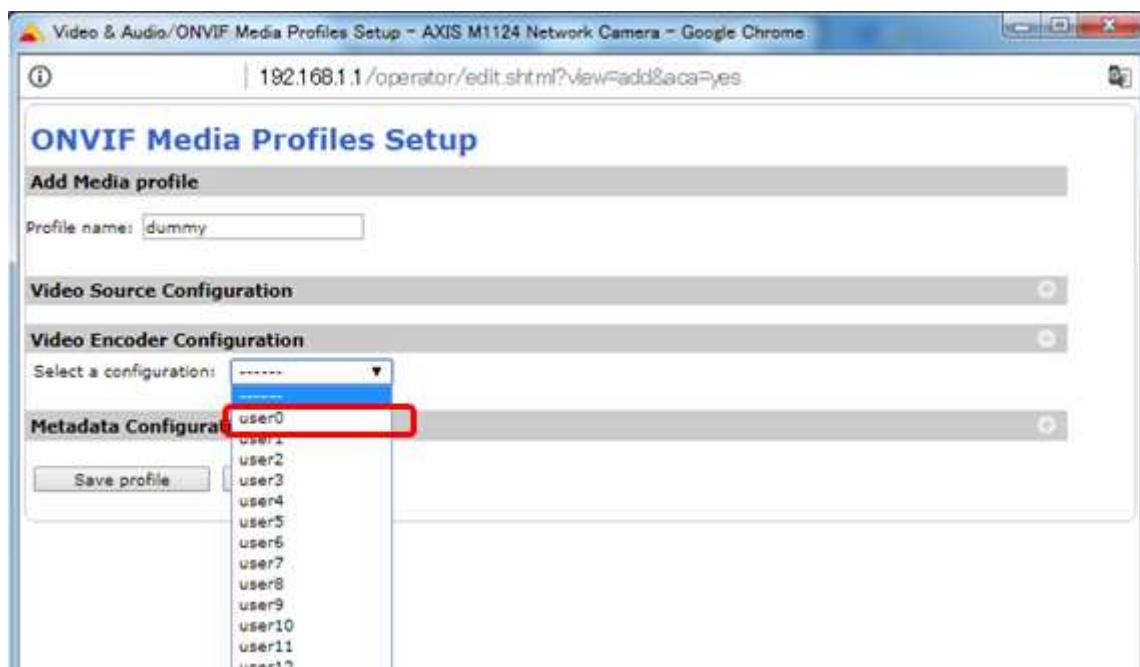


⑧[ONVIF Media Profiles Setup]ブラウザが表示されるので、[Profile name:]に「dummy」と入力します。

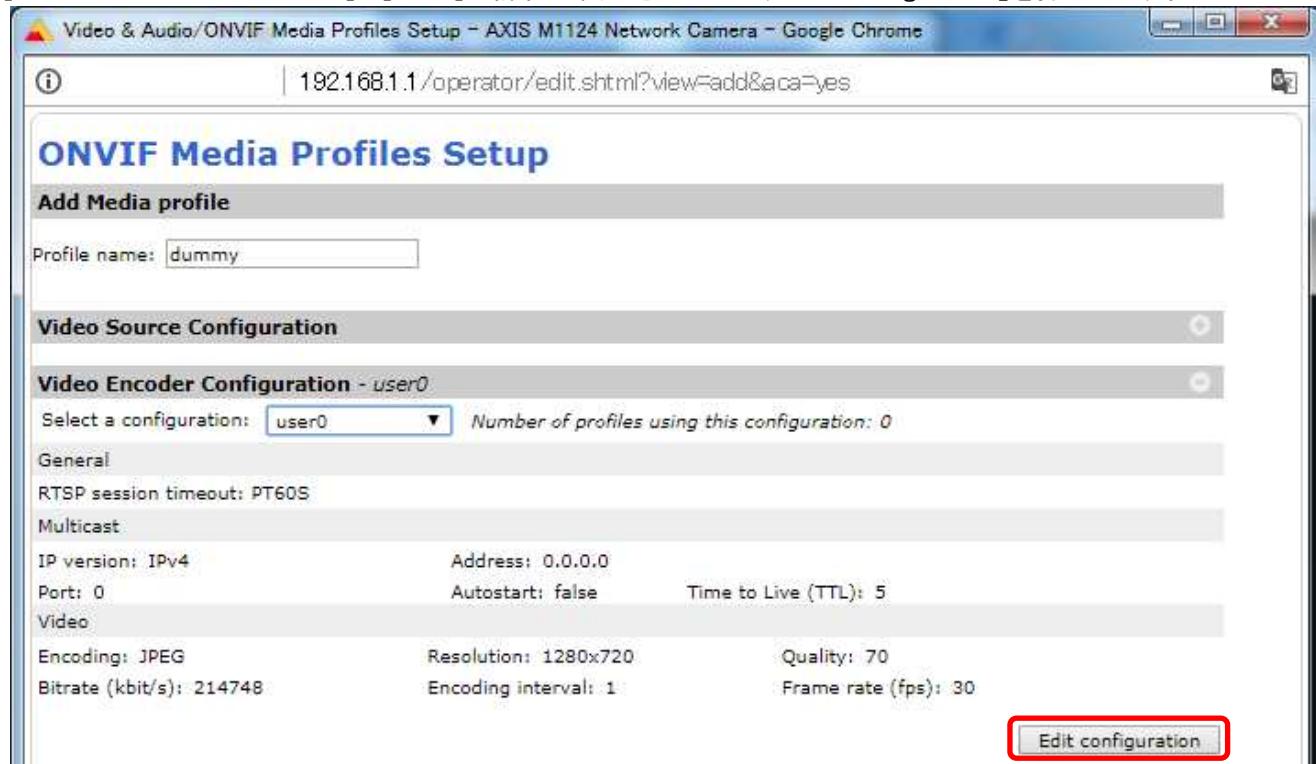
[Video Encoder Configuration]の右側にある「+」を押下します。



⑨プルダウンで「user0」を選択します。



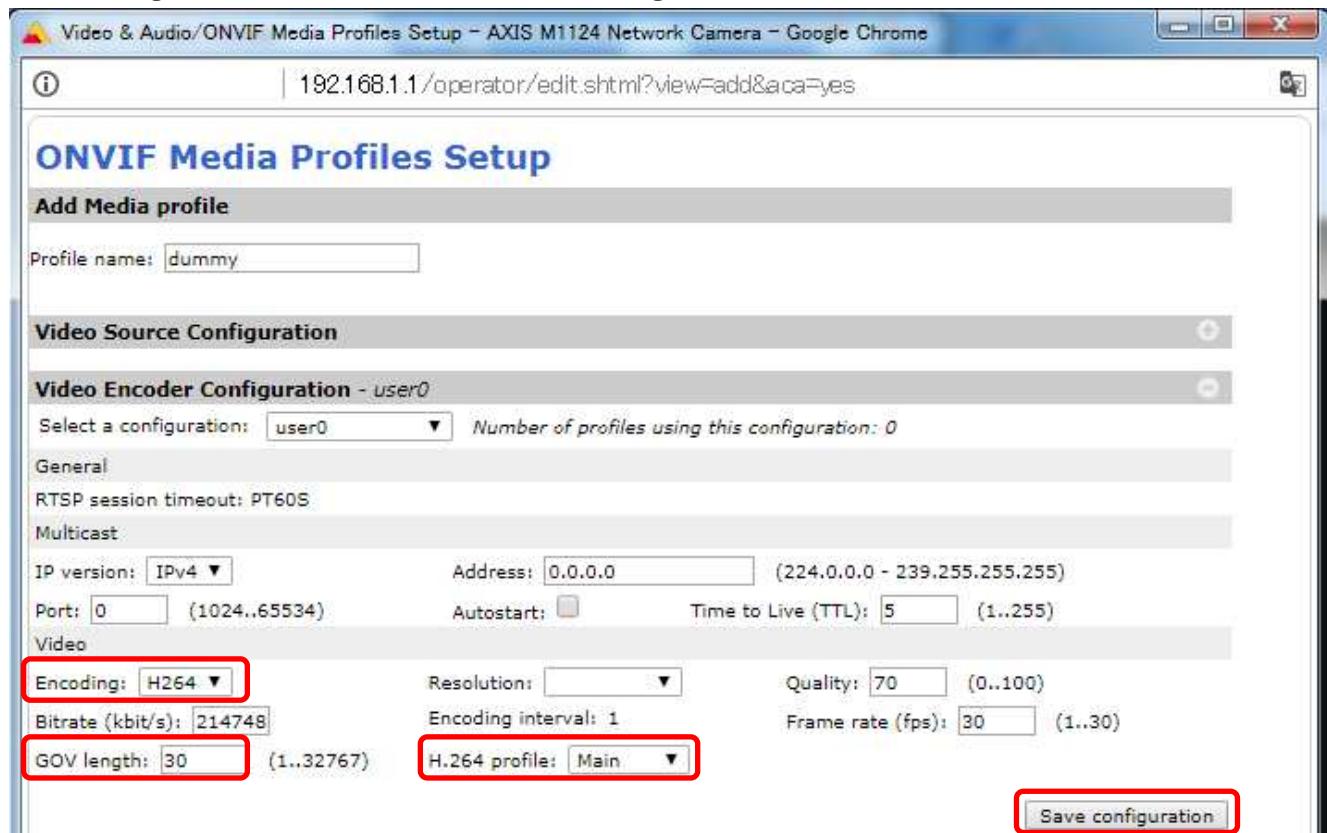
⑩[Video Encoder Configuration]で[user0]の詳細が表示されるので、「Edit configuration」を押下します。



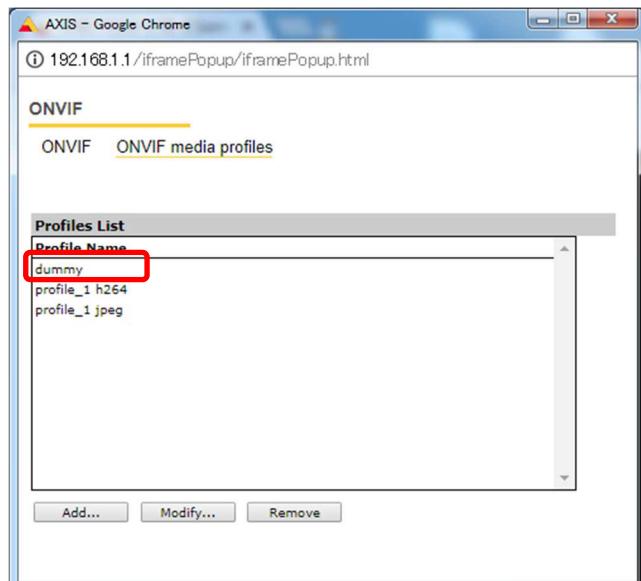
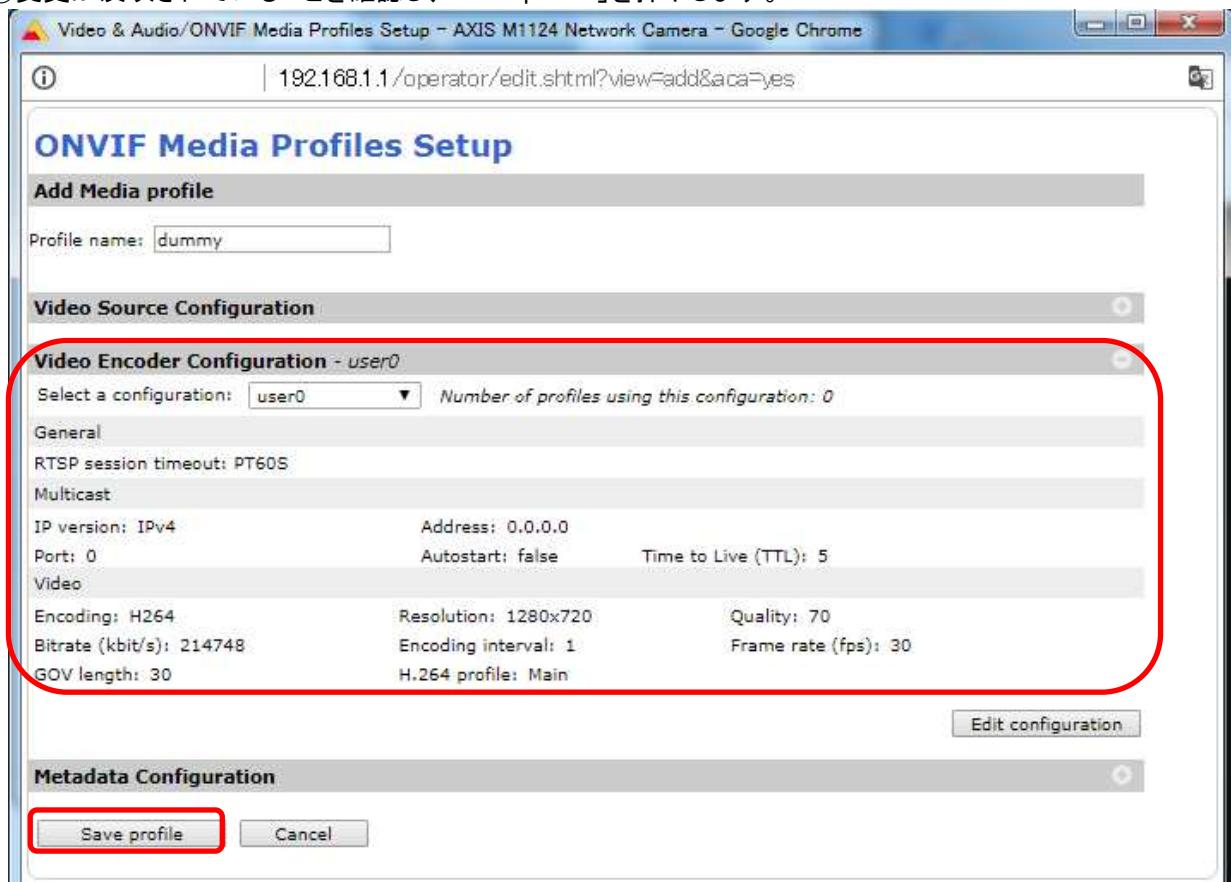
⑪[Video]で、

[Encoding:]は「H.264」を、[H.264 profile:]は「Main」を選択します。

[GOV length:]には「30」を入力し、最後に「Save configuration」を押下します。



⑫変更が反映されていることを確認し、「Save profile」を押下します。



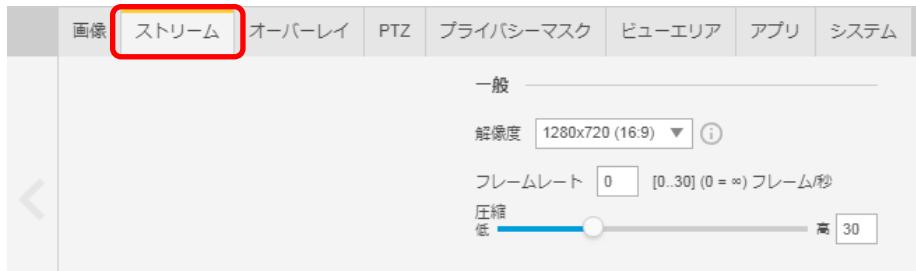
(4)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択します。



④[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。

その後、[ビットレート制御]で「可変ビットレート」を選択します。



⑤[Zipstream]で「オフ」を選択します。



(5)プレイン設定

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④[Select a group of parameters to modify:]で「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

⑤[Select a group of image parameters to modify:]で「I0」を選択し、「Select image group」を押します。

A screenshot of the 'Plain config page' for the AXIS M1124 Network Camera. The page title is 'AXIS M1124 System' and the sub-page title is 'System Options/Plain config'. The URL in the address bar is '192.168.1.1/admin/configshtml?group=Image&category=yes'. The main content area has the heading 'AXIS M1124 Network Camera'. It says: 'The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M1124 Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.' Below this, it says 'Select the parameter group to modify and configure the settings directly.' There are two dropdown menus with red boxes around them. The first dropdown is labeled 'Select a group of parameters to modify:' with 'Image' selected. The second dropdown is labeled 'Select a group of image parameters to modify:' with 'I0' selected. Both dropdowns have a 'Select group' button next to them.

⑥[Image I0 MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れます。

[Image I0 SizeControl]の[Max frame size:]に「6」を入力し、「Save」を押下します。

A screenshot of the 'Image I0 MPEG H264' and 'Image I0 SizeControl' configuration sections. The 'Image I0 MPEG H264' section shows a 'Profile:' dropdown set to 'Main' and a 'PS enabled:' checkbox which is checked and highlighted with a red box. The 'Image I0 SizeControl' section shows a 'Max frame size:' input field containing the value '6', which is also highlighted with a red box. At the bottom, there are 'User triggers:' and 'Save page changes:' buttons. The 'Save' button is highlighted with a red box.

1.3.1.2.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ❗ カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ❗ 固定ボックス型カメラ(M1124、M1124-E)は HD 対応カメラです。レコーダーのカメラ設定画面で FHD を選択した場合も、解像度は変わりません。正常な動作を保証できませんので、HD 以下の解像度を選択してください。
- ❗ カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。また、非対応の解像度である FHD を選択・設定した場合も、カメラの行が黄色になりますので、併せてご確認ください。
- ❗ フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.1.3. 固定ドーム型カメラ(P3225-LV、P3225-LVE、P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II) カメラファームウェアバージョン;6.55.2】

固定ドーム型カメラ(P3225-LV、P3225-LVE、P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた固定ドーム型カメラ(P3225-LV、P3225-LVE、P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)【カメラファームウェアバージョン;6.55.2】には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)の CH1 に接続可能なように、事前設定がされています。NR-5200/5280 に接続する場合は、1.3.1.3.1 (9)の設定を必ず実施ください。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.3.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUB やインジェクタ等での PoE 給電が必要です)。

また、下記(1)~(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で 1.3.1.3.2.に示す設定変更が可能です。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.3.3 に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Ceiling と Wall の変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.3.1.初期設定

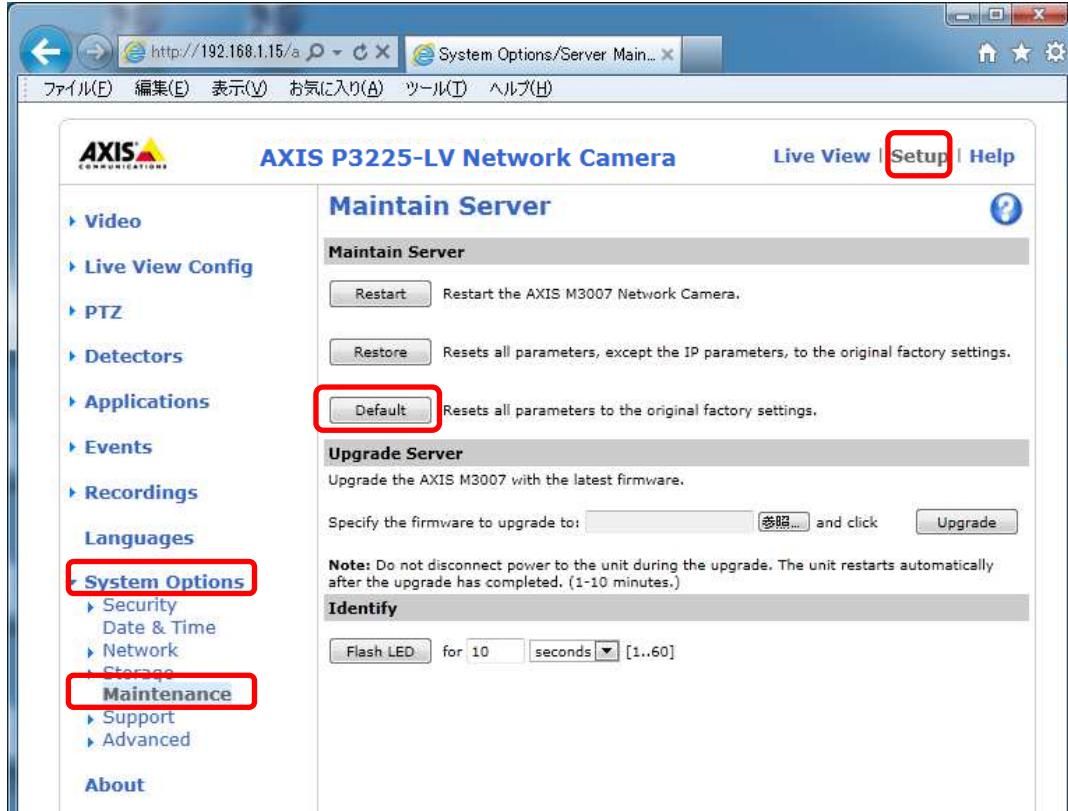
初期化する場合は[(1)初期化]～[(8)Zipstream 設定を変更する]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

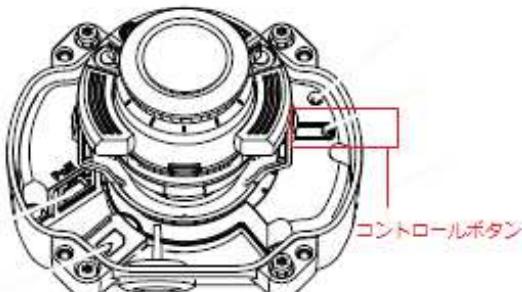
- ①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で「Default」を押下します。
- ④AXIS 全方位カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



P3225 シリーズ

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定します(2か所入力)。「OK」ボタンを押下します。



- ③「英語を使用します」を選択します。



④「Camera Orientation」を選択します。「OK」ボタンを押下します。

天井設置⇒「Ceiling」を選択

壁掛設置⇒「wall」を選択



⑤Configure capture mode で「1080p 1920×1080(16:9)@25/30fps (WDR)」に設定します。



⑥「Power line frequency」で「50Hz」か「60Hz」を選択します(フリッカ設定)。「OK」ボタンを押下します。

フリッカ設定後、ブラウザ上に映像が表示されます。



(!) フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

(3)セキュリティ設定1

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

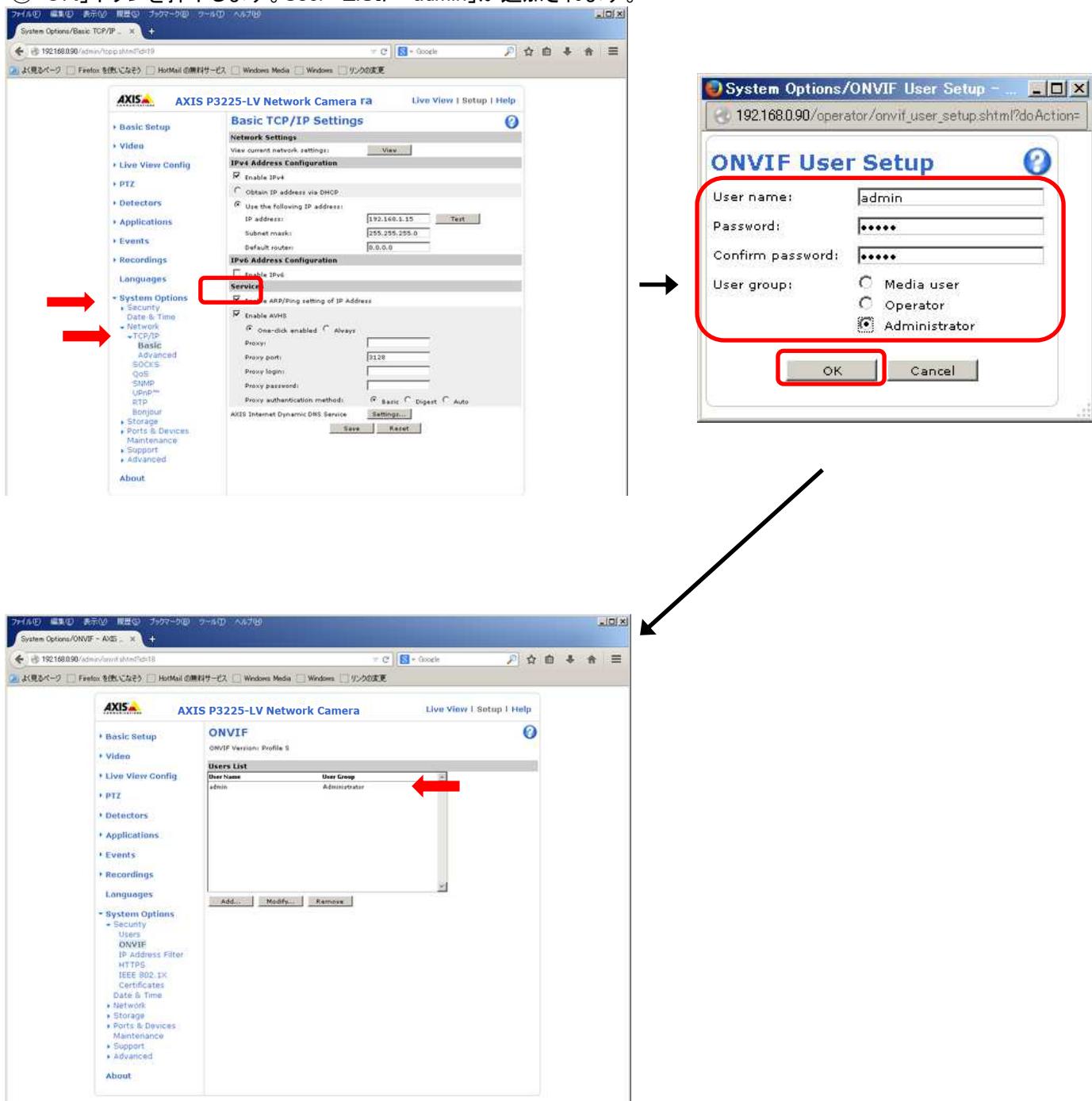
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [ONVIF] を選択します。「ADD...」ボタンを押下します。

ONVIF User Setup 画面が表示されます。

- 「User name」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Confirm Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「User group」 ⇒ 「Administrator」を選択します。

④「OK」ボタンを押下します。User Listに「admin」が追加されます。



(4)セキュリティ設定2

(セキュリティ設定1から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

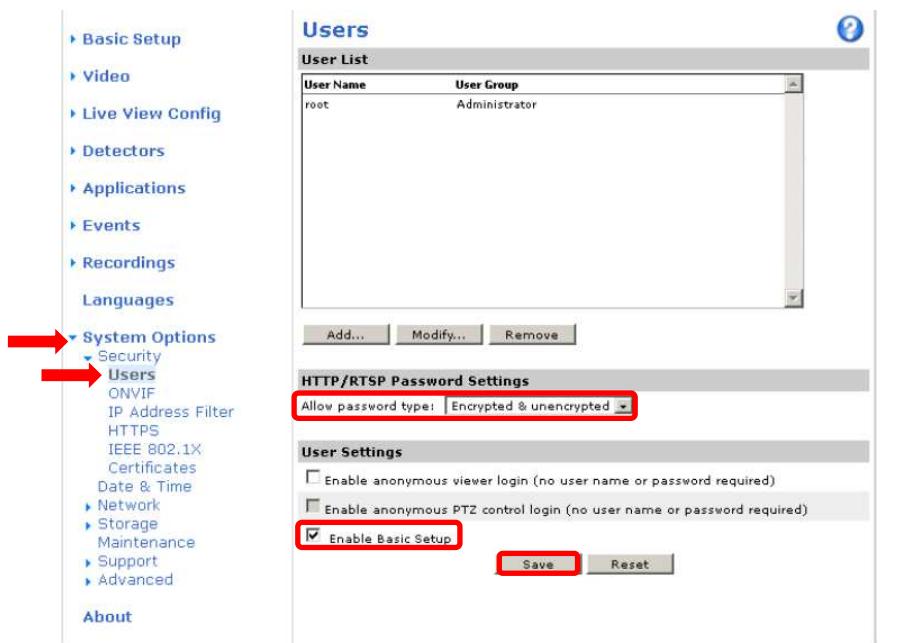
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users] を選択します。

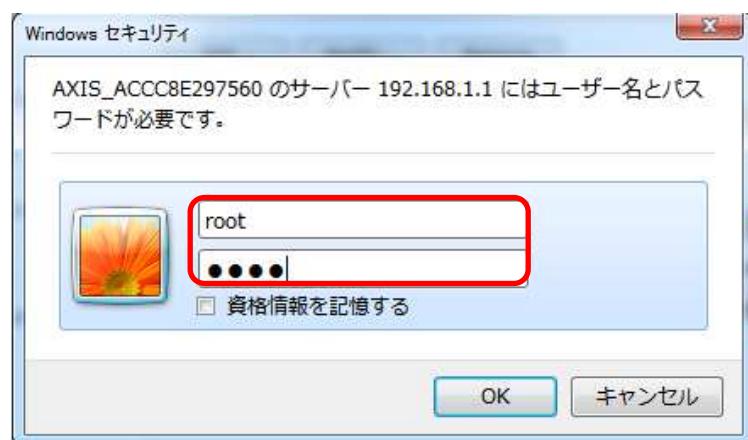
④「HTTP/RTSP Password Setting」にて、プルダウンから「Encrypted & Unencrypted only」を選択します。

⑤「User Settings」にて、「Enable Basic Setup」をチェックします。

⑥「Save」を押下します。



⑦セキュリティ設定を行った後、「Save」を押すとユーザ名、パスワードの入力を求めるポップアップが表示されますので、ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。



(5)ネットワーク設定

(セキュリティ設定2から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Network] → 「Basic」を選択します。

④「IPaddress」を「192.168.1.15」にします。

(*)カメラを接続するレコーダーのCH番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512に接続するPoE給電スイッチングHUBの設定」に記載のIPアドレスを参照してください。

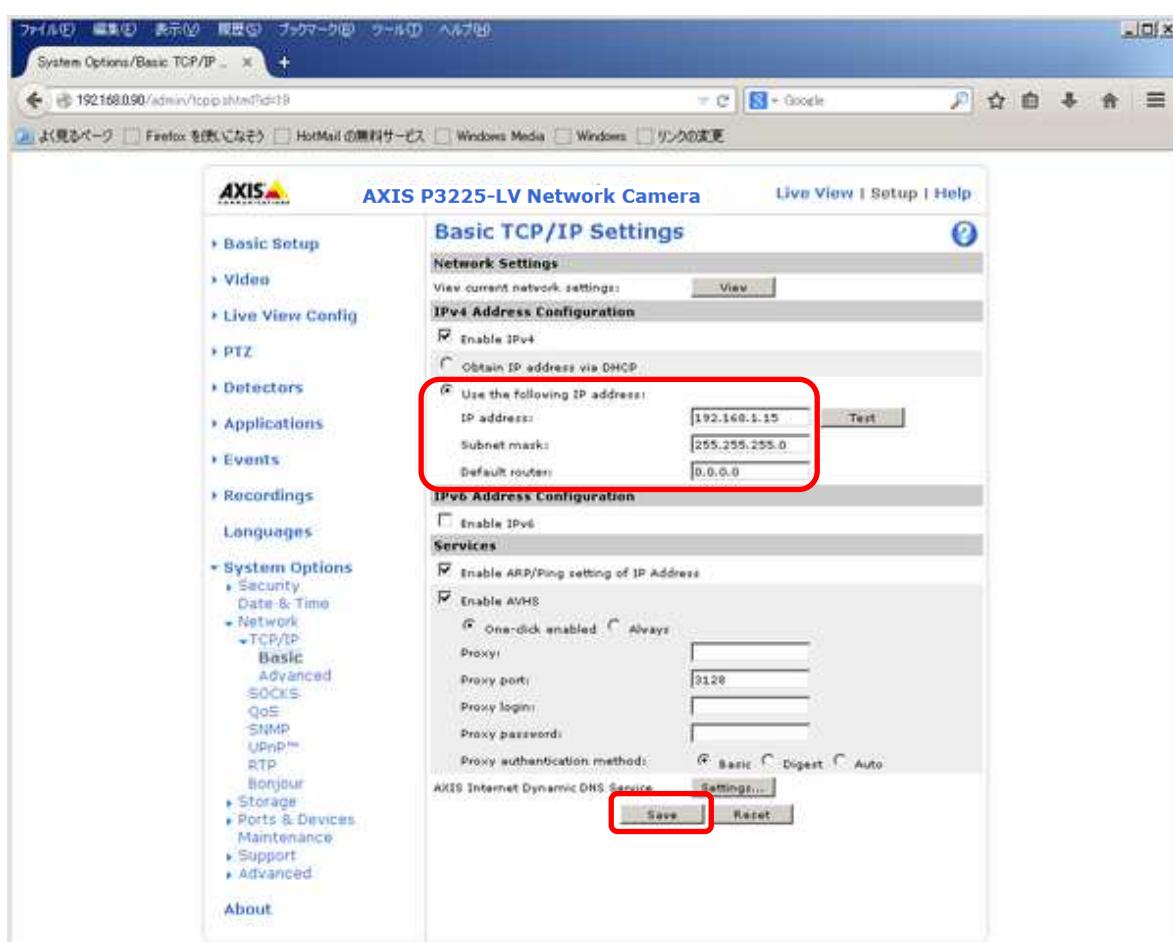
⑤「Subnet mask」を「255.255.255.0」にします。

⑥「Default router」を「0.0.0.0」にします(空欄は不可)。※購入時は空欄となっていますのでお気をつけ下さい。

⑦「Save」を押下します。

SAVEボタン押下後、カメラからの確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下してください。

① NR-5200/5280に接続する際は、「IPaddress」「Subnet mask」「Default router」の値はネットワーク設計にあわせて設定して下さい。



(6) ビットレートを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

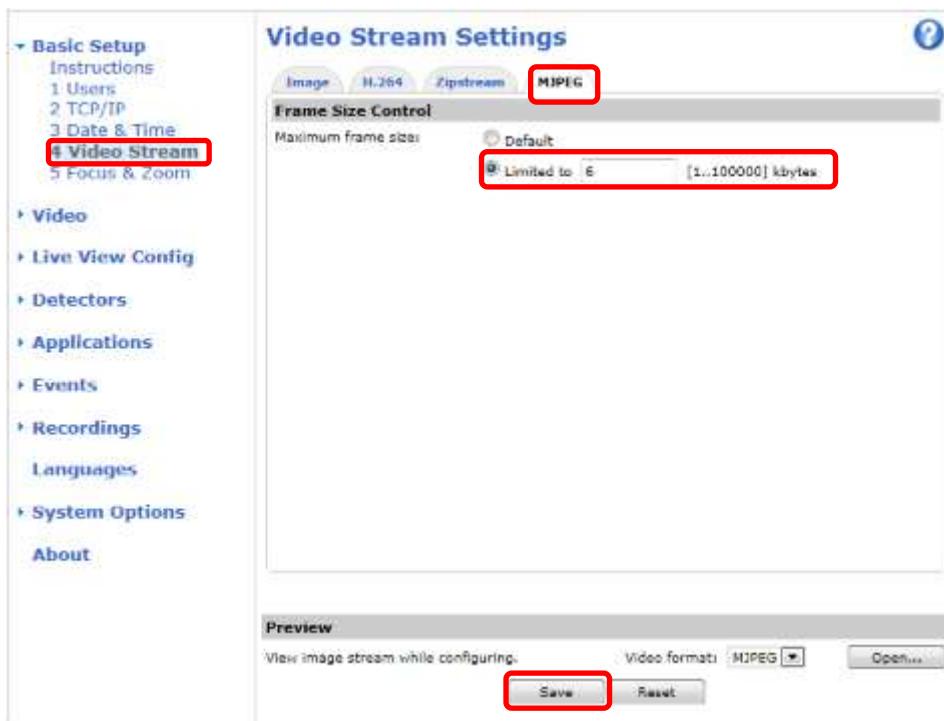
② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ [Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。

④ [Maximum frame size]で、[Limited to]を選択します。

⑤ [Limited to]のテキストボックスに、[6]を入力します。

⑥ 「Save」を押下します。



(7) ビットレートコントロールを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

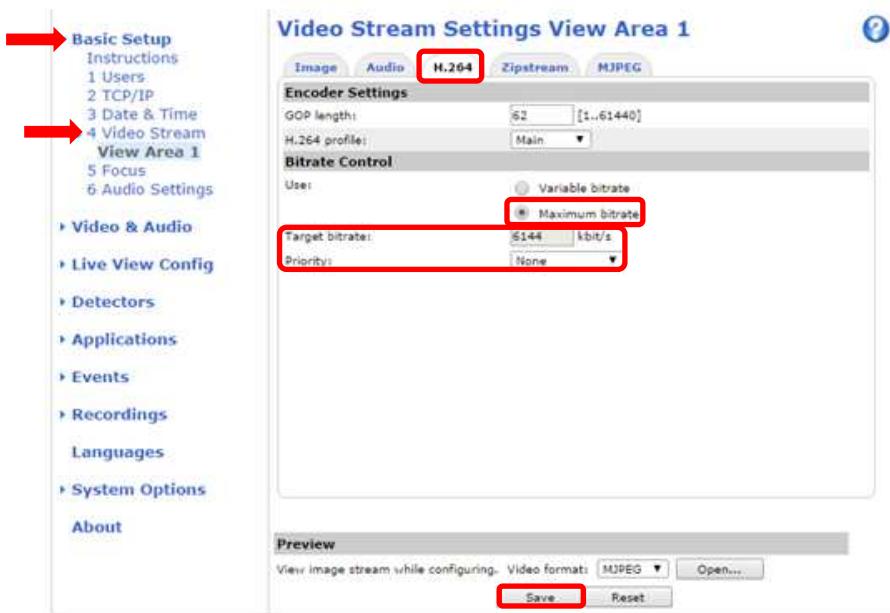
① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[H.264]タブを選択します。

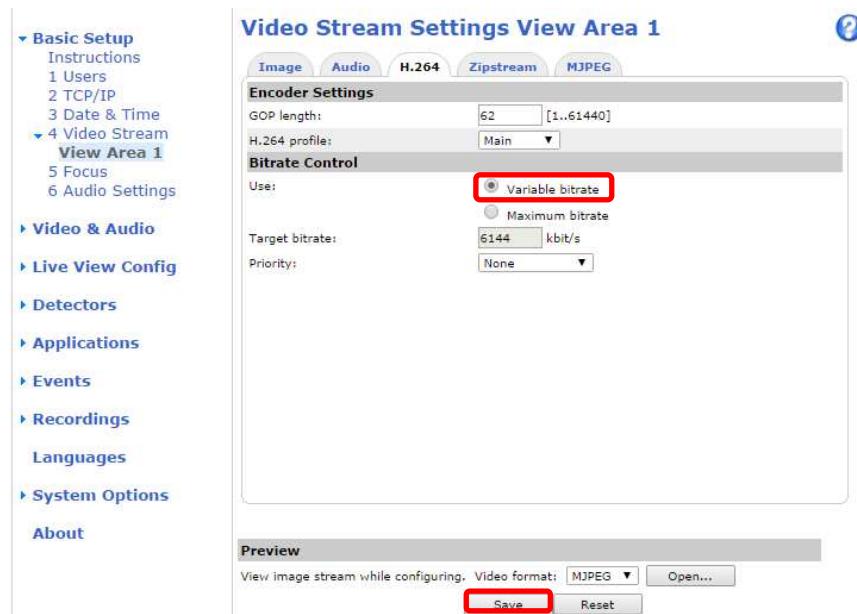
④ Bitrate Control にて Use「Maximum bitrate」を選択します。

⑤ Target bitrate のテキストボックスに「6144」を入力して、Priority が「None」に設定されているのを確認した上で、SAVE を押し、設定が保存されていることを確認します。



⑥ 設定が保存されていることが確認できたら、Use「Variable bitrate」を選択します。

再度 SAVE を押し、設定が保存されていることを確認します。



(8)Zipstream 設定を変更する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

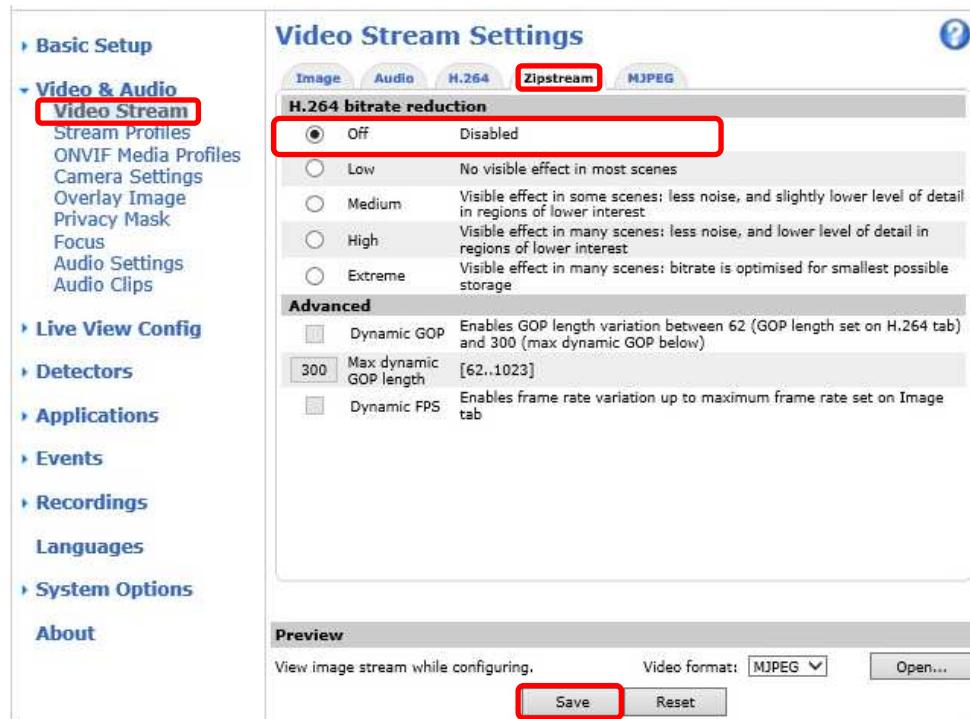
①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Video & Audio] → [Video Stream]を選択し、[Zipstream]タブを選択します。

④「H.264 bitrate reduction」にて、「Off」をチェックします。

⑤「Save」を押下します。



(9)SPS/PPS 設定をする

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[System Options] → [Advanced]を選択し、[Plain Config]を押下します。

④プルダウンで「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

⑤2 番目のプルダウンがある場合、「IO」を選択し、「Select image group」を押下します。

⑥ プルダウンで「I1～I7」を選択しないよう注意してください。

⑥[Image IO MPEG H264]の、[PS enabled]にチェックを入れます。

※チェックあり：映像に SPS/PPS 含む、チェックなし：映像に SPS/PPS 含まない。

⑦ページ下にある「Save」を押下する。

1.3.1.3.2.設定変更/画角調整/フォーカス調整

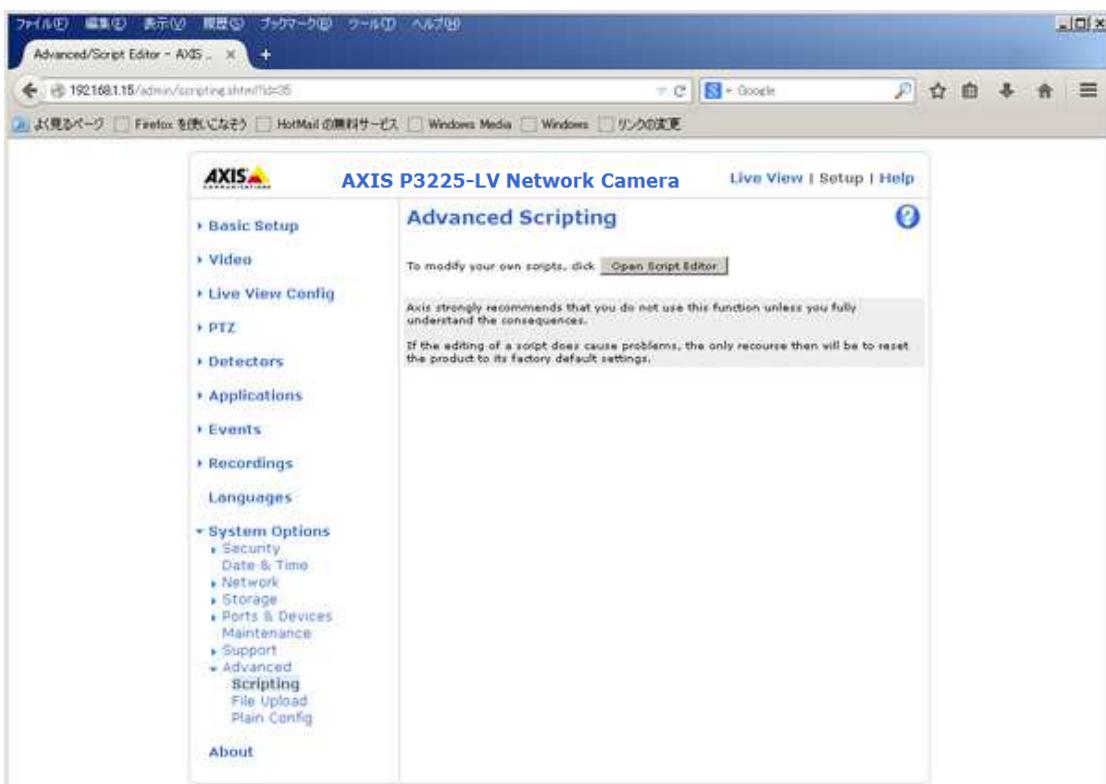
以下の設定変更の方法について示します。尚、弊社からご購入頂いた AXIS カメラでは、「天井付け(Ceiling)」、「50Hz」、「192.168.1.1」、WDR(ワイドダイナミックレンジ):「OFF」、Daynight:「Automatic」が事前設定されています。

- (1)「Ceiling と Wall の変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

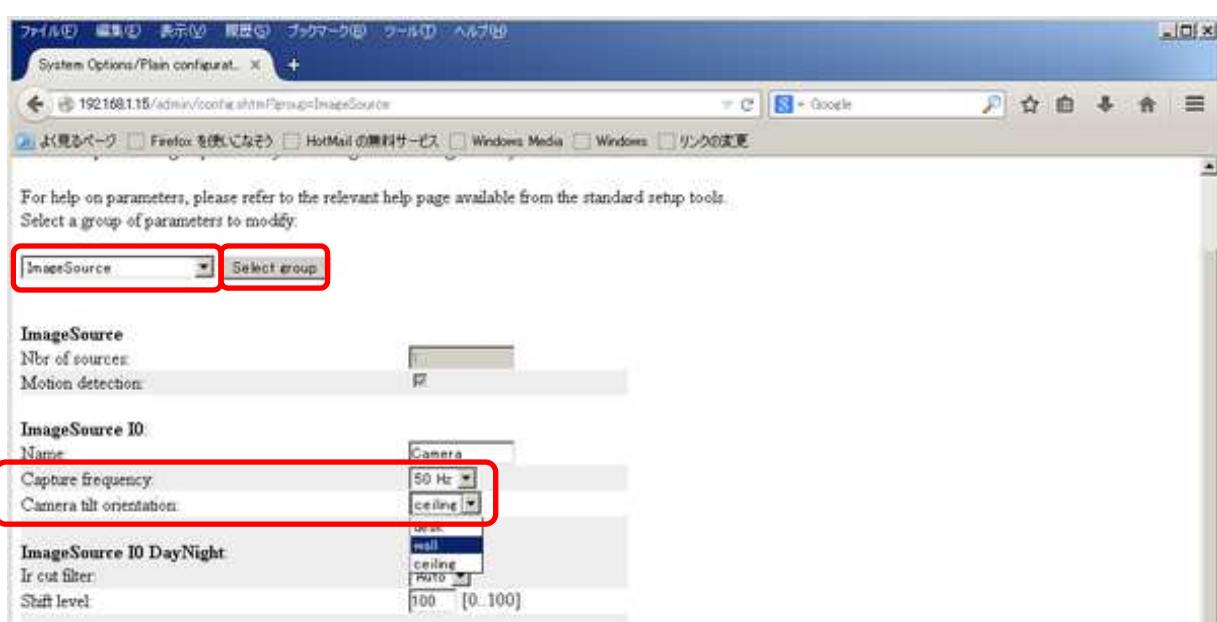
接続 CH の変更については、1.3.1.3.1.(5)を参照してください。

(1) Ceiling と Wall の変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config] を選択します。



- ④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。
- ⑤【Ceiling と Wall の変更】「Camera tile orientation」のプルダウンで、「ceiling」か「wall」を選択します。
【Flicker[50hz/60hz]の変更】「Capture Frequency」のプルダウンで変更します。



⑥設定反映のため、「Save」を押します。



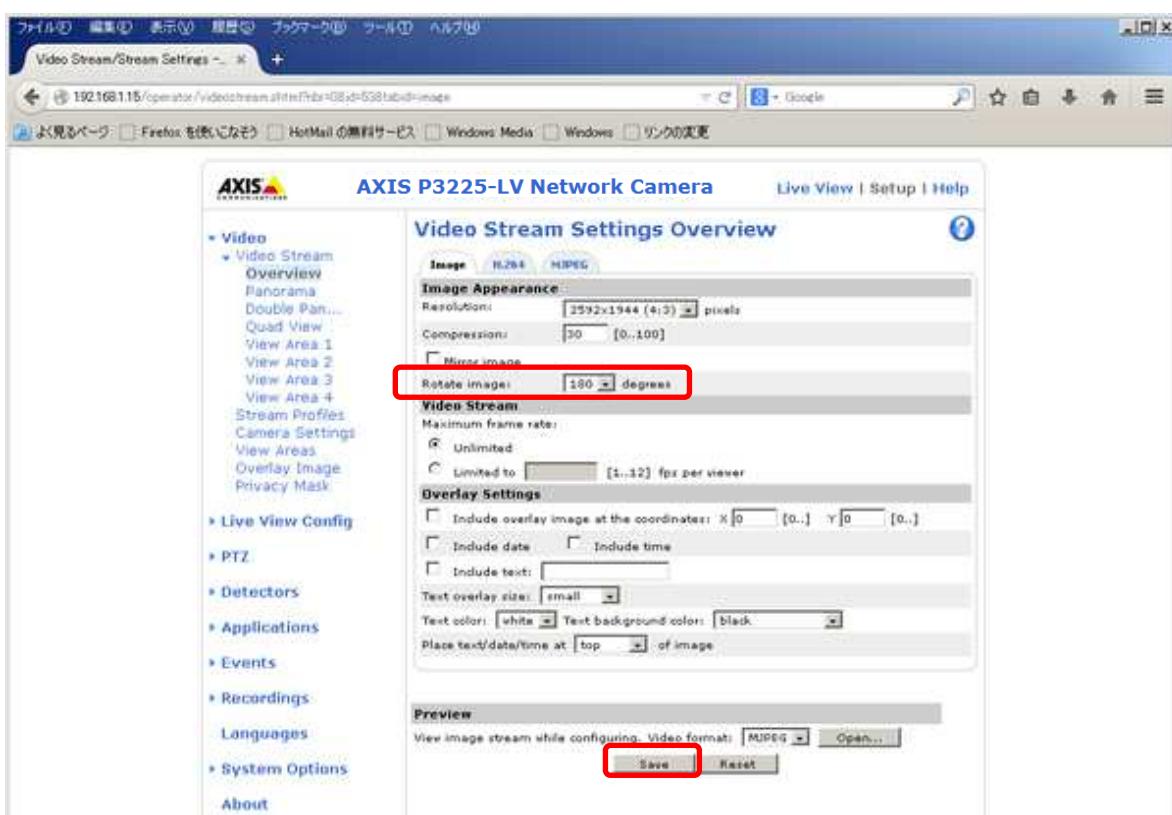
⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

① フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

(2)上下反転

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[Image]タブを選択します。
- ④ [Image]タブにて、「Rotate image」を「0」から「180」に変更します。
- ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



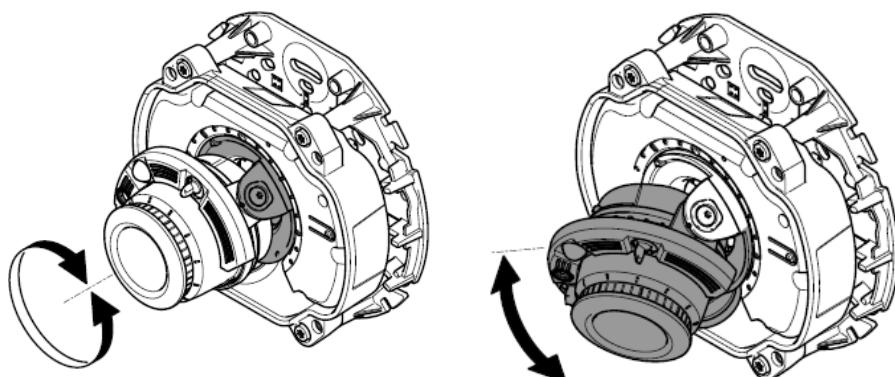
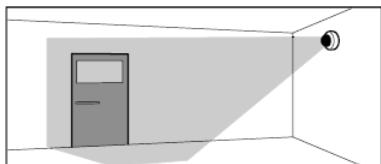
(3)画角/フォーカスを調整する

P3225 シリーズの場合、画角調整は、カメラのレンズ部分を物理的に動かして実施して下さい。ズームやフォーカス調整は AXIS カメラにパソコンからブラウザでアクセスして実施して下さい。

【カメラレンズ部の回転による画角調整】

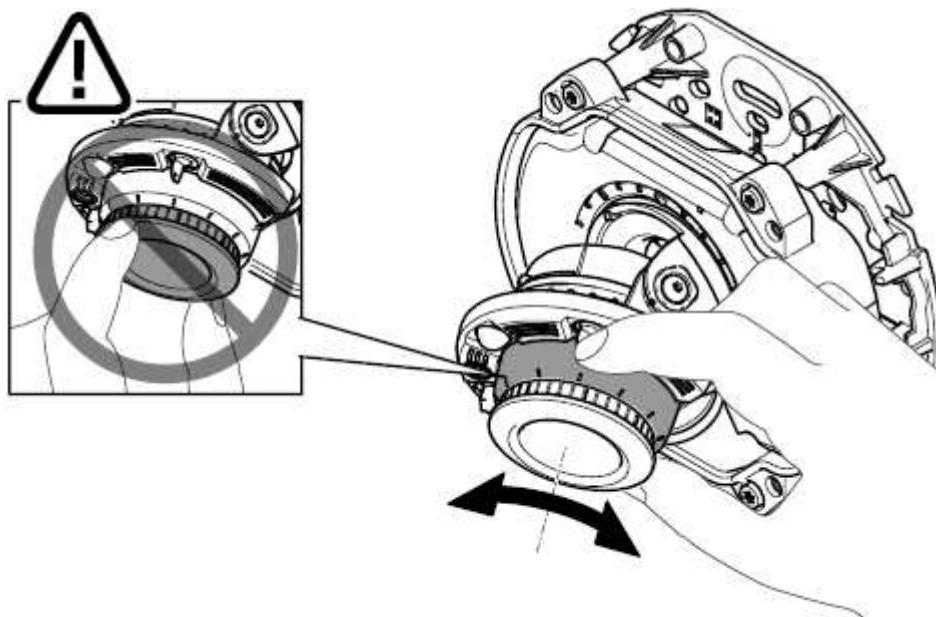
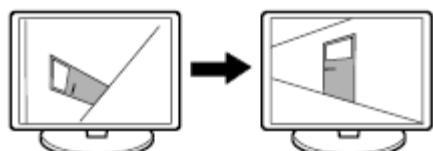
①AXIS カメラの映像をブラウザ、またはレコーダーに表示させます。

②カメラのグレー部を動かして撮影する位置を調整します。



③カメラの画角調整リング(グレー部)を動かして角度を調整します。

※レンズ付近のゴムを持って動かすとゴムが外れるため、プラスチック部を持って調整してください。

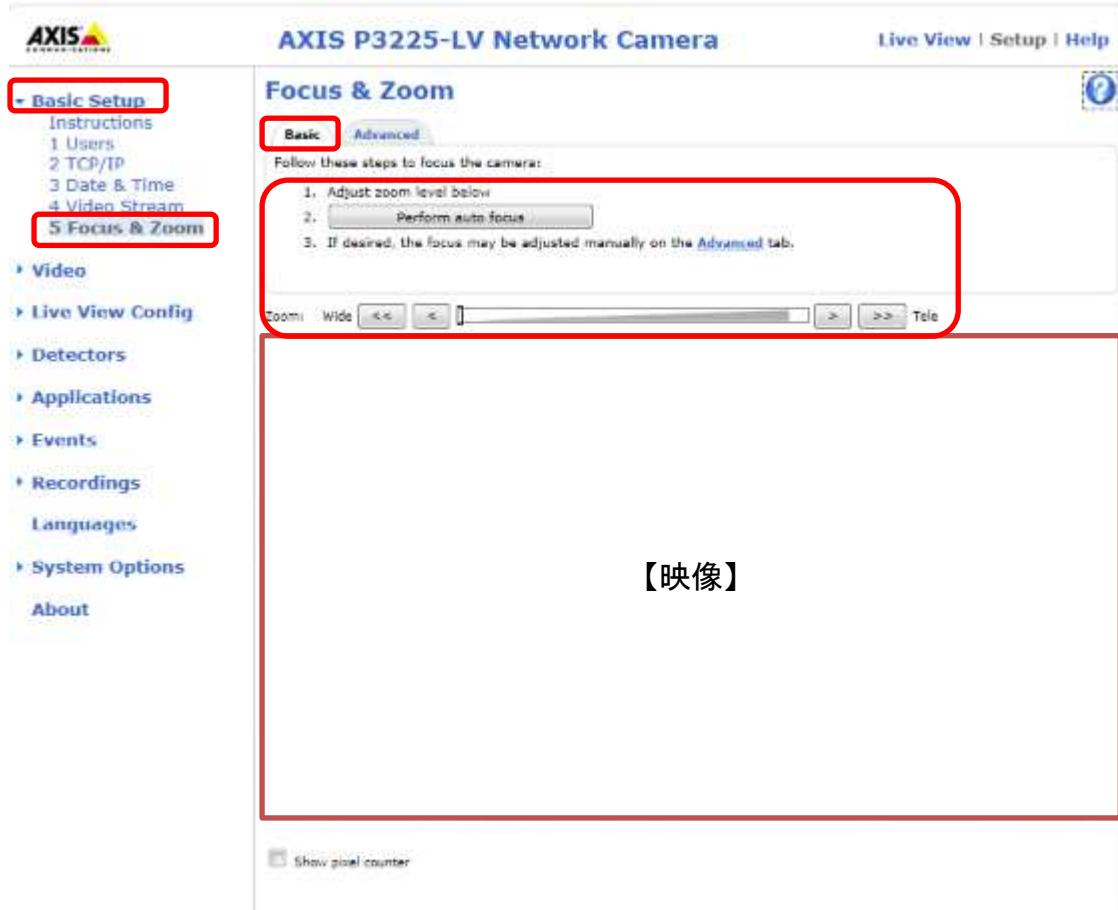


【ブラウザでのズーム/フォーカス調整】

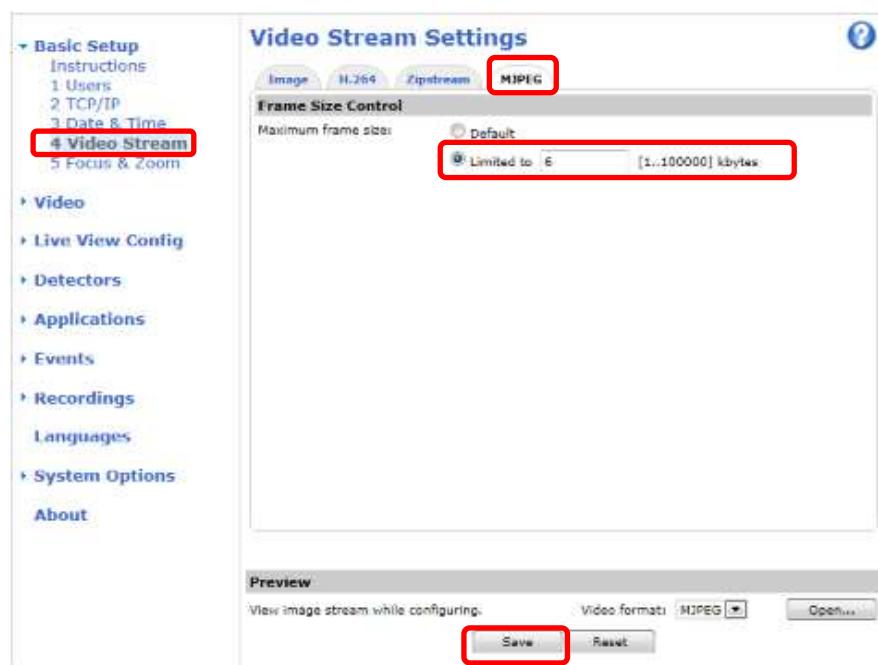
- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上)をクリックして設定画面を開きます。
- ④[Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。
- ⑤[Maximum frame size]で、[Default]を選択します。
- ⑥「Save」を押下し、ビットレート設定を一時解除します。



- ⑦[Basic Setup] → [Focus&Zoom]を選択し画面を開きます。
- ⑧[Advanced]タブに切替えて、[Open iris]をクリックします。
- ⑨Zoom を操作して画角を設定します。
- ⑩[Perform auto focus] をクリックしてフォーカスを自動調整します。

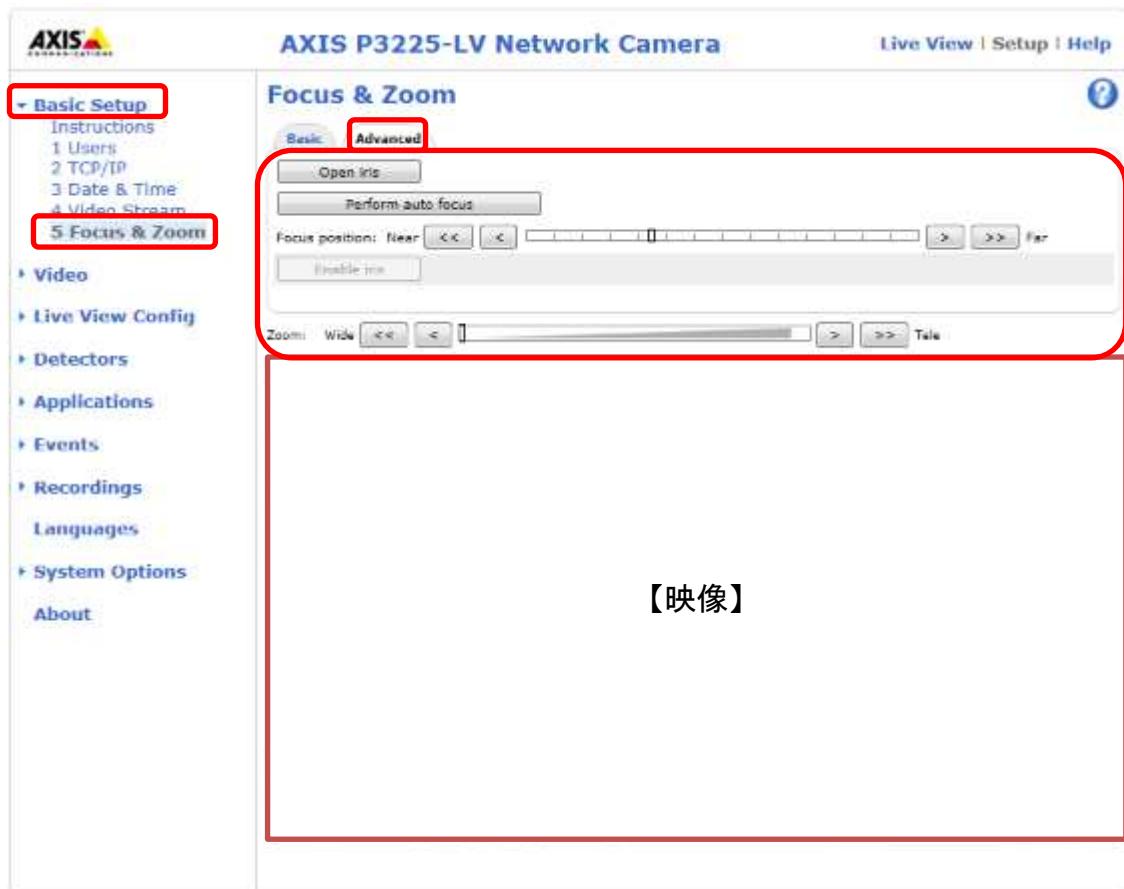


- ⑪再度[Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。
- ⑫[Maximum frame size]で、[Limited to]を選択します。
- ⑬[Limited to]のテキストボックスに、[6]を入力します。
- ⑭「Save」を押下し、ビットレート設定再設定します。



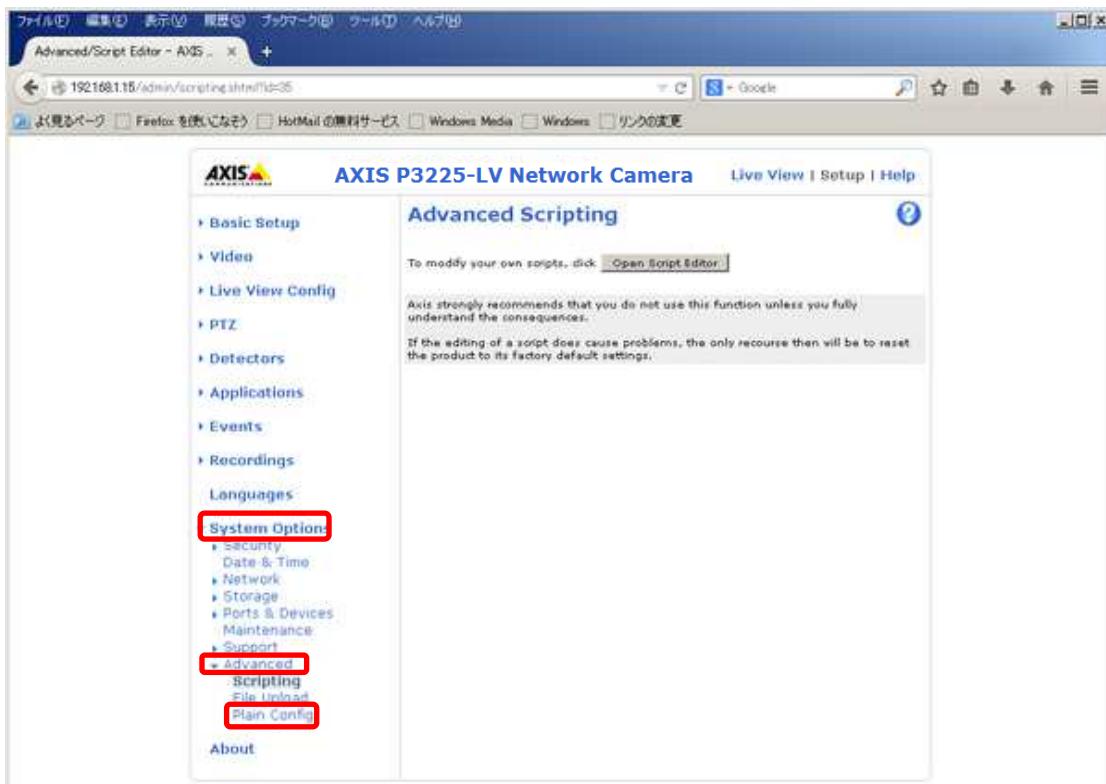
①上手く対象にフォーカスが合わない等があれば必要に応じて、⑧～⑩の手順を[Advanced]タブで実施してください。フォーカスをマニュアルで合わせることができます。⑧～⑩の手順の[Advanced]タブでの設定方法は以下です。

- ①[Advanced]タブに切替えて、[Open iris]をクリックします。
- ②映像上に表示されるフォーカスポイントをマウスで調整します。
- ③Zoomを操作して画角を設定します。
- ④Focus positionを操作して焦点距離を設定します。
- 自動調整したい場合は[Perform auto focus]をクリックしてフォーカスを自動調整します。
- ⑤[Enable iris]をクリックします。



(4) WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config]を選択します。



- ④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS P3225-LV Mk II Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.
Select a group of parameters to modify:

ImageSource

Motion detection:

Nbr of sources:

ImageSource I0:

Camera tilt orientation:

Capture frequency:

Name:

ImageSource I0 DayNight:

Ir cut filter:

Shift level: [0..100]

⑤画面を下にスクロールして表示される「WDR」のプルダウンで、「On」か「Off」を選択します。

⑥設定反映のため、「Save」を押します。

| | |
|--|--|
| Manual gain control: | <input type="checkbox"/> |
| Manual shutter: | 33333 [-60..2000000] |
| Manual shutter control: | <input type="checkbox"/> |
| Max auto gain control lowlight: | 100 [0..100] |
| Max auto gain control normal: | 50 [0..100] |
| Max exposure time: | 166667 [-60..2000000] |
| Max fast shutter: | 1000 [1..33333] |
| Max gain: | 100 [0..100] |
| Max slow shutter: | 33333 [16666..2000000] |
| Min exposure time: | 0 [-60..2000000] |
| Min gain: | 0 [0..100] |
| Sharpness: | 50 [0..100] |
| WDR: | On <input type="button" value="▼"/> |
| White balance: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance window: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance xstart: | 0 [0..9999] |
| White balance xstop: | 9999 [0..9999] |
| White balance ystart: | 0 [0..9999] |
| White balance ystop: | 9999 [0..9999] |
| ImageSource I0 Sensor CustomExposureWindow: | |
| Nbr of configs: | 0 |
| Weight: | 100 [0..100] |
| Save page changes: | <input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Reset"/> |

⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

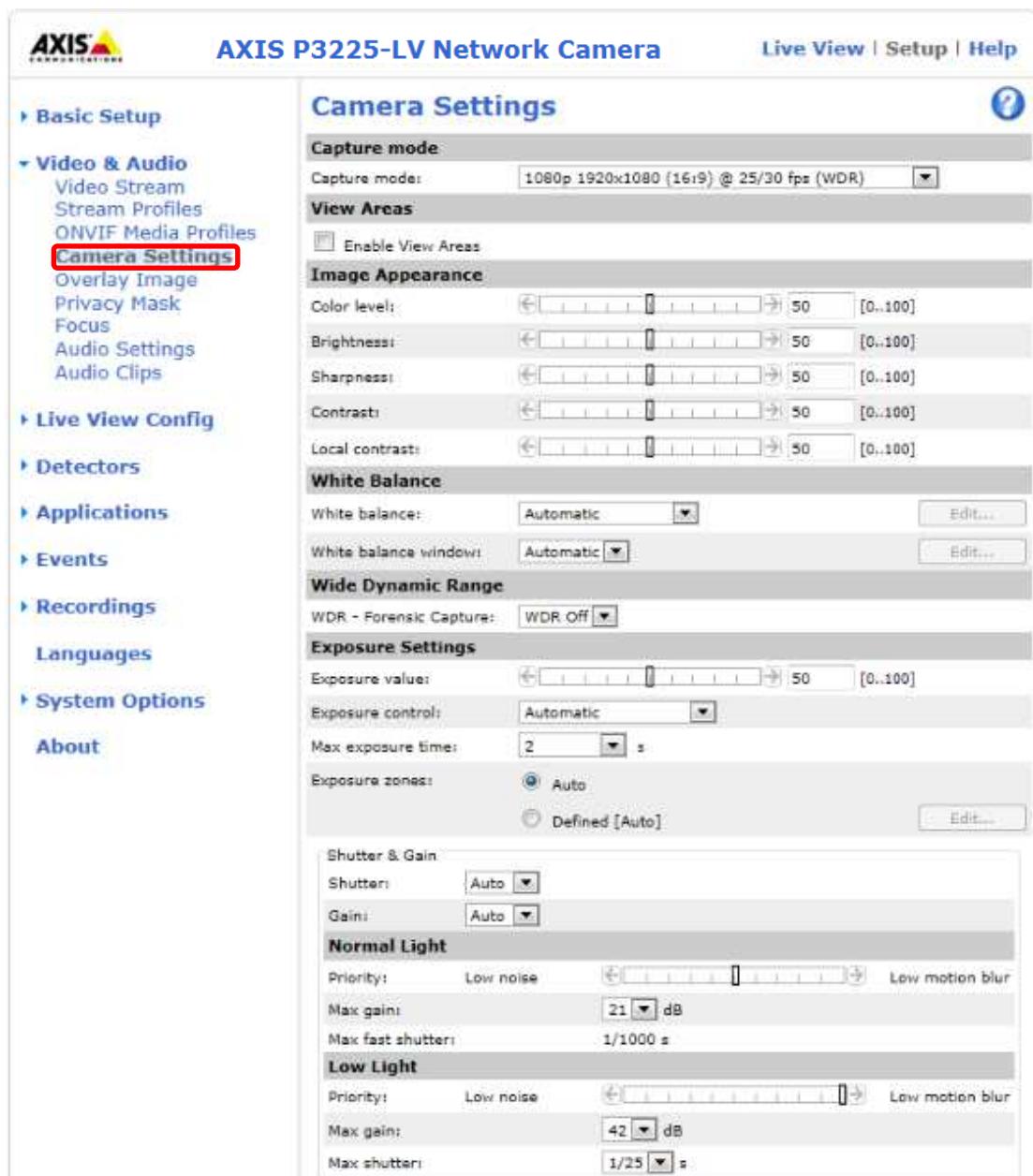
※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

!
⑧詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

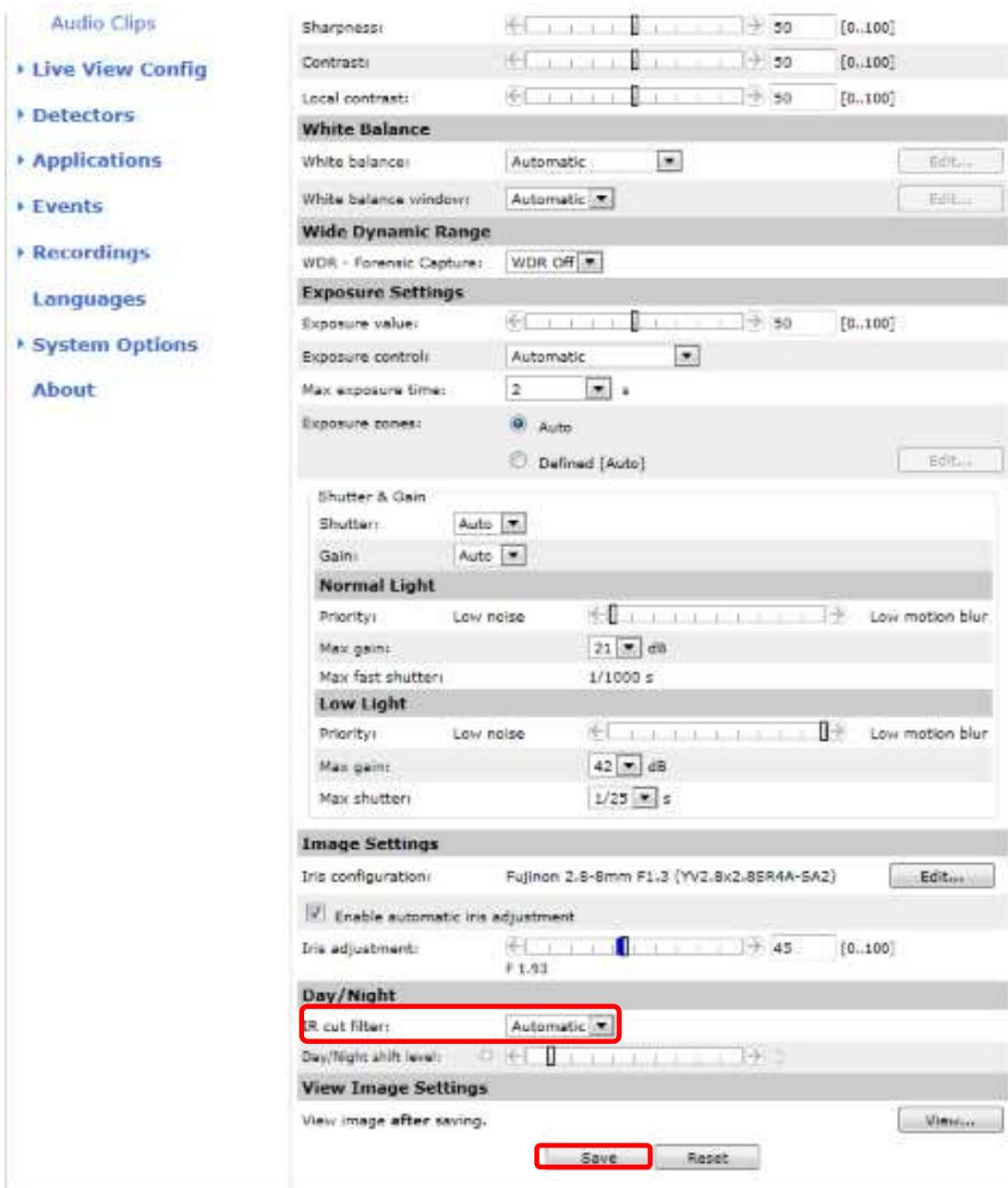
(5) Day/Night 設定を変更する

Day/Night 機能とは、AXIS カメラの映像を白黒映像に切り替える機能で、白黒映像下では低照度環境でも映像を撮影することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [Video & Audio] → [Camera Settings] を選択します。



- ④画面を下にスクロールして表示される「IR cut filter」のプルダウンで、「Automatic」、「On」、「Off」を選択します。（「Automatic」⇒自動切替、「On」⇒常時白黒、「Off」⇒常時カラー）
 ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



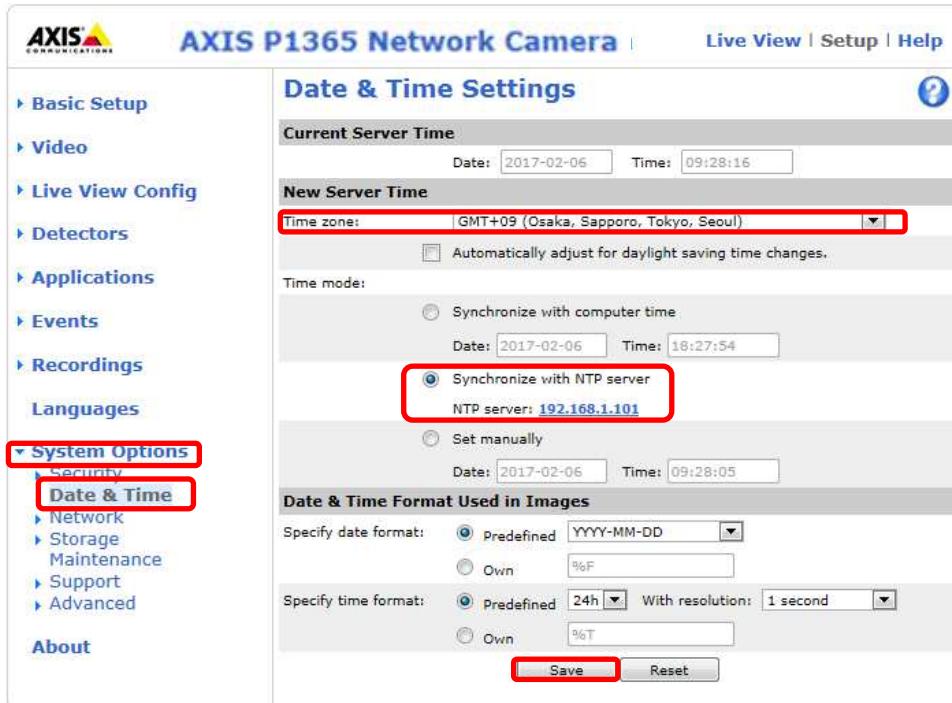
- ⑥設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
 ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、「Restart」ボタン押下にて実行できます。

! 詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

(6) カメラ映像に日時時刻を表示する

レコーダーと時刻同期を取り、カメラ映像に現在時刻を表示することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Date & Time] を選択します。
- ④「Time zone:」のプルダウンで、「GMT+09(Osaka,Sapporo,Tokyo,Seoul)」を選択します。
- ⑤「Time mode:」が、「Synchronize with NTP server」が選択されていることを確認します。
- ⑥設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑦[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] を選択します。
 ⑧「NTP configuration」が、「Use the following NTP server address」を選択します。
 ⑨「Network address:」の欄に接続する MELOOK3 レコーダーの IP を入力選択します。
 ⑩設定反映のため、「Save」を押します。

AXIS P1365 Network Camera

Advanced TCP/IP Settings

DNS Configuration

Obtain DNS server address via DHCP

Use the following DNS server address:

Domain name:

Primary DNS server:

Secondary DNS server:

NTP Configuration

Obtain NTP server address via DHCP

Use the following NTP server address:

Network address: (host name or IP address)

Host Name Configuration

Use the host name:

Enable dynamic DNS updates (Axisproduct.example.com)

TTL:

Link-Local IPv4 Address

Auto-Configure Link-Local Address

HTTP

HTTP port:

HTTPS

HTTPS port:

NAT traversal (port mapping) for IPv4

NAT traversal is disabled.

Use manually selected NAT routers: (LAN IP address)

Alternative HTTP port:

* If set to blank or 0, a port number will be set automatically upon enable.

FTP

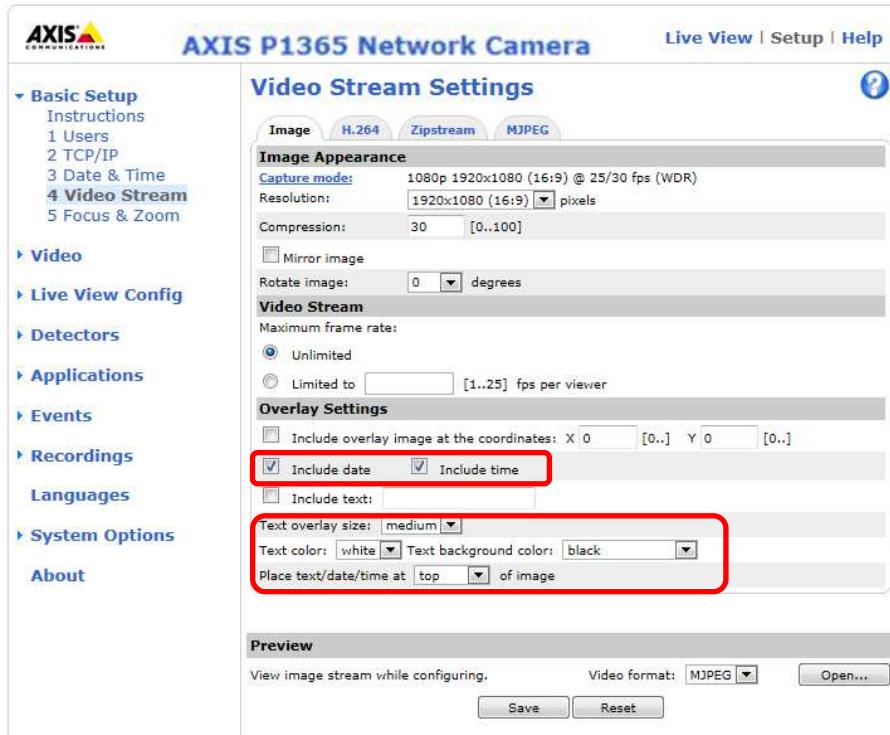
Enable FTP server

RTSP

Enable RTSP server

RTSP port:

- ⑪[Setup](画面右上) → [Basic Setup] → [Video Stream] を選択します。
- ⑫「Overlay Setting」の「Include date」と「Include time」をチェックします。
- ※表示時刻の文字サイズを変更したい場合は、「Text overlay size:」を変更してください。(初期値「medium」)
- 表示時刻の文字色を変更したい場合は、「Text color:」を変更してください。(初期値「white」)
- 表示時刻の背景色を変更したい場合は、「Text background color」を変更してください。(初期値「black」)
- 時刻の表示位置を変更したい場合は、「Place text/date/time at」を変更してください。(初期値「top」)
- ⑬設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑭設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
- ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

1.3.1.3.3.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- (!) カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- (!) カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体に設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- (!) フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.1.4. 固定ドーム型カメラ(P3224-V Mk II)

固定ドーム型カメラ(P3224-V Mk II)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた固定ドーム型カメラ(P3224-V Mk II)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能のように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続CHを変更する場合は、予めブラウザ経由で1.3.1.4.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUBやインジェクタ等でのPoE給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.4.2に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「CeilingとWallの変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.4.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(5)プレイン設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(2)④]を参照し、設定を実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

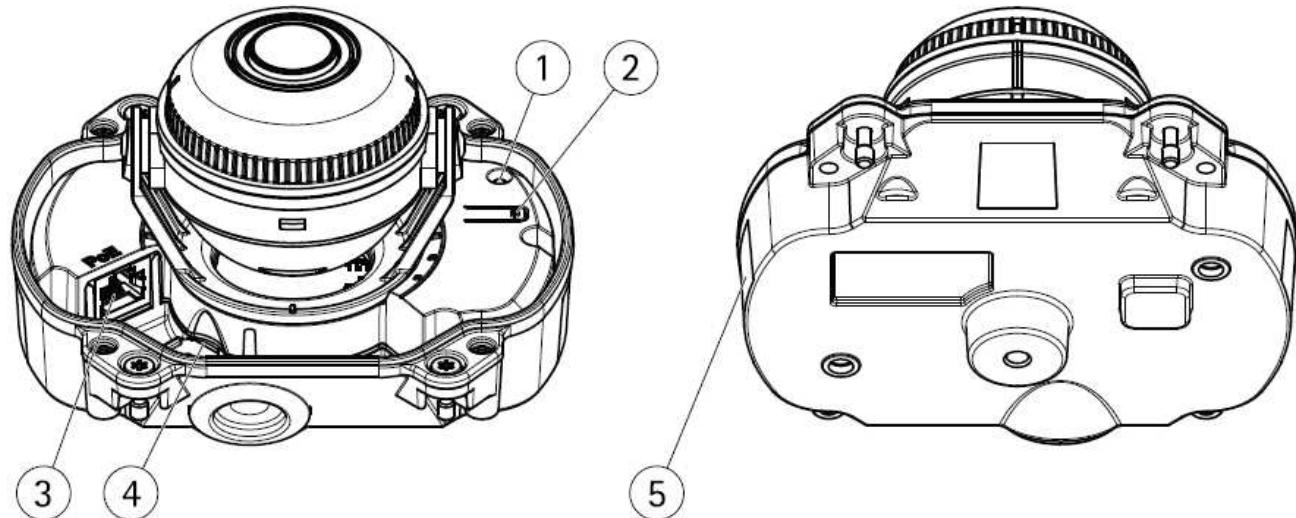
④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変ります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後起動完了します。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 ステータス/LEDインジケーター
2 コントロールボタン
3 ネットワークコネクタ (PoE)
4 SDメモリーカードスロット
5 型番 (P/N) とシリアル番号 (S/N)

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

root

パスワード
パスワードの再入力
パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

日本語

ログインの作成



- ③電源周波数を「50Hz」に、キャプチャモードを「720p 1280x720(16:9)@25/30fps(WDR)」に、設置位置を「天井」に設定する。

開始

電源周波数を選択してください

50 Hz ▾

これは何ですか? ▾

キャプチャモードを選択してください

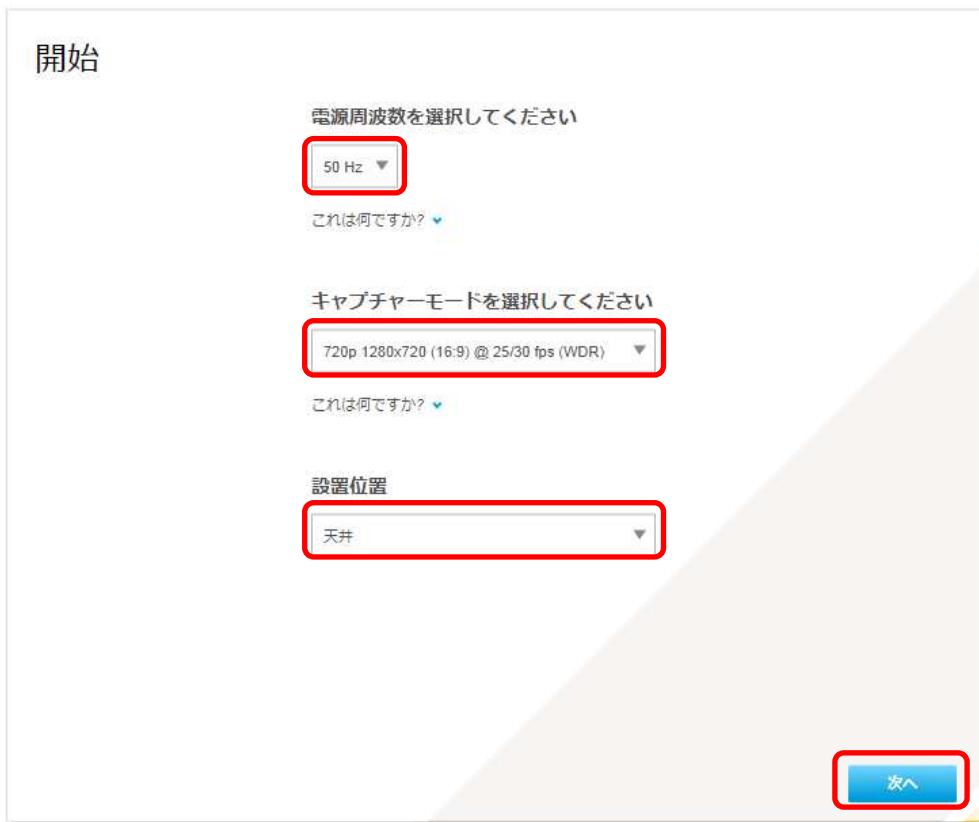
720p 1280x720 (16:9) @ 25/30 fps (WDR) ▾

これは何ですか? ▾

設置位置

天井

次へ



! フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

④IP アドレスを設定します。

[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」

に設定します。



- ① 各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、「[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



⑤日付と時刻(NTP サーバーとタイムゾーン)を設定します。

[NTP サーバーに接続する]で「手動」を選択し、[NTP サーバー]に「192.168.2.100」を入力します。

[タイムゾーン]は「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択します。



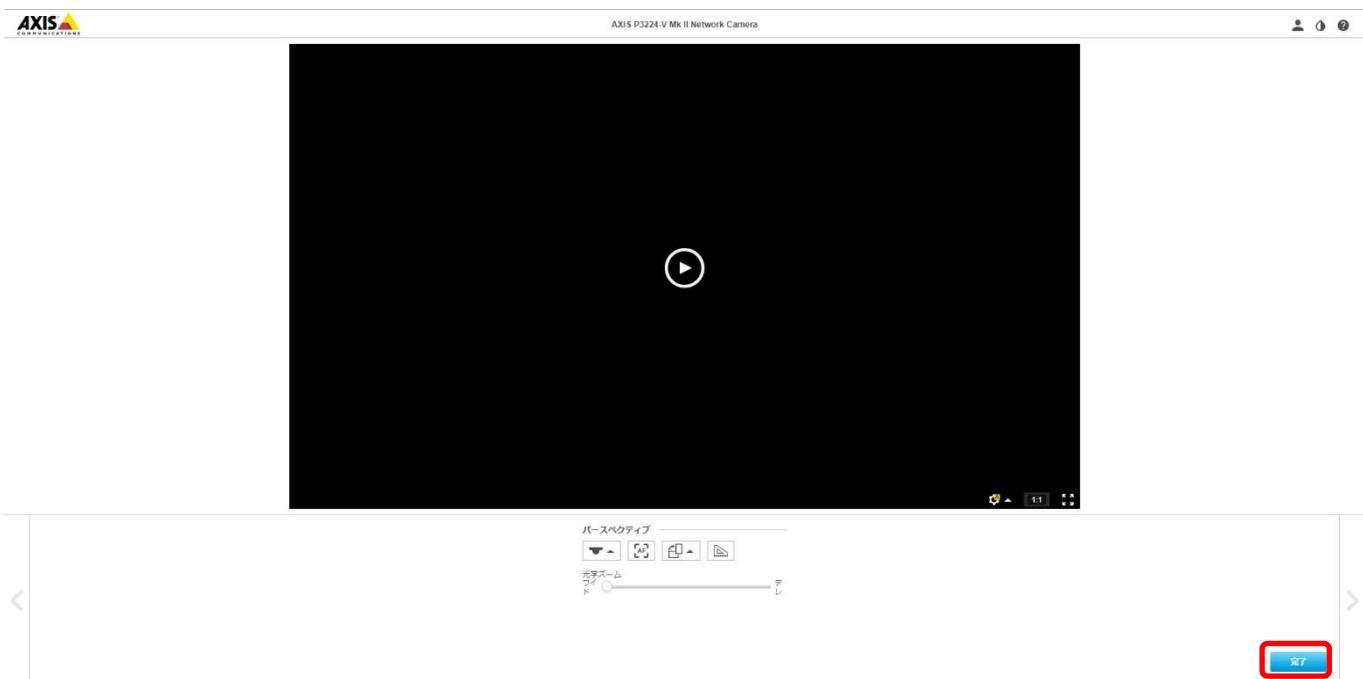
①各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合や、接続レコーダーの IP アドレスが変更になった場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら、②で設定したとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3) ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



④表示される[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF]を選択し、[Users List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

⑤[ONVIF User Setup]ブラウザにて、[User name:]に「admin」、[Password:]に「admin」を入力し、
[User group:]で「Administrator」を選択します。

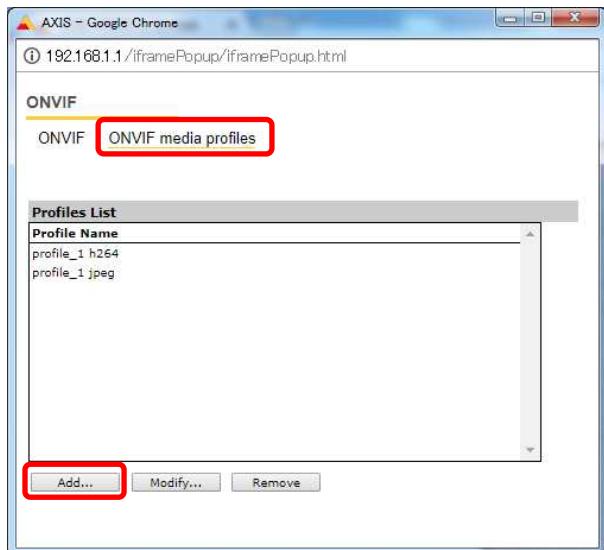
⑥その後「OK」を押し、[Users List]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

The figure consists of three screenshots illustrating the user account creation process:

- Screenshot 1:** A browser window titled "ONVIF" showing the "Users List" table. The "Add..." button at the bottom left is highlighted with a red box.
- Screenshot 2:** A modal dialog titled "ONVIF User Setup". It contains fields for "User name:" (admin), "Password:" (*****), "Confirm password:" (*****), and "User group:" (with "Administrator" selected). The entire dialog is highlighted with a red box. An arrow points from the "OK" button of this dialog to the "Add..." button in the browser's "Users List" table.
- Screenshot 3:** A browser window titled "ONVIF" showing the "Users List" table. The newly created "admin" account is listed under "User Name" and "User Group". The entire "Users List" table is highlighted with a red box. An arrow points from the "OK" button in the previous dialog to this list.

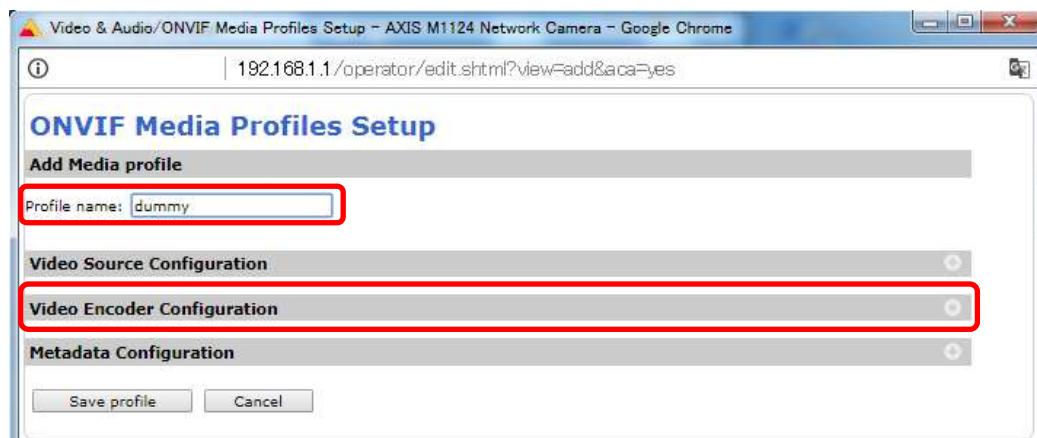
⑦ONVIF media profiles の設定をします。

[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF media profiles]を選択し、[Profile List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

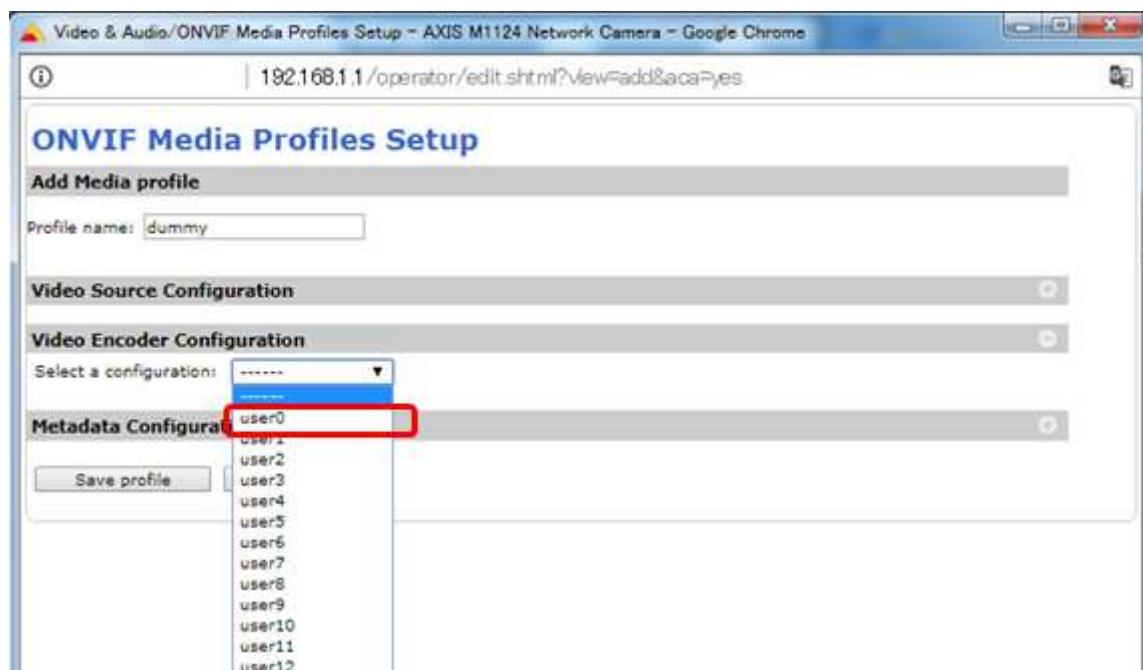


⑧[ONVIF Media Profiles Setup]ブラウザが表示されるので、[Profile name:]に「dummy」と入力します。

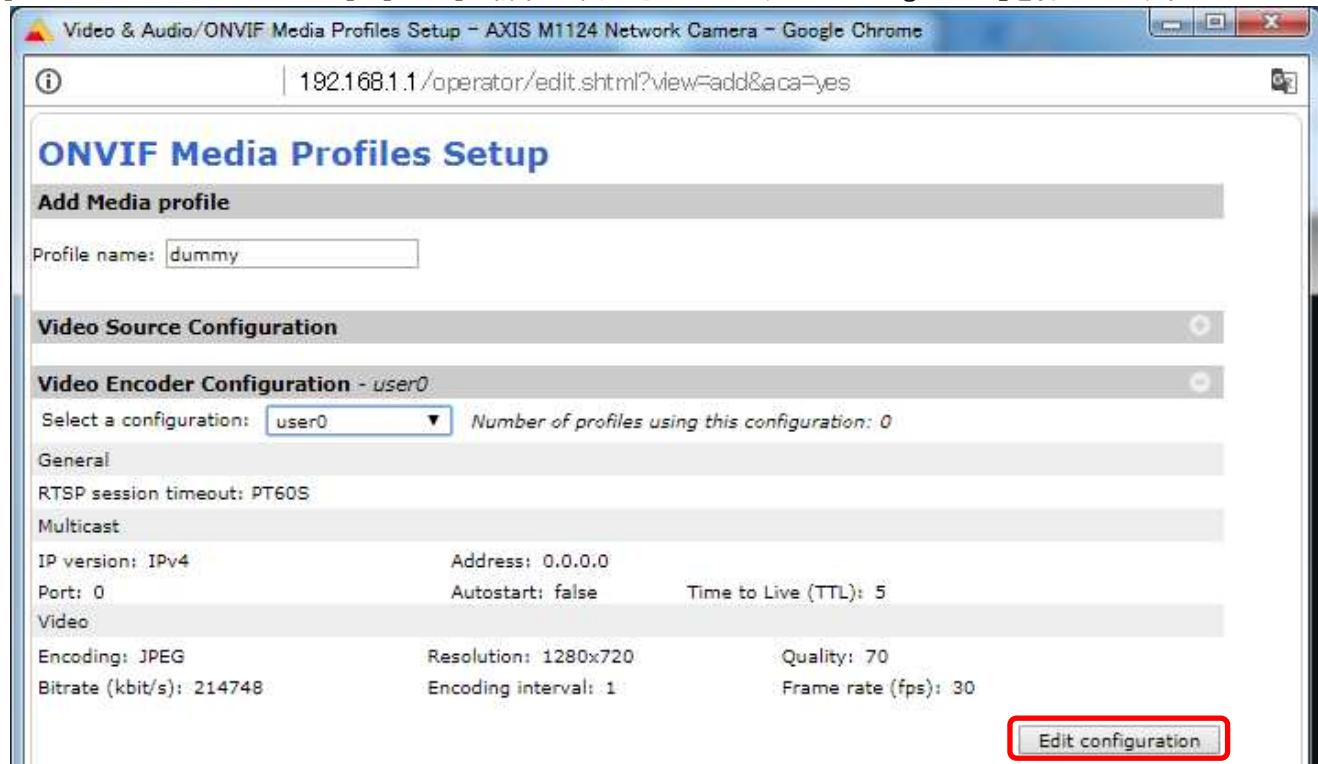
[Video Encoder Configuration]の右側にある「+」を押下します。



⑨プルダウンで「user0」を選択します。



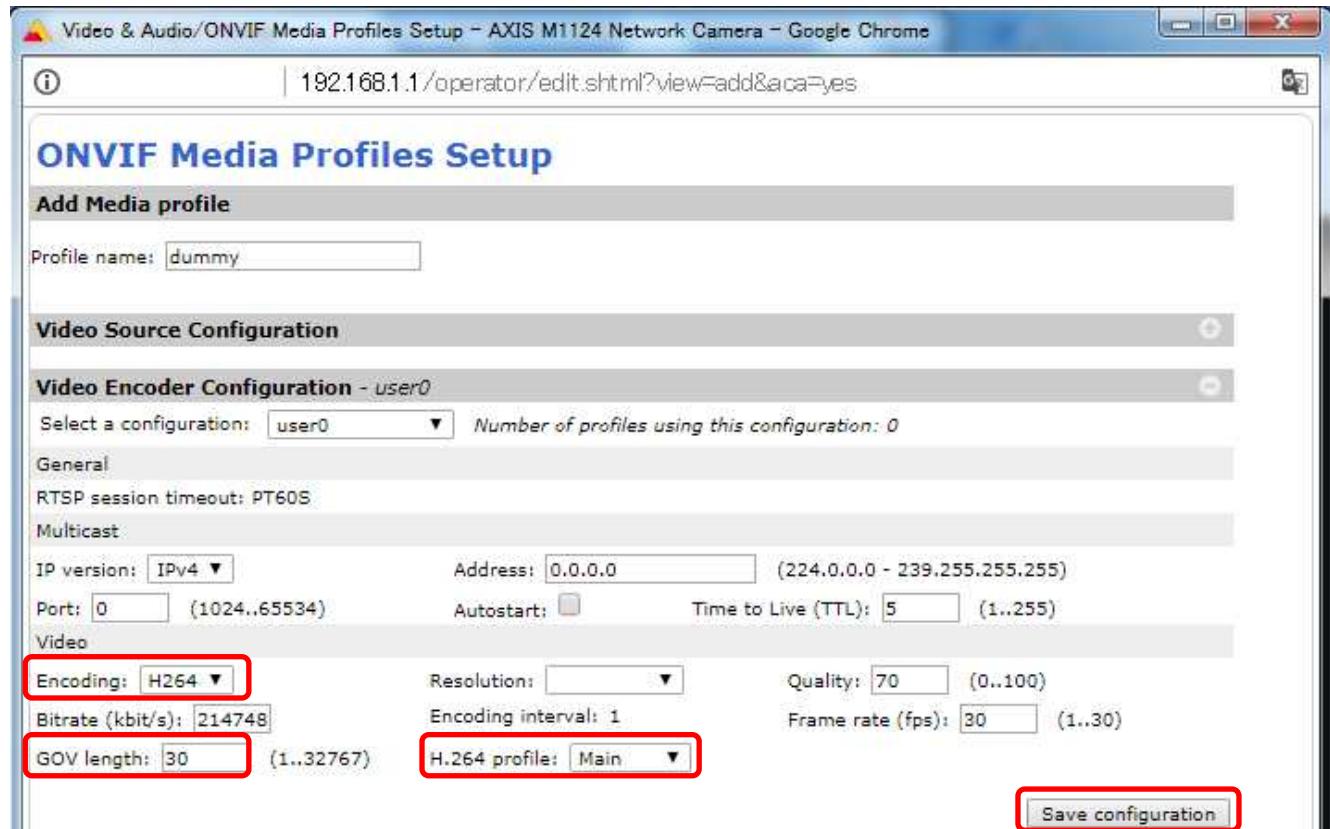
⑩[Video Encoder Configuration]で[user0]の詳細が表示されるので、「Edit configuration」を押下します。



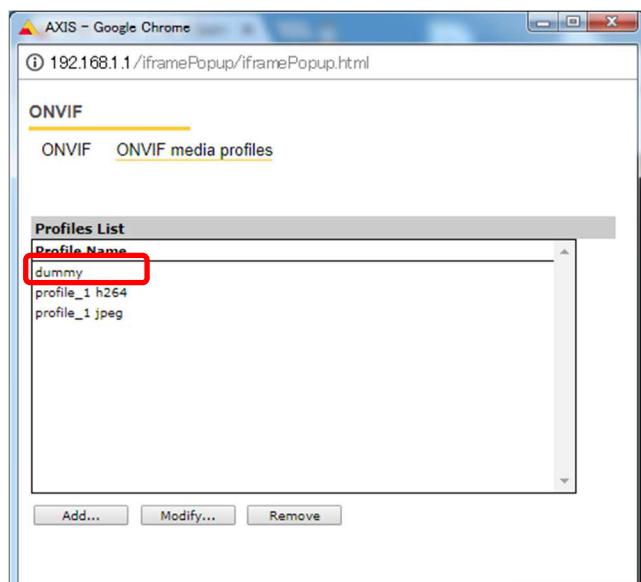
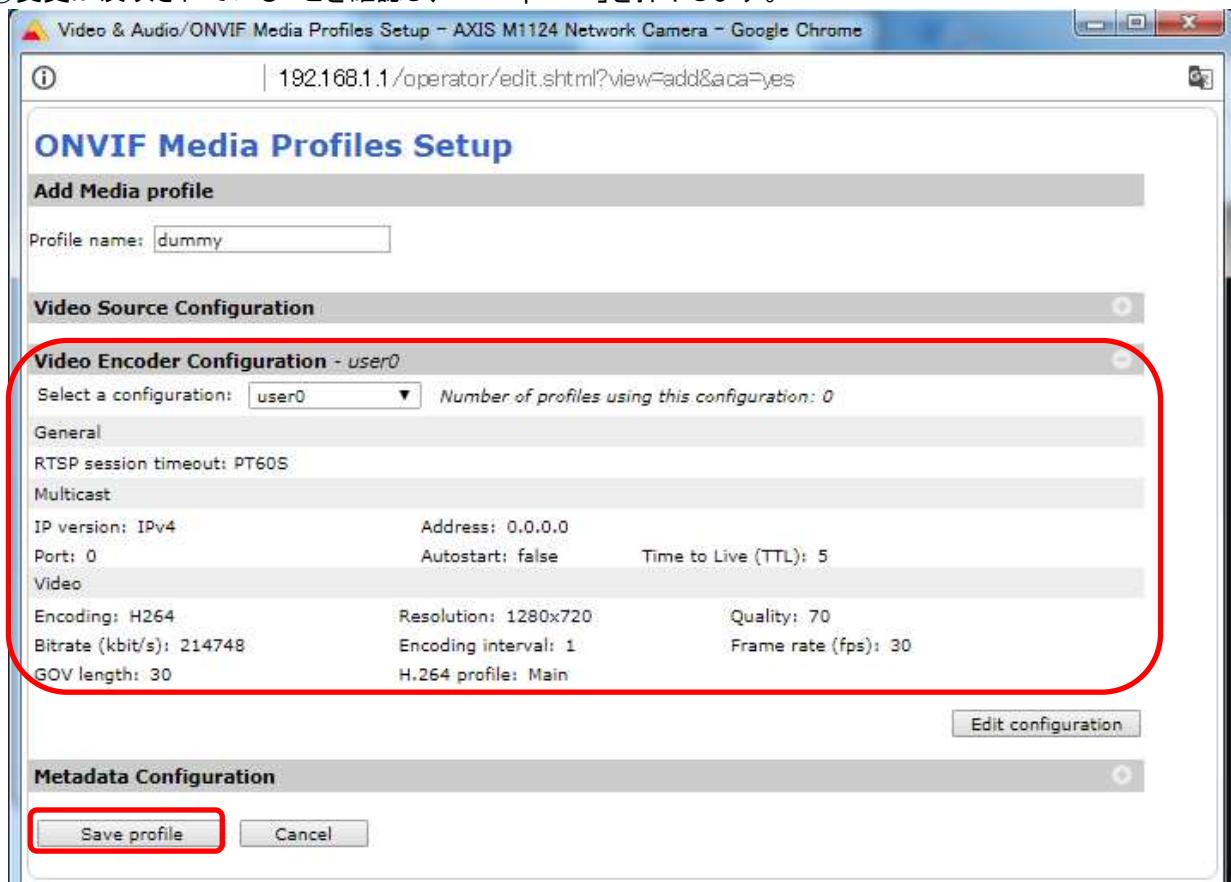
⑪[Video]で、

[Encoding:]は「H.264」を、[H.264 profile:]は「Main」を選択します。

[GOV length:]には「30」を入力し、最後に「Save configuration」を押下します。



⑫変更が反映されていることを確認し、「Save profile」を押下します。



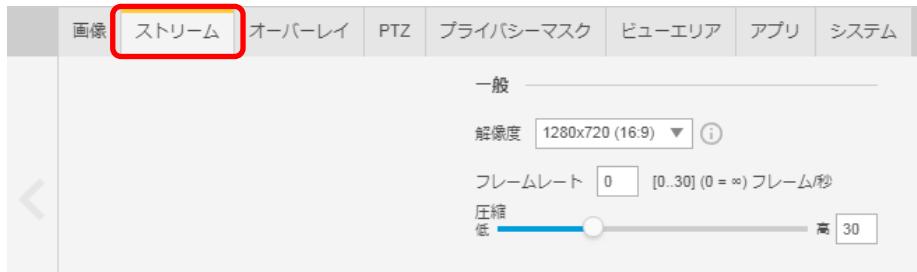
(4) ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

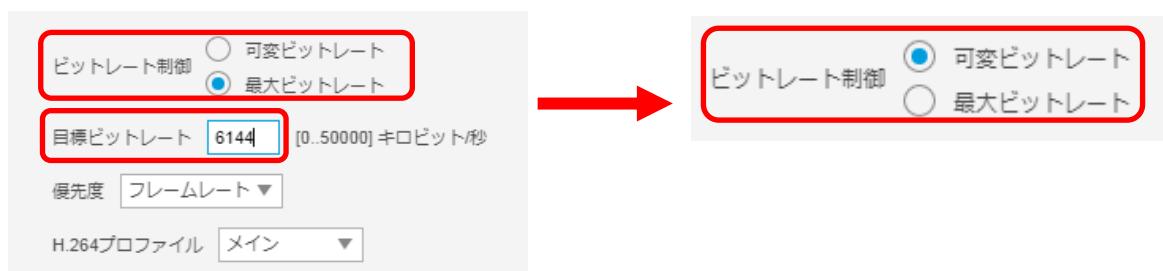
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択します。



④[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。

その後、[ビットレート制御]で「可変ビットレート」を選択します。



⑤[Zipstream]で「オフ」を選択します。



(5) プレイン設定

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④[Select a group of parameters to modify:]で「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

⑤[Select a group of image parameters to modify:]で「I0」を選択し、「Select image group」を押します。

A screenshot of the 'Image' configuration page. The URL in the browser address bar is 192.168.1.1/admin/config.shtml?group=Image&aca=yes&imageGroup=I0. The page title is 'AXIS P3224-V Mk II Network Camera'. The main content area says 'The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS P3224-V Mk II Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.' It also says 'Select the parameter group to modify and configure the settings directly.' Below this, it says 'For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.' A section titled 'Select a group of parameters to modify:' contains a dropdown menu set to 'Image' with a red border around it, and a 'Select group' button next to it. Another section titled 'Select a group of image parameters to modify:' contains a dropdown menu set to 'I0' with a red border around it, and a 'Select image group' button next to it.

⑥[Image I0 MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れます。

[Image I0 SizeControl]の[Max frame size:]に「6」を入力し、「Save」を押下します。

Image I0 MPEG H264:

Profile: Main
PS enabled:

Image I0 SizeControl:

Max frame size: 6 [0..]

User triggers:

Save page changes:

1.3.1.4.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ❗ カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ❗ 固定ドーム型カメラ(P3224-V Mk II)は HD 対応カメラです。レコーダーのカメラ設定画面で FHD を選択した場合も、解像度は変わりません。正常な動作を保証できませんので、HD 以下の解像度を選択してください。
- ❗ カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。また、非対応の解像度である FHD を選択・設定した場合も、カメラの行が黄色になりますので、併せてご確認ください。
- ❗ フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.1.5. 固定バレット型カメラ(P1435-LE)

固定バレット型カメラ(P1435-LE)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた固定バレット型カメラ(P1435-LE)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能なように、事前設定がされています。

NR-5200/5280に接続する場合は、1.3.1.5.1 (9)の設定を必ず実施ください。

初期化する場合や接続CHを変更する場合は、予めブラウザ経由で1.3.1.5.1に示す初期設定が必要です(PoE-HUBやインジェクタ等でのPoE給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で1.3.1.5.2.に示す設定変更が可能です。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.5.3.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.5.1.初期設定

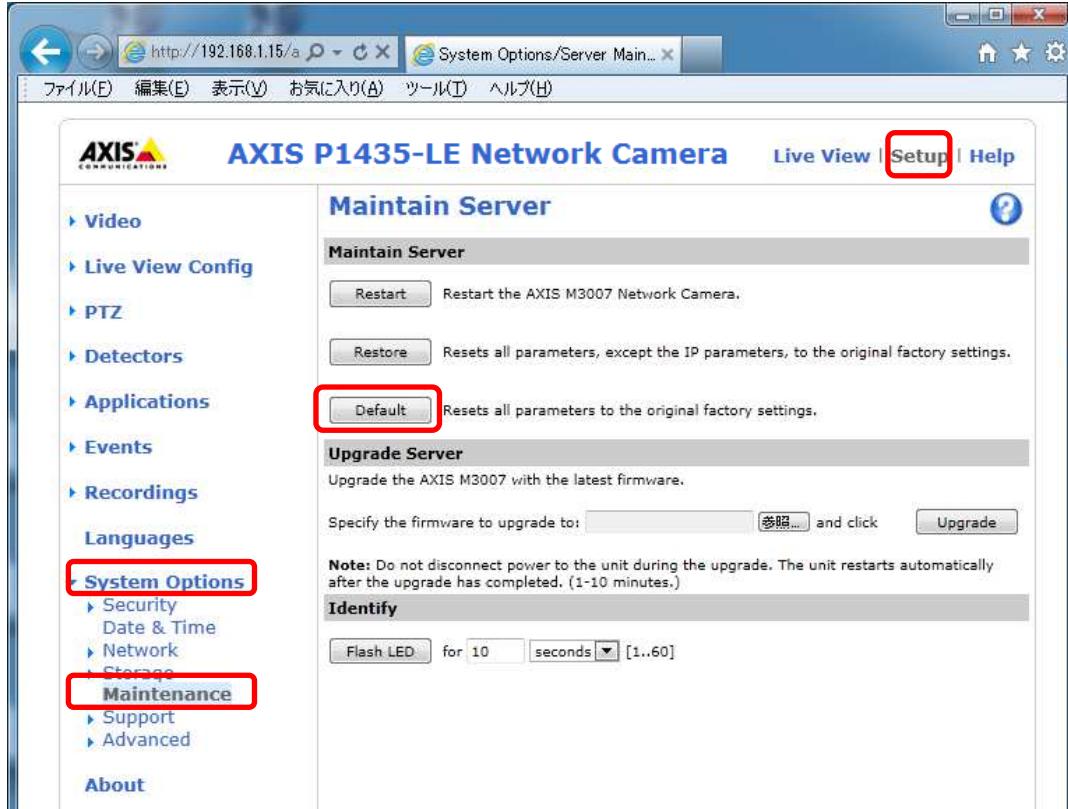
初期化する場合は[(1)初期化]～[(8)Zipstream 設定を変更する]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

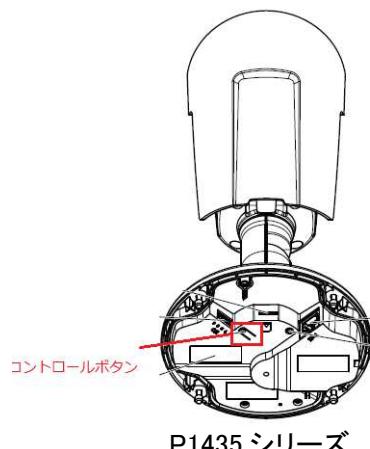
- ①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で「Default」を押下します。
- ④AXIS 全方位カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定します(2か所入力)。「OK」ボタンを押下します。



- ③「英語を使用します」を選択します。



- ④Configure capture mode で「1080p 1920×1080 (16:9) @25/30fps (WDR)」に設定します。



- ⑤「Power line frequency」で「50Hz」か「60Hz」を選択します(フリッカ設定)。「OK」ボタンを押下します。
フリッカ設定後、ブラウザ上に映像が表示されます。



- !
フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

(3)セキュリティ設定1

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

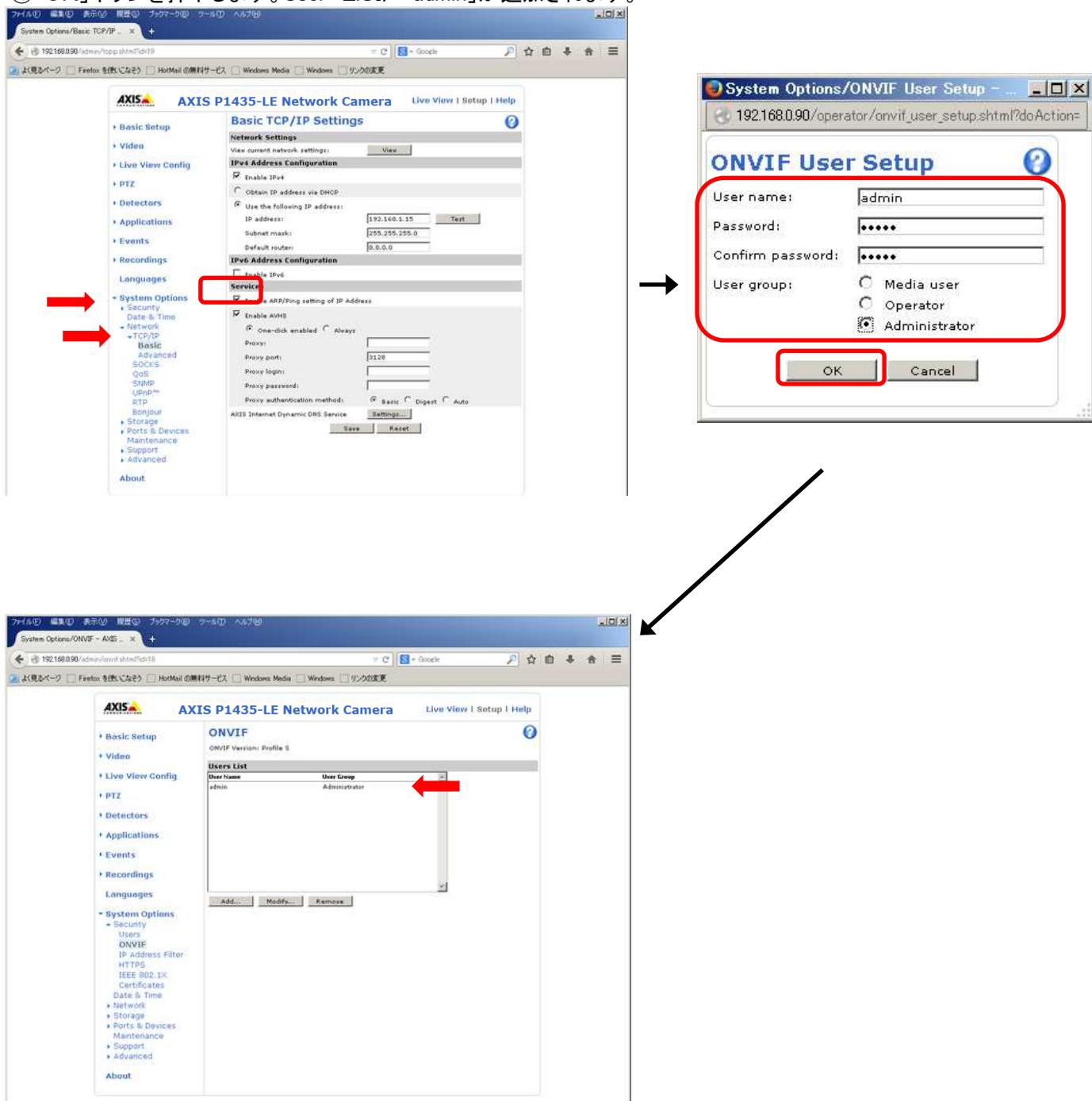
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [ONVIF] を選択します。「ADD...」ボタンを押下します。

ONVIF User Setup 画面が表示されます。

- 「User name」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Confirm Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「User group」 ⇒ 「Administrator」を選択します。

④「OK」ボタンを押下します。User Listに「admin」が追加されます。



(4)セキュリティ設定2

(セキュリティ設定1から継続作業の場合は、③となります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

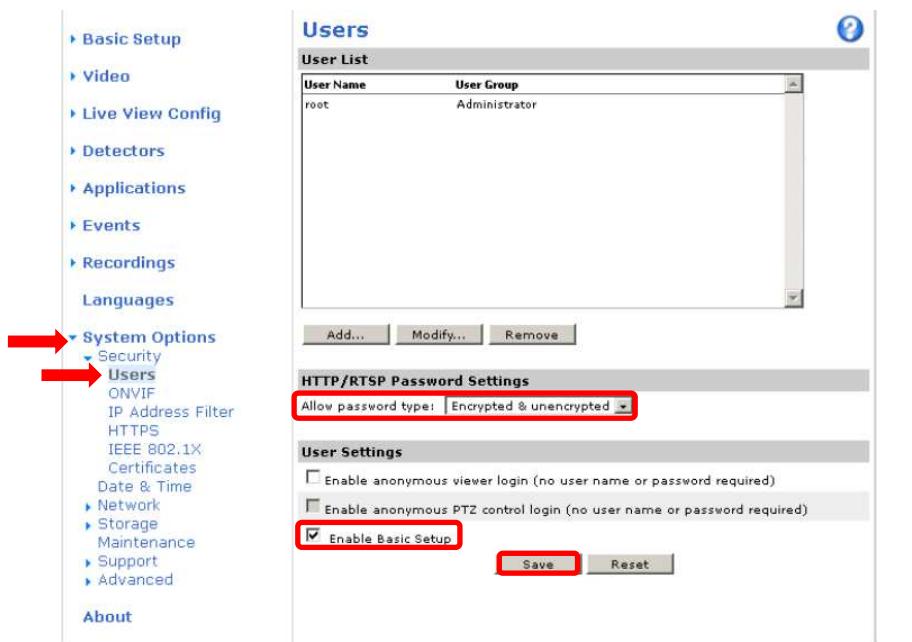
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users] を選択します。

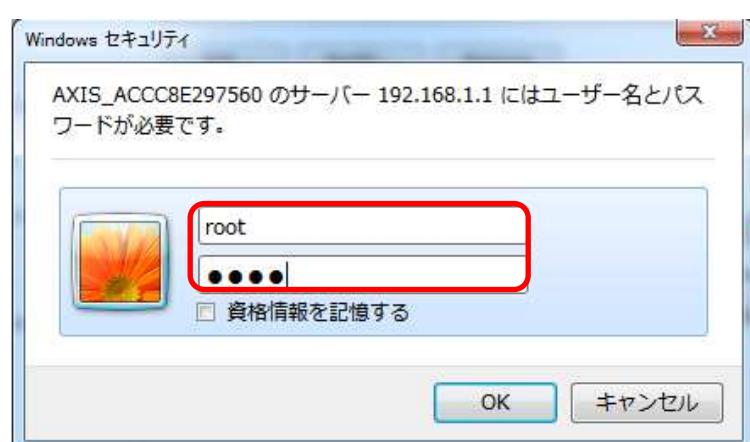
④「HTTP/RTSP Password Setting」にて、プルダウンから「Encrypted & Unencrypted only」を選択します。

⑤「User Settings」にて、「Enable Basic Setup」をチェックします。

⑥「Save」を押下します。



⑦セキュリティ設定を行った後、「Save」を押すとユーザ名、パスワードの入力を求めるポップアップが表示されますので、ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。



(5)ネットワーク設定

(セキュリティ設定2から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Network] → 「Basic」を選択します。

④「IPaddress」を「192.168.1.(*)」にします。

(*)カメラを接続するレコーダーのCH番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512」に接続するPoE給電スイッチングHUBの設定に記載のIPアドレスを参照してください。

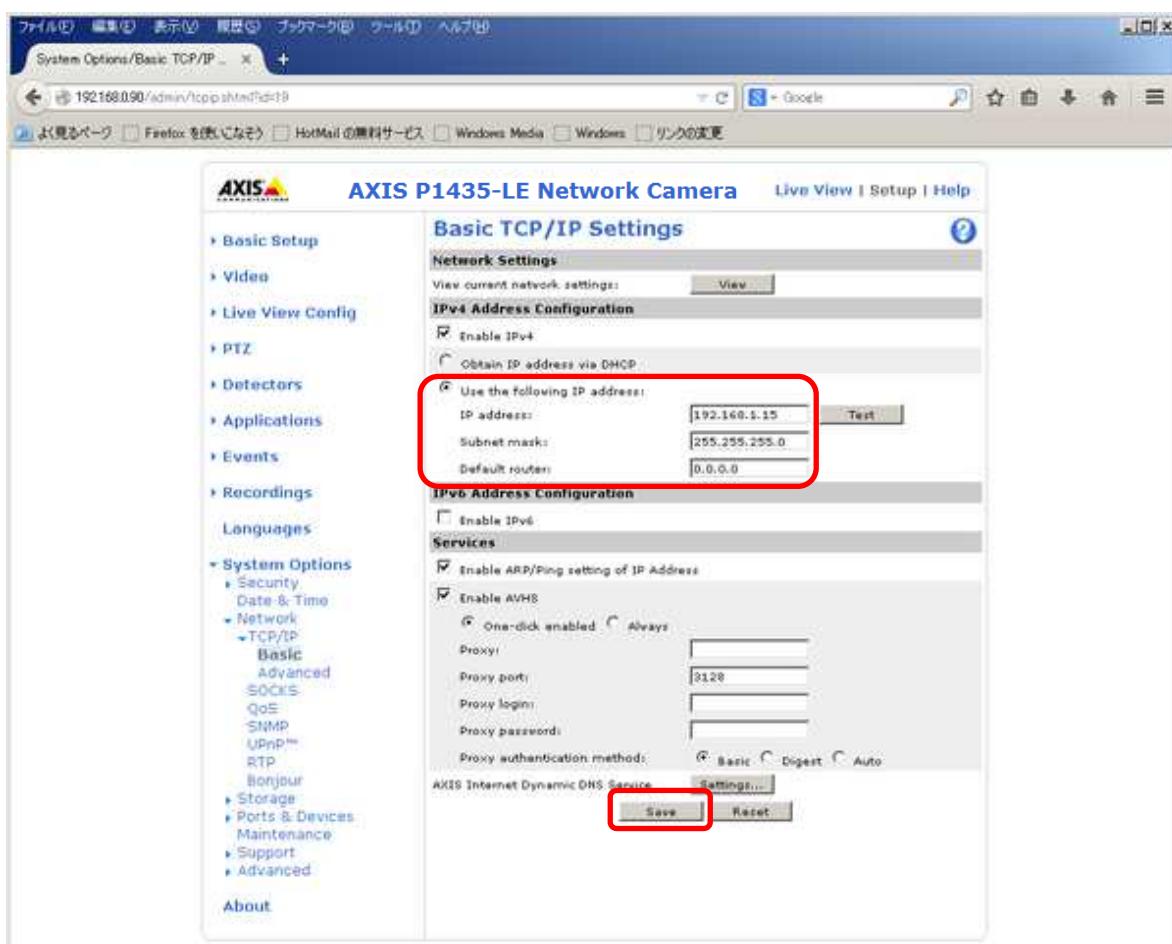
⑤「Subnet mask」を「255.255.255.0」にします。

⑥「Default router」を「0.0.0.0」にします(空欄は不可)。※購入時は空欄となっていますのでお気をつけ下さい。

⑦「Save」を押下します。

SAVEボタン押下後、カメラからの確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下してください。

① NR-5200/5280に接続する際は、「IPaddress」「Subnet mask」「Default router」の値はネットワーク設計にあわせて設定して下さい。



(6) ビットレートを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

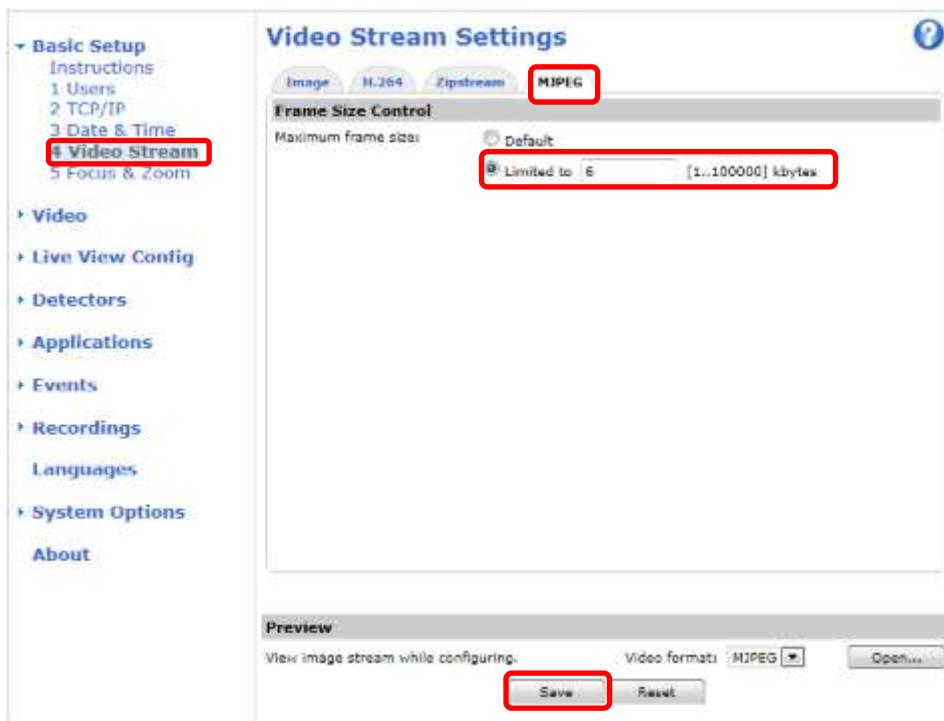
② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ [Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。

④ [Maximum frame size]で、[Limited to]を選択します。

⑤ [Limited to]のテキストボックスに、[6]を入力します。

⑥ 「Save」を押下します。



(7) ビットレートコントロールを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[H.264]タブを選択します。

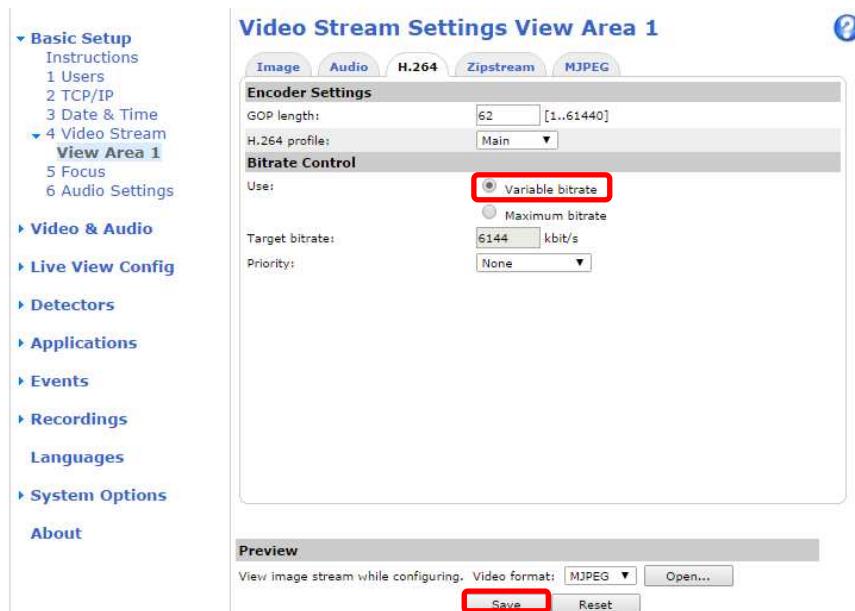
④ Bitrate Control にて Use「Maximum bitrate」を選択します。

⑤ Target bitrate のテキストボックスに「6144」を入力して、Priority が「None」に設定されているのを確認した上で、SAVE を押し、設定が保存されていることを確認します。



⑥ 設定が保存されていることが確認できたら、Use「Variable bitrate」を選択します。

再度 SAVE を押し、設定が保存されていることを確認します。



(8)Zipstream 設定を変更する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

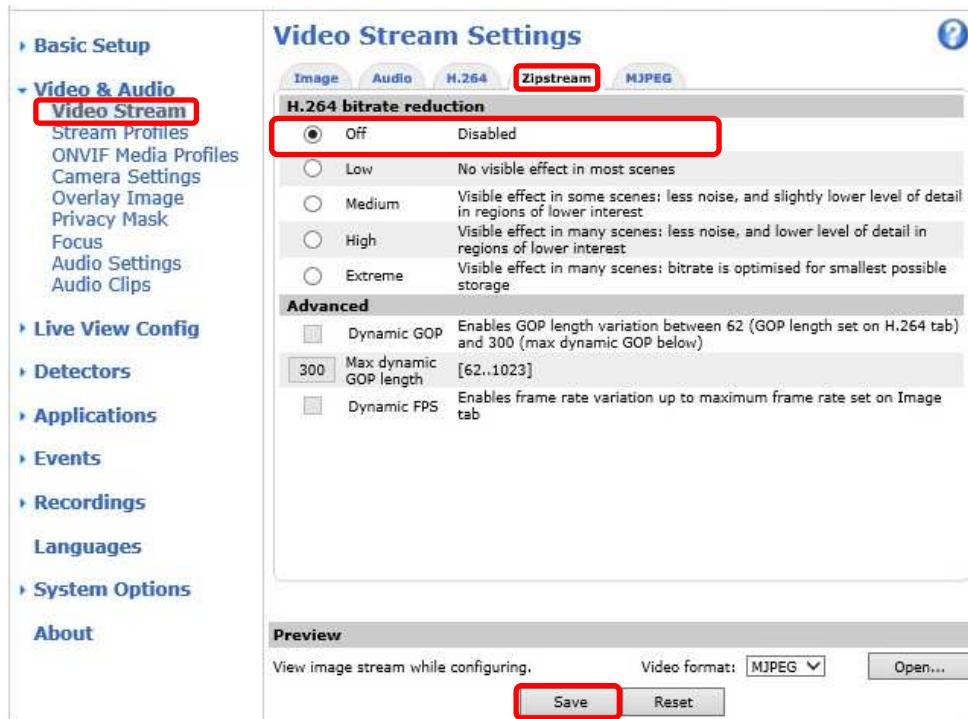
①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Video & Audio] → [Video Stream]を選択し、[Zipstream]タブを選択します。

④「H.264 bitrate reduction」にて、「Off」をチェックします。

⑤「Save」を押下します。



(9)SPS/PPS 設定をする

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[System Options] → [Advanced]を選択し、[Plain Config]を押下します。

④プルダウンで「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

⑤2 番目のプルダウンがある場合、「I0」を選択し、「Select image group」を押下します。

⑥ プルダウンで「I1～I7」を選択しないよう注意してください。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS P1435-E Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA. Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:

Image

Select a group of image parameters to modify:

I0

Image I0

Enabled:

Name: View Area 1

Source:

⑥[Image IO MPEG H264]の、[PS enabled]にチェックを入れます。

※チェックあり：映像に SPS/PPS 含む、チェックなし：映像に SPS/PPS 含まない。

Image I0 MPEG H264

Profile: Main

PS enabled:

⑦ページ下にある「Save」を押下する。

Image I0 TriggerData

IO enabled:

Motion detection enabled:

Motion level enabled:

Tampering enabled:

User triggers:

Save page changes

1.3.1.5.2.設定変更/画角調整/フォーカス調整

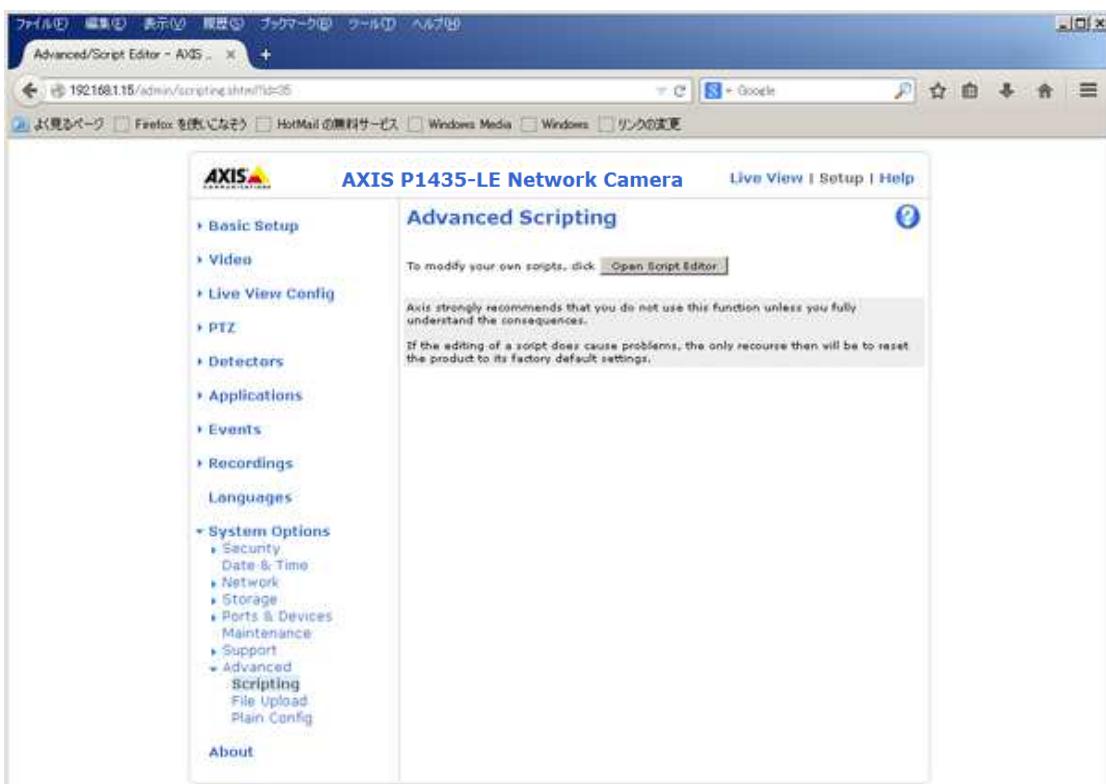
以下の設定変更の方法について示します。尚、弊社からご購入頂いた AXIS カメラでは、「50Hz」、「192.168.1.1」、WDR(ワイドダイナミックレンジ):「OFF」、Daynight:「Automatic」が事前設定されています。

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

接続 CH の変更については、1.3.1.5.1.(5)を参照してください。

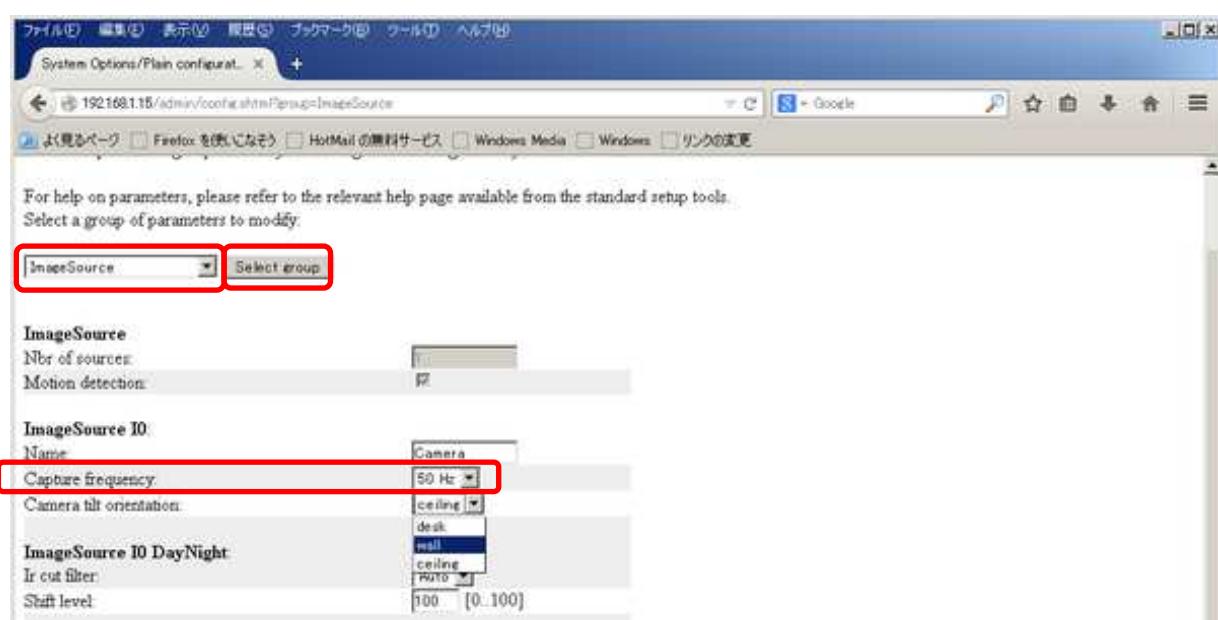
(1) Flicker[50Hz/60Hz]の変更

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config]を選択します。



④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。

⑤「Capture Frequency」のプルダウンで変更します。



⑥設定反映のため、「Save」を押します。



⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

① フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

(2)上下反転

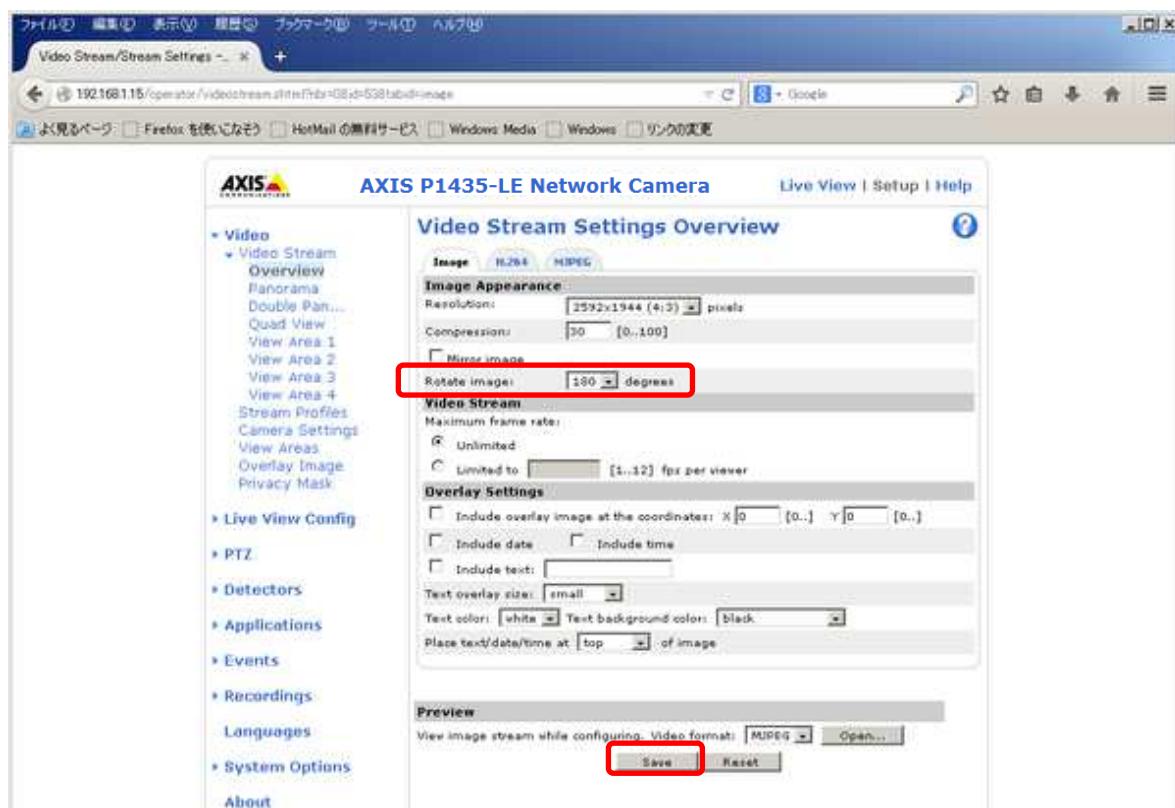
①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[Image]タブを選択します。

④ [Image]タブにて、「Rotate image」を「0」から「180」に変更します。

⑤設定反映のため、「Save」を押します。

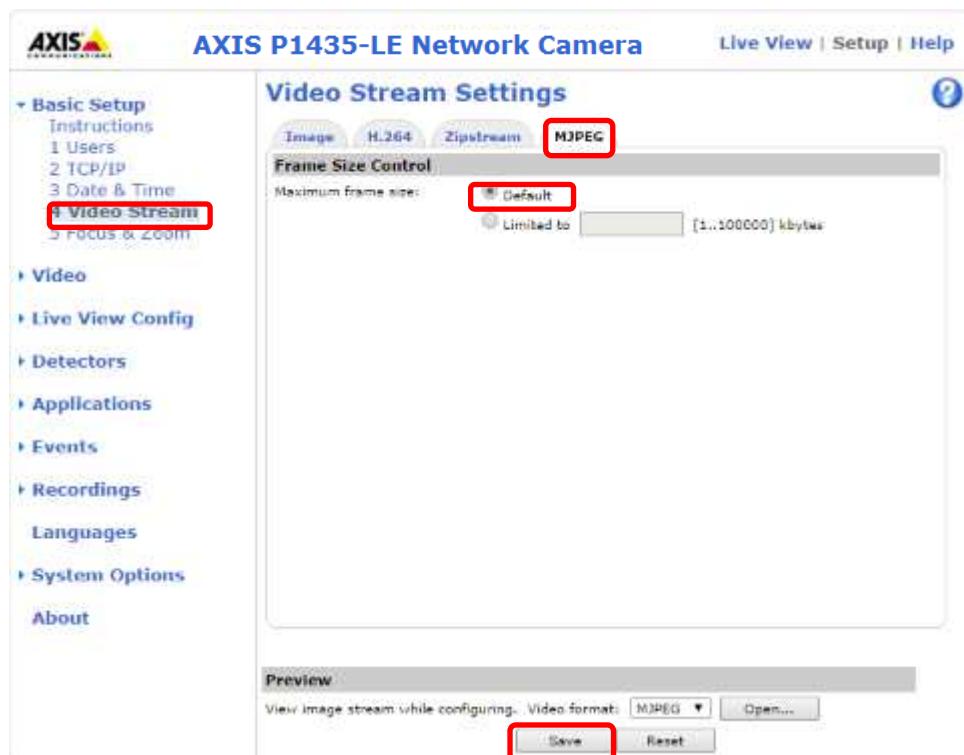


(3)画角/フォーカスを調整する

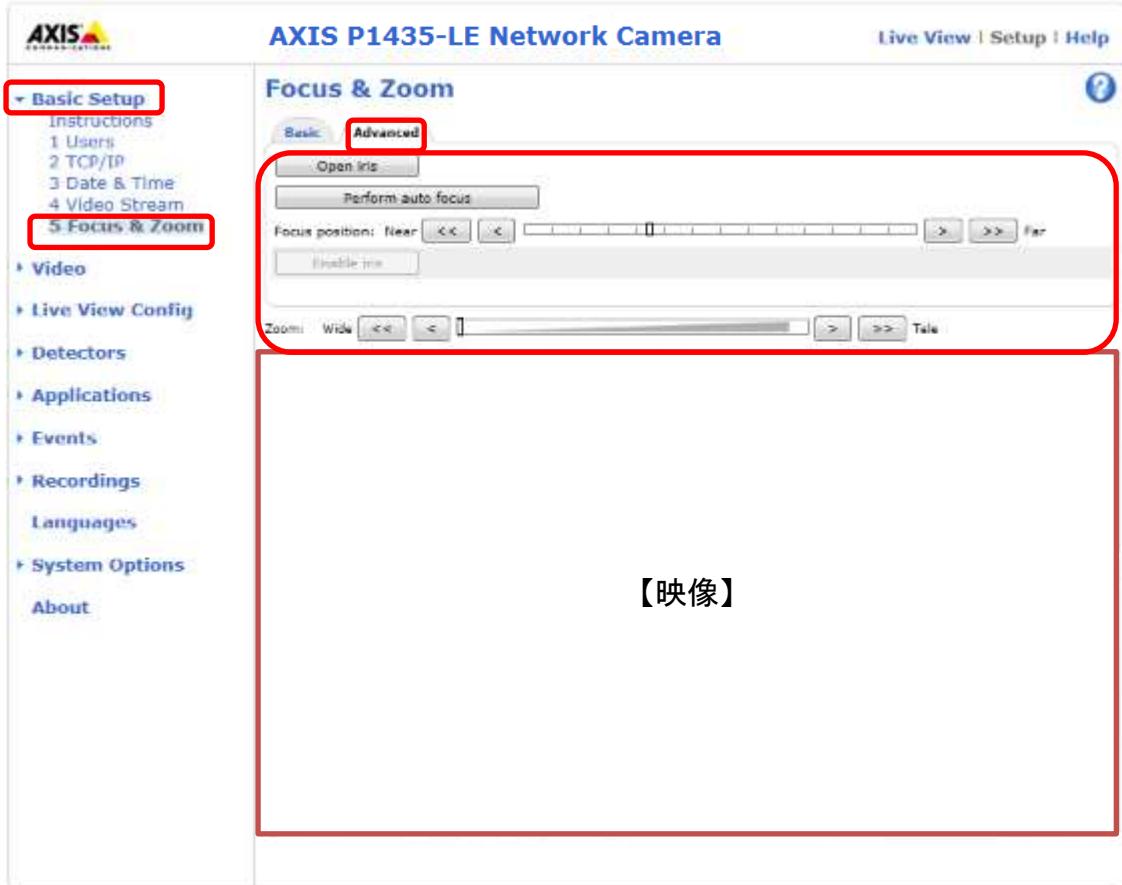
P1435 シリーズの場合、カメラ設置時のズームやフォーカス調整は下記の手順で実施して下さい。

【ブラウザでのズーム/フォーカス調整】

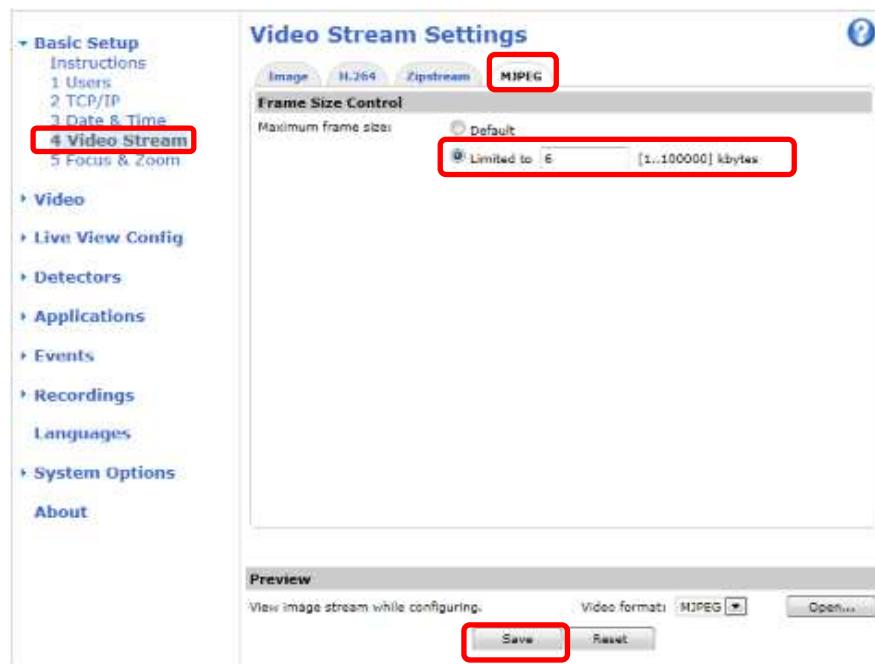
- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) をクリックして設定画面を開きます。
- ④[Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。
- ⑤[Maximum frame size]で、[Default]を選択します。
- ⑥「Save」を押下し、ビットレート設定を一時解除します。



- ⑦[Basic Setup] → [Focus&Zoom]を選択し画面を開きます。
- ⑧[Advanced]タブに切替えて、[Open iris]をクリックします。
- ⑨Zoomを操作して画角を設定します。
- ⑩[Perform auto focus]をクリックしてフォーカスを自動調整します。

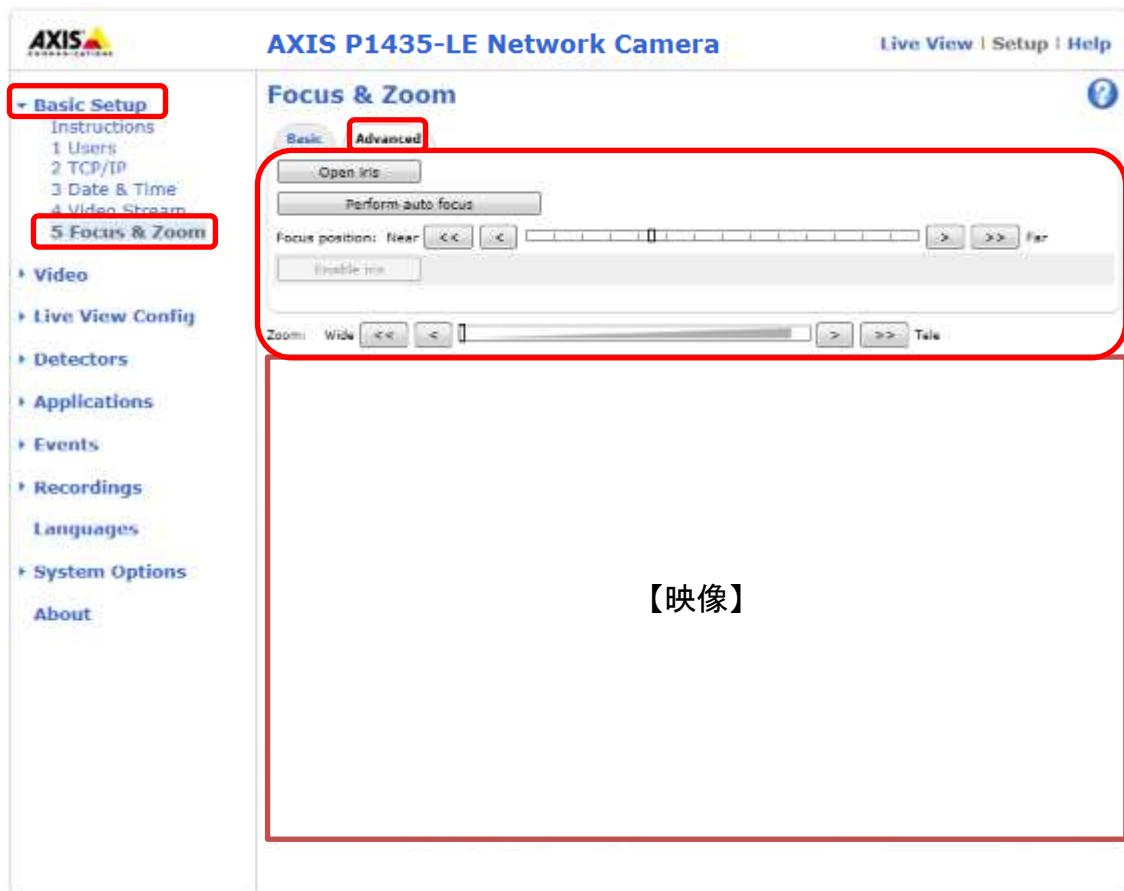


- ⑪再度[Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。
- ⑫[Maximum frame size]で、[Limited to]を選択します。
- ⑬[Limited to]のテキストボックスに、[6]を入力します。
- ⑭「Save」を押下し、ビットレート設定再設定します。



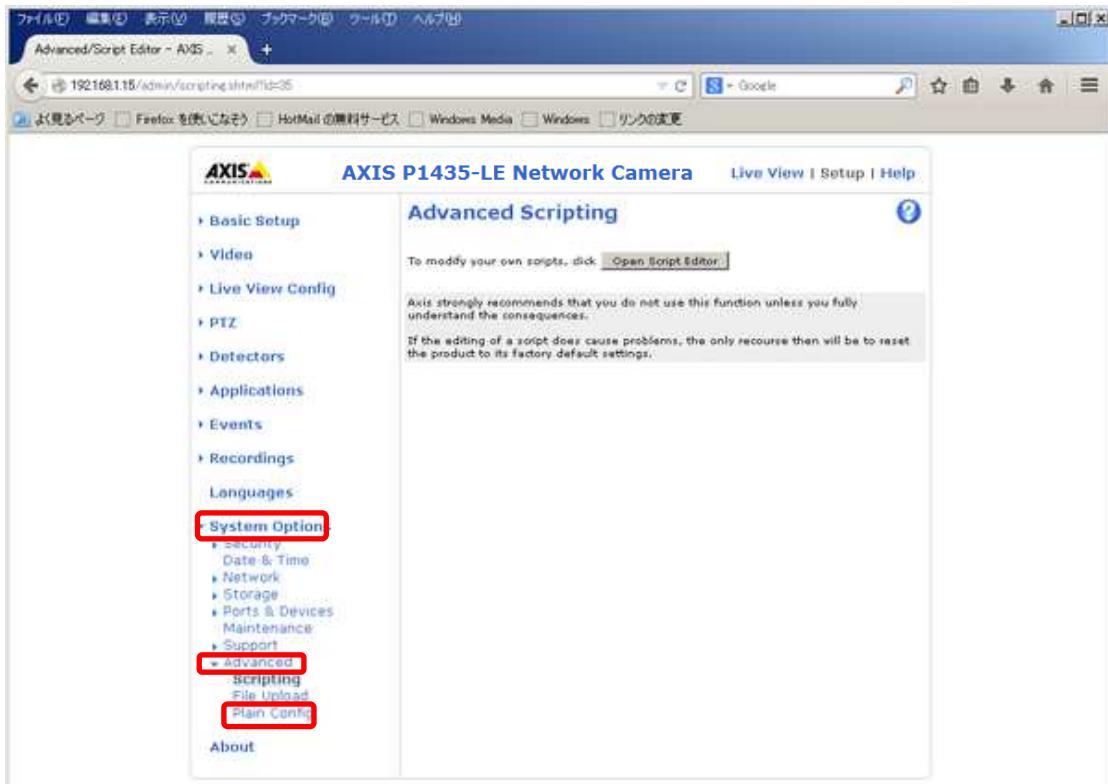
①上手く対象にフォーカスが合わない等があれば必要に応じて、⑧～⑩の手順を[Advanced]タブで実施してください。フォーカスをマニュアルで合わせることができます。⑧～⑩の手順の[Advanced]タブでの設定方法は以下です。

- ①[Advanced]タブに切替えて、[Open iris]をクリックします。
- ②映像上に表示されるフォーカスポイントをマウスで調整します。
- ③Zoomを操作して画角を設定します。
- ④Focus positionを操作して焦点距離を設定します。
- 自動調整したい場合は[Perform auto focus]をクリックしてフォーカスを自動調整します。
- ⑤[Enable iris]をクリックします。



(4) WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config] を選択します。



- ④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS P3225-LV Mk II Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.
Select a group of parameters to modify:

ImageSource

ImageSource
Motion detection:
Nbr of sources:

ImageSource I0:
Camera tilt orientation:
Capture frequency:
Name:

ImageSource I0 DayNight:
Ir cut filter:
Shift level: [0..100]

⑤画面を下にスクロールして表示される「WDR」のプルダウンで、「On」か「Off」を選択します。

⑥設定反映のため、「Save」を押します。

| | |
|--|--|
| Manual gain control: | <input type="text"/> |
| Manual shutter: | 33333 [-60..2000000] |
| Manual shutter control: | <input type="text"/> |
| Max auto gain control lowlight: | 100 [0..100] |
| Max auto gain control normal: | 50 [0..100] |
| Max exposure time: | 166667 [-60..2000000] |
| Max fast shutter: | 1000 [1..33333] |
| Max gain: | 100 [0..100] |
| Max slow shutter: | 33333 [16666..2000000] |
| Min exposure time: | 0 [-60..2000000] |
| Min gain: | 0 [0..100] |
| Sharpness: | 50 [0..100] |
| WDR: | On <input type="button" value="▼"/> |
| White balance: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance window: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance xstart: | 0 [0..9999] |
| White balance xstop: | 9999 [0..9999] |
| White balance ystart: | 0 [0..9999] |
| White balance ystop: | 9999 [0..9999] |
| ImageSource I0 Sensor CustomExposureWindow: | |
| Nbr of configs: | <input type="text"/> 0 |
| Weight: | 100 [0..100] |
| Save page changes: | <input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Reset"/> |

⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

① 詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

(5) Day/Night 設定を変更する

Day/Night 機能とは、AXIS カメラの映像を白黒映像に切り替える機能で、白黒映像下では低照度環境でも映像を撮影することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [Video & Audio] → [Camera Settings] を選択します。

The screenshot shows the 'Camera Settings' page of the AXIS P1435-LE Network Camera configuration interface. The left sidebar lists various setup categories, and the main area displays camera configuration options. The 'Camera Settings' section is highlighted.

Capture mode: 1080p 1920x1080 (16:9) @ 25/30 Fps (WDR)

View Areas: Enable View Areas (checkbox)

Image Appearance:

- Color level: 50 [0..100]
- Brightness: 50 [0..100]
- Sharpness: 50 [0..100]
- Contrast: 50 [0..100]
- Local contrast: 50 [0..100]

White Balance:

- White balance: Automatic
- White balance window: Automatic

Wide Dynamic Range: WDR - Forensic Capture: WDR Off

Exposure Settings:

- Exposure value: 50 [0..100]
- Exposure control: Automatic
- Max exposure time: 2 s
- Exposure zones:
 - Auto (radio button selected)
 - Defined [Auto] (radio button)

Shutter & Gain:

- Shutter: Auto
- Gain: Auto

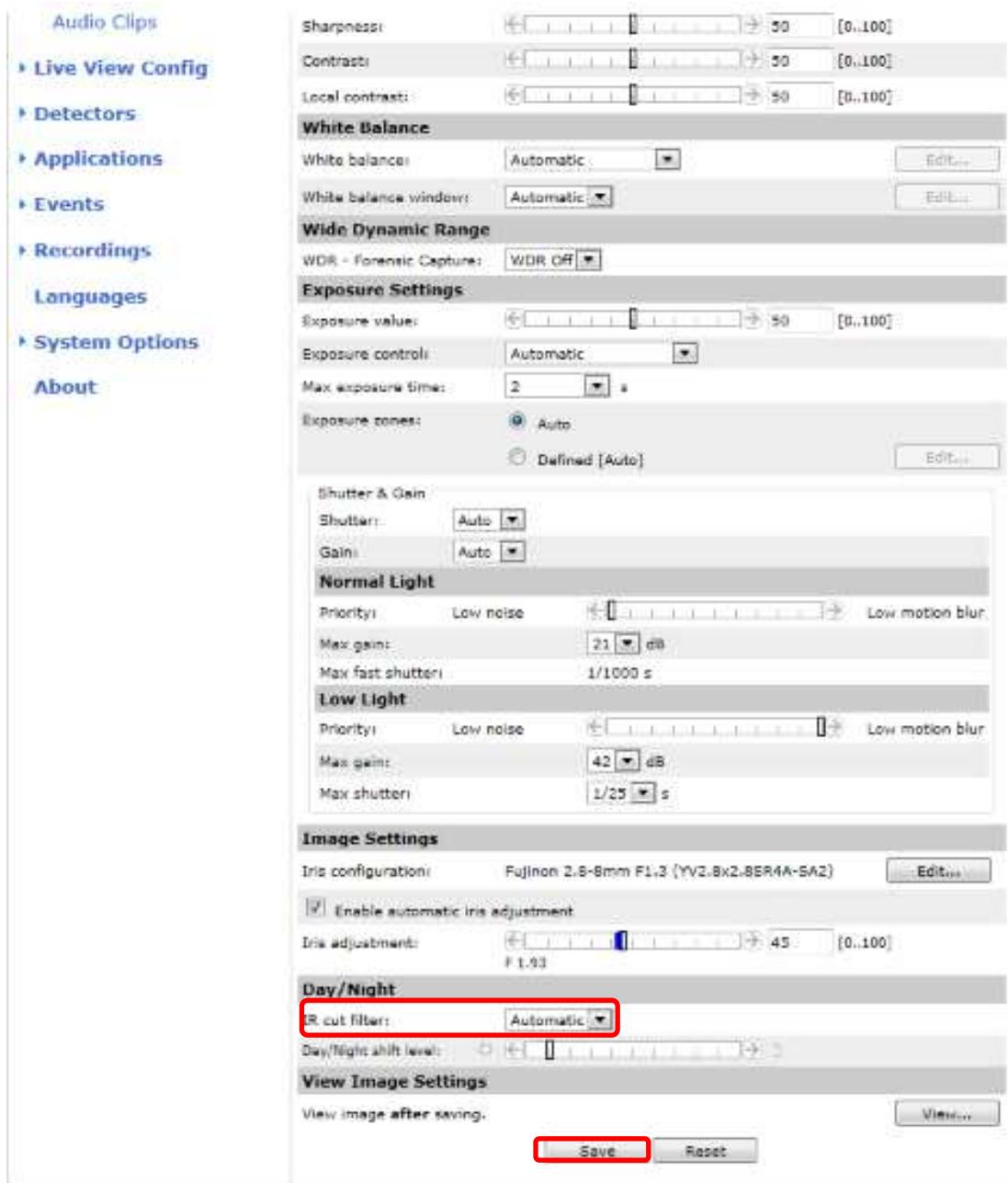
Normal Light:

- Priority: Low noise
- Max gain: 21 dB
- Max fast shutter: 1/1000 s

Low Light:

- Priority: Low noise
- Max gain: 42 dB
- Max shutter: 1/25 s

- ④画面を下にスクロールして表示される「IR cut filter」のプルダウンで、「Automatic」、「On」、「Off」を選択します。（「Automatic」⇒自動切替、「On」⇒常時白黒、「Off」⇒常時カラー）
 ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



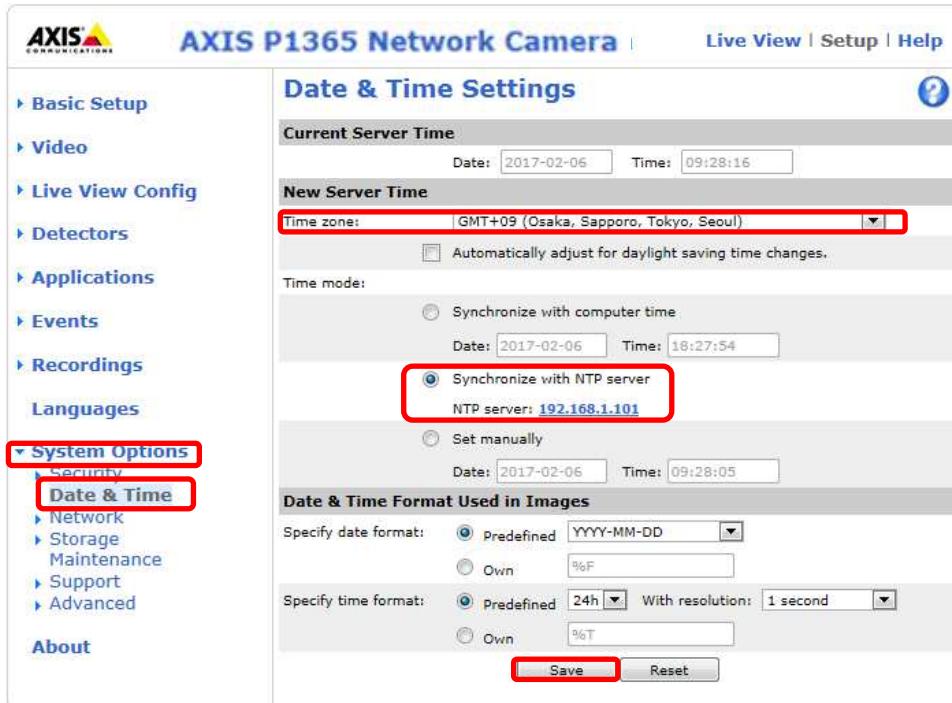
- ⑥設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
 ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
 「Restart」ボタン押下にて実行できます。

!
① 詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

(6) カメラ映像に日時時刻を表示する

レコーダーと時刻同期を取り、カメラ映像に現在時刻を表示することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Date & Time] を選択します。
- ④「Time zone:」のプルダウンで、「GMT+09(Osaka,Sapporo,Tokyo,Seoul)」を選択します。
- ⑤「Time mode:」が、「Synchronize with NTP server」が選択されていることを確認します。
- ⑥設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑦[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] を選択します。
 ⑧「NTP configuration」が、「Use the following NTP server address」を選択します。
 ⑨「Network address:」の欄に接続する MELOOK3 レコーダーの IP を入力選択します。
 ⑩設定反映のため、「Save」を押します。

AXIS P1365 Network Camera

Advanced TCP/IP Settings

DNS Configuration

Obtain DNS server address via DHCP

Use the following DNS server address:

Domain name:

Primary DNS server:

Secondary DNS server:

NTP Configuration

Obtain NTP server address via DHCP

Use the following NTP server address:

Network address: (host name or IP address)

Host Name Configuration

Use the host name:

Enable dynamic DNS updates (Axisproduct.example.com)

TTL:

Link-Local IPv4 Address

Auto-Configure Link-Local Address

HTTP

HTTP port:

HTTPS

HTTPS port:

NAT traversal (port mapping) for IPv4

NAT traversal is disabled.

Use manually selected NAT routers: (LAN IP address)

Alternative HTTP port:

* If set to blank or 0, a port number will be set automatically upon enable.

FTP

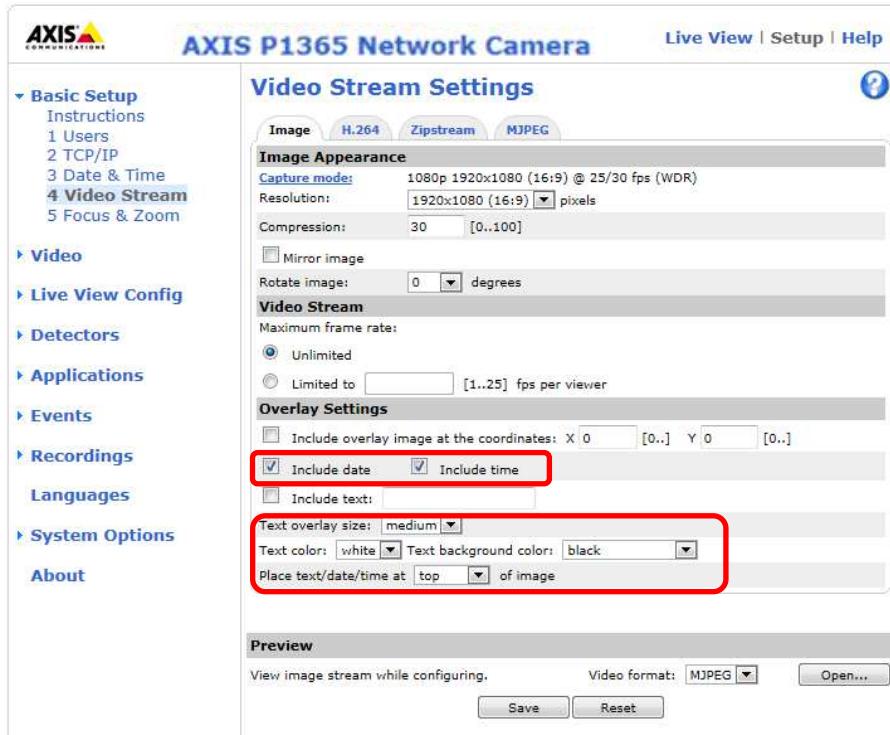
Enable FTP server

RTSP

Enable RTSP server

RTSP port:

- ⑪[Setup](画面右上) → [Basic Setup] → [Video Stream] を選択します。
- ⑫「Overlay Setting」の「Include date」と「Include time」をチェックします。
- ※表示時刻の文字サイズを変更したい場合は、「Text overlay size:」を変更してください。(初期値「medium」)
- 表示時刻の文字色を変更したい場合は、「Text color:」を変更してください。(初期値「white」)
- 表示時刻の背景色を変更したい場合は、「Text background color」を変更してください。(初期値「black」)
- 時刻の表示位置を変更したい場合は、「Place text/date/time at」を変更してください。(初期値「top」)
- ⑬設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑭設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
- ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

1.3.1.5.3.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ① カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ① カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ① フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.1.6. PTZ 型カメラ(P5515、P5515-E)

PTZ 型カメラ(P5515、P5515-E)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いたPTZ 型カメラ(P5515、P5515-E)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)の CH1 に接続可能なように、事前設定がされています。

NR-5200/5280 に接続する場合は、1.3.1.6.1 (8)の設定を必ず実施ください。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.6.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUB やインジェクタ等での PoE 給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で 1.3.1.6.2.に示す設定変更が可能です。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.6.3.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.6.1.初期設定

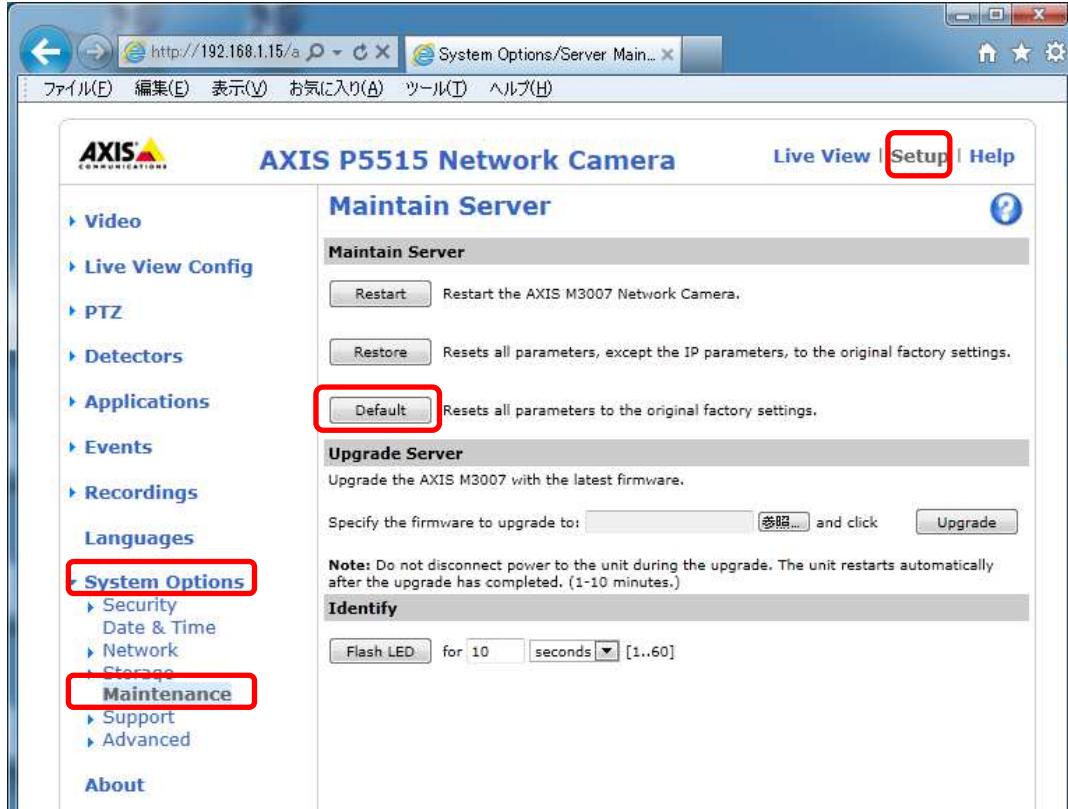
初期化する場合は[(1)初期化]～[(7)Zipstream 設定を変更する]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

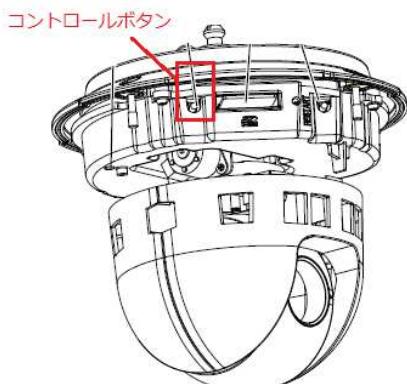
- ①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で「Default」を押下します。
- ④AXIS 全方位カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



P5515 シリーズ

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定します(2か所入力)。「OK」ボタンを押下します。



- ③「英語を使用します」を選択します。



(3)セキュリティ設定1

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

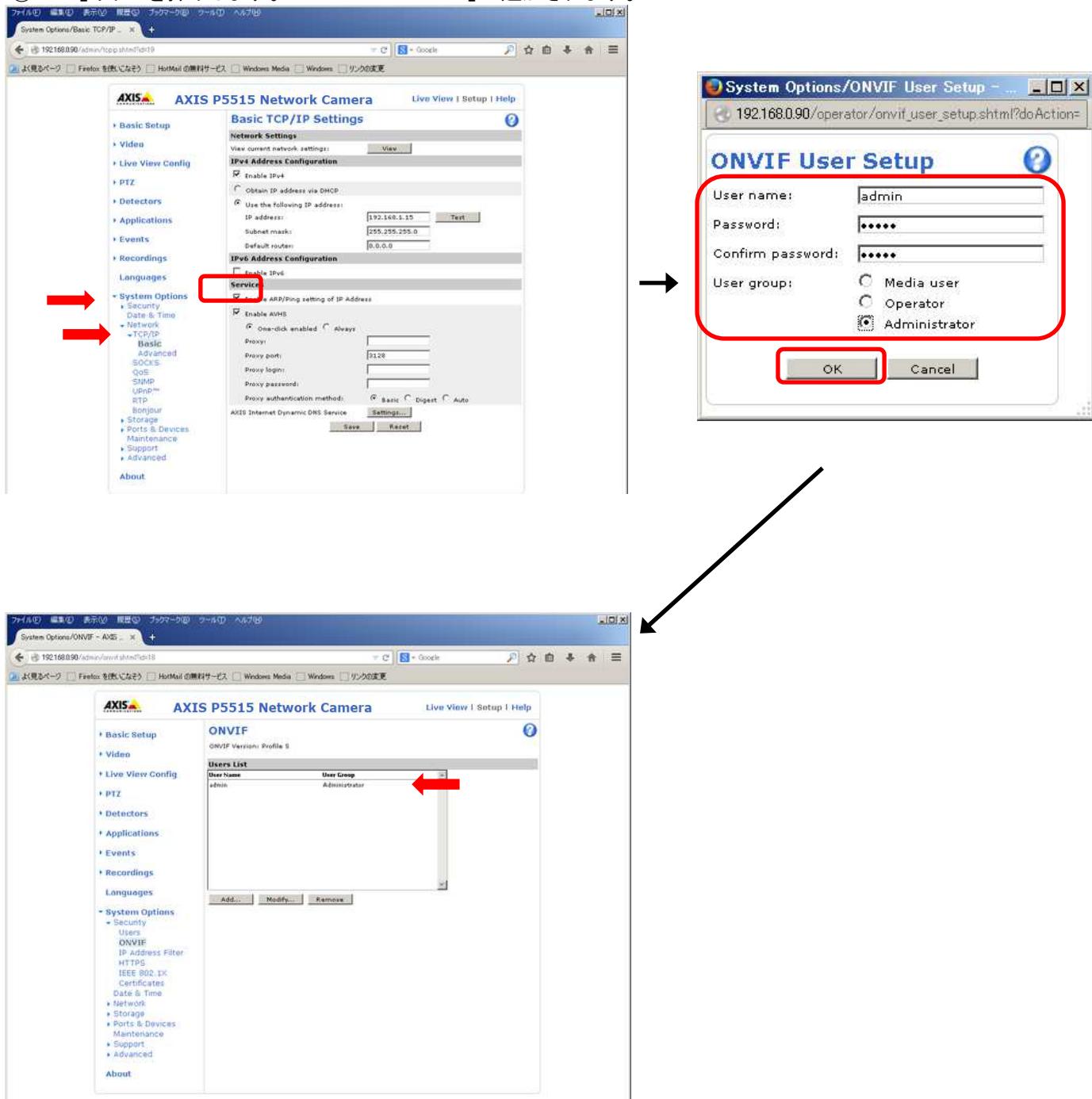
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [ONVIF] を選択します。「ADD...」ボタンを押下します。

ONVIF User Setup 画面が表示されます。

- 「User name」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Confirm Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「User group」 ⇒ 「Administrator」を選択します。

④「OK」ボタンを押下します。User Listに「admin」が追加されます。



(4)セキュリティ設定2

(セキュリティ設定1から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

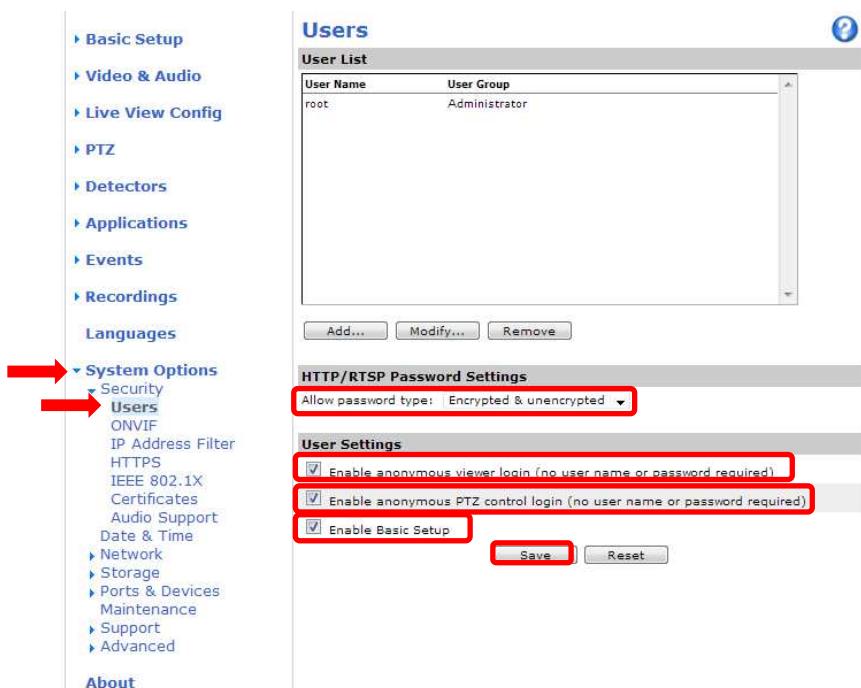
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users] を選択します。

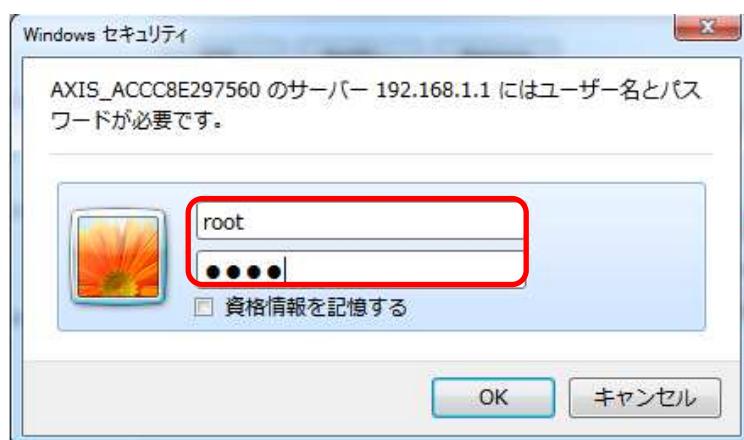
④「HTTP/RTSP Password Setting」にて、プルダウンから「Encrypted & Unencrypted only」を選択します。

⑤「User Settings」にて、「Enable anonymous viewer login」、「Enable anonymous PTZ control login」、「Enable Basic Setup」をチェックします。

⑥「Save」を押下します。



⑦セキュリティ設定を行った後、「Save」を押すとユーザ名、パスワードの入力を求めるポップアップが表示されますので、ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。



(5)ネットワーク設定

(セキュリティ設定2から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Network] → 「Basic」を選択します。

④「IPaddress」を「192.168.1.1」にします。

(*)カメラを接続するレコーダーのCH番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512に接続するPoE給電スイッチングHUBの設定」に記載のIPアドレスを参照してください。

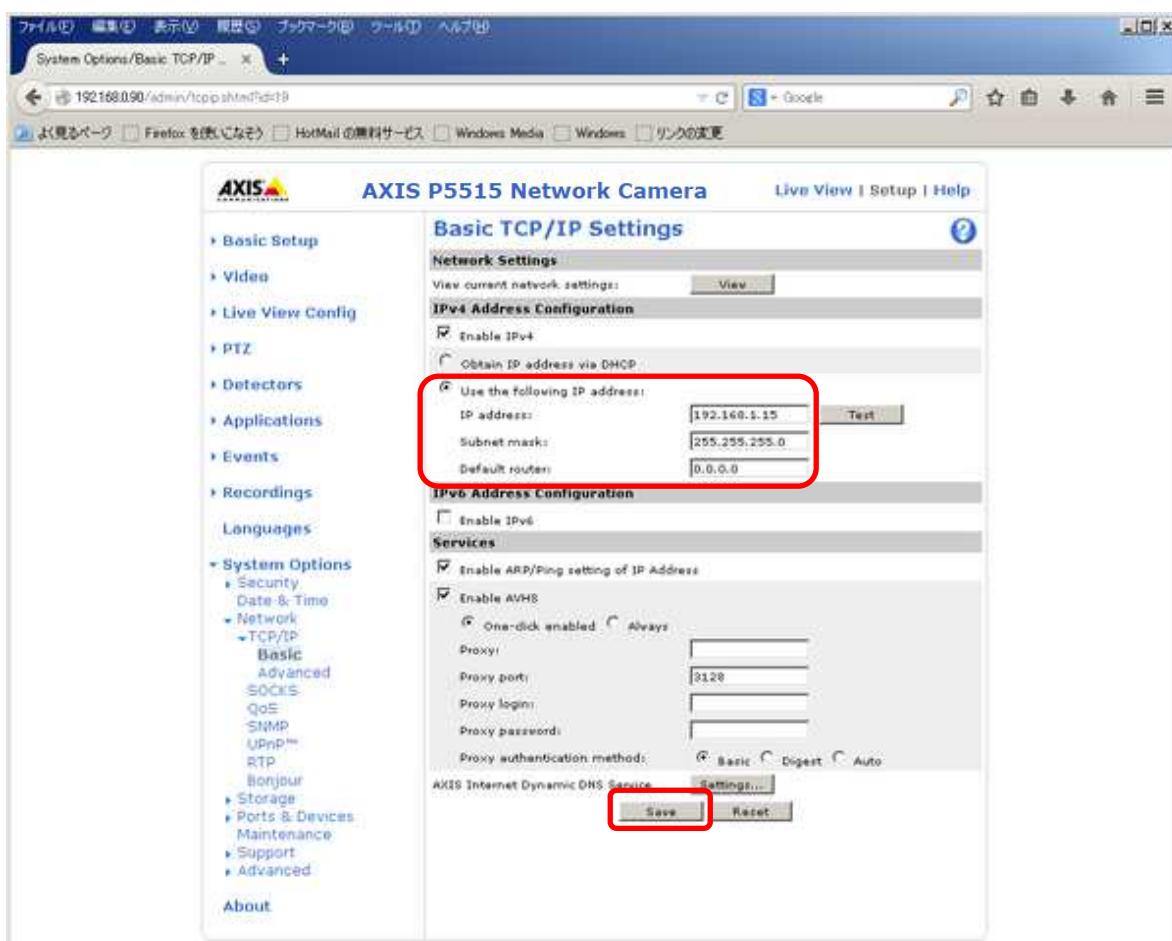
⑤「Subnet mask」を「255.255.255.0」にします。

⑥「Default router」を「0.0.0.0」にします(空欄は不可)。※購入時は空欄となっていますのでお気をつけ下さい。

⑦「Save」を押下します。

SAVEボタン押下後、カメラからの確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下してください。

① NR-5200/5280に接続する際は、「IPaddress」「Subnet mask」「Default router」の値はネットワーク設計にあわせて設定して下さい。



(6) ビットレートを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

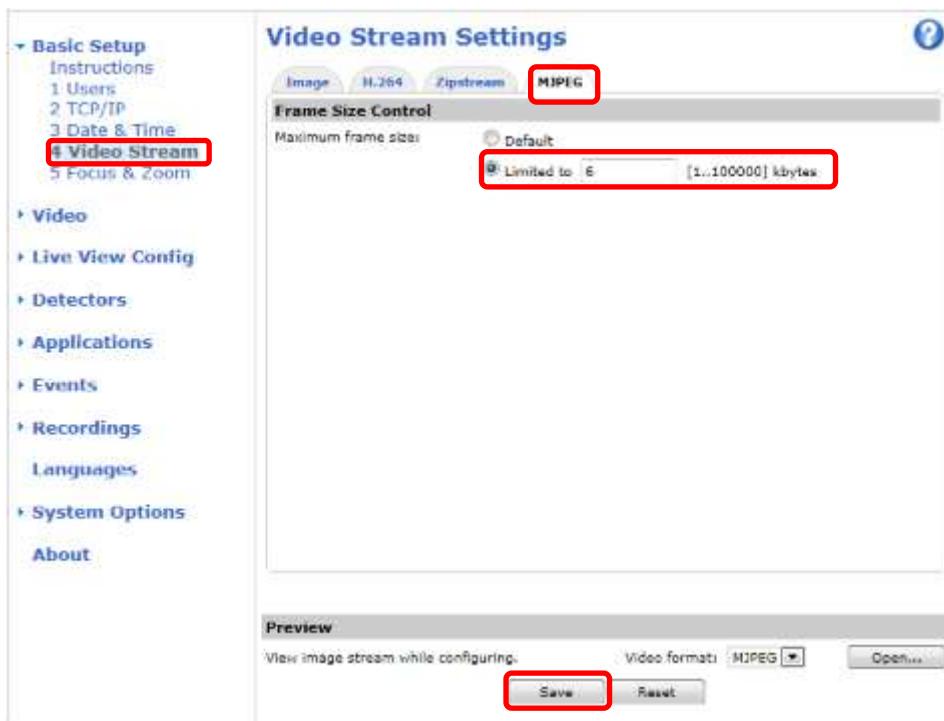
② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ [Instruction] → [Video Stream]を選択し、[MJPEG]タブを選択します。

④ [Maximum frame size]で、[Limited to]を選択します。

⑤ [Limited to]のテキストボックスに、[6]を入力します。

⑥ 「Save」を押下します。



(7)Zipstream 設定を変更する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

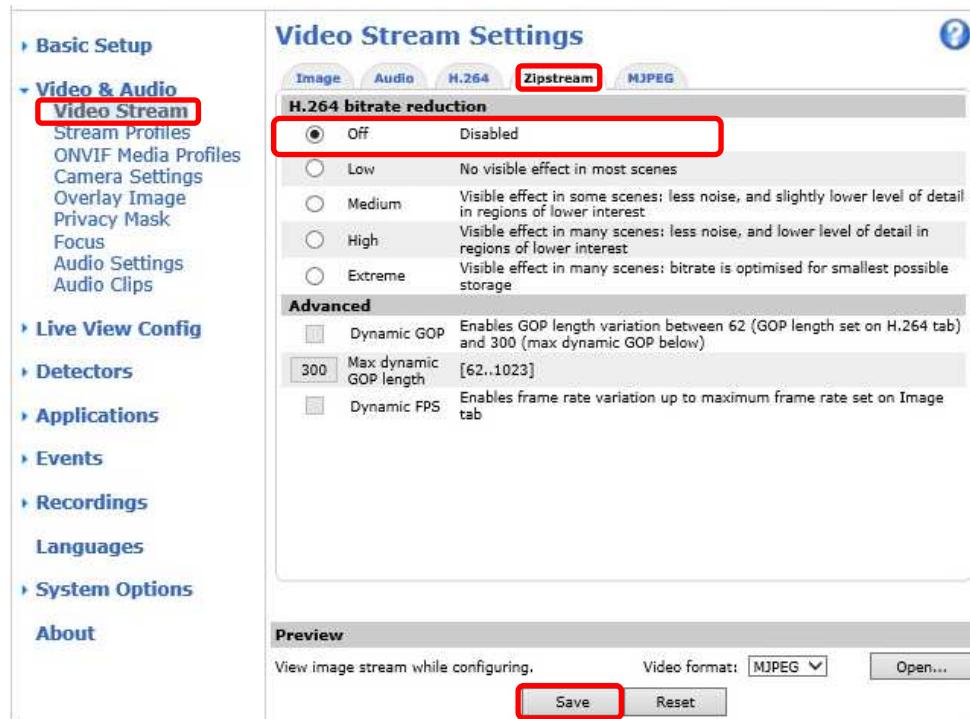
①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Video & Audio] → [Video Stream]を選択し、[Zipstream]タブを選択します。

④「H.264 bitrate reduction」にて、「Off」をチェックします。

⑤「Save」を押下します。



(8)SPS/PPS 設定をする

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[System Options] → [Advanced]を選択し、[Plain Config]を押下します。

④プルダウンで「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS P5515-E Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA. Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.
Select a group of parameters to modify:

Image

Date format: YYYY-MM-DD
Max viewers: 20 [0..20]

⑤[Image IO MPEG H264]の、[PS enabled]にチェックを入れます。

※チェックあり:映像に SPS/PPS 含む、チェックなし:映像に SPS/PPS 含まない。

Image IO MPEG H264

Profile: Main
PS enabled:

⑥ページ下にある「Save」を押下する。

Image IO TriggerData

Motion detection enabled:
Motion level enabled:
User triggers:
Save page changes: **Save** Reset

1.3.1.6.2.設定変更/画角調整/フォーカス調整

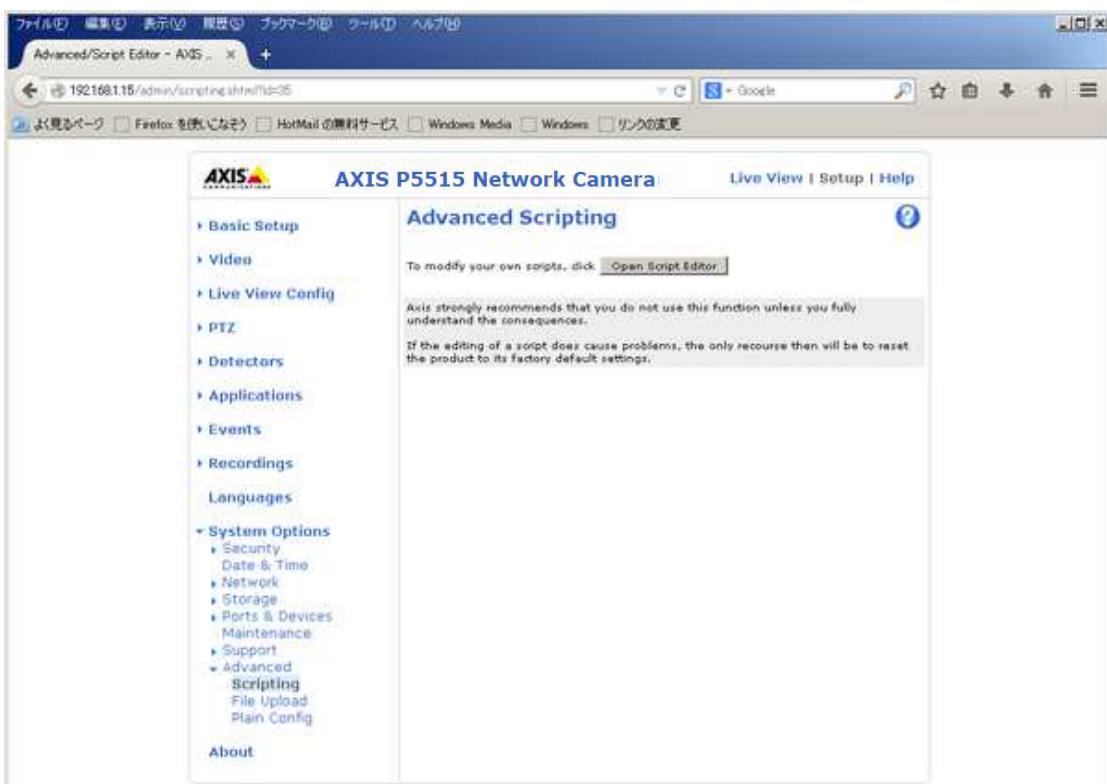
以下の設定変更の方法について示します。尚、弊社からご購入頂いた AXIS カメラでは、「50Hz」、「192.168.1.1」、WDR(ワイドダイナミックレンジ):「OFF」、Daynight:「Automatic」が事前設定されています。

- (1) Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

接続 CH の変更については、1.3.1.6.1.(5)を参照してください。

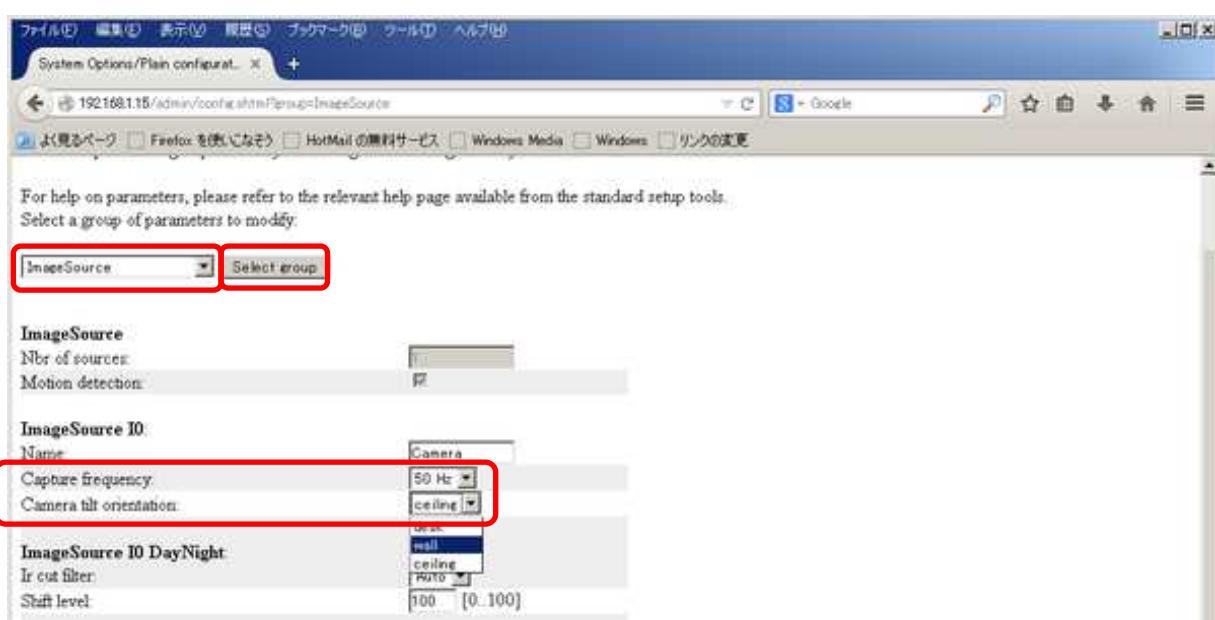
(1) Flicker[50Hz/60Hz]の変更

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config]を選択します。



④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。

⑤「Capture Frequency」のプルダウンで変更します。



⑥設定反映のため、「Save」を押します。



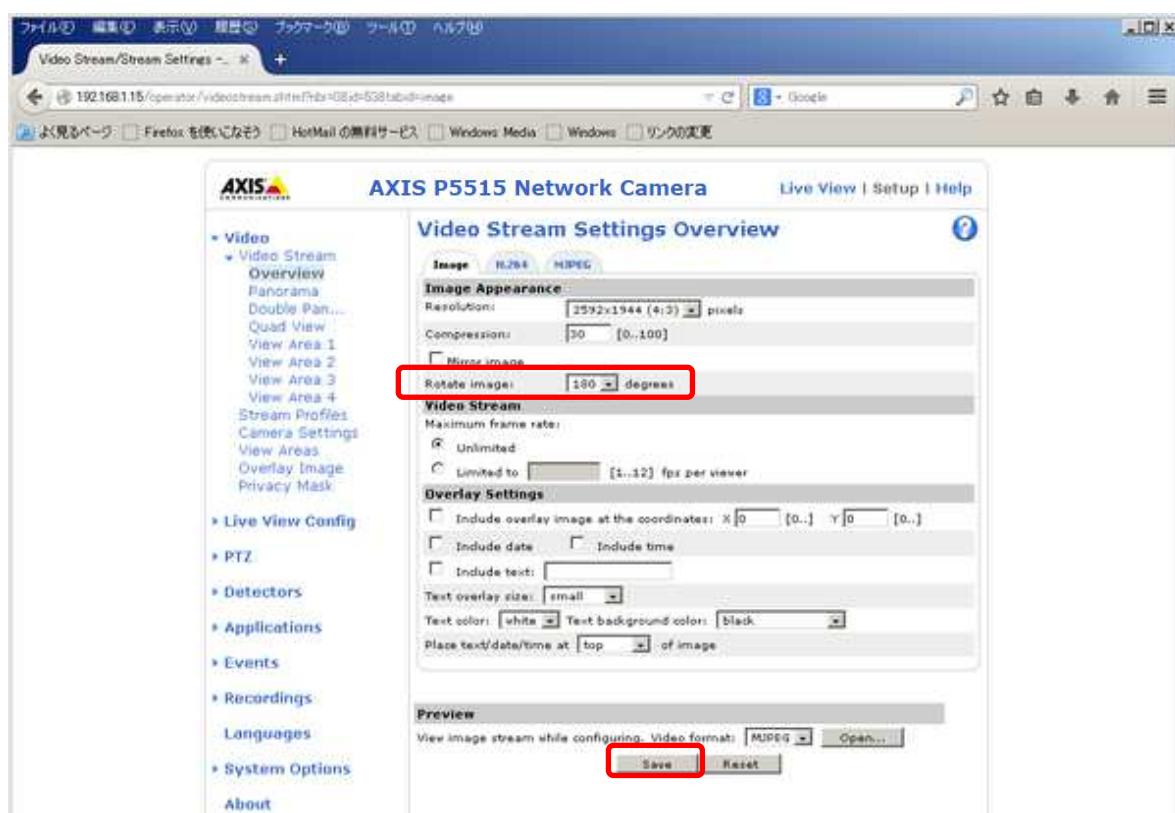
⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

① フリッカ設定が 50Hz の場合、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。

(2)上下反転

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[Image]タブを選択します。
- ④ [Image]タブにて、「Rotate image」を「0」から「180」に変更します。
- ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



(3)画角/フォーカスを調整する

P5515 シリーズの場合、カメラ設置時の映像角度やフォーカス調整はレコーダーの PTZ 操作にて画角/フォーカスの調整を実施して下さい。フォーカスが合わない場合は、ブラウザにて Near focus limit 機能を調節してください。

【PTZ 機能での画角調整方法】

- ①レコーダーのカメラ一覧パネルで P5515 シリーズのカメラを選択してください。映像表示パネルに P5515 シリーズのカメラ映像が表示されます。
- ②レコーダーのカメラ制御基本パネルのカメラ制御基本タブを選択してください。
- ③「旋回」ボタンを押下し画角を調整してください。

【補足】

カメラ制御基本タブ画面の「旋回」ボタンにて画角調整した場合、カメラへの給電が OFF(レコーダー電源 OFF)すると、再起動後の画角が調整前の初期画面に戻ります。画角調整でホームポジションが決まった後に カメラ制御基本パネルのカメラ制御登録タブでプリセット1へ登録して下さい。カメラ給電 OFF による再起動後でもホームポジション(プリセット1)の画角が表示されます。
カメラ制御基本パネル/カメラ制御基本タブ/カメラ制御登録タブについては、レコーダー取扱説明書を参照して下さい。

- ① NR-5200/5280 は対応のビューワ等で操作、確認してください。
- ② P5515 シリーズは構造上 1 回転できない為、駆動域以上の旋回する際に、カメラ映像が 1 秒程度フリーズ後旋回を再開するなど、弊社旋回カメラ NC-6500 と挙動が異なります。
P5515 シリーズはオートフォーカス機能により自動でピント調整を行います(マニュアルフォーカスのサポートについては、後述の【マニュアルフォーカス対応可否組合せ】を参照ください)。画角に映っている対象物によっては、フォーカスを合わせる動きを繰り返したり、中央以外にピントを合わせたりする事がありますが、不具合ではありません。フォーカスが合わない場合は、下記の手順で Near focus limit 機能を調節してください。設定値の距離以内にフォーカスを合わせないように設定することが出来ます。
 - ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
 - ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
 - ③[Setup](画面右上) → [PTZ] → [advanced] → [Limits]を選択します。
 - ④Near focus limit を設置環境に応じて任意の値に設定します。
設定値:0.1m/0.3m/0.5m/1.0m/1.5m/3.0m/5.0m/10.0m
 - ⑤設定反映のため、「Save」を押します。
- ⑥画面の中心に来たものにフォーカスが合いやすい(遠方にピントが合っている場合でも、回転台を動かして近方の被写体を中心に持つて来ると、近方の被写体にピントが合いやすい)傾向を確認しています。調整の参考にしてください。
- ⑦Focus Limit で制限をかけ、遠方の被写体にピントを合わせた場合にも、ズーム(望遠)することでピントが合わなくなる場合がありますが、Near focus limit の設定変更により改善することができますので、調整の参考にしてください。
- ⑧P5515 シリーズをレコーダーに接続した際、PTZ 機能・プリセット機能が動作しない症状が発生する場合があります。その場合は、レコーダーのカメラ設定画面にて、対象の P5515 シリーズカメラを一旦「未接続」として設定ボタンを押し、再度登録を実施してください。なおこの時、対象の P5515 シリーズカメラについて、メインモニタ・サブモニタへの画面割り付け及びアラーム設定を行っている場合は再度設定を実施する必要があります。

AXIS P5515 Network Camera

Live View | Setup | Help

Limits

Mechanical Restrictions

Enable E-flip:

Left limit: -180 [-180..180]

Right limit: 180 [-180..180]

81 comp, 29.97 fps, 1513

Lower limit: 0 [0..90]

Zoom tele limit: x24 (x2 D) Zoom out

Near focus limit: 0.5 m Auto focus

Move speed: 1.0 m

Enable proportion Max proportional speed: 200 [1..1000]

Enable Auto-flip Enable movement prediction

Note: All changed limits must be saved before the Go to button will work with the new settings.

【マニュアルフォーカス対応可否組合せ】

マニュアルフォーカス機能の対応可否について、下表に組合せを示します。

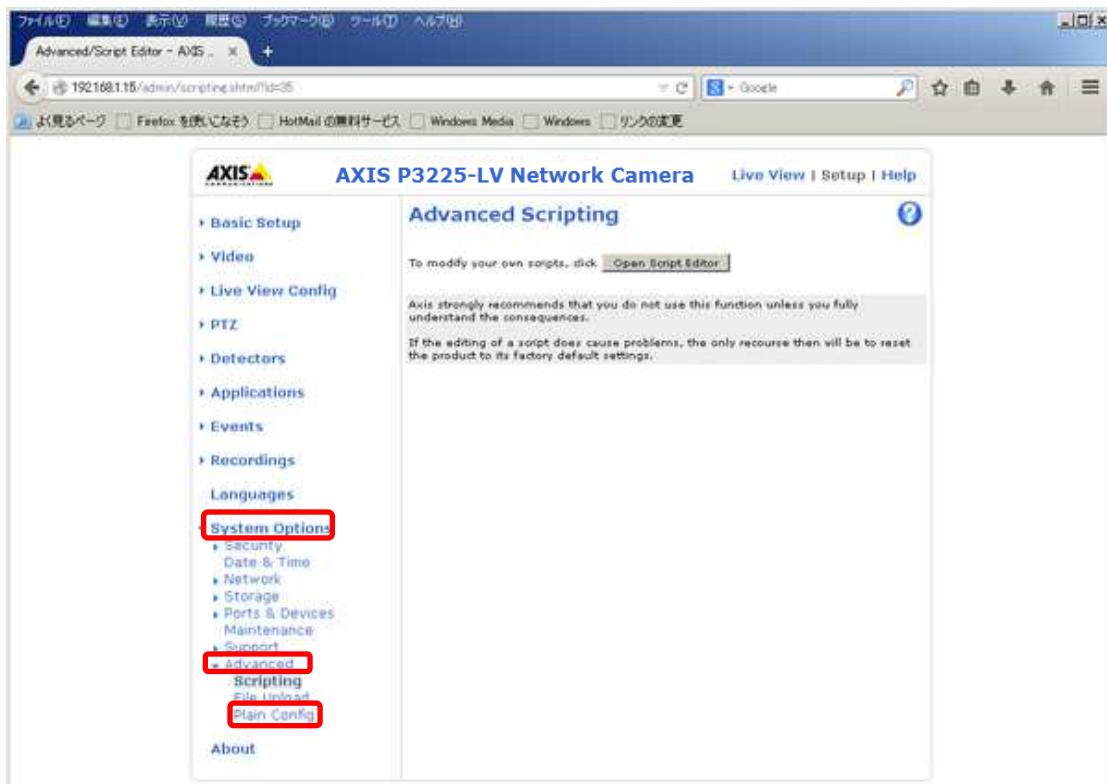
セキュリティ設定における、「Enable anonymous viewer login」、「Enable anonymous PTZ control login」の設定有無は、出荷時期によって異なりますのでご注意ください。

表 マニュアルフォーカス対応可否組合せ

| レコーダーS/Wバージョン | セキュリティ設定 「Enable anonymous viewer login」、「Enable anonymous PTZ control login」設定 | |
|---------------|--|----------------|
| | あり | なし |
| SYS.05.36 以前 | マニュアルフォーカスに非対応 | マニュアルフォーカスに非対応 |
| SYS.06.13 以降 | マニュアルフォーカスに対応 | マニュアルフォーカスに非対応 |

(4) WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config]を選択します。



- ④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS P3225-LV Mk II Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.
Select a group of parameters to modify:

ImageSource

ImageSource

Motion detection:

Nbr of sources:

ImageSource I0:

Camera tilt orientation:

Capture frequency:

Name:

ImageSource I0 DayNight:

Ir cut filter:

Shift level: [0..100]

⑤画面を下にスクロールして表示される「WDR」のプルダウンで、「On」か「Off」を選択します。

⑥設定反映のため、「Save」を押します。

| | |
|--|--|
| Manual gain control: | <input type="checkbox"/> |
| Manual shutter: | 33333 [-60..2000000] |
| Manual shutter control: | <input type="checkbox"/> |
| Max auto gain control lowlight: | 100 [0..100] |
| Max auto gain control normal: | 50 [0..100] |
| Max exposure time: | 166667 [-60..2000000] |
| Max fast shutter: | 1000 [1..33333] |
| Max gain: | 100 [0..100] |
| Max slow shutter: | 33333 [16666..2000000] |
| Min exposure time: | 0 [-60..2000000] |
| Min gain: | 0 [0..100] |
| Sharpness: | 50 [0..100] |
| WDR: | On <input type="button" value="▼"/> |
| White balance: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance window: | Automatic <input type="button" value="▼"/> |
| White balance xstart: | 0 [0..9999] |
| White balance xstop: | 9999 [0..9999] |
| White balance ystart: | 0 [0..9999] |
| White balance ystop: | 9999 [0..9999] |
| ImageSource I0 Sensor CustomExposureWindow: | |
| Nbr of configs: | 0 |
| Weight: | 100 [0..100] |
| Save page changes: | <input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Reset"/> |

⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

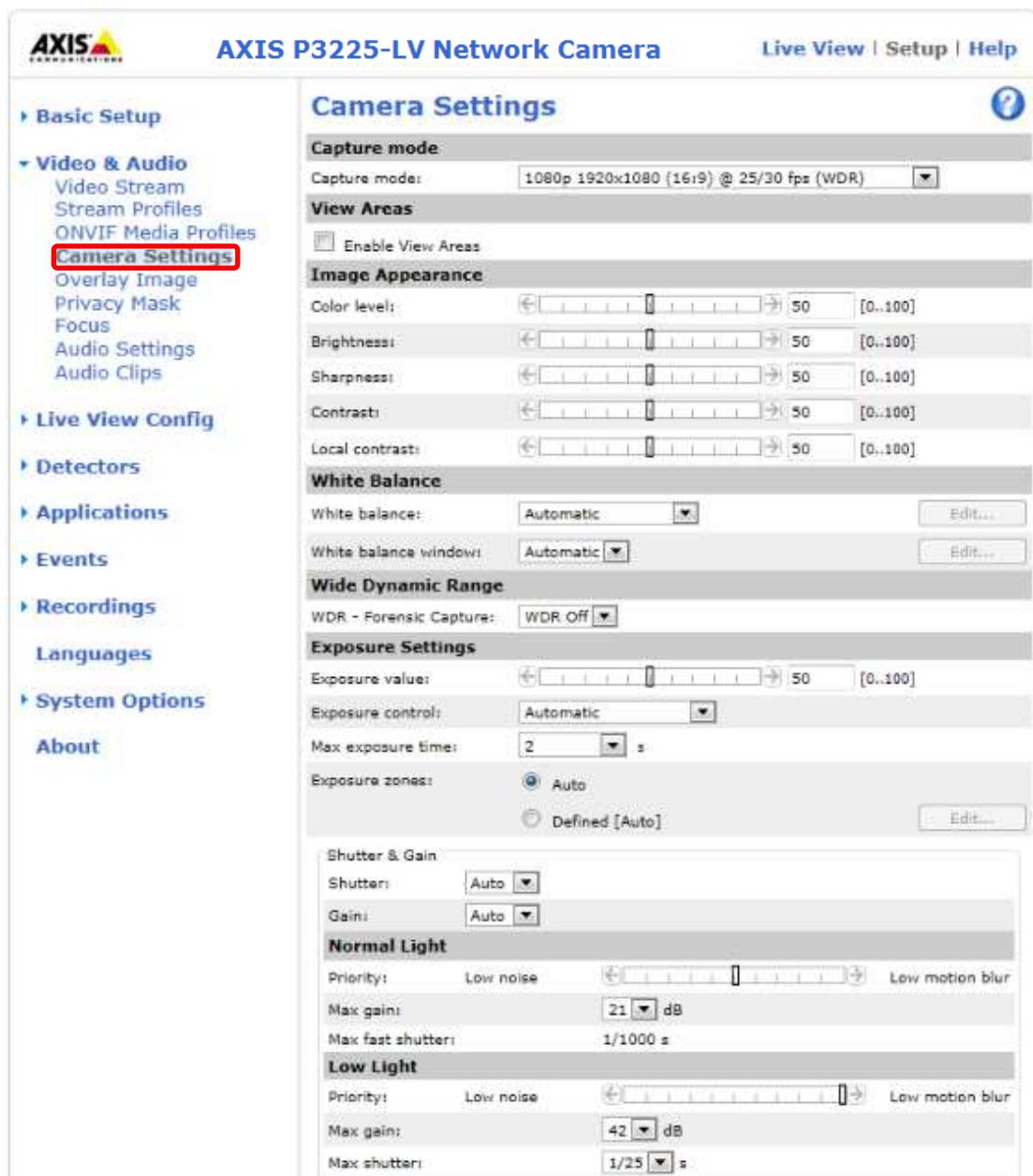
※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

!
⑧詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

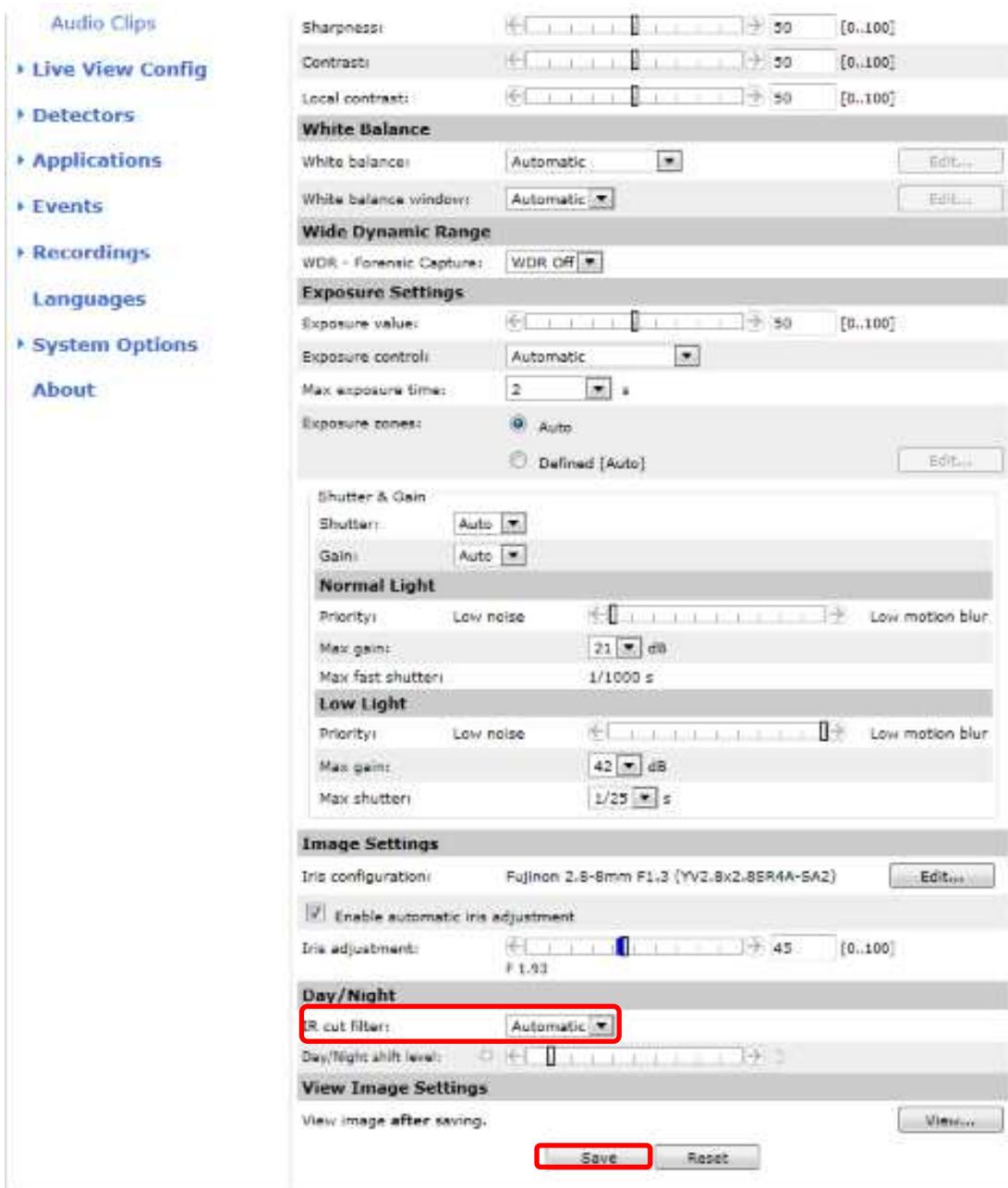
(5) Day/Night 設定を変更する

Day/Night 機能とは、AXIS カメラの映像を白黒映像に切り替える機能で、白黒映像下では低照度環境でも映像を撮影することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [Video & Audio] → [Camera Settings] を選択します。



- ④画面を下にスクロールして表示される「IR cut filter」のプルダウンで、「Automatic」、「On」、「Off」を選択します。（「Automatic」⇒自動切替、「On」⇒常時白黒、「Off」⇒常時カラー）
 ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



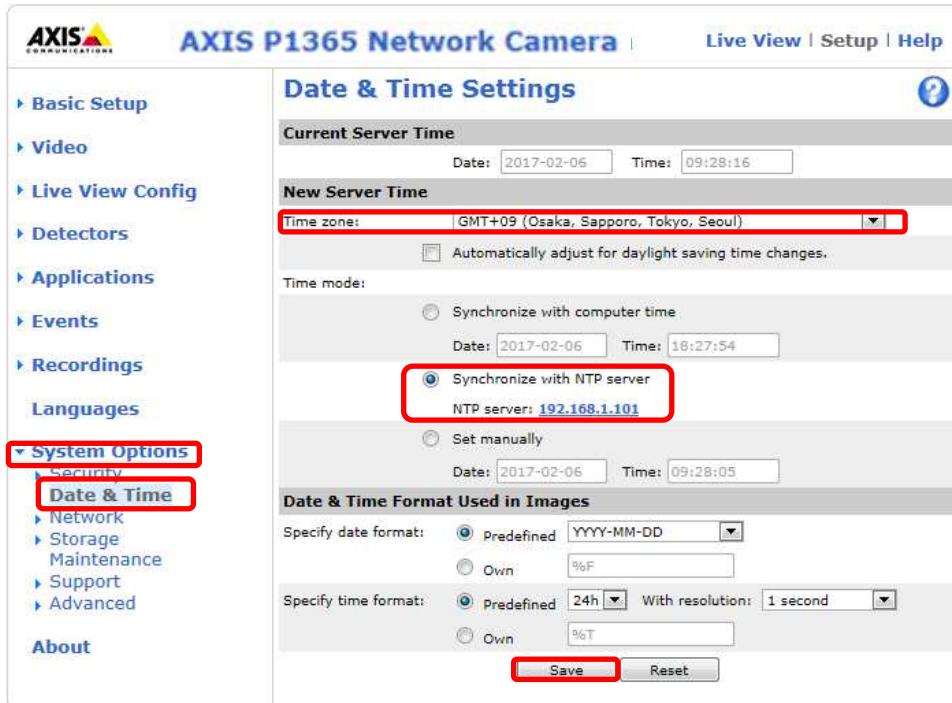
- ⑥設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
 ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、「Restart」ボタン押下にて実行できます。

! 詳細な設定については、AXIS 社ホームページ内該当機種のユーザーマニュアルを参照ください。

(6) カメラ映像に日時時刻を表示する

レコーダーと時刻同期を取り、カメラ映像に現在時刻を表示することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Date & Time] を選択します。
- ④「Time zone:」のプルダウンで、「GMT+09(Osaka,Sapporo,Tokyo,Seoul)」を選択します。
- ⑤「Time mode:」が、「Synchronize with NTP server」が選択されていることを確認します。
- ⑥設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑦[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] を選択します。
 ⑧「NTP configuration」が、「Use the following NTP server address」を選択します。
 ⑨「Network address:」の欄に接続する MELOOK3 レコーダーの IP を入力選択します。
 ⑩設定反映のため、「Save」を押します。

AXIS P1365 Network Camera

Advanced TCP/IP Settings

DNS Configuration

Obtain DNS server address via DHCP

Use the following DNS server address:

Domain name:

Primary DNS server:

Secondary DNS server:

NTP Configuration

Obtain NTP server address via DHCP

Use the following NTP server address:

Network address: (host name or IP address)

Host Name Configuration

Use the host name:

Enable dynamic DNS updates (Axisproduct.example.com)

TTL:

Link-Local IPv4 Address

Auto-Configure Link-Local Address

HTTP

HTTP port:

HTTPS

HTTPS port:

NAT traversal (port mapping) for IPv4

NAT traversal is disabled.

Use manually selected NAT routers: (LAN IP address)

Alternative HTTP port:

* If set to blank or 0, a port number will be set automatically upon enable.

FTP

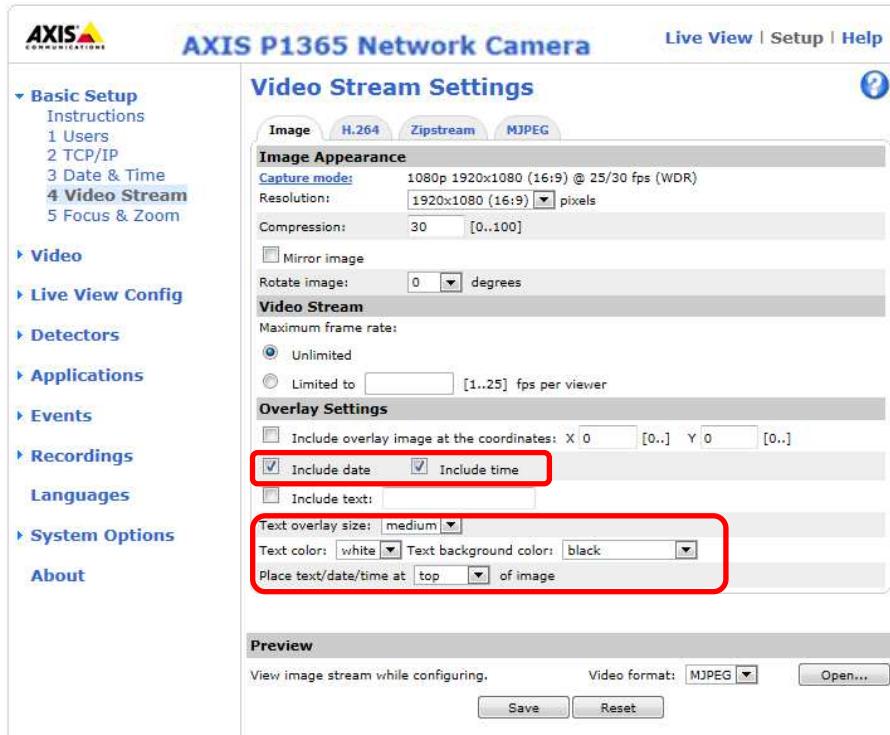
Enable FTP server

RTSP

Enable RTSP server

RTSP port:

- ⑪[Setup](画面右上) → [Basic Setup] → [Video Stream] を選択します。
- ⑫「Overlay Setting」の「Include date」と「Include time」をチェックします。
- ※表示時刻の文字サイズを変更したい場合は、「Text overlay size:」を変更してください。(初期値「medium」)
- 表示時刻の文字色を変更したい場合は、「Text color:」を変更してください。(初期値「white」)
- 表示時刻の背景色を変更したい場合は、「Text background color」を変更してください。(初期値「black」)
- 時刻の表示位置を変更したい場合は、「Place text/date/time at」を変更してください。(初期値「top」)
- ⑬設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑭設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
- ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

1.3.1.6.3.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ① カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ② カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ③ フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。
カメラ接続後、映像が 2 分以上表示されない場合は、カメラを再起動してください。再起動は LAN ケーブルを挿抜する、あるいは MELOOK3 レコーダーの接続状態監視画面にて、所定のカメラポートの No にチェックを入れ、PoE 給電設定を一度 OFF にした後、再度 ON にしてください。

1.3.1.7. 全方位カメラ(M3007-P、M3007-PV、M3027-PVE)

全方位カメラ(M3007-P、M3007-PV、M3027-PVE)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた全 方 位 カ メ ラ (M3007-P 、 M3007-PV 、 M3027-PVE) に は 、 レ コ ー ダ ー (NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)の CH1 に接続可能なように、事前設定がされています。

NR-5200/5280 に接続する場合は、1.3.1.7.1 (7)の設定を必ず実施ください。

初期化する場合や接続CHを変更する場合、ビットレートを変更する場合(カメラF/WVer:5.55.1.2の場合のみ)は、予めブラウザ経由で 1.3.1.7.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUB やインジェクタ等での PoE 給電が必要です)。また、下記(1)～(5)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で 1.3.1.7.2.に示す設定変更が可能です。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.7.3.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Ceiling と Wall の変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「ViewMode の変更」
- (4)「画角/フォーカスを調整する」
- (5)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.7.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(5)ネットワーク設定(※)]を実施してください。接続 CH を変更する場合は(5)ネットワーク設定のみを実施してください。ビットレートを変更する場合(カメラ F/WVer:5.55.1.2 の場合のみ)は、(6) ビットレートを設定するのみを実施してください。

※カメラ F/WVer:5.55.1.2 の場合のみ[(1)初期化]～[(6)ビットレートを変更する]まで実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

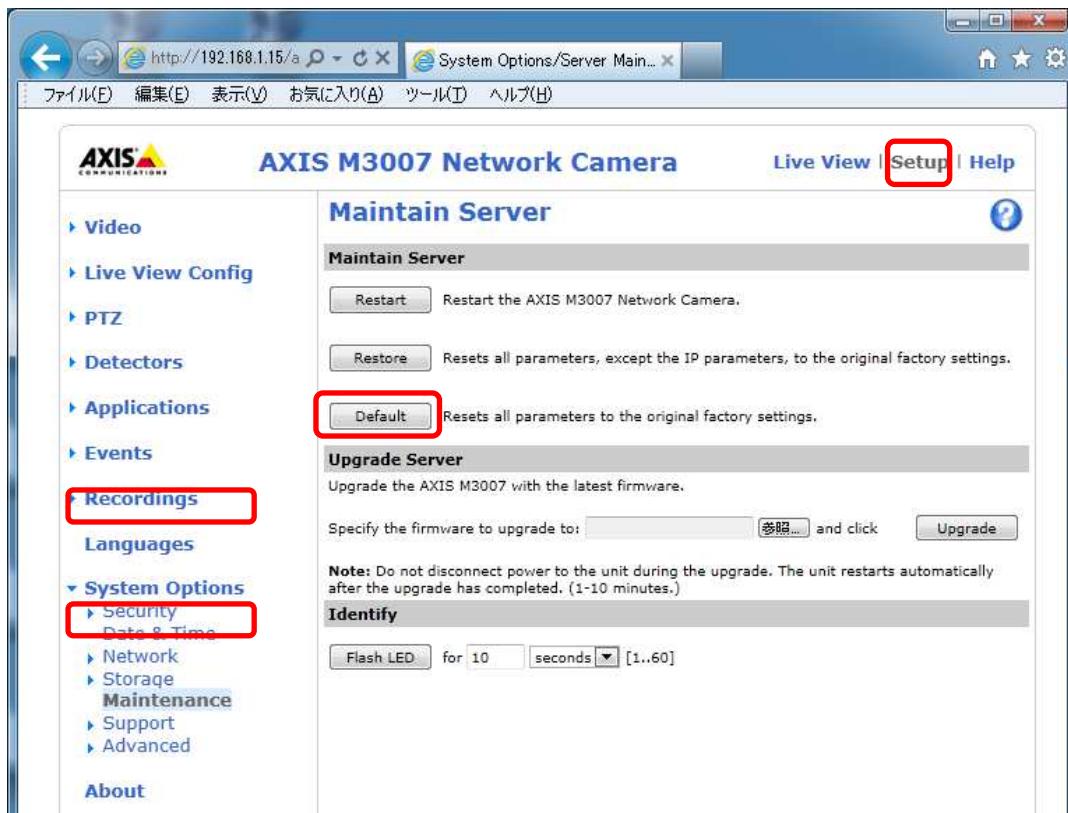
①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で「Default」を押下します。

④AXIS 全方位カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

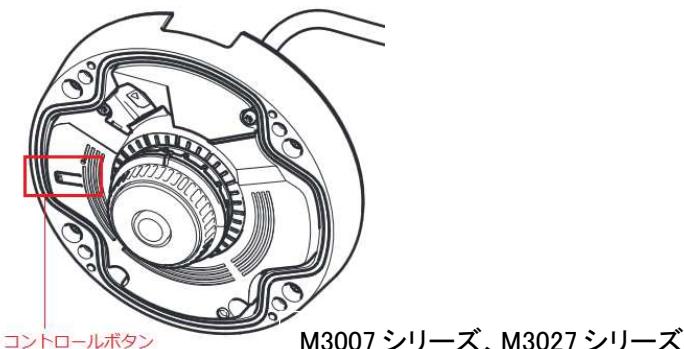
①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。

②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。

③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。

④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。

(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定します(2か所入力)。「OK」ボタンを押下します。



- ③「Use English」を選択します。



- ④「Camera Orientation」を選択します。「OK」ボタンを押下します。

天井設置→「Ceiling」を選択

壁掛設置→「wall」を選択



- ⑤「Power line frequency」で「50Hz」か「60Hz」を選択します(フリッカ設定)。「OK」ボタンを押下します。
フリッカ設定後、ブラウザ上に映像が表示されます。



(3)セキュリティ設定1

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

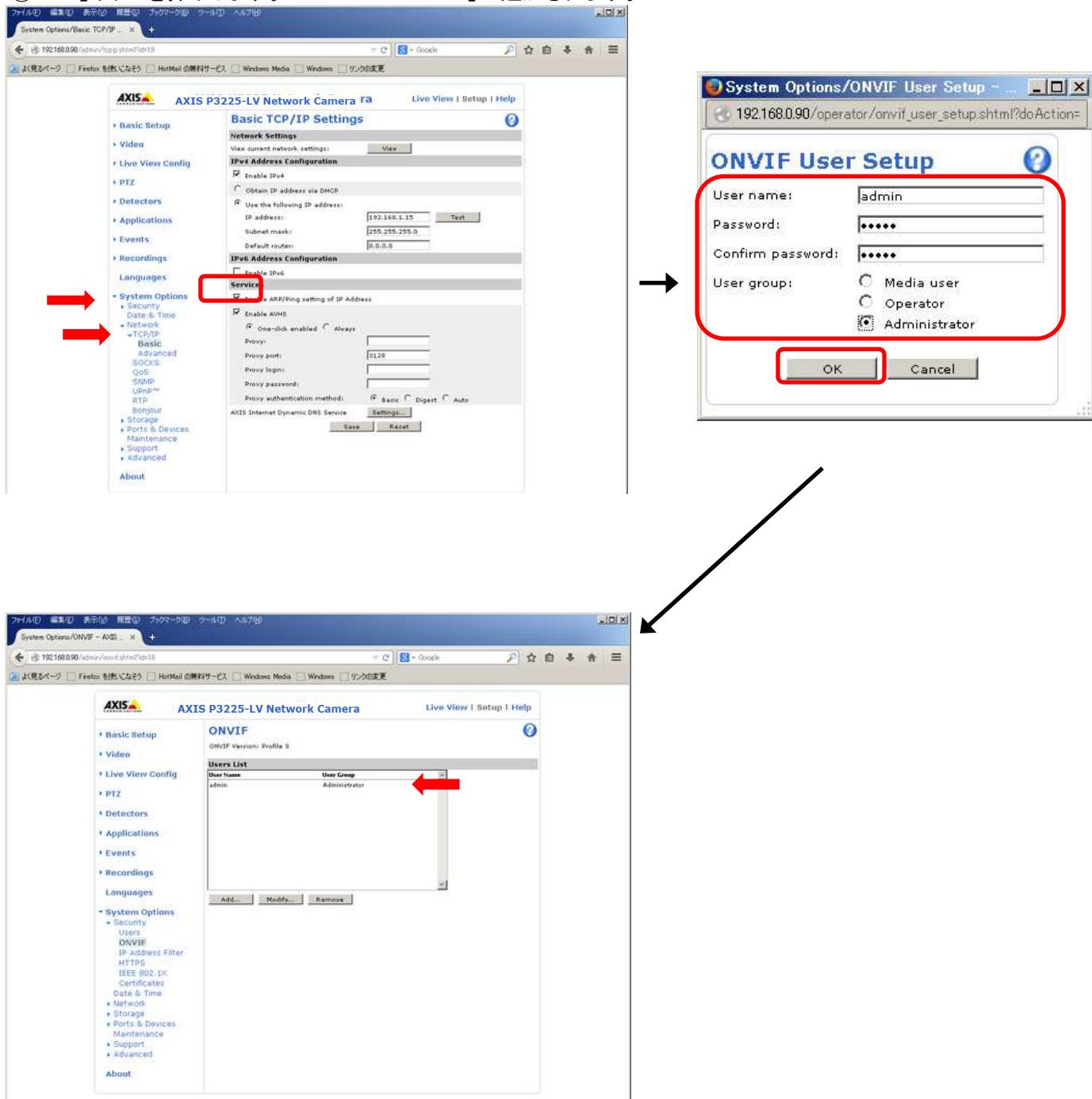
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [ONVIF] を選択します。「ADD...」ボタンを押下します。

ONVIF User Setup 画面が表示されます。

- 「User name」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Confirm Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「User group」 ⇒ 「Administrator」を選択します。

④「OK」ボタンを押下します。User Listに「admin」が追加されます。



(4)セキュリティ設定2



カメラのF/Wバージョンにより、設定方法が異なります。
カメラF/Wバージョンを確認し(※1)設定変更してください。

※1 カメラF/Wバージョンは、ブラウザでアクセスして「BasicSetup」⇒「Instruction」ボタンを押下すると
以下の画面が表示されます。枠内の表示が稼働中のカメラF/Wバージョンです。

- ▼ Basic Setup
- Instructions
- 1 Users
- 2 TCP/IP
- 3 Date & Time
- 4 Video Stream
- 5 Focus
- 6 Audio Settings
- ▶ Video & Audio
- ▶ Live View Config
- ▶ Detectors
- ▶ Applications
- ▶ Events
- ▶ Recordings
- Languages
- ▶ System Options
- About

Basic Setup

Before using the AXIS P1365 Network Camera, there are certain settings that should be made, most of which require Administrator access privileges. To quickly access these settings, use the numbered shortcuts to the left. All the settings are also available from the standard setup links in the menu.

Note that the only required setting is the IP address, which is set on the TCP/IP page. All other settings are optional. Please see the online help for more information.

Firmware version: 6.30.1
MAC address: AC:CC:BE:29:8E:A7

<M3007シリーズ(カメラF/WVer:5.55.1.2)、M3027シリーズ(カメラF/WVer:5.55.1.2)の場合>

(セキュリティ設定1から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users]を選択します。
「User Settings」にて、「Enable anonymous viewer login」をチェックします。

④「User Settings」にて、「Enable Basic Setup」のチェックを外します。

⑤「Save」を押下します。

The screenshot shows the camera's configuration interface. On the left, a sidebar lists various setup categories. A red arrow points to the 'System Options' category, which is expanded to show 'Security', 'Users', and other sub-options. Another red arrow points directly at the 'Users' link. The main panel displays a 'User List' table with one entry: 'root' under 'User Name' and 'Administrator' under 'User Group'. Below the table are 'Add...', 'Modify...', and 'Remove...' buttons. The 'HTTP/RTSP Password Settings' section is visible, showing 'Allow password type: Encrypted & unencrypted'. The 'User Settings' section contains three checkboxes: 'Enable anonymous viewer login (no user name or password required)' (which is checked), 'Enable anonymous PTZ control login (no user name or password required)' (unchecked), and 'Enable Basic Setup' (unchecked). At the bottom right of the main panel are 'Save' and 'Reset' buttons, with a red box highlighting the 'Save' button.

<M3007 シリーズ(カメラ F/WVer:6.30.1)、M3027 シリーズ(カメラ F/WVer:6.30.1)の場合>

(セキュリティ設定1から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

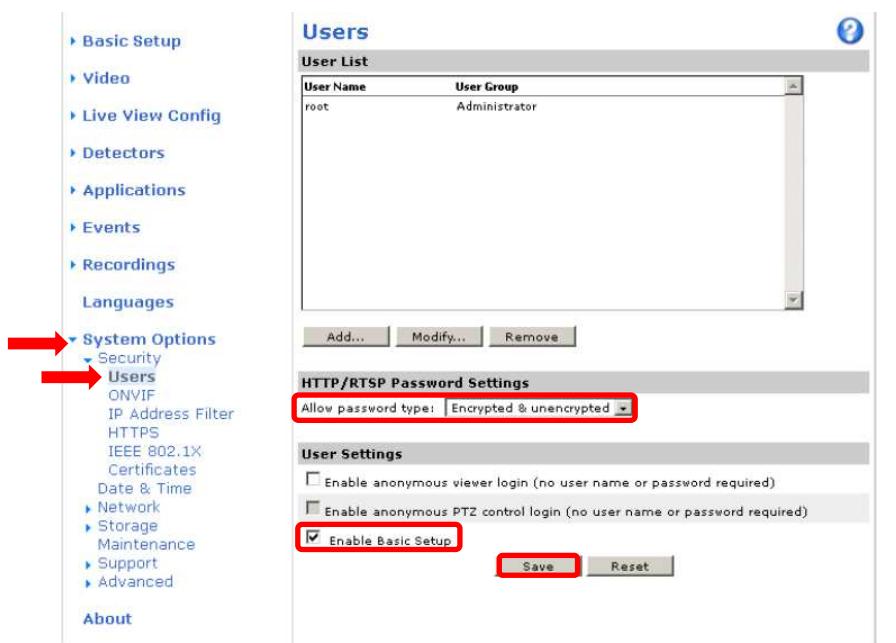
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users] を選択します。

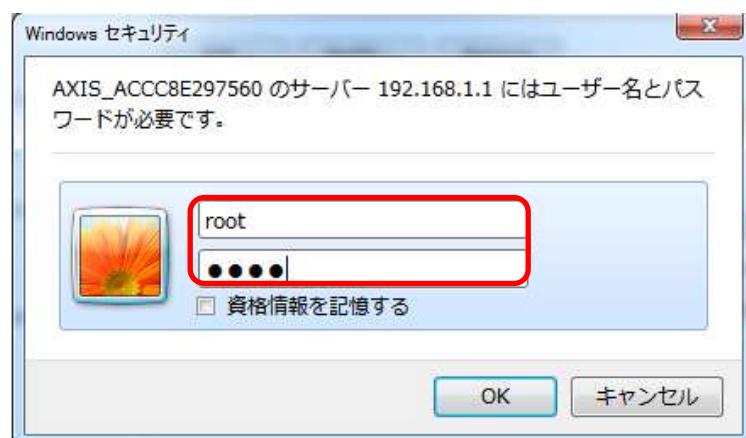
④「HTTP/RTSP Password Setting」にて、プルダウンから「Encrypted & Unencrypted only」を選択します。

⑤「User Settings」にて、「Enable Basic Setup」をチェックします。

⑥「Save」を押下します。



⑦セキュリティ設定を行った後、「Save」を押すとユーザ名、パスワードの入力を求めるポップアップが表示されますので、ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。



(5)ネットワーク設定

(セキュリティ設定2から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Network] → 「Basic」を選択します。

④「IPaddress」を「192.168.1.1」にします。

(*)カメラを接続するレコーダーのCH番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512に接続するPoE給電スイッチングHUBの設定」に記載のIPアドレスを参照してください。

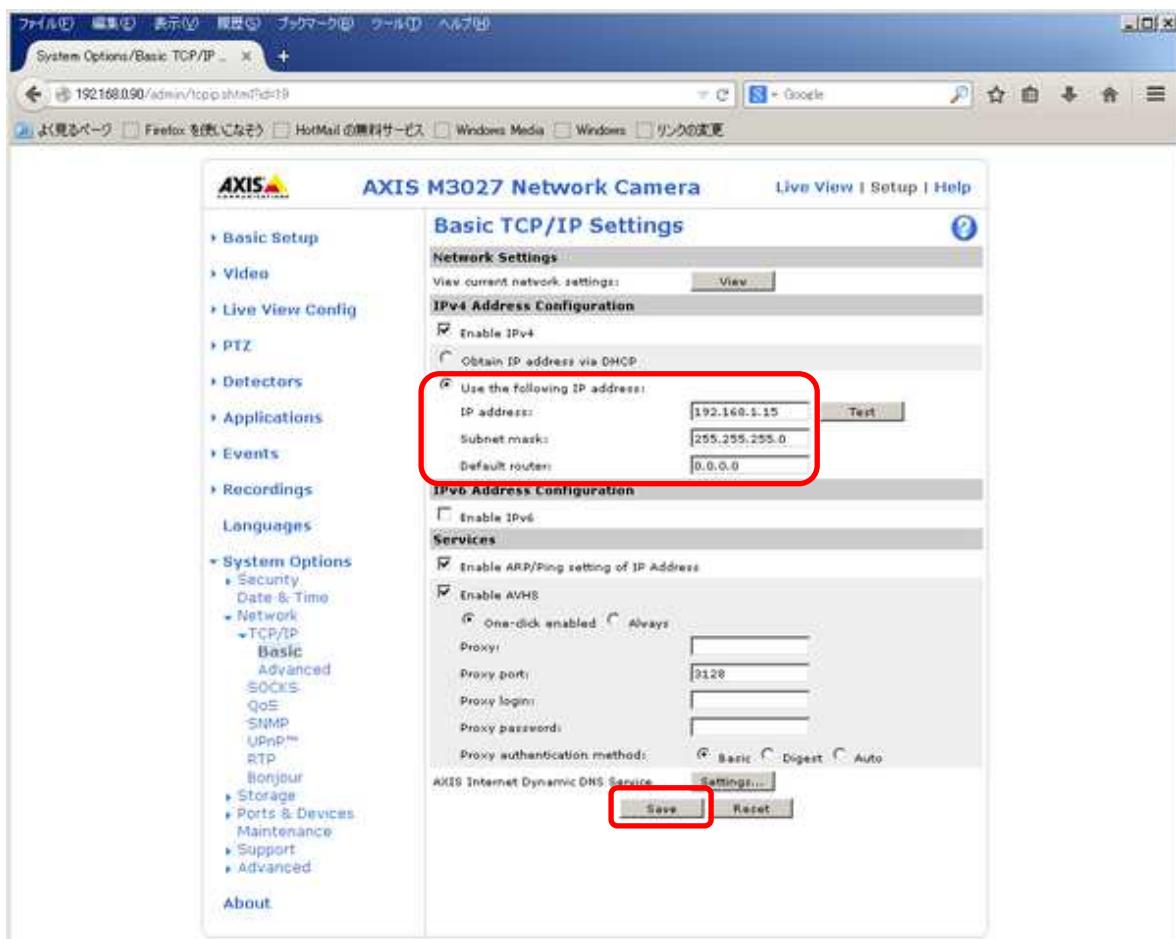
⑤「Subnet mask」を「255.255.255.0」にします。

⑥「Default router」を「0.0.0.0」にします(空欄は不可)。※購入時は空欄となっていますのでお気をつけ下さい。

⑦「Save」を押下します。

SAVEボタン押下後、カメラからの確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下してください。

① NR-5200/5280に接続する際は、「IPaddress」「Subnet mask」「Default router」の値はネットワーク設計にあわせて設定して下さい。



(6) ビットレートを設定する



カメラの F/W バージョンにより、設定が不要な場合があります。
カメラ F/W バージョンを確認し(※1)設定変更してください。

※1 カメラ F/W バージョンは、ブラウザでアクセスして「BasicSetup」⇒「Instruction」ボタン押下すると
以下の画面が表示されます。枠内の表示が稼働中のカメラ F/W バージョンです。

- ▼ Basic Setup
- Instructions
 - 1 Users
 - 2 TCP/IP
 - 3 Date & Time
 - 4 Video Stream
 - 5 Focus
 - 6 Audio Settings
- ▶ Video & Audio
- ▶ Live View Config
- ▶ Detectors
- ▶ Applications
- ▶ Events
- ▶ Recordings
- Languages
- ▶ System Options
- About

Basic Setup

Before using the AXIS P1365 Network Camera, there are certain settings that should be made, most of which require Administrator access privileges. To quickly access these settings, use the numbered shortcuts to the left. All the settings are also available from the standard setup links in the menu.

Note that the only required setting is the IP address, which is set on the TCP/IP page. All other settings are optional. Please see the online help for more information.

Firmware version: 6.30.1

MAC address: AC:CC:8E:29:8E:A7

① 全方位カメラ(M3007-P、M3007-PV、M3027-PVE)はカメラ F/W のバージョンが Ver:5.55.1.2 の場合のみビットレートの設定が必要です。Ver:6.30.1 の場合は(6)の設定は不要です。

<M3007 シリーズ(カメラ F/W Ver:5.55.1.2)、M3027 シリーズ(カメラ F/W Ver:5.55.1.2)>

【OverView のビットレート設定方法】

① カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。

※ NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C へ接続する際、CH ごとの IP アドレス設定は以下表を参照してください。

| カメラ接続端子 No | CH | カメラ IP アドレス | カメラ増設端子 No | CH | カメラ IP アドレス |
|------------|----|--------------|------------|----|--------------|
| 1 | 1 | 192.168.1.1 | 17 | 17 | 192.168.1.17 |
| 2 | 2 | 192.168.1.2 | | 18 | 192.168.1.18 |
| 3 | 3 | 192.168.1.3 | | 19 | 192.168.1.19 |
| 4 | 4 | 192.168.1.4 | | 20 | 192.168.1.20 |
| 5 | 5 | 192.168.1.5 | | 21 | 192.168.1.21 |
| 6 | 6 | 192.168.1.6 | | 22 | 192.168.1.22 |
| 7 | 7 | 192.168.1.7 | | 23 | 192.168.1.23 |
| 8 | 8 | 192.168.1.8 | | 24 | 192.168.1.24 |
| 9 | 9 | 192.168.1.9 | | 25 | 192.168.1.25 |
| 10 | 10 | 192.168.1.10 | | 26 | 192.168.1.26 |
| 11 | 11 | 192.168.1.11 | | 27 | 192.168.1.27 |
| 12 | 12 | 192.168.1.12 | | 28 | 192.168.1.28 |
| 13 | 13 | 192.168.1.13 | | 29 | 192.168.1.29 |
| 14 | 14 | 192.168.1.14 | | 30 | 192.168.1.30 |
| 15 | 15 | 192.168.1.15 | | 31 | 192.168.1.31 |
| 16 | 16 | 192.168.1.16 | | 32 | 192.168.1.32 |

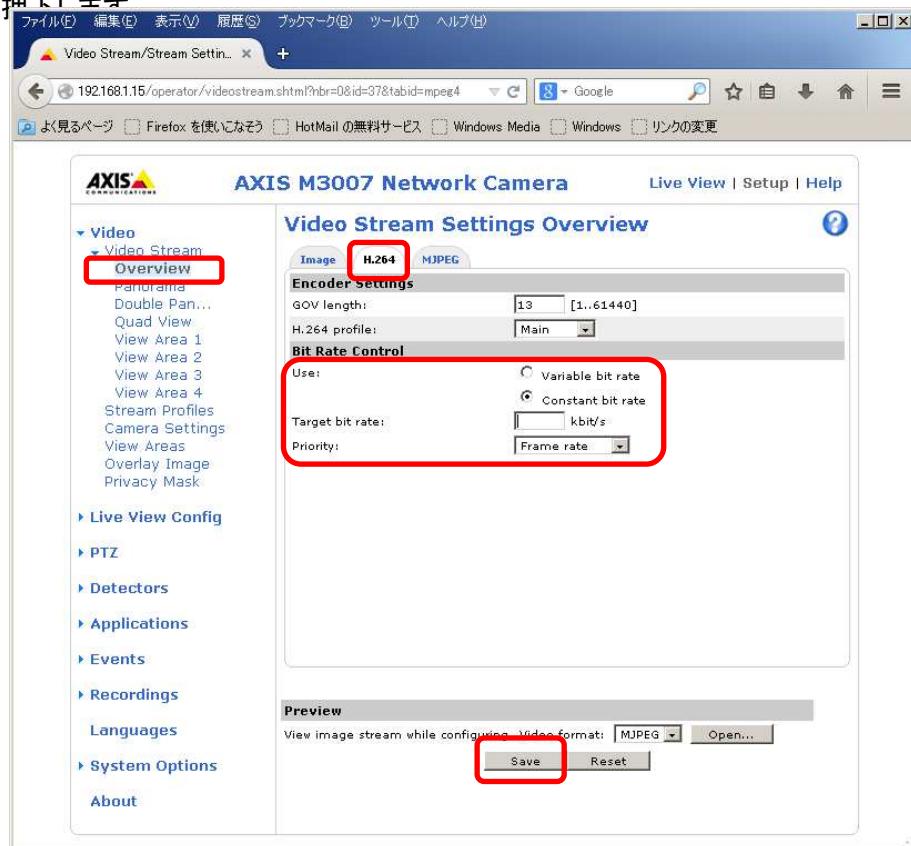
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) を押下して設定画面を開きます。
- ④[Video] → [Video Stream] → [OverView]を選択し、[H.264]タブを選択します。
- ⑤[BitRate Control]の[Use:]にて、[Constant bit rate]を選択します。
- ⑥[BitRate Control]の[Target bit rate:]にて、ビットレート[kbps]を入力します。

※入力する値は以下の表を参考に入力してください。

| | | | | | | |
|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| AXIS全方位カメラのビットレート設定値 | 6144 | 3072 | 2048 | 1536 | 1024 | 768 |
| レコーダーのビットレート設定値 | 6M | 3M | 2M | 1.5M | 1M | 768K |

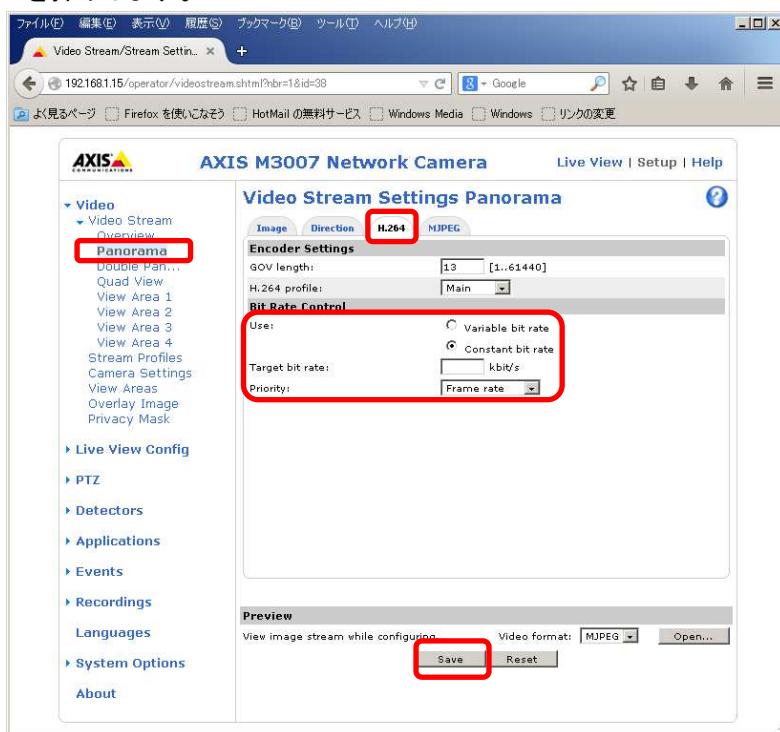
- ⑦[BitRate Control]の[Priority:]にて、[Frame rate]を選択します。

- ⑧[Save]ボタンを押下！



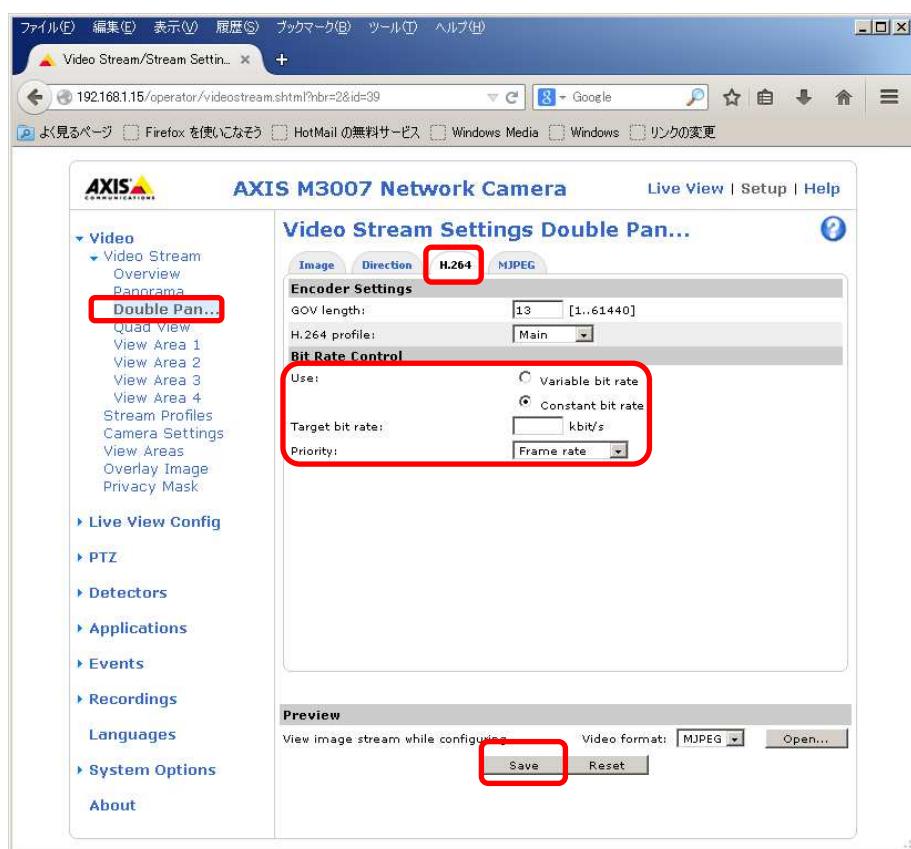
【Panorama のビットレート設定方法】

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
※接続 CH ごとの IP アドレス設定は【OverView のビットレート設定方法】の①の表を参照してください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) を押下して設定画面を開きます。
- ④[Video] → [Video Stream] → [Panorama]を選択し、[H.264]タブを選択します。
- ⑤[BitRate Control]の[Use:]にて、[Constant bit rate]を選択します。
- ⑥[BitRate Control]の[Target bit rate:]にて、ビットレート[kbps]を入力します。
※入力する値は【OverView のビットレート設定方法】の⑥の表を参考に入力してください。
- ⑦[BitRate Control]の[Priority:]にて、[Frame rate]を選択します。
- ⑧[Save]ボタンを押下します。



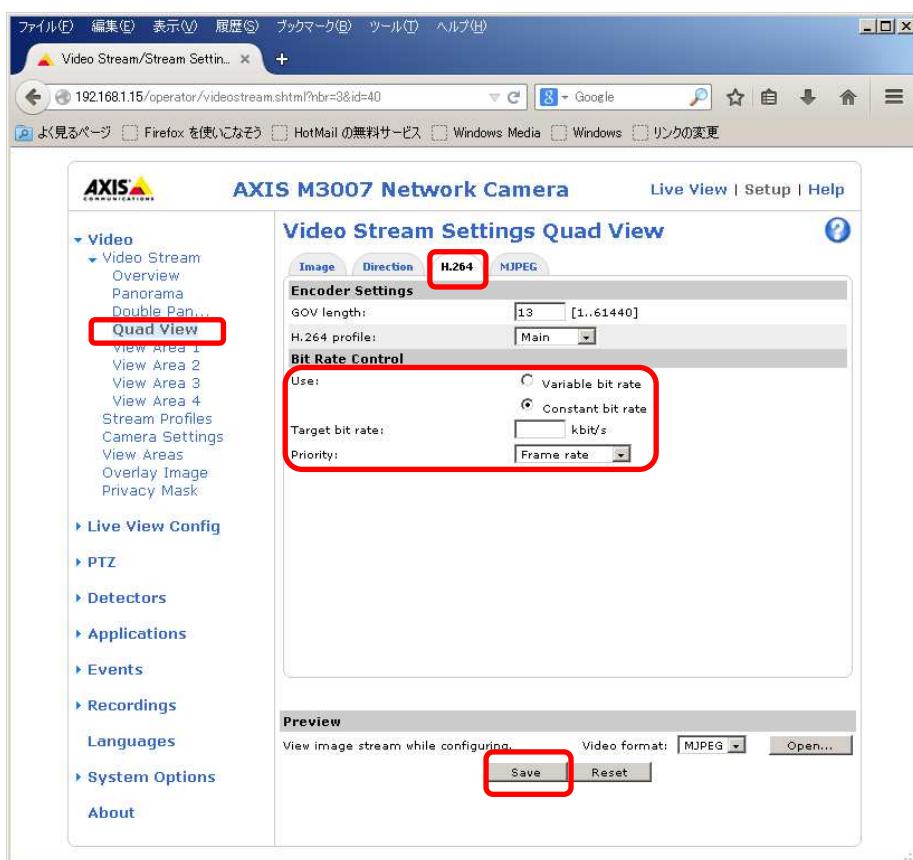
【DoublePanorama のビットレート設定方法】

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
※接続 CH ごとの IP アドレス設定は【OverView のビットレート設定方法】の①の表を参照してください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) を押下して設定画面を開きます。
- ④[Video] → [Video Stream] → [DoublePanorama]を選択し、[H.264]タブを選択します。
- ⑤[BitRate Control]の[Use:]にて、[Constant bit rate]を選択します。
- ⑥[BitRate Control]の[Target bit rate:]にて、ビットレート[kbps]を入力します。
※入力する値は【OverView のビットレート設定方法】の⑥の表を参考に入力してください。
- ⑦[BitRate Control]の[Priority:]にて、[Frame rate]を選択します。
- ⑧[Save]ボタンを押下します。



【Quad View のビットレート設定方法】

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。
※接続 CH ごとの IP アドレス設定は【OverView のビットレート設定方法】の①の表を参照してください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) を押下して設定画面を開きます。
- ④[Video] → [Video Stream] → [Quad View]を選択し、[H.264]タブを選択します。
- ⑤[BitRate Control]の[Use:]にて、[Constant bit rate]を選択します。
- ⑥[BitRate Control]の[Target bit rate:]にて、ビットレート[kbps]を入力します。
※入力する値は【OverView のビットレート設定方法】の⑥の表を参考に入力してください。
- ⑦[BitRate Control]の[Priority:]にて、[Frame rate]を選択します。
- ⑧[Save]ボタンを押下します。



(7)SPS/PPS 設定をする

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[System Options] → [Advanced]を選択し、[Plain Config]を押下します。

④プルダウンで「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

⑤2番目のプルダウンで「I0」を選択し、「Select image group」を押下します。

⑥ プルダウンで「I4~I7」を選択しないよう注意してください。

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.
Select a group of parameters to modify.



Select a group of image parameters to modify.



⑥[Image IO MPEG H264]の、[PS enabled]にチェックを入れます。

※チェックあり：映像に SPS/PPS 含む、チェックなし：映像に SPS/PPS 含まない。



⑦ページ下にある「Save」を押下する。



⑧⑤に戻り、プルダウンで「I1」を選択し、⑥⑦を実施ください。

⑨⑤に戻り、プルダウンで「I2」を選択し、⑥⑦を実施ください。

⑩⑤に戻り、プルダウンで「I3」を選択し、⑥⑦を実施ください。

1.3.1.7.2.設定変更/画角調整/フォーカス調整

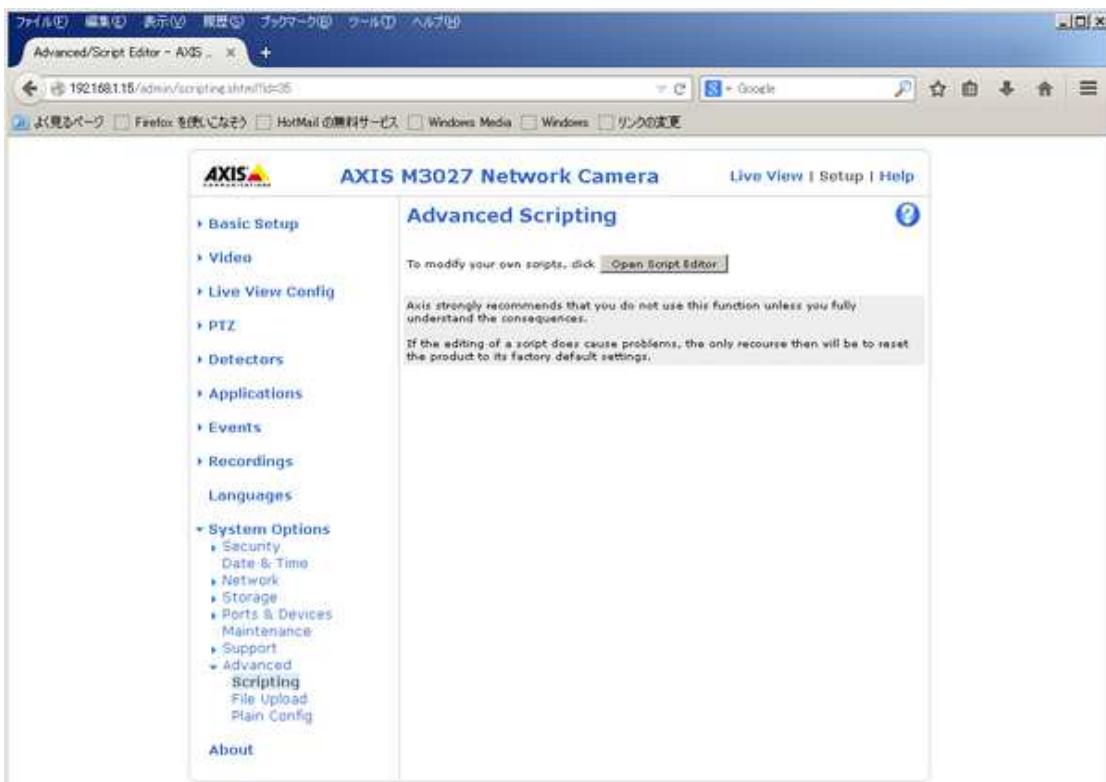
以下の設定変更の方法について示します。尚、弊社からご購入頂いた AXIS カメラでは、「壁付け(Wall)」(カメラ F/WVer:5.55.1.2 の場合)か「天井付け(Ceiling)」(カメラ F/WVer:6.30.1～の場合)、「50Hz」、「192.168.1.1」、WDR(ワイドダイナミックレンジ):「OFF」、Daynight:「Automatic」が事前設定されています。

- (1)「Ceiling と Wall の変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「ViewMode の変更」
- (4)「画角/フォーカスを調整する」
- (5)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

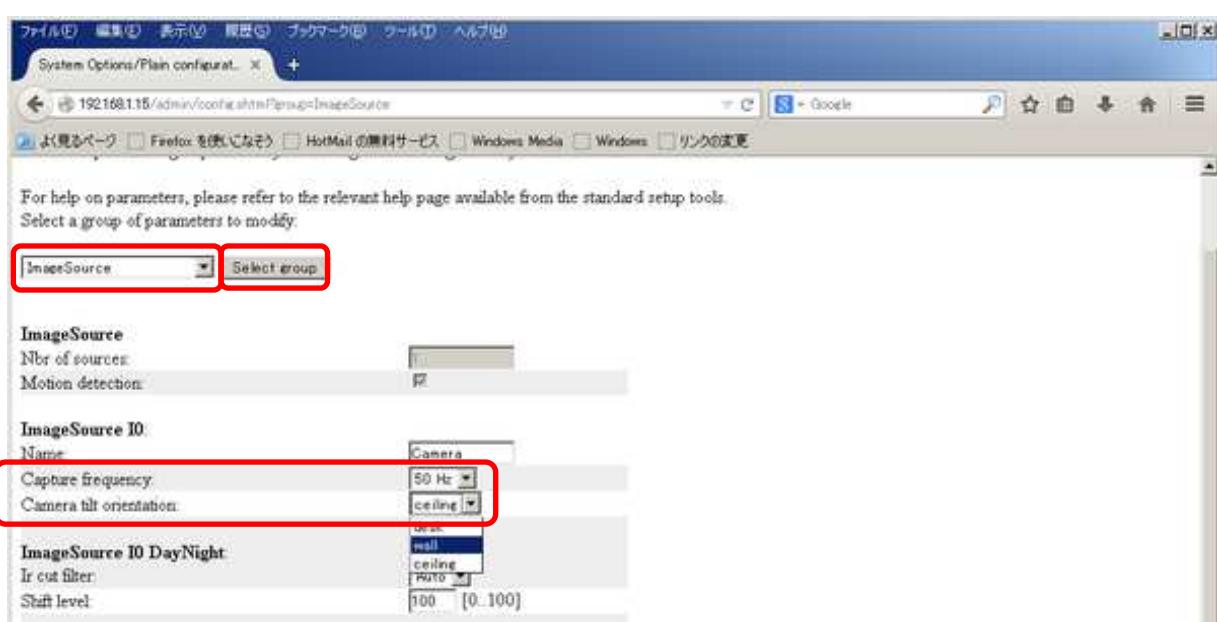
接続 CH の変更については、1.3.1.7.1.(5)を参照してください。

(1)Ceiling と Wall の変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] → [Plain Config] を選択します。



- ④プルダウンで「ImageSource」を選択し、[Select group]を押下します。
- ⑤【Ceiling と Wall の変更】「Camera tile orientation」のプルダウンで、「ceiling」か「wall」を選択します。
【Flicker[50hz/60hz]の変更】「Capture Frequency」のプルダウンで変更します。



⑥設定反映のため、「Save」を押します。



⑦設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。

※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

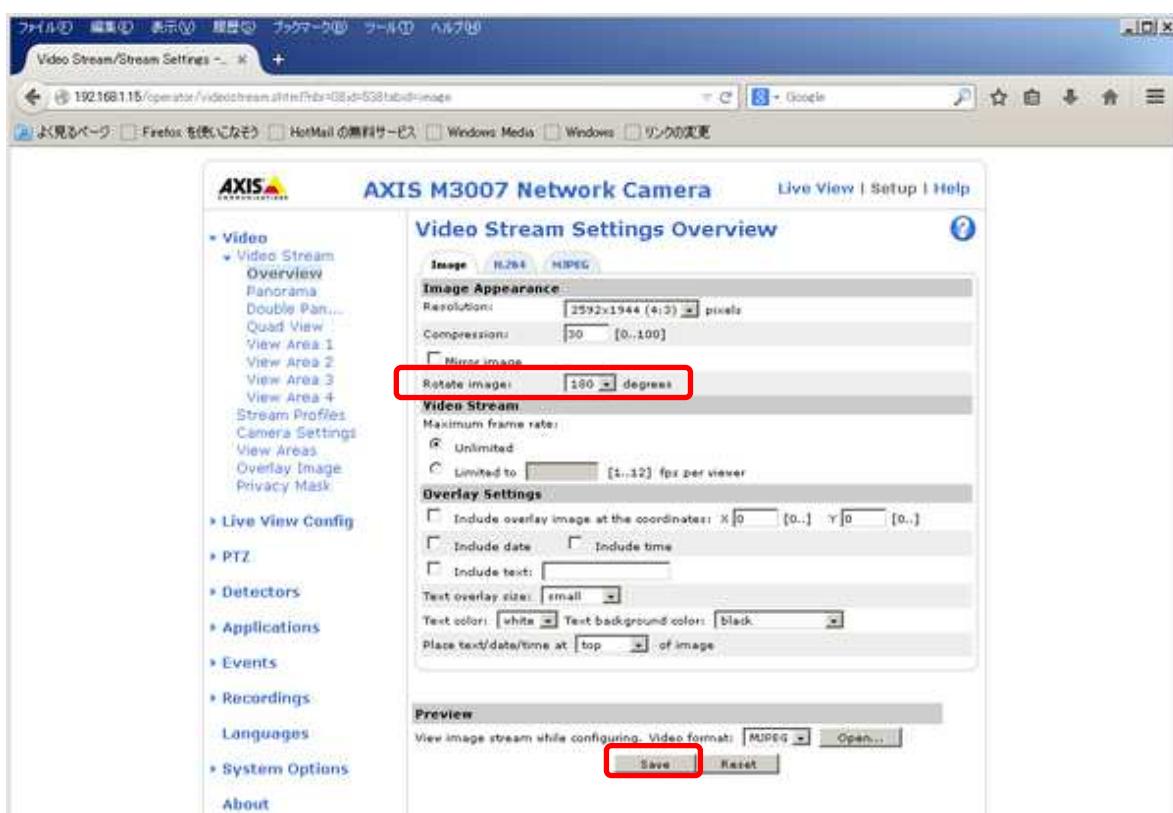
- ① 全方位カメラは設置場所(Ceiling / Wall)の設定により、対応可能なビューモードが変わります。
非対応のビューモードでは映像が表示されませんのでご注意ください。
設置場所の設定変更時には、下表を参照ください(○:対応、×:非対応)。
※弊社からの購入時は、「Ceiling」設定になっています。

表 設置場所設定と対応ビューモード

| 設置場所設定 | ビューモード | | | |
|---------|----------|----------|----------------|-----------|
| | OverView | Panorama | DoublePanorama | Quad View |
| Ceiling | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Wall | ○ | ○ | × | × |

(2)上下反転

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③Basic Setup → [Video Stream]を選択し、[Image]タブを選択します。
- ④ [Image]タブにて、「Rotate image」を「0」から「180」に変更します。
- ⑤設定反映のため、「Save」を押します。



(3) ViewMode(Overview/Panorama/DoublePanorama/Quad view)を変更する。

⚠ 注意

NR-5000/5041/5080/5100/8200 ではレコーダーの S/W バージョンにより、ViewMode の設定方法が異なります。レコーダー S/W バージョンを確認(※1)し設定変更してください。
NR-5200/5280/5000C/5512 では S/W バージョンによらず(1)を参照してください。

※1 レコーダーバージョンは、レベル3ユーザでレコーダー設定メニューの「管理設定」⇒「レコーダー本体をバージョンアップする」を選択→「バージョンアップ」ボタン押下すると以下の画面が表示されます。
枠内の表示が稼働中のレコーダー S/W バージョンです。



(1)【NR-5000/5041/5080/5100/8200 レコーダーの S/W バージョンが SN1.02.28 以降(※2)の場合】

【NR-5200/5280/5000C/5512 の場合】

- ① レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
 - ② 該当項目の「種別」にて表示したい ViewMode を選択してください。
XXXX-1: Overview / XXXX-2: Panorama / XXXX-3: DoublePanorama / XXXX-4: Quad view
 - ③ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後カメラ映像を確認してください。
- ※2 レコーダーの S/W バージョン SN1.02.28 は、2016 年 3 月 28 日以降の出荷適用バージョンです。
SN1.02.28 以降のバージョンは本項目を実施してください。
- !(1) NR-5200/5280 は対応のビューワ等で操作、確認してください。

(2)【NR-5000/5041/5080/5100/8200 の S/W バージョンが以下の場合】

NR-5000/5041/5080/5100/8200 の S/W バージョン

(2016 年 3 月 27 以前に工場出荷したレコーダーが対象です)

SN1.00.168、SN1.00.173、SN1.00.174、SN1.00.177、SN1.00.178、SN1.01.22、SN1.01.23

- ① レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ② ViewMode を変更する AXIS カメラを選択し、「種別」を「カメラ未登録」とし「設定」ボタンを押下してください。
- ③ ②で「カメラ未登録」としたカメラ番号を選択し「検索」を押下してください。「種別」欄に接続されている AXIS カメラが表示されます(XXXX-1 で表示されます)。
- ④ 該当項目の「種別」にて表示したい ViewMode を選択してください。
XXXX-1: Overview / XXXX-2: Panorama / XXXX-3: DoublePanorama / XXXX-4: Quad view
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後カメラ映像を確認してください(※3)

※3 手順②でカメラ設定を未登録とするため、分割画面設定から対象カメラが削除されます。
ViewMode 変更後、メイン(サブ)モニターの設定画面にて再設定して下さい。

(4)画角/フォーカスを調整する

カメラ設置時の映像角度やフォーカス調整は、M3007 シリーズ、M3027 シリーズの場合、カメラのレンズ部分を物理的に回転させて動かして調整可能です。

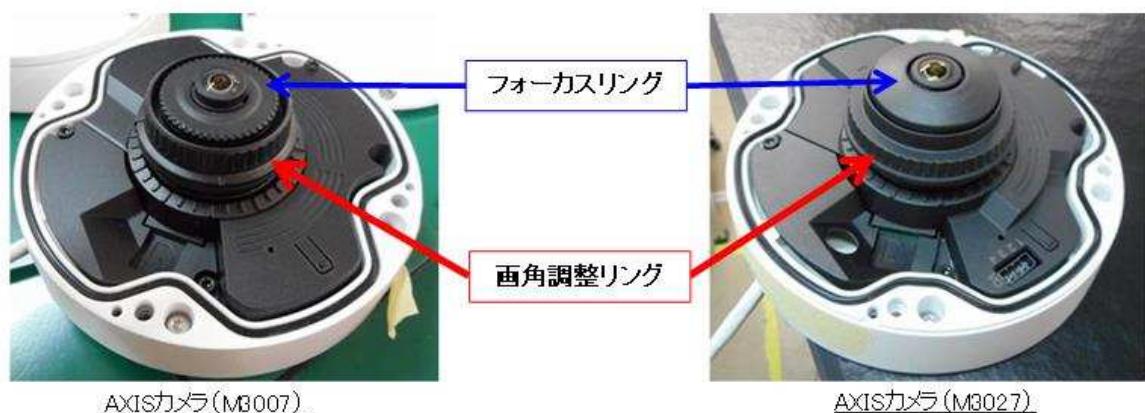
また、PTZ 機能を使うことで画角を調整することが可能ですが、レコーダーの S/W バージョンによって調整方法が異なりますので、レコーダーの S/W バージョンを確認して次に示す設定方法で調整を実施して下さい。

【カメラレンズ部の回転による画角/フォーカス調整方法】

- ①AXIS カメラの映像をレコーダーに表示させます。
- ②AXIS カメラのカバーを外します（AXIS カメラに付属の工具を使用して特殊ネジ 4 か所を緩める）。



- ③画角調整リングを回転させて画角を設定して下さい。
- ④フォーカスリングを回転させてフォーカスを調整して下さい。



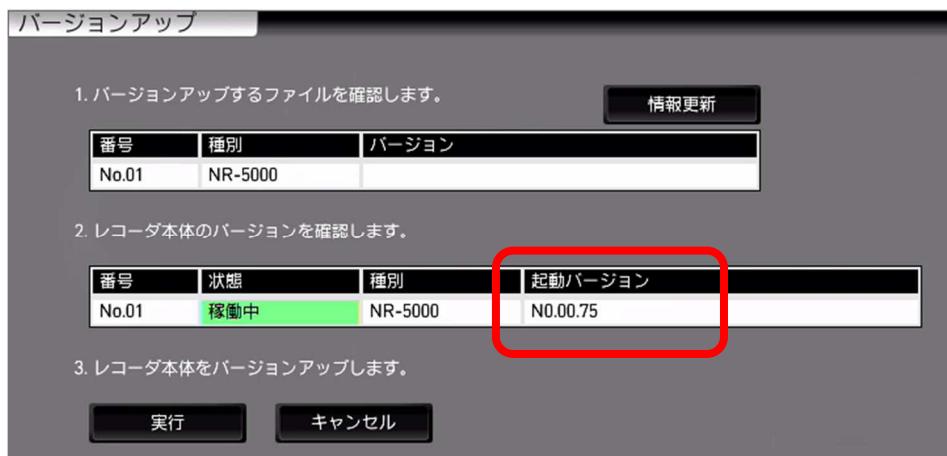
- ④画角設定後、AXIS カメラのカバーを取り付けて下さい。

【PTZ 機能での画角調整方法】



NR-5000/5041/5080/5100/8200 では S/W バージョンにより、PTZ 機能での画角調整方法が異なります。S/W バージョンを確認し(※1)設定変更してください。
NR-5200/5280/5000C/5512 では S/W バージョンによらず(1)を参照してください。

※1 レコーダーバージョンは、レベル3ユーザでレコーダー設定メニューの「管理設定」⇒「レコーダー本体をバージョンアップする」を選択→「バージョンアップ」ボタン押下すると以下の画面が表示されます。
枠内の表示が稼働中のレコーダーS/W バージョンです。



(1)【NR-5000/5041/5080/5100/8200 の S/W バージョンが SN1.02.28 以降(※2)の場合】

【NR-5200/5280/5000C/5512 の場合】

※2 レコーダーの S/W バージョン SN1.02.28 は、2016 年 3 月 28 日以降の出荷適用バージョンです。
SN1.02.28 以降のバージョンは本項目を実施してください。

- ①レコーダーのカメラ一覧パネルで AXIS カメラを選択してください。映像表示パネルに AXIS カメラの映像が表示されます。
- ②レコーダーのカメラ制御基本パネルのカメラ制御基本タブを選択してください。
- ③「旋回」ボタンを押下し画角を調整してください。

【補足】

カメラ制御基本タブ画面の「旋回」ボタンにて画角調整した場合、カメラへの給電が OFF(レコーダー電源 OFF)すると、再起動後の画角が調整前の初期画面に戻ります。画角調整でホームポジションが決まった後に カメラ制御基本パネルのカメラ制御登録タブでプリセット1へ登録して下さい。カメラ給電 OFF による再起動後でもホームポジション(プリセット1)の画角が表示されます。
カメラ制御基本パネル/カメラ制御基本タブ/カメラ制御登録タブについては、レコーダー取扱説明書を参照して下さい。

- ① NR-5200/5280 は対応のビューワ等で操作、確認してください。

(2)【NR-5000/5041/5080/5100/8200 の S/W バージョンが以下の場合】

NR-5000/5041/5080/5100/8200 の S/W バージョン

(2016 年 3 月 27 以前に工場出荷したレコーダーが対象です)

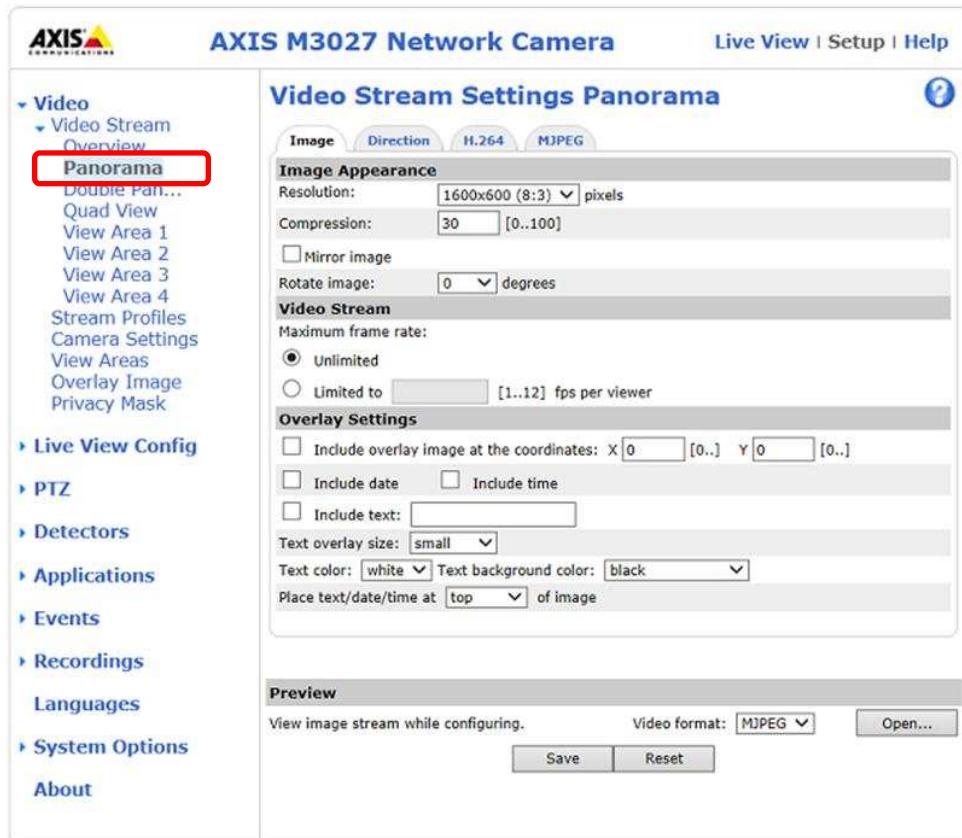
SN1.00.168、SN1.00.173、SN1.00.174、SN1.00.177、SN1.00.178、SN1.01.22、SN1.01.23

①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続 CH に合わせて IP アドレスを変更している場合は、設定した IP アドレスでアクセスしてください。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) を押下して設定画面を開く。

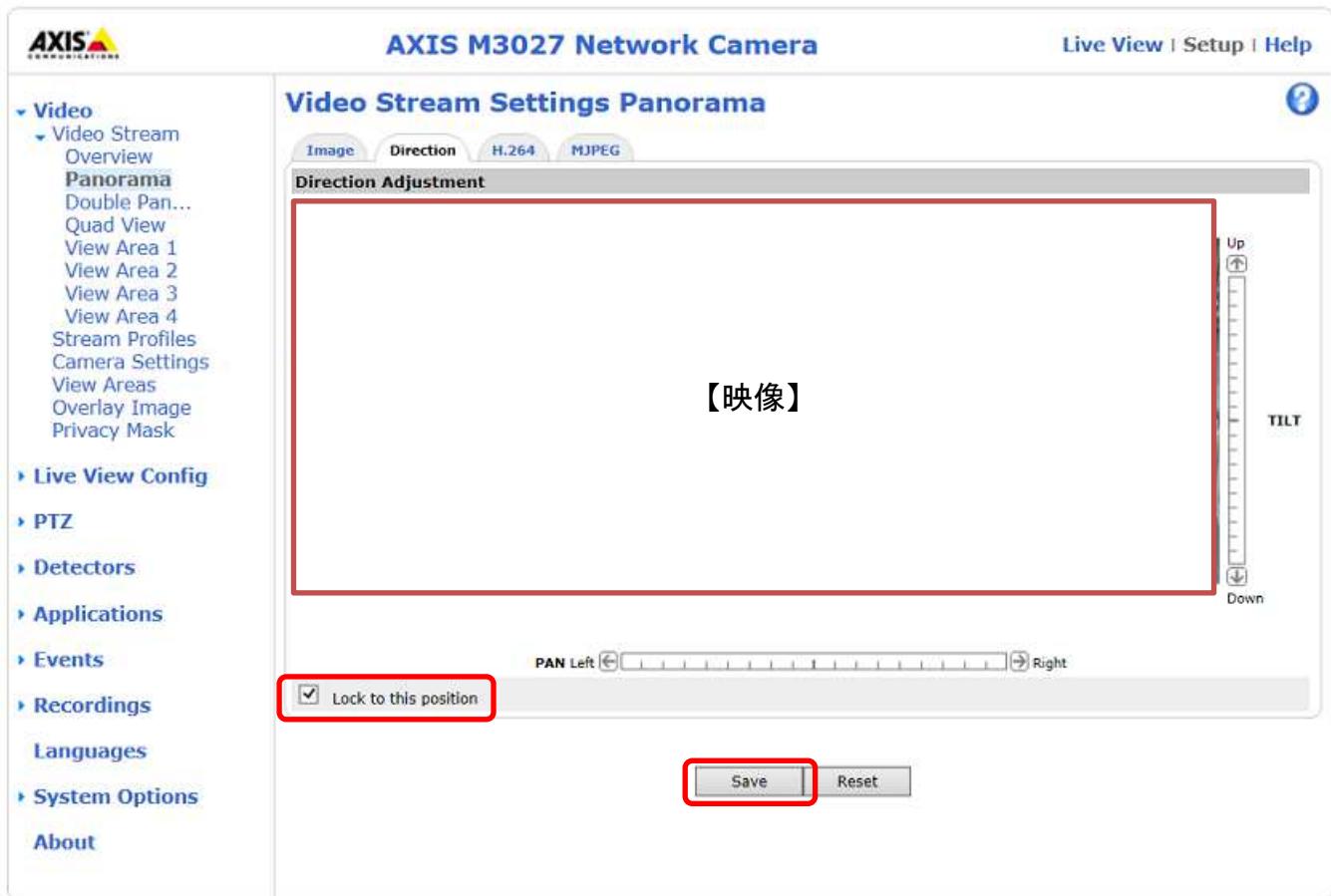
④[Video] → [Video Stream] → [Panorama](※)を選択し[Video Stream Settings Panorama]画面を開く(※ Double Panorama/Quad View を設定する場合は、それぞれの設定画面を開く)



- ⑤[Direction]のタブを選択する。
⑥PAN /TILT を操作して画角を設定する。

The screenshot shows the configuration interface for an AXIS M3027 Network Camera. The left sidebar contains a navigation menu with options like Video, Live View Config, PTZ, Detectors, Applications, Events, Recordings, Languages, System Options, and About. The main content area is titled "Video Stream Settings Panorama". The "Direction" tab is currently selected, indicated by a red box. Below the tabs, there's a "Direction Adjustment" section with a preview window labeled "【映像】". To the right of the preview is a vertical control bar with "Up" and "Down" buttons, labeled "TILT". At the bottom of the "Direction Adjustment" section is a horizontal slider labeled "PAN Left" and "Right", also highlighted with a red box. There are "Save" and "Reset" buttons at the bottom right of this section. The top right of the interface has links for "Live View", "Setup", and "Help".

- ⑦画角を決定したら [□Lock to this position]にチェックマークを入れる(□部をクリックする)。
⑧[Save]ボタンを押下する。



注意

【□Lock to this position】にチェックマーク(レ)を残した状態では、
レコーダーでのカメラ設定に失敗するため、必ず次項の手順⑩、⑪を実施願います

⑨ [□Lock to this position]にチェックマークを外す(□部をクリックする)。

⑩ [Save]ボタンを押下する。

AXIS M3027 Network Camera

Live View | Setup | Help

Video Stream Settings Panorama

Image Direction H.264 MJPEG

Direction Adjustment

【映像】

PAN Left Right

Lock to this position

Save Reset

Up TILT Down

The screenshot shows the 'Video Stream Settings Panorama' configuration page for an Axis M3027 camera. The left sidebar contains a tree view of settings: Video (selected), Video Stream, Overview, Panorama, Double Pan..., Quad View, View Area 1, View Area 2, View Area 3, View Area 4, Stream Profiles, Camera Settings, View Areas, Overlay Image, Privacy Mask, Live View Config, PTZ, Detectors, Applications, Events, Recordings, Languages, System Options, and About. The main content area has tabs for Image, Direction (selected), H.264, and MJPEG. A large video preview window is labeled 'Direction Adjustment' and contains a red box around its perimeter. To the right of the preview is a vertical control bar with 'Up' at the top and 'Down' at the bottom, labeled 'TILT'. Below the preview are horizontal sliders for 'PAN Left' and 'Right'. At the bottom of the main area is a row of buttons: a checkbox labeled 'Lock to this position' (which is checked and highlighted with a red box), 'Save' (which is also highlighted with a red box), and 'Reset'. The 'Save' button is the primary focus of the red highlighting.

⑪Double Panorama/Quad View を使用する場合は、⑤でそれぞれの設定画面を開いて⑥～⑪まで手順を実施する(使用する画面の設定のみで運用可能です)。

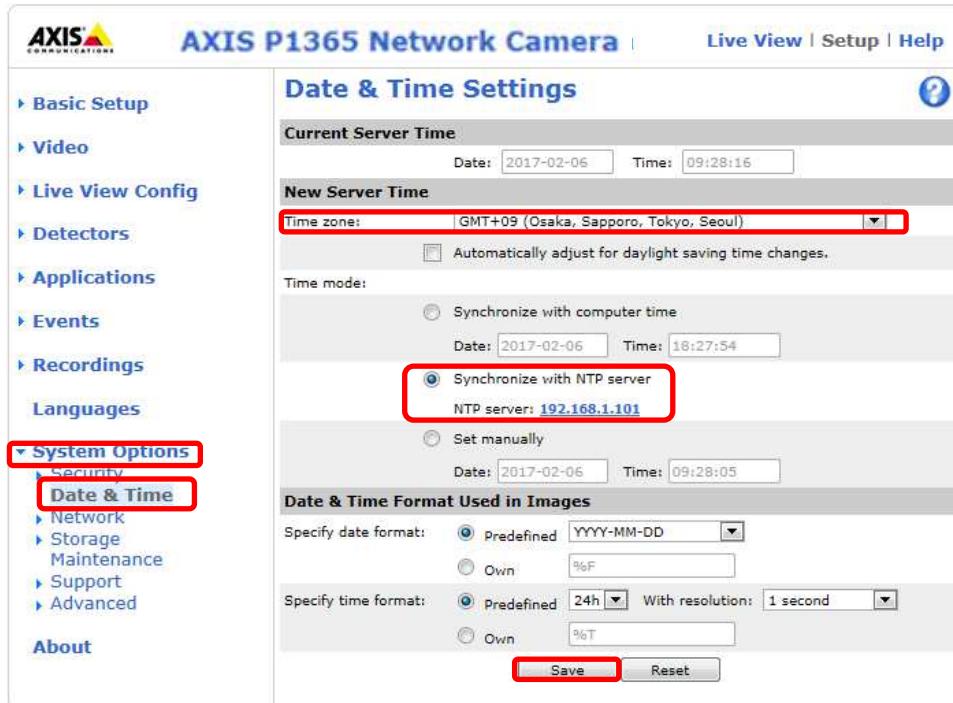
The screenshot shows the configuration interface for an AXIS M3027 Network Camera. The left sidebar has a tree view with sections like Video, Live View Config, PTZ, Detectors, Applications, Events, Recordings, Languages, System Options, and About. Under the Video section, 'Double Pan' and 'Quad View' are highlighted with red boxes. The main content area is titled 'Video Stream Settings Panorama'. It has tabs for Image, Direction, H.264, and MJPEG. The 'Image' tab is selected. Under 'Image Appearance', the resolution is set to 1600x600 (8:3) pixels and compression to 30 [0..100]. There are checkboxes for 'Mirror image' and 'Rotate image' (set to 0 degrees). Under 'Video Stream', the maximum frame rate is set to 'Unlimited'. Under 'Overlay Settings', there are options to include overlay images, date, time, and text. Text overlay size is set to 'small', color to 'white', and background color to 'black'. The text placement is set to 'top' of the image. A 'Preview' section at the bottom shows a preview window and buttons for 'Save', 'Reset', 'Video format' (set to 'MJPEG'), and 'Open...'. The top right of the interface has links for 'Live View', 'Setup', and 'Help'.

⑫MELOOK3 レコーダーに接続する。

(6) カメラ映像に日時時刻を表示する

レコーダーと時刻同期を取り、カメラ映像に現在時刻を表示することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Date & Time] を選択します。
- ④「Time zone:」のプルダウンで、「GMT+09(Osaka,Sapporo,Tokyo,Seoul)」を選択します。
- ⑤「Time mode:」が、「Synchronize with NTP server」が選択されていることを確認します。
- ⑥設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑦[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] を選択します。
 ⑧「NTP configuration」が、「Use the following NTP server address」を選択します。
 ⑨「Network address:」の欄に接続する MELOOK3 レコーダーの IP を入力選択します。
 ⑩設定反映のため、「Save」を押します。

AXIS P1365 Network Camera

Advanced TCP/IP Settings

DNS Configuration

Obtain DNS server address via DHCP

Use the following DNS server address:

Domain name:

Primary DNS server:

Secondary DNS server:

NTP Configuration

Obtain NTP server address via DHCP

Use the following NTP server address:

Network address: (host name or IP address)

Host Name Configuration

Use the host name:

Enable dynamic DNS updates (Axisproduct.example.com)

TTL:

Link-Local IPv4 Address

Auto-Configure Link-Local Address

HTTP

HTTP port:

HTTPS

HTTPS port:

NAT traversal (port mapping) for IPv4

NAT traversal is disabled.

Use manually selected NAT routers: (LAN IP address)

Alternative HTTP port:

* If set to blank or 0, a port number will be set automatically upon enable.

FTP

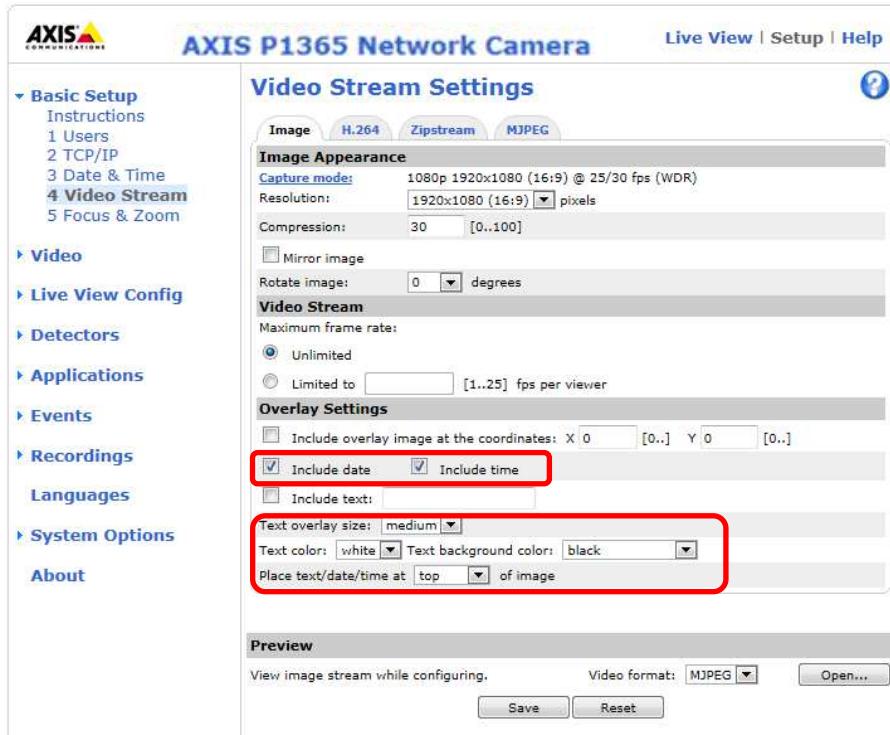
Enable FTP server

RTSP

Enable RTSP server

RTSP port:

- ⑪[Setup](画面右上) → [Basic Setup] → [Video Stream] を選択します。
- ⑫「Overlay Setting」の「Include date」と「Include time」をチェックします。
- ※表示時刻の文字サイズを変更したい場合は、「Text overlay size:」を変更してください。(初期値「medium」)
- 表示時刻の文字色を変更したい場合は、「Text color:」を変更してください。(初期値「white」)
- 表示時刻の背景色を変更したい場合は、「Text background color」を変更してください。(初期値「black」)
- 時刻の表示位置を変更したい場合は、「Place text/date/time at」を変更してください。(初期値「top」)
- ⑬設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑭設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
- ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

1.3.1.7.3.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。

② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。

③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。

④ 該当項目の「種別」にて表示したい ViewMode を選択してください。

XXXX-1:Overview / XXXX -2:Panorama / XXXX -3:DoublePanorama / XXXX -4:Quad view

⑤ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。

※カメラ F/WVer:5.55.1.2 の場合、ビットレートは 1.3.1.5.1.(6)で事前にパソコンのブラウザから設定した値を選択ください。

⑥ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。

② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。

③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。

④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

① カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。

1.3.1.8. PTZ 型カメラ(P5635-E Mk II)

PTZ ドームカメラ(P5635-E Mk II)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いたPTZ ドームカメラ(P5635-E Mk II)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能なように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.8.1.に示す初期設定が必要です(本カメラは PoE+対応 HUB や PoE+対応インジェクタ等での PoE+給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS 社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.8.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

NR-5000/5041/5080/5100/8200 は SYS.08.23 以降の S/W バージョンで接続可能です。

NR-5200/5280/5000C/5512 は初回リリース S/W バージョンより接続可能です。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.8.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(9)SPS/PPS 設定をする]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

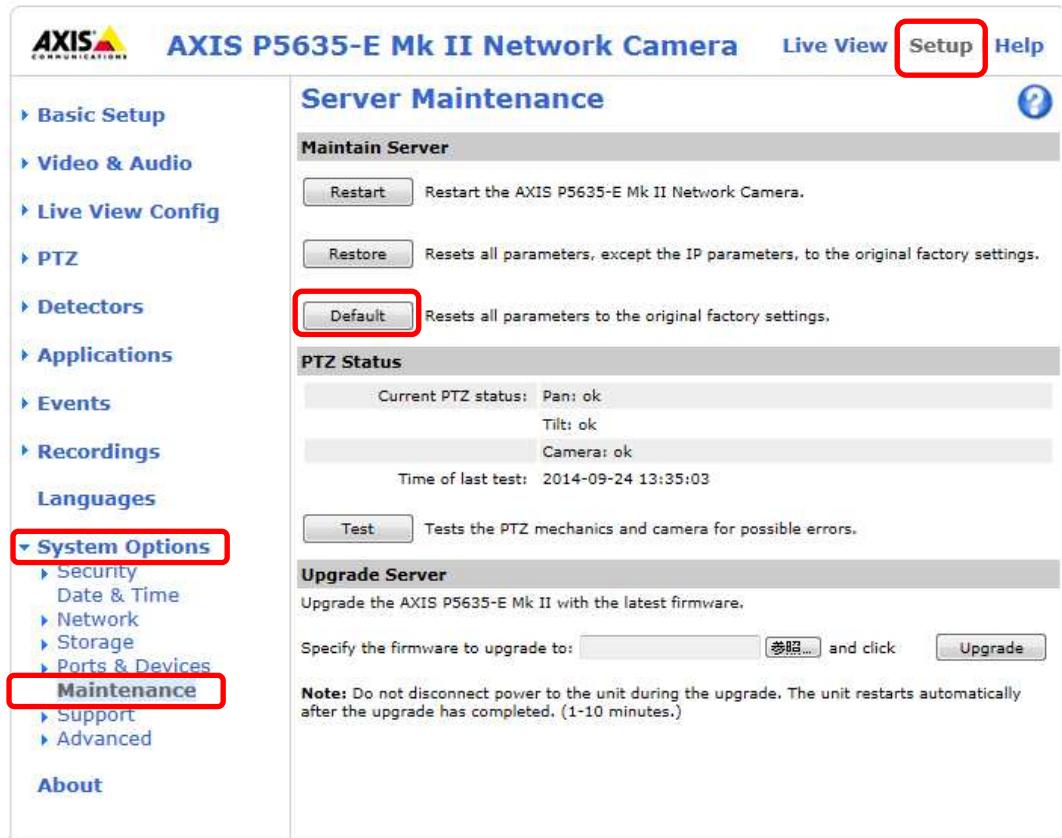
①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で「Default」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変ります)。

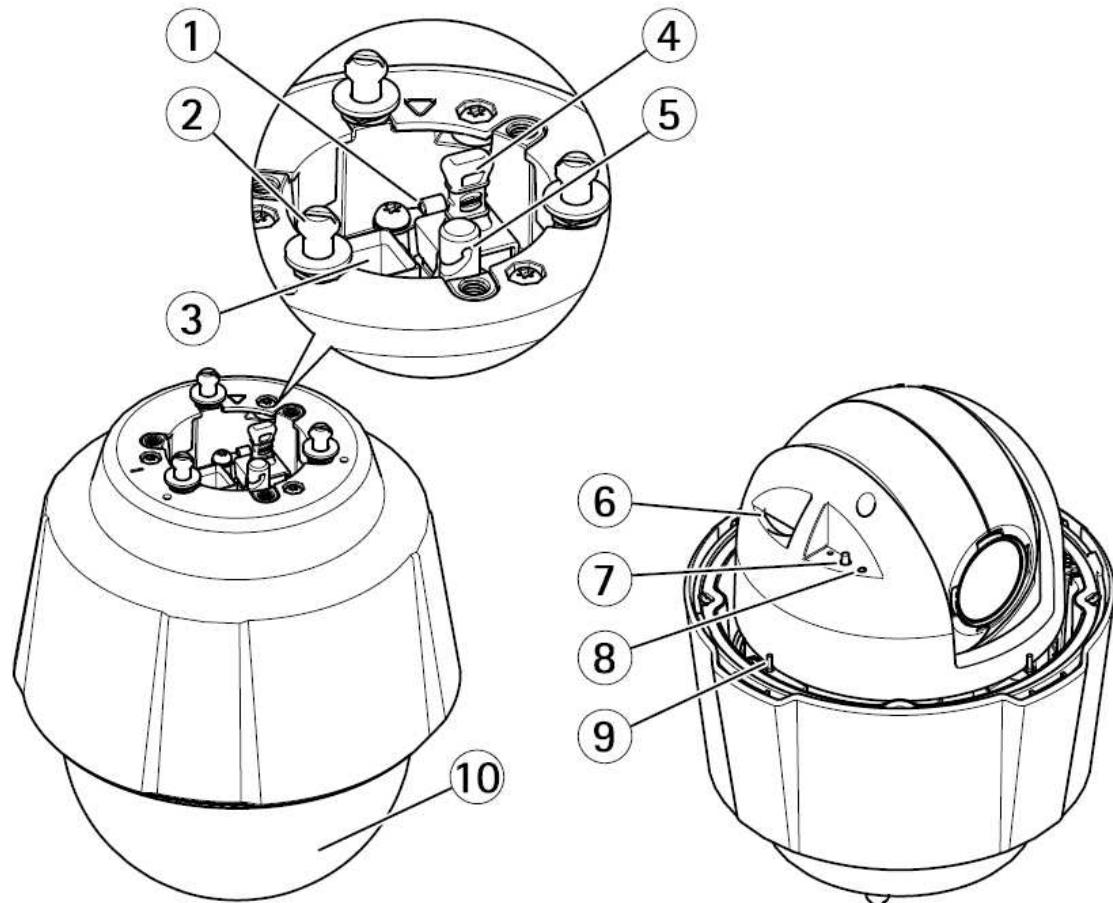
初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ドームを外した状態でネットワークケーブルを接続し、電源を ON にします。
- ②ステータス LED がオレンジ色に点滅するまで、コントロールボタンと電源ボタンを押し続けます(30 秒間)。
- ③コントロールボタンだけを離し、電源ボタンをステータス LED が緑色に変わるまで押し続けます。
- ④電源ボタンを離し、製品を組み立てます。

(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 アース端子ネジ
- 2 取り付けネジ($\times 3$)
- 3 ネットワークコネクタ(PoE)
- 4 カバー付きマルチコネクタ(I/Oケーブルを接続しない場合は、カバーを取り外さないでください)
- 5 安全ワイヤーフック
- 6 SDメモリーカードスロット
- 7 コントロールボタン
- 8 ステータスLEDインジケーター
- 9 電源ボタン
- 10 ドーム

(2)初回設定

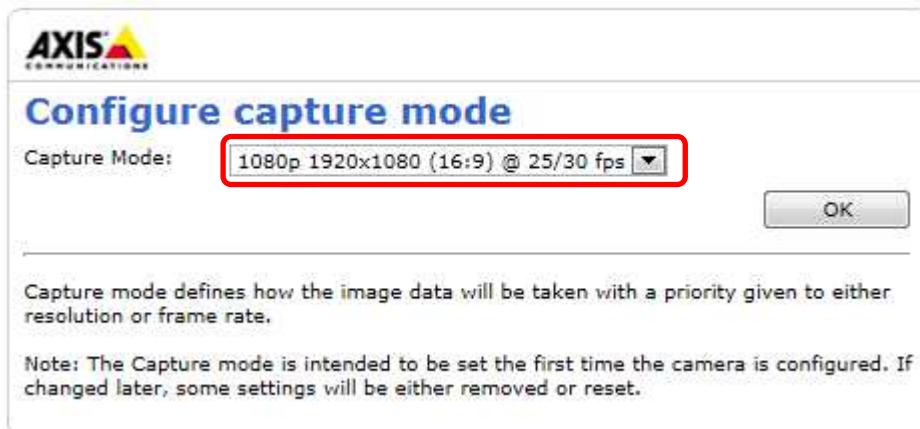
- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定します(2か所入力)。「OK」ボタンを押下します。



- ③「英語を使用します」を選択します。



- ④Capture Mode を「1080p 1920×1080 (16:9) @25/30 fps」に設定し、「OK」ボタンを押下します。



(3)セキュリティ設定1

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

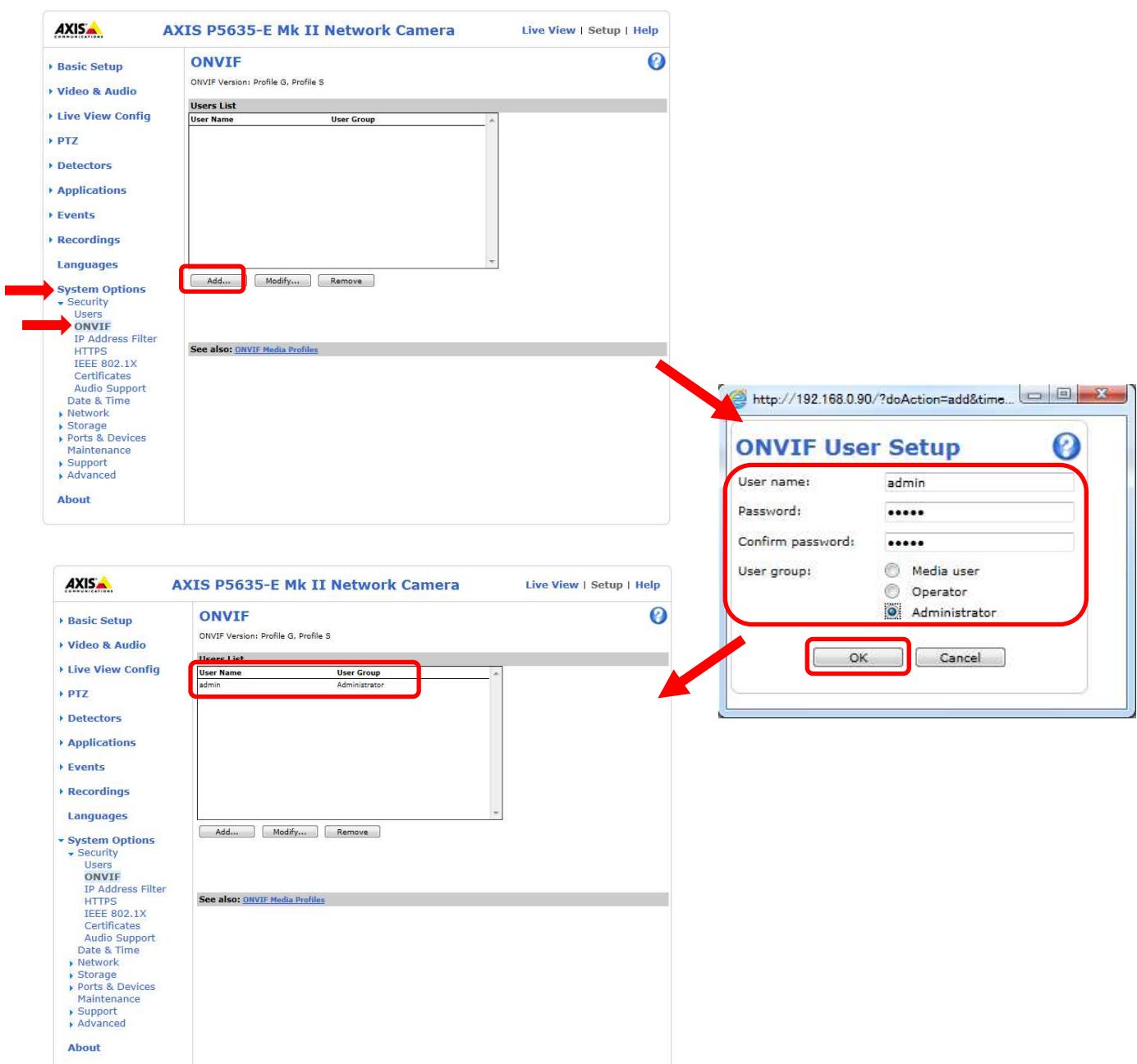
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [ONVIF] を選択します。「Add...」ボタンを押下します。

ONVIF User Setup 画面が表示されます。

- 「User name」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Confirm Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「User group」 ⇒ 「Administrator」を選択します。

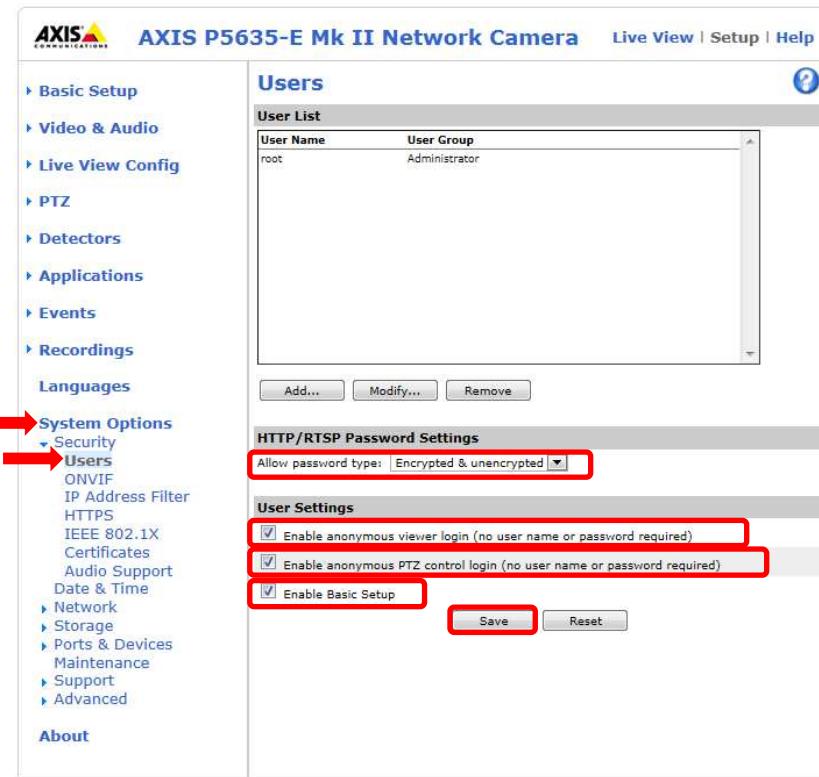
④「OK」ボタンを押下します。User Listに「admin」が追加されます。



(4)セキュリティ設定2

(セキュリティ設定1から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users] を選択します。
- ④「HTTP/RTSP Password Setting」にて、「Encrypted & Unencrypted」を選択します。
- ⑤「User Settings」にて、「Enable anonymous viewer login」、「Enable anonymous PTZ control login」、「Enable Basic Setup」をチェックします。
- ⑥「Save」を押下します。



- ⑦セキュリティ設定を行った後、「Save」を押すとユーザ名、パスワードの入力を求めるポップアップが表示される場合がありますので、ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。



(5)ネットワーク設定

(セキュリティ設定2から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Network] → 「Basic」を選択します。

④「IPaddress」を「192.168.1.(*)」にします。

(*)カメラを接続するレコーダーのCH番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512に接続するPoE給電スイッチングHUBの設定」に記載のIPアドレスを参照してください。

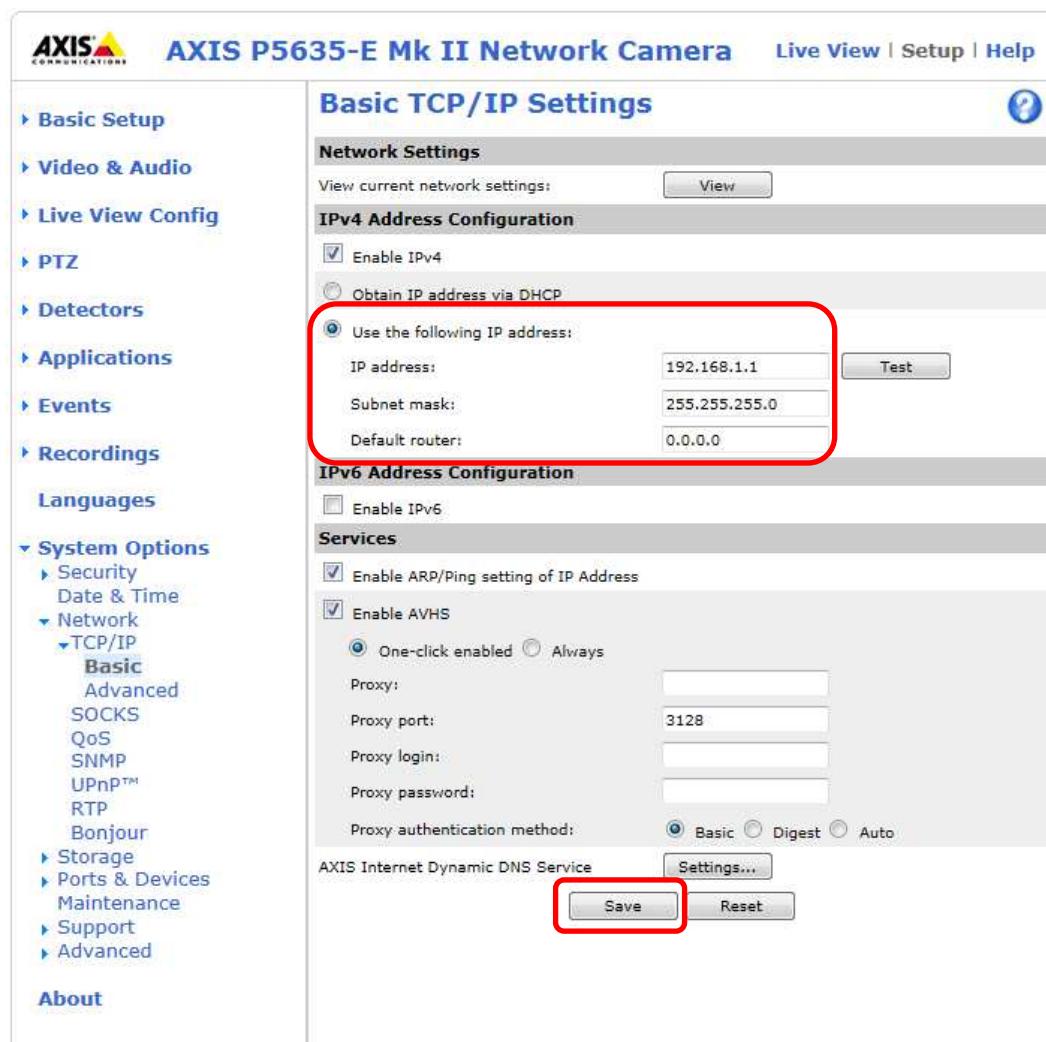
⑤「Subnet mask」を「255.255.255.0」にします。

⑥「Default router」を「0.0.0.0」にします(空欄は不可)。※購入時は空欄となっていますのでお気を付け下さい。

⑦「Save」を押下します。

SAVEボタン押下後、カメラからの確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下してください。

① NR-5200/5280に接続する際は、「IPaddress」「Subnet mask」「Default router」の値はネットワーク設計にあわせて設定して下さい。



(6) ビットレートを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ [Video & Audio] → [Video Stream] を選択し、[MJPEG] タブを選択します。

④ [Maximum frame size] で、「Limited to」を選択します。

⑤ 「Limited to」のテキストボックスに、「6」を入力します。

⑥ 「Save」を押下します。

The screenshot shows the configuration interface for an AXIS P5635-E Mk II Network Camera. The left sidebar contains a tree view of settings: Basic Setup, Video & Audio (selected and highlighted with a red arrow), Video Stream, Stream Profiles, ONVIF Media Profiles, Camera Settings, Overlay Image, Privacy Mask, Audio Settings, Audio Clips, Live View Config, PTZ, Detectors, Applications, Events, Recordings, Languages, System Options, and About.

The main content area is titled "Video Stream Settings". It features tabs for Image, Audio, H.264, Zipstream, and MJPEG (which is selected and highlighted with a red box). Below these tabs is a "Frame Size Control" section. It includes a radio button for "Default" and another for "Limited to", which is selected and highlighted with a red box. A text input field next to "Limited to" contains the value "6", also highlighted with a red box. The "Save" button at the bottom of the preview section is also highlighted with a red box.

(7) ビットレートコントロールを設定する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

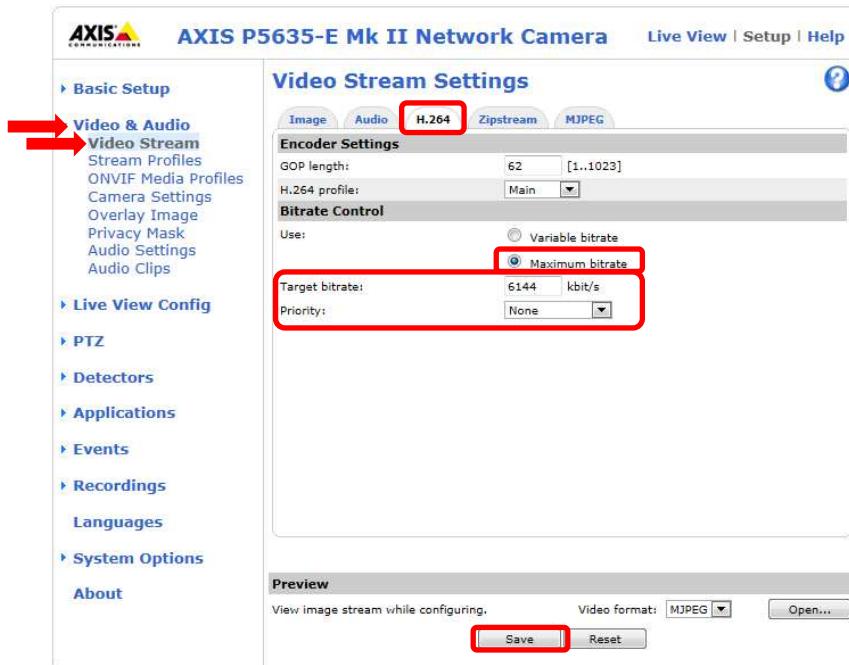
① ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③ [Video & Audio] → [Video Stream]を選択し、[H.264]タブを選択します。

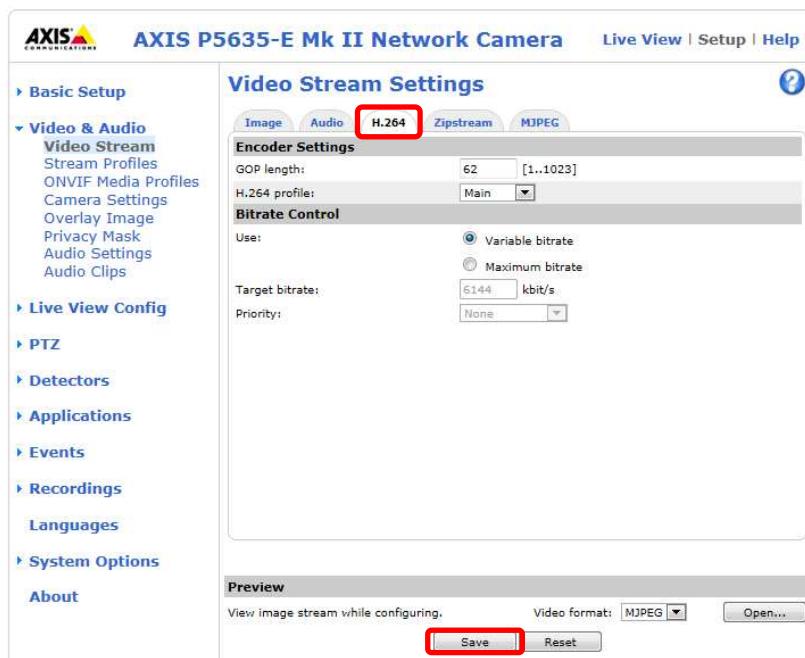
④ Bitrate ControlにてUse「Maximum bitrate」を選択します。

⑤ Target bitrate のテキストボックスに「6144」を入力して、Priorityが「None」に設定されているのを確認した上で、「Save」を押し、設定が保存されていることを確認します。



⑥ 設定が保存されていることが確認できたら、Use「Variable bitrate」を選択します。

再度「Save」を押し、設定が保存されていることを確認します。



(8)Zipstream 設定を変更する

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Video & Audio] → [Video Stream]を選択し、[Zipstream]タブを選択します。

④「H.264 bitrate reduction」にて、「Off」をチェックします。

⑤「Save」を押下します。

The screenshot shows the configuration interface for an AXIS P5635-E Mk II Network Camera. The left sidebar contains navigation links for Basic Setup, Video & Audio, Video Stream, Live View Config, PTZ, Detectors, Applications, Events, Recordings, Languages, System Options, and About. The main content area is titled 'Video Stream Settings'. At the top of this area are tabs for Image, Audio, H.264, Zipstream (which is highlighted with a red box), and MJPEG. Below these tabs is a section titled 'H.264 bitrate reduction' with five options: Off (selected, highlighted with a red box), Low, Medium, High, and Extreme. Each option has a brief description. Underneath this is an 'Advanced' section with three checkboxes: 'Dynamic GOP' (unchecked), 'Max dynamic GOP length' (set to 300, highlighted with a red box), and 'Dynamic FPS' (unchecked). At the bottom of the configuration area is a 'Preview' section with a preview window, a 'Video format' dropdown set to 'MJPEG' (highlighted with a red box), and 'Save' and 'Reset' buttons (both highlighted with red boxes).

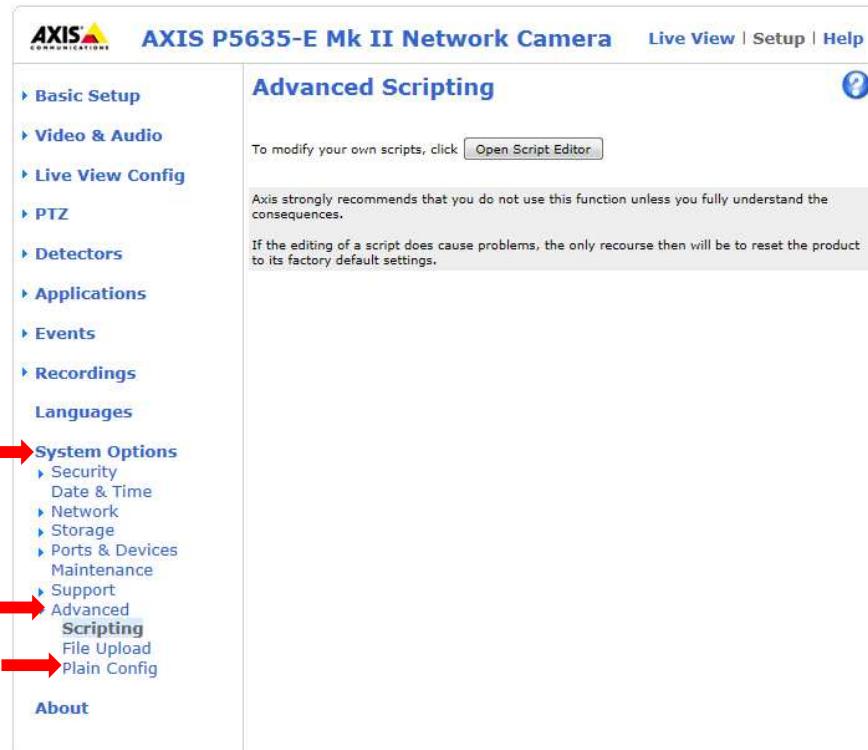
(9)SPS/PPS 設定をする

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

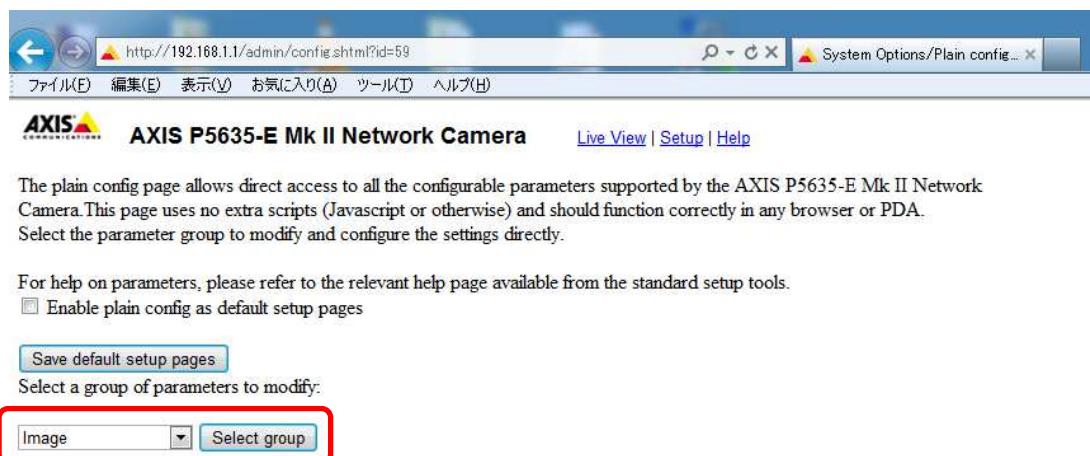
①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[System Options] → [Advanced]を選択し、[Plain Config]を押下します。



④プルダウンで「Image」を選択し、「Select group」を押下します。



⑤[Image IO MPEG H264]の、[PS enabled]にチェックを入れます。

※チェックあり：映像に SPS/PPS 含む、チェックなし：映像に SPS/PPS 含まない。

The screenshot shows the 'Image IO' configuration page. In the 'Image IO MPEG' section, the 'Profile' dropdown is set to 'Main' and the 'PS enabled' checkbox is checked (indicated by a red rectangle). Other settings include Complexity (50), Config header interval (1), I count (1), P count (61), User data enabled (unchecked), and User data interval (1).

⑥ページ下にある「Save」を押下する。

The screenshot shows the 'Image IO TriggerData' configuration page. Under the 'User triggers' section, there is a 'Save page changes' button, which is highlighted with a red rectangle.

1.3.1.8.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。カメラ LED が点灯／点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯／点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ① カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ① カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ① フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。
- ① 本カメラは PoE+給電が必要です。PoE+対応インジェクタ等で給電した上でご使用ください。

1.3.1.9. PTZ 型カメラ(M5525-E)

PTZ ドームカメラ(M5525-E)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いたPTZ ドームカメラ(M5525-E)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)の CH1 に接続可能なように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.8.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUB やインジェクタ等での PoE 給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS 社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.9.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.9.1.初期設定【カメラファームウェアバージョン；7.25.1】

初期化する場合は[(1)初期化]～[(6)プリセットポジション設定]を実施してください。接続CHを変更する場合は[(2)(3)]を参照し、設定を実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

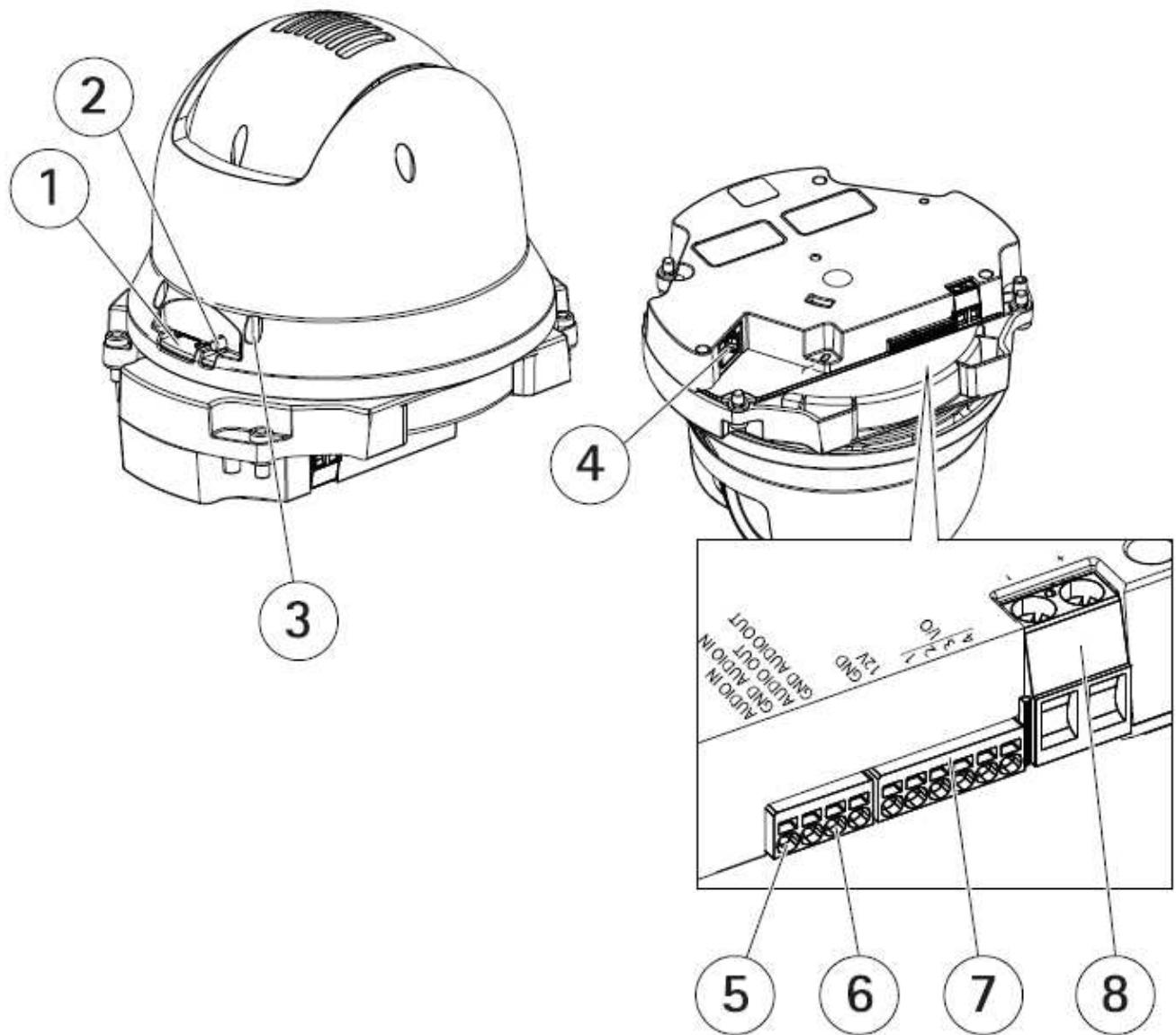
④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変ります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- | | |
|---|------------------------|
| 1 | SD card slot (microSD) |
| 2 | Control button |
| 3 | Status LED |
| 4 | RJ45 connector |
| 5 | Audio in |
| 6 | Audio out |
| 7 | I/O connector |
| 8 | Power connector |

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

| |
|--|
| <input type="text" value="root"/> |
| <input type="password" value="パスワード"/> |
| <input type="password" value="パスワードの再入力"/> |
| パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。 |
| 日本語 |
| ログインの作成 |

- ③IP アドレスを設定します。

[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、
 IP アドレス : 「192.168.1.1」
 サブネットマスク : 「255.255.255.0」
 デフォルトルーター: 「0.0.0.0」
 に設定します。

開始

IPv4

| | |
|-------------------------|---|
| 手動IP および 手動DNS | 日付と時刻 |
| IPアドレス 192.168.1.1 | サブネットマスク 255.255.255.0 |
| デフォルトルーター 0.0.0.0 | 自動 (DHCP) 手動 |
| ドメイン名 ドメイン名 | NTPサーバーに接続する GMT (ダブリン、リスボン、ロンドン、レイキャビク) |
| プライマリDNSサーバー 0.0.0.0 | タイムゾーン 夏/冬時間調整 |

次へ

!
 各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて
 変更してください。



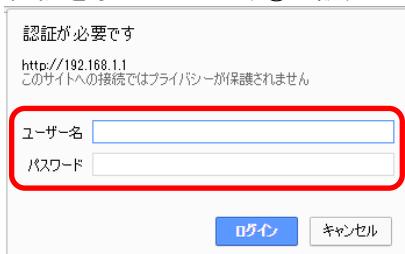
- ④日付と時刻(NTP サーバーとタイムゾーン)を設定します。
 [NTP サーバーに接続する]で「手動」を選択し、[NTP サーバー]に「192.168.2.100」を入力します。
 [タイムゾーン]は「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択します。



- ⑤各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合や、接続レコーダーの IP アドレスが変更になった場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら、②で設定したとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

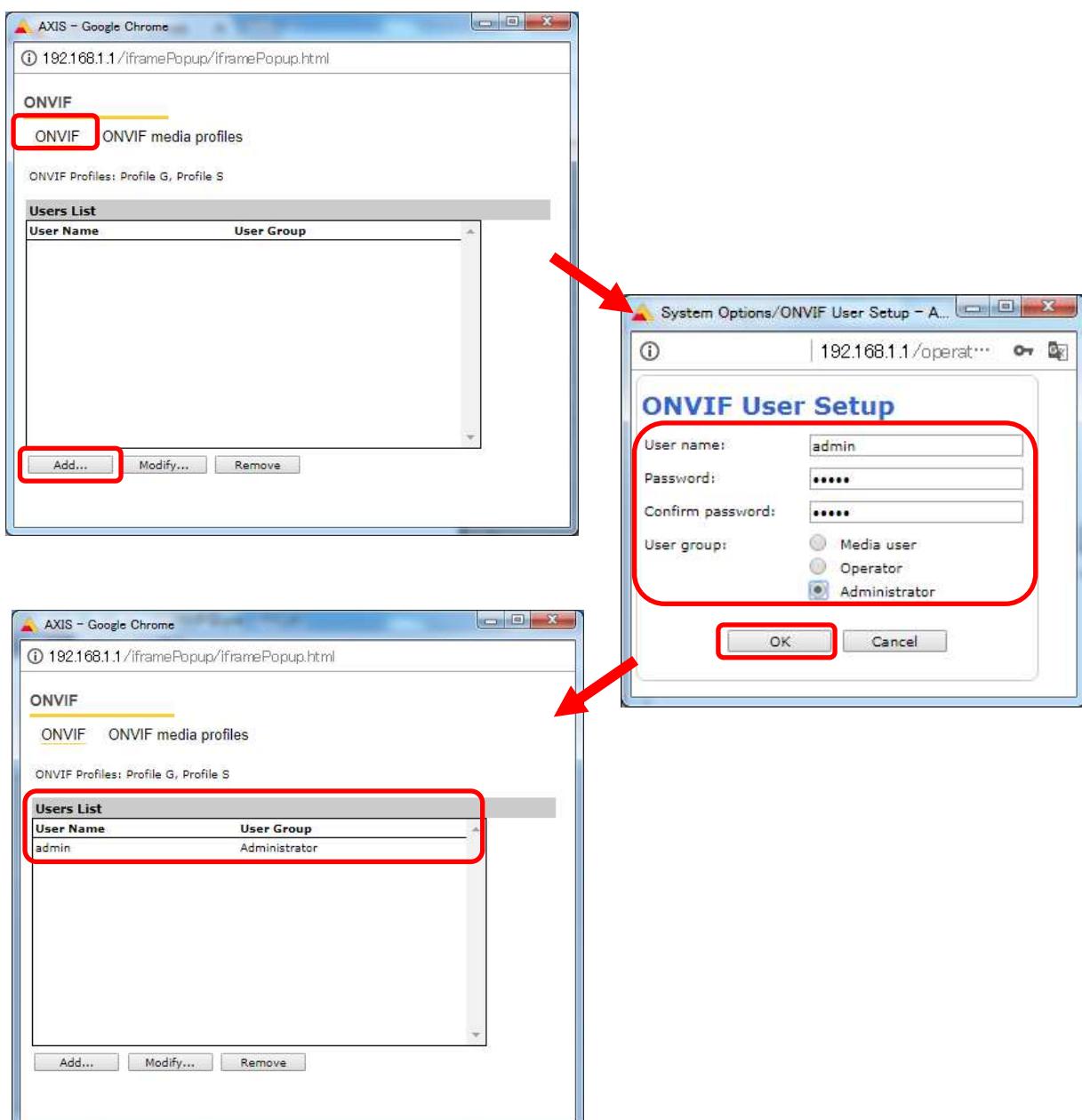
③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



④表示される[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF]を選択し、[Users List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

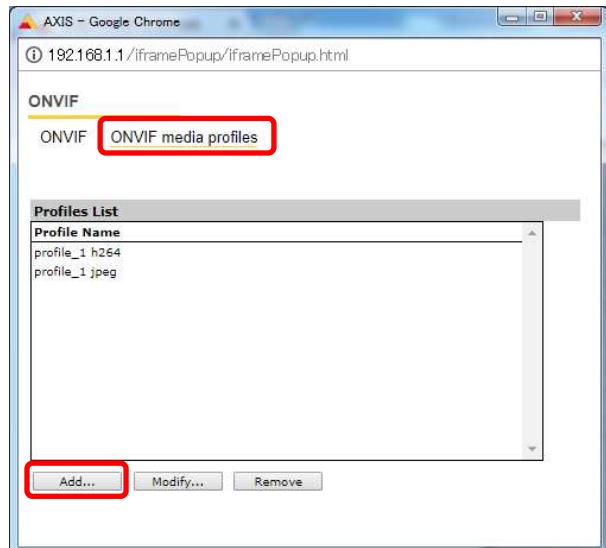
⑤[ONVIF User Setup]ブラウザにて、[User name:]に「admin」、[Password:]に「admin」を入力し、
[User group:]で「Administrator」を選択します。

⑥その後「OK」を押し、[Users List]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。



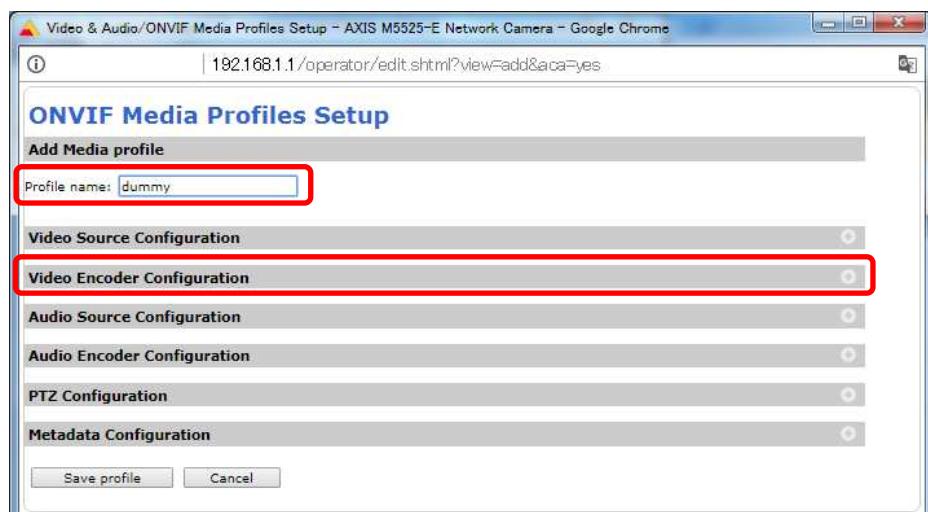
⑦ONVIF media profiles の設定をします。

[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF media profiles]を選択し、[Profile List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

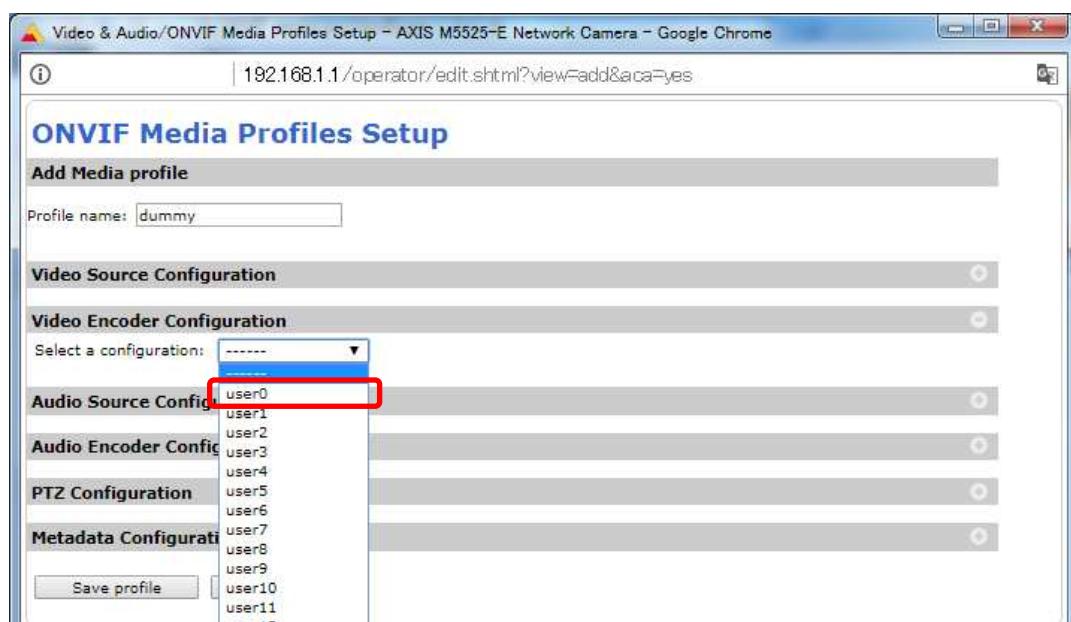


⑧[ONVIF Media Profiles Setup]ブラウザが表示されるので、[Profile name:]に「dummy」と入力します。

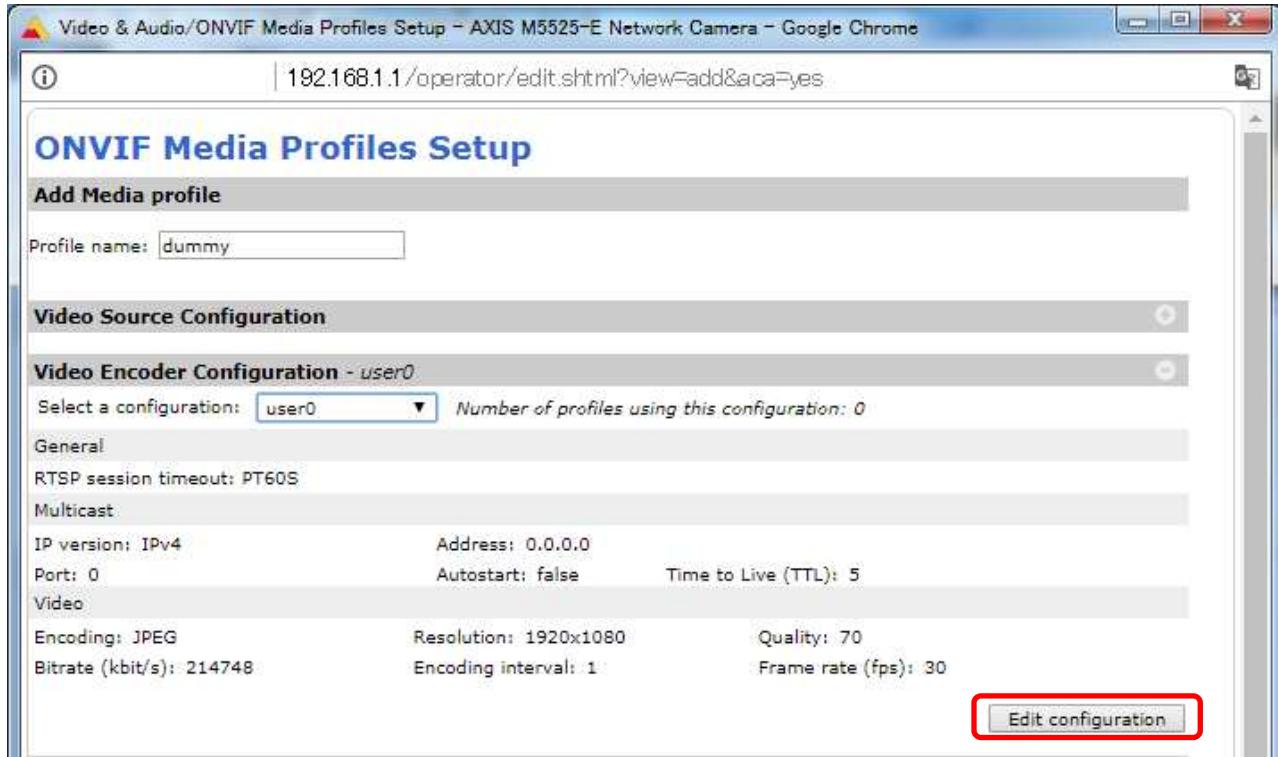
[Video Encoder Configuration]の右側にある「+」を押下します。



⑨プルダウンで「user0」を選択します。



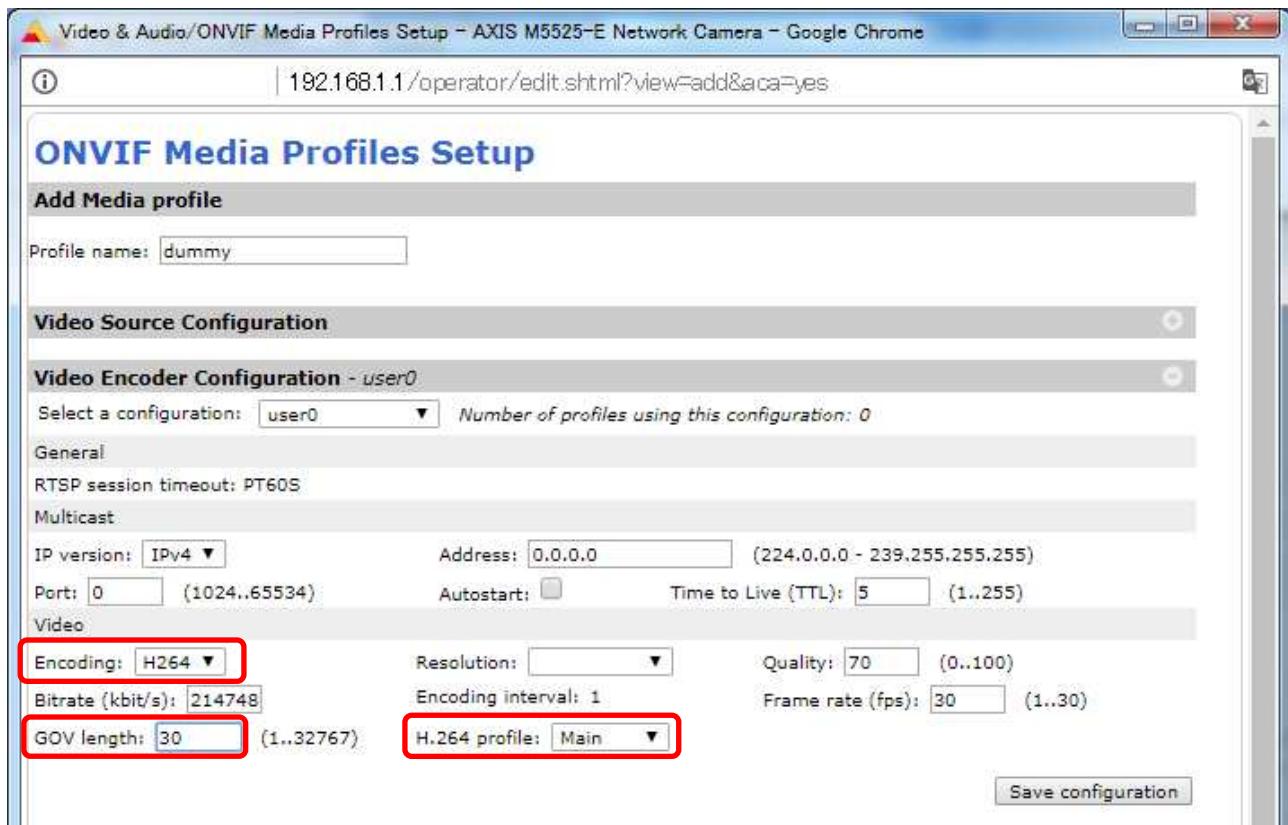
⑩[Video Encoder Configuration]で[user0]の詳細が表示されるので、「Edit configuration」を押下します。



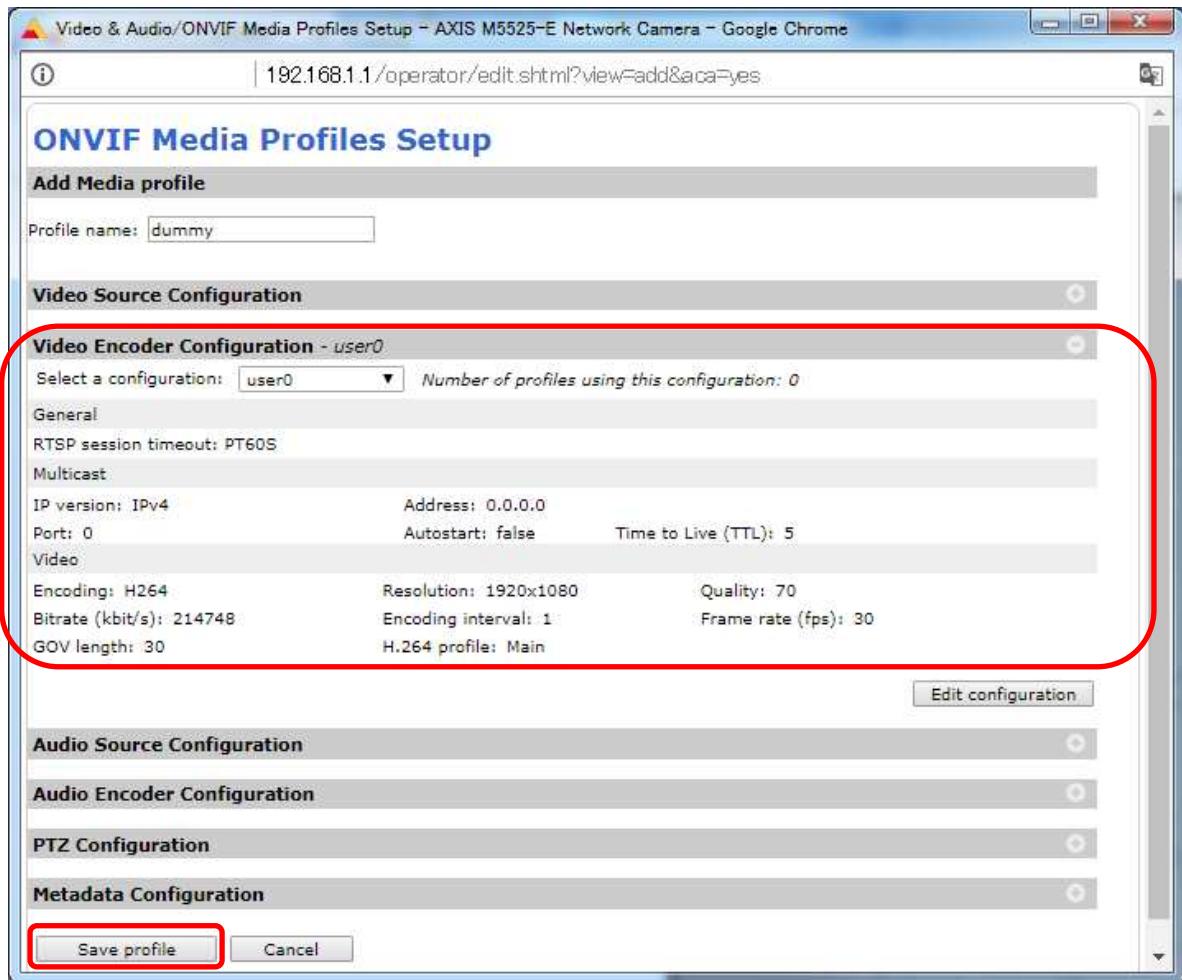
⑪[Video]で、

[Encoding:]は「H.264」を、[H.264 profile:]は「Main」を選択します。

[GOV length:]には「30」を入力し、最後に「Save configuration」を押下します。



⑫変更が反映されていることを確認し、「Save profile」を押下します。



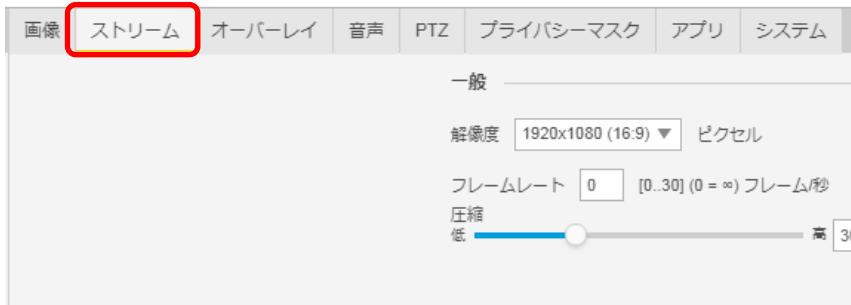
(4)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

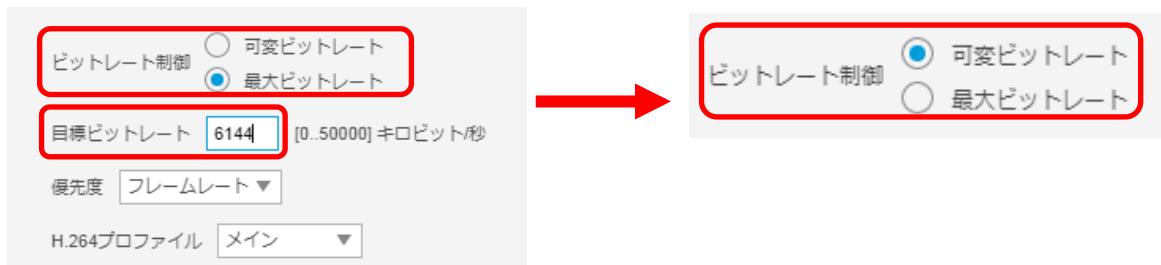
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択します。



④[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。

その後、[ビットレート制御]で「可変ビットレート」を選択します。



⑤[Zipstream]で「オフ」を選択します。



(5)プレイン設定

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④[Select a group of parameters to modify.]で「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

A screenshot of the 'Plain config page' for the AXIS M5525-E Network Camera. The URL in the address bar is 192.168.1.1/admin/confightml?group=Image&aca=yes. The page title is 'AXIS M5525-E Network Camera'. The content area says: 'The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M5525-E Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.' It also says: 'Select the parameter group to modify and configure the settings directly.' Below this, it says: 'For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.' A section titled 'Select a group of parameters to modify:' contains a dropdown menu set to 'Image' and a 'Select group' button, both of which are highlighted with red boxes.

⑤[Image IO MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れます。

[Image IO SizeControl]の[Max frame size:]に「6」を入力し、「Save」を押下します。

A screenshot of the 'Image IO SizeControl' configuration page. It shows two sections: 'Image IO MPEG H264:' and 'Image IO SizeControl:'. In the 'Image IO MPEG H264:' section, the 'Profile:' dropdown is set to 'Main' and the 'PS enabled:' checkbox is checked, with the entire row highlighted with a red box. In the 'Image IO SizeControl:' section, the 'Max frame size:' input field is set to '6' and is also highlighted with a red box. Below this, there are 'user triggers:' and 'Save page changes:' buttons, with the 'Save' button highlighted with a red box.

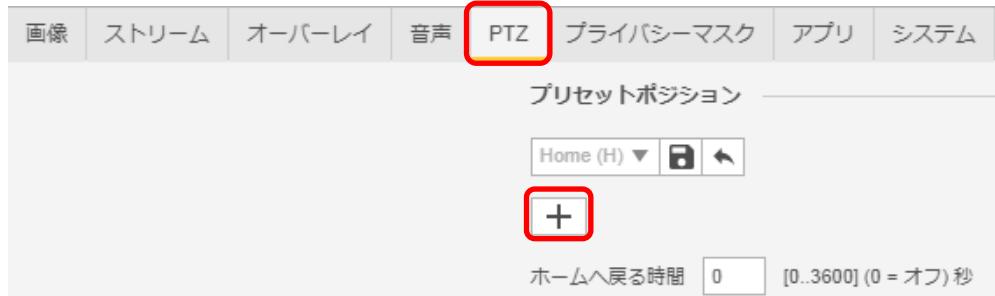
(6)プリセットポジション設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[PTZ]タブの[プリセットポジション]にある「+」を押下します。



④[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。

※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



⑤同様の手順で、「名前」に「3」～「11」を保存します。



⑥[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



1.3.1.9.2.初期設定【カメラファームウェアバージョン：8.20.1】

初期化する場合は[(1)初期化]～[(6)プリセットポジション設定]を実施してください。接続CHを変更する場合は[(2)(3)]を参照し、設定を実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変ります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



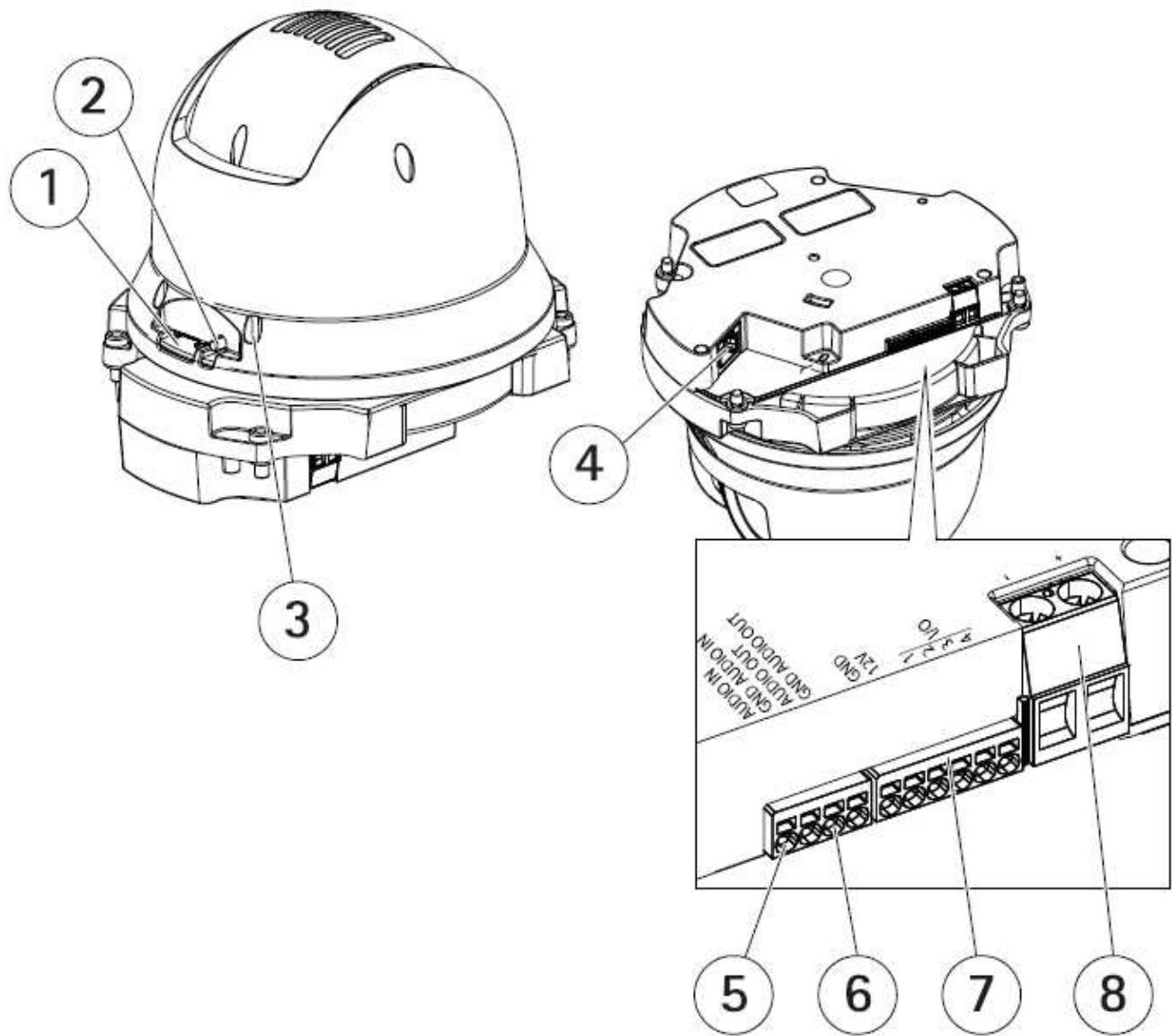
AXIS M5525-E PTZ Dome Network Camera

メンテナンス

A screenshot of the maintenance page. On the left, under the 'リセット' (Reset) section, there are two buttons: '安全な再起動の実行' (Execute safe reboot) and '再起動' (Reboot). Below it is another section with the text '工場出荷時の値にリストアするが、IP設定はそのままにする' (Restore to factory settings but keep IP settings) and a button 'リストア' (Restore). A red box highlights the 'リストア' button. To the right, under the 'ファームウェアのアップグレード' (Firmware upgrade) section, there are two steps: '1. ファームウェアを選択' (Select firmware) with a 'ファイルの選択' (File selection) button, and '2. ファームウェアをインストール' (Install firmware) with a 'アップグレード' (Upgrade) button. A red box highlights the 'アップグレード' button. Below these steps is a note: 'この作業はしばらくかかります。電源を切らないでください。アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。' (This operation may take some time. Do not turn off the power. The product will automatically restart after the upgrade is completed.). At the bottom, it shows the current firmware version: 'ファームウェアバージョン: 8.20.1' and 'シリアル番号: ACCC8E69043A'. A red box highlights this information. It also says 'こちらからファームウェアをダウンロードしてください' (Please download the firmware from here) and provides a link: 'www.axis.com/support/firmware'.

【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- | | |
|---|------------------------|
| 1 | SD card slot (microSD) |
| 2 | Control button |
| 3 | Status LED |
| 4 | RJ45 connector |
| 5 | Audio in |
| 6 | Audio out |
| 7 | I/O connector |
| 8 | Power connector |

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

root

パスワード
パスワードの再入力

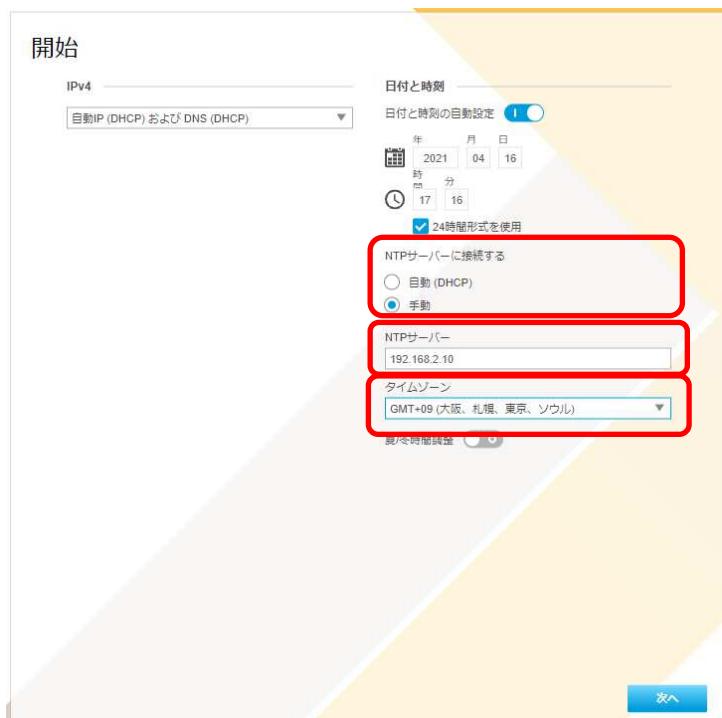
パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

日本語

ログインの作成



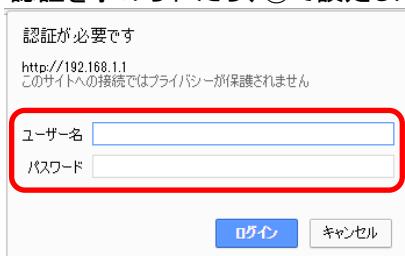
③日付と時刻(NTP サーバーとタイムゾーン)を設定します。
 [NTP サーバーに接続する]で「手動」を選択し、[NTP サーバー]に「192.168.2.100」を入力します。
 [タイムゾーン]は「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択します。



(!)各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合や、接続レコーダーの IP アドレスが変更になった場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら、②で設定したとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



④IP アドレスを設定します。

基本表示画面右下の「△設定」でメニューを出し、[システム]タブ → [TCP/IP]アイコン を押す。



[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」 ※接続したい CH の IP アドレスを設定します。

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」

A screenshot of the TCP/IP settings dialog box. The left panel is titled 'TCP/IP' and has a yellow bar above it. It contains sections for 'IPv4' and 'IPv6'. The 'IPv4' section is active and shows the following fields:

- Method: 手動IP および 手動DNS (selected, highlighted with a red box)
- IPアドレス: 192.168.1.1 (highlighted with a red box)
- サブネットマスク: 255.255.255.0 (highlighted with a red box)
- デフォルトルーター: 0.0.0.0 (highlighted with a red box)
- ドメイン名: (empty)
- プライマリDNSサーバー: 0.0.0.0
- セカンダリDNSサーバー: 0.0.0.0

The right panel is titled 'IPv6' and shows the '自動割り当て (DHCP)' switch turned on. A blue '保存' (Save) button is at the bottom.

に設定し、保存を押す。

※自動で画面更新されない場合は、カメラを再起動し、アドレス欄に上記で設定した IP アドレスを入力して再度アクセスして下さい。

(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



④表示される[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF]を選択し、[Users List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

⑤[ONVIF User Setup]ブラウザにて、[User name:]に「admin」、[Password:]に「admin」を入力し、
[User group:]で「Administrator」を選択します。

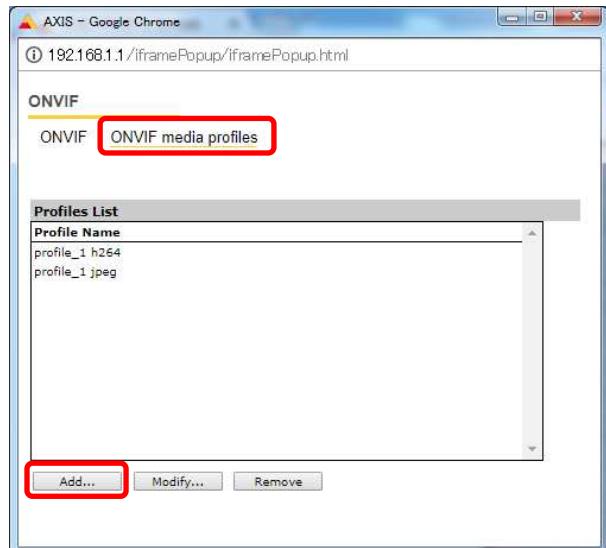
⑥その後「OK」を押し、[Users List]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

The figure consists of three screenshots illustrating the user account creation process:

- Screenshot 1:** A screenshot of the ONVIF configuration interface. The "ONVIF" tab is selected. In the "Users List" section, there is a "User Name" column and a "User Group" column. At the bottom, there are three buttons: "Add...", "Modify...", and "Remove". The "Add..." button is highlighted with a red box.
- Screenshot 2:** A screenshot of the "ONVIF User Setup" dialog box. It has four input fields: "User name:" (containing "admin"), "Password:" (containing "admin"), "Confirm password:" (containing "admin"), and "User group:". Under "User group:", there are three radio buttons: "Media user", "Operator", and "Administrator". The "Administrator" radio button is selected and highlighted with a red box. At the bottom right are "OK" and "Cancel" buttons, with "OK" highlighted with a red box.
- Screenshot 3:** A screenshot of the ONVIF configuration interface again, showing the "Users List" table. The "User Name" column now includes "admin", and the "User Group" column shows "Administrator" next to it. The entire "User Name" column is highlighted with a red box.

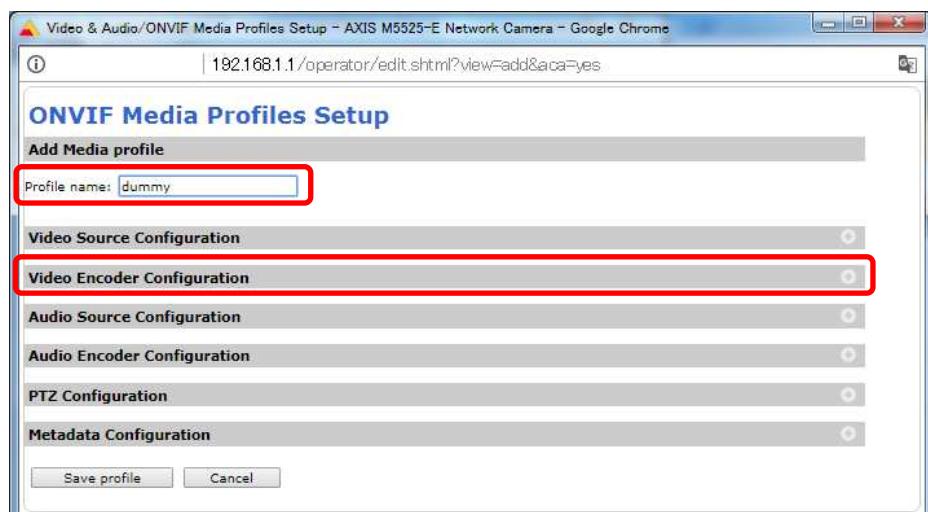
⑦ONVIF media profiles の設定をします。

[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF media profiles]を選択し、[Profile List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

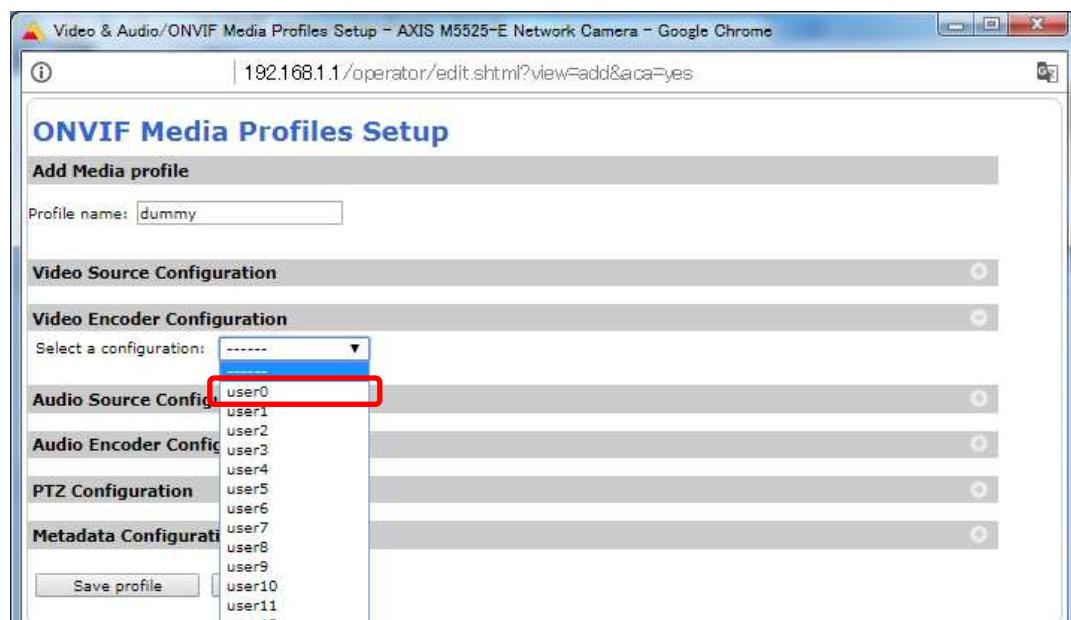


⑧[ONVIF Media Profiles Setup]ブラウザが表示されるので、[Profile name:]に「dummy」と入力します。

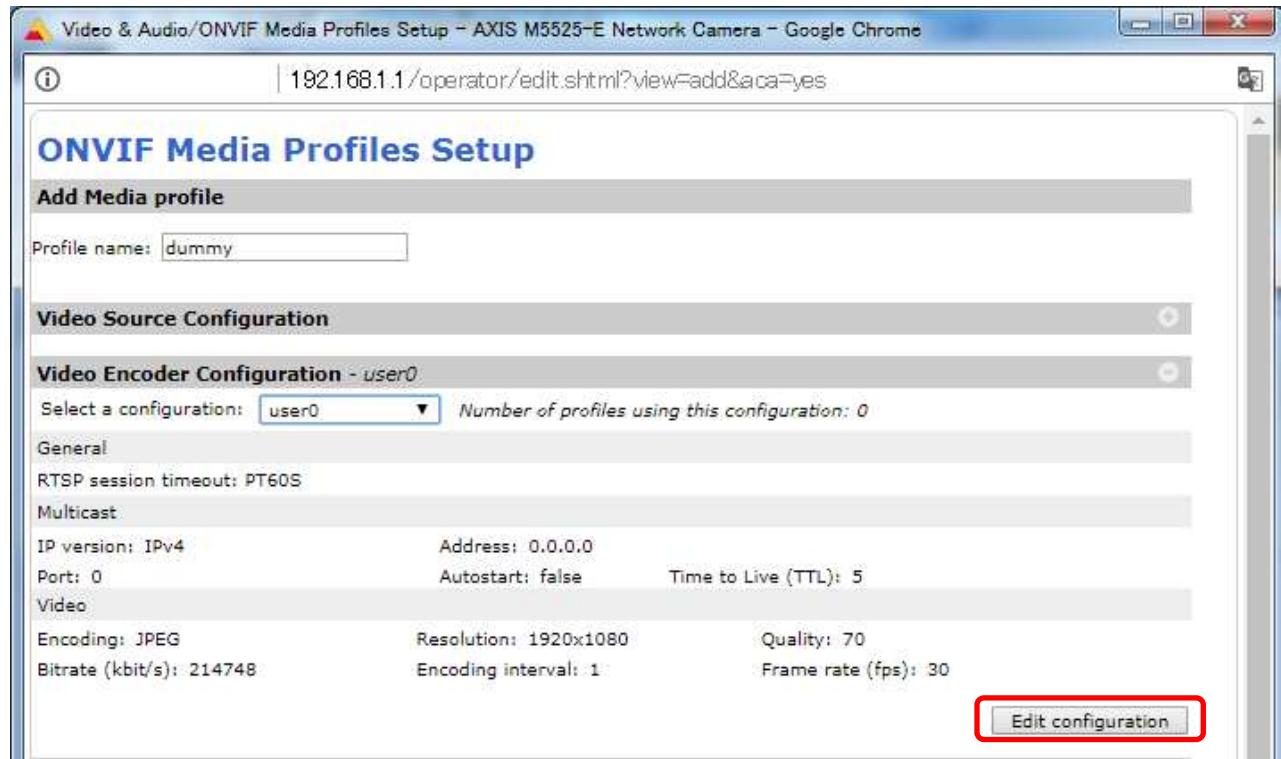
[Video Encoder Configuration]の右側にある「+」を押下します。



⑨プルダウンで「user0」を選択します。



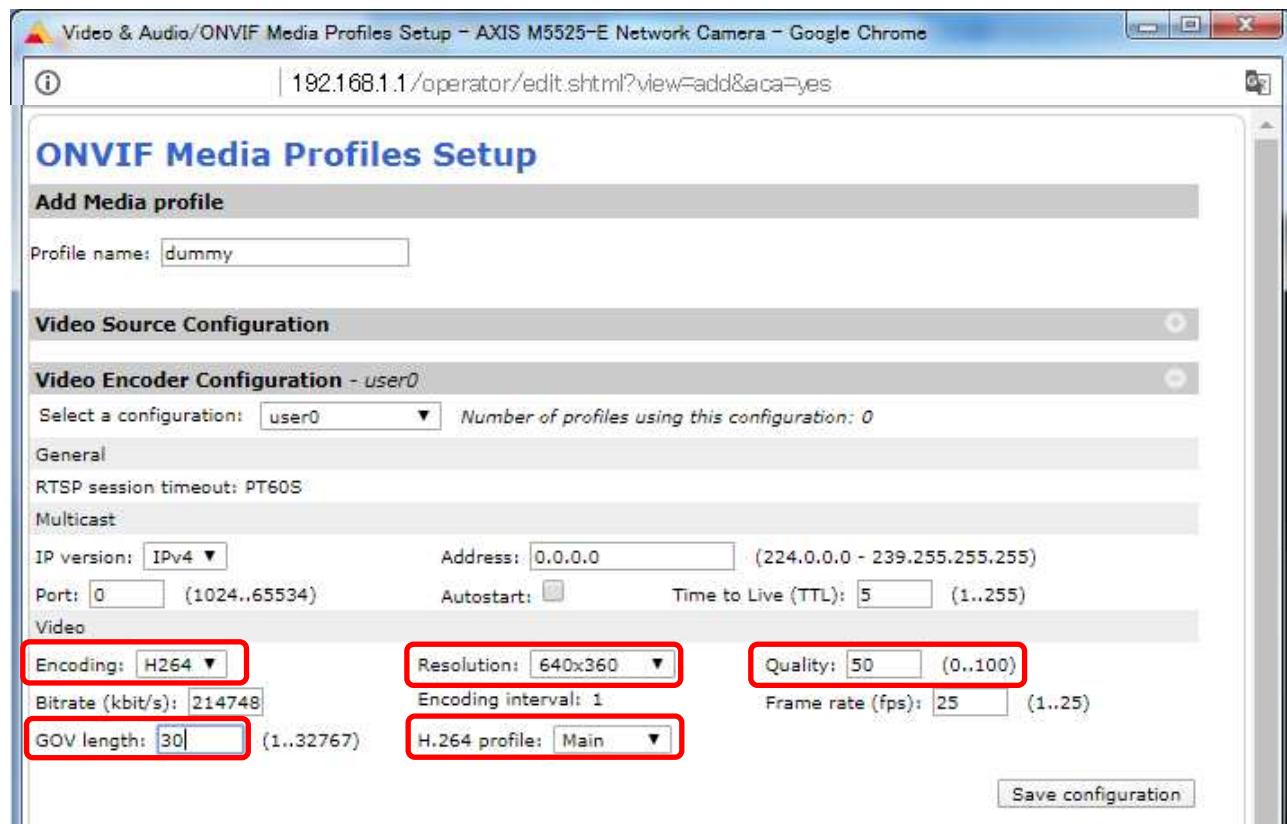
⑩[Video Encoder Configuration]で[user0]の詳細が表示されるので、「Edit configuration」を押下します。



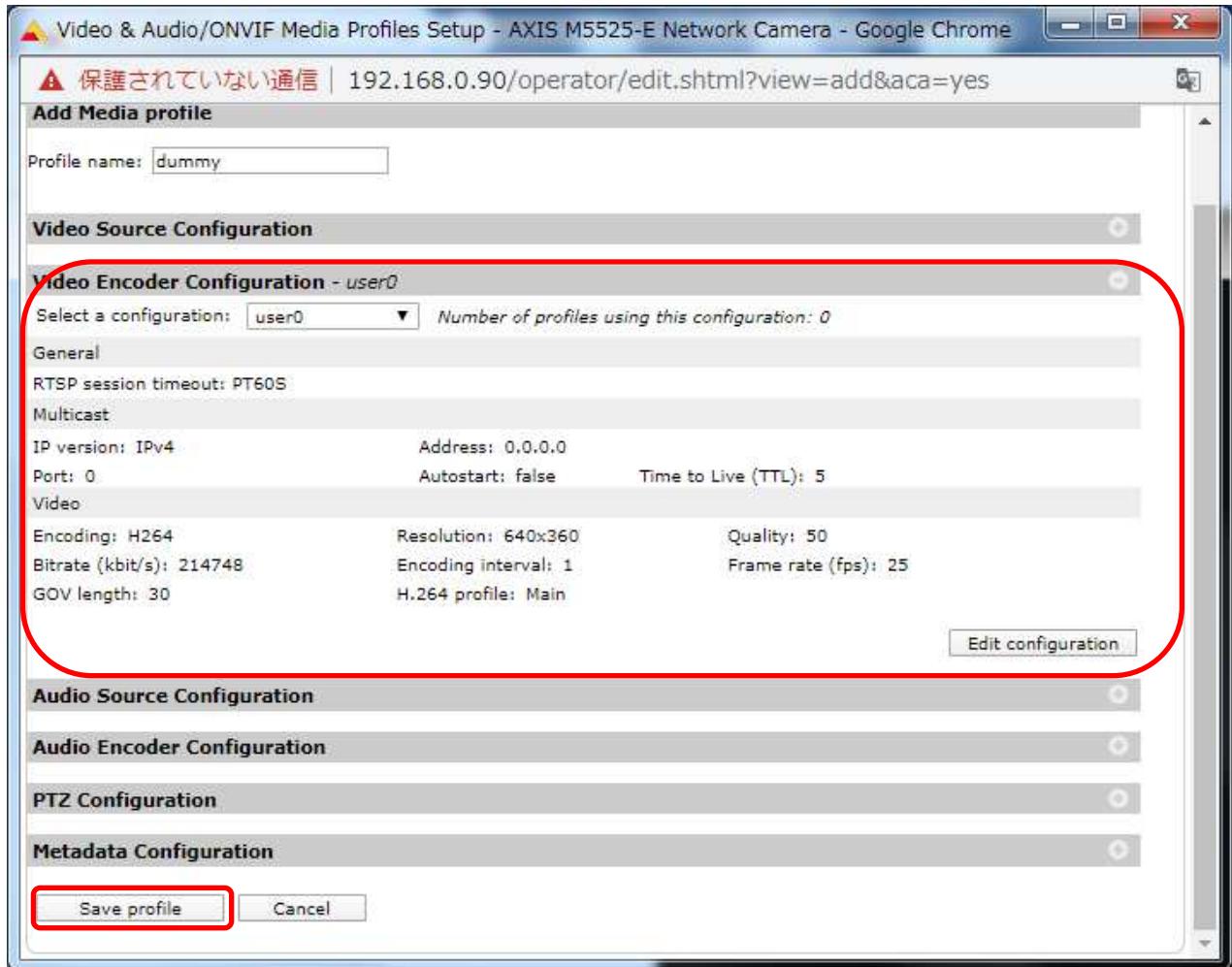
⑪[Video]で、

[Encoding:]は「H.264」を、[Resolution:]は「640x360」、[H.264 profile:]は「Main」を選択する。

[Quality:]には「50」、[GOV length:]には「30」を入力し、最後に「Save configuration」を押す。

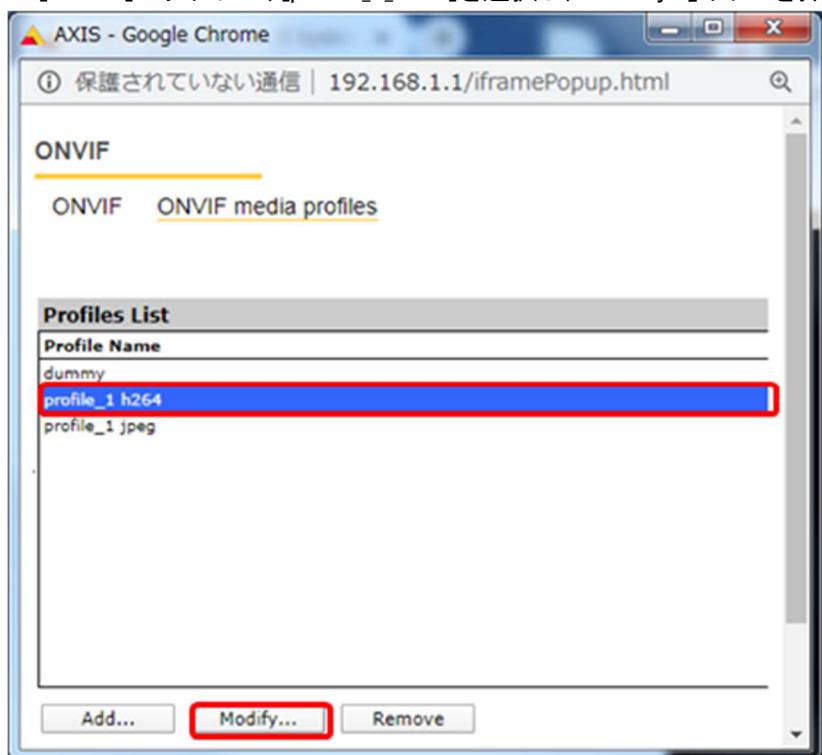


⑫変更が反映されていることを確認し、「Save profile」を押下します。

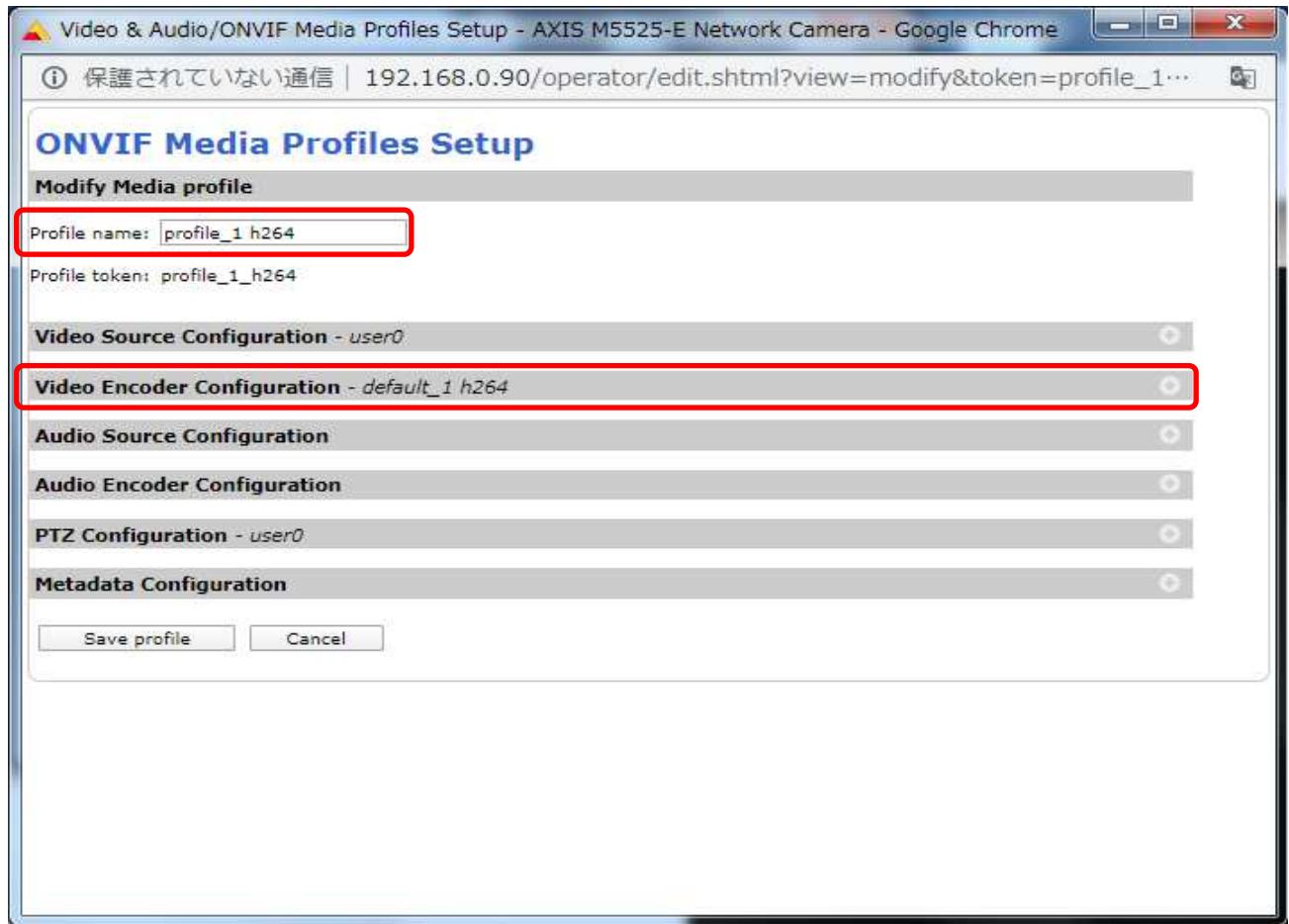


⑬ONVIF media profiles の設定変更をします。

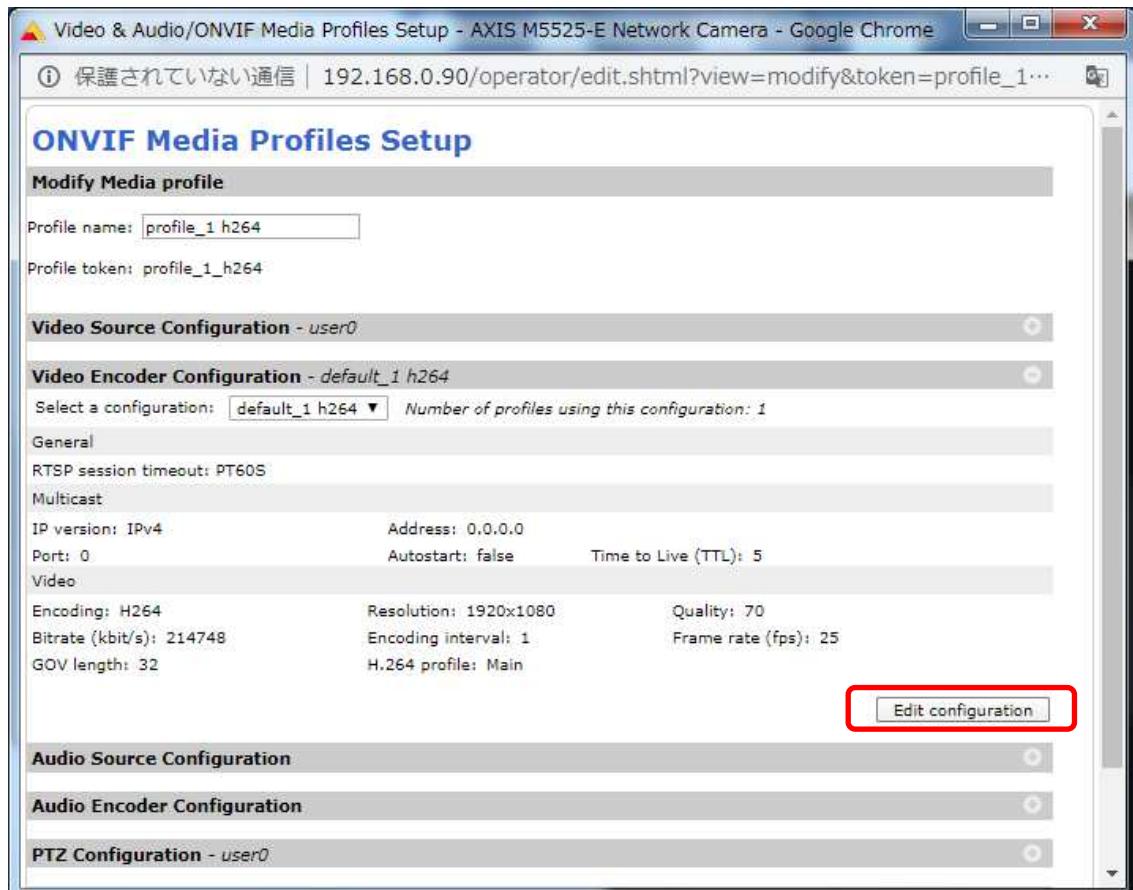
[ONVIF]ブラウザで、[profile_1_h264]を選択し、「Modify...」ボタンを押下します。



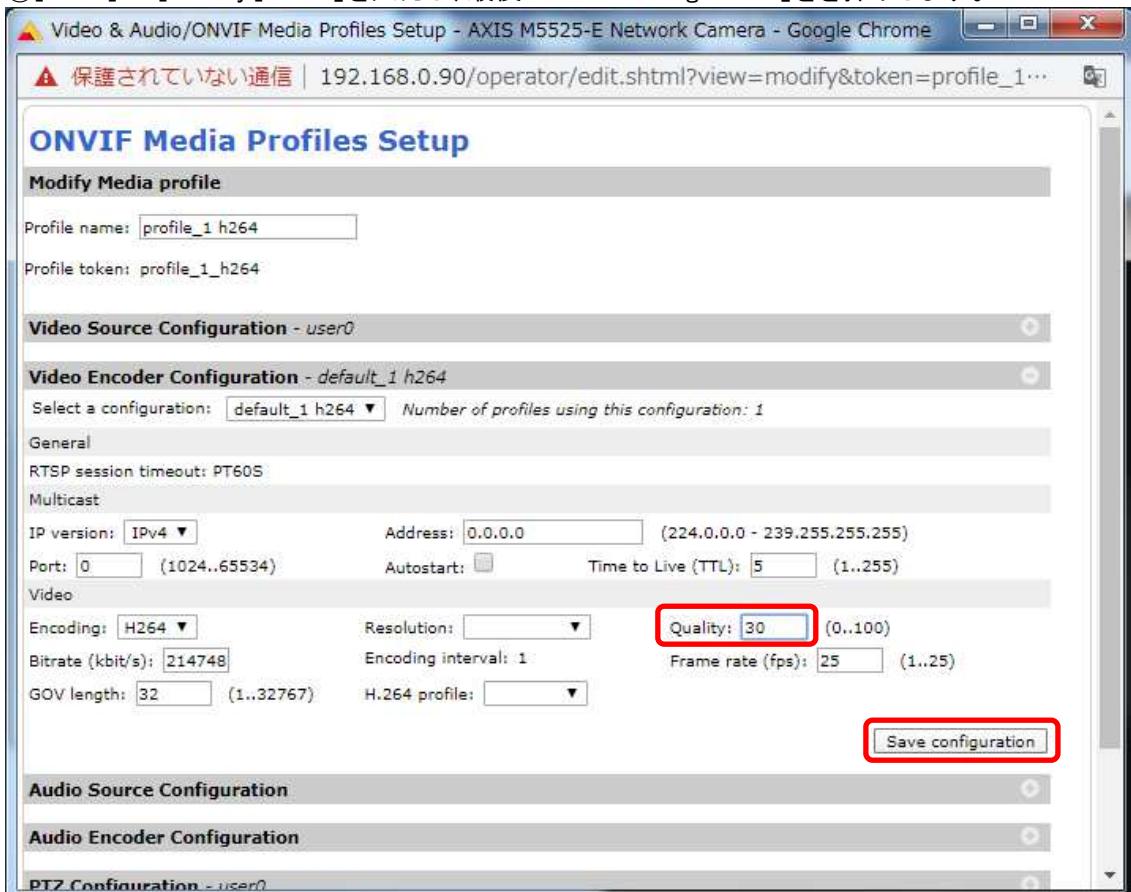
⑭ Video Encoder Configuration - default_1 h264 の右側にある「+」を押す。



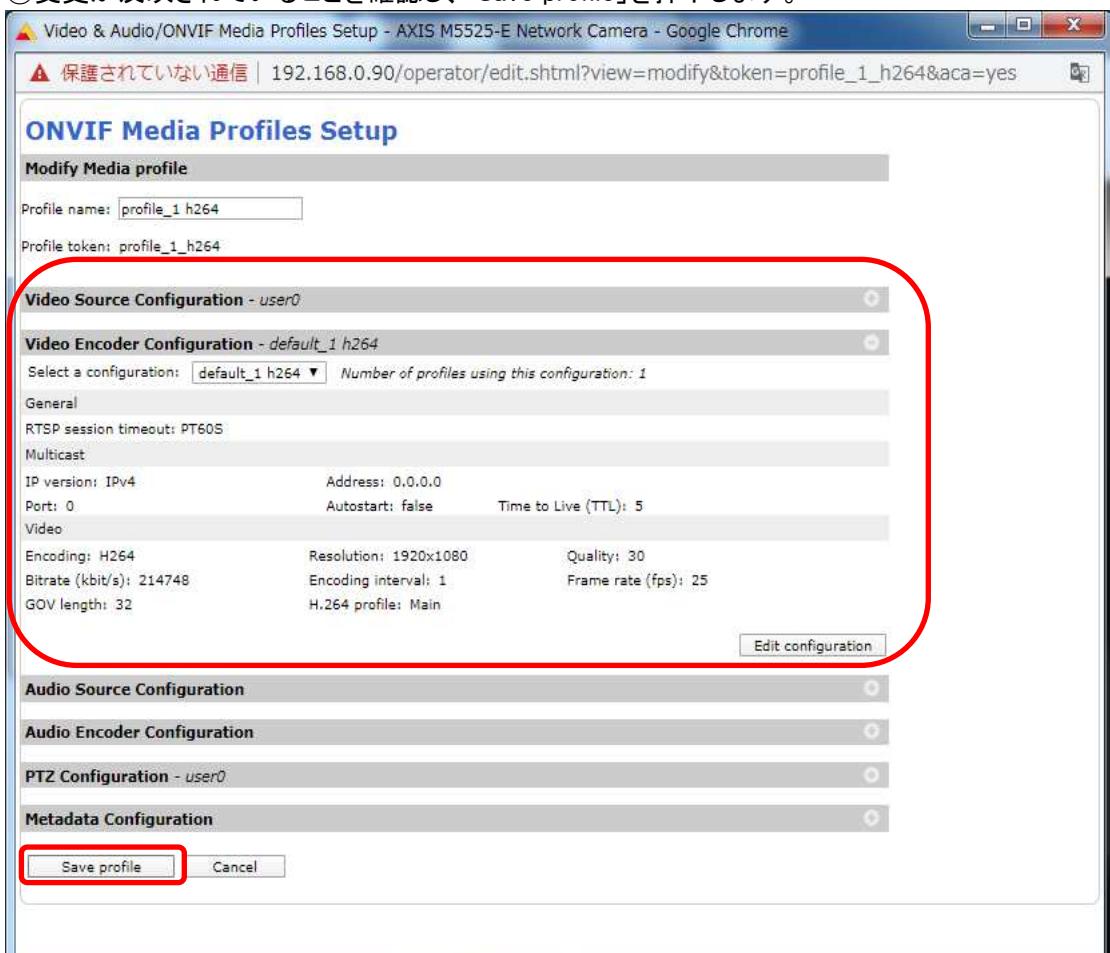
⑮ [Video Encoder Configuration]で[default_1h264]の詳細が表示されるので、「Edit configuration」を押下します。



⑯[Video]で [Quality:]に「30」を入力し、最後に「Save configuration」を押下します。



⑰変更が反映されていることを確認し、「Save profile」を押下します。



(4)画像

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[画像]タブを選択し、[シャープネス]を「30」に変更します。



(5)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

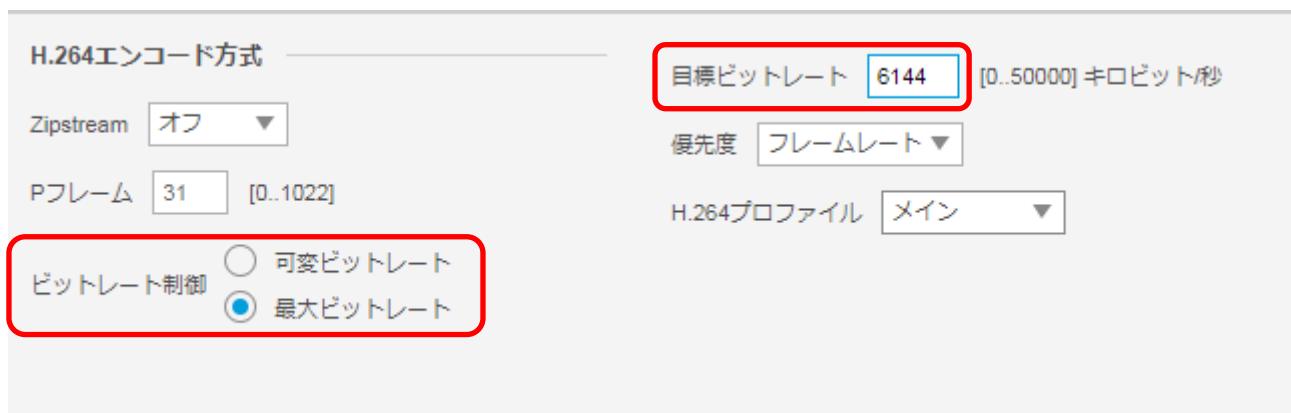
①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択し、[Zipstream]で「オフ」を選択します。



④[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。



(5)ブレイン設定

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ブレイン設定]を押下します。



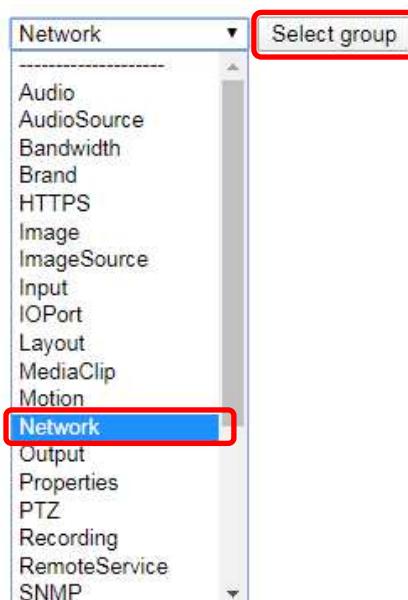
④[Select a group of parameters to modify.]で「Network」を選択し、「Select group」を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M5525-E Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:



⑤[Network RTSP]の[Allow client transport settings:]にチェックを入れ、「Save」を押下します。

Network RTSP:

| | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| Allow client transport settings: | <input checked="" type="checkbox"/> |
| AuthenticateOverHTTP - has no effect: | <input type="checkbox"/> |
| Authenticate RTSP over HTTP: | <input checked="" type="checkbox"/> |
| Enabled: | <input checked="" type="checkbox"/> |
| Port: | 554 [554, 1024..65535] |
| Allow anonymous viewers: | <input type="checkbox"/> |
| Timeout: | 60 [0..] |

User triggers:

Save page changes: **Save** Reset

④[Select a group of parameters to modify:]で「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M5525-E Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:

Image Select group

- ⑤[Image I0 MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れる。
 [Image I0 SizeControl]の[Max bitrate:]に「6144」を入力します。
 [Image I0 RateControl]の[Mode:]に「Constant bit rate」を選択します。
 [Image I0 RateControl]の[Priority:]に「Frame rate priority」を選択します。
 [Image I0 RateControl]の[Target bitrate:]に「6144」を入力します。
 [Image I0 SizeControl]の[Max frame size:]に「6」を入力します。

The screenshot shows the configuration page for the AXIS M5525-E System at the URL 192.168.0.90/admin/config.shtml?group=Image&aca=1. The configuration sections shown are:

- Image I0 MPEG H264:**
 - Profile: Main
 - PS enabled:
- Image I0 Overlay:**
 - Enabled:
 - X pos: 0
 - Y pos: 0
- Image I0 Overlay MaskWindows:**
 - Color: Black
- Image I0 RateControl:**
 - Max bitrate: 6144
 - Mode: Constant bit rate
 - Priority: Frame rate priority
 - Target bitrate: 6144
- Image I0 SizeControl:**
 - Max frame size: 6

At the bottom, there is a "User triggers:" section and a "Save page changes" button with "Save" and "Reset" options. The "Save" button is highlighted with a red box.

最後に「Save」を押下します。

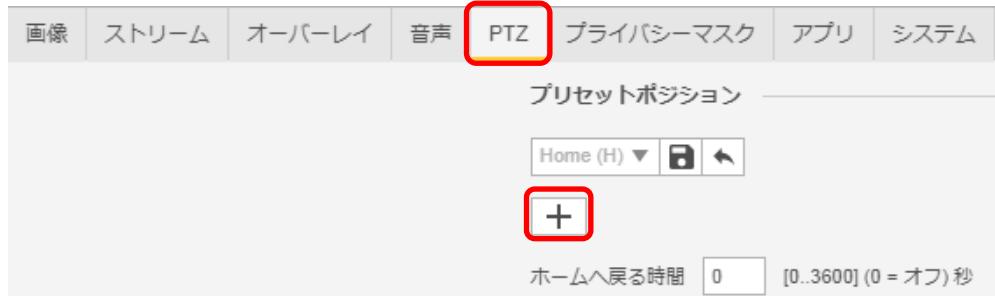
(6)プリセットポジション設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[PTZ]タブの[プリセットポジション]にある「+」を押下します。



④[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。

※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



⑤同様の手順で、「名前」に「3」～「11」を保存します。



⑥[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



1.3.1.9.3.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ❗ カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。
❗ これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.1.10. 全方位カメラ(M3047-P、M3048-P)

全方位カメラ(M3047-P、M3048-P)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた全方位カメラ(M3047-P、M3048-P)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能のように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続CHを変更する場合は、予めブラウザ経由で1.3.1.10.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUBやインジェクタ等でのPoE給電が必要です)。

また、下記(1)～(5)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.10.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「CeilingとWallの変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「ViewModeの変更」
- (4)「画角/フォーカスを調整する」
- (5)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.10.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(5)プレイン設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(2)(3)]を参照し、設定を実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変ります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。

The screenshot shows the Axis camera configuration interface. At the top, there are several tabs: 画像 (Image), ストリーム (Stream), オーバーレイ (Overlay), 音声 (Audio), PTZ, プライバシーマスク (Privacy Mask), アプリ (App), and システム (System). The システム tab is highlighted with a red box.

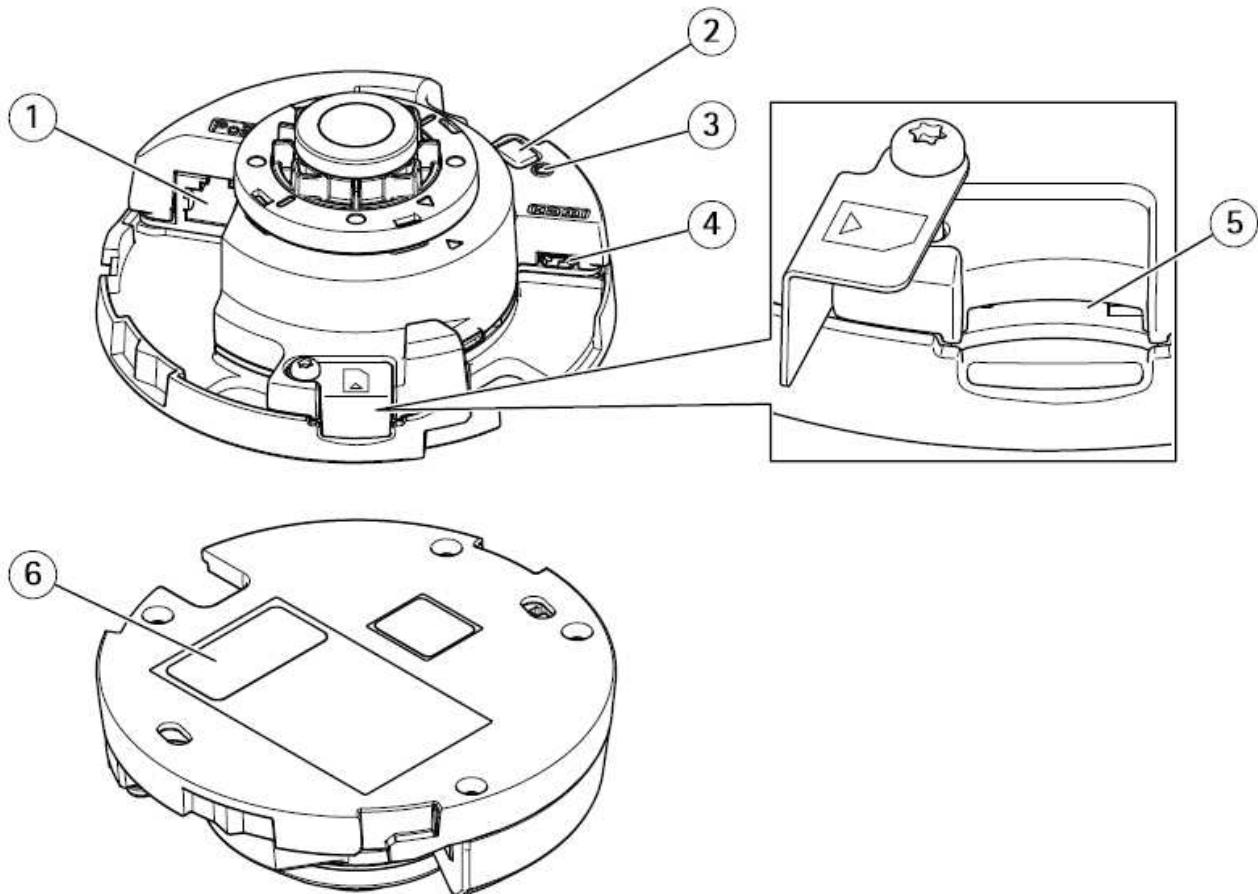
In the main area, there are various settings and status indicators. The 'メンテナンス' (Maintenance) section is also highlighted with a red box. It contains a 'リセット' (Reset) section with a '再起動' (Reboot) button and a 'リストア' (Restore) button. Below this is a '工場出荷時' (Factory Default) section with a 'リセット' (Reset) button. A red box highlights the 'リセット' button in this section.

On the right side of the maintenance section, there is a 'ファームウェアのアップグレード' (Firmware Upgrade) section with a 'アップグレード' (Upgrade) button. A red box highlights the 'アップグレード' button.

Below the maintenance section, there are two other sections: 'レポート' (Report) and 'ログ' (Log). The 'レポート' section includes links for 'システム' (System), 'ログ' (Log), and 'サーバーポート' (Server Port). The 'ログ' section includes links for 'システムイベント' (System Events) and 'システムログ' (System Log).

【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 Network connector (PoE)
- 2 Control button
- 3 Status LED indicator
- 4 HDMI out connector
- 5 SD card slot
- 6 Part number (P/N) & Serial number (S/N)

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

root

パスワード
パスワードの再入力

パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

日本語

ログインの作成



- ③電源周波数は「50Hz」を、キャプチャモードは機種ごとに以下設定を、Mounting position は「ceiling」を選択します。

M3047-P: 「360 overview(1920x1920)@15/13 fps dewarped views(4:3)」

M3048-P: 「360 overview(2048x2048)@15/13 fps dewarped views(4:3)」

開始

電源周波数を選択してください
50 Hz

これは何ですか? ▾

キャプチャモードを選択してください
360 overview (1920x1920) @ 15/13 fps dewarped views

これは何ですか? ▾

Mounting position
ceiling

Dewarped view

Panorama
Double Panorama
Quad
View Areas 1&2
Corner Left
Corner Right
Double Corner
Corridor

次へ



[Change capture mode]ダイアログが表示されるので、「はい」を押します。

キャプチャモードが変更されるのを待ってください。

Change capture mode

Changing the capture mode may take a while. You can also change capture mode later.

Do you want to change capture mode now?

いいえ はい

開始

Take a break while you're waiting. This could take up to 3 minutes.

次へ



④IP アドレスを設定します。

[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」

に設定します。



!
各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて
変更してください。



⑤日付と時刻(NTP サーバーとタイムゾーン)を設定します。

[NTP サーバーに接続する]で「手動」を選択し、[NTP サーバー]に「192.168.2.100」を入力します。

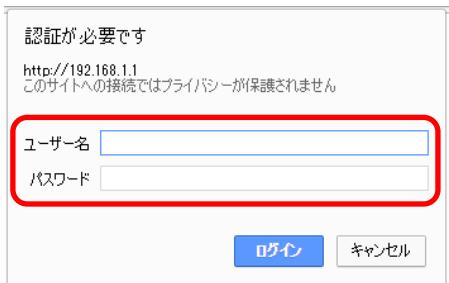
[タイムゾーン]は「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択します。



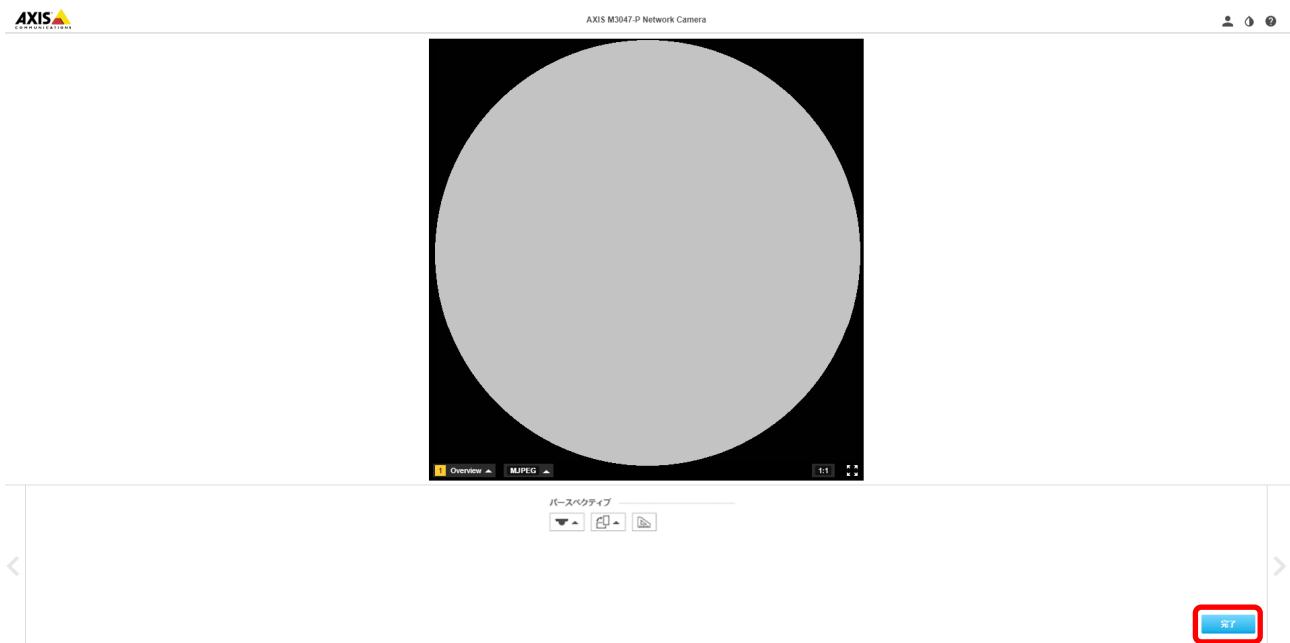
①各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合や、接続レコーダーの IP アドレスが変更になった場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら、②で設定したとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



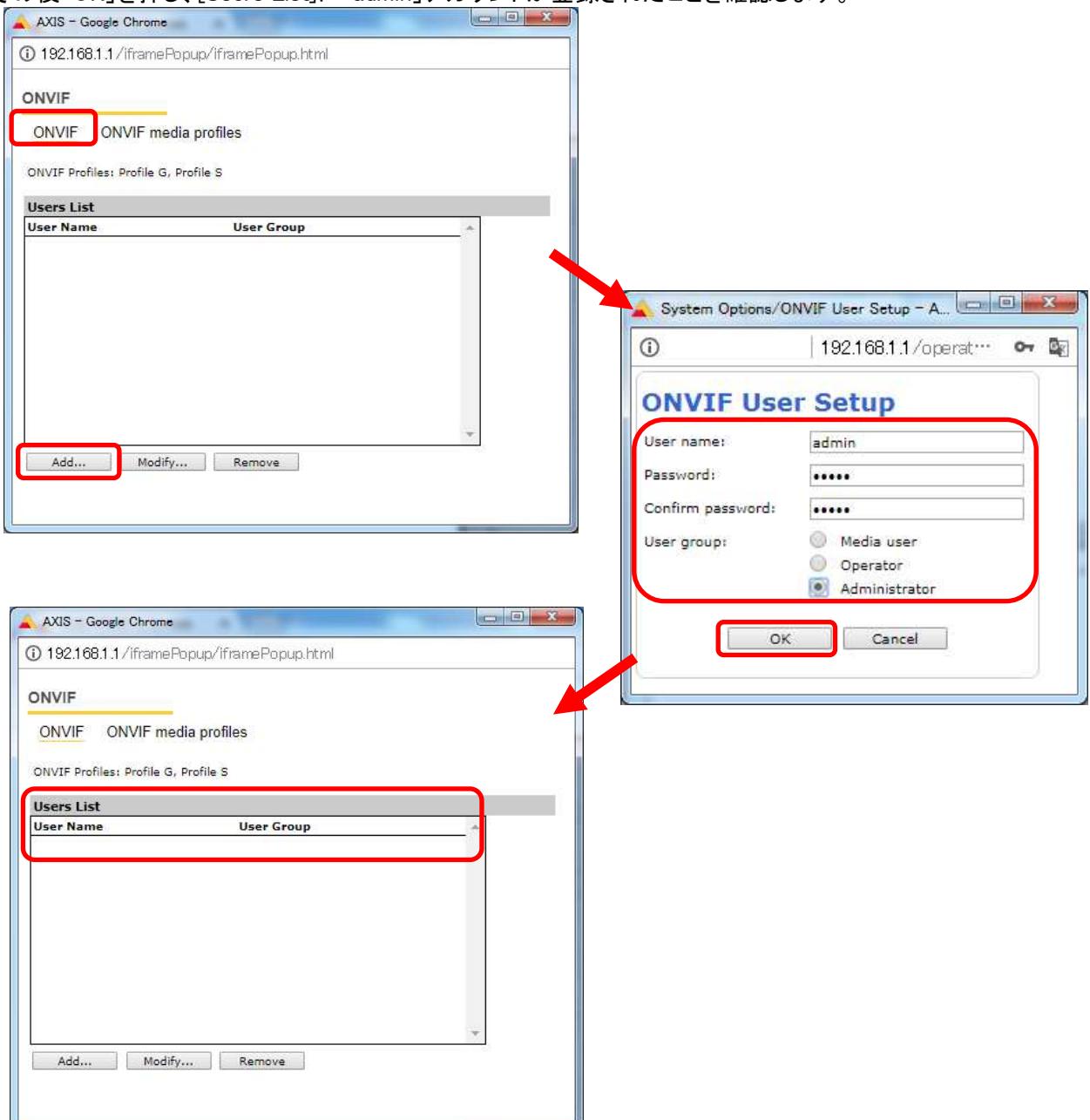
(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



- ④表示される[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF]を選択し、[Users List]の下の「Add...」ボタンを押下します。
- ⑤[ONVIF User Setup]ブラウザにて、[User name:]に「admin」、[Password:]に「admin」を入力し、[User group:]で「Administrator」を選択します。
- ⑥その後「OK」を押し、[Users List]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。



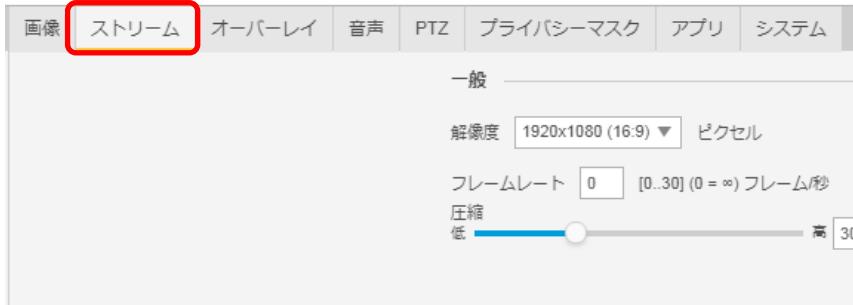
(4)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

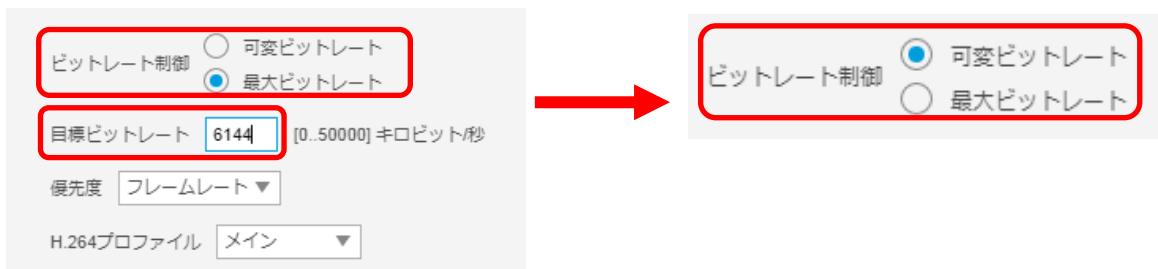
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択します。



④[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。

その後、[ビットレート制御]で「可変ビットレート」を選択します。



⑤[Zipstream]で「オフ」を選択します。



(5)プレイン設定

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

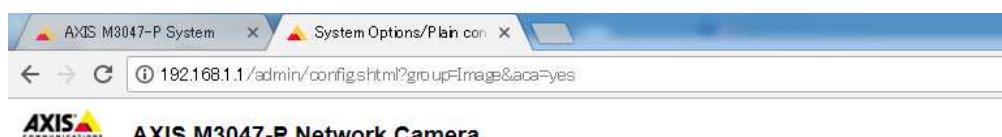
①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④[Select a group of parameters to modify:]で「Image」を選択し、「Select group」を押下します。



The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M3047-P Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

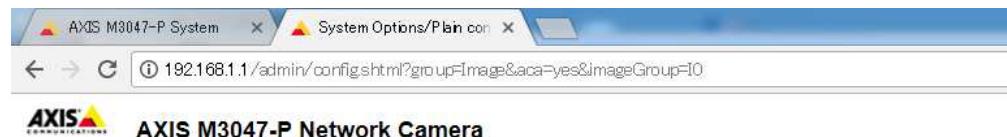
Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:



⑤[Select a group of image parameters to modify:]で「IO」を選択し、「Select image group」を押下します。



The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M3047-P Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

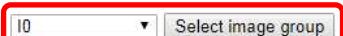
Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:



Select a group of image parameters to modify:



⑥[Image I0 MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れ、「Save」を押下します。

Image I0 MPEG H264:

Profile: High

PS enabled:

User triggers: []

Save page changes: **Save** Reset

⑦設定が Save されていることを確認してください。

⑧[Select a group of image parameters to modify:]で「I1」を選択し、「Select image group」を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M3047-P Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:

Image Select group

Select a group of image parameters to modify:

I1 Select image group

⑨[Image I1 MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れ、「Save」を押下します。

Image I1 MPEG H264:

Profile: High

PS enabled:

User triggers: []

Save page changes: **Save** Reset

⑩設定が Save されていることを確認してください。

⑪[Select a group of image parameters to modify:]で「I2」を選択し、「Select image group」を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M3047-P Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:

Image Select group

Select a group of image parameters to modify:

I2 Select image group

⑫[Image I2 MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れ、「Save」を押下します。

Image I2 MPEG H264:

Profile: High

PS enabled:

User triggers: []

Save page changes: **Save** **Reset**

⑬設定が Save されていることを確認してください。

⑭[Select a group of image parameters to modify:]で「I3」を選択し、「Select image group」を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M3047-P Network Camera. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA.

Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:

Image **Select group**

⑮[Image I3 MPEG H264]の[PS enabled:]にチェックを入れ、「Save」を押下します。

Image I3 MPEG H264:

Profile: High

PS enabled:

User triggers: []

Save page changes: **Save** **Reset**

⑯設定が Save されていることを確認してください。

1.3.1.10.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- (!) 本カメラ(M3047-P/M3048-P)のフリッカ設定を「50Hz」に設定した場合、レコーダーでのフレームレート設定は「10fps」以下に設定してください。「15fps」に設定すると正常な動作ができないため、ご注意ください。
- (!) カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。

1.3.1.11. 全方位カメラ(M3057-PLVE)

全方位カメラ(M3057-PLVE)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた全方位カメラ(M3057-PLVE)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能なように、事前設定がされています。初期化する場合や接続CHを変更する場合は、予めブラウザ経由で1.3.1.11.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUBやインジェクタ等でのPoE給電が必要です)。

また、下記(1)～(5)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.11.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「CeilingとWallの変更／Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「ViewModeの変更」
- (4)「画角/フォーカスを調整する」
- (5)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.11.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(5)プレイン設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(2)(3)]を参照し、設定を実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

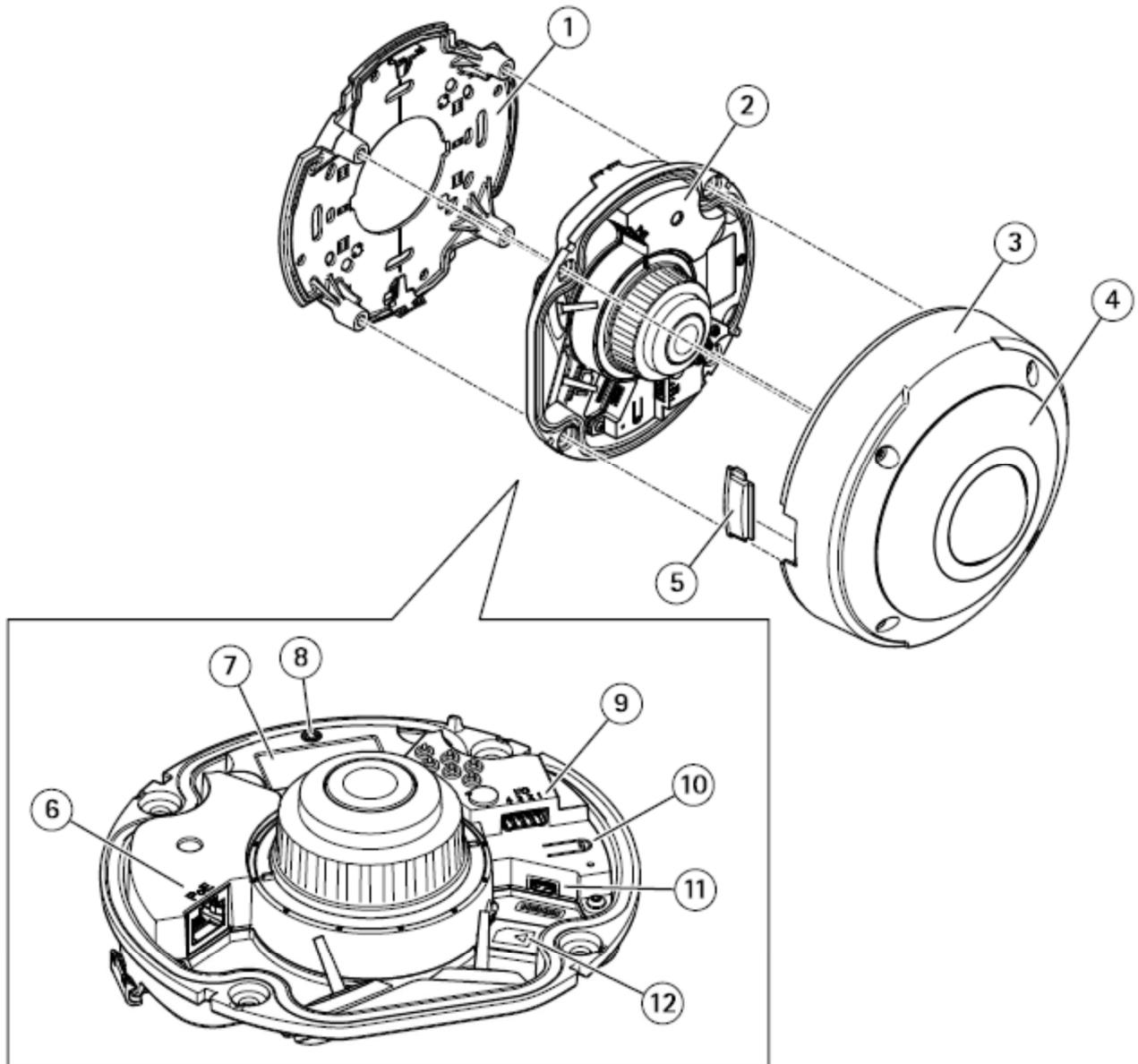
初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。



A detailed screenshot of the 'Maintenance' section of the Axis camera's web interface. On the left, there's a 'Reset' section with a 'Reboot' button. In the center, there's a 'Firmware Upgrade' section with steps: 'Select firmware', 'File selection', 'Install firmware', and 'Upgrade'. A note below says 'This operation takes a few minutes. Please do not turn off the power during the upgrade. Once completed, the unit will automatically reboot.' On the right, there's a 'Report' section with links for 'Server Report' and 'Log Report'. At the bottom, there's a 'Firmware Recovery' section with a 'Recovery' button. Several buttons in this section are highlighted with red boxes: 'Default' (under Reset), 'File selection' (under Firmware Upgrade), 'Upgrade' (under Firmware Upgrade), and 'Recovery' (under Recovery).

【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 Mounting bracket
- 2 Camera unit
- 3 Cover
- 4 IR illumination
- 5 Lid
- 6 Network connector (PoE)
- 7 Part number (P/N) & Serial number (S/N)
- 8 Status LED indicator
- 9 I/O connector
- 10 Control button
- 11 HDMI connector
- 12 SD card slot

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

root

パスワード
パスワードの再入力

パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

日本語

ログインの作成



- ③電源周波数は「50Hz」を、キャプチャーモードは「360° overview@30/25 fps dewarped views WDR」を、設置位置は「天井」を選択する。

開始

電源周波数を選択してください
50 Hz

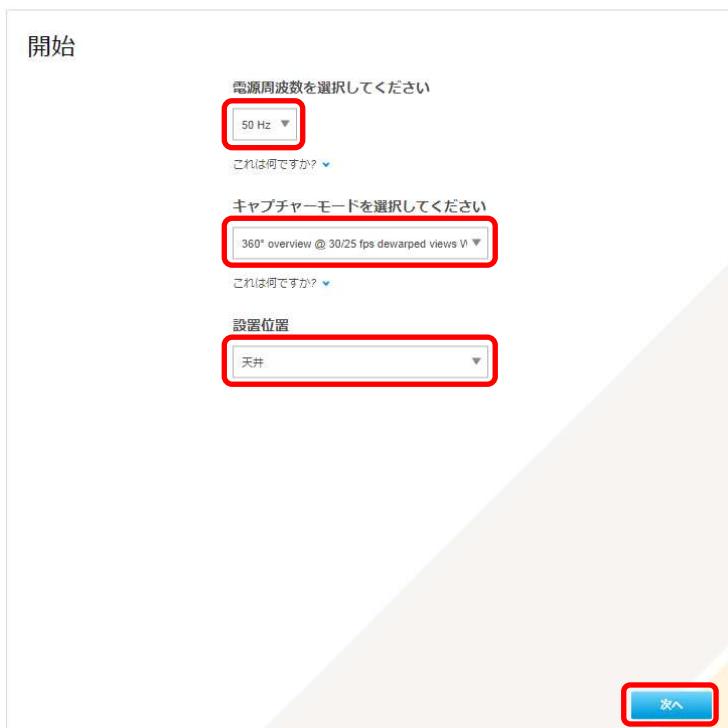
これは何ですか? ▾

キャプチャーモードを選択してください
360° overview @ 30/25 fps dewarped views WDR

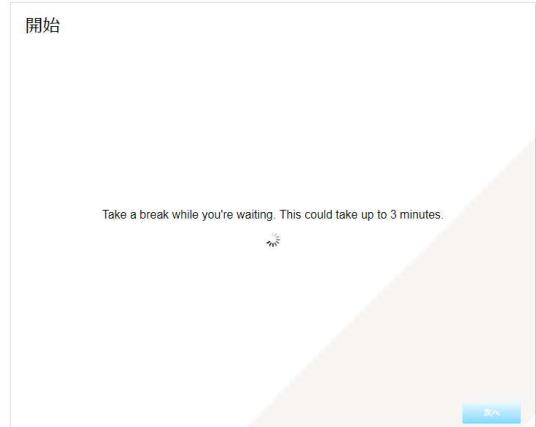
これは何ですか? ▾

設置位置
天井

次へ



[Change capture mode]ダイアログが表示されるので、「はい」を押します。
キャプチャモードが変更されるのを待ってください。



④IP アドレスを設定します。

[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」

に設定します。

!
各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて
変更してください。



⑤日付と時刻(NTP サーバーとタイムゾーン)を設定します。

[NTP サーバーに接続する]で「手動」を選択し、[NTP サーバー]は空欄にします。

[タイムゾーン]は「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択します。

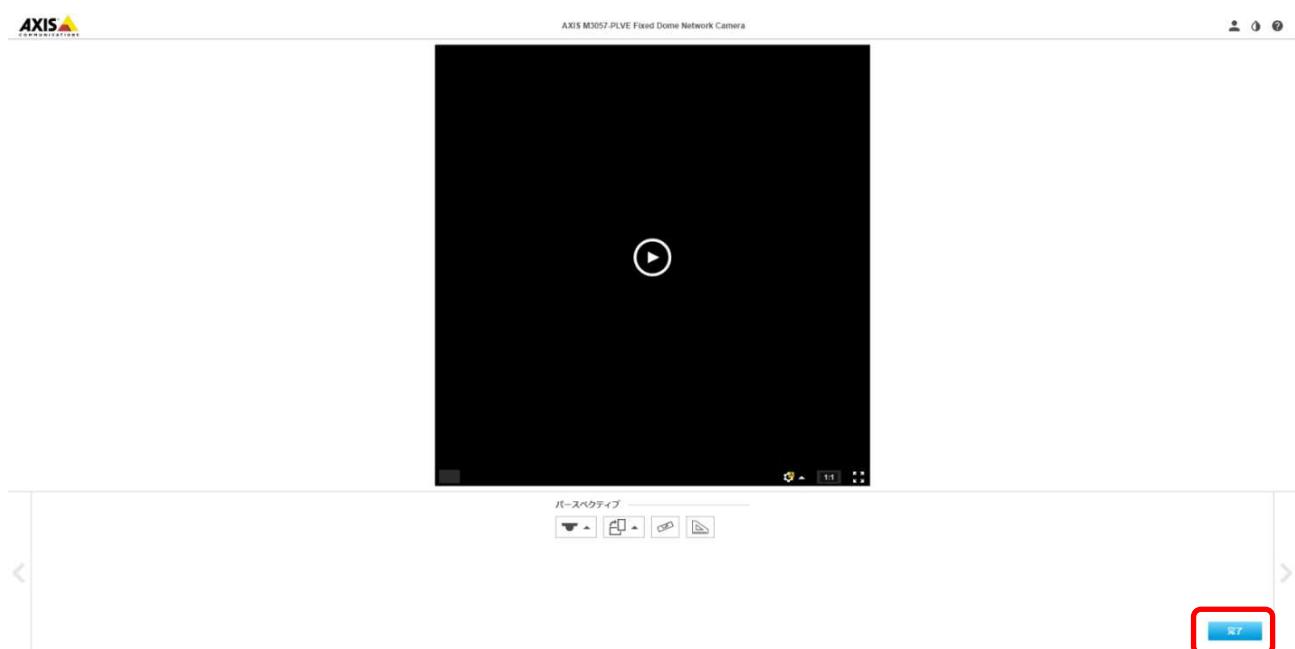
各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら、②で設定したとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



④表示される[ONVIF]アイコン画面で、「+」ボタンを押します。

⑤[ONVIF ユーザー]画面にて、[ユーザー名]に「admin」、[新しいパスワード]と[パスワードの再入力]に「admin」を入力し、[ユーザーグループ]で「管理者」を選択します。

⑥その後「保存」を押し、[ONVIF ユーザー]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

The image shows a step-by-step process for creating a new ONVIF user:

- Step 1:** The first screenshot shows the "ONVIF" tab selected. A red box highlights the "+" button in the "ONVIF ユーザー" section. A red arrow points from this screen to the second screenshot.
- Step 2:** The second screenshot shows the "ONVIF ユーザー" configuration page. It has fields for "ユーザー名" (User Name) set to "新規" (New), "新しいパスワード" (New Password) set to "admin", "パスワードの再入力" (Password Confirmation) also set to "admin", and "ユーザーグループ" (User Group) set to "管理者" (Administrator). A red box highlights the "新規" entry in the user name field. A red arrow points from this screen to the third screenshot.
- Step 3:** The third screenshot shows the "ONVIF" tab selected again. The "ONVIF ユーザー" section now lists a single user entry: "admin 管理者". A red box highlights this user entry.

(4)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

以降③～⑤に示す[ビットレート制御]に関する設定と[Zipstream]に関する設定を、映像表示下部で切替えられる以下4つのビューモードに対して、それぞれ同じ要領で実施ください。

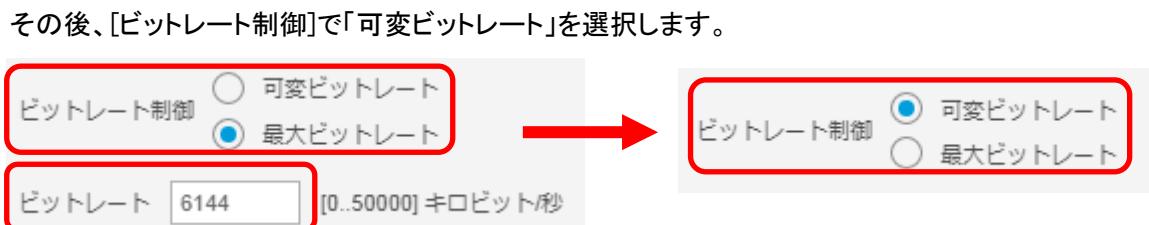
※ビューモードの切り替えについては、本書(6)にある画面キャプチャも参照ください。

- (a) 1 Overview
- (b) 2 Panorama
- (c) 3 Double Panorama
- (d) 4 Quad View

③[ストリーム]タブを選択します。



④[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。



⑤[Zipstream]で「オフ」を選択します。



(5)プレイン設定

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④[高度な設定]ダイアログが表示されるので、「これを再表示しない」にチェックを入れ、「同意します」を押します。



⑤左列にある[Network]を押します。

プレイン設定

A screenshot of the 'Plain Setting' interface. On the left, there is a vertical navigation menu with options: Audio, AudioSource, Bandwidth, BasicDeviceInfo, Brand, HTTPS, Image, ImageSource, Input, IOPort, Layout, MediaClip, and Network. The 'Network' option is highlighted with a red box. The main right panel shows the 'Network' configuration page. It includes fields for Boot proto (set to NONE), Broadcast (192.168.0.255), Default router (0.0.0.0), DNS server1 (0.0.0.0), DNS server2 (0.0.0.0), Domain name (empty), IPv4 Enabled (checked), Host name (axis-accc8eb4edc2), IP address (192.168.1.1), Connection type (Auto-Negotiate), Subnet mask (255.255.255.0), and tcp ECN (empty).

⑥下にスクロールし、右列にある[RTSP]項目の「Allow client transport settings」にチェックを入れます。

RTSP

Allow client transport settings

AuthenticateOverHTTP - has no effect

Authenticate RTSP over HTTP

Enabled

Port
554

Allow anonymous viewers

Timeout
60 [0..]

⑦さらに下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑧設定が保存されていることを確認してください。

⑨次に、左列にある[Image]を押します。

プレイン設定

変更の効果を確認するために、Webページを更新するか、カメラを再起動する必要が生じる場合があります。

Audio

AudioSource

Bandwidth

BasicDeviceInfo

Brand

HTTPS

Image

ImageSource

Input

IOPort

Layout

MediaClip

Network

Image

Date format
YYYY-MM-DD

Max viewers
20 [0..20]

Motion detection
no

Nbr of configs
12

Overlay path
/etc/overlays/axis(128x44).ovl

Own date format
%F

Own date format enabled

Own time format
%T

Own time format enabled

Privacy mask type
None

Referrers

Referrers enabled

Time format

⑩「I0」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。

The screenshot shows the configuration page for profile I0. At the top, there is a checkbox labeled 'Enabled' which is checked. Below it is a 'Name' field containing 'Overview'. A red box highlights the 'H264' section. Inside this section, there is a 'Profile' dropdown set to 'High'. Another red box highlights the 'PS enabled' checkbox, which is also checked.

⑪同様に、「I1」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。

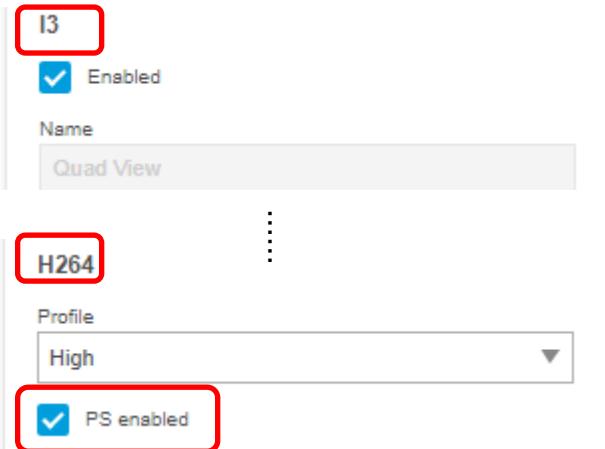
The screenshot shows the configuration page for profile I1. It has a similar structure to I0, with an 'Enabled' checkbox checked, a 'Name' field for 'Panorama', and an 'H264' section with a 'Profile' set to 'High'. A red box highlights the 'PS enabled' checkbox in the H264 section, which is checked.

⑫「I2」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。

※「I1」と「I2」の間には、設定不要な I10 と I11 の設定項目があるため注意してください。

The screenshot shows the configuration page for profile I2. It follows the same pattern as I0 and I1, with an 'Enabled' checkbox checked, a 'Name' field for 'Double Panorama', and an 'H264' section with a 'Profile' set to 'High'. A red box highlights the 'PS enabled' checkbox in the H264 section, which is checked.

⑬「I3」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。



⑭下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑮設定が保存されていることを確認してください。

(6)プリセットポジション設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

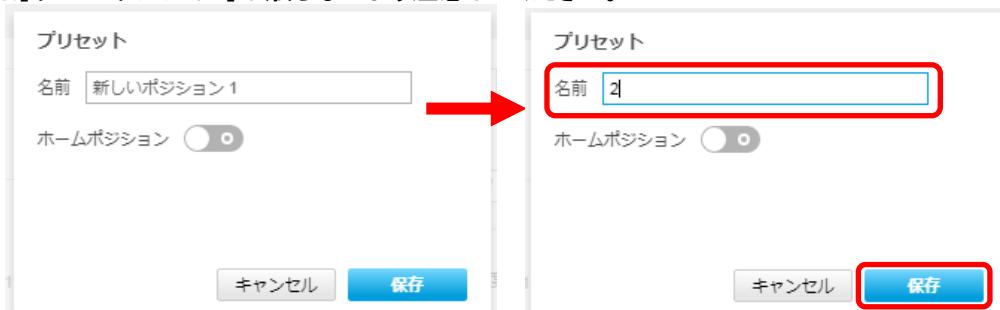
③映像表示下部のビューモードから「2 Panorama」を選択し、[PTZ]タブを押します。

[プリセットポジション]にある「+」を押します。



④[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。

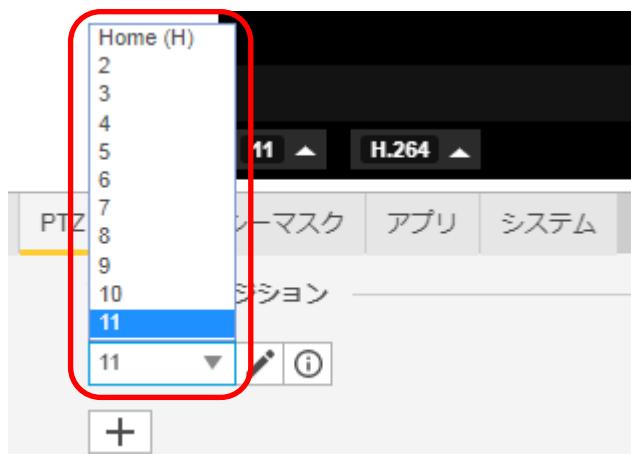
※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



⑤同様の手順で、[名前]に「3」～「11」を保存します。



⑥[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



⑦同じ要領で、映像表示下部のビューモードから「3 Double Panorama」を選択し、[PTZ]タブを押します。
[プリセットポジション]にある「+」を押します。



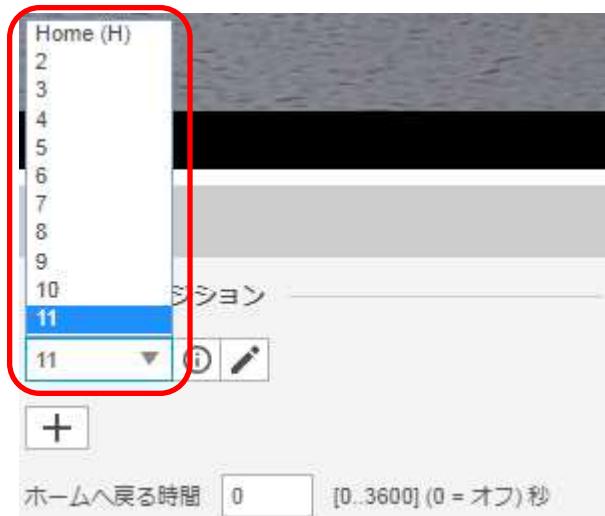
⑧[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。
※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



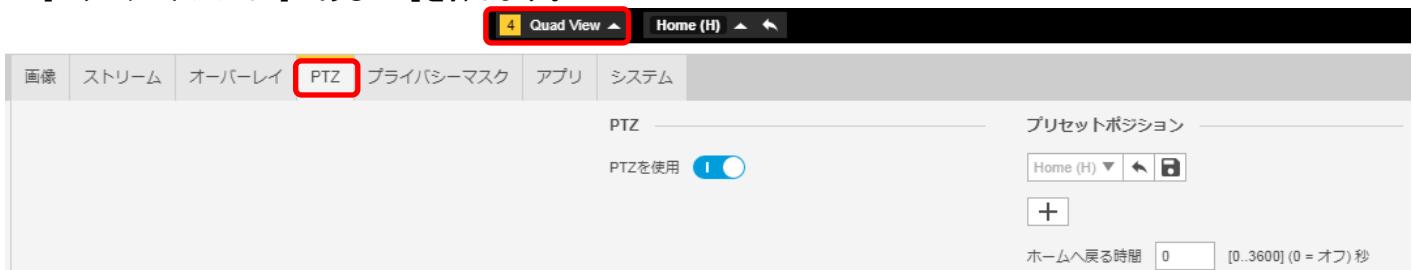
⑨同様の手順で、[名前]に「3」～「11」を保存します。



⑩[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



- ⑪同じ要領で、映像表示下部のビューモードから「4 Quad View」を選択し、[PTZ]タブを押す。
[プリセットポジション]にある「+」を押します。



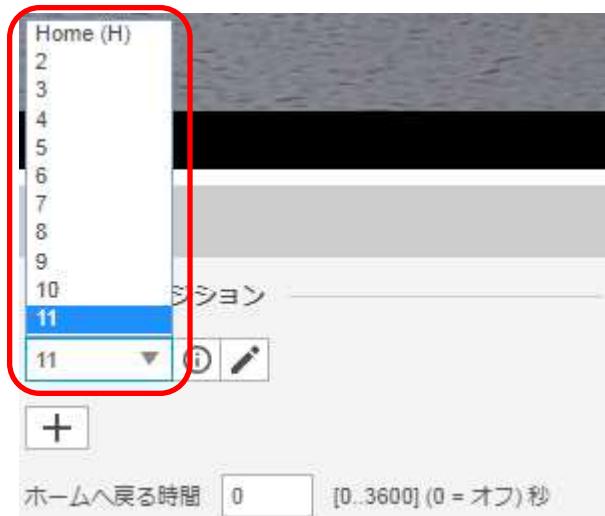
- ⑫[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。
※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



- ⑬同様の手順で、[名前]に「3」～「11」を保存します。



- ⑭[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



1.3.1.11.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

!
カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。

1.3.1.12. PTZ 型カメラ(P5655-E)

PTZ ドームカメラ(P5655-E)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いたPTZ ドームカメラ (P5655-E)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5512/5100/8200/5000C)の CH1 に接続可能なように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.12.1.に示す初期設定が必要です(本カメラは PoE+対応 HUB や PoE+対応インジェクタ等での PoE+給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS 社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.12.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.12.1. 初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(9)Onvif メディアプロファイル設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は [(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1) 初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「デフォルト」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。

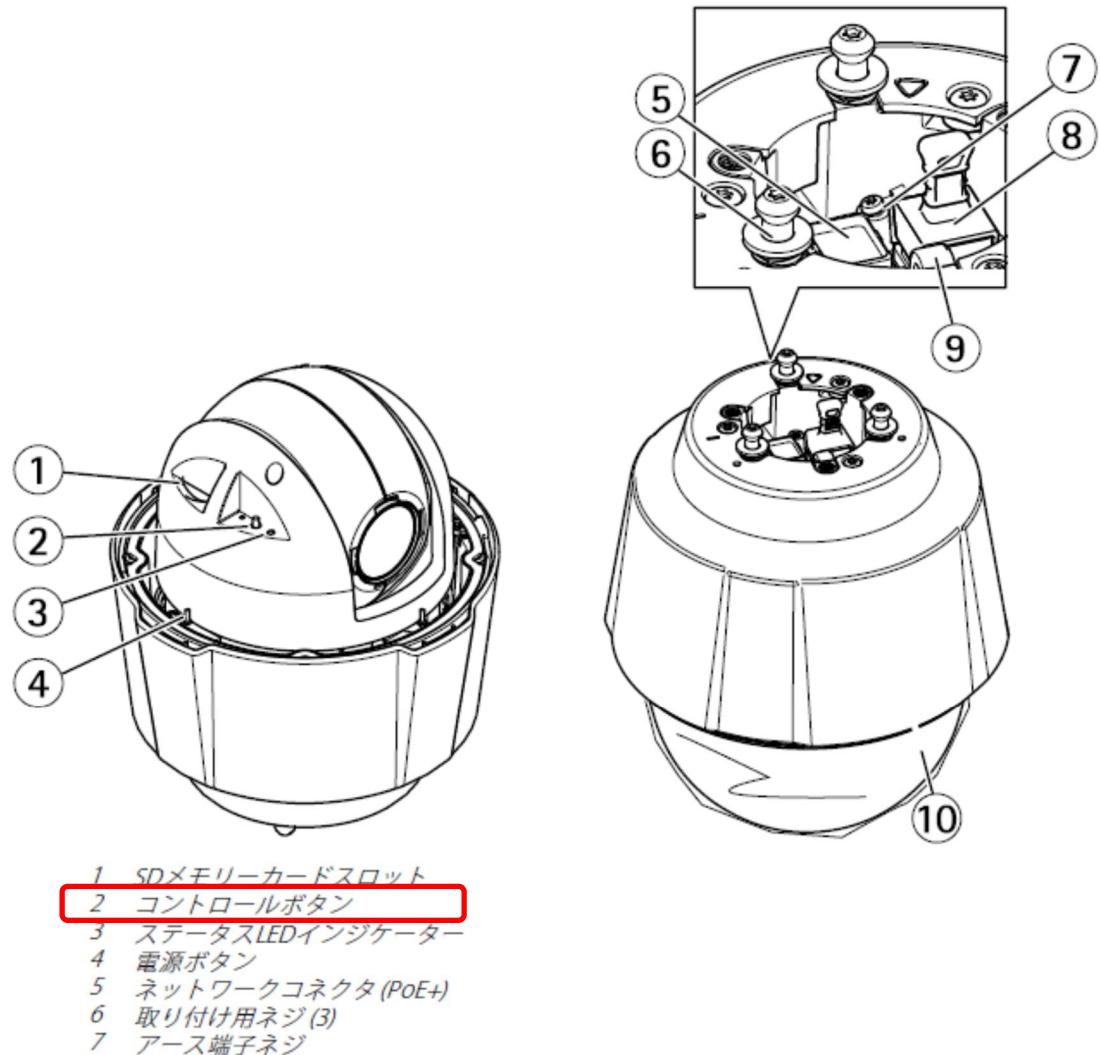
その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ドームを外した状態でネットワークケーブルを接続し、電源を ON にします。
- ②ステータス LED がオレンジ色に点滅するまで、コントロールボタンと電源ボタンを押し続けます(30 秒間)。
- ③コントロールボタンだけを離し、電源ボタンをステータス LED が緑色に変わるまで押し続けます。
- ④電源ボタンを離し、製品を組み立てます。

(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。



- ③キャプチャーモードは「1080p 1920×1080(16:9)@25/30fps」に設定します。



④IP アドレスとタイムゾーンを設定します。

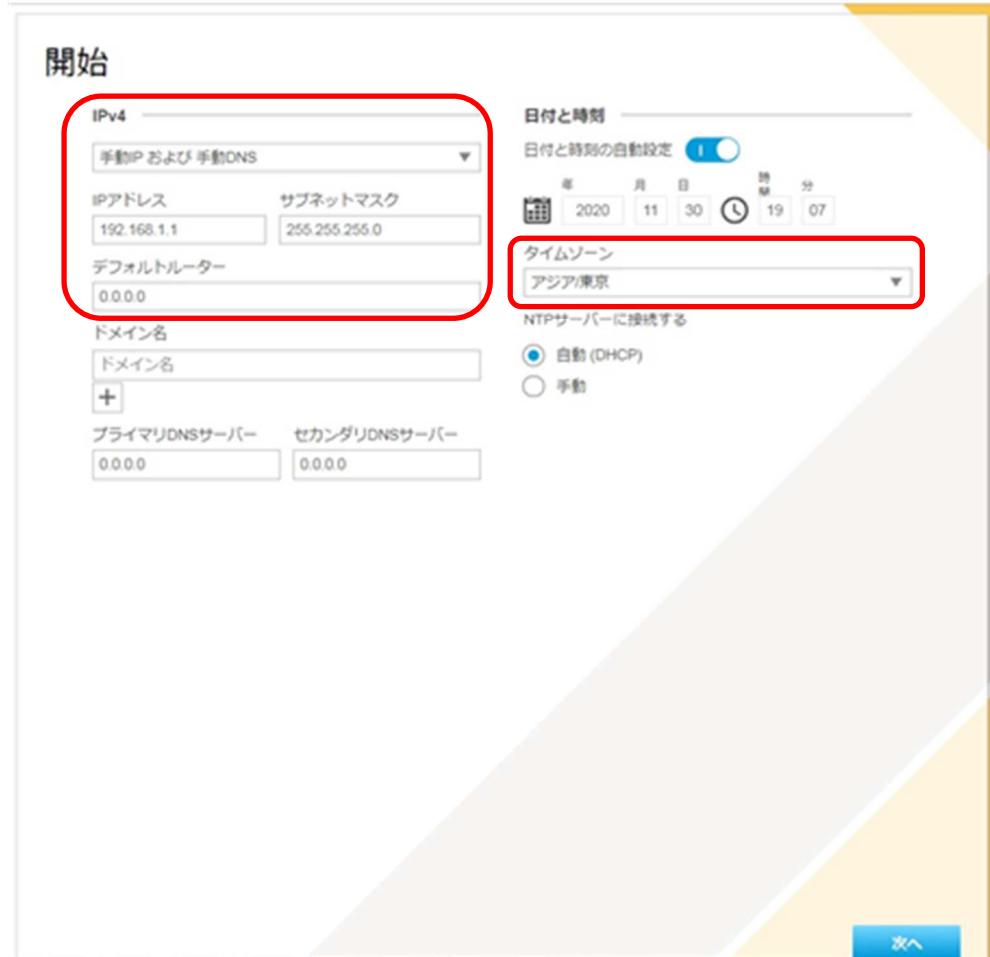
[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」に設定します。

[タイムゾーン]は「アジア/東京」を選択します。



①各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。

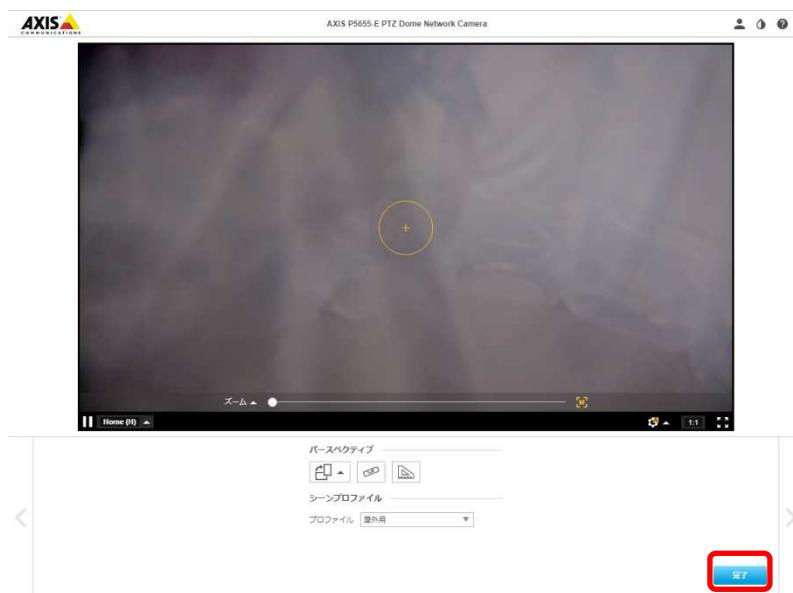
②各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら上記設定のとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力する。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



- ④表示される[ONVIF]アイコン画面で、「+」ボタンを押します。
- ⑤[ONVIF ユーザー]画面にて、[ユーザー名]に「admin」、[新しいパスワード]と[パスワードの再入力]に「admin」を入力し、[ユーザーグループ]で「管理者」を選択します。
- ⑥その後「保存」を押し、[ONVIF ユーザー]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

ONVIF

ONVIFユーザー

ONVIF

ONVIFユーザー

ONVIF

ONVIFユーザー

新規

ユーザー名
新規
新しいパスワード
パスワードの再入力
パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

ユーザー名
admin

新しいパスワード

パスワードの再入力

パスワードの強度: 薄

ユーザー名
管理者

キャンセル **保存**

ONVIF

ONVIFユーザー

admin **管理者**

(4)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択します。



④[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。



⑤[Zipstream]で「オフ」を選択します。



(5)画像

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

- ① ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③ [画像]タブを選択して、[シャープネス]を「30」に変更する。



(6)プレイン設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④左列にある[Network]を押します。

変更の効果を確認するために、Webページを更新するか、カメラを再起動する必要が生じる場合があります。

Network

Boot proto: NONE

Broadcast: 192.168.0.255

Default router: 0.0.0.0

DNS server1: 0.0.0.0

DNS server2: 0.0.0.0

Domain name:

IPv4 Enabled

Host name: axis-accc8eeddf41

IP address: 192.168.1.1

Connection type: Auto-Negotiate

Subnet mask: 255.255.255.0

top ECN

⑤右列を下にスクロールし、[RTSP]項目の「Allow client transport settings」にチェックを入れます。

RTSP

Allow client transport settings

AuthenticateOverHTTP - has no effect

Authenticate RTSP over HTTP

Enabled

⑥さらに下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑦設定が保存されていることを確認してください。

⑧次に、左列にある[Image]を押します。

プレイン設定

The 'Image' section is highlighted with a red box. The left sidebar lists various settings categories: Audio, AudioSource, Bandwidth, BasicDeviceInfo, Brand, HTTPS, Image (highlighted), ImageSource, Input, IOPort, Layout, MediaClip, and Network.

Image

- Date format: YYYY-MM-DD
- Max viewers: 20 [0..20]
- Motion detection: yes
- Nbr of configs: 1
- Overlay path: /etc/overlays/axis(128x44).ovl
- Own date format: %F
- Own date format enabled
- Own time format: %T
- Own time format enabled
- Privacy mask type: None
- Referrers:
- Referrers enabled
- Time format:

⑨右列を下にスクロールし、[IO]についての設定項目中、[H.264]の「PS enabled」にチェックを入れます。

The 'IO' section is highlighted with a red box. Under 'Profile', the 'High' option is selected. The 'PS enabled' checkbox is checked and highlighted with a red box.

IO

Enabled

H264

Profile: High

PS enabled

⑩右列を下にスクロールし、[RateControl]の[Max bitrate]に「6144」を入力します。

RateControl

Max bitrate
6144 [0..50000]

⑪右列を下にスクロールし、[RateControl]の[Mode]のプルダウンで「Constant bit rate(DEPRECATED)」を選択します。

Mode
Constant bit rate (DEPRECATED)

⑫右列を下にスクロールし、[RateControl]の[Priority]に「Frame rate priority」を選択します。

Priority
Frame rate priority

⑬右列を下にスクロールし、[RateControl]の[Target bitrate]に「6144」を入力します。

Target bitrate
6144 [0..50000]

⑭右列を下にスクロールし、[SizeControl]の[Max frame size]に「6」を入力します。

SizeControl

Max frame size
6 [0..]

⑮さらに下にスクロールし、「保存」を押します。

キャンセル **保存**

⑯設定が保存されていることを確認してください。

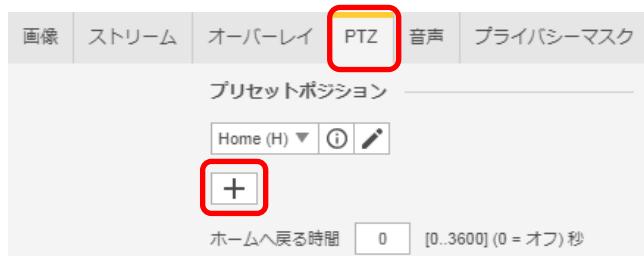
(7)プリセットポジション設定

((6)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

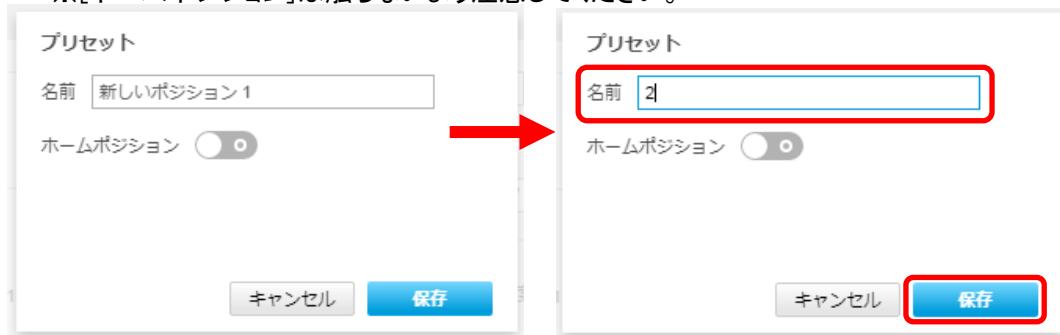
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[PTZ]タブ → [プリセットポジション]にある「+」を押します。



④[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押します。

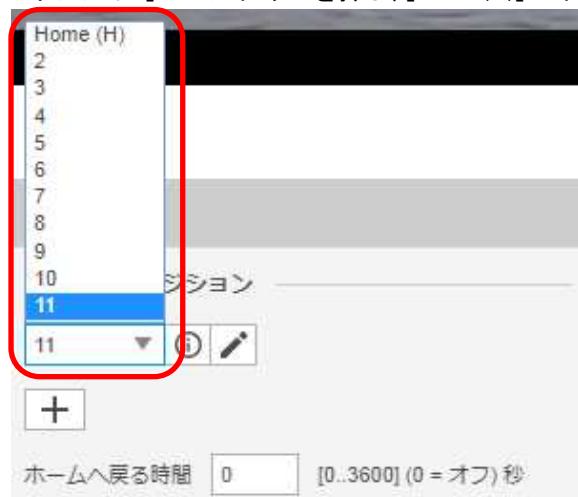
※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



⑤同様の手順で、[名前]に「3」～「11」を保存します。



⑥[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認する。



(8) Onvif メディアプロファイル設定

((7)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコンを押します。



④[ONVIF] ブラウザで、[ONVIF メディアプロファイル] の下の「+」ボタンを押下します。



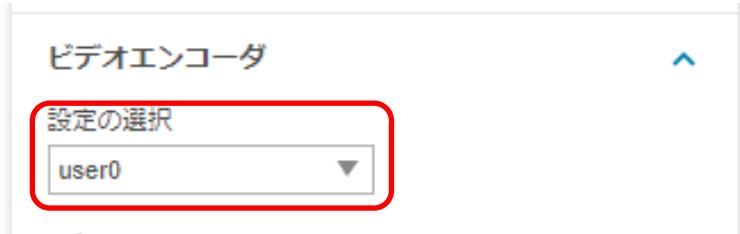
⑤[ONVIF メディアプロファイル] ブラウザが表示されるので、[プロファイル名]に「dummy」と入力します。



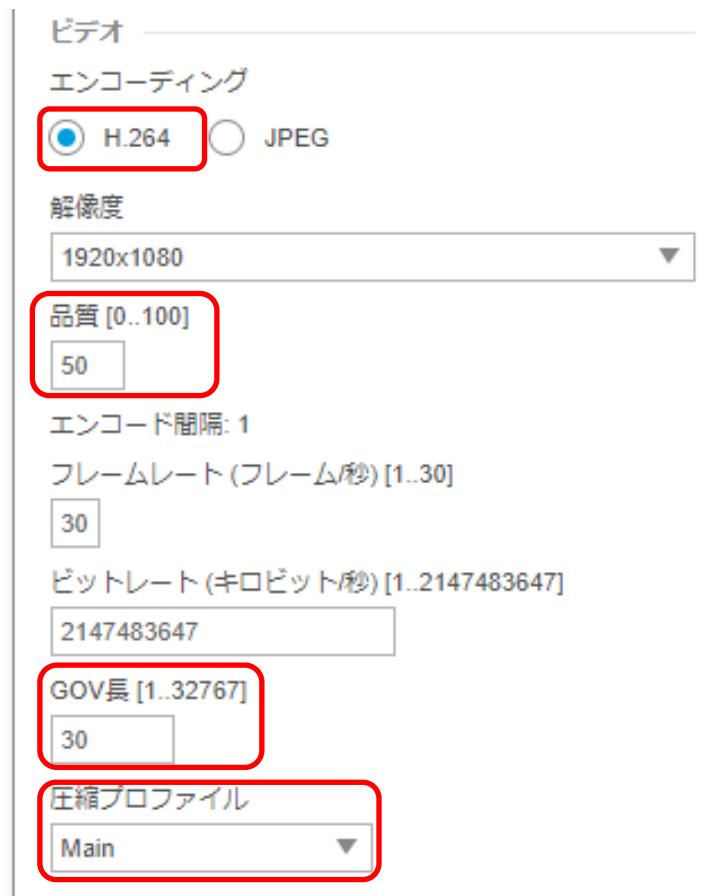
⑥[ビデオソース] で、[設定の選択] のプルダウンで「user0」を選択します。



⑦[ビデオエンコーダ] で、[設定の選択] のプルダウンで「user0」を選択します。



⑧[ビデオ] で、[エンコーディング] は「H.264」、「品質」は「50」、「GOV長」は「30」、「圧縮プロファイル」は「Main」を選択します。



⑨「保存」を押下します。



⑩[システム]タブ → [ONVIF]アイコンを押します。



⑪[ONVIF]ブラウザで、[ONVIFメディアプロファイル]の下の「profile_1 h264」ボタンを選択します。

A screenshot of the ONVIF configuration page. On the left, under 'ONVIFユーザー' (ONVIF User), there is a dropdown menu set to 'admin 管理者'. Below it is a '+' button. On the right, under 'ONVIFメディアプロファイル' (ONVIF Media Profile), there are three options: 'profile_1 h264' (selected and highlighted with a red box), 'profile_1 jpeg', and 'dummy'. Each option has a dropdown arrow next to it. Below each option is a '+' button. The URL in the address bar is '1.1.1.80/settings/system#onvif'.

⑫[ビデオ] の「品質」を「30」へ変更します。

A screenshot of the video settings configuration screen. It shows the following fields: 'ビデオ' (Video) tab selected, 'エンコーディング' (Encoding) section with 'H.264' selected, '解像度' (Resolution) set to '1920x1080', and a '品質 [0..100]' (Quality [0..100]) input field containing the value '30'. The '30' value is highlighted with a red box. The URL in the address bar is '1.1.1.80/settings/system#video'.

⑬最後に「保存」を押下します。



1.3.1.12.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5512/5100/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

- ① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。



カメラを接続する場合、必ず NR-5200/5280 取扱説明書の 11.8.1 もしくは 11.8.1.1 の手順で登録してください。未登録状態からカメラを接続する際に、「取得」ボタン押下してから「設定」ボタン押下すると正常に設定内容が反映できないことがあります。誤って取得を押下した場合は、一旦カメラを未登録にし、再度設定ください

- ① カメラのフレームレートが 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでござ注意ください。
- ① カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ① フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。
- ① 撮像映像(旋回時や動きが多い場合等)、設定ビットレートによっては当該カメラの配信データ量が設定値を超過し、計画した記録日数を下回る可能性があります。
主に低ビットレート(1Mbps 以下)を使用したシステムの場合、影響を受ける可能性があります。
以下の設定を推奨します。

- 解像度「FullHD」をご使用の場合は、ビットレート設定を「1.5Mbps」以上としてください。
- 解像度「HD」をご使用の場合は、ビットレート設定を「1Mbps」以上としてください。
- 解像度「HVGAW」をご使用の場合は、「長時間モード」を選択してください。

1.3.1.13. 固定ドーム型カメラ(P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE)

固定ドーム型カメラ(P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE)の設定方法を以下に示します。

弊社からお買い上げ頂いた固定ドーム型カメラ(P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5512/5100/8200/5000C)のCH1に接続可能なように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.13.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUB やインジェクタ等での PoE 給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS 社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.13.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
 - (2)「上下反転」
 - (3)「画角/フォーカスを調整する」
 - (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
 - (5)「Day/Night 設定を変更する」
 - (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.13.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(9)Onvif メディアプロファイル設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は [(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

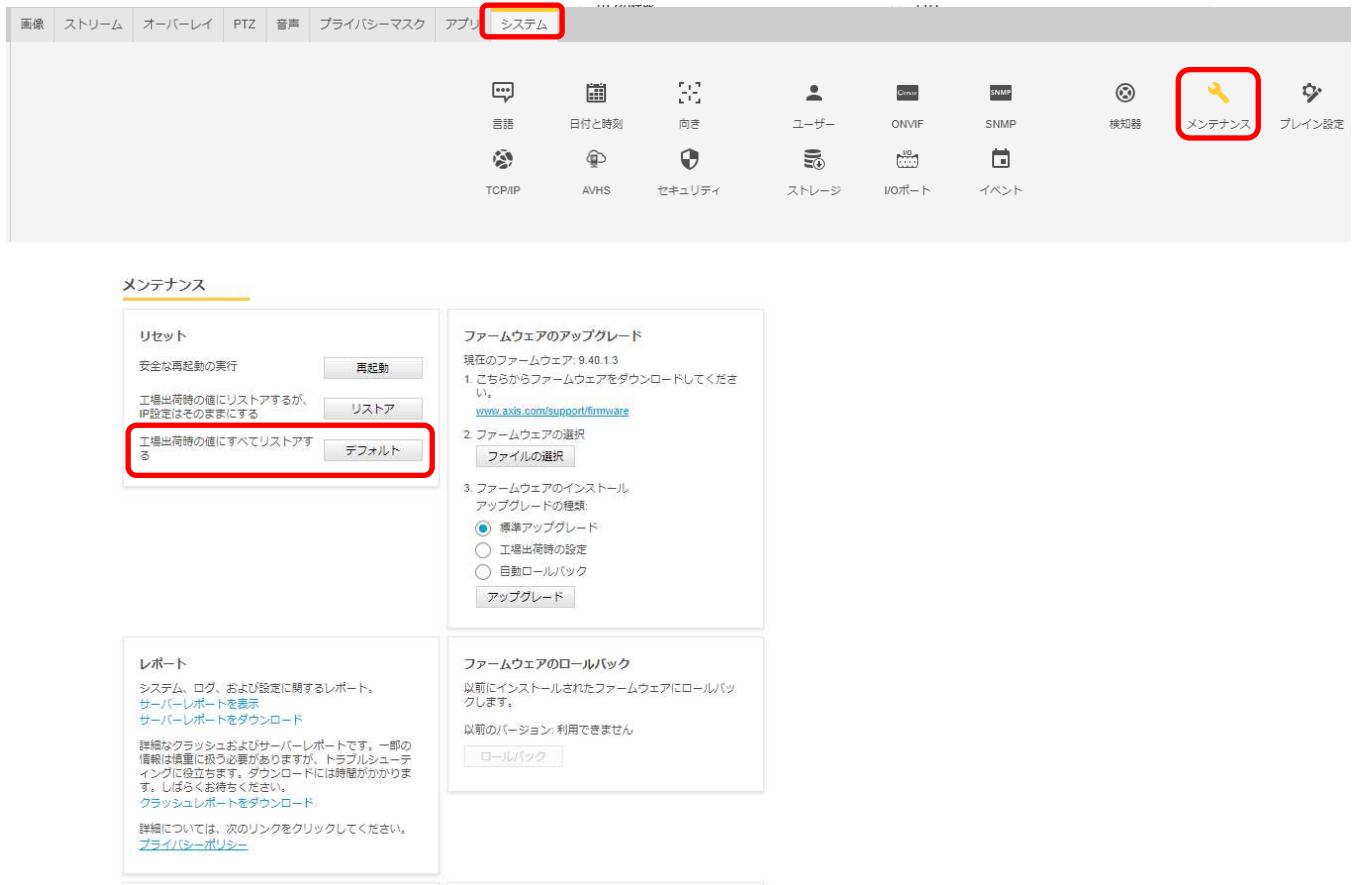
②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

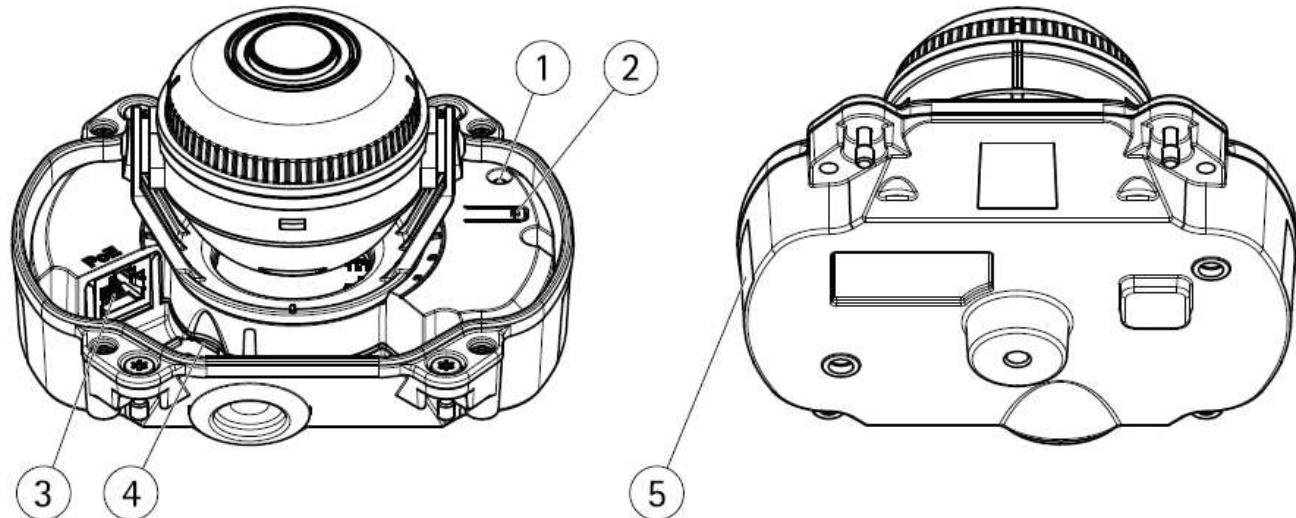
初期化時は「デフォルト」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。

その後 LED 消灯で起動完了です。



【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 ステータス/LEDインジケーター
2 コントロールボタン
3 ネットワークコネクタ (PoE)
4 SDメモリーカードスロット
5 型番 (P/N) とシリアル番号 (S/N)

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。



- ③電源周波数を「50Hz」に、キャプチャーモードは「1080p @25/30fps」に設定します。



④IP アドレスとタイムゾーンを設定します。

[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」に設定します。

[タイムゾーン]は「アジア/東京」を選択します。



!
各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。

!
各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。

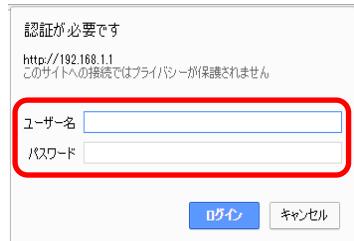
■P3245-V



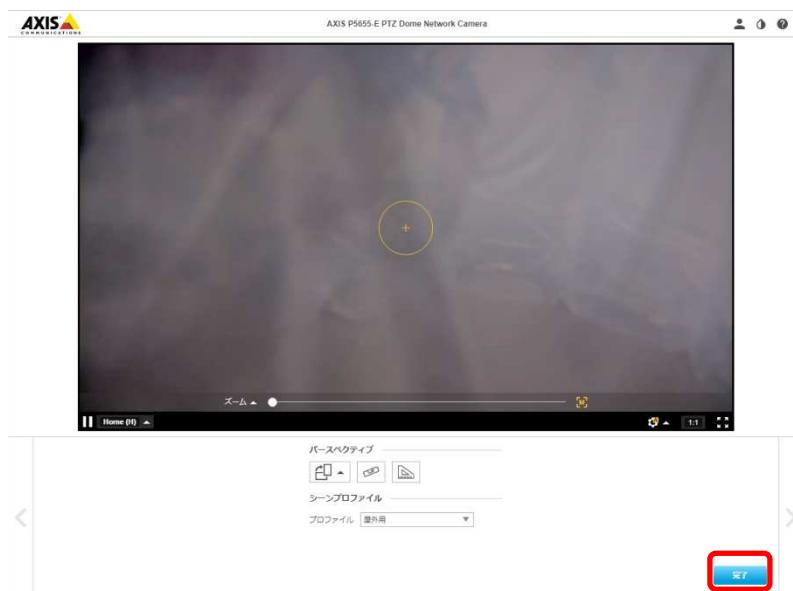
■P3245-LV/P3245-LVE



認証を求められたら上記設定のとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力する。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[システム]タブ → [ONVIF]アイコンを押します。

■P3245-V



■P3245-LV/P3245-LVE



- ④表示される[ONVIF]アイコン画面で、「+」ボタンを押します。
 ⑤[ONVIF ユーザー]画面にて、[ユーザー名]に「admin」、[新しいパスワード]と[パスワードの再入力]に
 「admin」を入力し、[ユーザーグループ]で「管理者」を選択します。
 ⑥その後「保存」を押し、[ONVIF ユーザー]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

ONVIF

ONVIFユーザー

+

ONVIF

ONVIFユーザー

新規 管理者

ユーザー名

新しいパスワード

パスワードの再入力

パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

ユーザーグループ

キャンセル 保存

ONVIF

ONVIFユーザー

新規 管理者

ユーザー名

新しいパスワード

パスワードの再入力

パスワードの強度: 弱

ユーザーグループ

キャンセル 保存

ONVIF

ONVIFユーザー

admin 管理者

(4)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択します。

④[Zipstream]で「オフ」を選択します。

■P3245-V



■P3245-LV/P3245-LVE



⑤[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。



(5)画像

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[画像]タブを選択して、[シャープネス]を「30」に変更する。

■P3245-V



■P3245-LV/P3245-LVE



(6)プレイン設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。

■P3245-V



■P3245-LV/P3245-LVE



④左列にある[Network]を押します。

The screenshot shows the 'Plain Setting' configuration page. On the left, there is a sidebar with various tabs: Audio, AudioSource, Bandwidth, BasicDeviceInfo, Brand, HTTPS, Image, ImageSource, Input, IOPort, Layout, MediaClip, and Network. The 'Network' tab is highlighted with a red box. The main area is titled 'Network' and contains the following fields:

- Boot proto: NONE
- Broadcast: 192.168.0.255
- Default router: 0.0.0.0
- DNS server1: 0.0.0.0
- DNS server2: 0.0.0.0
- Domain name: (empty)
- IPv4 Enabled
- Host name: axis-accc8eeddf41
- IP address: 192.168.1.1
- Connection type: Auto-Negotiate
- Subnet mask: 255.255.255.0
- top ECN: (empty)

⑤右列を下にスクロールし、[RTSP]項目の「Allow client transport settings」にチェックを入れます。

RTSP

Allow client transport settings

AuthenticateOverHTTP - has no effect

Authenticate RTSP over HTTP

Enabled

⑥さらに下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑦設定が保存されていることを確認してください。

⑧次に、左列にある[Image]を押します。

プレイン設定

変更の効果を確認するために、Webページを更新するか、カメラを再起動する必要が生じる場合があります。

Audio

AudioSource

Bandwidth

BasicDeviceInfo

Brand

HTTPS

Image

Image Source

Input

IOPort

Layout

MediaClip

Network

Date format
YYYY-MM-DD

Max viewers
20 [0..20]

Motion detection
yes

Nbr of configs
1

Overlay path
/etc/overlays/axis(128x44).ovl

Own date format
%F

Own date format enabled

Own time format
%T

Own time format enabled

Privacy mask type
None

Referrers

Referrers enabled

Time format

⑨右列を下にスクロールし、[IO]についての設定項目中、[H.264]の「PS enabled」にチェックを入れます。

IO

Enabled

H264

Profile
High

PS enabled

⑩右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Max bitrate]に「6144」を入力します。

RateControl

Max bitrate
6144 [0..50000]

⑪右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Mode]のプルダウンで「Constant bit rate(DEPRECATED)」を選択します。

Mode
Constant bit rate (DEPRECATED)

⑫右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Priority]に「Frame rate priority」を選択します。

Priority
Frame rate priority

⑬右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Target bitrate]に「6144」を入力します。

Target bitrate
6144 [0..50000]

⑭右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[SizeControl]の[Max frame size]に「6」を入力します。

SizeControl

Max frame size
6 [0..]

⑮さらに下にスクロールし、「保存」を押します。

キャンセル 保存

⑯設定が保存されていることを確認してください。

(8) Onvif メディアプロファイル設定

((7)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.2」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコンを押します。

■P3245-V



■P3245-LV/P3245-LVE



④[ONVIF] ブラウザで、[ONVIF メディアプロファイル]の下の「+」ボタンを押下します。

The screenshot shows the ONVIF configuration page. On the left, under 'ONVIFユーザー', there is a dropdown menu showing 'admin 管理者'. Below it is a '+' button. On the right, under 'ONVIFメディアプロファイル', there are two entries: 'profile_1 h264' (プロファイルトークン: profile_1_h264) and 'profile_1 jpeg' (プロファイルトークン: profile_1_jpeg). A large red box highlights the '+' button at the bottom center of the page.

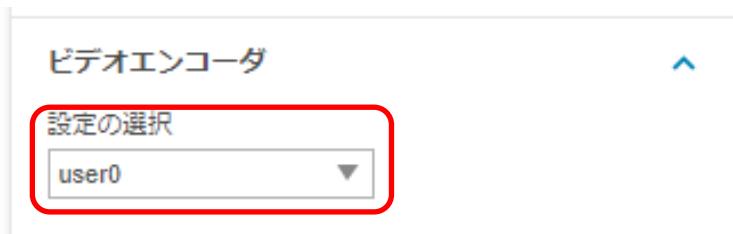
⑤[ONVIF メディアプロファイル] ブラウザが表示されるので、[プロファイル名]に「dummy」と入力します。

The screenshot shows a '新規' (New) dialog box. It has a single input field labeled 'プロファイル名' containing the text 'dummy'. A large red box highlights the input field.

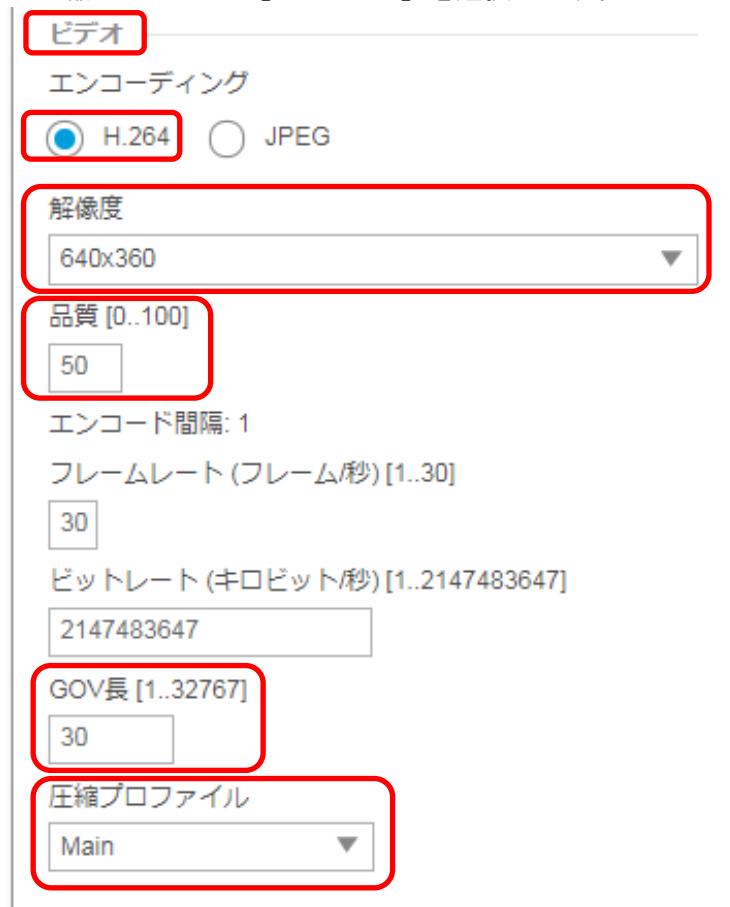
⑥[ビデオソース] で、[設定の選択] のプルダウンで「user0」を選択します。



⑦[ビデオエンコーダ] で、[設定の選択] のプルダウンで「user0」を選択します。



⑧[ビデオ] で、[エンコーディング] は「H.264」、解像度は「640x360」、「品質」は「50」、「GOV長」は「30」、「圧縮プロファイル」は「Main」を選択します。



⑨「保存」を押下します。



⑩[システム]タブ → [ONVIF]アイコンを押します。

■P3245-V



■P3245-LV/P3245-LVE



⑪[ONVIF]ブラウザで、[ONVIFメディアプロファイル]の下の「profile1 h264」ボタンを選択します。

ONVIF

The screenshot shows the ONVIF configuration page. On the left, there's a list of users: admin (管理者). On the right, under 'ONVIFメディアプロファイル', there are three items: 'profile_1 h264' (プロファイルトークン: profile_1_h264) which is highlighted with a red box; 'profile_1 jpeg' (プロファイルトークン: profile_1_jpeg); and 'dummy' (プロファイルトークン: profile0). A '+' button is at the bottom right of the list.

⑫[ビデオ] の「品質」を「30」へ変更します。

The screenshot shows the Video settings dialog. It has tabs for ビデオ and エンコーディング. Under エンコーディング, H.264 is selected. Under 解像度, 1920x1080 is selected. Under 品質 [0..100], the value 30 is entered in the input field, which is highlighted with a red box.

⑬最後に「保存」を押下します。



1.3.1.13.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1) NR-5000/5041/5080/5512/5100/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

- ① カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ② カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ③ フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。
- ④ 撮像映像(動きが多い場合等)、設定ビットレートによっては当該カメラの配信データ量が設定値を超過し、計画した記録日数を下回る可能性があります。
主に低ビットレート(1Mbps 以下)を使用したシステムの場合、影響を受ける可能性があります。
以下の設定を推奨します。

- 解像度「FullHD」をご使用の場合は、ビットレート設定を「1.5Mbps」以上として下さい。
- 解像度「HD」をご使用の場合は、ビットレート設定を「1Mbps」以上として下さい。
- 解像度「HVGAW」をご使用の場合は、「長時間モード」を選択してください。

1.3.1.14. 固定ボックス型カメラ(M1135、M1135-E)

固定ボックス型カメラ(M1135、M1135-E)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた、固定ボックス型カメラ(M1135、M1135-E)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5512/5100/8200/5000C)の CH1 に接続可能のように、事前設定がされています。

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.1.14.1.に示す初期設定が必要です(本カメラは PoE+対応 HUB や PoE+対応インジェクタ等での PoE+給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS 社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.14.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.14.1. 初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(9)Onvif メディアプロファイル設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1) 初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「デフォルト」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。

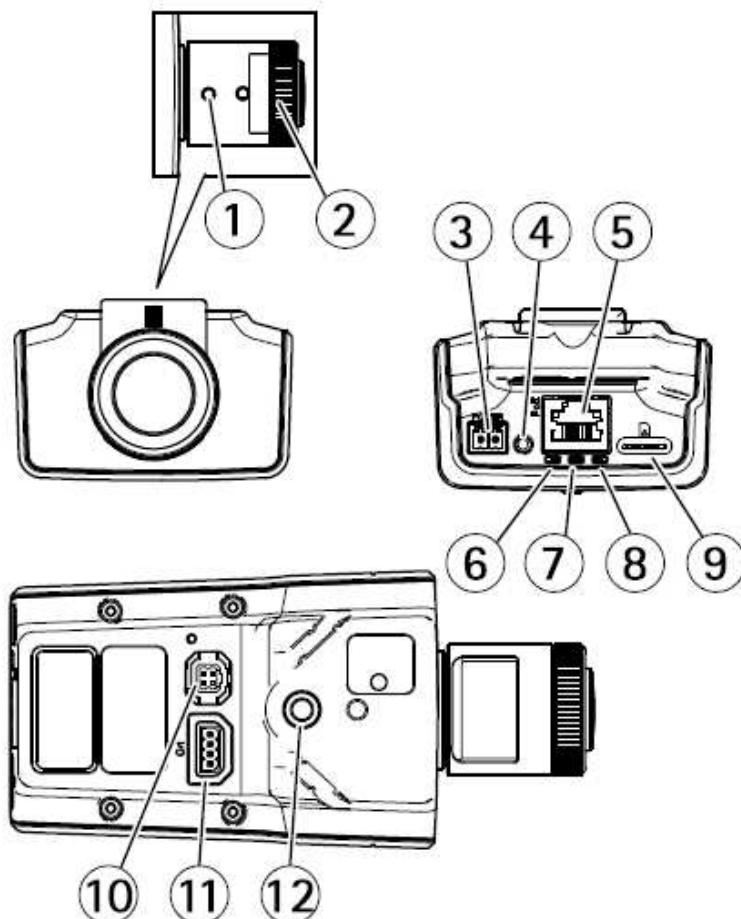
その後 LED 消灯で起動完了です。

The screenshot shows the Axis camera configuration interface. At the top, there is a navigation bar with tabs: 画像 (Image), ストリーム (Stream), オーバーレイ (Overlay), PTZ, 音声 (Audio), プライバシーマスク (Privacy Mask), アプリ (App), and システム (System). The システム tab is highlighted with a red box. Below the navigation bar is a toolbar with various icons: 言語 (Language), 日付と時刻 (Date and Time), 向き (Orientation), ユーザー (User), ONVIF, SNMP, 検知器 (Detector), and メンテナンス (Maintenance). The メンテナンス icon is also highlighted with a red box. The main content area is divided into several sections:

- メンテナンス**: This section contains two sub-sections:
 - リセット**: Includes buttons for "安全な再起動の実行" (Safe Reboot) and "再起動" (Reboot). It also has a button for "工場出荷時の値にリストアするが、IP設定はそのままにする" (Restore to factory settings while keeping IP settings) and a "リストア" (Restore) button. The "工場出荷時の値にすべてリストアする" (Restore all to factory settings) button is highlighted with a red box.
 - ファームウェアのアップグレード**: Step-by-step instructions for upgrading the firmware:
 1. こちらからファームウェアをダウンロードしてください。www.axis.com/support/firmware
 2. ファームウェアの選択
 3. ファームウェアのインストール
アップグレードの種類:
 - 標準アップグレード
 - 工場出荷時の設定
 - 自動ロールバック
- レポート**: Includes a link to "サーバーレポートを表示" (View server report) and "サーバーレポートをダウンロード" (Download server report).
- ファームウェアのロールバック**: Includes a link to "ロールバック" (Rollback).

【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 ズーム調節レバー
- 2 フォーカスリング
- 3 電源コネクタ
- 4 コントロールボタン
- 5 ネットワークコネクタ
- 6 電源LED
- 7 ステータスLED
- 8 ネットワークLED
- 9 microSDカードスロット
- 10 アイリスコネクタ
- 11 I/Oコネクタ
- 12 1/4" ネジ穴

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。



- ③電源周波数は「50Hz」に設定する。



④IP アドレスとタイムゾーンを設定します。

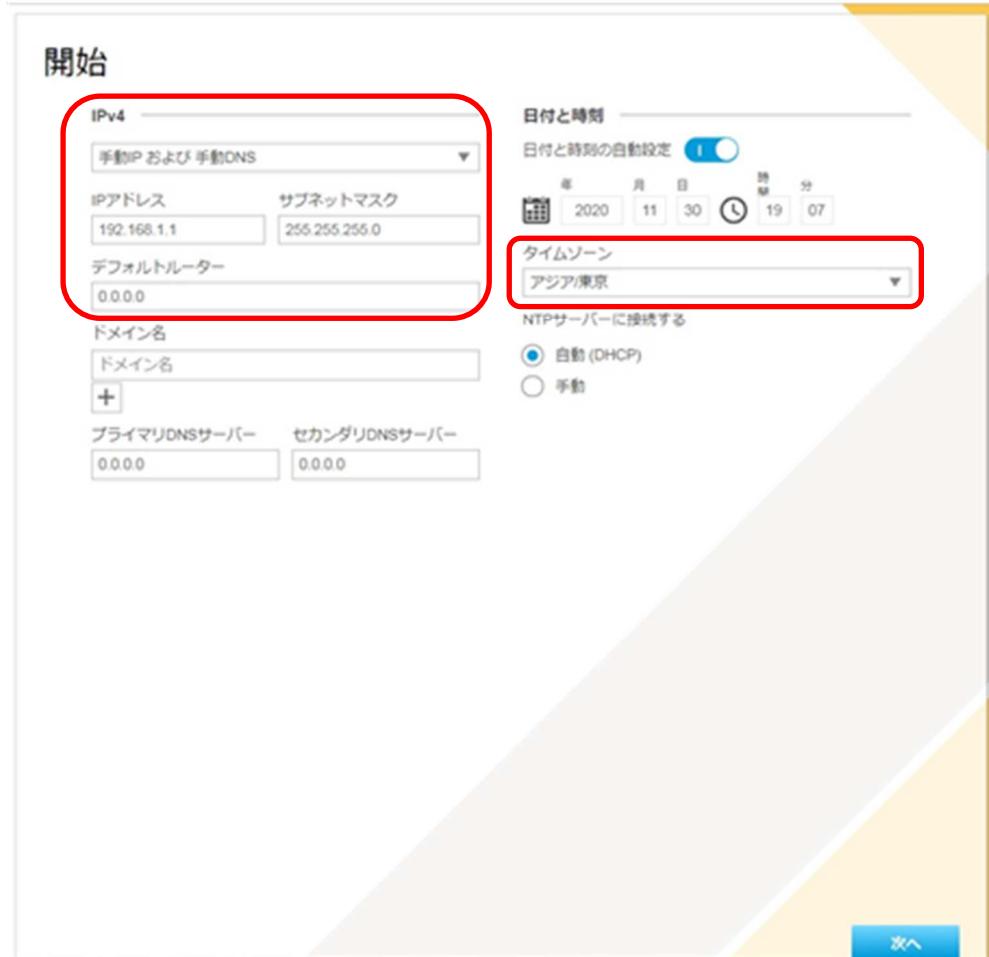
[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」に設定します。

[タイムゾーン]は「アジア/東京」を選択します。

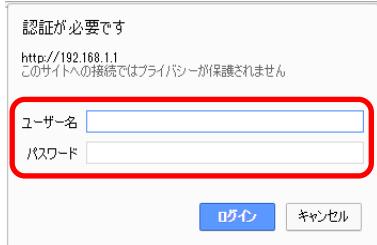


①各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。

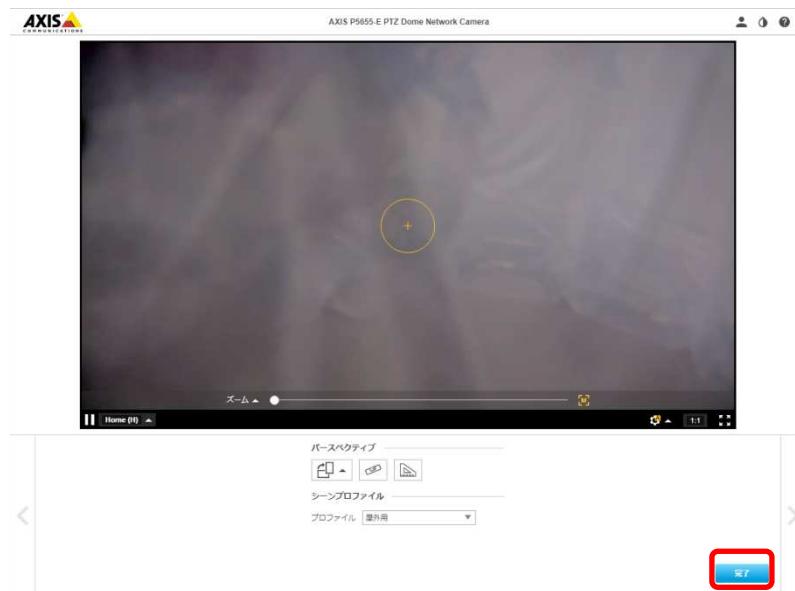
②各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら上記設定のとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力する。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



- ④表示される[ONVIF]アイコン画面で、「+」ボタンを押します。
- ⑤[ONVIF ユーザー]画面にて、[ユーザー名]に「admin」、[新しいパスワード]と[パスワードの再入力]に「admin」を入力し、[ユーザーグループ]で「管理者」を選択します。
- ⑥その後「保存」を押し、[ONVIF ユーザー]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

The image shows a user interface for managing ONVIF users, likely from a Mitsubishi Electric product. It consists of three main windows:

- Main Window (Top Left):** Shows a list of users under the heading "ONVIF ユーザー". A red box highlights the "+" button.
- Edit Window (Top Right):** A modal window titled "新規" (New) for creating a user. It includes fields for "ユーザー名" (User Name) with value "新規", "新しいパスワード" (New Password) with value "*****", "パスワードの再入力" (Re-enter Password) with value "*****", and "ユーザー グループ" (User Group) set to "管理者". A red arrow points from the "+" button in the main window to this modal.
- Confirmation Window (Bottom Right):** A modal window titled "ONVIF" showing the newly created user "admin" under "ONVIF ユーザー". A red arrow points from the "保存" (Save) button in the edit window to this confirmation screen.

(4)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[ストリーム]タブを選択します。
- ④[Zipstream]で「オフ」を選択します。



- ⑤[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。



(5)画像

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。
- ② ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③ [画像]タブを選択して、[シャープネス]を「30」に変更する。



(6)プレイン設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④左列にある[Network]を押します。

変更の効果を確認するために、Webページを更新するか、カメラを再起動する必要が生じる場合があります。

| | | |
|-----------------|-----------------|-------------------------------------|
| Audio | Boot proto | NONE |
| AudioSource | Broadcast | 192.168.0.255 |
| Bandwidth | Default router | 0.0.0.0 |
| BasicDeviceInfo | DNS server1 | 0.0.0.0 |
| Brand | DNS server2 | 0.0.0.0 |
| HTTPS | Domain name | |
| Image | IPv4 Enabled | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ImageSource | Host name | axis-accc8eeddf41 |
| Input | IP address | 192.168.1.1 |
| IOPort | Connection type | Auto-Negotiate |
| Layout | Subnet mask | 255.255.255.0 |
| MediaClip | top ECN | |
| Network | | |

⑤右列を下にスクロールし、[RTSP]項目の「Allow client transport settings」にチェックを入れます。

RTSP

Allow client transport settings

AuthenticateOverHTTP - has no effect

Authenticate RTSP over HTTP

Enabled

⑥さらに下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑦設定が保存されていることを確認してください。

⑧次に、左列にある[Image]を押します。

プレイン設定

The 'Image' section is highlighted with a red box. The page lists various configuration categories on the left: Audio, AudioSource, Bandwidth, BasicDeviceInfo, Brand, HTTPS, Image, ImageSource, Input, IOPort, Layout, MediaClip, and Network. On the right, there are several configuration fields for the 'Image' section, including Date format (YYYY-MM-DD), Max viewers (20 [0..20]), Motion detection (yes), Nbr of configs (1), Overlay path (/etc/overlays/axis(128x44).ovl), Own date format (%F), Own time format (%T), Privacy mask type (None), Referrers, and Time format.

⑨右列を下にスクロールし、[IO]についての設定項目中、[H.264]の「PS enabled」にチェックを入れます。

The 'IO' section is highlighted with a red box. Under 'IO', the 'Enabled' checkbox is checked. The 'H264' section is also highlighted with a red box. Under 'H264', the 'Profile' dropdown is set to 'High'. The 'PS enabled' checkbox is checked and highlighted with a red box.

⑩右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Max bitrate]に「6144」を入力します。

RateControl

Max bitrate
6144 [0..50000]

⑪右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Mode]のプルダウンで「Constant bit rate(DEPRECATED)」を選択します。

Mode
Constant bit rate (DEPRECATED)

⑫右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Priority]に「Frame rate priority」を選択します。

Priority
Frame rate priority

⑬右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Target bitrate]に「6144」を入力します。

Target bitrate
6144 [0..50000]

⑭右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[SizeControl]の[Max frame size]に「6」を入力します。

SizeControl

Max frame size
6 [0..]

⑮さらに下にスクロールし、「保存」を押します。

キャンセル 保存

⑯設定が保存されていることを確認してください。

(8) Onvif メディアプロファイル設定

((7)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.3」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコンを押します。



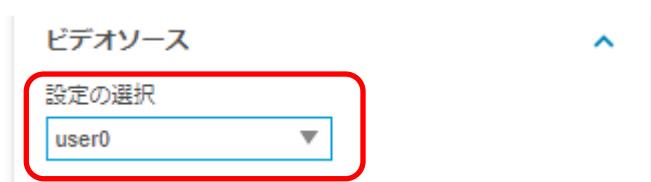
④[ONVIF] ブラウザで、[ONVIF メディアプロファイル] の下の「+」ボタンを押下します。



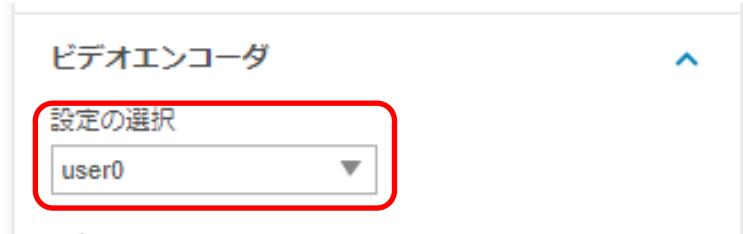
⑤[ONVIF メディアプロファイル] ブラウザが表示されるので、[プロファイル名]に「dummy」と入力します。



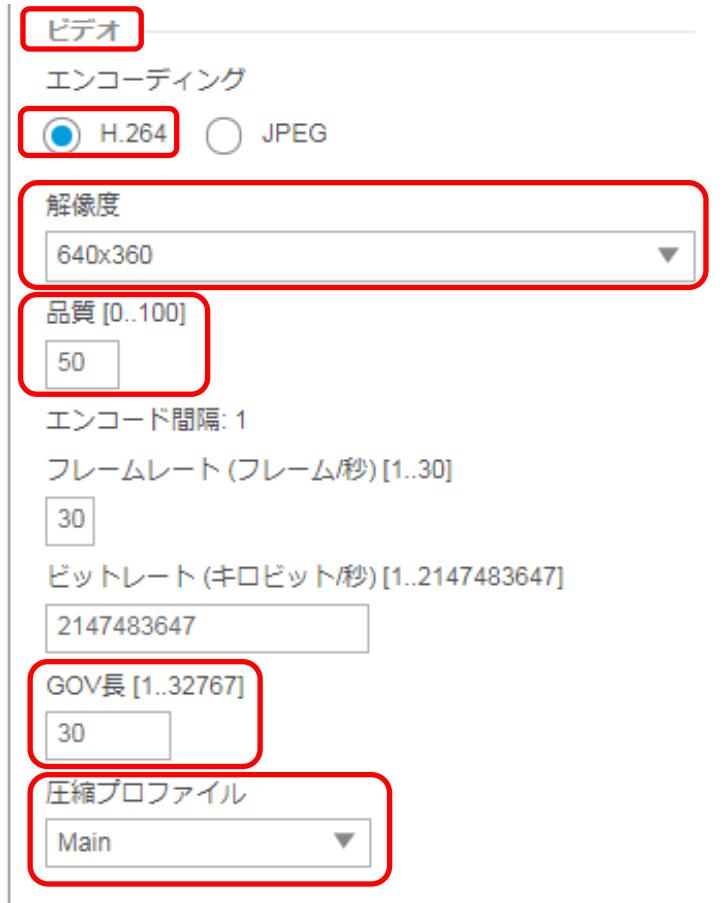
⑥[ビデオソース] で、[設定の選択] のプルダウンで「user0」を選択します。



⑦[ビデオエンコーダ] で、[設定の選択] のプルダウンで「user0」を選択します。



⑧[ビデオ] で、[エンコーディング] は「H.264」、解像度は「640x360」、「品質」は「50」、「GOV長」は「30」、「圧縮プロファイル」は「Main」を選択します。



⑨ 「保存」を押下します。



⑩[システム]タブ → [ONVIF]アイコンを押します。



⑪[ONVIF]ブラウザで、[ONVIFメディアプロファイル]の下の「profile_1 h264」ボタンを選択します。

A screenshot of the ONVIF configuration page. On the left, under 'ONVIFユーザー' (ONVIF User), there is a dropdown menu set to 'admin 管理者'. Below it is a '+' button. On the right, under 'ONVIFメディアプロファイル' (ONVIF Media Profile), there are three options: 'profile_1 h264' (selected and highlighted with a red box), 'profile_1 jpeg', and 'dummy'. Each option has a dropdown arrow to its right. Below each option is a '+' button. The URL in the address bar is '1.1.1/Settings/system#ONVIF'.

⑫[ビデオ] の「品質」を「30」へ変更します。

A screenshot of the video encoding settings. It shows the following configuration: 'エンコーディング' (Encoding) set to 'H.264' (radio button selected), '解像度' (Resolution) set to '1920x1080', and '品質 [0..100]' (Quality [0..100]) set to '30'. The '30' value is highlighted with a red box. The URL in the address bar is '1.1.1/Settings/system#Video'.

⑬最後に「保存」を押下します。



1.3.1.14.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1) NR-5000/5041/5080/5512/5100/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

- ① カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ② カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ③ フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。
- ④ 撮像映像(動きが多い場合等)、設定ビットレートによっては当該カメラの配信データ量が設定値を超過し、計画した記録日数を下回る可能性があります。
主に低ビットレート(1Mbps 以下)を使用したシステムの場合、影響を受ける可能性があります。
以下の設定を推奨します。

- 解像度「FullHD」をご使用の場合は、ビットレート設定を「1.5Mbps」以上として下さい。
- 解像度「HD」をご使用の場合は、ビットレート設定を「1Mbps」以上として下さい。
- 解像度「HVGAW」をご使用の場合は、「長時間モード」を選択してください。

1.3.1.15. 固定ドーム型カメラ(P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)【カメラファームウェアバージョン;8.40.3】

固定ドーム型カメラ(P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた固定ドーム型カメラ(P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)【カメラファームウェアバージョン;8.40.3】には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能のように、事前設定がされています。NR-5200/5280に接続する場合は、1.3.1.3.1(9)の設定を必ず実施ください。

初期化する場合や接続CHを変更する場合は、予めブラウザ経由で1.3.1.3.1に示す初期設定が必要です(PoE-HUBやインジェクタ等でのPoE給電が必要です)。

また、下記(1)～(6)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で1.3.1.3.2に示す設定変更が可能です。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.3.3に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「Flicker[50Hz/60Hz]の変更」
- (2)「上下反転」
- (3)「画角/フォーカスを調整する」
- (4)「WDR(ワイドダイナミックレンジ)を変更する」
- (5)「Day/Night 設定を変更する」
- (6)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.15.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(9)Onvif メディアプロファイル設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は [(5)ネットワーク設定]のみを実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。

④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「デフォルト」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。

その後 LED 消灯で起動完了です。



メンテナンス

リセット

安全な再起動の実行

再起動

工場出荷時の値にリストアする
が、IP設定はそのままにする

リストア

工場出荷時の値にすべてリストア
する

デフォルト

ファームウェアのアップグレード

1. ファームウェアを選択:

ファイルの選択

2. ファームウェアをインストール:

アップグレード

この作業はしばらくかかります。電源を切らないでください。アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

ファームウェアバージョン: 8.40.3

シリアル番号: ACCC8EE9BF33

こちらからファームウェアをダウンロードしてください。
www.axis.com/support/firmware

【IP アドレスがわからない場合】

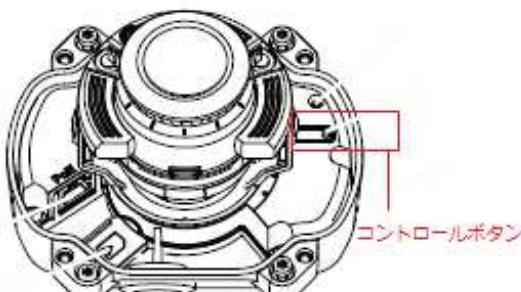
①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。

②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。

③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。

④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。

(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

root

パスワード
パスワードの再入力
パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

日本語

ログインの作成



認証を求められたら上記設定のとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力する。

ログイン

http://192.168.0.90
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名 |
パスワード |

ログイン キャンセル



③電源周波数を「50Hz」に、キャプチャーモードを「1080p 1920x1080(16:9)@25/30fps(WDR)」に、設置位置を「天井」に設定します。

開始

電源周波数を選択してください
50 Hz ▾

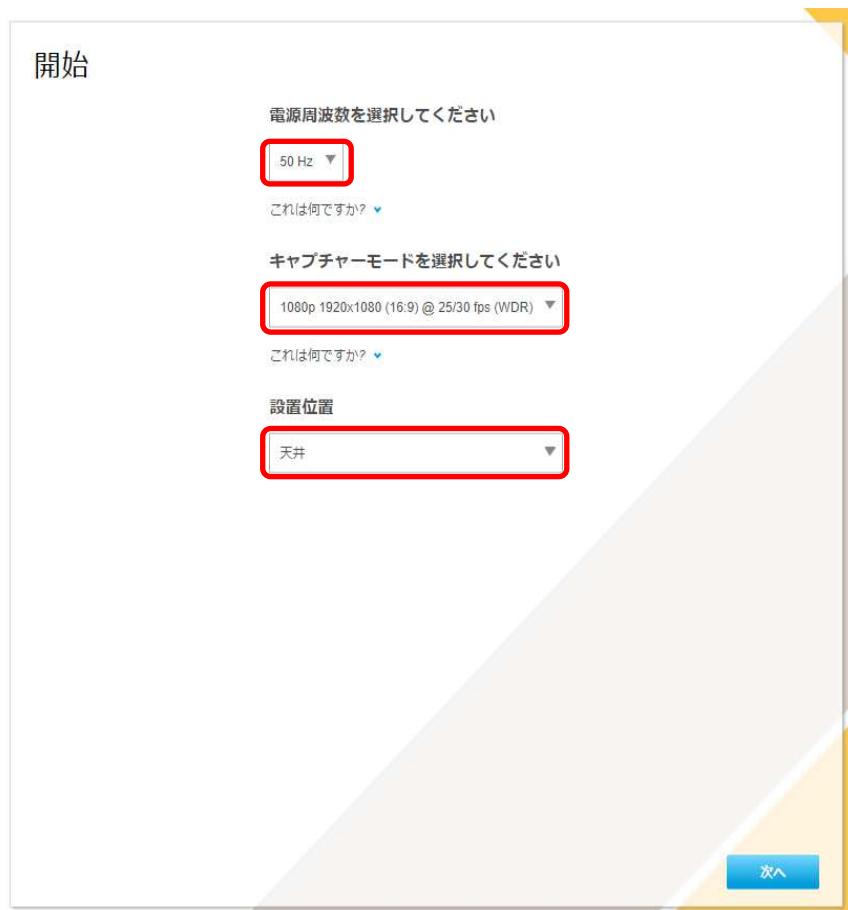
これは何ですか? ▾

キャプチャーモードを選択してください
1080p 1920x1080 (16:9) @ 25/30 fps (WDR) ▾

これは何ですか? ▾

設置位置
天井 ▾

次へ



④IP アドレスとタイムゾーンを設定します。

[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」 に設定します。

[タイムゾーン]は「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択します。

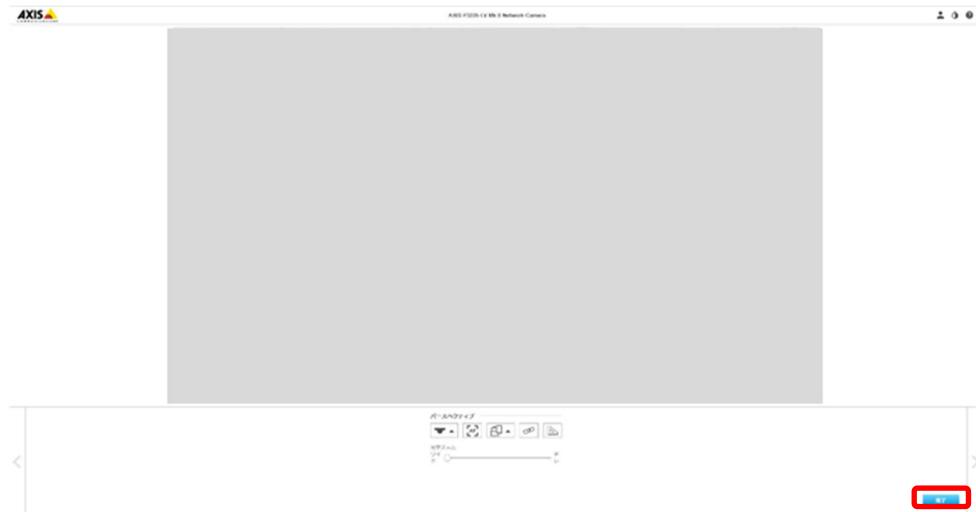


各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。

!各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。

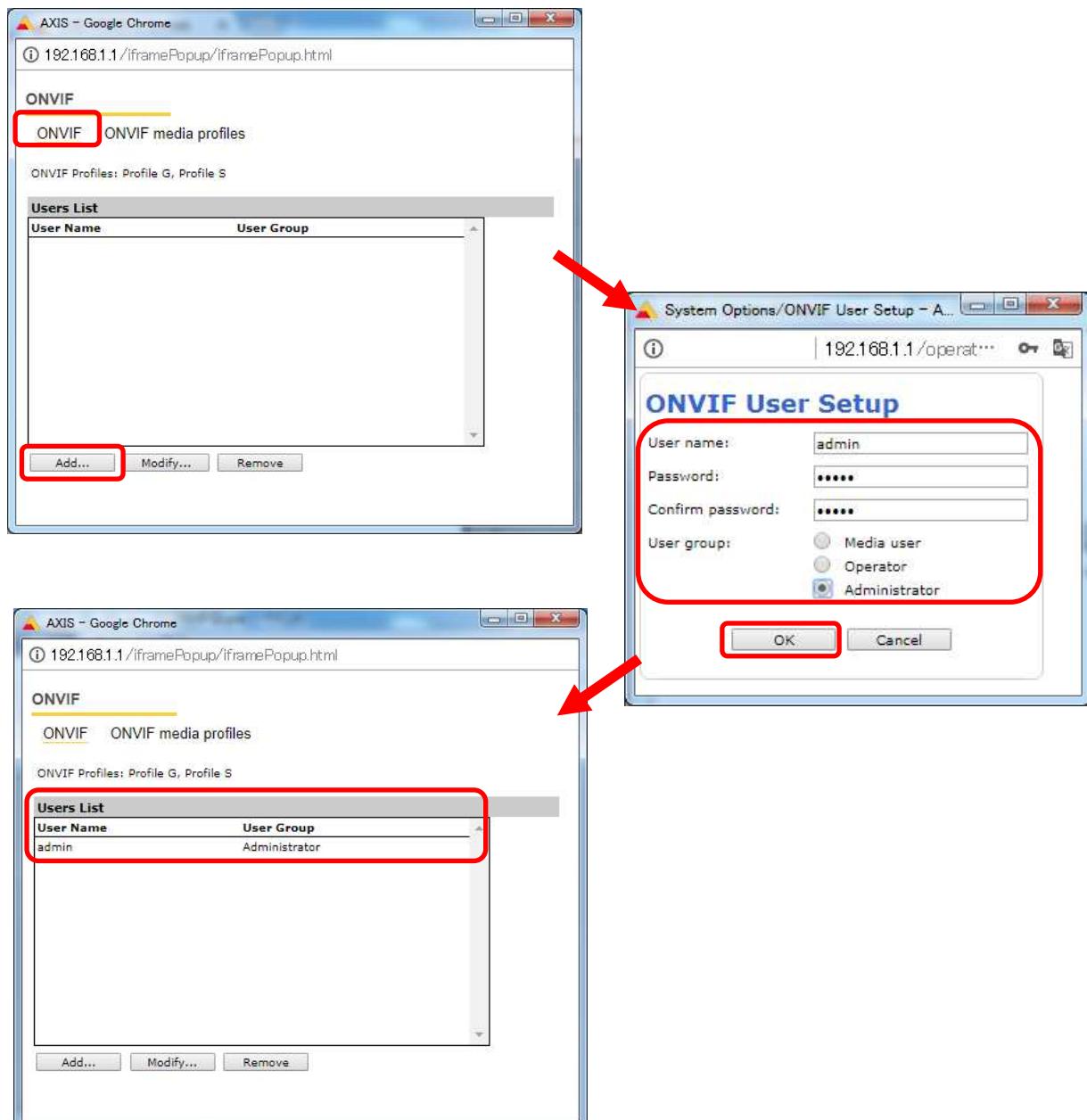


68.1.1/#

④表示される[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF]を選択し、[Users List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

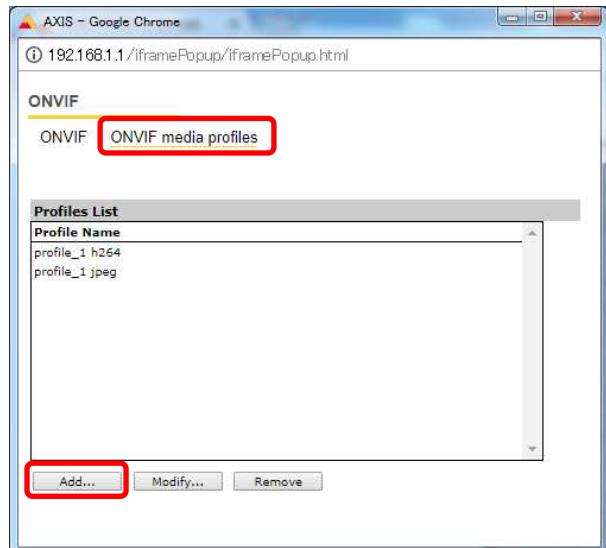
⑤[ONVIF User Setup]ブラウザにて、[User name:]に「admin」、[Password:]に「admin」を入力し、
[User group:]で「Administrator」を選択します。

⑥その後「OK」を押し、[Users List]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。



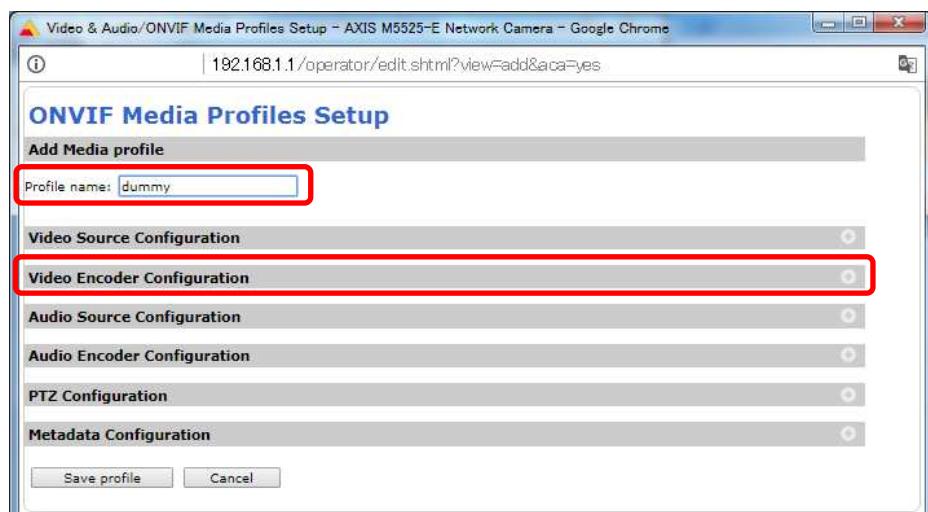
⑦ONVIF media profiles の設定をします。

[ONVIF]ブラウザで、[ONVIF media profiles]を選択し、[Profile List]の下の「Add...」ボタンを押下します。

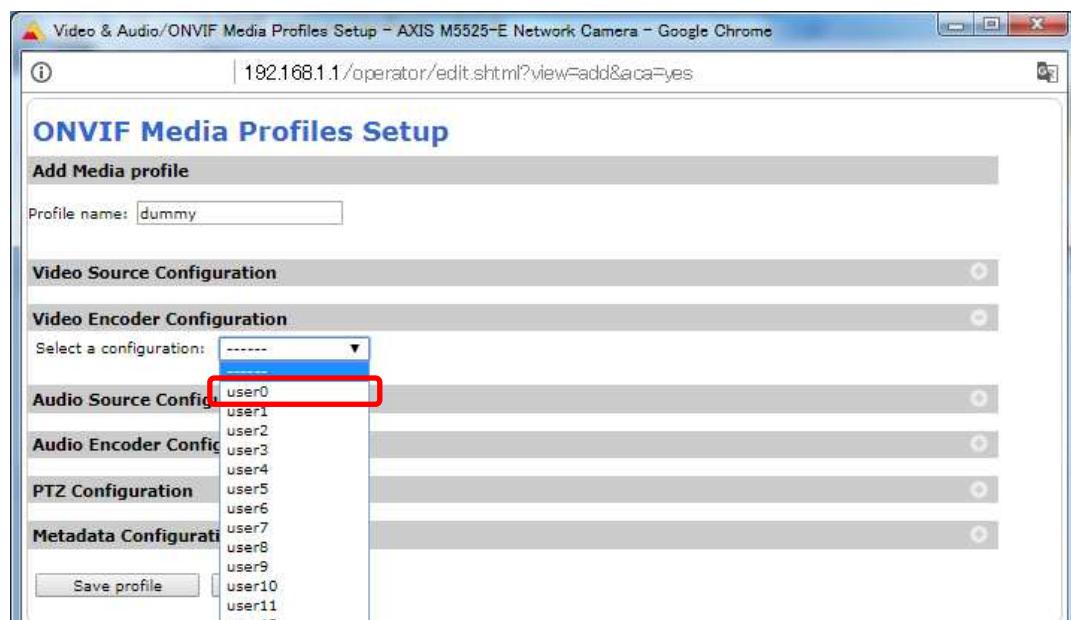


⑧[ONVIF Media Profiles Setup]ブラウザが表示されるので、[Profile name:]に「dummy」と入力します。

[Video Encoder Configuration]の右側にある「+」を押下します。



⑨プルダウンで「user0」を選択します。



⑩[Video Encoder Configuration]で[user0]の詳細が表示されるので、「Edit configuration」を押下します。

ONVIF Media Profiles Setup

Add Media profile

Profile name: dummy

Video Source Configuration

Video Encoder Configuration - user0

Select a configuration: user0 Number of profiles using this configuration: 0

General

RTSP session timeout: PT60S

Multicast

IP version: IPv4 Address: 0.0.0.0

Port: 0 Autostart: false Time to Live (TTL): 5

Video

Encoding: JPEG Resolution: 1920x1080 Quality: 70

Bitrate (kbit/s): 214748 Encoding interval: 1 Frame rate (fps): 25

⑪[Video]で、

[Encoding:]には「H.264」を、[Resolution:]には「640x360」、[H.264 profile:]には「Main」を選択する。

[Quality:]には「50」、[GOV length:]には「30」を入力し、最後に「Save configuration」を押す。

ONVIF Media Profiles Setup

Add Media profile

Profile name: dummy

Video Source Configuration

Video Encoder Configuration - user0

Select a configuration: user0 Number of profiles using this configuration: 0

General

RTSP session timeout: PT60S

Multicast

IP version: IPv4 Address: 0.0.0.0 (224.0.0.0 - 239.255.255.255)

Port: 0 (1024..65534) Autostart: Time to Live (TTL): 5 (1..255)

Video

Encoding: H264 Resolution: 640x360 Quality: 50 (0..100)

Bitrate (kbit/s): 214748 Encoding interval: 1 Frame rate (fps): 25 (1..25)

GOV length: 30 (1..32767) H.264 profile: Main

⑫変更が反映されていることを確認し、「Save profile」を押下します。

ONVIF Media Profiles Setup

Add Media profile

Profile name: dummy

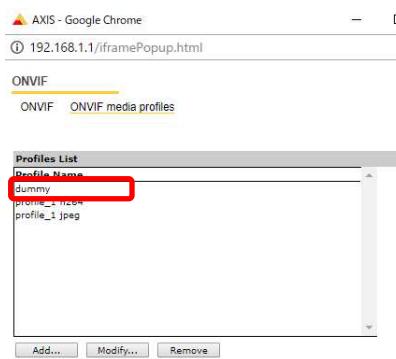
Video Source Configuration

Video Encoder Configuration - user0

| | | |
|-----------------------------|----------------------|--|
| Select a configuration: | user0 | Number of profiles using this configuration: 0 |
| General | | |
| RTSP session timeout: PT60S | | |
| Multicast | | |
| IP version: IPv4 | Address: 0.0.0.0 | |
| Port: 0 | Autostart: false | Time to Live (TTL): 5 |
| Video | | |
| Encoding: H264 | Resolution: 640x360 | Quality: 50 |
| Bitrate (kbit/s): 214748 | Encoding interval: 1 | Frame rate (fps): 25 |
| GOV length: 30 | H.264 profile: Main | |

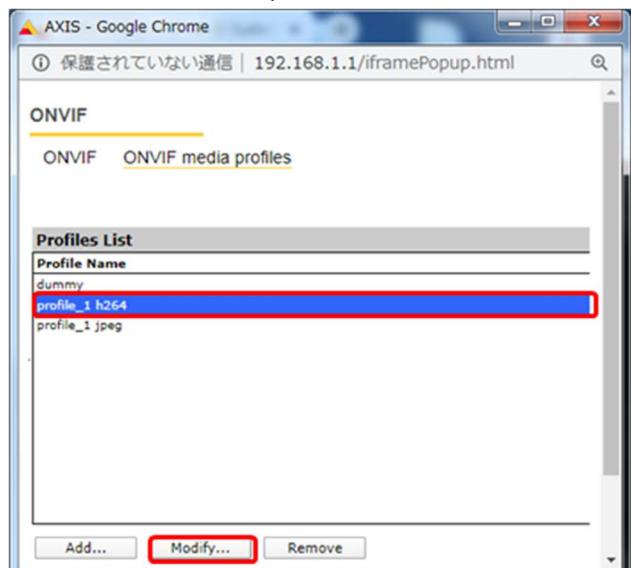
Metadata Configuration

「dummy」が追加されていることを確認する。

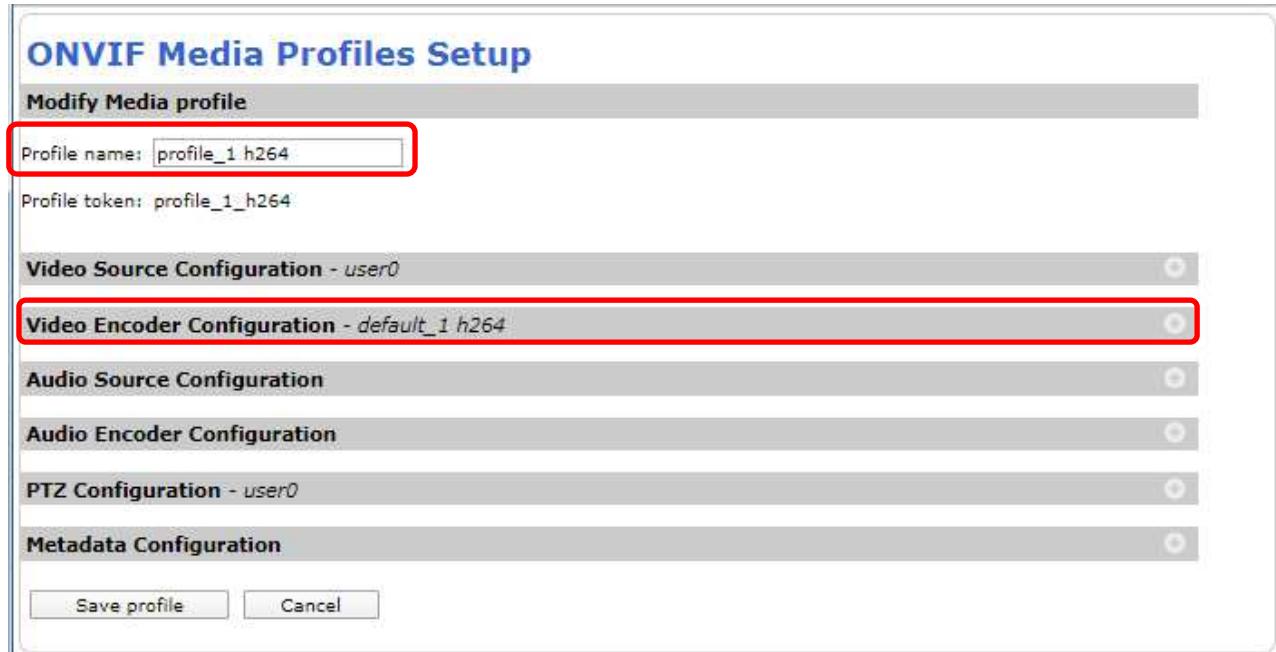


⑬ONVIF media profiles の設定変更をします。

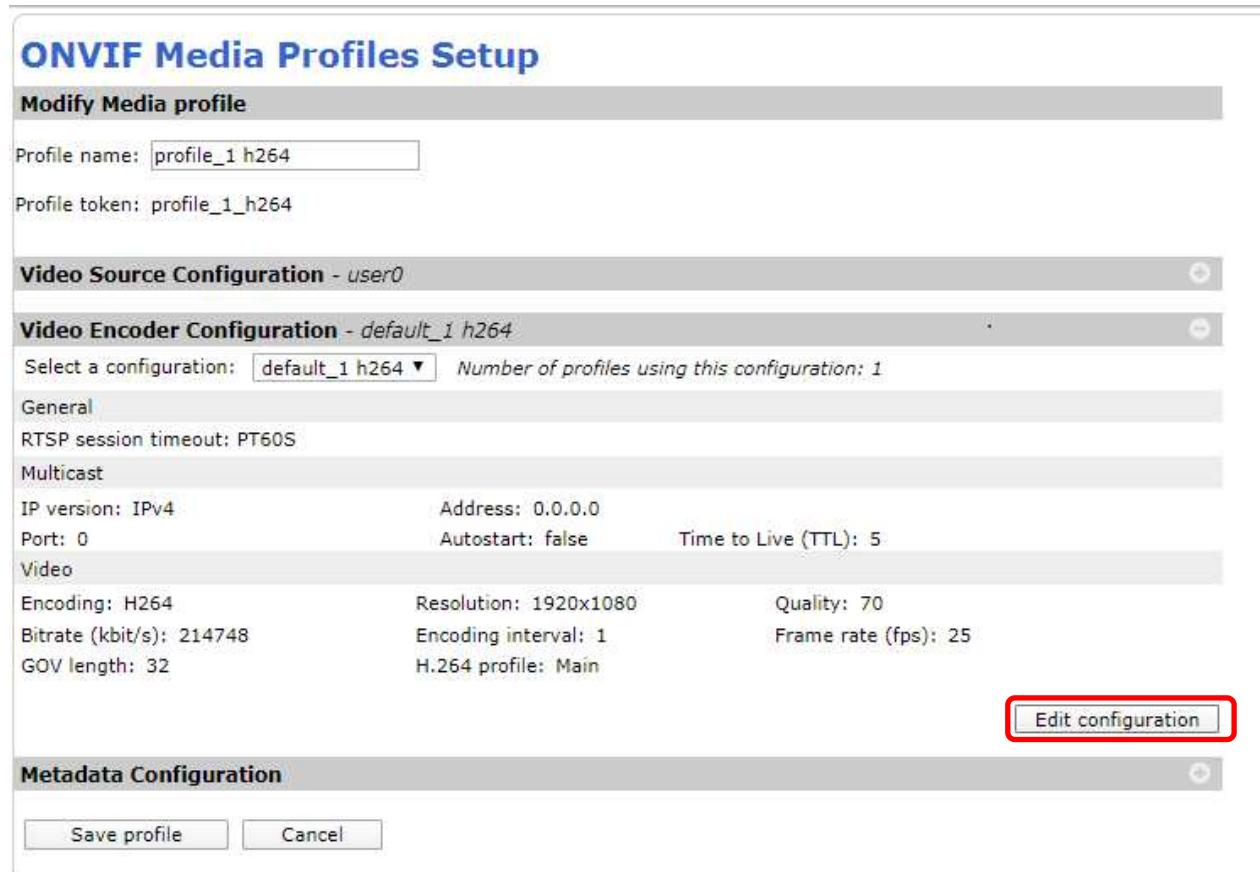
[ONVIF]ブラウザで、[profile_1_h264]を選択し、「Modify...」ボタンを押下します。



⑭ Video Encoder Configuration - default_1 h264 の右側にある「+」を押す。



⑮ [Video Encoder Configuration]で[default_1h264]の詳細が表示されるので、「Edit configuration」を押下します。



⑯[Video]で [Quality:]に「30」を入力し、最後に「Save configuration」を押下します。

ONVIF Media Profiles Setup

Modify Media profile

Profile name: profile_1 h264

Profile token: profile_1_h264

Video Source Configuration - user0

Video Encoder Configuration - default_1 h264

Select a configuration: default_1 h264 Number of profiles using this configuration: 1

General

RTSP session timeout: PT60S

Multicast

IP version: IPv4 Address: 0.0.0.0 (224.0.0.0 - 239.255.255.255)

Port: 0 (1024..65534) Autostart: Time to Live (TTL): 5 (1..255)

Video

Encoding: H264 Resolution: ▾ Quality: 30 (0..100)
Bitrate (kbit/s): 214748 Encoding interval: 1 Frame rate (fps): 25 (1..25)
GOV length: 32 (1..32767) H.264 profile: ▾

Save configuration

Metadata Configuration

Save profile Cancel

⑰変更が反映されていることを確認し、「Save profile」を押下します。

ONVIF Media Profiles Setup

Modify Media profile

Profile name: profile_1 h264

Profile token: profile_1_h264

Video Source Configuration - user0

Video Encoder Configuration - default_1 h264

Select a configuration: default_1 h264 Number of profiles using this configuration: 1

General

RTSP session timeout: PT60S

Multicast

IP version: IPv4 Address: 0.0.0.0

Port: 0 Autostart: false Time to Live (TTL): 5

Video

Encoding: H264 Resolution: 1920x1080 Quality: 30
Bitrate (kbit/s): 214748 Encoding interval: 1 Frame rate (fps): 25
GOV length: 32 H.264 profile: Main

Edit configuration

Metadata Configuration

Save profile Cancel

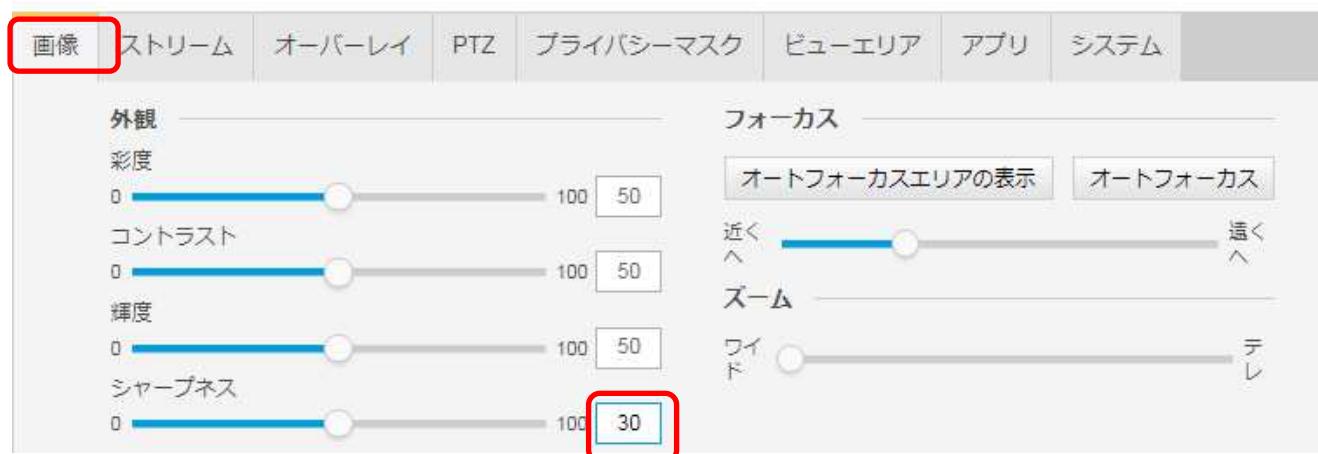
(4)画像

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[画像]タブを選択し、[シャープネス]を「30」に変更します。



(5)ストリーム設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[ストリーム]タブを選択します。

④[Zipstream]で「オフ」を選択します。



⑤[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。



(6)プレイン設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④左列にある[Network]を押します。

プレイン設定

変更の効果を確認するために、Webページを更新するか、カメラを再起動する必要が生じる場合があります。

| | |
|-----------------|--|
| Audio | Network |
| AudioSource | Boot proto: NONE |
| Bandwidth | Broadcast: 192.168.0.255 |
| BasicDeviceInfo | Default router: 0.0.0.0 |
| Brand | DNS server1: 0.0.0.0 |
| HTTPS | DNS server2: 0.0.0.0 |
| Image | Domain name: |
| ImageSource | <input checked="" type="checkbox"/> IPv4 Enabled |
| Input | Host name: axis-accc8eeddf41 |
| IOPort | IP address: 192.168.1.1 |
| Layout | Connection type: Auto-Negotiate |
| MediaClip | Subnet mask: 255.255.255.0 |
| Network | top ECN: |

⑤右列を下にスクロールし、[RTSP]項目の「Allow client transport settings」にチェックを入れます。

RTSP

Allow client transport settings

AuthenticateOverHTTP - has no effect

Authenticate RTSP over HTTP

Enabled

⑥さらに下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑦設定が保存されていることを確認してください。

⑧次に、左列にある[Image]を押します。

プレイン設定

| | |
|--|--|
| 変更の効果を確認するために、Webページを更新するか、カメラを再起動する必要が生じる場合があります。 | Image |
| Audio | Date format YYYY-MM-DD |
| AudioSource | Max viewers 20 [0..20] |
| Bandwidth | Motion detection yes |
| BasicDeviceInfo | Nbr of configs 1 |
| Brand | Overlay path /etc/overlays/axis(128x44).ovl |
| HTTPS | Own date format %F |
| Image | <input type="checkbox"/> Own date format enabled |
| ImageSource | Own time format %T |
| Input | <input type="checkbox"/> Own time format enabled |
| IOPort | Privacy mask type None |
| Layout | Referrers |
| MediaClip | <input type="checkbox"/> Referrers enabled |
| Network | Time format |

⑨右列を下にスクロールし、[IO]についての設定項目中、[H.264]の「PS enabled」にチェックを入れます。

| | |
|-------------|--|
| IO | <input checked="" type="checkbox"/> Enabled |
| H264 | <input checked="" type="checkbox"/> PS enabled |
| Profile | High |

⑩右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Max bitrate]に「6144」を入力します。

RateControl

Max bitrate
6144 [0..50000]

⑪右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Mode]のプルダウンで「Constant bit rate」を選択します。

Mode
Constant bit rate

⑫右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Priority]に「Frame rate priority」を選択します。

Priority
Frame rate priority

⑬右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の[Target bitrate]に「6144」を入力します。

Target bitrate
6144 [0..50000]

⑭右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[SizeControl]の[Max frame size]に「6」を入力します。

SizeControl

Max frame size
6 [0..]

⑮さらに下にスクロールし、「保存」を押します。

キャンセル 保存

⑯設定が保存されていることを確認してください。

1.3.1.15.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1) NR-5000/5041/5080/5512/5100/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。
レコーダーS/W バージョン SYS.NX.22.09 (X:1, 2, 3)以降で
「P3225-2」として AXIS カメラの設定が表示されます。
- ④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

- ❗ カメラのフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 30fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 25fps に制限されます。25fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 30fps のままでご注意ください。
- ❗ カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ❗ フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.1.16. 全方位カメラ(M3067-P、M3068-P)

全方位カメラ(M3067-P、M3068-P)の設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた全方位カメラ(M3067-P、M3068-P)には、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)のCH1に接続可能のように、事前設定がされています。初期化する場合や接続CHを変更する場合は、予めブラウザ経由で1.3.1.16.1.に示す初期設定が必要です(PoE-HUBやインジェクタ等でのPoE給電が必要です)。

また、下記(1)～(5)のカメラ設定項目は、ブラウザ経由で設定変更が可能です。AXIS社ホームページや、本マニュアルの類似機種ページを参照ください。

レコーダーに接続する際は、1.3.1.16.2.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なカメラ設定項目

- (1)「天井と壁とデスク」の変更
- (2) Flicker[50Hz/60Hz]の変更
- (3)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

1.3.1.16.1.初期設定

初期化する場合は[(1)初期化]～[(5)ブレイン設定]を実施してください。接続 CH を変更する場合は[(2)(3)]を参照し、設定を実施してください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

- ①ブラウザに AXIS カメラの IP アドレスを入力します。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
- ②Windows セキュリティ画面が出力されます。ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[システム]タブ → [メンテナンス]アイコン で「デフォルト」を押下します。
- ④カメラが初期化され、再起動します(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)。

初期化時は「Default」押下後、しばらくしてカメラ LED が点灯/点滅します。その後 LED 消灯で起動完了です。

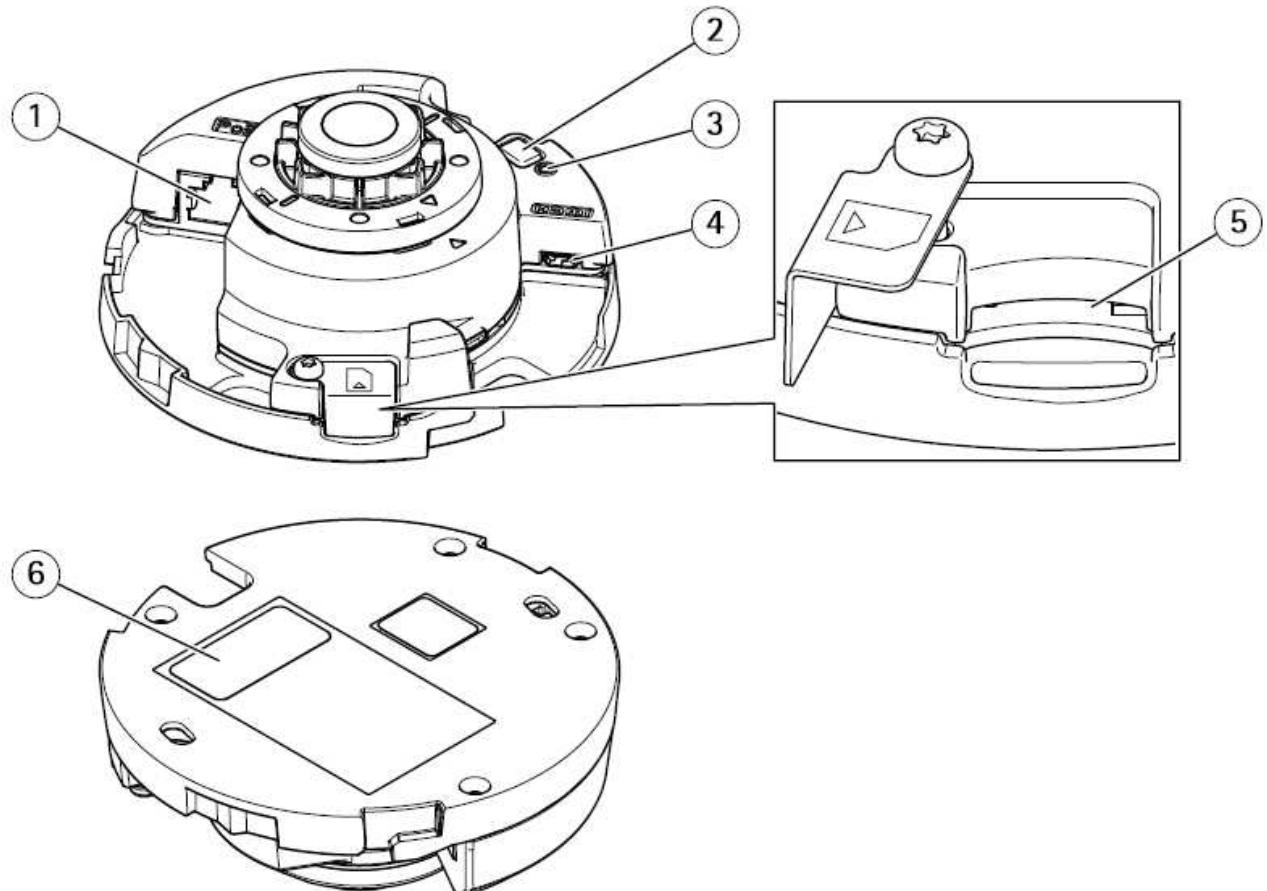


メンテナンス

The maintenance section has two main panels. The left panel, titled 'リセット' (Reset), contains three buttons: '安全な再起動の実行' (Safe Reboot) with a '再起動' (Reboot) button, '工場出荷時の値にリストアするが、IP設定はそのままにする' (Restore to factory defaults while keeping IP settings) with a 'リストア' (Restore) button, and '工場出荷時の値にすべてリストアする' (Restore all to factory defaults) with a 'デフォルト' (Default) button, which is also highlighted with a red box. The right panel, titled 'ファームウェアのアップグレード' (Firmware Upgrade), shows the current firmware version as '9.80.2.4'. It includes steps: 1. Download the firmware from www.axis.com/support/firmware, 2. Select the firmware file, and 3. Install the firmware. Under step 3, there are three radio buttons for upgrade types: '標準アップグレード' (Standard Upgrade) (selected), '工場出荷時の設定' (Factory Default Settings), and '自動ロールバック' (Automatic Rollback). A 'アップグレード' (Upgrade) button is at the bottom.

【IP アドレスがわからない場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタンを押しながら、ネットワークケーブルを接続します。
- ③コントロールボタンを 30 秒間押し続けます。
- ④コントロールボタンを放し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



- 1 Network connector (PoE)
- 2 Control button
- 3 Status LED indicator
- 4 HDMI out connector
- 5 SD card slot
- 6 Part number (P/N) & Serial number (S/N)

(2)初回設定

- ①ブラウザで「192.168.0.90」にアクセスします。
- ②パスワードを「root」に設定し(2か所入力)、言語を「日本語」に設定します。

ようこそ。

rootアカウントのパスワードを設定します。

root

パスワード
パスワードの再入力

パスワードの強度: 空白です。パスワードを入力してください。

日本語

ログインの作成



- ③電源周波数は「50Hz」を、キャプチャモードは機種ごとに以下設定を、設置位置は「天井」を選択する。

M3067-P:「360°overview@30/25 fps dewarped views WDR」

M3068-P:「360°overview@15/12.5 fps dewarped views WDR」

開始

電源周波数を選択してください

50 Hz ▾

これは何ですか? ▾

キャプチャモードを選択してください

360° overview @ 30/25 fps dewarped views ▾ ▾

これは何ですか? ▾

設置位置

天井 ▾

次へ

④IP アドレスを設定します。

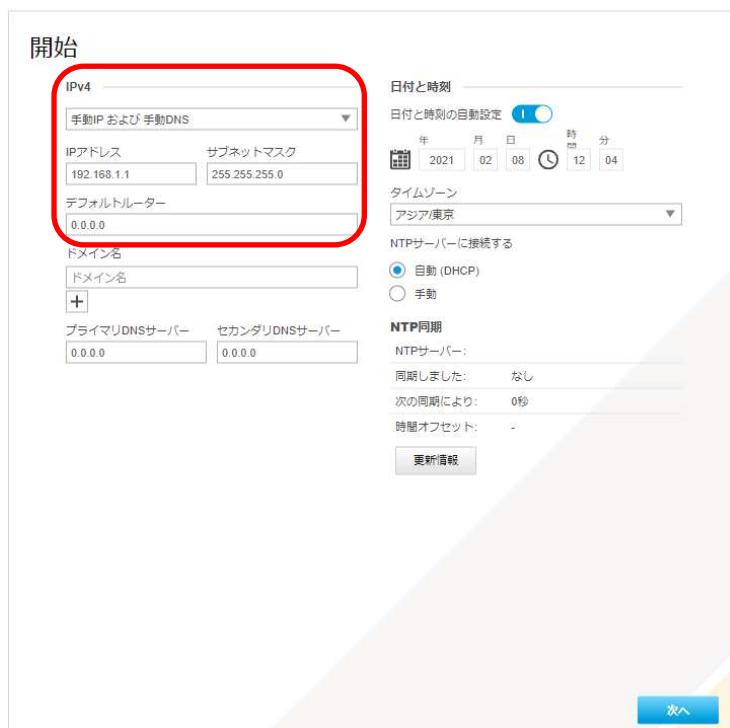
[IPv4]で「手動 IP および手動 DNS」を選択し、

IP アドレス : 「192.168.1.1」

サブネットマスク : 「255.255.255.0」

デフォルトルーター: 「0.0.0.0」

に設定します。



!各設定後のログインで接続 CH を変更する場合は、[システム]タブ→[TCP/IP]アイコンを押下し、設定画面にて
変更してください。



⑤日付と時刻(NTP サーバーとタイムゾーン)を設定します。

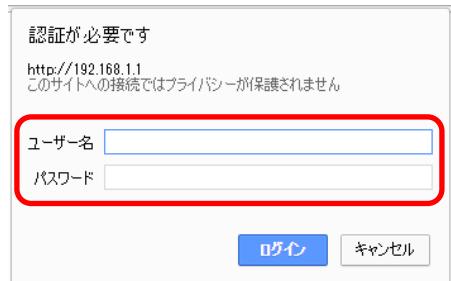
[タイムゾーン]は「アジア/東京」を選択し、[NTP サーバーに接続する]は「自動」を選択し、[次へ]を押下します。



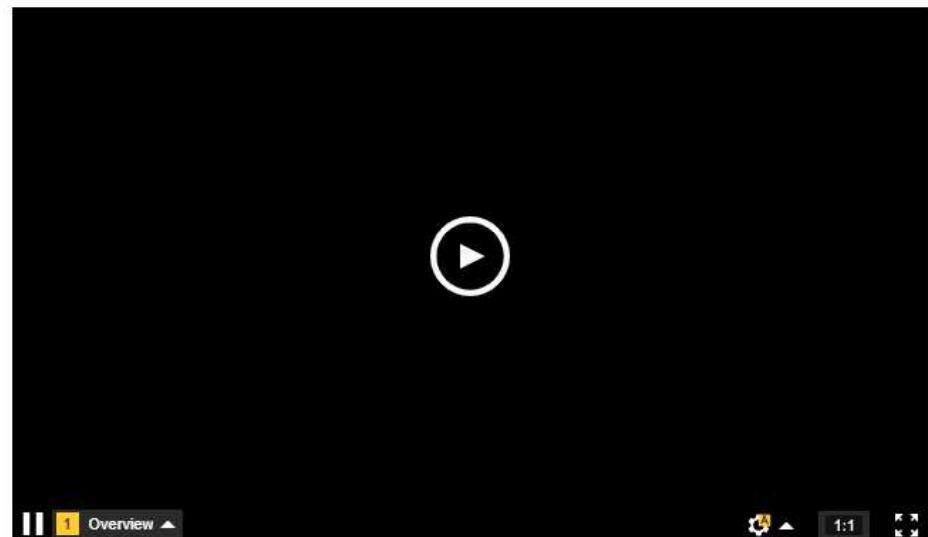
(!) 各設定後、NTP サーバーの設定を変更する場合は、[システム]タブ→[日付と時刻]アイコンを押下し、設定画面にて変更してください。



認証を求められたら、②で設定したとおり、ユーザー名「root」、パスワード「root」を入力します。



基本表示画面右下の「完了」を押下します。



(3)ONVIF 設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [ONVIF]アイコン を押します。



④表示される[ONVIF]アイコン画面で、「+」ボタンを押します。

⑤[ONVIF ユーザー]画面にて、[ユーザー名]に「admin」、[新しいパスワード]と[パスワードの再入力]に「admin」を入力し、[ユーザーグループ]で「管理者」を選択します。

⑥その後「保存」を押し、[ONVIF ユーザー]に「admin」アカウントが登録されたことを確認します。

The image shows a step-by-step guide for creating an ONVIF user account. It consists of four screenshots illustrating the process:

- Step 1:** Shows the 'ONVIF' configuration page with a red box around the '+' button.
- Step 2:** Shows the 'ONVIF User' creation dialog. It has a red box around the 'User Name' field containing '新規' (New) and the 'User Group' dropdown set to '管理者' (Administrator). A large red arrow points from the '+' button in Step 1 to this dialog.
- Step 3:** Shows the 'ONVIF User' creation dialog with filled fields: 'User Name' is 'admin', 'New Password' and 'Confirm Password' are both 'admin', and 'User Group' is '管理者'. The 'Save' button is highlighted with a red box. A large red arrow points from the dialog in Step 2 to this screen.
- Step 4:** Shows the 'ONVIF User' list page with a red box around the newly created 'admin' user entry, which is listed under 'User Name' and 'User Group'.

(4)画像設定

((3)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[画像]タブを選択する。[シャープネス]を「30」に変更します。



(5)ストリーム設定

((4)から継続作業の場合は、③からとなります)

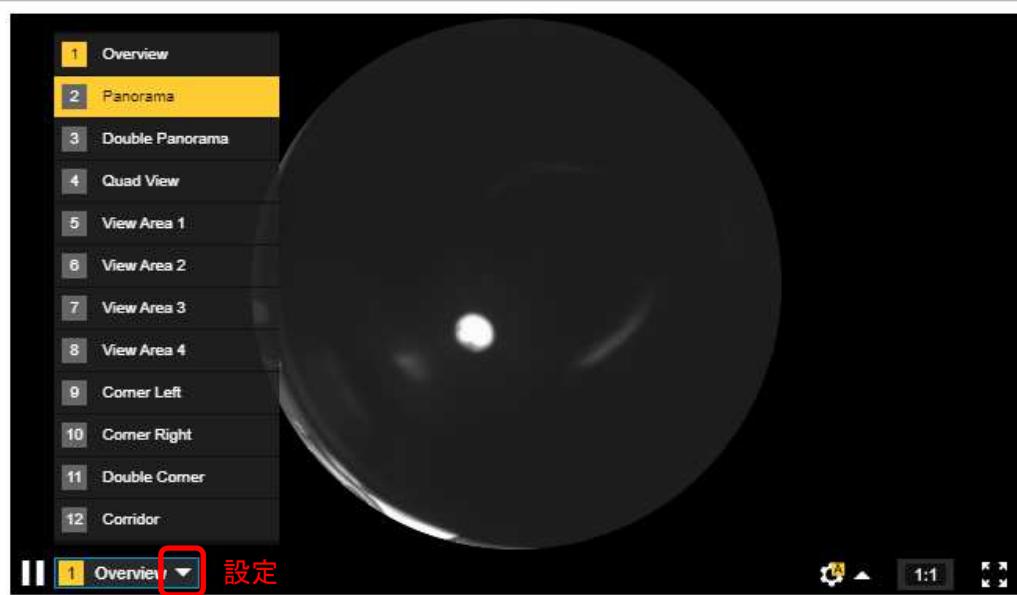
①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

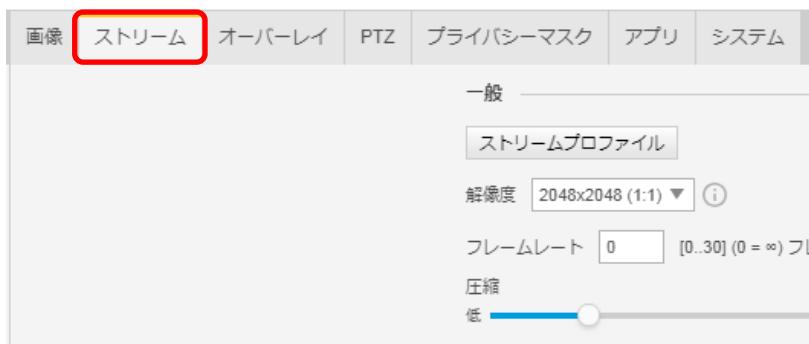
以降③～⑤に示す[ビットレート制御]に関する設定と[Zipstream]に関する設定を、映像表示下部で切替えられる以下 4 つのビューモードに対して、それぞれ同じ要領で実施ください。

※ビューモードの切り替えについては、映像表示の[再生ボタン]を押下して
カメラ映像画面左下の[設定]でメニューを出し、選択します。

- (a) 1 Overview
- (b) 2 Panorama
- (c) 3 Double Panorama
- (d) 4 Quad View



③[ストリーム]タブを選択します。



④[Zipstream]で「オフ」を選択します。



⑤[ビットレート制御]で「最大ビットレート」を選択し、[目標ビットレート]に「6144」を入力します。



(6)プレイン設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

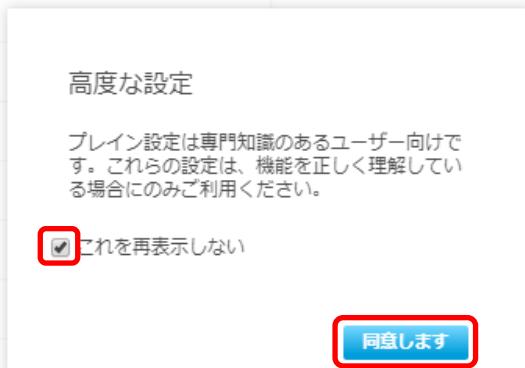
①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[システム]タブ → [プレイン設定]を押下します。



④[高度な設定]ダイアログが表示されるので、「これを再表示しない」にチェックを入れ、「同意します」を押します。



⑤左列にある[Network]を押します。

A screenshot of the camera's network configuration page. On the left, there is a vertical sidebar with tabs: Audio, AudioSource, Bandwidth, BasicDeviceInfo, Brand, HTTPS, Image, ImageSource, Input, IOPort, Layout, MediaClip, and Network. The 'Network' tab is highlighted with a red box. The main content area is titled 'Network'. It includes fields for: Boot proto (set to 'NONE'), Broadcast (192.168.0.255), Default router (0.0.0.0), DNS server1 (0.0.0.0), DNS server2 (0.0.0.0), Domain name (empty), IPv4 Enabled (checked), Host name (axis-accc8eb4edc2), IP address (192.168.1.1), Connection type (Auto-Negotiate), Subnet mask (255.255.255.0), and tcp ECN (empty). A red box also highlights the 'Network' section in the main content area.

⑥下にスクロールし、右列にある[RTSP]項目の「Allow client transport settings」にチェックを入れます。

The screenshot shows the 'RTSP' configuration page. A red box highlights the 'Allow client transport settings' checkbox, which is checked. Other options shown include 'AuthenticateOverHTTP - has no effect' (unchecked), 'Authenticate RTSP over HTTP' (checked), 'Enabled' (checked), 'Port' set to 554, 'Allow anonymous viewers' (unchecked), and 'Timeout' set to 60.

⑦さらに下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑧設定が保存されていることを確認してください。

⑨次に、左列にある[Image]を押します。

The screenshot shows the 'Image' configuration page. On the left, a sidebar lists various tabs: Audio, AudioSource, Bandwidth, BasicDeviceInfo, Brand, HTTPS, and Image. The 'Image' tab is selected and highlighted with a red box. On the right, the 'Image' configuration panel displays settings such as Date format (YYYY-MM-DD), Max viewers (20), Motion detection (no), Nbr of configs (12), Overlay path (/etc/overlays/axis(128x44).ovl), Own date format (%F), Own time format (%T), Privacy mask type (None), Referrers, and Time format.

⑩「I0」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。

The screenshot shows the configuration interface for an H.264 profile named 'High'. The 'PS enabled' checkbox is checked and highlighted with a red box. Other visible settings include 'Enabled' checked, 'Name' set to 'Overview', and a dropdown menu for 'Profile'.

右列を下にスクロールし、「I0」についての設定項目中、[RateControl]の
[Max bitrate]に「6144」を入力し
[Mode]に「Constant bit rate (DEPRECATED)」を選択し
[Priority]に「Frame rate priority」を選択し
[Target bitrate]に「6144」を入力します。

The screenshot shows the 'RateControl' section with four fields highlighted by red boxes:

- 'Max bitrate' set to 6144
- 'Mode' set to 'Constant bit rate (DEPRECATED)' (highlighted)
- 'Priority' set to 'Frame rate priority'
- 'Target bitrate' set to 6144

右列を下にスクロールし、「I0」についての設定項目中、[SizeControl]の[Max frame size]に「6」を入力します。

The screenshot shows the 'SizeControl' section with one field highlighted by a red box:

- 'Max frame size' set to 6

⑪同様に、「I1」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。

I1

Enabled

Name
Panorama

H264

Profile
High

PS enabled

右列を下にスクロールし、「I0」についての設定項目中、[RateControl]の
[Max bitrate]に「6144」を入力し
[Mode]に「Constant bit rate (DEPRECATED)」を選択し
[Priority]に「Frame rate priority」を選択し
[Target bitrate]に「6144」を入力します。

RateControl

Max bitrate
6144 [0..50000]

Mode
Constant bit rate (DEPRECATED)

Priority
Frame rate priority

Target bitrate
6144 [0..50000]

右列を下にスクロールし、「I0」についての設定項目中、[SizeControl]の[Max frame size]に「6」を入力します。

SizeControl

Max frame size
6 [0..]

⑫「I2」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。
※「I1」と「I2」の間には、設定不要な I10 と I11 の設定項目があるため注意してください。

I2

Enabled

Name
Double Panorama

H264

Profile
High

PS enabled

右列を下にスクロールし、「I0」についての設定項目中、「RateControl」の
[Max bitrate]に「6144」を入力し
[Mode]に「Constant bit rate (DEPRECATED)」を選択し
[Priority]に「Frame rate priority」を選択し
[Target bitrate]に「6144」を入力します。

RateControl

Max bitrate
6144 [0..50000]

Mode
Constant bit rate (DEPRECATED)

Priority
Frame rate priority

Target bitrate
6144 [0..50000]

右列を下にスクロールし、「I0」についての設定項目中、「SizeControl」の[Max frame size]に「6」を入力します。

SizeControl

Max frame size
6 [0..]

⑬「I3」についての設定項目中、「H.264」の「PS enabled」にチェックを入れてください。

The screenshot shows the configuration interface for profile I3. Under the H.264 section, the 'PS enabled' checkbox is checked and highlighted with a red box.

右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[RateControl]の
[Max bitrate]に「6144」を入力し
[Mode]に「Constant bit rate (DEPRECATED)」を選択し
[Priority]に「Frame rate priority」を選択し
[Target bitrate]に「6144」を入力します。

The screenshot shows the RateControl settings for profile I0. The fields highlighted with red boxes are: Max bitrate (6144), Mode (Constant bit rate (DEPRECATED)), Priority (Frame rate priority), and Target bitrate (6144).

右列を下にスクロールし、[I0]についての設定項目中、[SizeControl]の[Max frame size]に「6」を入力します。

The screenshot shows the SizeControl settings for profile I0. The field highlighted with a red box is Max frame size (6).

⑭下にスクロールし、「保存」を押してください。



⑮設定が保存されていることを確認してください。

(6)プリセットポジション設定

((5)から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③映像表示下部のビューモードから「2 Panorama」を選択し、[PTZ]タブを押します。

[プリセットポジション]にある「+」を押します。



④[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。

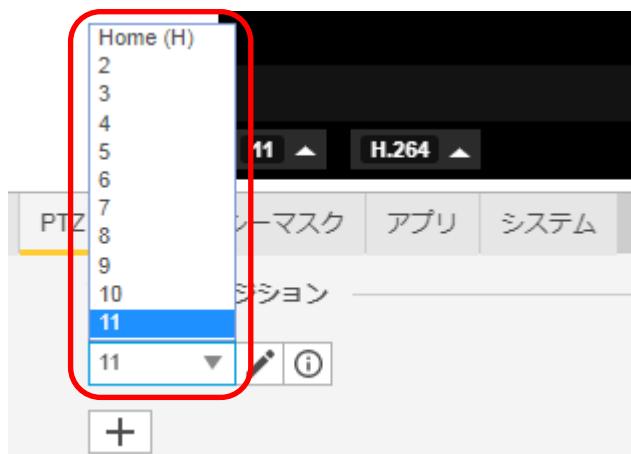
※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



⑤同様の手順で、[名前]に「3」～「11」を保存します。



⑥[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



⑦同じ要領で、映像表示下部のビューモードから「3 Double Panorama」を選択し、[PTZ]タブを押します。
[プリセットポジション]にある「+」を押します。



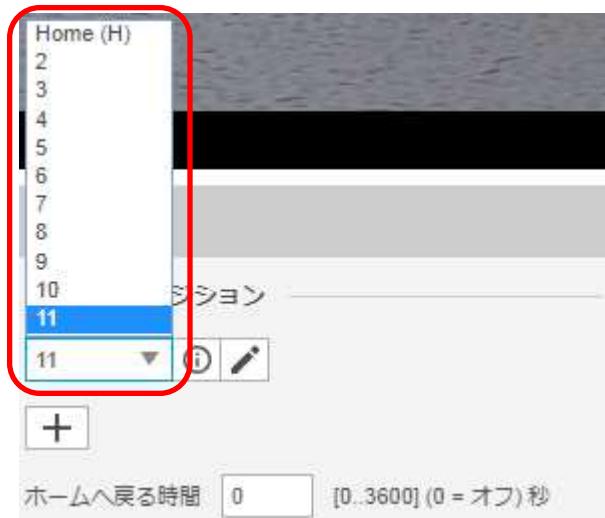
⑧[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。
※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



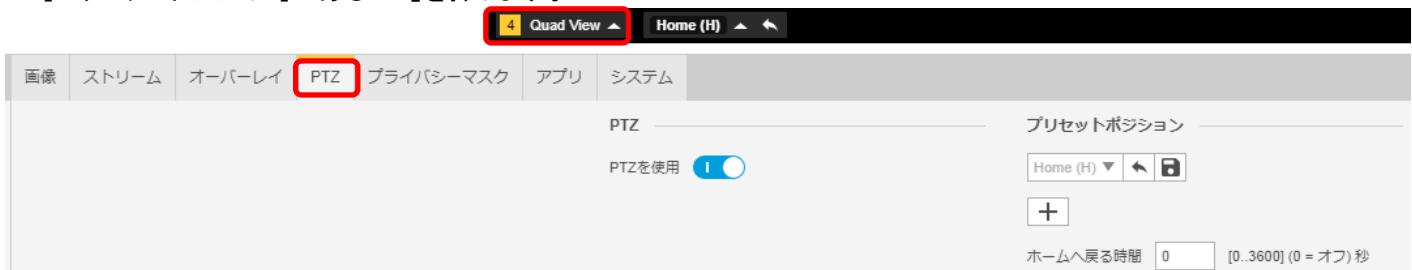
⑨同様の手順で、[名前]に「3」～「11」を保存します。



⑩[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



- ⑪同じ要領で、映像表示下部のビューモードから「4 Quad View」を選択し、[PTZ]タブを押す。
[プリセットポジション]にある「+」を押します。



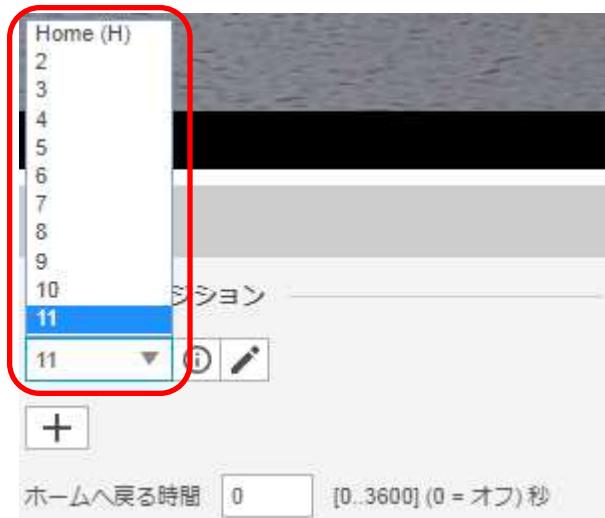
- ⑫[プリセット]ダイアログが表示されるので、[名前]に「2」を入力し、「保存」を押下します。
※[ホームポジション]は触らないよう注意してください。



- ⑬同様の手順で、[名前]に「3」～「11」を保存します。



- ⑭[プリセットポジション]のプルダウンを押し、[Home(H)]の下に「2」～「11」があることを確認します。



1.3.1.16.2.MELOOK3 レコーダーへの接続

(1)NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

① 設定完了後、AXIS カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーあるいは PoEHUB へ接続すると給電され、カメラが起動します。

② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。

③ AXIS カメラを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。

M3067-P、M3068-P 共に「M306X-1」として AXIS カメラの設定が表示されます。

※カメラ種別を変更することによりビューモードの変更ができます。

「M306X-1」: Overview

「M306X-2」: Panorama

「M306X-3」: DoublePanorama

「M306X-4」: Quad View

④ AXIS カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。

⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2)NR-5200/5280 の場合

① 設定完了後、ネットワーク設計に基づき、AXIS カメラを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。

PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。

② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。

③ AXIS カメラに設定した内容を入力してください。

④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- !(1) M3068-P のフリッカ設定が 50Hz の場合、レコーダーにてフレームレートを 15fps に設定しても、カメラの仕様上フレームレートが最大 13fps に制限されます。15fps 制限時、レコーダー画面での表示上は 13fps のままでご注意ください。
- !(2) カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- !(3) フレームの送信間隔が動的に変化する AXIS カメラ(全方位カメラ、ビデオエンコーダを除く)の動作に対応しています。これにより、分割画面表示時のコマ送り/コマ戻しが他のカメラと同期しない場合があります。

1.3.2. AXIS ビデオエンコーダ

AXIS ビデオエンコーダの設定方法を以下に示します。弊社からお買い上げ頂いた AXIS ビデオエンコーダには、レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200)の CH8 または CH9 に接続可能なように、事前設定がされています。

NR-5200/5280 に接続する場合は、1.3.2.1 (6)の設定を必ず実施ください。

※出荷時期によって IP が異なります為ご注意ください。

接続できるビデオエンコーダは下記表の通りです。

| 接続可能な AXIS ビデオエンコーダラインナップ | 推奨エンコーダ F/W バージョン |
|---------------------------|-------------------|
| M7011 | 5.75.1 |

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.2.1.に示す初期設定が必要です(ビデオエンコーダに対し PoE-HUB やインジェクタ等での PoE 給電が必要です)。

また、下記(1)～(2)の設定項目は、ブラウザ経由で 1.3.2.2.に示す設定変更が可能です。

レコーダーに接続する際は、1.3.2.3.に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

ブラウザ経由で設定可能なビデオエンコーダ設定項目

- (1)「上下反転」
- (2)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

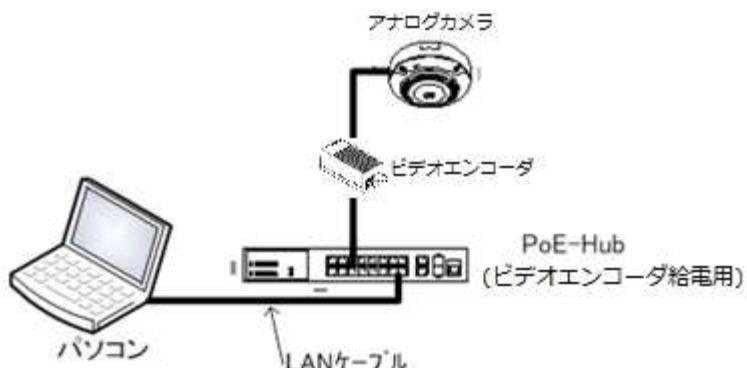


図 AXIS ビデオエンコーダ設定時の接続構成(※)

※AXIS ビデオエンコーダに図 AXIS カメラ設定時の接続構成でアクセスする際の PC スペックやブラウザに関しては、1.3.1 章記載の AXIS カメラをブラウザ経由で操作するに必要な PC スペック表を参考にしてください。表以外の PC スペックに関しては随時更新されておりますので、AXIS 社ホームページをご確認ください。また、AXIS ビデオエンコーダをブラウザ経由で設定するには AXIS Media Control と H.264 Decoder のインストールが必要です。インストール手順は 1.3.1.章記載の【AXIS Media Control インストール方法】及び【H.264 Decoder インストール方法】を参照してください。

1.3.2.1. 初期設定

以下(1)の手順で初期化した場合は、レコーダーに接続する前に必ず以下(2)～(5)の設定を実施ください。
接続する CH を変更する場合は、以下(5)の設定を実施ください。

(1)初期化

【IP アドレスがわかる場合】

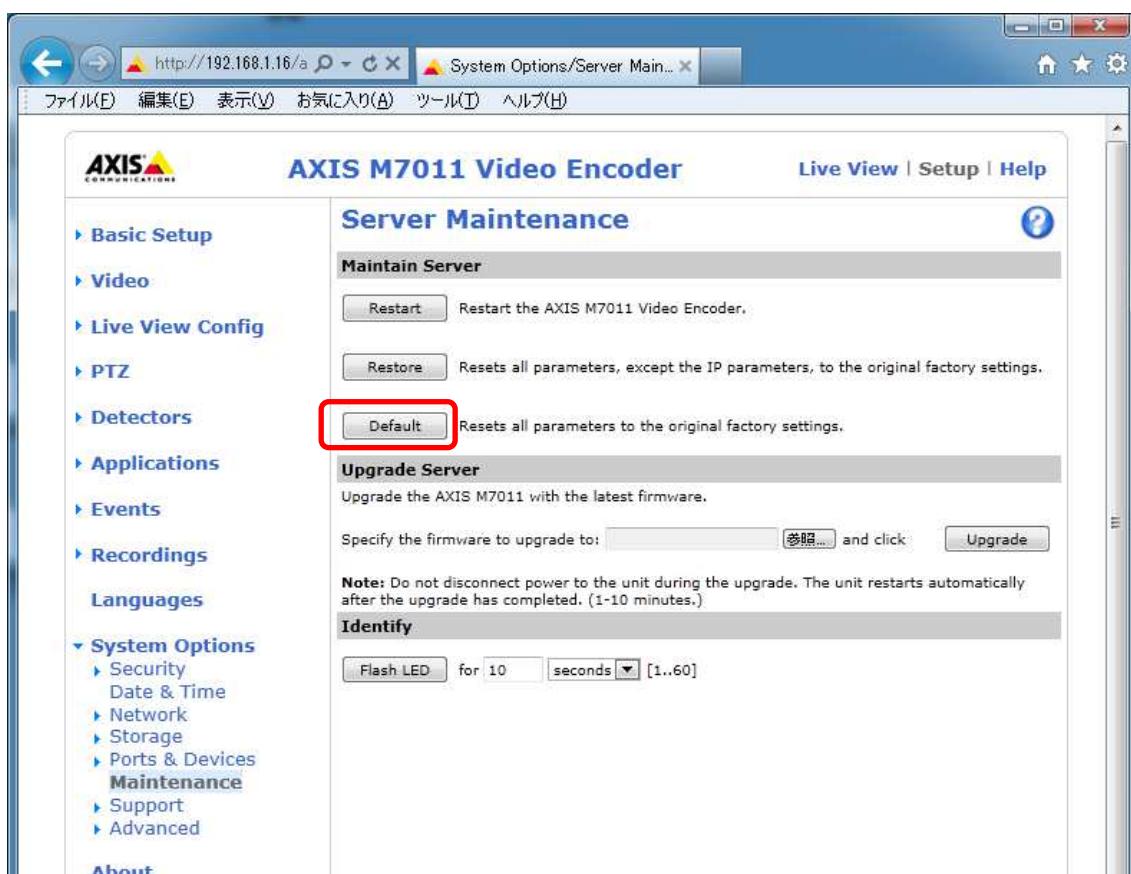
①ブラウザでアクセスします。弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.8」または「192.168.1.9」です。

※出荷時期によって IP が異なります為ご注意ください。

②[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で「Default」を押下します。

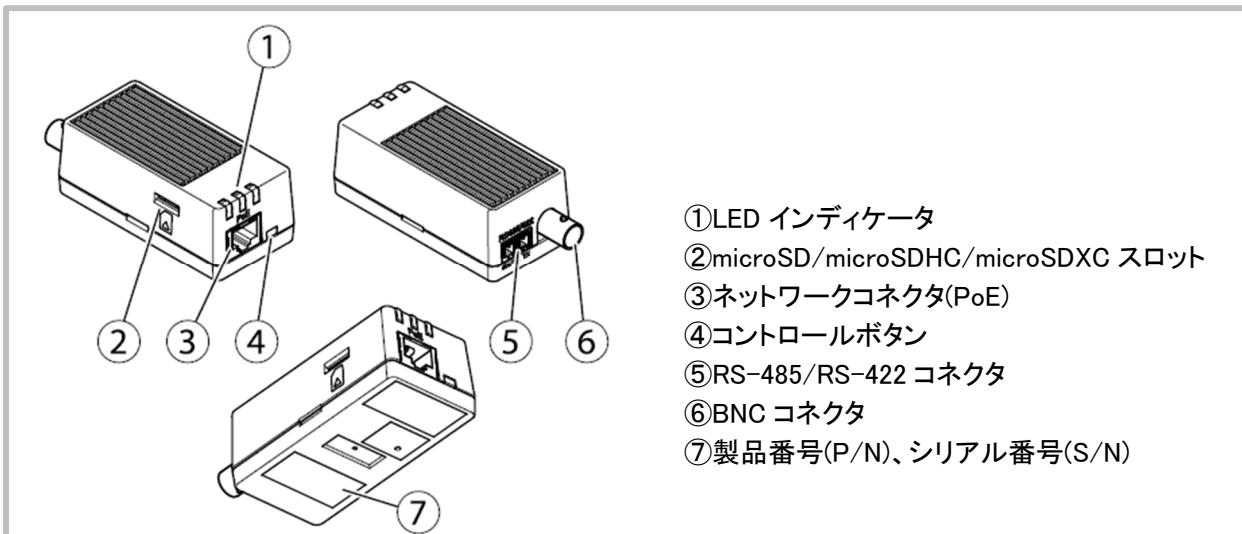
※必要に応じて(2)初回設定を参照し、設定を実施ください。

③ビデオエンコーダが工場出荷設定になり、再起動します。(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変ります)。



【IP アドレスが不明な場合】

- ①ネットワークケーブルを抜いて電源を OFF にします。
- ②コントロールボタン(下図④)を押しながら、ネットワークケーブルを接続し、ビデオエンコーダの電源を ON にします。
- ③Status インディケータ(本体に「STAT」の印字がある LED)がオレンジ色に点滅するまで、コントロールボタンを押し続けます(15~30 秒程かかります)。
- ④コントロールボタンを放します。
- ⑤Status インディケータが緑色に点灯し、製品が起動するまで待ちます。
(起動後はカメラIPアドレスが「192.168.0.90」に変わります)



(2)初回設定

- ①ブラウザでアクセスします。(1)初期化の実施後、IPは「192.168.0.90」です。
- ②ユーザ名を「root」にします。
- ③パスワードを「root」にします。



- ④「Use English」を選択します。



(3)セキュリティ設定 1

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.8」または「192.168.1.9」です。

※出荷時期によってIPが異なります為ご注意ください。

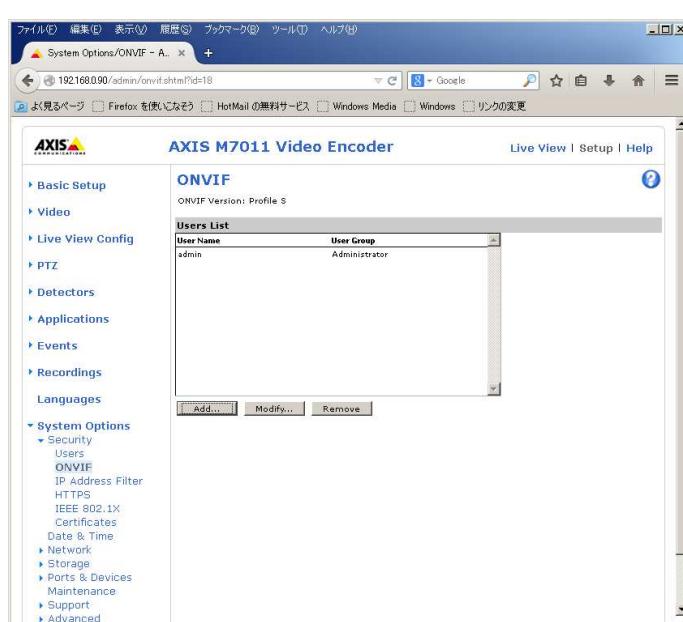
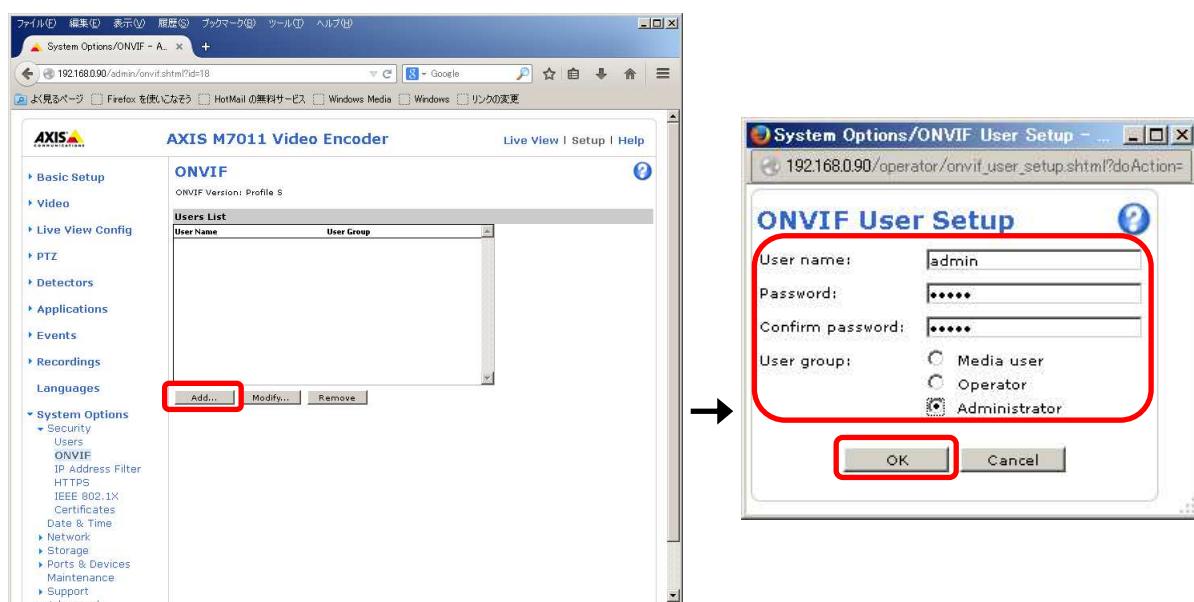
②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [ONVIF] を選択します。「ADD...」ボタンを押下します。

ONVIF User Setup 画面が表示されます。

- 「User name」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「Confirm Password」 ⇒ 「admin」を入力します。
- 「User group」 ⇒ 「Administrator」を選択します。

④「OK」ボタンを押下します。User Listに「admin」が追加されます。



(4)セキュリティ設定 2

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.8」または「192.168.1.9」です。

※出荷時期によって IP が異なります為ご注意ください。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Users] を選択します。

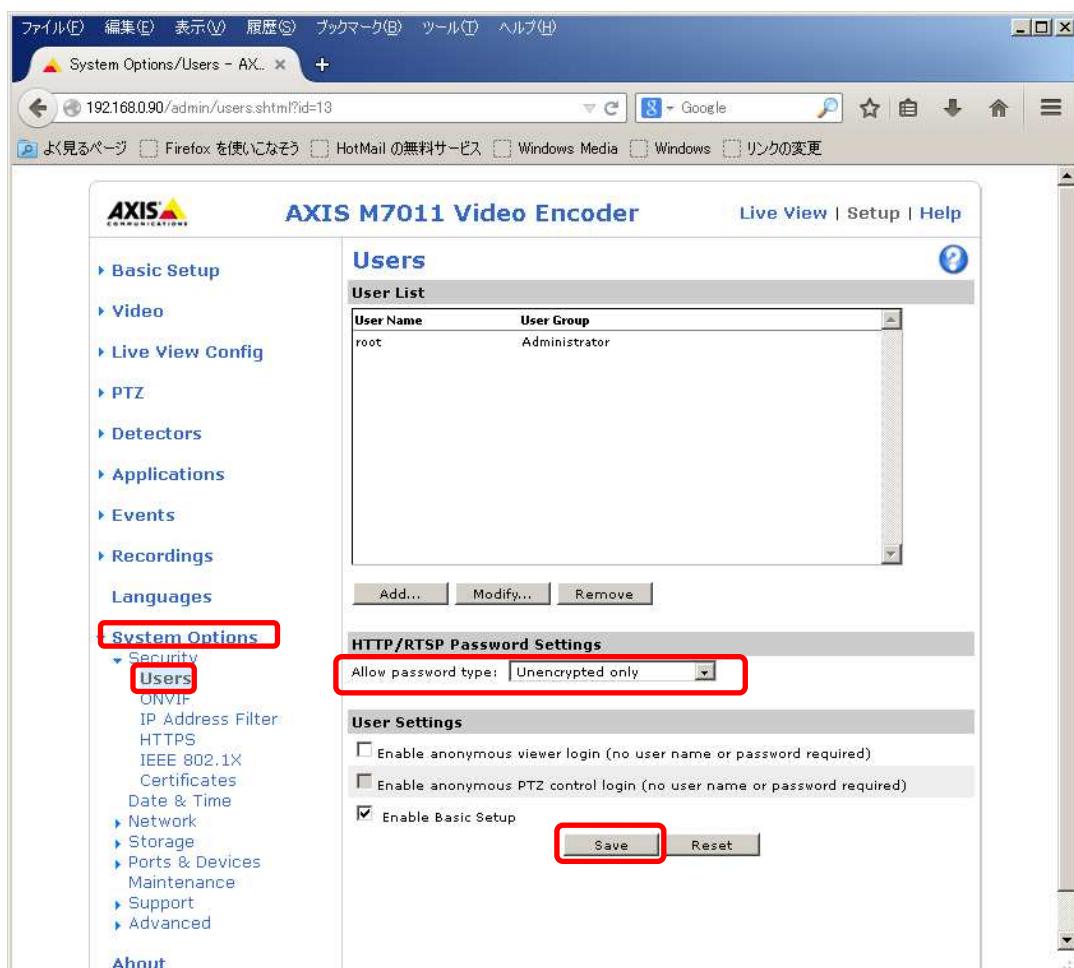
④HTTP/RTSP password Settings の項目にて、

「Allow password type:」の設定は「Unencrypted only」を選択します。

⑤「Save」を押下します。

※「User Settings」のチェックはデフォルト設定のままにします。

(「Enable anonymous...」にはチェックを入れないこと)。



(5)ネットワーク設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.8」または「192.168.1.9」です。

※出荷時期によって IP が異なります為ご注意ください。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③「Enable IPv4」にチェックを入れます。

④「Use the following IP address」を選択します。

⑤「IPaddress」を「192.168.1.(*)」にします。

(*)カメラを接続する CH 番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512 に接続する PoE 給電スイッチング HUB の設定」に記載の IP アドレスを参照してください。

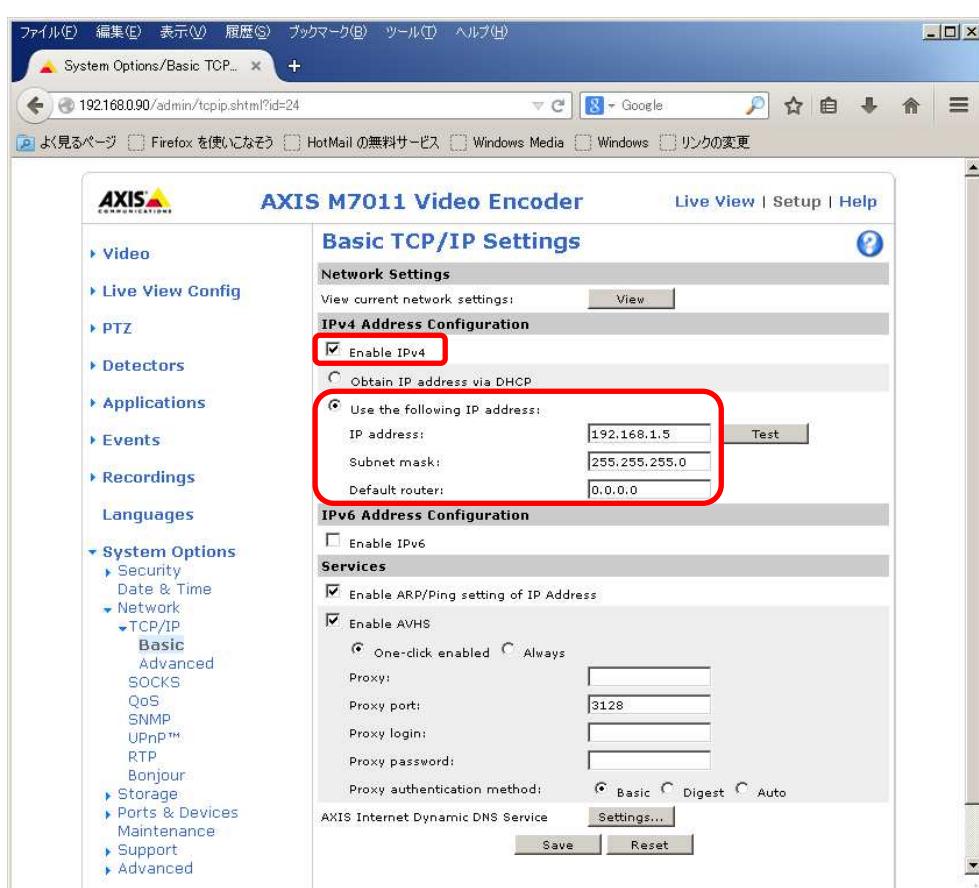
⑥「Subnet mask」を「255.255.255.0」にします。

⑦「Default router」を「0.0.0.0」にします(空欄は不可)。

⑧「Save」を押下します。

SAVE ボタン押下後、ビデオエンコーダからの確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押下してください。

① NR-5200/5280 に接続する際は、「IPaddress」「Subnet mask」「Default router」の値はネットワーク設計にあわせて設定して下さい。



(6)SPS/PPS 設定をする

(ネットワーク設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。初期化後の IP アドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時の IP アドレスは「192.168.1.1」です。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[System Options] → [Advanced]を選択し、[Plain Config]を押下します。

④プルダウンで「Image」を選択し、「Select group」を押下します。

The plain config page allows direct access to all the configurable parameters supported by the AXIS M7011 Video Encoder. This page uses no extra scripts (Javascript or otherwise) and should function correctly in any browser or PDA. Select the parameter group to modify and configure the settings directly.

For help on parameters, please refer to the relevant help page available from the standard setup tools.

Select a group of parameters to modify:

[Image]

⑤[Image IO MPEG H264]の、[PS enabled]にチェックを入れます。

※チェックあり：映像に SPS/PPS 含む、チェックなし：映像に SPS/PPS 含まない。

Image IO MPEG H264

Profile: Main

PS enabled:

⑦ページ下にある「Save」を押下する。

Image IO TriggerData

Motion detection enabled:

Motion level enabled:

Tampering enabled:

User triggers:

Save page changes

1.3.2.2. 設定変更

以下の設定変更の方法について示します。尚、弊社からご購入頂いたビデオエンコーダでは、「192.168.1.8」または「192.168.1.9」が事前設定されています。

※出荷時期によって IP が異なります為ご注意ください。

- (1)「上下反転」
- (2)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

AXIS ビデオエンコーダ(M7011)の接続 CH(レコーダーへの接続先[カメラ接続端子／カメラ増設端子])を変更する場合は、事前に「1.3.2.1(5)ネットワーク設定」の設定をしてください。

(1)上下反転

①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.8」または「192.168.1.9」です。

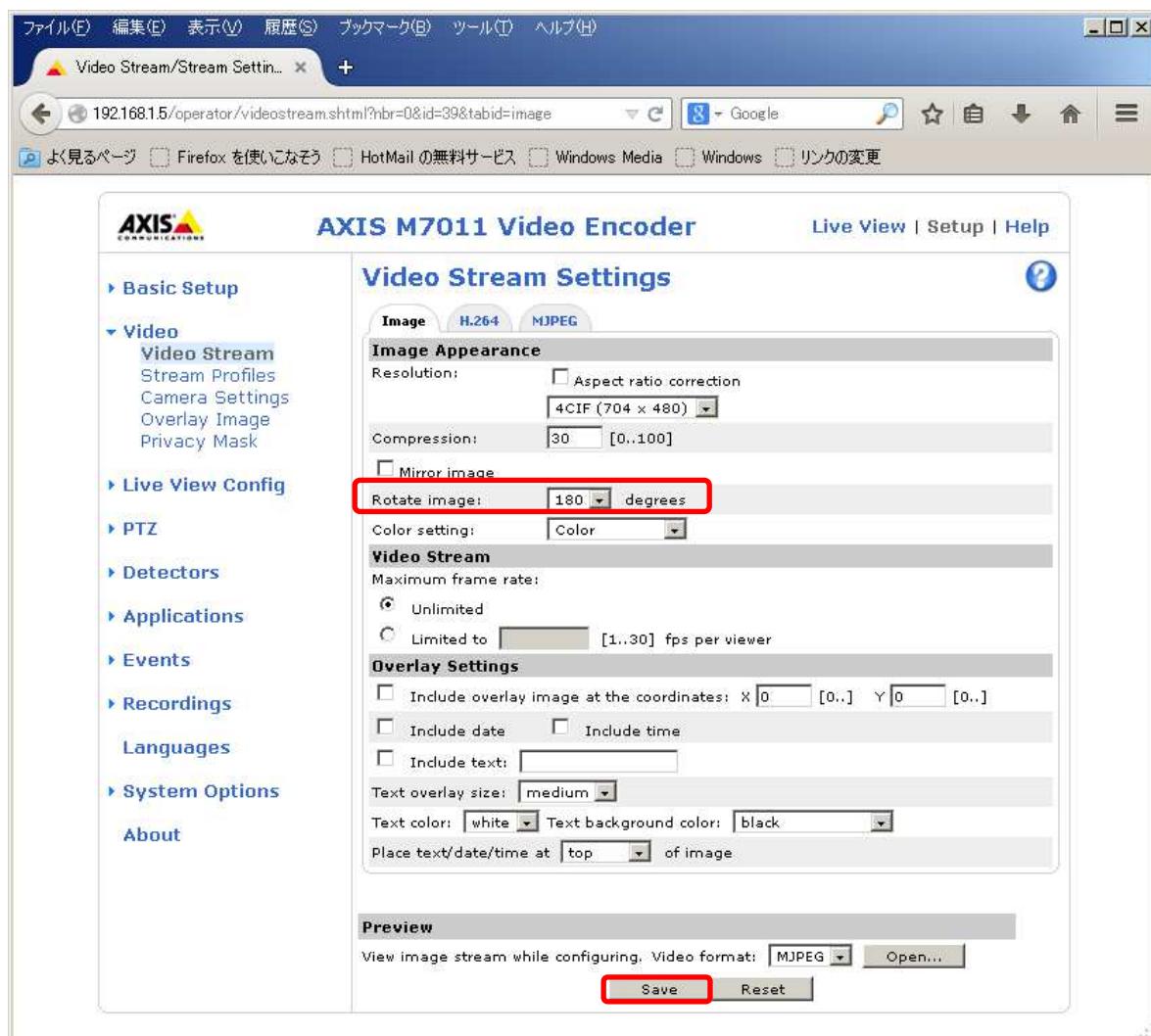
※出荷時期によってIPが異なります為ご注意ください。

②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。

③[Setup](画面右上) → [Video] → [Video Stream]を選択します。

④[Image]タブにて、「Rotate image」を「0」から「180」に変更します。

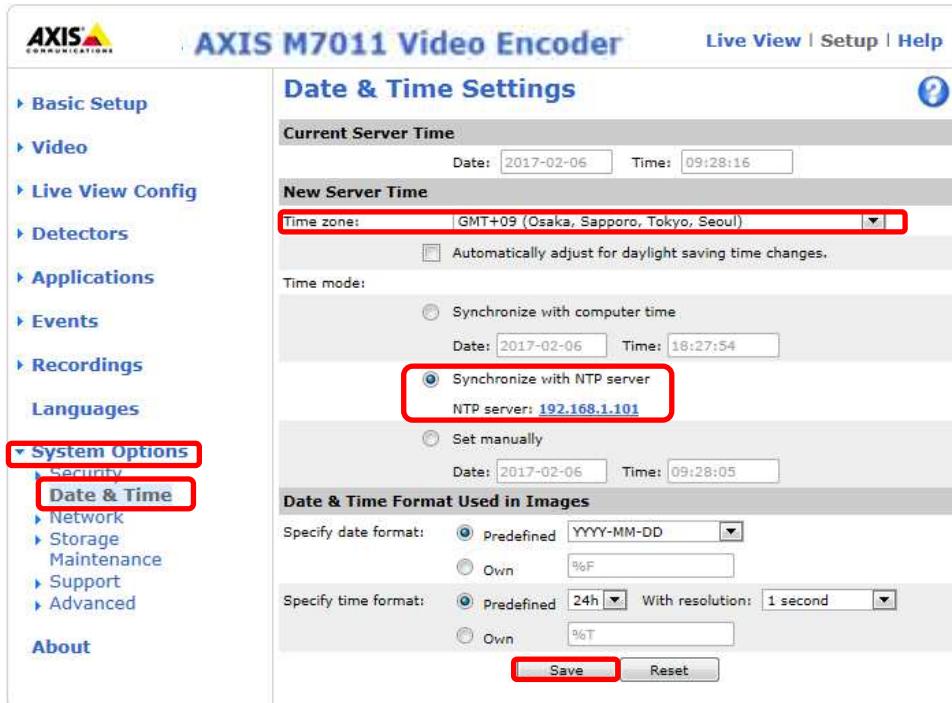
⑤設定反映のため、「Save」を押します。



(2) カメラ映像に日時時刻を表示する

レコーダーと時刻同期を取り、カメラ映像に現在時刻を表示することができます。

- ①カメラにパソコンからブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.1」です。レコーダーの接続CHに合わせてIPアドレスを変更している場合は、設定したIPアドレスでアクセスしてください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③[Setup](画面右上) → [System Options] → [Date & Time] を選択します。
- ④「Time zone:」のプルダウンで、「GMT+09(Osaka,Sapporo,Tokyo,Seoul)」を選択します。
- ⑤「Time mode:」が、「Synchronize with NTP server」が選択されていることを確認します。
- ⑥設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑦[Setup](画面右上) → [System Options] → [Advanced] を選択します。
 ⑧「NTP configuration」が、「Use the following NTP server address」を選択します。
 ⑨「Network address:」の欄に接続する MELOOK3 レコーダーの IP を入力選択します。
 ⑩設定反映のため、「Save」を押します。

AXIS P1365 Network Camera

Advanced TCP/IP Settings

DNS Configuration

Obtain DNS server address via DHCP

Use the following DNS server address:

Domain name:

Primary DNS server:

Secondary DNS server:

NTP Configuration

Obtain NTP server address via DHCP

Use the following NTP server address: (host name or IP address)

Host Name Configuration

Use the host name:

Enable dynamic DNS updates (Axisproduct.example.com)

TTL:

Link-Local IPv4 Address

Auto-Configure Link-Local Address

HTTP

HTTP port:

HTTPS

HTTPS port:

NAT traversal (port mapping) for IPv4

NAT traversal is disabled.

Use manually selected NAT routers: (LAN IP address)

Alternative HTTP port:

* If set to blank or 0, a port number will be set automatically upon enable.

FTP

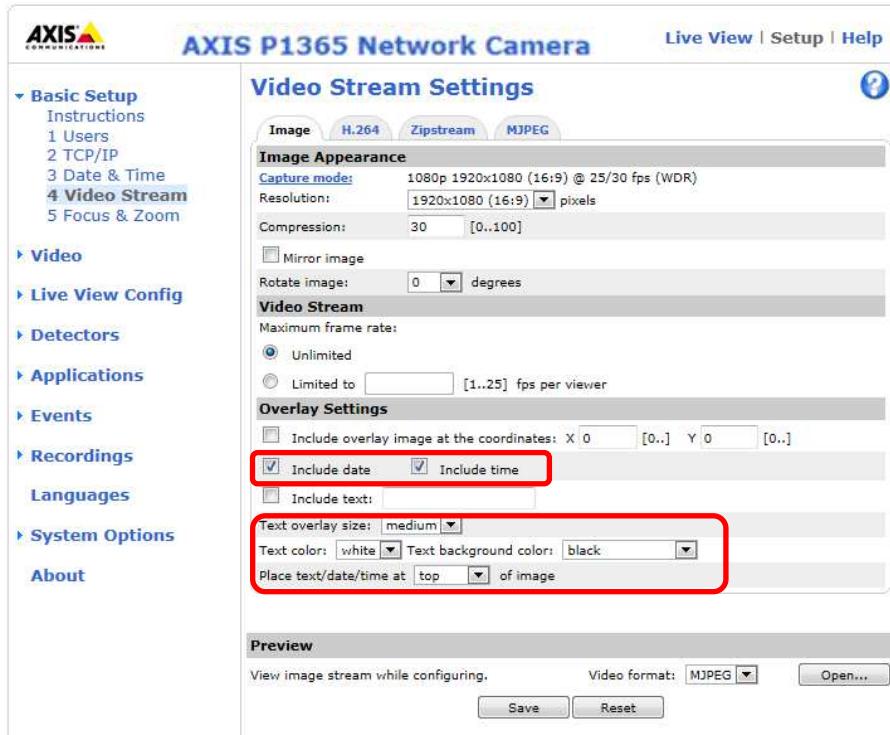
Enable FTP server

RTSP

Enable RTSP server

RTSP port:

- ⑪[Setup](画面右上) → [Basic Setup] → [Video Stream] を選択します。
- ⑫「Overlay Setting」の「Include date」と「Include time」をチェックします。
- ※表示時刻の文字サイズを変更したい場合は、「Text overlay size:」を変更してください。(初期値「medium」)
- 表示時刻の文字色を変更したい場合は、「Text color:」を変更してください。(初期値「white」)
- 表示時刻の背景色を変更したい場合は、「Text background color」を変更してください。(初期値「black」)
- 時刻の表示位置を変更したい場合は、「Place text/date/time at」を変更してください。(初期値「top」)
- ⑬設定反映のため、「Save」を押します。



- ⑭設定が反映されない場合は、カメラを再起動してください。
- ※再起動は、[Setup](画面右上) → [System Options] → [Maintenance] で、
「Restart」ボタン押下にて実行できます。

1.3.2.3. MELOOK3 レコーダーへの接続



- ・レコーダーの電源よりもアナログカメラの電源を先に ON してください。順番が守られない場合、正しく映像が映らないことがあります。(尚、停電からの復電にて、同時に電源 ON するような場合、レコーダーは起動までに数分かかる為、上記は発生しません)
- ・正しく映像が映らない場合には、取扱説明書 10.12 該当 CH の PoE 給電を OFF/ON するか、LAN ケーブルを抜き差しするか、レコーダーを再起動してください。
- ・AXIS アナログアダプタを使用する場合は、必ず電源投入手順をお守り頂き、正しく映像が映らない際は、ご不便をお掛けしますが、上記の復旧方法を実施ください。

(1) NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、電源投入済のアナログカメラを AXIS ビデオエンコーダに接続してから、AXIS ビデオエンコーダをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。
NET の LED が点灯/点滅後に STAT の LED が赤から緑に変わった段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS ビデオエンコーダを接続したカメラ No を選択し「検索」ボタンを押下してください。
AXIS ビデオエンコーダの設定が表示されます。
- ④ AXIS ビデオエンコーダのビットレート/フレームレートを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2) NR-5200/5280 の場合

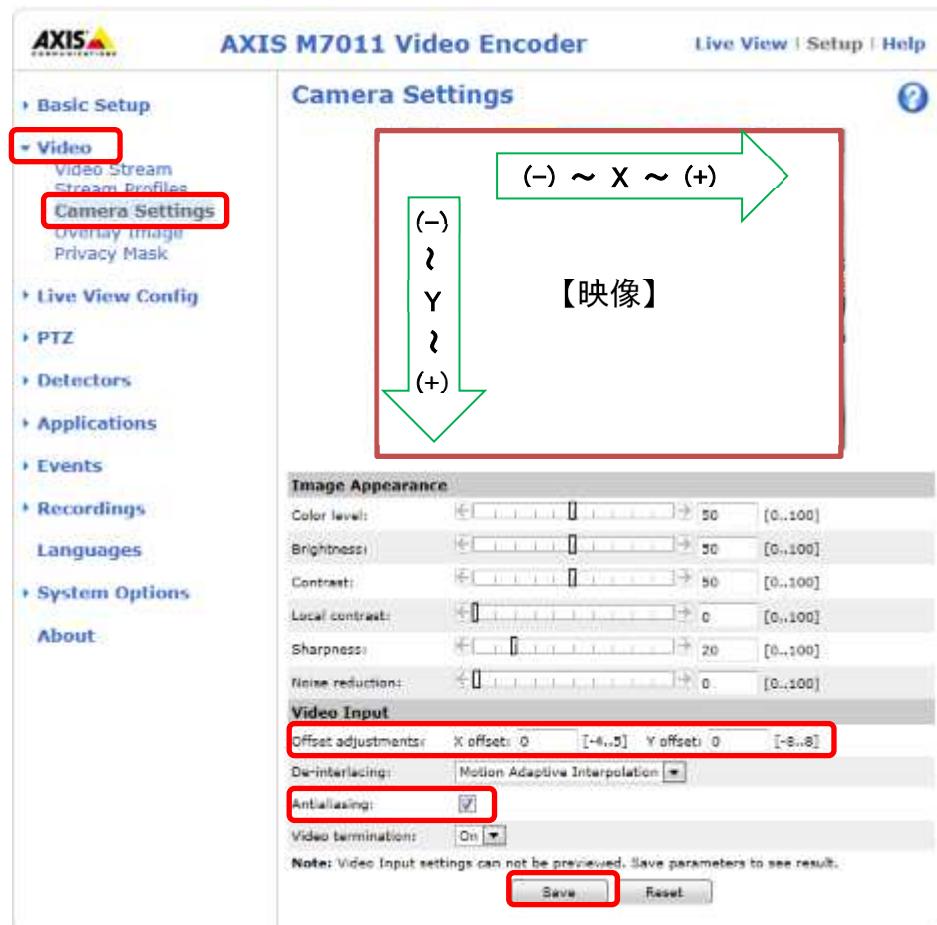
- ① 設定完了後、電源投入済のアナログカメラを AXIS ビデオエンコーダに接続してから、ネットワーク設計に基づき、AXIS ビデオエンコーダを PoE 給電スイッチング HUB に接続して下さい。PoE 給電スイッチング HUB へ接続すると給電されカメラが起動します。
NET の LED が点灯/点滅後に STAT の LED が赤から緑に変わった段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ AXIS ビデオエンコーダに設定した内容を入力してください。
- ④ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ① AXIS ビデオエンコーダをレコーダーに初回接続時、カメラ設定画面上、他のカメラと異なり、ビットレートが表示されません。レコーダーでは、各カメラからの応答値を表示しますが、AXIS ビデオエンコーダの場合は、設定可能値と異なる為、空白にしています。初回接続時に、必ずレコーダーのカメラ設定画面にて、ビットレートをプルダウンし、設定可能な値から任意の設定値を選択し直してください。
- ② カメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。ビデオエンコーダ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。

1.3.2.4. カメラ映像が横揺れする/歪みが生じる場合

AXISビデオエンコーダ(M7011)に接続した同軸カメラ映像が横揺れする場合、歪みが生じる場合は、Antialiasingを設定することで改善することができます。

- ①ブラウザでアクセスします。初期化後のIPアドレスは「192.168.0.90」、弊社から購入時のIPアドレスは「192.168.1.8」または「192.168.1.9」です。
※出荷時期によってIPが異なります為ご注意ください。
- ②ユーザ名「root」、パスワード「root」を入力します。
- ③ [Setup](画面右上) → [Video] → [Camera Settings]を選択します。
- ④ Video Input 下の「Antialiasing」をチェックします。
- ⑤ 「Antialiasing」を設定することで、画面ずれが生じることがあります。画面ずれ発生時は「Offset adjustment」を調整して修正してください。
横「X offset」(-)4～(+)5、縦「Y offset」(-)8～(+)8
- ⑥ 設定反映のため、「Save」を押します。



- ①「Offset adjustments」を調節しても、画面ずれが「Antialiasing」設定前の位置まで戻らないことがあります。ずれが大きい場合は、同軸カメラ本体の向きやつまみを直接調節して修正してください。

1.3.3. WV シリーズ カメラ

MELOOK3 レコーダー(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)にWV シリーズのカメラを収容する場合、予めブラウザ経由でカメラへの個別設定が必要です。接続できるカメラは下記表の通りです。接続可能なカメラ機種と MELOOK3 レコーダーの対応バージョン詳細は、当社のホームページも併せてご参照ください。

http://www.mitsubishielectric.co.jp/nwcamera/melook3/pdf/melook3_camera.pdf

① MELOOK3 レコーダー(NR-5200/5280)には接続できませんのでご注意ください。

| カメラ種別 | 接続可能なカメララインナップ | カメラ F/W バージョン |
|--------------|---|---------------|
| 屋内固定ボックス型カメラ | WV-S1110VZUX、WV-S1130VZUX | 4.81 又は 4.90 |
| 屋内固定ドーム型カメラ | WV-S3110ZUX、WV-S3510ZUX、WV-S2130ZUX、WV-S2110ZUX | 4.81 又は 4.90 |
| 屋外固定バレット型カメラ | WV-S1531LZUX | 4.81 又は 4.90 |

① カメラの動作状態によっては、カメラ接続中にも関わらず、カメラ設定によって全カメラの接続状態が「未接続」と表示される場合があります。この場合、レコーダーを再起動し、再度、カメラ設定を行ってください。
なお、レコーダーの再起動後も同様の症状が継続する場合は、販売店までご連絡ください。

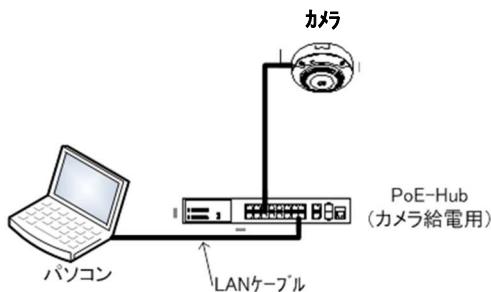


図 カメラ設定時の接続構成(※)

※カメラにアクセスする際の PC スペックやブラウザに関しては、以下の表を参考にしてください。

カメラをブラウザ経由で操作する為に必要な PC スペック

| | |
|--------|--|
| ブラウザ | Internet Explorer 11(32bit) 日本語版 Internet Explorer 10(32bit) 日本語版 Internet Explorer 9(32bit) 日本語版 Internet Explorer 8(32bit) 日本語版 Microsoft Edge Firefox Google Chrome |
| OS | Microsoft Windows 10 日本語版 Microsoft Windows 8.1 日本語版 Microsoft Windows 8 日本語版 Microsoft Windows 7 日本語版 |
| CPU | Intel CoreTM i5 6500 以上 Intel CoreTM i7 6700 以上推奨 |
| メモリ | 1 GB 以上(32bit)、2 GB 以上(64bit)、 4 GB(2 GB×2／デュアルチャネル)以上推奨 |
| ネットワーク | 10BASE-T または 100BASE-TX 1 ポート |
| 画像表示 | 解像度: 1024×768 ピクセル以上 発色 : True Color 24bit 以上 |
| サウンド | サウンドカード(音声機能を使用する場合) |

① 表以外の PC スペックに関しては随時更新されておりますので、販売店にご確認ください。

① WV シリーズカメラを MELOOK3 レコーダーに接続する場合の機能対応表を下記に示す。

| 項目 | 対応仕様 * 1 | 詳細 |
|--------|------------|--|
| ライブ* | 映像 | △ 5Mbps未サポート。記録・再生と同一ストリームを使用。 |
| | 音声(G.711) | △ G.711のみ対応 |
| 記録・再生 | 映像 | △ 5Mbps未サポート |
| | 音声(G.711) | △ G.711のみ対応 |
| ビーム | 映像 | △ 5Mbps未サポート |
| | 音声(G.711) | △ G.711のみ対応 |
| 遠隔ライブ* | 映像 | ○ MELOO3仕様踏襲 |
| | 音声(G.711) | △ G.711のみ対応 |
| 遠隔再生 | 映像 | ○ MELOO3仕様踏襲 |
| | 音声(G.711) | △ G.711のみ対応 |
| 分割表示 | 単画表示 | ○ MELOO3仕様踏襲(映像表示遅延あり) |
| | 4画表示 | ○ MELOO3仕様踏襲(映像表示遅延あり) |
| | 9画表示 | ○ MELOO3仕様踏襲(映像表示遅延あり) |
| | 16画表示 | ○ MELOO3仕様踏襲(映像表示遅延あり) |
| 検索 | タイムテーラーチ | ○ MELOO3仕様踏襲 |
| | サムネイル検索 | ○ MELOO3仕様踏襲(30fps設定時、コマ抜けあり) |
| | 顔サムネイル検索 | ✗ 非対応 |
| アラーム検知 | 大音量検知 | ○ 大音量検知に対応 |
| | MD検知 | ✗ 非対応 |
| | 悪戯検知 | ✗ 非対応 |
| 故障検知 | ○ | カメラの故障検知に対応 |
| カメラ制御 | PTZ | ✗ 非対応(デジタルズーム含む) |
| | プリセット登録・呼出 | ✗ 非対応 |
| | オートパン | ✗ 非対応 |
| 時刻同期 | ○ | MELOO3仕様踏襲 |
| 保守 | カメラ設定 | ○ ビットレート、フレームレート、解像度設定のみ対応 |
| | スケジュール設定 | ○ MELOO3仕様を踏襲 |
| | アラーム連動設定 | △ 連動カメラとしての登録は可。アラームトリガ用カメラとしてしては大音量検知のみ対応 |
| | 機器故障マスク | ○ MELOO3仕様を踏襲 |
| | アラームマスク | △ 大音量検知のみ対応 |
| | VCA転送設定 | ✗ 非対応 |
| | OSD設定 | ✗ 非対応 |
| | カメラ初期化 | ✗ 非対応 |
| | カメラ再起動 | △ 接続確認画面のPoE制御カメラのみ対応 増設HUB接続カメラは対応不可 |
| 認証 | ○ | 予めカメラに指定のアカウント登録が必要 |

* 1 ○: 対応 / △: 条件付対応 / ✗: 非対応

1.3.3.1. 屋内固定ボックス型カメラ(WV-S1110VZUX、WV-S1130VZUX)

屋内固定ボックス型カメラの設定方法を以下に示します。

MELOOK3 レコーダーに初めて接続する場合、及び、カメラを初期化した場合、以下の手順に従い、予めブラウザ経由で各種設定を行ってください。

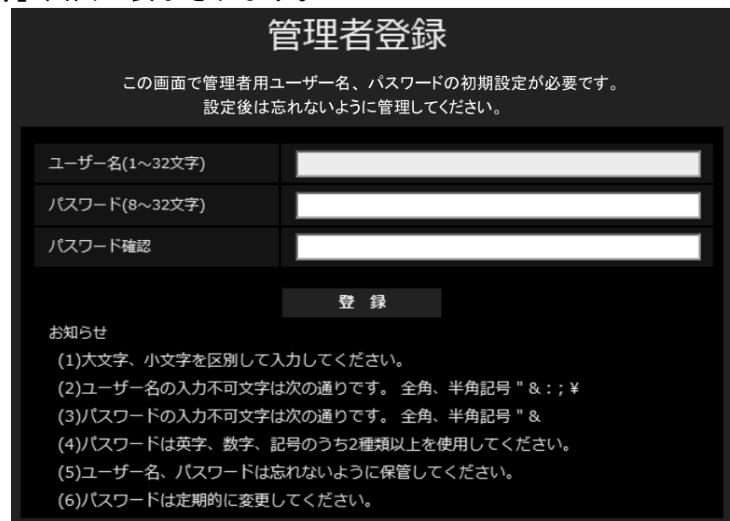
なお、本書に記載の設定項目は、MELOOK3 レコーダーに接続するための設定項目になります。カメラの画質等の設定方法については、各カメラの取扱説明書を参照してください。

屋内固定ボックス型カメラの設定方法を以下に示します。

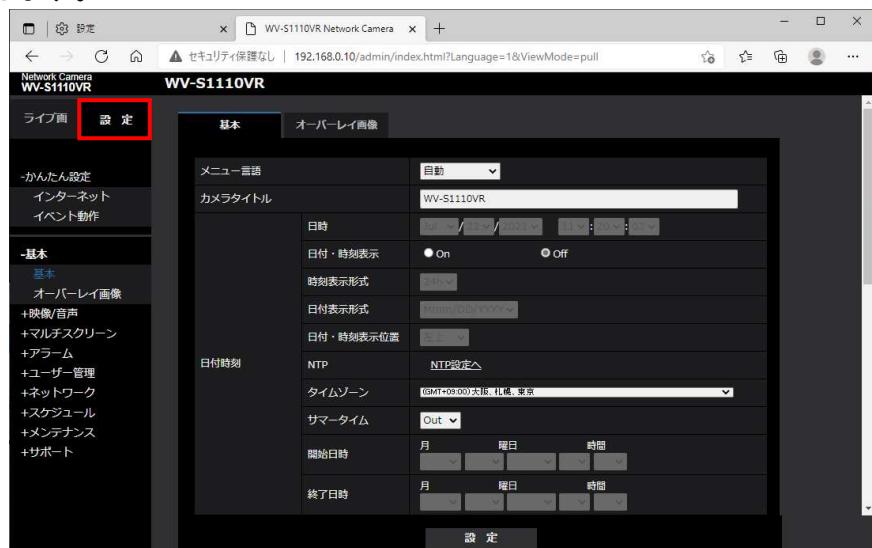
(1) 管理者登録

- ① カメラを PoE-HUB に接続後、3 分程度放置します。
※カメラがデフォルト IP アドレス（192.168.0.10）で起動するまで待ちます。
- ② ブラウザのアドレスバーにカメラの IP アドレス「192.168.0.10」を入力し、「Enter」キーを押下します。
- ③ カメラへの接続に成功すると「管理者登録」画面が表示されます。
- ④ 下記を入力し、「登録」ボタンを押下します。

ユーザー名 : root
パスワード : H264meliok
パスワード確認 : H264meliok



- ⑤ 管理者登録に成功するとメニュー画面が表示されます。
- ⑥ 画面左の「設定」タブを押下します。



(2) F/W バージョン確認

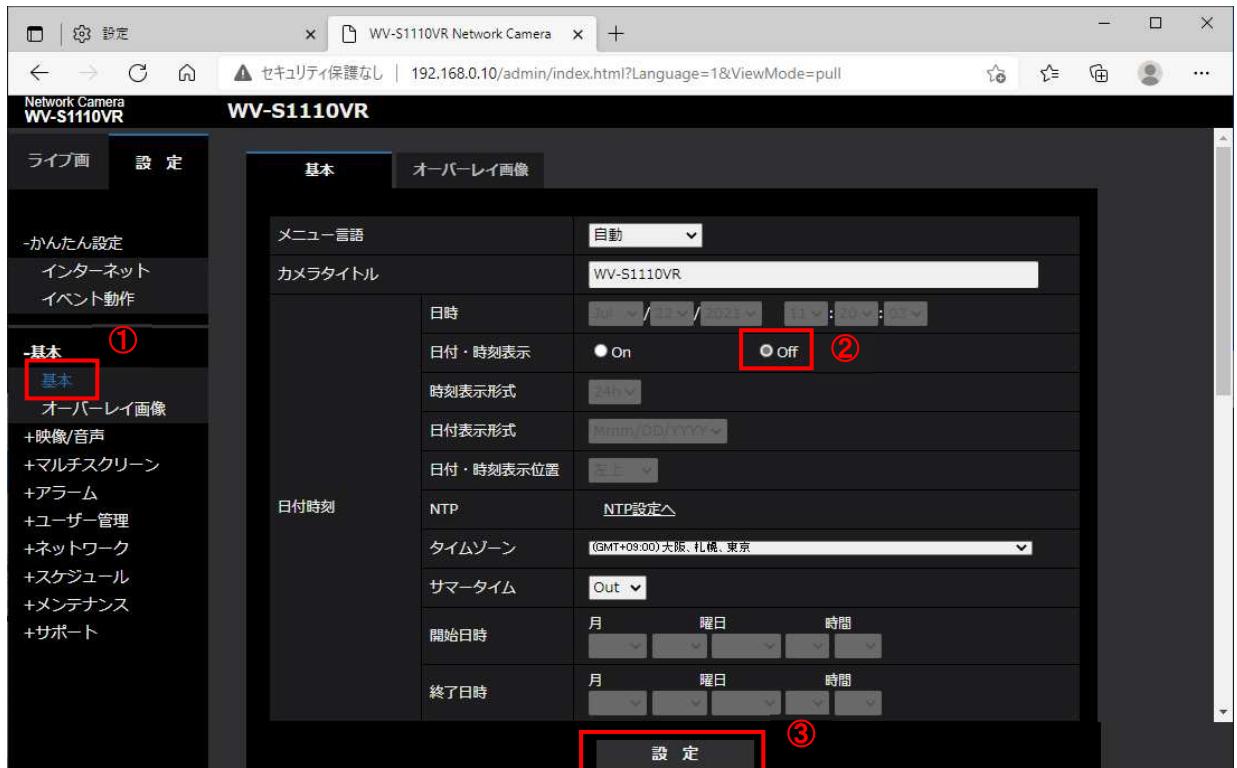
カメラの F/W バージョンを確認してください。

- ① 設定メニューより「メンテナンス」→「バージョンアップ」を選択します。
- ② 「ソフトウェアバージョン」を確認します。
- ③ 「4.81」の場合は、(3)へ進んでください。
「4.90」の場合は、(8)へ進んでください。



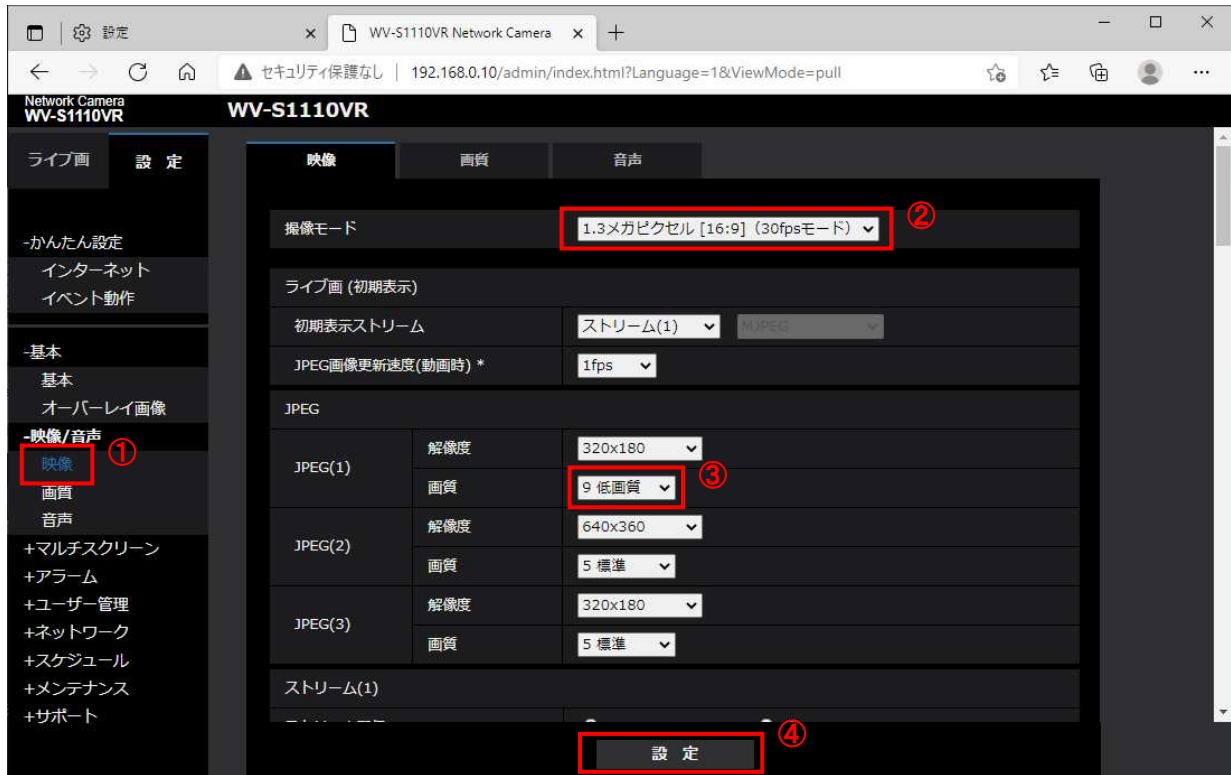
(3) 「日付・時刻表示」設定

- ① 設定メニューより「基本」を選択します。
- ② 「基本」タブの「日付・時刻表示」で「Off」を選択します。
- ③ 「設定」ボタンを押下します。



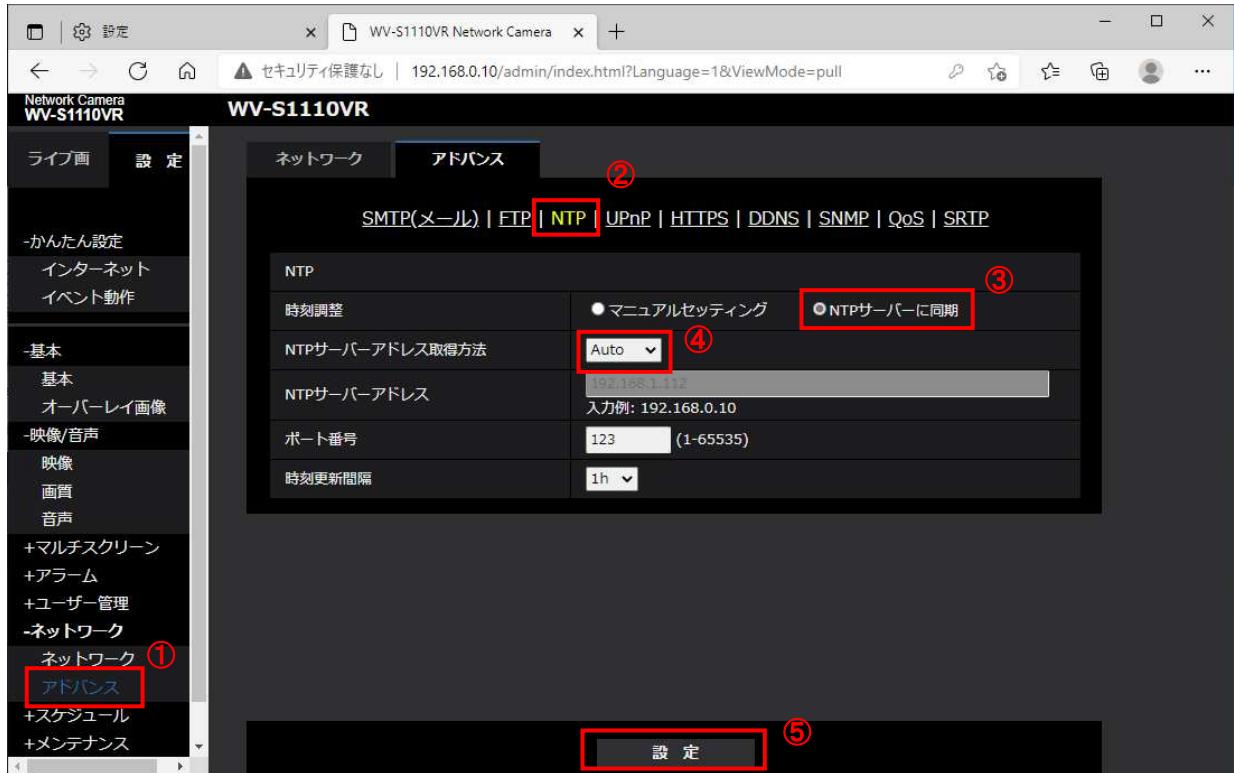
(4) 「撮像モード」設定 / 「画質」設定

- ① 設定メニューより「映像/音声」→「映像」を選択します。
- ② 「映像」タブの「撮像モード」で「XX メガピクセル【16:9】(30fps モード)」を選択します。
※XXは、カメラによって異なります。
- ③ 「映像」タブの「JPEG(1)」→「画質」で「9 低画質」を選択します。
- ④ 「設定」ボタンを押下します。



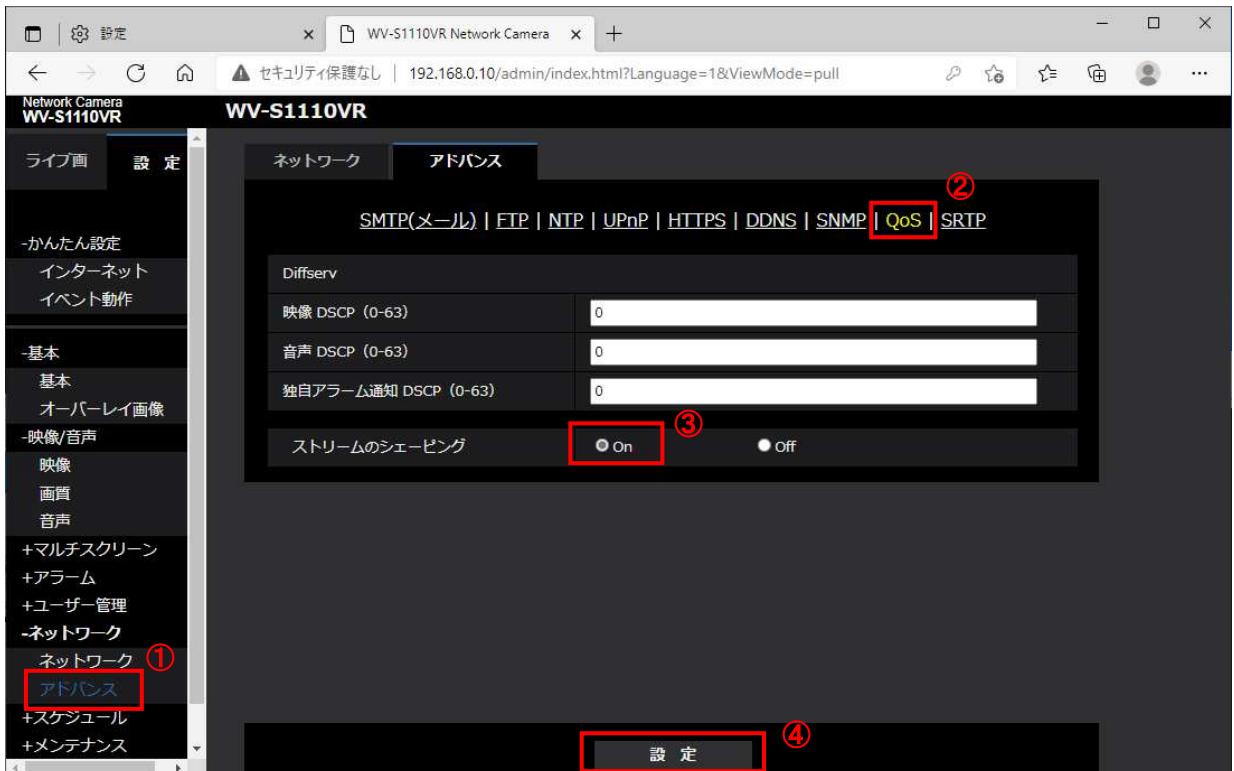
(5) 「NTP」設定

- ① 設定メニューより「ネットワーク」→「アドバンス」を選択します。
- ② 「アドバンス」タブの「NTP」タブを選択します。
- ③ 「NTP」タブの「時刻調整」で「NTP サーバーに同期」を選択します。
- ④ 「NTP」タブの「NTP サーバーアドレス取得方法」で「Auto」を選択します。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下します。



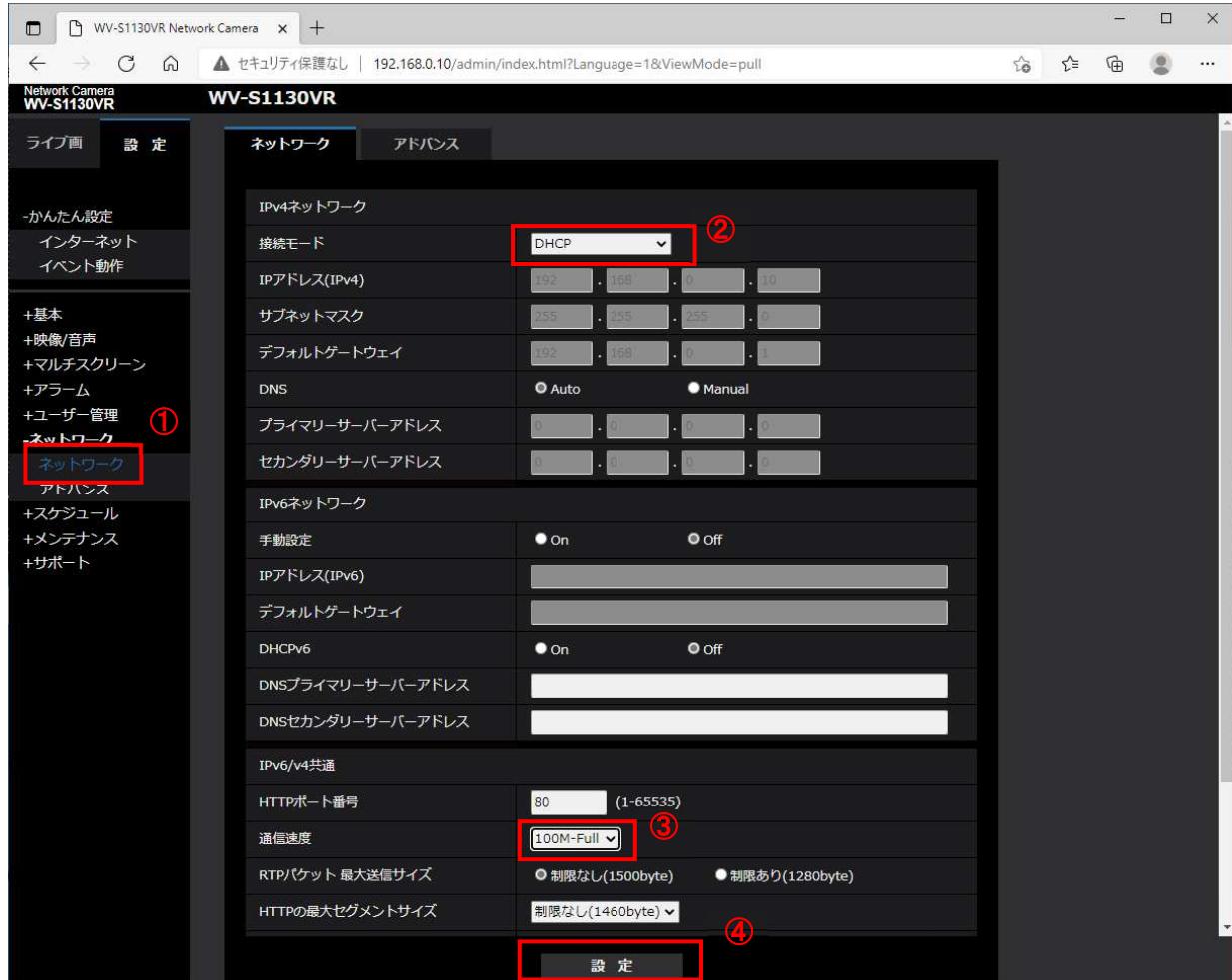
(6) 「QoS」設定

- ① 設定メニューより「ネットワーク」→「アドバンス」を選択します。
- ② 「アドバンス」タブの「QoS」タブを選択します。
- ③ 「QoS」タブの「ストリームのシェーピング」で「On」を選択します。
- ④ 「設定」ボタンを押下します。



(7) 「接続モード」設定 / 「通信速度」設定

- ① 設定メニューより「ネットワーク」→「ネットワーク」を選択します。
- ② 「ネットワーク」タブの「接続モード」で「DHCP」を選択します。
- ③ 「ネットワーク」タブの「通信速度」で「100M-Full」を選択します。
- ④ 「設定」ボタンを押下します。



(8) MELOOK3 レコーダーへの接続

「1. 3. 3. 4 MELOOK3 レコーダーへの接続」を参照してください。

1.3.3.2. 屋内固定ドーム型カメラ(WV-S3110ZUX、WV-S3510ZUX、WV-S2130ZUX)

屋内固定ドーム型カメラの設定方法は、屋内固定ボックス型カメラと同一です。

「1.3.3.1 屋内固定ボックス型カメラ(WV-S1110VZUX、WV-S1130VZUX)」を参照してください。

1.3.3.3. 屋外固定バレット型カメラ (WV-S1531LZUX)

屋外固定バレット型カメラの設定方法は、屋内固定ボックス型カメラと同一です。

「1.3.3.1 屋内固定ボックス型カメラ(WV-S1110VZUX、WV-S1130VZUX)」を参照してください。

1.3.3.4. MELOOK3 レコーダーへの接続

- ① カメラの設定完了後、カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ カメラを接続したカメラNoを選択し、「検索」ボタンを押下してください。カメラの設定が表示されます。
- ④ カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

- ① MELOOK3 レコーダー(NR-5200/5280)には接続できませんのでご注意ください。
- ② WV シリーズカメラは、5Mbps をサポートしていません。M3 レコーダーのカメラ設定画面で 5Mbps は選択しないでください。選択した場合、カメラの行が黄色に表示され、4Mbps で動作します。
- ③ M3 レコーダーのカメラ設定画面で 5Mbps の設定を行っていないのにカメラの行が黄色に表示された場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。カメラ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。
- ④ 30fps を設定した場合、サムネイル及び遠隔監視映像が正常に表示されないことがあります。この場合、15fps 等フレームレートを下げてカメラの負荷を低減してください。
- ⑤ 分割表示で他のカメラと一緒に表示する場合、映像が遅延して表示されることがあります、異常ではありませんのでそのままお使いください。
- ⑥ WV シリーズカメラを複数台接続したシステムの場合、MELOOK3 レコーダーを再起動後、映像が表示されるまでに数分かかる場合があります。そのままお待ちください。
- ⑦ WV シリーズカメラを複数台接続したシステムの場合、MELOOK3 レコーダーの終了に 1 分以上時間がかかる場合があります。そのままお待ちください。UPS をお使いの場合は、1.2 UPS(無停電電源装置)の注意事項にある停電時の UPS 出力停止までの時間を 120 秒以上に設定をしてください。
- ⑧ WV シリーズカメラを複数台接続したシステムの場合、MELOOK3 レコーダーのソフトウェアバージョンアップに時間がかかる場合があります(MELOOK3 カメラを接続している場合と比較し、1~2 分程度時間を要す)。そのままお待ちください。
- ⑨ WV シリーズカメラを複数台接続したシステムの場合、MELOOK3 レコーダーの初回起動時、カメラ設定画面の「状態」表示が、「未接続」のまま更新されないことがあります。この場合、当該カメラを選択し、「検索」ボタンを押下してください。
- ⑩ カメラ設定後、ライブ映像が表示されることを確認してください(単画/16 画)。万が一、ライブ映像が表示されない場合、MELOOK3 レコーダーを再起動してください。
- ⑪ 被写体によっては、カメラからのストリームデータが MELOOK3 レコーダーの受信性能を超過し、半日で数十個のパケットをロスすることがあります(最大 1 秒の映像カクツキ(音声途切れ)/半日が発生する可能性があります)。その場合、ビットレート設定を 3Mbps 以下にする等カメラ設定の見直しをお願いします(WV シリーズカメラは 6Mbps 設定時でも約 9Mbps 出力することができます)。増設 HUB を使用した接続カメラ台数の多いシステムでは、上記が発生し易くなります。

1.3.3.5. 管理者情報を忘れてしまったら

管理者情報を忘れてしまったり、誤った情報で登録してしまったら、カメラの設定ができなくなります。この場合、カメラの「INITIAL SET」ボタンを使用してカメラを初期化後に再度、設定を行ってください。

※各カメラの「INITIAL SET」ボタンの位置は、取扱説明書を参照ください。

[カメラの初期化手順]

- (1) カメラの電源を切る。
- (2) 「INITIAL SET」ボタンを押しながらカメラの電源を入れ、約 15 秒後に「INITIAL SET」ボタンを離す。
- (3) 約 2 分後にカメラが起動し、設定が初期化される。

- ① 電源を入れてから約 3 分間はカメラの電源を切らないこと。

1.3.4. VIVOTEK ビデオエンコーダ

VIVOTEK ビデオエンコーダの設定方法を以下に示します。接続できるビデオエンコーダは下記表の通りです。
接続可能なカメラ機種とMELOOK3 レコーダーの対応バージョン詳細は、当社のホームページも併せてご参照ください。

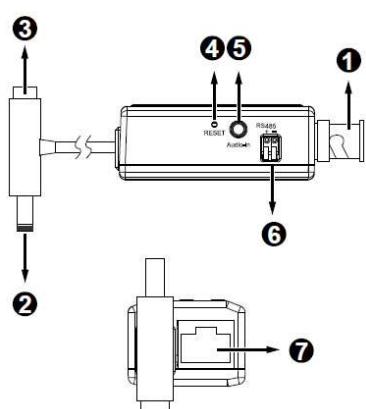
http://www.mitsubishielectric.co.jp/nwcamera/melook3/pdf/melook3_camera.pdf

| 接続可能な VIVOTEK ビデオエンコーダラインナップ | 推奨エンコーダ F/W バージョン |
|------------------------------|-------------------|
| VS8100-v2 | 0113b |

初期化する場合や接続 CH を変更する場合は、予めブラウザ経由で 1.3.4.1.に示す初期設定が必要です。
(ビデオエンコーダに対し AC アダプタでの給電が必要です)。

レコーダーに接続する際は、1.3.4.3 に示す通りレコーダーのカメラ設定画面で実施ください。

(1)各部名称



| | | |
|---|---------------------|---------------|
| ① | BNC 入力(オス) | アナログカメラと接続 ※1 |
| ② | DC12V 出力 | 非対応 ※2 |
| ③ | DC12V 入力 | AC アダプタと接続 ※3 |
| ④ | RESET ボタン | 初期化の時に使用 |
| ⑤ | AUDIO 入力 | 非対応 ※2 |
| ⑥ | RS485 | 非対応 ※2 |
| ⑦ | RJ-45 Ethernet コネクタ | レコーダーと接続 |

※1 VS8100-v2 の BNC 入力はオスになります。一般的な BNC ケーブルに使用されているコネクタもオスのため、直接接続することができず、別途 BNC メス→BNC メス変換コネクタが必要となります。

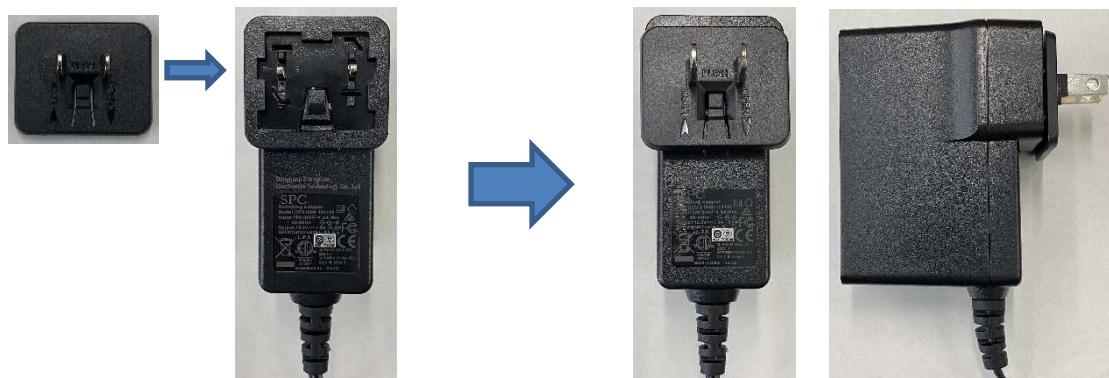
※2 VS8100-v2 の DC12V 出力機能、RS485 機能、オーディオ機能は非対応となります。

※3 VS8100-v2 は PoE 非対応です。AC アダプタによる給電が必要です。

(2)ACアダプタの準備

ACアダプタ用プラグをACアダプタ本体に取り付けして使用します。

①ACアダプタ用プラグをACアダプタ本体端子部の少し下にずらしてはめる。



②カチッと音がするまでACアダプタ用プラグを上にずらしたらACアダプタの準備完了。



(3)接続構成

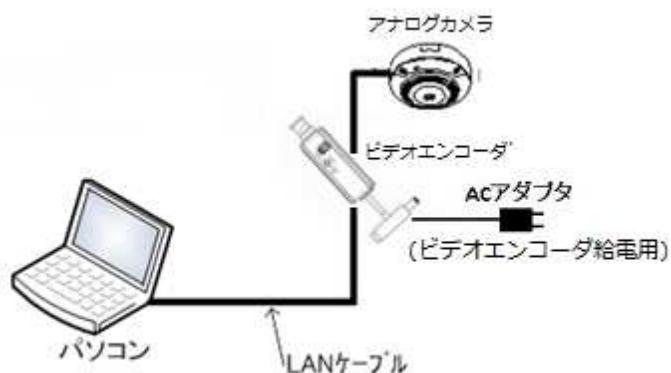


図 VIVOTEKビデオエンコーダ設定時の接続構成(※)

※ VIVOTEKビデオエンコーダに図 VIVOTEKビデオエンコーダ設定時の接続構成でアクセスする際のPCスペックやブラウザに関しては、以下の表を参考にしてください。

VIVOTEKビデオエンコーダをブラウザ経由で操作する為に必要なPCスペック

| | |
|------|--------------------------|
| ブラウザ | Chrome 58.0 以上 |
| OS | Microsoft Windows 10/8/7 |
| CPU | ブラウザとOSの動作要件を満たすこと |
| メモリ | |

1.3.4.1. 初期設定

以下(1)の手順で初期化した場合は、レコーダーに接続する前に必ず以下(2)～(6)の設定を実施ください。
接続する CH を変更する場合は、以下(6)ネットワーク設定を実施ください。

(1)初期化

- ①図 VIVOTEK ビデオエンコーダ設定時の接続構成で VIVOTEK ビデオエンコーダの電源を ON、起動するまで待ちます(約 50 秒)。LAN ポート LED 表示が「オレンジ：点灯」、「緑：1 秒周期で点滅」したら起動完了です。
- ②側面の「RESET」ボタンを LAN ポートのオレンジと緑の LED が高速点滅するまで押し続け(5 秒以上)、高速点滅をはじめたら離します。
- ③LAN ポートの LED 表示が、「オレンジ：点灯」、「緑：1 秒周期で点滅」で落ち着くまで待ったら初期化完了です。
「RESET」ボタンを離してから初期化完了まで約 2 分 10 秒かかります。初期化完了までの間は電源を切らないようにしてください。

(2)IP アドレス確認

IP アドレスの初期値は機体によって異なるため、以下で確認します。

- ①VIVOTEK の HP から shepherd をダウンロードして PC にインストールします。

<https://www.vivotek.com/ja/products/software/shepherd> (2025 年 1 月現在の HP 表記)

! 「Software_Shepherd_V3.6.0.3.zip」の方を選んでください。(2025 年 1 月現在の HP 表記)

! ツールは、VIVOTEK 社が提供しています。VIVOTEK 社の都合でダウンロードサイトや S/W バージョンが更新されることがあります。最新情報は、販売店にお問い合わせください。

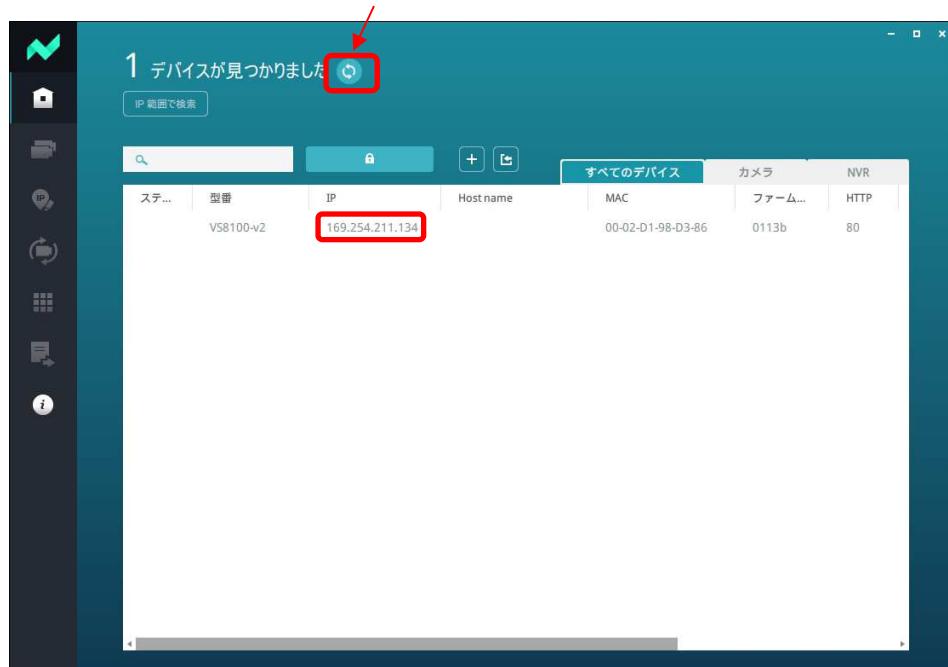
- ②shepherd を起動すると PC の LAN ポートに繋がっている VS8100-v2 の情報が表示されるので、IP アドレスを確認します。

! デバイスが見つからなかった場合は、表示されるまで「更新ボタン」を押してください。

! shepherd は、(6)ネットワーク設定を行うまで起動し続けてください。shepherd を終了すると PC から接続できなくなります。

※shepherd に表示された IP アドレスが接続可能となるように PC のネットワーク設定を変更すれば、shepherd を終了しても接続可能となります。

更新ボタン

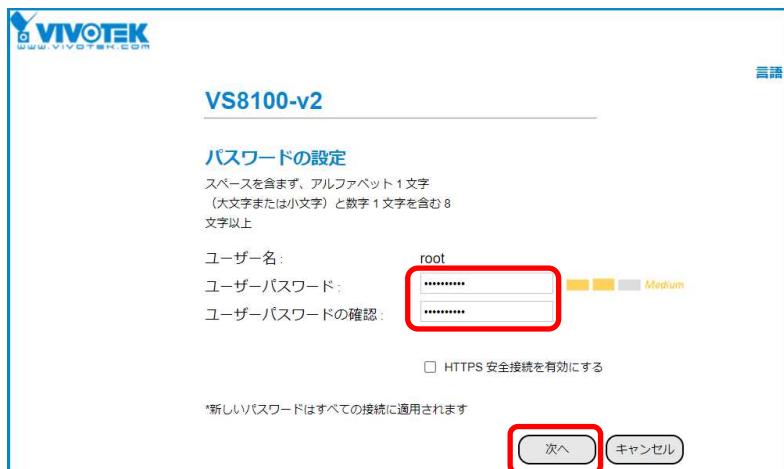


(3)初回設定

- ①ブラウザでアクセスします。(「http://[IP address]」を入力)
- ②「Language」を押下して「日本語」を選択します。※すでに日本語になっている場合は不要です。



- ③パスワード設定画面が表示されるので、「ユーザーパスワード」「ユーザーパスワードの確認」に「H264melook」を入力し、「次へ」ボタンを押下します。



- ④以下の画面が表示されるので、「同意する」を選択し、「保存」ボタンを押下します。



- ⑤ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。

(4)ストリーム設定

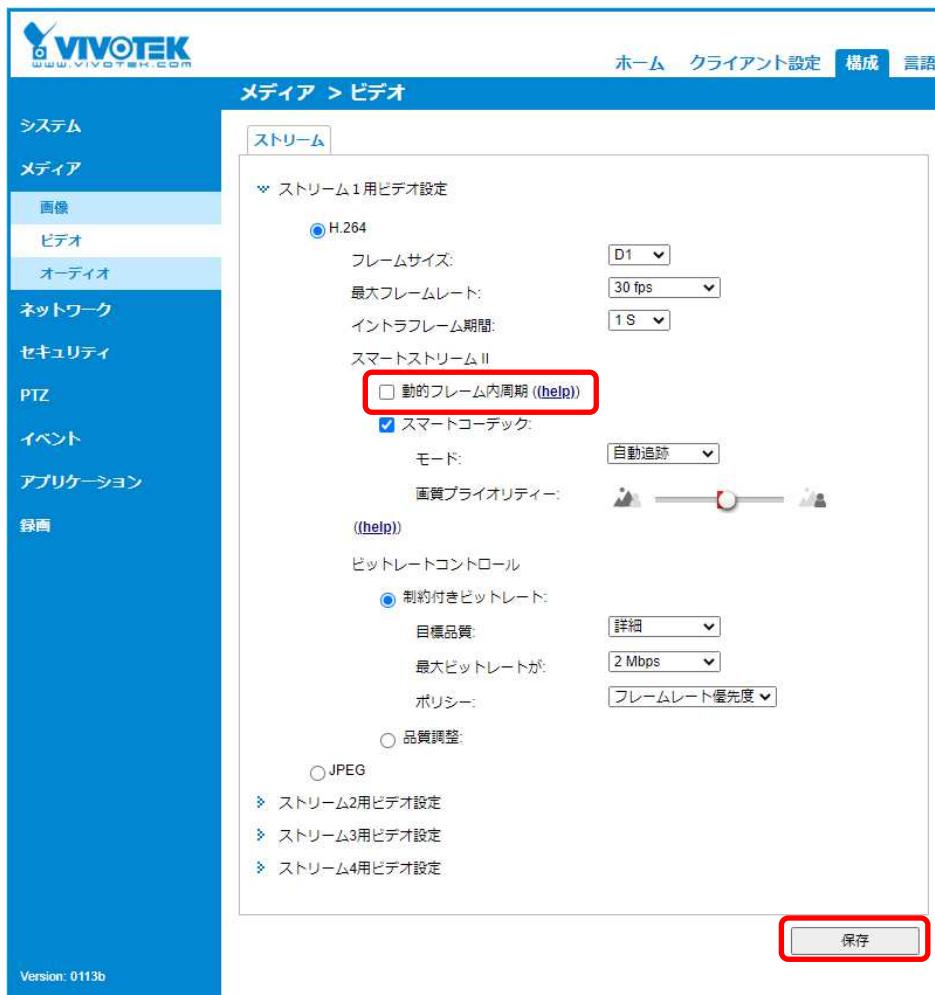
(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

①ブラウザでアクセスします。(「http://[IP address]」を入力)

②ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。

③「構成」→「メディア」→「ビデオ」→「ストリーム 1 用ビデオ設定」を選択して下さい。

④「動的フレーム内周期」のチェックを外し、「保存」ボタンを押下します。



(5) タイムゾーン設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

- ① ブラウザでアクセスします。(「[http://\[IP address\]](http://[IP address])」を入力)
- ② ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。

- ③ 「構成」→「システム」→「一般設定」を選択して下さい。
- ④ 「タイムゾーン」を「GMT+09:00 大阪、札幌、東京、ソウル、ヤクーツク」を選択します。
- ⑤ 「保存」ボタンを押下します。



(6) ネットワーク設定

(初回設定から継続作業の場合は、③からとなります)

① ブラウザでアクセスします。(「http://[IP address]」を入力)

② ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。

③ 「構成」→「ネットワーク」→「一般設定」を選択して下さい。

④ 「固定 IP アドレスを使用」を選択します。

(既に「固定IPアドレスを使用」が設定されている場合は不要です)

⑤ 「IP アドレス」を「192.168.1.(*)」にします。

(*) カメラを接続する CH 番号を入力します。「1.5.4NR-5000/5041/5080/5100/5512」に接続する PoE 給電スイッチング HUB の設定に記載の IP アドレスを参照してください。

⑥ 「サブネットマスク」を「255.255.255.0」にします。

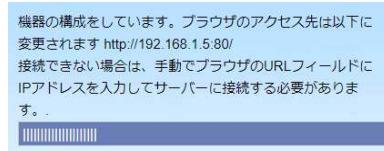
⑦ 「デフォルトルーター」を「192.168.1.254」にします。

⑧ 「保存」ボタンを押下します。

!! PC のネットワーク設定は変更後の IP アドレスが接続可能となるように設定してください。



⑨ プログレスバーが表示されるため、完了するまで待ってください。



⑩ ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。
ログインできたら設定完了です。

1.3.4.2. 設定変更

以下の設定変更の方法について示します

- (1)「上下左右反転」
- (2)「カメラ映像に日時時刻を表示する」

VIVOTEK ビデオエンコーダ(VS8100-v2)の接続 CH(レコーダーへの接続先[カメラ接続端子／カメラ増設端子])を変更する場合は、事前に「1.3.4.1(6)ネットワーク設定」の設定をしてください。

(1)上下左右反転

- ①ブラウザでアクセスします。(「http://[IP address]」を入力)
- ②ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。
- ③「構成」→「メディア」→「画像」→「一般設定」を選択します。
- ④「ビデオの位置」の「反転」「ミラー」にチェックを入れ、「保存」ボタンを押下します。



(2) カメラ映像に日時時刻を表示する

カメラ映像に現在時刻を表示することができます。

①ブラウザでアクセスします。「http://[IP address]」を入力

②ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。

③「構成」→「メディア」→「画像」→「一般設定」を選択します。

④「ビデオとスナップショットにタイムスタンプとビデオタイトルを表示する」にチェックを入れ、

文字位置を変更する場合は「イメージ上のタイムスタンプと動画タイトルの位置」、

文字サイズを変更する場合は「タイムスタンプと動画タイトルのフォントサイズ」

をあわせて変更して、「保存」ボタンを押下します。



1.3.4.3. MELOOK3 レコーダーへの接続



- ・VIVOTEK ビデオエンコーダ初期化後はじめて MELOOK3 レコーダーに接続する際、または接続する CH を変更する際、映像配信までに約 2 分かかる場合があり、極稀に映像配信されないままタイムアウトする場合があります。この場合、AC アダプタを抜き差しするか、LAN ケーブルを抜き差しするか、レコーダーを再起動してください。
- ・PC のブラウザから設定をした場合は、必ずブラウザを終了してから LAN ケーブルを抜き、MELOOK3 レコーダーに接続する前に必ず VIVOTEK ビデオエンコーダの AC アダプタを抜き差してください。
- ・正しく映像が映らない場合には、AC アダプタを抜き差しするか、LAN ケーブルを抜き差しするか、レコーダーを再起動してください。
- ・VIVOTEK ビデオエンコーダを使用する場合は、正しく映像が映らない際は、ご不便をお掛けしますが、上記の復旧方法を実施ください。

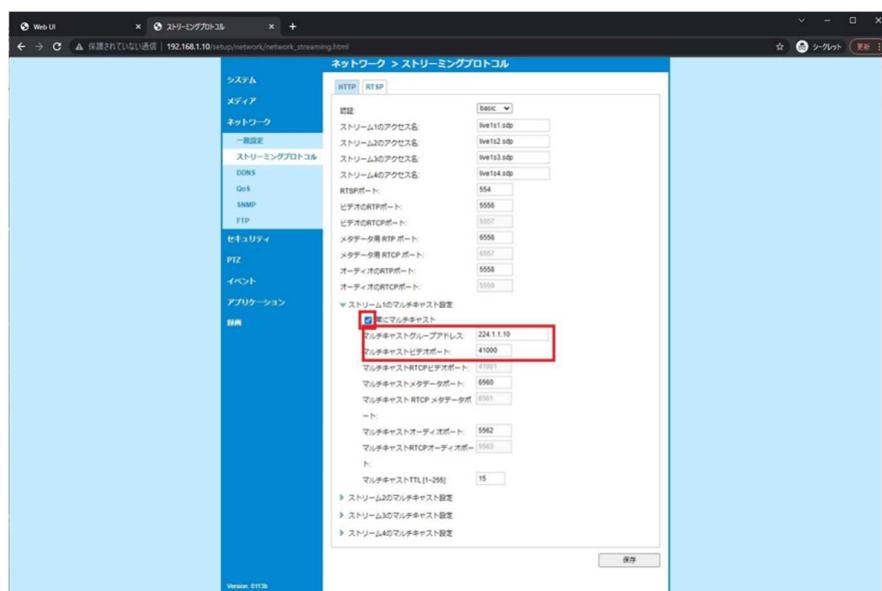
(1) NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ①設定完了後、VIVOTEK ビデオエンコーダをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。
- ②レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③VIVOTEK ビデオエンコーダを接続したカメラNoを選択し「検索」ボタンを押下してください。
VIVOTEK ビデオエンコーダの設定が表示されます。
- ④VIVOTEK ビデオエンコーダのビットレート/フレームレートを選択してください。
- ⑤「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

※2023 年 2 月現在、多地点遠隔アプリケーション(NR-SW5000)は非対応となります。

(2) NR-5200/5280 の場合

- ①マルチキャスト配信を行うため、VIVOTEK ビデオエンコーダに対し、予め以下の設定を行ってください。
 - 1) 「構成」→「ネットワーク」→「ストリーミングプロトコル」を選択する。
 - 2) RTSP を選択し、ストリーム 1 のマルチキャストを選択する。
 - 3) 常にマルチキャストに☑を入れる。
- 4) マルチキャストグループアドレス、マルチキャストビデオポートをシステム構成に合わせ入力する。
- 5) 保存ボタンを押下する。



- ②レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③VIVOTEK ビデオエンコーダを接続したカメラNoを選択の上、種別から「VS8100-v2」を選択、カメラ制御 IP に接続したビデオエンコーダの IP アドレスを入力して「取得」ボタンを押下してください。
- ④映像 1 IP と映像 1 Port に対し初期値(239.128.1.99 と 5560)が入力されますので、①で設定したマルチキャストグループアドレス、マルチキャストビデオポートに書き換えてください。
- ⑤カメラ設定とストリーム配信を ON にし、ビットレート/フレームレートを選択してください。
- ⑥「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、対応のビューワ等でカメラ映像を確認してください。

- ❗ VIVOTEK ビデオエンコーダは同軸ケーブルの通信異常を検知することができないので、同軸ケーブル通信異常の表示は非対応となります。
- ❗ 低ビットレートかつ高フレームレート設定時に動きの激しい映像を撮影した場合、フレームレートが低下する場合がありますが、VIVOTEK ビデオエンコーダの仕様であり異常ではありません。
- ❗ ビットレート 256kbps/フレームレート 5fps 設定時に動きの激しい映像を撮影した場合、録画時間が短くなる場合がありますが、VIVOTEK ビデオエンコーダの仕様であり異常ではありません。
- ❗ 接続可能台数は 1.3.5 接続可能台数 のとおりです。VIVOTEK ビデオエンコーダの特性上、AXIS ビデオエンコーダの半分になりますので留意願います。
- ❗ カメラ設定画面でカメラの行が黄色になった場合、カメラ本体とカメラ設定が不整合です。ビデオエンコーダ本体へ設定した内容が反映されているか再度ご確認ください。なお、VIVOTEK ビデオエンコーダの仕様上、不整合が検出可能なのは MELOOK3 レコーダーから設定された項目のみで、ブラウザから設定された項目は不整合を検出できません。このため、ブラウザからの設定は本書に記載がある項目のみとしてください。

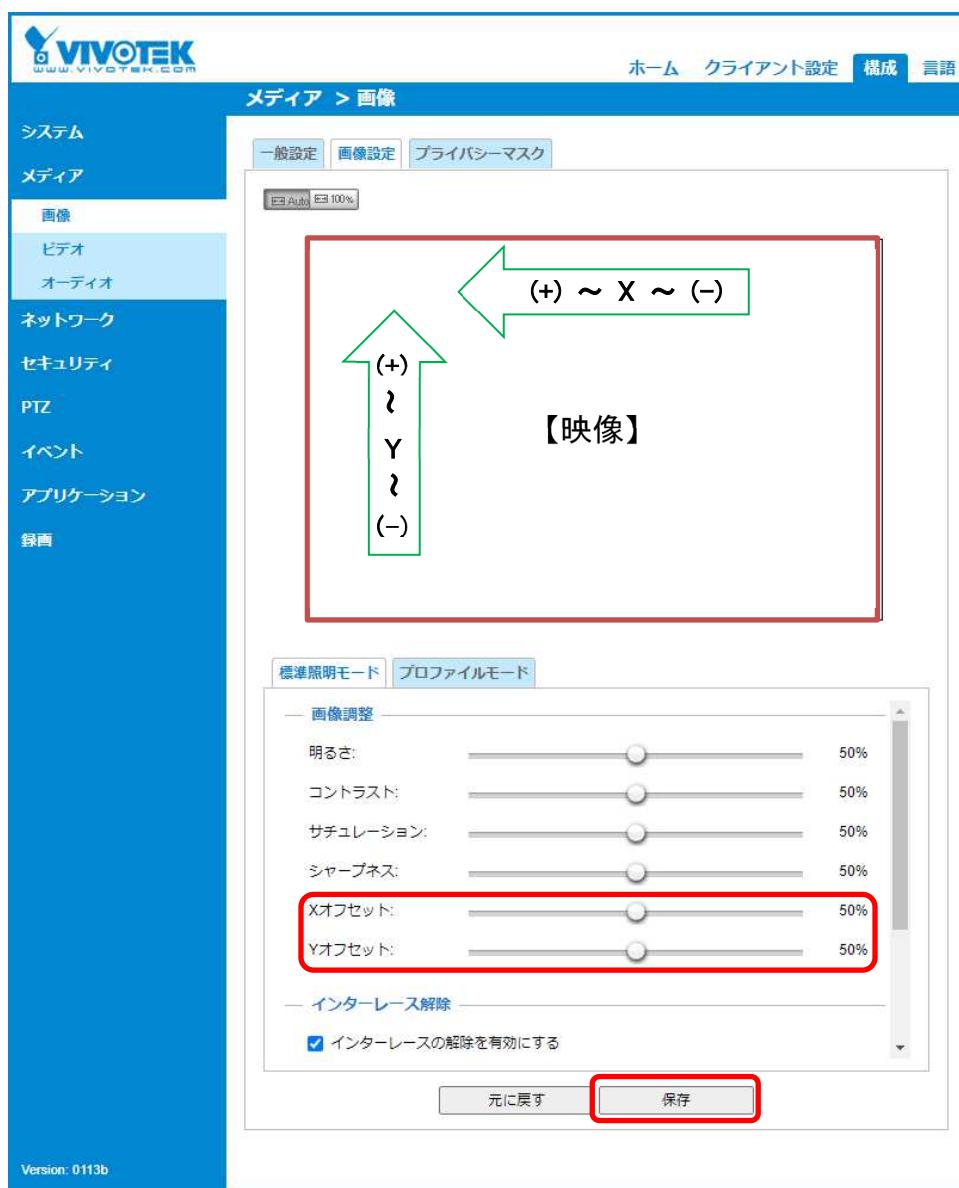
1.3.4.4. カメラ映像の上段に下段の映像が表示される場合

VIVOTEK ビデオエンコーダ(VS8100-v2)に接続した同軸カメラ映像の上段に、下段の映像が表示される場合があります。この場合、Yオフセットを設定することで改善することができます。

- ①ブラウザでアクセスします。(「[http://\[IP address\]](http://[IP address])」を入力)
- ②ログイン画面が表示されるので、ユーザ名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。
- ③「構成」→「メディア」→「画像」→「画像設定」を選択します。
- ④Yオフセットの値を調整して、カメラ映像の上段に下段の映像が表示されないようにします。
※映像の左右どちらかに黒帯が入っている場合、Xオフセットを調整することで改善することができます。
- ⑤設定反映のため、「保存」を押します。

※最適値は接続するカメラによって異なります。(参考値、アナログカメラ:CFS-K01A…Yオフセット:66%)

- ① VIVOTEK ビデオエンコーダのカメラ垂直映像位置は、カメラが接続された時のタイミングで 2 パターン存在します(約 2 ラインずれる)。このため、何度かカメラの電源を OFF/ON するか、カメラとビデオエンコーダの同軸ケーブルを抜き差して、カメラ映像の上段に下段の映像が表示されている状態で本調整を行ってください。
- ② 映像前後左右の黒帯は改善できない場合があります。



1.3.4.5. カメラ映像の画質調整

VIVOTEK ビデオエンコーダ(VS8100-v2)に接続した同軸カメラ映像の画質調整を行うことができます。

- ①ブラウザでアクセスします。「[http://\[IP address\]](http://[IP address])」を入力
- ②ログイン画面が表示されるので、ユーザー名「root」、パスワード「H264melook」を入力して「ログイン」を押下します。
- ③「構成」→「メディア」→「画像」→「画像設定」を選択します。
- ④「明るさ」「コントラスト」「サチュレーション(色の濃さ)」「シャープネス(輪郭補正)」の4項目を調整できます。
- ⑤設定反映のため、「保存」を押します。

※M7011 の画質に近くなる設定値 (参考値、アナログカメラ:CFS-K01A)

明るさ:55%、コントラスト:25%、サチュレーション:25%、シャープネス:0%



1.3.5. 接続台数

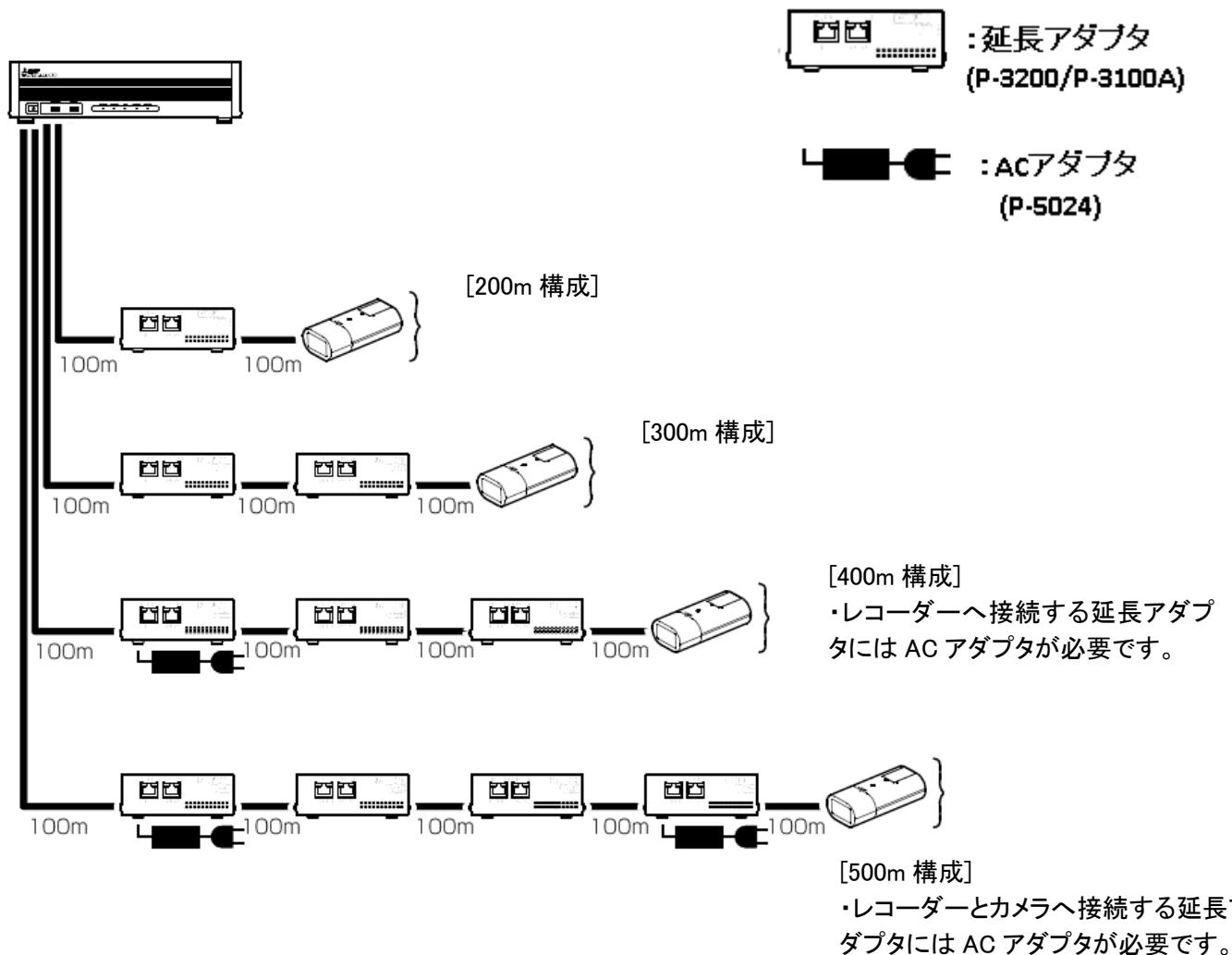
NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C へ他社カメラを接続する際は、以下 URL の「接続可能なカメラと接続台数一覧」を参照ください。

URL: http://www.mitsubishielectric.co.jp/nwcamera/melook3/pdf/melook3_camera.pdf

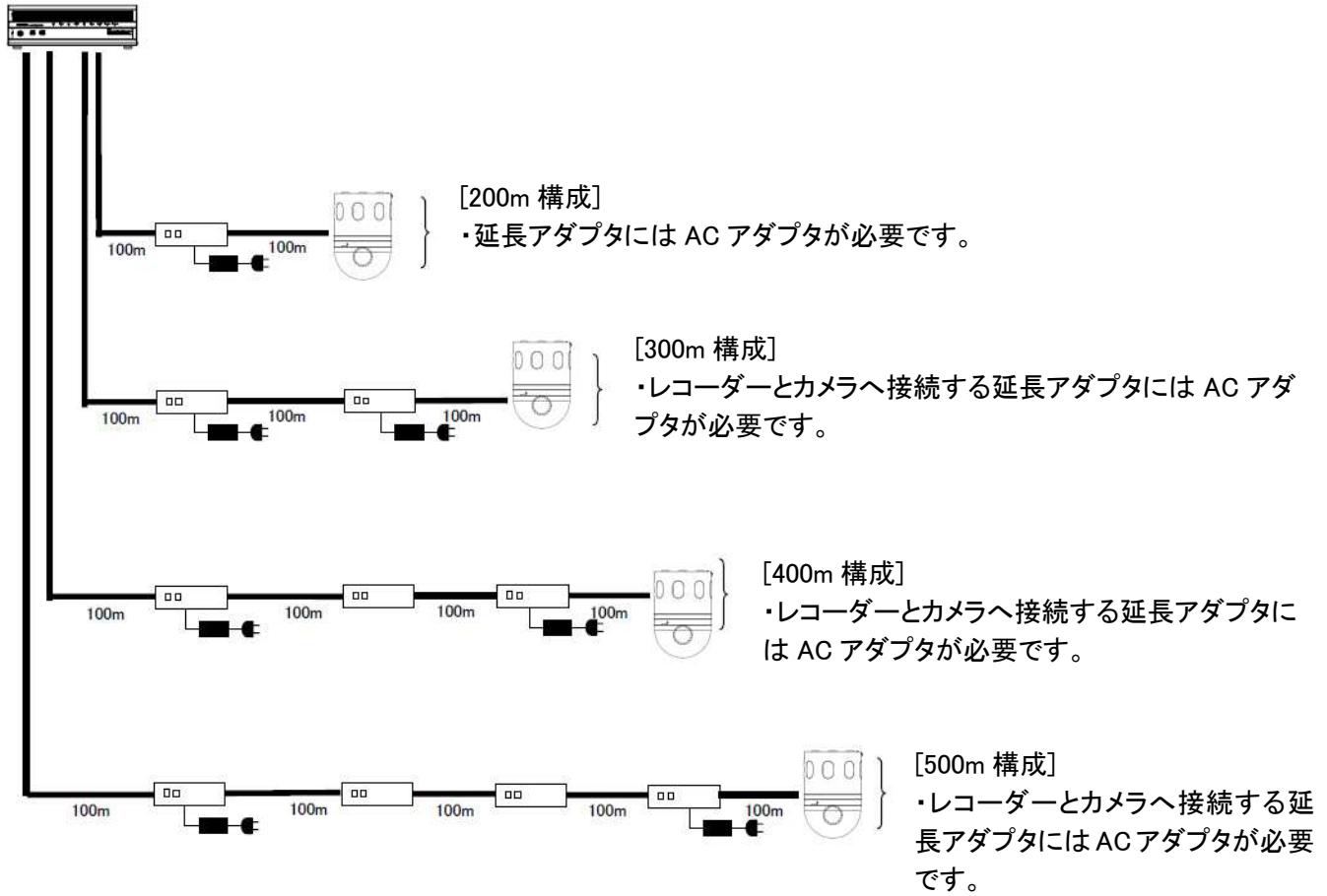
また、他社カメラを含め、当社製延長アダプタ(P-3200 等)を使用する際は、以下を参考・目安にしてください。延長にあたっては、延長アダプタの取扱説明書も参照ください。

| 分類 | 該当カメラ |
|--------|---|
| グループ 1 | MELOOK3 カメラ、MELOOK μ II カメラ、MELOOK-DG II カメラ(NC-6500 を除く)、NC-1000、M3007-P、M3027-PVE |
| グループ 2 | NC-6500、P1365 Mk II、P1365-E Mk II、P1435-LE、P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II、P5515、P5515-E、M5525-E、M3047-P、M3048-P、M3057-PLVE、M3067-P、M3068-P、P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE、M1135、M1135-E |
| グループ 3 | DIGITAL ROBOTY、P5635-E Mk II、P5655-E |

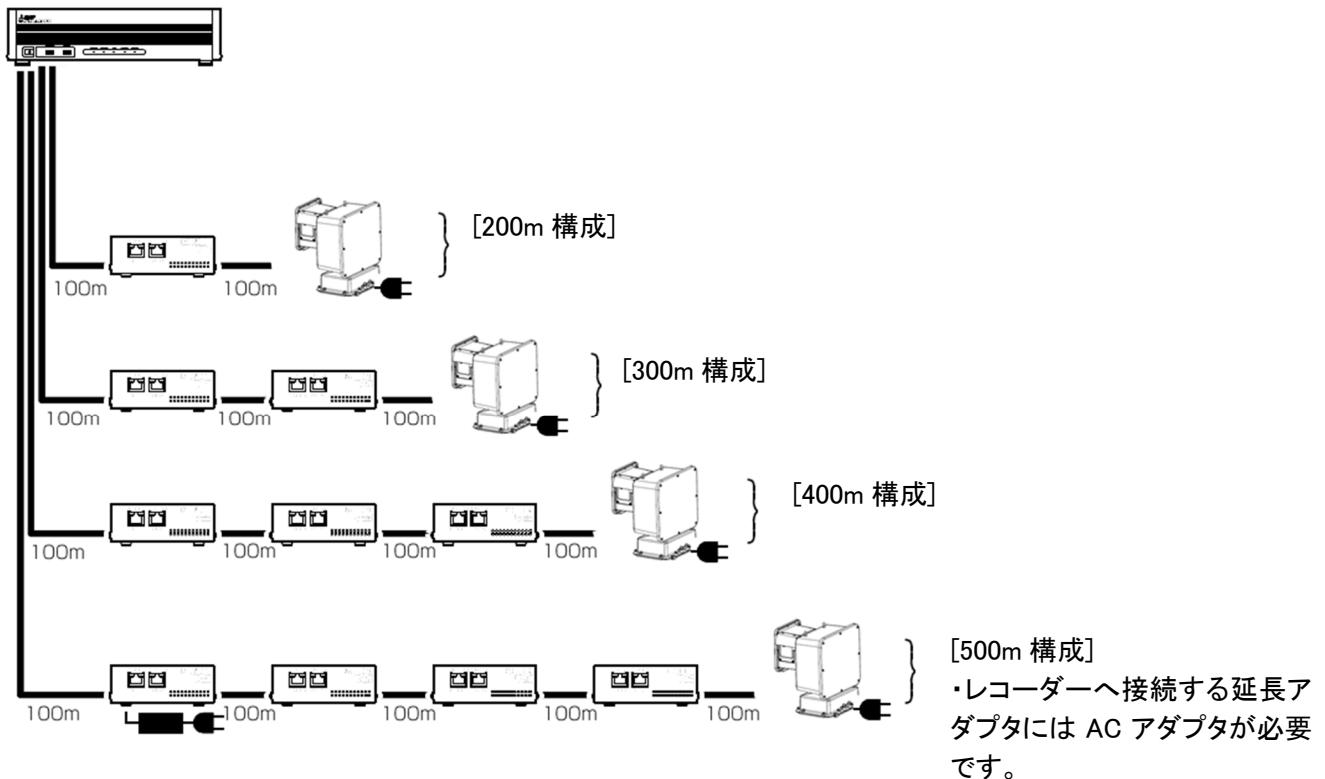
【グループ 1】



【グループ 2】



【グループ 3】



1.4. MELOOK4 カメラ

1.4.1. MELOOK4 カメラ

MELOOK3 レコーダーに MELOOK4 カメラを収容する場合、予めブラウザ経由で MELOOK4 カメラへの個別設定が必要です。接続できるカメラは下記表の通りです。接続可能なカメラ機種と MELOOK3 レコーダーの対応バージョン詳細は、当社のホームページも併せてご参考ください。

https://www.mitsubishielectric.co.jp/nwcamera/melook3/pdf/melook3_camera.pdf

| カメラ種別 | 接続可能な MELOOK4 カメララインナップ |
|------------|--------------------------|
| 固定ボックス型カメラ | NC-9000/9020 |
| | NC-A100(*1) |
| | NC-9001/9021 |
| 固定ドーム型カメラ | NC-9600/9620/9600S/9620S |
| | NC-9601/9621 |
| 固定バレット型カメラ | NC-9820/9820S |
| PTZ 型カメラ | NC-9500/9520(*1) |
| 全方位カメラ | NC-9700(*1) |

(*1)NR-5200/5280 のみサポート

- (!) カメラの動作状態によっては、カメラ接続中にも関わらず、カメラ設定によって全カメラの接続状態が「未接続」と表示される場合があります。この場合、レコーダーを再起動し、再度、カメラ設定を行ってください。
なお、レコーダーの再起動後も同様の症状が継続する場合は、販売店までご連絡ください。

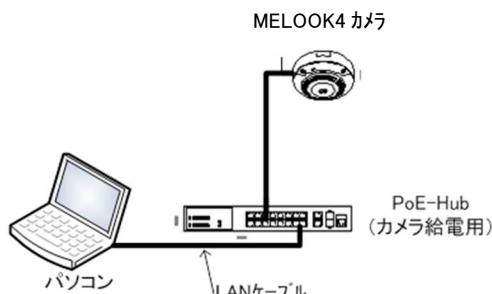


図 MELOOK4 カメラ設定時の接続構成(※)

※MELOOK4 カメラに図 MELOOK4 カメラ設定時の接続構成でアクセスする際の PC スペックやブラウザに関しては、各カメラの取扱説明書を参照してください。

1.4.1.1. 固定ボックス型カメラ(NC-9000/9020)

固定ボックス型カメラ(NC-9000/9020)の設定方法を以下に示します。

カメラを初期化後に以下の手順に従い、ブラウザ経由で各種設定を行います。

なお、本書に記載の設定項目は、MELOOK3 レコーダーに収容するための設定項目になります。カメラの画質等の設定方法については、カメラの取扱説明書を参照してください。

(1)管理者を登録します。

①カメラを PoE-Hub に接続し、3 分程度放置します。

※デフォルト IP アドレス(192.168.1.1)で起動するまで待ちます。

②ブラウザのアドレスバーにカメラの IP アドレス「192.168.1.1」を入力し、「Enter」キーを押下します。

③カメラへの接続に成功すると「パスワードの設定」画面が表示されます。

④下記を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

ユーザー名 : root
パスワード : H264@Melook4
パスワード確認 : H264@Melook4

NC-9620

言語

パスワードの設定

12文字以上で、大文字、小文字、数字、記号の4種類から3種類以上を使用してください。
A-Z, a-z, 0-9, ! % - @ ^ _ ~

ユーザー名: root

ユーザー名: Strong

ユーザー名:

パスワード表示:

*新しいパスワードはすべての接続に適用されます

□ HTTPS接続を有効にする

保存 キャンセル

(2)ユーザー認証設定を行います。

①構成 > ストリーミングプロトコル > RTSP メニュー
一から「認証」を選択します。

②認証方式で「basic」を選択します。

③[保存]ボタンをクリックします。

MITSUBISHI ELECTRIC

ネットワーク > ストリーミングプロトコル

HTTP RTSP

認証: basic

HTTPポート: 80

セカンドリHTTPポート: 8080

ストリーム1のアクセス名: video1s1.jpg

ストリーム2のアクセス名: video1s2.jpg

ストリーム3のアクセス名: video1s3.jpg

ストリーム4のアクセス名: video1s4.jpg

保存

動き検知機能を使用する場合は、(3)も設定します。

(3)動き検知の設定を行います。

(a)動き検知設定

動き検知機能の有効/無効と検知領域及び検知感度を指定します。

動き検知領域として最大5つの領域を設定可能で、各領域は互いに重なっていても問題ありません。2つ以上の動き検知領域を設定する場合は、以下に示す設定手順②～⑧を、設定する領域数分繰り返してください。

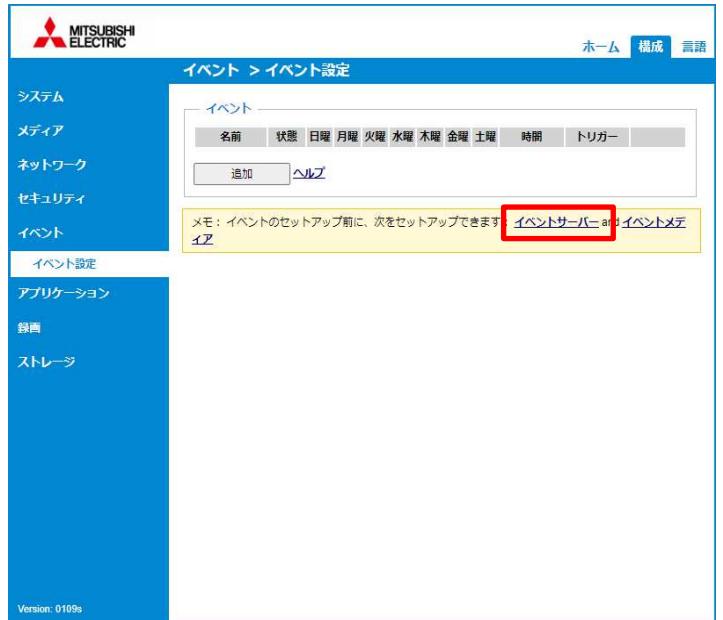
- ① ブラウザによる設定画面にて、構成->アプリケーション->動き検知設定を選択します。
- ② [新規]ボタンをクリックして、新しい動き検知領域を追加します。
- ③ 領域の名称に動き検知領域の名称を入力します。
- ④ 検知領域を設定します。
- ⑤ 検知対象のサイズを設定します。
- ⑥ 検知感度を設定します。
- ⑦ [動き検知を有効にする]のチェックボックスをチェックします。
- ⑧ [保存]ボタンをクリックし、設定を保存します。



(b)イベント設定

動き検知の結果をレコーダーに通知するための設定を行います。

- ① ブラウザによる設定画面にて、構成->イベント->イベント設定を選択します。



② [イベントサーバー]をクリックして、イベントサーバー設定画面を表示します。

③ サーバー名に[rec]を入力します。

④ サーバータイプは、[HTTP]をチェックします。

⑤ URL に[http://192.168.1.*:29000/md.cgi]を入力します。

IP アドレスには、以下の表に示す、

カメラ接続・増設端子/CH に対応した値を設定します。

例えば、カメラ接続端子 1(CH1)に接続されたカメラの場合、

192.168.1.101

カメラ増設端子 17-32(CH32)に接続されたカメラの場合、

192.168.1.132

を入力します。

サーバー名: rec

サーバータイプ

電子メール

FTP

HTTP

URL: http://192.168.1.101:29000/md.cgi

ユーザー名:

パスワード:

NAS

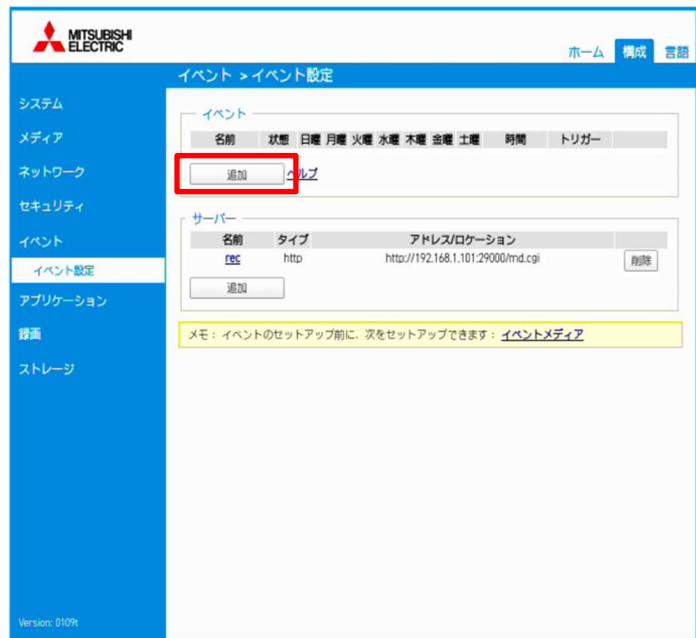
テスト サーバーの保存 終了

| カメラ接続端子 No | CH | ホスト IP アドレス | ポート |
|------------|----|---------------|-------|
| 1 | 1 | 192.168.1.101 | 29000 |
| 2 | 2 | 192.168.1.102 | 29000 |
| 3 | 3 | 192.168.1.103 | 29000 |
| 4 | 4 | 192.168.1.104 | 29000 |
| 5 | 5 | 192.168.1.105 | 29000 |
| 6 | 6 | 192.168.1.106 | 29000 |
| 7 | 7 | 192.168.1.107 | 29000 |
| 8 | 8 | 192.168.1.108 | 29000 |
| 9 | 9 | 192.168.1.109 | 29000 |
| 10 | 10 | 192.168.1.110 | 29000 |
| 11 | 11 | 192.168.1.111 | 29000 |
| 12 | 12 | 192.168.1.112 | 29000 |
| 13 | 13 | 192.168.1.113 | 29000 |
| 14 | 14 | 192.168.1.114 | 29000 |
| 15 | 15 | 192.168.1.115 | 29000 |
| 16 | 16 | 192.168.1.116 | 29000 |
| カメラ増設端子 No | CH | ホスト IP アドレス | ポート |
| 17 | 17 | 192.168.1.117 | 29000 |
| 18 | 18 | 192.168.1.118 | 29000 |
| 19 | 19 | 192.168.1.119 | 29000 |
| 20 | 20 | 192.168.1.120 | 29000 |
| 21 | 21 | 192.168.1.121 | 29000 |
| 22 | 22 | 192.168.1.122 | 29000 |
| 23 | 23 | 192.168.1.123 | 29000 |
| 24 | 24 | 192.168.1.124 | 29000 |
| 25 | 25 | 192.168.1.125 | 29000 |
| 26 | 26 | 192.168.1.126 | 29000 |
| 27 | 27 | 192.168.1.127 | 29000 |
| 28 | 28 | 192.168.1.128 | 29000 |
| 29 | 29 | 192.168.1.129 | 29000 |
| 30 | 30 | 192.168.1.130 | 29000 |
| 31 | 31 | 192.168.1.131 | 29000 |
| 32 | 32 | 192.168.1.132 | 29000 |

⑥ [サーバーの保存]ボタンをクリックし、設定を保存します。

⑦ イベント設定画面に戻ります。

- ⑧ イベントメニューの[追加]ボタンをクリックし、イベント設定画面を表示します。



- ⑨ イベント名に[MD1]を入力します。
 ⑩ [このイベントを有効にする]をチェックします。
 ⑪ 優先度は[標準]を選択します。
 ⑫ 検出間隔は、[5](秒) を入力します。
 ⑬ イベントスケジュールは、[日曜]～[土曜]の全てをチェックし、時間は、[常時] を選択します。
 ⑭ [2. トリガー]をクリックし、トリガー設定画面を表示します。

- ⑮ [動き検知]を選択します。「(a)動き検知設定」で設定した[領域の名称]をチェックします。
 ⑯ [3. アクション]をクリックし、アクション設定画面を表示します。

⑯ [rec]をチェックします。このとき「メディア」欄の操作は不要です。

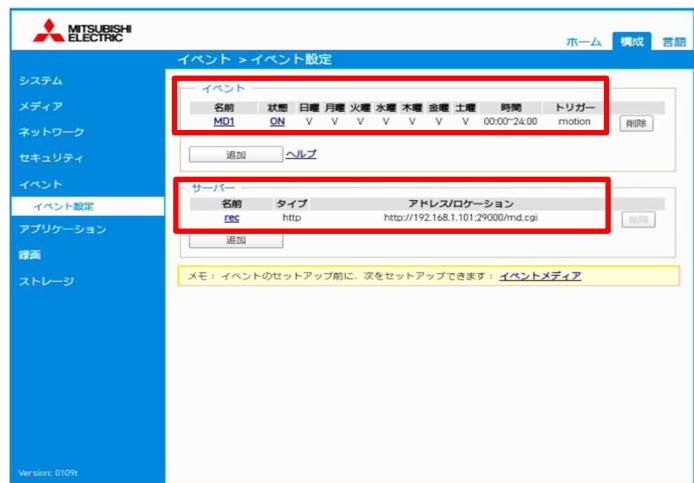
⑰ [イベントの保存]ボタンをクリックし、設定を保存します。



⑲ 設定内容を確認します。

イベントの名前が[MD1]、状態が[ON]になっていることを確認します。

サーバーの名前が[rec]になっていることを確認します。



(!) モーションディテクト通知の最低発報間隔は 5 秒です。
(一度検知したら、その後 5 秒は検知しません。)

1.4.1.2. 固定ドーム型カメラ(NC-9600/9620/9600S/9620S)

固定ドーム型カメラ(NC-9600/9620/9600S/9620S)の設定方法を以下に示します。

カメラを初期化後に 1.4.1.1 に記載の手順に従い、ブラウザ経由で各種設定を行います。

なお、本書に記載の設定項目は、MELOOK3 レコーダーに収容するための設定項目になります。カメラの画質等の設定方法については、カメラの取扱説明書を参照してください。

1.4.1.3. 固定バレット型カメラ(NC-9820/9820S)

固定バレット型カメラ(NC-9820/9820S)の設定方法を以下に示します。

カメラを初期化後に 1.4.1.1 に記載の手順に従い、ブラウザ経由で各種設定を行います。

なお、本書に記載の設定項目は、MELOOK3 レコーダーに収容するための設定項目になります。カメラの画質等の設定方法については、カメラの取扱説明書を参照してください。

1.4.1.4. 固定ボックス型カメラ(NC-A100) ※NR-5200/5280 のみサポート

「MELOOK3 マルチタイプシステムサービスマニュアル」(SM-Y8658)を参照してください。

1.4.1.5. PTZ型カメラ(NC-9500/9520) ※NR-5200/5280のみサポート

「MELOOK3 マルチタイプシステムサービスマニュアル」(SM-Y8658)を参照してください。

1.4.1.6. 全方位カメラ(NC-9700) ※NR-5200/5280 のみサポート

「MELOOK3 マルチタイプシステムサービスマニュアル」(SM-Y8658)を参照してください。

1.4.1.7. 固定ボックス型カメラ(NC-9001/9021)

固定ボックス型カメラ(NC-9001/9021)の設定方法を以下に示します。

カメラを初期化後に以下の手順に従い、ブラウザ経由で各種設定を行います。

なお、本書に記載の設定項目は、MELOOK3 レコーダーに収容するための設定項目になります。カメラの画質等の設定方法については、カメラの取扱説明書を参照してください。

(1) 管理者を登録します。

①カメラを PoE-Hub に接続し、3 分程度放置します。

*デフォルトIPアドレス(192.168.0.10)で起動するまで待ちます。

②ブラウザのアドレスバーにカメラのIPアドレス「192.168.0.10」を入力し、「Enter」キーを押します。

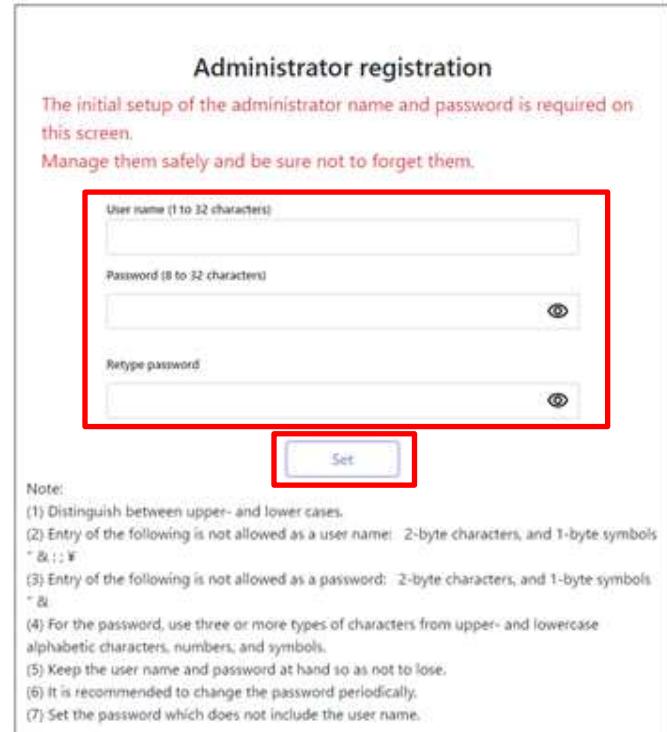
③カメラへの接続に成功すると「管理者登録」画面が表示されます。

④下記を入力し、「set」ボタンをクリックします。

ユーザー名 : root

パスワード : H264@Melook4

パスワード確認 : H264@Melook4



(2) 言語を設定します。

①管理者登録に成功すると「サインイン」のポップアップが表示されます。管理者登録に設定したユーザー名とパスワードでサインインします。

②サインインに成功すると言語設定画面が表示されます。

③下記の設定を行い、[設定]ボタンをクリックします。

メニュー言語 : 日本語
タイムゾーン : (GMT+09:00)大阪、札幌、東京

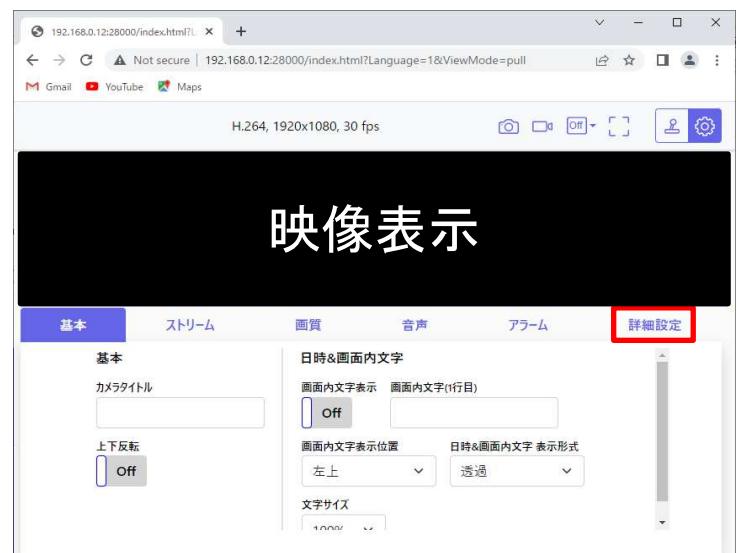


(3) ユーザー認証設定を行います。

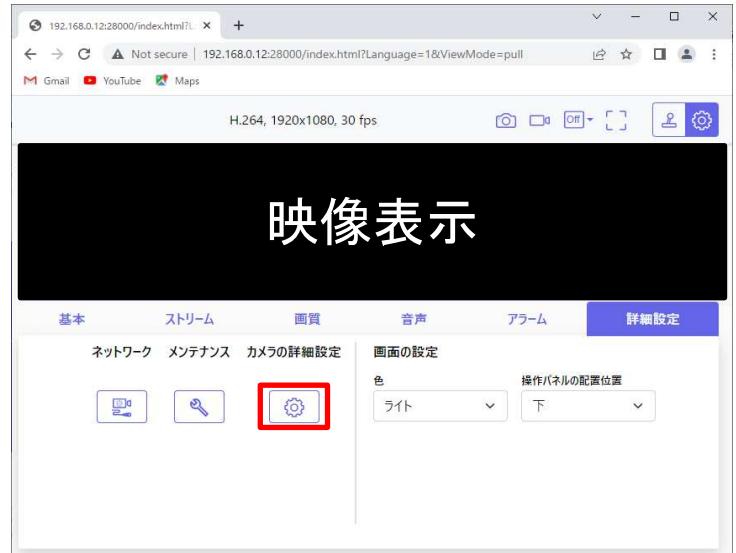
①メイン画面の右上にある[設定]ボタンをクリックします。



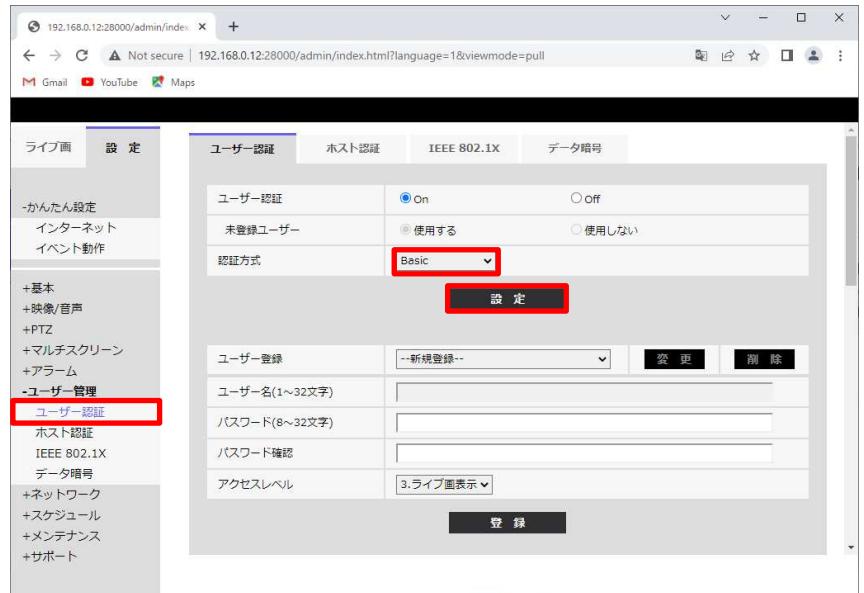
②メイン画面の下段に表示される設定メニューから [詳細設定]ボタンをクリックします。



- ③ 詳細設定メニューから [カメラの詳細設定] ボタンをクリックします。



- ④ 詳細設定メニューから「設定」→「ユーザー管理」→「ユーザー認証」を選択します。
 ⑤ 認証方式で「Basic」を選択します。
 ⑥ [設定]ボタンをクリックします。



1.4.1.8. 固定ドーム型カメラ(NC-9601/9621)

固定ドーム型カメラ(NC-9601/9621)の設定方法を以下に示します。
 カメラを初期化後に 1.4.1.7 に記載の手順に従い、ブラウザ経由で各種設定を行います。
 なお、本書に記載の設定項目は、MELOOK3 レコーダーに収容するための設定項目になります。カメラの画質等の設定方法については、カメラの取扱説明書を参照してください。

1.4.1.9. MELOOK3 レコーダーへの接続

(1) NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C の場合

- ① 設定完了後、MELOOK4 カメラをレコーダーのカメラポートに接続して下さい。設定した IP アドレスによって接続先が決まっています。レコーダーへ接続すると給電されカメラが起動します。カメラ LED が点灯/点滅後に LED が消灯した段階でカメラの起動完了です。
- ② レコーダーの「カメラ設定画面」を表示してください。
- ③ MELOOK4 カメラを接続したカメラ No を選択し「検索」ボタンを押下してください。MELOOK4 カメラの設定が表示されます。
- ④ MELOOK4 カメラの解像度/ビットレート/フレームレートなどを選択してください。
- ⑤ 「設定」ボタンを押下してください。設定完了後、レコーダーメイン画面でカメラ映像を確認してください。

(2) NR-5200/5280 の場合

「MELOOK3 マルチタイプシステムサービスマニュアル」(SM-Y8658)を参照してください。

1.5. PoE 給電スイッチング HUB(L2SW)

ネットワークビデオレコーダーNR-5000/5041/5080/5100/5512 の増設カメラポートに、PoE 給電スイッチング HUB を接続することで、最大 32 台(直接接続の 16 台を含む)までのカメラをレコーダーに接続が可能です。レコーダーと PoE 給電スイッチング HUB とは、1000BASE-T での接続を推奨します。

NR-5000/5041/5080/5100/5512 の増設カメラポートに接続して使用する際の設定については、以降の章を参照してください。

① NR-5200/5280 に接続する際は、ネットワーク設計にあわせて設定して下さい。

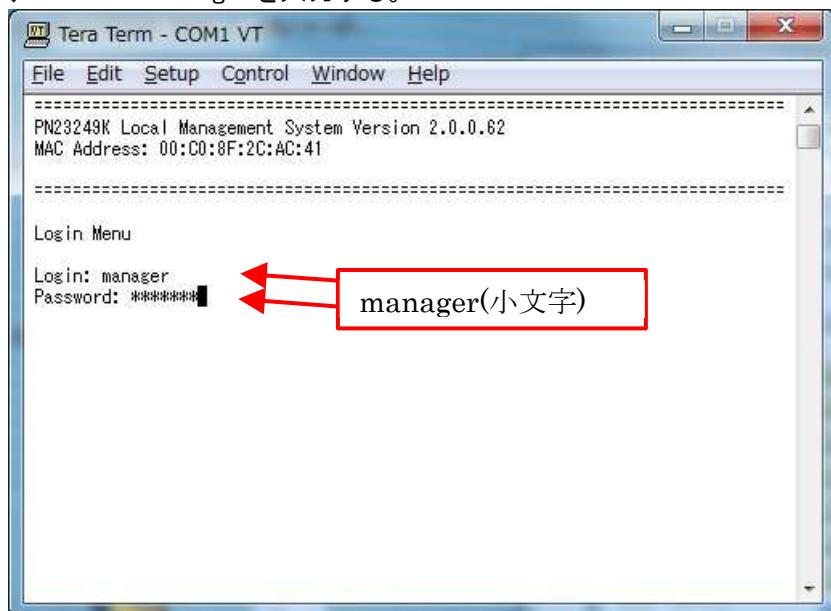
1.5.1. Panasonic(Switch-M16PWR / Switch-M16eGLPWR+)

(1) Switch-M16PWR / Switch-M16eGLPWR+ 設定方法

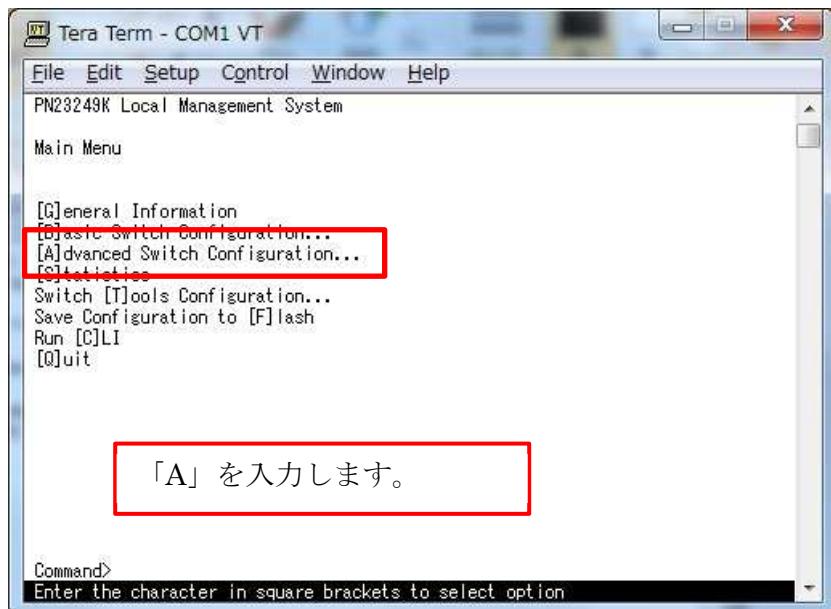
①上記の接続を行い、PC 側で TeraTerm を起動する。(設定:9600bps、パリティなし、ストップビット 1)

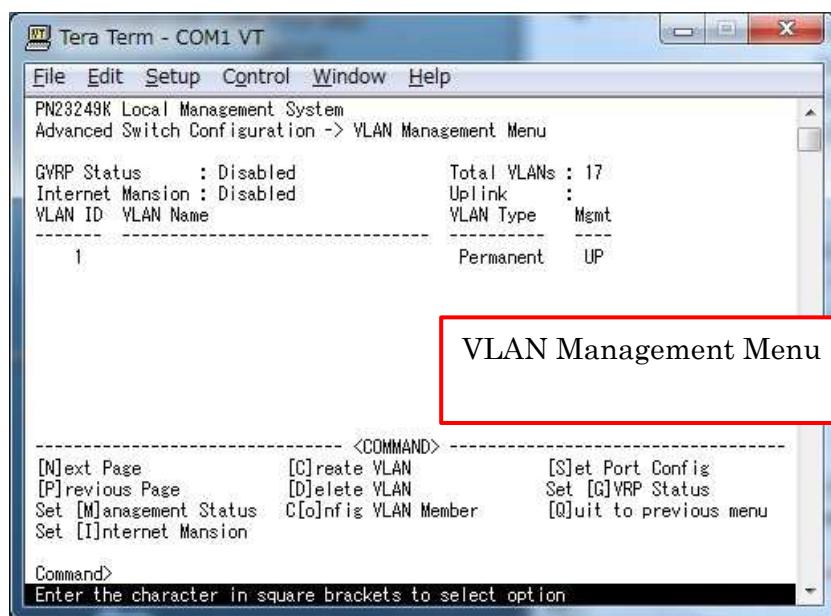
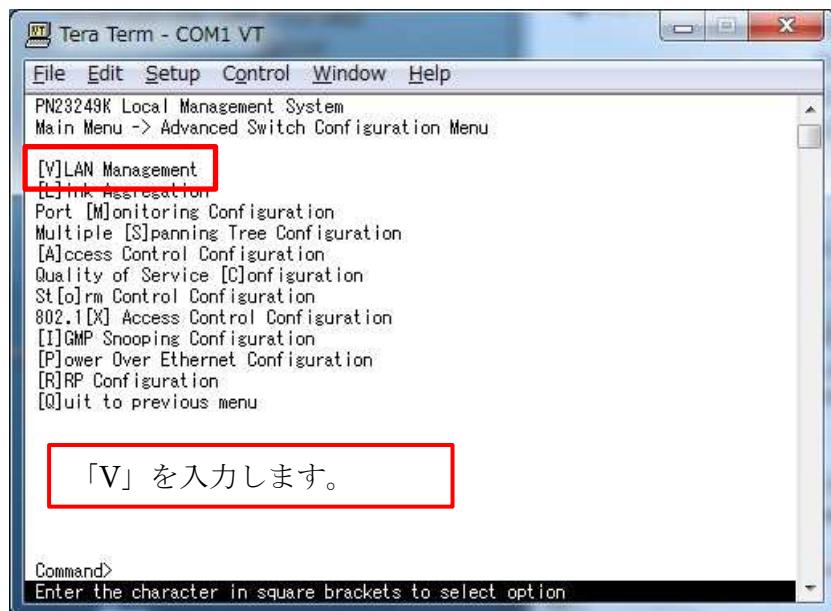
②接続後、PoE 給電スイッチング HUB の電源を起動させ、下記の表示を PC で確認する。

Login 名:manager、Password:manager を入力する。



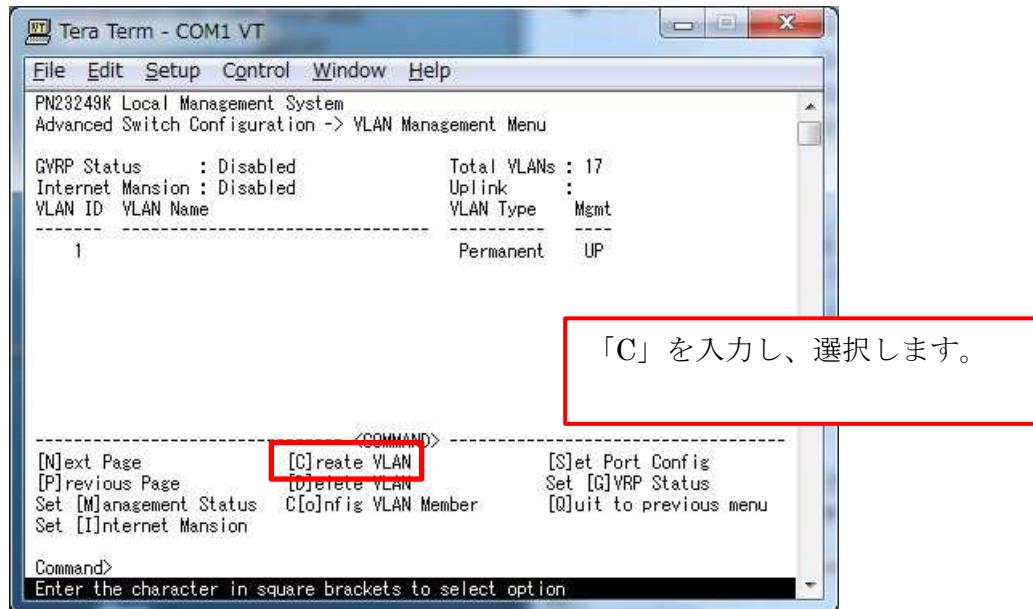
③メインメニューから VLAN 設定(作成)メニューに移動する。





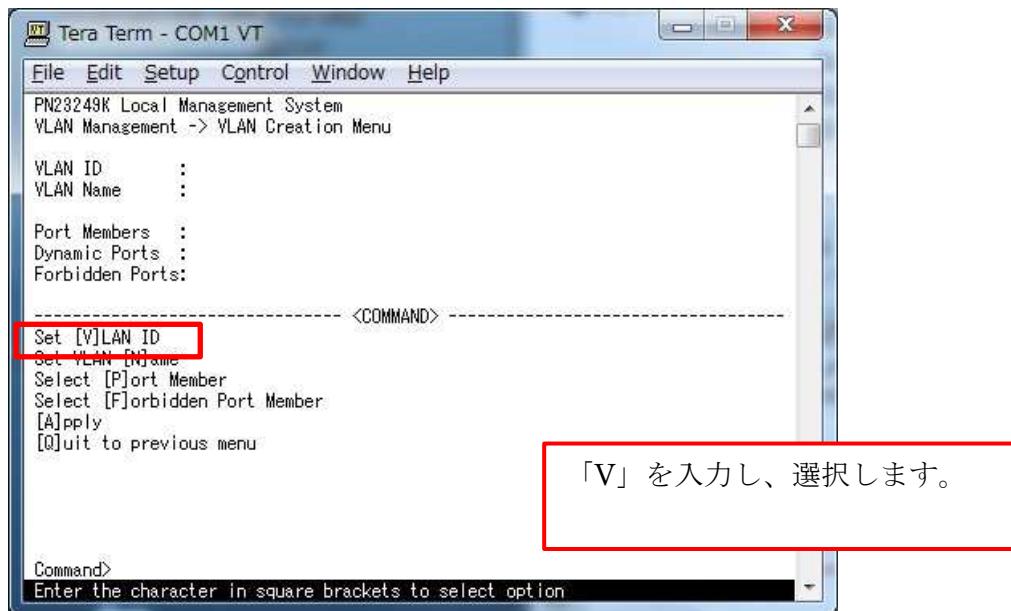
④VLANを作成します。

1)VLAN Management Menuで「C」を入力し、Create VLANを選択します。



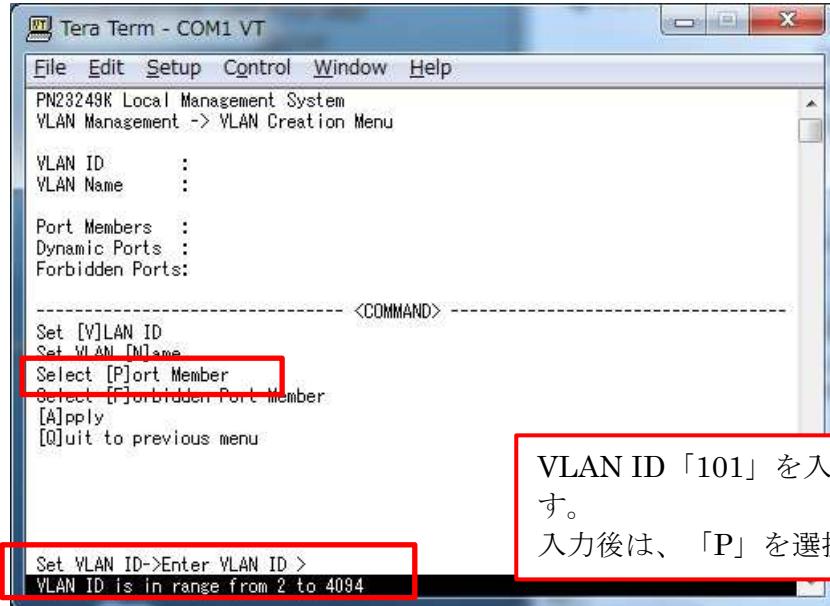
「C」を入力し、選択します。

2)VLAN Creation Menuで「V」を入力し、VLAN IDを選択します。



「V」を入力し、選択します。

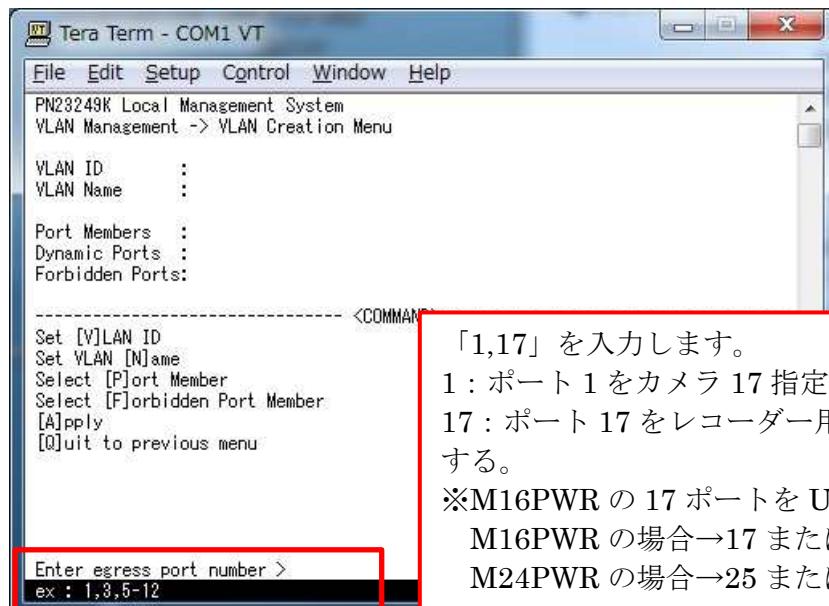
3) 作成する VLANID を指定(例:101)して入力します。



VLAN ID 「101」を入力します。
入力後は、「P」を選択します

4) VLAN に所属するポートメンバの指定を行います。

「1,17」を入力してください。※M16PWR(16 ポート版)の設定例です。

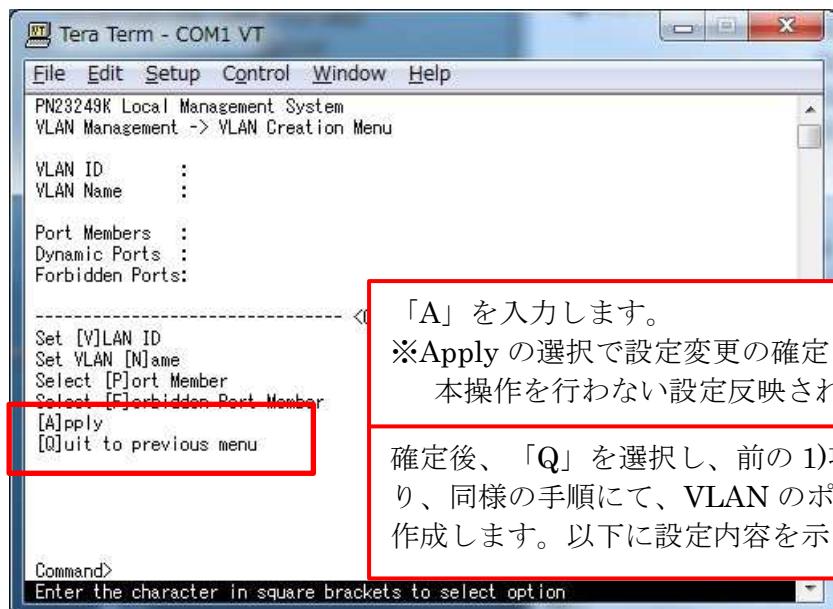


「1,17」を入力します。
1 : ポート 1 をカメラ 17 指定に設定する。
17 : ポート 17 をレコーダー用(UPLINK ポート)に設定する。
※M16PWR の 17 ポートを UPLINK に指定した場合。
M16PWR の場合→17 または 18 が UPLINK ポート
M24PWR の場合→25 または 26 が UPLINK ポート

5)設定変更の確定のため、「A」を入力します。

設定確定後は、「Q」を入力し、1)項の画面に戻り、同じ手順で VLAN ID を 116 まで作成します。

所属するポートは、以下の表通りに作成ください。



| カメラ CH | VLANID | 所属メンバーポート |
|--------|--------|-----------|
| 17 | 101 | 1,17 |
| 18 | 102 | 2,17 |
| 19 | 103 | 3,17 |
| 20 | 104 | 4,17 |
| 21 | 105 | 5,17 |
| 22 | 106 | 6,17 |
| 23 | 107 | 7,17 |
| 24 | 108 | 8,17 |
| 25 | 109 | 9,17 |
| 26 | 110 | 10,17 |
| 27 | 111 | 11,17 |
| 28 | 112 | 12,17 |
| 29 | 113 | 13,17 |
| 30 | 114 | 14,17 |
| 31 | 115 | 15,17 |
| 32 | 116 | 16,17 |

※VLANIDを101～116まで作成した画面の表示

The image displays three windows of the Tera Term terminal application, each showing a list of VLAN configurations. The first two windows show pages of VLAN IDs 101-107 and 108-115 respectively, with their respective command-line interfaces at the bottom. The third window shows page 116, which includes a note in a red-bordered box:

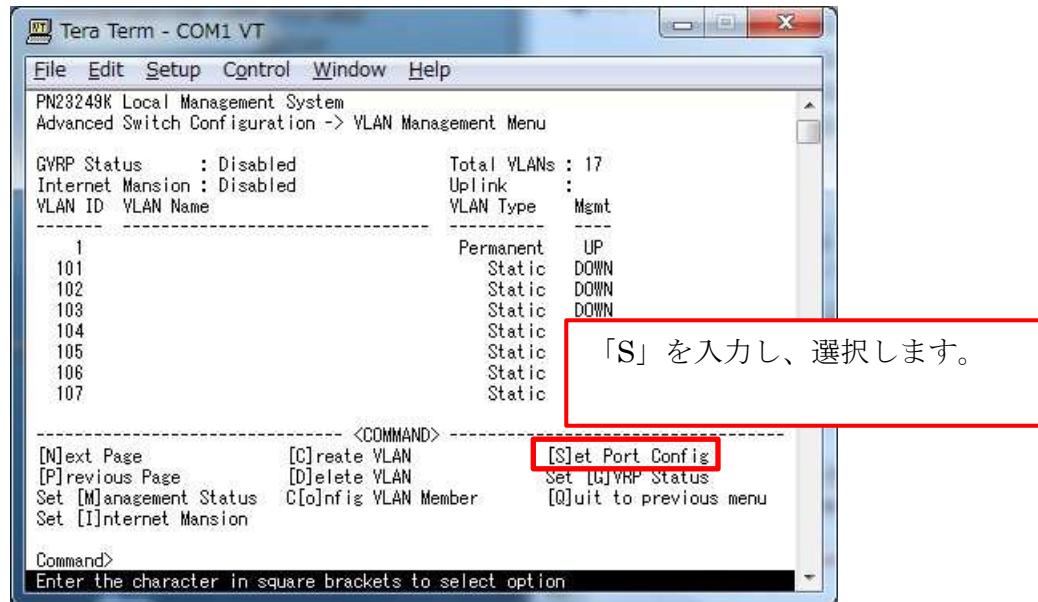
「101」～「116」を作成した画面。
コマンドで「N」：次ページ、「P」：前ページに移行が可能。

Detailed description of the windows:

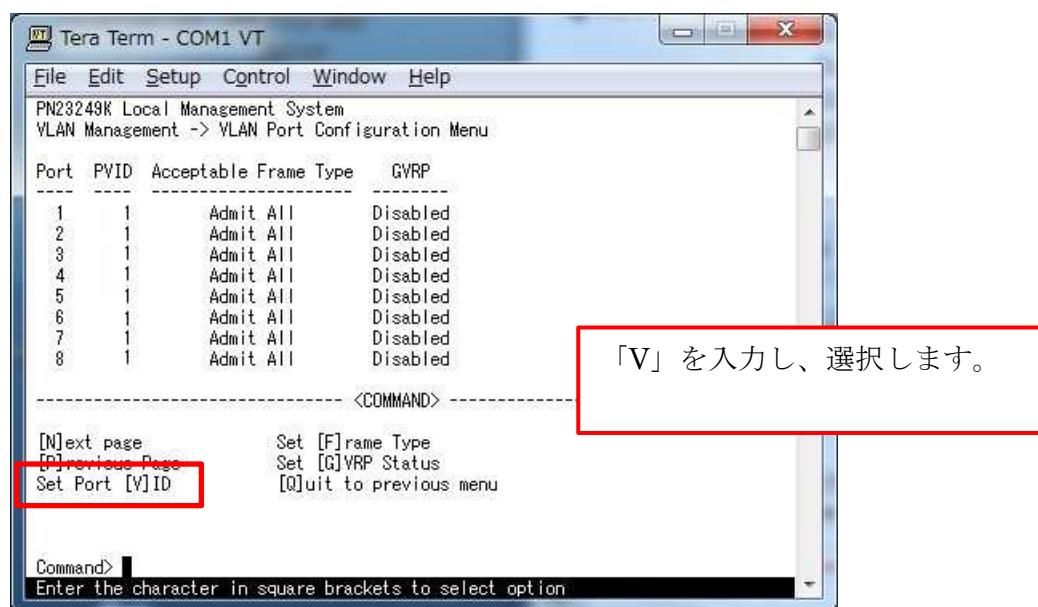
- Window 1 (Left):** Shows VLAN IDs 101, 102, 103, 104, 105, 106, 107. The command line at the bottom is: Command> [N]ext Page [P]revious Page Set [M]anagement Status Set [I]nternet Mansion Enter the character in square brackets
- Window 2 (Middle):** Shows VLAN IDs 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115. The command line at the bottom is: Command> [N]ext Page [P]revious Page Set [M]anagement Status Set [I]nternet Mansion Enter the character in square brackets
- Window 3 (Right):** Shows VLAN ID 116. The command line at the bottom is: Command> [N]ext Page [P]revious Page Set [M]anagement Status Set [I]nternet Mansion Enter the character in square brackets

⑤ポートに VLANID を割り付けする。

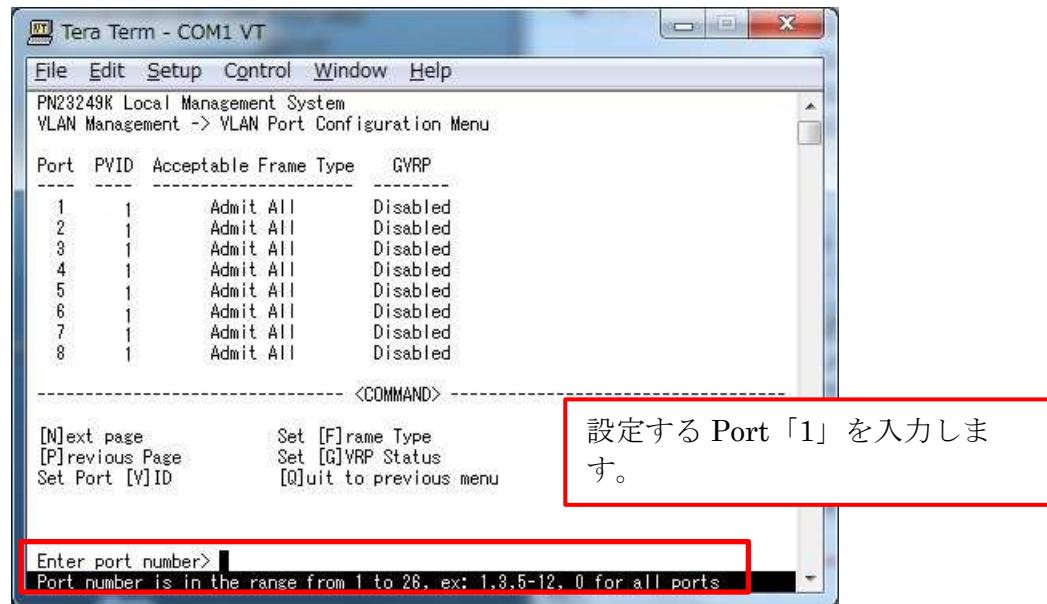
1)VLAN Management Menu で「S」を入力し、Set Port Config を選択します。



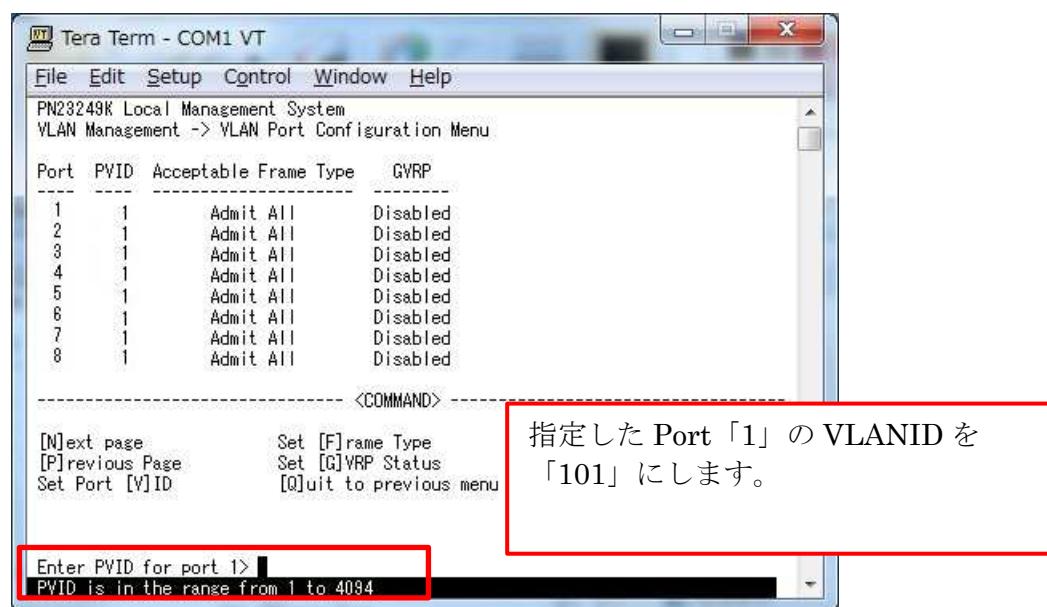
2)VLAN Port Configuration Menu で各 Port に設定した VLANID を設定するため、「V」を入力し、Port 番号と VLANID を設定します。



3)設定する Port 指定の表示のため、「1」を入力します。



4)指定した Port「1」の VLANID の指定になるため、「101」を入力します。



5)同じ手順で Port2 – VLANID102 … Port16 – VLANID116 の設定を行う。

※Port1~16、VLANID101~116 まで設定した画面の表示

| Port | PVID | Acceptable Frame Type | GVRP |
|------|------|-----------------------|----------|
| 1 | 101 | Admit All | Disabled |
| 2 | 102 | Admit All | Disabled |
| 3 | 103 | Admit All | Disabled |
| 4 | 104 | Admit All | Disabled |
| 5 | 105 | Admit All | Disabled |
| 6 | 106 | Admit All | Disabled |
| 7 | 107 | Admit All | Disabled |
| 8 | 108 | Admit All | Disabled |

| Port | PVID | Acceptable Frame Type | GVRP |
|------|------|-----------------------|----------|
| 9 | 109 | Admit All | Disabled |
| 10 | 110 | Admit All | Disabled |
| 11 | 111 | Admit All | Disabled |
| 12 | 112 | Admit All | Disabled |
| 13 | 113 | Admit All | Disabled |
| 14 | 114 | Admit All | Disabled |
| 15 | 115 | Admit All | Disabled |
| 16 | 116 | Admit All | Disabled |

[N]ext page Set [F]rame Type
[P]revious Page Set [G]VRP Status
Set Port [V]ID [Q]uit to previous menu

[N]ext page Set [F]rame Type
[P]revious Page Set [G]VRP Status
Set Port [V]ID [Q]uit to previous menu

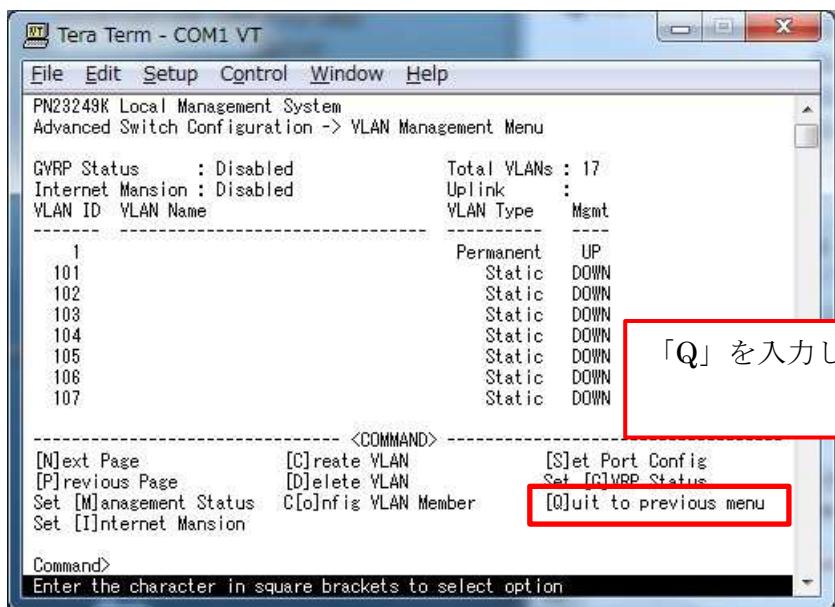
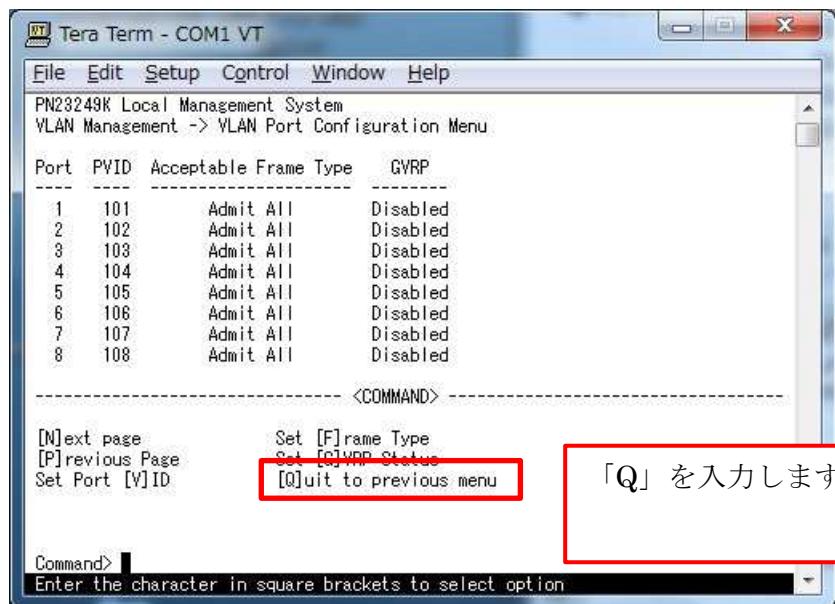
Command> Enter the character in square brackets to select option

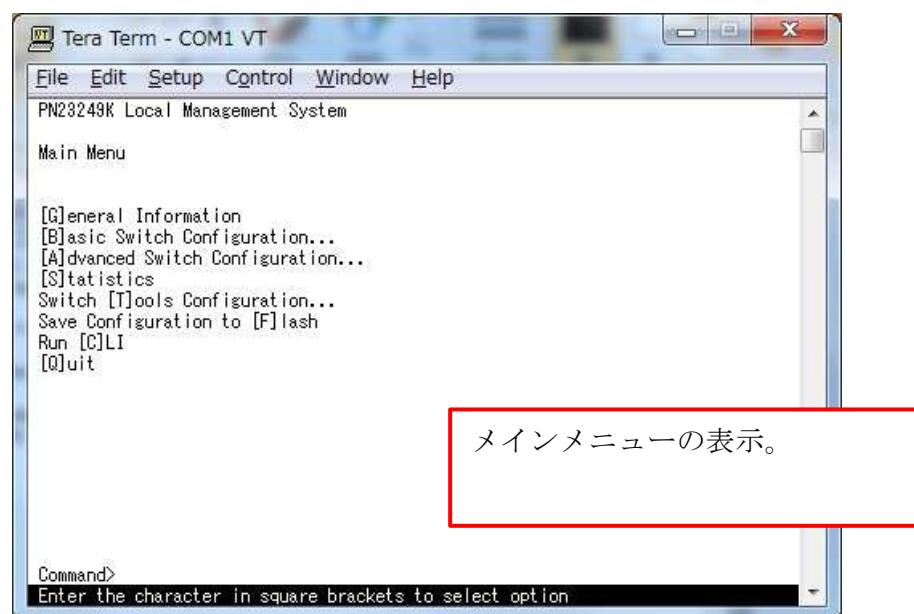
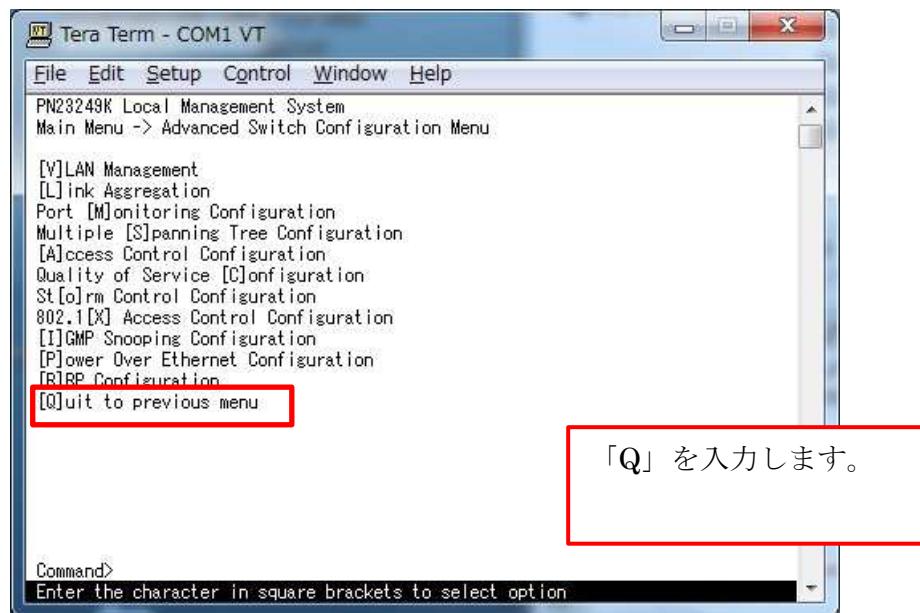
Command> Enter the character in square brackets to select option

Port1~16 の VLANID101~116 を設定した画面。
コマンドで「N」：次ページ、「P」：前ページに
移行が可能。

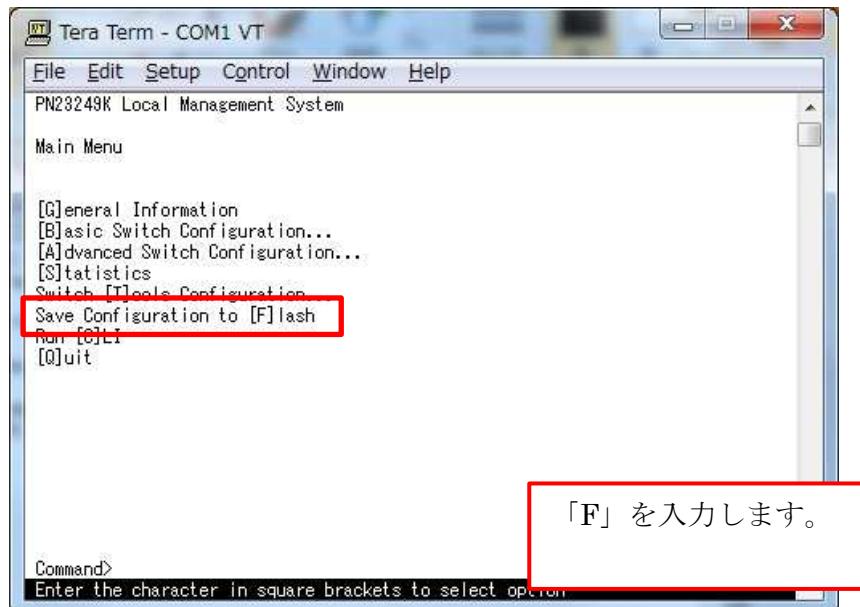
(2)設定の保存

①各メニューで「Q」を入力し、メインメニューまで戻ります。

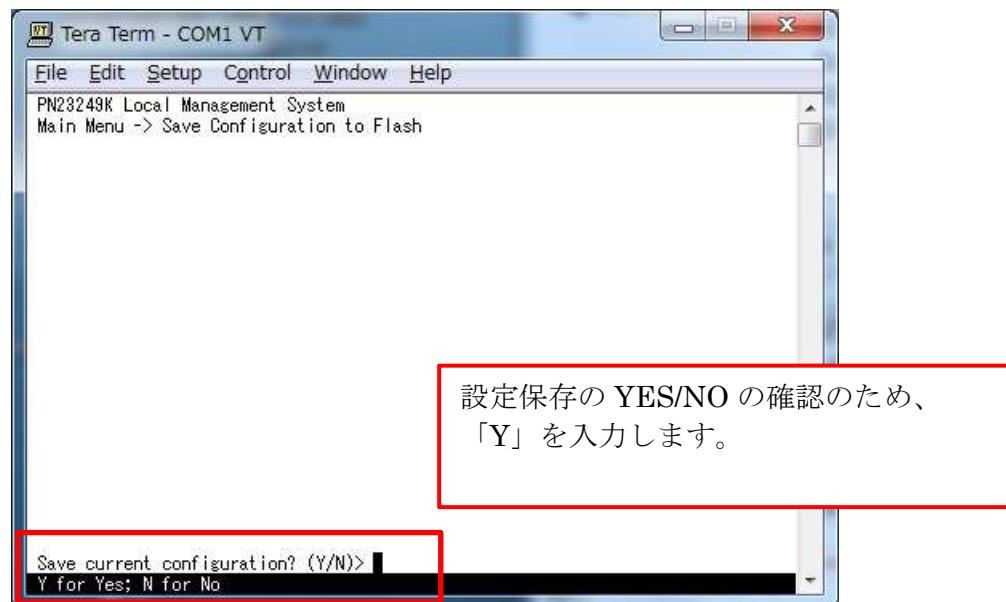




②メインメニューから「F」の入力を行い、Save Configuration to Flash を選択します。選択後、設定保存の画面に移行し、「Y」入力で設定の保存を行います。



「F」を入力します。



設定保存の YES/NO の確認のため、
「Y」を入力します。

1.5.1.1. WV シリーズカメラを接続する場合

カメラを接続するポートの通信速度を「100M-Full」に設定変更してください。

- ①Main Menu から[b]を入力し、「Basic Switch Configuration」を表示します。
- ②「Basic Switch Configuration Menu」→[p]を選択し、「Port Configuration Menu」を表示します。
- ③カメラを接続するポートを「100M-Full」に設定します。

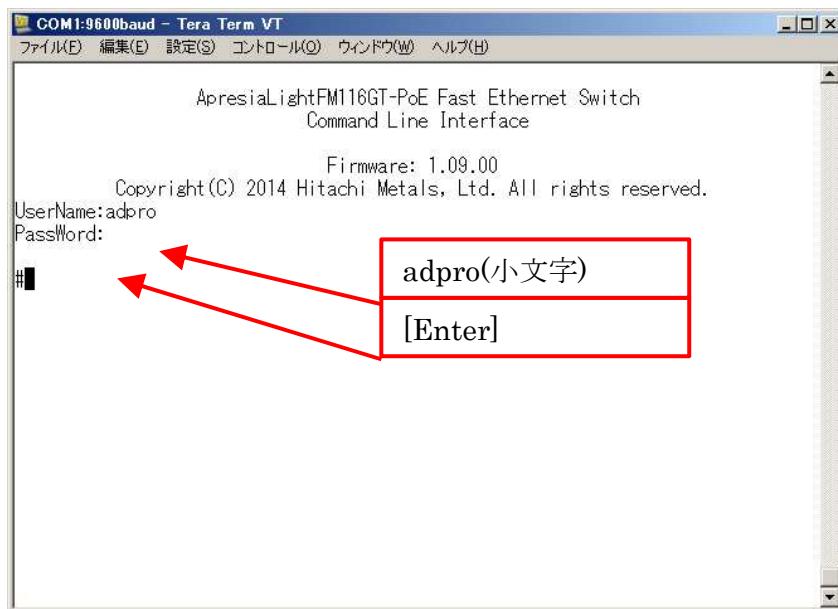
例) カメラをポート番号 5 に接続する場合、

```
> M[enter]  
Enter port number > 5[enter]  
Enter mode for port # (A/N) > N[enter]  
Enter speed for port #(10/100/1000) > 100[enter]  
Enter duplex for port #(F/H) > F[enter]
```

1.5.2. Hitachi(Apresia LightFM116GT-PoE)

(1) Apresia LightFM116GT-PoE 設定方法

- ①PC のシリアルポートと HUB のコンソールポートを RS-232C ケーブル(ストレート)で接続する。
- ②PC 側で TeraTerm を起動し、9600bps、パリティ無し、ストップビット 1 に設定する。
- ③接続後、PoE 給電スイッチング HUB の電源を起動し、Teraterm に HUB 側のログインメッセージを表示する。
- ④「UserName:」のプロンプトが表示されたら、管理者 ID「adpro」を入力後に「enter」、
「PassWord:」のプロンプトに対しては、そのまま「enter」を入力する。
- ⑤「#」のプロンプトが表示されたら、以後、コマンドを入力して必要な設定を行う。



- ⑥現状の VLAN 設定を確認する。

1) ターミナルから以下のコマンドを入力する。

```
show vlan [enter]
```

2) tag = 1 の default vlan のみ存在し、そのメンバーポートが未設定であることを確認する。

3) default vlan にメンバーポートが存在するときは、以下のコマンドを入力して存在する全てのメンバーポートを削除する。

```
config vlan default delete 1-18 [enter]
```

⑦VLAN の設定を行う。カメラチャンネルと HUB のポート、VLAN を以下のように設定する。

| カメラ CH | VLANID | ポート |
|------------------|--------|-----|
| 17 | 101 | 1 |
| 18 | 102 | 2 |
| 19 | 103 | 3 |
| 20 | 104 | 4 |
| 21 | 105 | 5 |
| 22 | 106 | 6 |
| 23 | 107 | 7 |
| 24 | 108 | 8 |
| 25 | 109 | 9 |
| 26 | 110 | 10 |
| 27 | 111 | 11 |
| 28 | 112 | 12 |
| 29 | 113 | 13 |
| 30 | 114 | 14 |
| 31 | 115 | 15 |
| 32 | 116 | 16 |
| レコーダーへのアップリンクポート | | 17 |

1) VLAN の新規作成を行う。ターミナルから以下のコマンドを入力する。

```
create vlan 101 tag 101 [enter]
create vlan 102 tag 102 [enter]
create vlan 103 tag 103 [enter]
```

以下同様に

```
create vlan 115 tag 115 [enter]
create vlan 116 tag 116 [enter]
```

2) 各 VLAN に対するカメラ接続ポートを登録する。以下のコマンドを入力する。

```
config vlan 101 add untagged 1 [enter]
config vlan 102 add untagged 2 [enter]
config vlan 103 add untagged 3 [enter]
```

以下同様に

```
config vlan 115 add untagged 15 [enter]
config vlan 116 add untagged 16 [enter]
```

3) 各 VLAN に対するアップリンクポートを登録する。以下のコマンドを入力する。

```
config vlan 101 add tagged 17 [enter]
config vlan 102 add tagged 17 [enter]
config vlan 103 add tagged 17 [enter]
```

以下同様に

```
config vlan 115 add tagged 17 [enter]
config vlan 116 add tagged 17 [enter]
```

4) 各ポートに対する PVID (Port VLAN ID)設定を行う。以下のコマンドを入力する。

```
config gvrp 1 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 101
config gvrp 2 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 102
config gvrp 3 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 103
config gvrp 4 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 104
config gvrp 5 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 105
config gvrp 6 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 106
config gvrp 7 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 107
config gvrp 8 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 108
config gvrp 9 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 109
config gvrp 10 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 110
config gvrp 11 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 111
config gvrp 12 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 112
config gvrp 13 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 113
config gvrp 14 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 114
config gvrp 15 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 115
config gvrp 16 state disable ingress_checking enable acceptable_frame admit_all pvid 116
```

※コマンド入力後、以下のような警告メッセージが表示される場合がありますが、正しく PVID は設定されていますので、継続して 5) および 6) の設定を行ってください。

Warning: Ingress checking only support global mode!

5) 設定を保存する。以下のコマンドを入力する。

```
save config [enter]
```

6) HUB からログアウトする。以下のコマンドを入力する。

```
logout [enter]
```

1.5.2.1. WV シリーズカメラを接続する場合

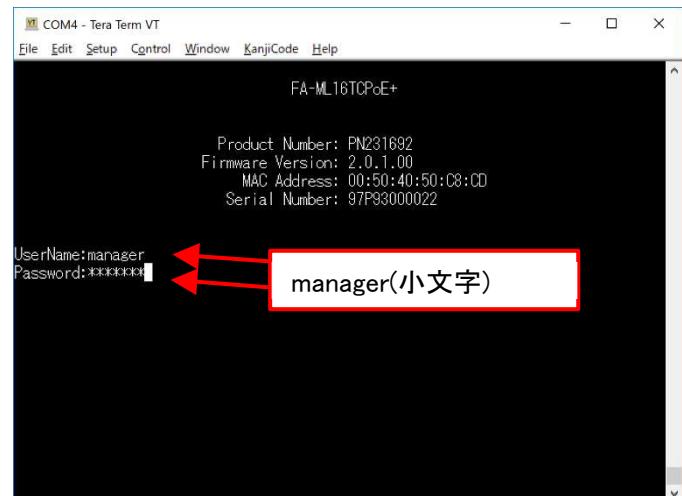
カメラを接続するポートの通信速度を「100M-Full」に設定変更してください。

例) カメラをポート番号 5 に接続する場合、

```
#config ports 5 speed 100_full[enter]
```

1.5.3. Panasonic(FA-ML16TCPoE+ / GA-ML16TPoE+)

- ①PC のシリアルポートと PoE 給電スイッチング HUB のコンソールポートを接続する。
- ②PC 側で TeraTerm を起動し、9600bps、パリティ無し、ストップビット 1 に設定する。
- ③接続後、PoE 給電スイッチング HUB の電源を起動し、Teraterm に PoE 給電スイッチング HUB のログイン画面を表示する。
- ④「UserName :」のプロンプトが表示されたら、「manager」と入力し[enter]キーを押下する。
- ⑤次に「Password :」のプロンプトが表示されたら、「manager」と入力し[enter]キーを押下する。



⑥「FA-ML16TCPoE+>」「GA-ML16TPoE+>」のプロンプトが表示されたら、コマンドを入力して必要な設定を行う。

- ⑦PC から以下のコマンド入力する。

```
enable [enter]
configure terminal [enter]
```

- ⑧VLAN の設定を行う。

カメラチャンネルと PoE 給電スイッチング HUB のポート、VLAN ID を以下のように設定する。

| カメラ CH | VLAN ID | PoE 給電スイッチング HUB のポート番号 |
|------------------|---------|-------------------------|
| 17 | 101 | 1 |
| 18 | 102 | 2 |
| 19 | 103 | 3 |
| 20 | 104 | 4 |
| 21 | 105 | 5 |
| 22 | 106 | 6 |
| 23 | 107 | 7 |
| 24 | 108 | 8 |
| 25 | 109 | 9 |
| 26 | 110 | 10 |
| 27 | 111 | 11 |
| 28 | 112 | 12 |
| 29 | 113 | 13 |
| 30 | 114 | 14 |
| 31 | 115 | 15 |
| 32 | 116 | 16 |
| レコーダーへのアップリンクポート | | 17 |

```

vlan 101-116 [enter]
interface FastEthernet1/0/1 [enter]
switchport mode access [enter]
switchport access vlan 101 [enter]
:
interface FastEthernet1/0/5 [enter] ⑤
switchport mode access [enter]
switchport access vlan 105 [enter] ⑥
:
interface FastEthernet1/0/16 [enter]
switchport mode access [enter]
switchport access vlan 116 [enter]
interface GigabitEthernet1/0/17 [enter]
switchport mode trunk [enter]

```

例) ポート 5 に VLAN ID 105 を割り付け

全 16 ポートに VLAN ID を設定する

「GA-ML16TPoE+」の場合、下記の表示となる。

```

interface gi1/0/1
switchport mode access
switchport access vlan 101

```

⑨ VLAN 設定モードを終了する。

```

exit [enter]
exit [enter]

```

⑩ 設定内容を保存する。

「FA-ML16TCPoE+」の場合、

```

write [enter]
Overwrite file [startup-config].... (Y/N)[N] ? ← 設定を上書きしても良いか確認メッセージが表示される。
y [enter]
Copy succeeded ← 本メッセージが表示されれば設定完了。

```

「GA-ML16TPoE+」の場合、

```

copy running-config startup-config [enter]
Destination filename startup-config? [y/n]: ← 設定を上書きしても良いか確認メッセージが表示される。
y [enter]
Saving all configurations to NV-RAM..... Done. ← 本メッセージが表示されれば設定完了。

```

参考 工場出荷時設定に戻したい場合は、reset system [enter]と入力する。

1.5.3.1. WV シリーズカメラを接続する場合

カメラを接続するポートの通信速度を「100M-Full」に設定変更してください。

例) カメラをポート番号 5 に接続する場合、

```

>enable[enter]
#config[enter]
#interface fastethernet0/5[enter]
#speed-duplex 100-full[enter]
#end[enter]

```

1.5.4. NR-5000/5041/5080/5100/5512 に接続する PoE 給電スイッチング HUB の設定

NR-5000/5041/5080/5100/5512 に接続する PoE 給電スイッチング HUB は、Port ベース VLAN を行い、各カメラのストリームをアイソレーションしてください。設定する VLANID については、カメラ増設端子/CH に対応した番号を付与ください。PoE 給電スイッチング HUB の設定方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

① NR-5200/5280 に接続する際は、ネットワーク設計にあわせて設定して下さい。

NR-5200/5280 に接続する際は、VLANID 設定は不要です。

| カメラ接続端子 No | CH | カメラ IP アドレス | レコーダーIP アドレス | VLANID |
|------------|----|--------------|---------------|--------|
| 1 | 1 | 192.168.1.1 | 192.168.1.101 | — |
| 2 | 2 | 192.168.1.2 | 192.168.1.102 | — |
| 3 | 3 | 192.168.1.3 | 192.168.1.103 | — |
| 4 | 4 | 192.168.1.4 | 192.168.1.104 | — |
| 5 | 5 | 192.168.1.5 | 192.168.1.105 | — |
| 6 | 6 | 192.168.1.6 | 192.168.1.106 | — |
| 7 | 7 | 192.168.1.7 | 192.168.1.107 | — |
| 8 | 8 | 192.168.1.8 | 192.168.1.108 | — |
| 9 | 9 | 192.168.1.9 | 192.168.1.109 | — |
| 10 | 10 | 192.168.1.10 | 192.168.1.110 | — |
| 11 | 11 | 192.168.1.11 | 192.168.1.111 | — |
| 12 | 12 | 192.168.1.12 | 192.168.1.112 | — |
| 13 | 13 | 192.168.1.13 | 192.168.1.113 | — |
| 14 | 14 | 192.168.1.14 | 192.168.1.114 | — |
| 15 | 15 | 192.168.1.15 | 192.168.1.115 | — |
| 16 | 16 | 192.168.1.16 | 192.168.1.116 | — |
| カメラ増設端子 No | CH | カメラ IP アドレス | レコーダーIP アドレス | VLANID |
| 17 | 17 | 192.168.1.17 | 192.168.1.117 | 101 |
| | 18 | 192.168.1.18 | 192.168.1.118 | 102 |
| | 19 | 192.168.1.19 | 192.168.1.119 | 103 |
| | 20 | 192.168.1.20 | 192.168.1.120 | 104 |
| | 21 | 192.168.1.21 | 192.168.1.121 | 105 |
| | 22 | 192.168.1.22 | 192.168.1.122 | 106 |
| | 23 | 192.168.1.23 | 192.168.1.123 | 107 |
| | 24 | 192.168.1.24 | 192.168.1.124 | 108 |
| | 25 | 192.168.1.25 | 192.168.1.125 | 109 |
| | 26 | 192.168.1.26 | 192.168.1.126 | 110 |
| | 27 | 192.168.1.27 | 192.168.1.127 | 111 |
| | 28 | 192.168.1.28 | 192.168.1.128 | 112 |
| | 29 | 192.168.1.29 | 192.168.1.129 | 113 |
| | 30 | 192.168.1.30 | 192.168.1.130 | 114 |
| | 31 | 192.168.1.31 | 192.168.1.131 | 115 |
| | 32 | 192.168.1.32 | 192.168.1.132 | 116 |

② NR-5000/5041/5080/5100/5512 への AXIS カメラ及び、AXIS ビデオエンコーダ及び、VIVOTEK ビデオエンコーダ接続にあたり本表を参照する場合は、CH1～16 の範囲でレコーダーに直接接続してください。ただし X-9000 を含む構成において AXIS ビデオエンコーダを使用する場合には、X-9000 を経由して CH17～32 の範囲で接続することが可能です。

1.6. 接点装置

外部接点装置を使用することで、ネットワークビデオレコーダーのアラーム入力端子として使用できる接点数を拡張（「接点 01～08」→「接点 01～16」）することが出来ます（装置背面の「接点 09～16」はアラーム入力端子としては使用できません）。

ネットワークビデオレコーダーは以下の外部接点装置に対応しています。

| No. | 製造元 | 製品型名 |
|-----|------------------|----------------|
| 1 | 三菱電機エンジニアリング株式会社 | NJ-2000-1 |
| 2 | 株式会社 iND | Comm Assist-io |

1.6.1. 設定手順(レコーダー)

外部接点装置を使用する前に、以下の手順にしたがってレコーダーの設定ファイルを編集してください。

機種によって設定箇所が異なる為、注意ください。

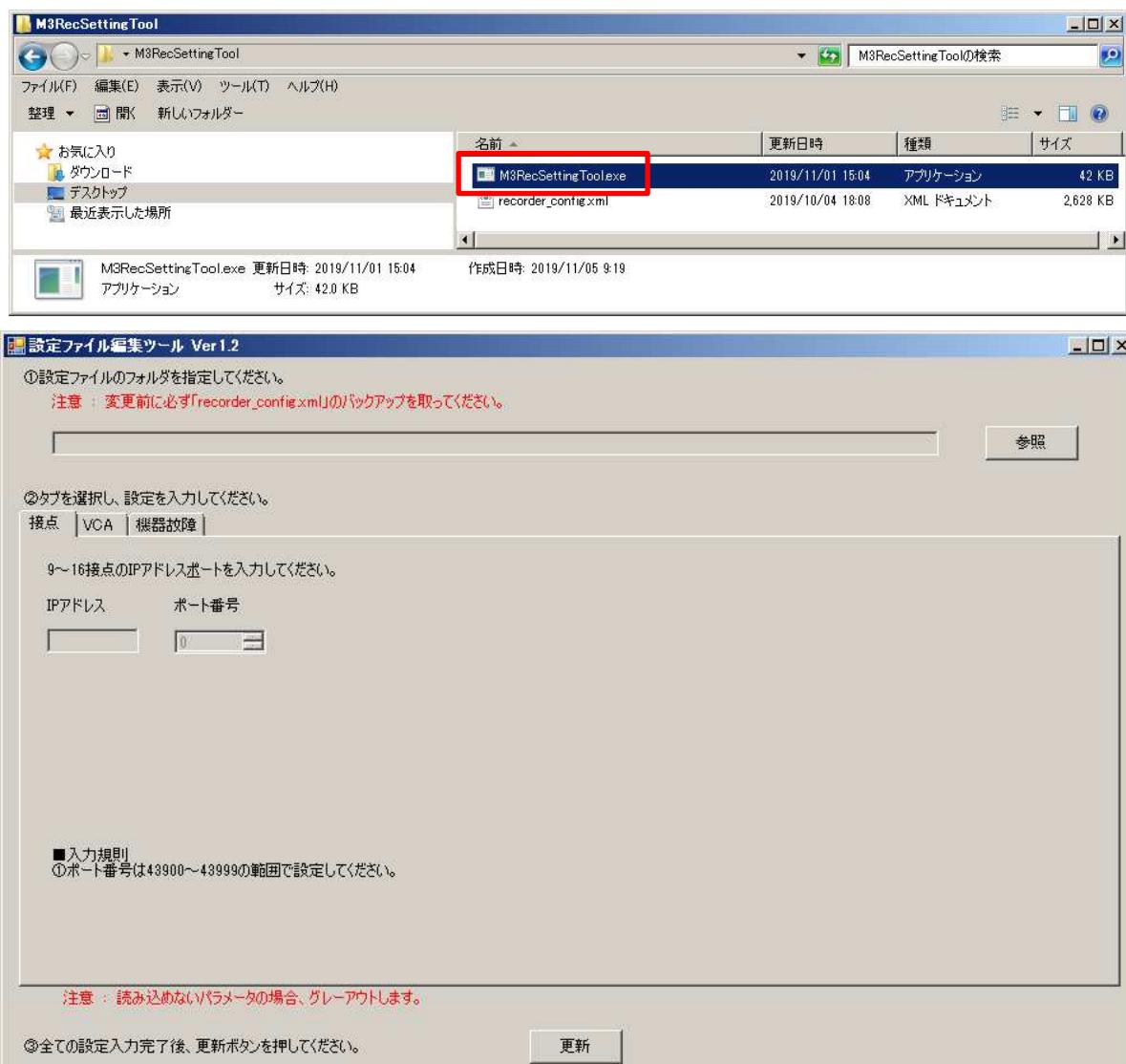
| 機種 | 設定ファイル | 設定箇所 | アラーム名称 |
|--|---------------------|--|----------------|
| NR-5000/5041/5080/ 5100/5512/8200/5000C | recorder_config.xml | alarmDeviceIP alarmDevicePort | アラーム 9～アラーム 16 |
| NR-5200/5280 | recorder_config.xml | alarmDeviceIP alarmDevicePort | アラーム 1～アラーム 8 |
| | | AlarmDeviceIP_Ex AlarmDevicePort_Ex | アラーム 9～アラーム 16 |

1.6.1.1. 設定ファイル編集ツールでの手順(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)

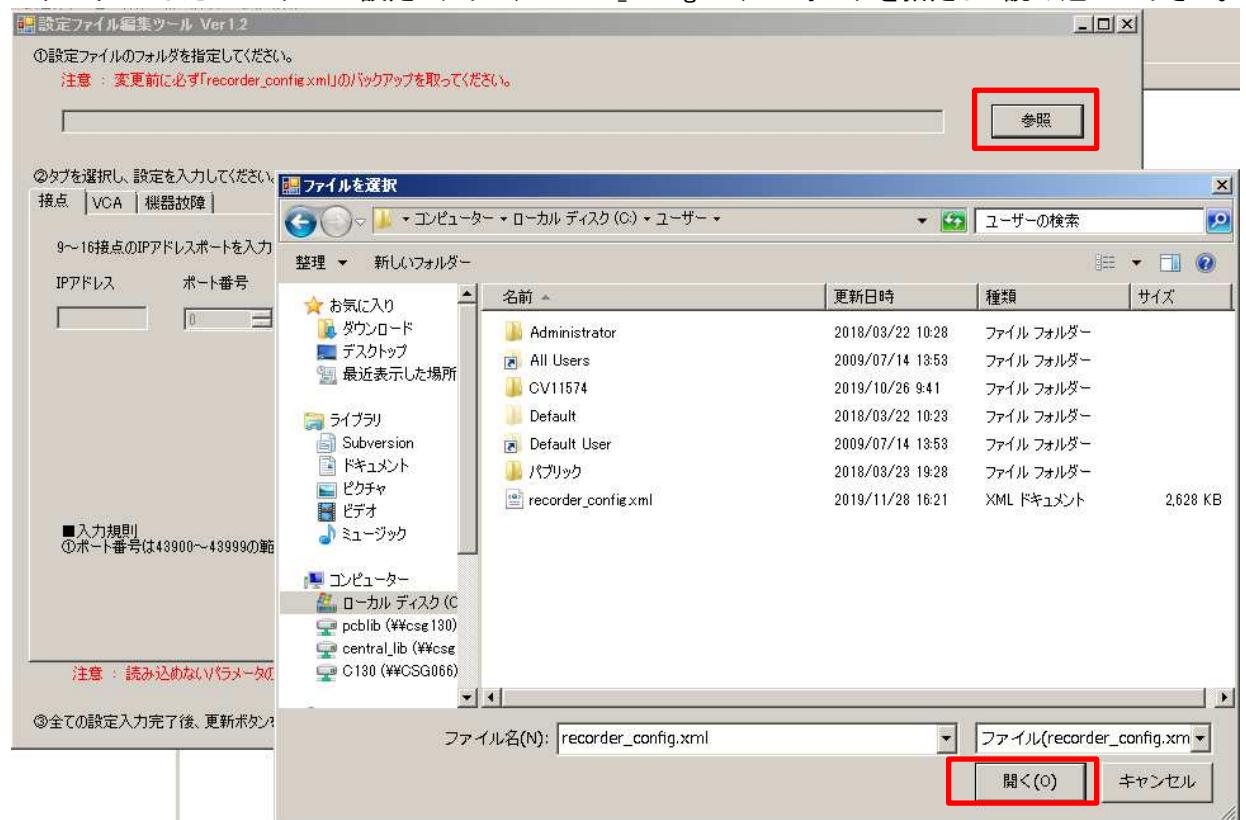
設定ツールはメルック情報に掲載しています。「設定ツール、Ver.UP ソフト、推奨品情報」のメニューより入手ください。

以下の手順にしたがってレコーダーの設定ファイルを編集してください。

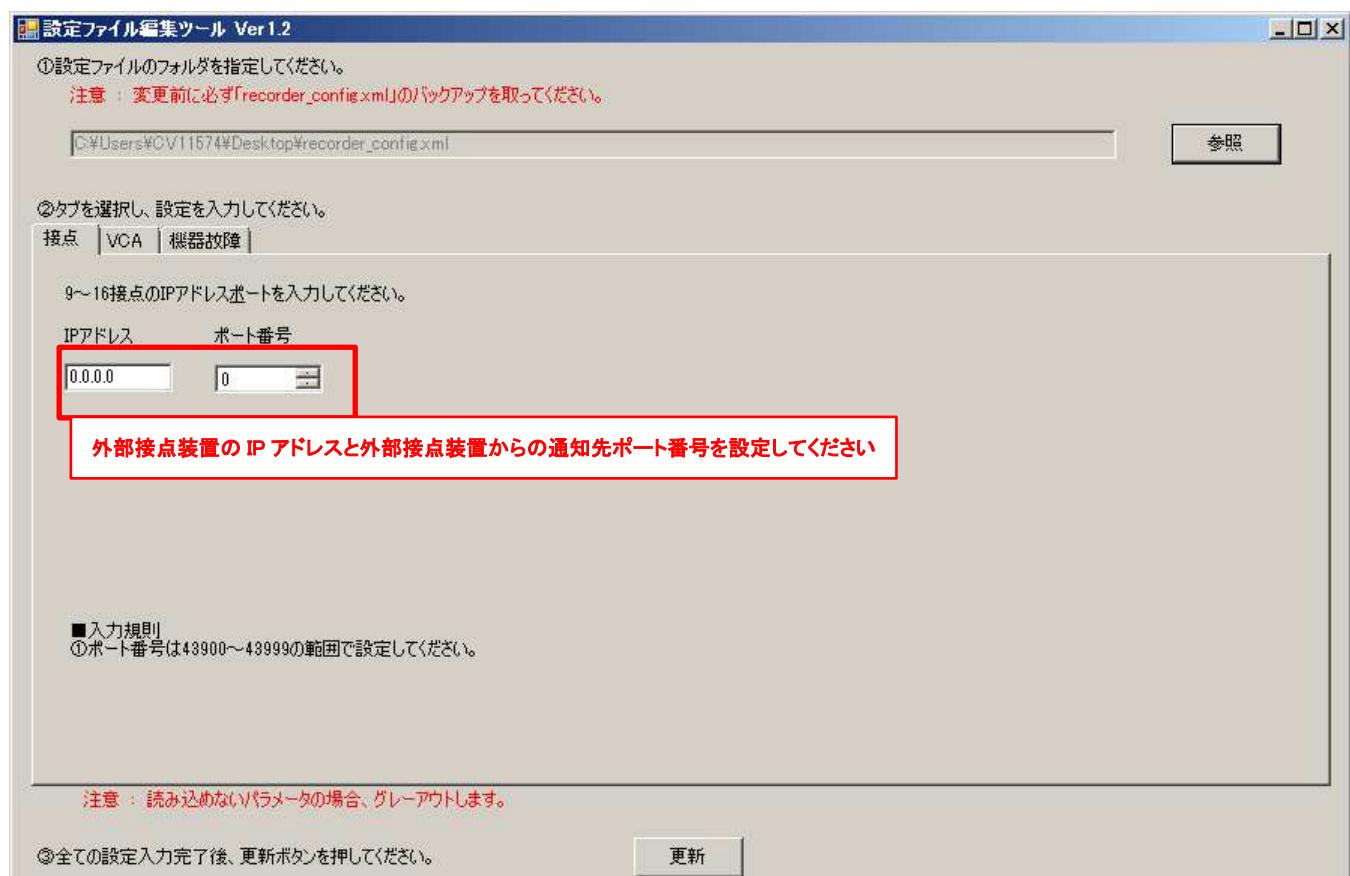
- (1) 取扱説明書 10.11 管理設定をする を参照し、USB メモリにレコーダーの設定ファイルをエクスポートしてください。
- (2) 上記 USB メモリを Windows-PC に接続し、以下のファイルを編集してください。
ファイル名 : recorder_config.xml
- (3) M3RecSettingTool.zip を解凍して、M3RecSettingTool.exe を実行してください。



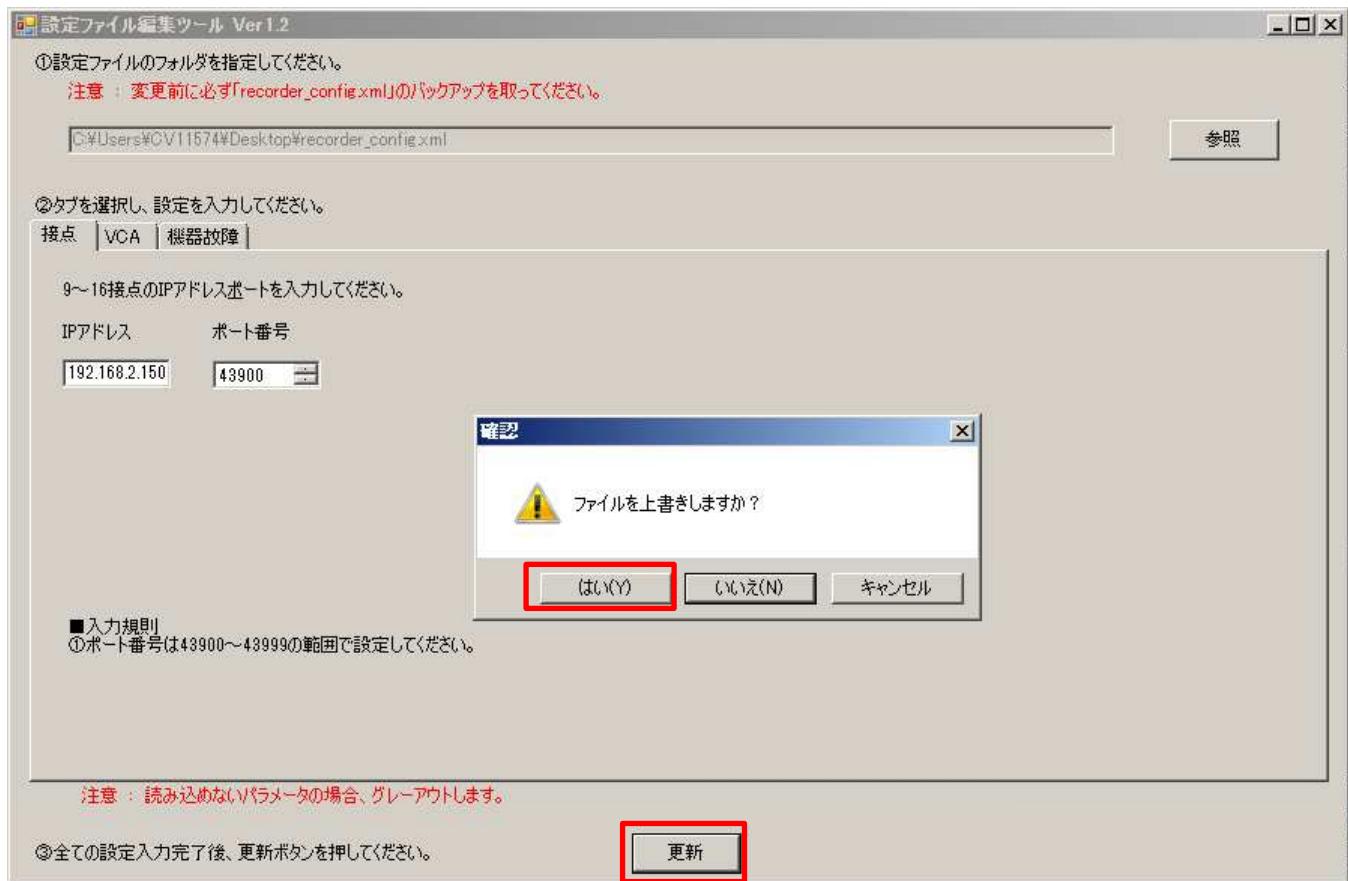
(4) エクスポートしたレコーダーの設定ファイル(recorder_config.xml)のフォルダを指定して読み込んで下さい。



(5) 接点のタブを選択し、外部接点装置の IP アドレスと外部接点装置からの通知先ポート番号を設定してください。ただし、ポート番号は 43900～43999 の範囲で設定して下さい。



(6) 全ての設定入力完了後、更新ボタンを押して、ファイルを上書き保存してください。



(7) 取扱説明書 10.11 管理設定をする を参照し、(3)で編集した設定ファイルをレコーダーにインポートしてください。

1.6.1.2. 設定手順(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)

ファイル編集を誤った場合、レコーダーが起動しなくなる恐れがありますので、必ず 1.5.1.1 の設定ファイル編集ツールを使って設定して下さい。

- (1) 取扱説明書 10.11 管理設定をする を参照し、USB メモリにレコーダーの設定ファイルをエクスポートしてください。
- (2) 上記 USB メモリを Windows-PC に接続し、以下のファイルを編集してください。
ファイル名 :recorder_config.xml
- (3) ファイルを開いて、以下の通り alarmDeviceIP と alarmDevicePort の値を変更してください。

```
<CnfDetail InstanceID="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDeviceIP</ObjectID>
  <Value>0.0.0.0</Value>          ← 外部接点装置の IP アドレスを設定してください。
</CnfDetail>
<CnfDetail InstanceID="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDevicePort</ObjectID>
  <Value>0</Value>                ← 外部接点装置からの通知先ポート番号を設定してください。
</CnfDetail>
```

■設定例　外部接点装置 IP アドレス:192.168.2.150、接点入力 通知先ポート番号:43900 の場合

```

<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDeviceIP</ObjectID>
  <Value>192.168.2.150</Value>
</CnfDetail>
<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDevicePort</ObjectID>
  <Value>43900</Value>
</CnfDetail>

```

※ただし、ポート番号は 43900～43999 の範囲で設定して下さい。

- (4) 編集が終わったら、ファイルを上書き保存してください。
- (5) 取扱説明書 10.11 管理設定をする を参照し、(3)で編集した設定ファイルをレコーダーにインポートしてください。

設定ファイル編集に関する注意事項

recorder_config.xml を編集する場合、エディタの文字コードを「UTF-8(BOM なし)」に、改行コードを「LF」に設定してください。

1.6.1.3. 設定手順(NR-5200/5280)

- (1) 取扱説明書 11.11 管理設定をする を参照し、PC にレコーダーの設定ファイルをエクスポートしてください。
- (2) 以下のファイルを編集してください。
ファイル名 :recorder_config.xml
- (3) ファイルを開いて、以下の通り alarmDeviceIP と alarmDevicePort の値を変更してください。

```

<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDeviceIP</ObjectID>
  <Value>0.0.0.0</Value>      ← 外部接点装置#1 の IP アドレスを設定してください。
</CnfDetail>
<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDevicePort</ObjectID>
  <Value>0</Value>          ← 外部接点装置#1 からの通知先ポート番号を設定してください。
</CnfDetail>

```

外部接点装置が 2 台ある場合は、alarmDeviceIP_Ex と alarmDevicePort_Ex の値を変更してください。

```

<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDeviceIP_Ex</ObjectID>
  <Value>0.0.0.0</Value>      ← 外部接点装置#2 の IP アドレスを設定してください。
</CnfDetail>
<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
  <ObjectID>alarmDevicePort_Ex</ObjectID>
  <Value>0</Value>          ← 外部接点装置#2 からの通知先ポート番号を設定してください。
</CnfDetail>

```

注意事項

「alarmDeviceIP_Ex」キーは複数ありますが、InstanceID1="0"のみ編集ください。その他は将来機能です。

■設定例　外部接点装置#1 IP アドレス:192.168.2.150、接点入力 通知先ポート番号:43900 の場合

```
<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
```

```
<ObjectID>alarmDeviceIP</ObjectID>
<Value>192.168.2.150</Value>
</CnfDetail>
<CnfDetail InstanceID1="0" InstanceID2="0">
    <ObjectID>alarmDevicePort</ObjectID>
    <Value>43900</Value>
</CnfDetail>
```

※ただし、ポート番号は 43900～43999 の範囲で設定して下さい。

- (4) 編集が終わったら、ファイルを上書き保存してください。
- (5) 取扱説明書 11.11 管理設定をする を参照し、(3)で編集した設定ファイルをレコーダーにインポートしてください。

設定ファイル編集に関する注意事項

recorder_config.xml を編集する場合、エディタの文字コードを「UTF-8(BOM なし)」に、改行コードを「LF」に設定してください。

1.6.2. 設定手順(外部接点装置)

レコーダーの設定ファイルを編集した後、外部接点装置の設定を行ってください。

1.6.2.1. 設定手順(NJ-2000-1)

NJ-2000-1 を外部接点装置として使用する際は、初期設定から以下の通りパラメーターを変更してください。パラメーターの設定方法は NJ-2000-1 の取扱説明書を参照してください。

| No. | 設定項目 | 設定値 |
|-----|------------------------------------|---|
| 1 | Current System Mode | LAN <→ I/O |
| 2 | Current Connect Mode | Other |
| 3 | Current Server/Client | Client |
| 4 | 1)LAN 1)IP Address | NJ-2000-1 の IP アドレスを設定してください。 (15.1で設定した alarmDeviceIP と同一の値になります) |
| 5 | 1)LAN 2)Subnet Mask | ご使用のネットワーク体系に合わせて設定してください。 |
| 6 | 1)LAN 6)IP Address(DIO8:00..07) | レコーダーの IP アドレスを設定してください。 |
| 7 | 1)LAN 9)Port | レコーダーの通知先ポート番号を設定してください。 (15.1で設定した alarmDevicePort と同一の値になります) |

1.6.2.2. 設定手順(CommAssist-io)

CommAssist-io を外部接点装置として使用する際は、初期設定から以下の通り CommAssist-io のパラメーターを変更してください。パラメーターの設定方法は CommAssist-io の取扱説明書を参照してください。

| No. | 設定項目 | 設定値 |
|-----|--|--|
| 1 | 2) Network Address 1) My IP Address | Comm Assist-io の IP アドレスを設定してください。 (15.1で設定した alarmDevicePort と同一の値になります) |
| 2 | 2)Network Adress 4)Subnet Mask | ご使用のネットワーク体系に合わせて設定してください。 |
| 3 | 3) Client 1) Server IP Address | レコーダーの IP アドレスを設定してください。 |
| 4 | 4)Client 2) server TCP Port Number | レコーダーへの通知先ポート番号を設定してください。 (15.1で設定した alarmDevicePort と同一の値になります) |

【登録商標】

Microsoft、MS、Microsoft Windows 10、Microsoft Windows 11 は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Google Chrome は、Google Inc.の商標です。

USB は、USB Implementers Forum の登録商標です。

MELOOK、MELOOK μ 、MELOOK DG II は当社の登録商標です。

その他引用された会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

■改定履歴

| 改訂履歴 | 改訂日時 | 改訂内容 |
|------|--------------------|--|
| J | 2018/01/11 | P4 「！注意」3つ目として、設置時の注意事項を追加。 P7 1.1.1.12 項に(1)を追加。 P157 1.3.2.3.①に「電源投入済のアナログカメラを AXIS ビデオエンコーダに接続してから、」を追記。 |
| K | 2018/03/12 | 全体 NR-5200/5280 に関する記載を追加。 全体 文書名を「他社機器接続マニュアル」→「周辺機器接続マニュアル」に変更。 P146～ 1.3.1.6 項(P5635-E Mk II)を追加。 |
| L | 2018/04/05 | P11 1.2.1.4 表 「遅延時間」→「時間設定」に修正。 全体 AXIS カメラ追加機種(M1124、M1124-E、P3224-V Mk II)に関する内容を追加。 |
| M | 2018/08 | P15 1.3.1 項の表を更新。 P179 NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200 の接続可能バージョンを記載。 全体 AXIS カメラ追加機種(M5525-E、M3047-P、M3048-P)に関する内容を追加。 全体 AXIS カメラバージョン変更機種(M1124、M1124-E、P3224-V Mk II)に関する内容を更新。 P165 全方位カメラの設置場所設定変更に関する注記を追加。 P15 カメラ設定失敗時の注記を記載。 |
| N | 2018/09 | P4 増設 HDD ユニットに文言を統一 P4 増設 HDD ユニットの接続に関する注記を追加 P10 増設 HDD ユニットの接続障害の水平展開で UPS 接続時の USB 接続に関して注記を追加 |
| P | 2018/12 | P4～11 増設 HDD ユニットのシングルモード対応 |
| Q | 2019/03 2019/08 | 全体 AXIS カメラ追加機種(M3057-PLVE)に関する内容を追加。 P268～270 MELOOK3 マルチへの外部接点装置設定手順を追記 |
| R | 2019/09/10 | 全体 NR-5000C に関する記載を追加 |
| S | 2019/12/02 | 1.5.1.1. 設定ファイル編集ツールでの手順(NR-5000/5041/5080/5100/5512/8200/5000C)を追加。 1.5.1.2. 設定手順(NR-5000/5041/5080/5100/8200)に”ファイル編集を誤った場合、レコーダーが起動しなくなる恐れがありますので、必ず 1.5.1.1 の設定ファイル編集ツールを使って設定して下さい。”を追記。 1.5.1.2/ 1.5.1.3 設定例の通知先ポート番号を 2000 から 43900 に変更。 |
| T | 2019/12 | P251～252 延長アダプタ構成に関する記載追記。 |
| U | 2020/1/31 | P267～268 Panasonic(FA-ML16TCPoE+ / GA-ML16TPoE+)の設定手順追加 Copyright2016～2019 から Copyright2016～2020 に修正 |
| V | 2020/7/14 | 全般 NR-5512 に関する記載を追加 |
| W | 2020/11/12 | 1.3.1.AXIS カメラ PTZ 型カメラ欄に P5655-E 追加。 1.3.1.12.PTZ 型カメラ(P5655-E)を追加。 1.3.3.接続台数 グループ3に P5655-E 追加。 |
| X | 2020/12/04 | 1.3.1.AXIS カメラ 固定ドーム型カメラ欄に P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE を追加。 固定ボックス型カメラ欄に M1135、M1135E を追加。 1.3.1.13.固定ドーム型カメラ(P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE)を追加。 1.3.1.14.固定ボックス型カメラ(M1135、M1135E)を追加。 1.3.3.接続台数 グループ2に P3245-V、P3245-LV、P3245-LVE、M1135、M1135E 追加。 |
| Y | 2020/02/10 | 1.3.1.12.PTZ 型カメラ(P5655-E) 1.3.1.12.2.MELOOK3 レコーダーへの接続に (2)NR-5200/5280 の場合の節を追加 |
| Z | 2021/03/10 | 1.3.1.AXIS カメラ P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II にカメラ F/W バージョン/8.40.3 を追記 M5525-E にカメラ F/W バージョン/8.20.1 を追記 全方位カメラ欄に M3067-P/M3068-P を追加。 1.3.1.3.固定ドーム型カメラ(P3225-LV、P3225-LVE、P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)に【カメラファームウェアバージョン;6.55.2】を追記。 1.3.1.9.1.初期設定に【カメラファームウェアバージョン;7.25.1】を追記 1.3.1.9.2.初期設定【カメラファームウェアバージョン;8.20.1】を追記 1.3.1.15.固定ドーム型カメラ(P3225-LV Mk II、P3225-LVE Mk II)【カメラファームウェアバージョン;8.40.3】を追記 1.3.1.16. PTZ 型カメラ(M3067-P、M3068-P)を追加。 1.3.3.接続台数 グループ 2 に M3067-P、M3068-P を追加。 |
| AA | 2021/8/25 | P12 WV シリーズカメラ接続時の給電停止までの時間について注記を追加。 P352 1.3.3 章 WV シリーズ新規追加 |
| AB | 2021/9/22 | P358 1.3.3 章 WV シリーズカメラ新規追加(通信速度設定手順追加) P373 1.4.1.1 章新規追加。WV シリーズカメラの為の通信速度設定手順追加。 |

| 改訂履歴 | 改訂日時 | 改訂内容 |
|------|------------|---|
| | | P376 1.4.2.1 章新規追加。WV シリーズカメラの為の通信速度設定手順追加。 P378 1.4.3.1 章新規追加。WV シリーズカメラの為の通信速度設定手順追加。 P353 1.3.3 章 WV シリーズカメラ接続時の機能一覧を追加。 P359 1.3.3.4 章 WV シリーズカメラ接続時の注記を追加。(1 秒映像断対応) |
| AC | 2021/10/21 | P336 1.3.1.16.2.MELOOK3 レコーダーへの接続 (2)NR-5200/5280 の場合を追加。 |
| AD | 2022/9/16 | 1.3.4 章 VIVOTEK ビデオエンコーダ新規追加 1.4.4 章注釈に VIVOTEK ビデオエンコーダ追記 |
| AE | 2023/2/16 | P18 1.3.1 章 Axis カメラ P3245-LV、P3245-LVE のカメラ F/W バージョン 元 9.60.1 のみ P370 1.3.4.3 章 (2)NR-5200/5280 の場合を記載。 |
| AF | 2024/3/22 | P18 1.3.1 M3007 等が NR-52XX は、Ver.SYS.Nx.55.03 以降のバージョンでは非対応となる旨を追記。 |
| AG | 2025/3 | 全体 (MR206B3 / MR206B3S) → (MR206B3 / MR206B3S / ER206B32) に修正 P4 1.1 章 増設 HDD ユニット ER206B32 を追加 P4 1.1.1.3 章 「(*1)増設 HDD ユニット ER206B32 を使用する場合は、USB3.2 となります。」を追記。 P6 1.1.1.6 章 6TB は MR206B3/MR206B3S のみであることを追記。 注意の MR206B3S → MR206B3S / ER206B32 に修正。M3 マルチの F/W バージョン追記。 P11 1.1.1.14 章 図に「(例: 増設 HDD ユニット(MR206B3))」を追記。 コピー・ラブ表示を開示年 - 最新改訂年に修正。 P401 登録商標を追記。 P363 1.3.4.1(2)①の shepherd ツールの情報を更新。 P363 1.3.4.1(2)①「ツールは、VIVOTEK～」最新情報は販売店に問合せする旨の注記を追加。 |
| AH | 2025/4 | 1.4 章の MELOOK4 カメラの接続手順について追加。 |